

# 病院年報

Vol. 34 令和5年度

静岡市立静岡病院

# 病院年報

Vol. 34 令和5年度

静岡市立静岡病院

## 静岡市立静岡病院の基本理念・基本方針

### 【基本理念】

開かれた病院として、市民に温かく、質の高い医療を提供し、福祉の増進を図ります。

### 【基本方針】

- (1) 患者さんを主体とし、患者さんにとって最善の全人的医療を実践します。
- (2) 静岡市の基幹病院として、高度専門医療を提供し、その向上を常に図ります。
- (3) 市民の安全を守るため、二次救急医療、救命救急医療、災害時医療を提供します。
- (4) 地域医療の充実のため、病診連携、病病連携、保健福祉機関との連携を図ります。
- (5) 職員は、研修、研究、教育を通じて医療水準の向上を図ります。

## 令和5年度静岡市立静岡病院年報（Vol.34）刊行にあたって

静岡市立静岡病院 理事長・病院長

小野寺 知哉



令和5年5月から新型コロナウイルス感染症は5類感染症となり、社会にとっては感染予防措置による負担と感染重症化リスクとのバランスが取れてきた。また、新型コロナへのスタッフの負担も軽くなっている。

当院は高度専門医療、救急医療を行う急性期病院であり、病床の効率的運用が求められている。本年度はスタッフの頑張り、クリニカルパスの活用で平均在院日数を11.7日から10.5日に減らすことができた。その分、のべ入院患者数は減少したが、新入院患者数は増加している。また、救急、病棟、診療部のスタッフの努力で救急車受け入れ、応需率は静岡市内のトップを維持している。

施設面では重症系病棟の効率化のため東館5階のHCUを東館8階にまとめ、30床のHCUとして9月から運用した。変更には医事課、施設課、看護部に大変努力していただいた。感謝申し上げます。また、ダヴィンチ（Xi）の機器更新にあわせて、手術室の改修工事を行った。令和6年度には外来化学療法室の拡充、外来合同処置室の充実を予定している。

今年度は、おなかのヘルニアセンター、肩・肘・手外科センターを設立した。今までのハートセンター、消化器総合センター、大動脈・血管センター、脳卒中センターと合わせ、患者さんにわかりやすく受診していただけるように努めていく。また、静岡市民「からだ」の学校も行った。今後も市民の皆さんへの広報活動も充実させていく。

令和6年度からは働き方改革が始まる。今年は看護部に業務の「カイゼン」として入退院業務、医師の指示出しルール、記録時間、申し送り、タイムアウト、計測・観察業務、薬剤準備を見直してもらった。E6・E7・E9・E10・W7・W9病棟で1カ月に533時間の時間外削減となった。経費としての時間外削減が目的ではなく、「歯を食いしばらなくても効率的に良い医療を行う」ことを目的として、今後も各スタッフの業務見直しに努力していく。

物価、人件費の高騰が経営にのしかかっている。新型コロナ病床確保支援の補助金（空床保償）も減少し本年度は4億円にとどまった。しかしスタッフの努力により本年度は約9千万円の黒字となった。

昨年と同様、病院長として、院内各科医師、看護師長、コメディカルに各科、各部門の展望、病院への要望を聞いた。皆、診療の充実、拡大への意欲、病院への協力を表してくれた。クリニックと患者さんからの信頼の獲得、断らない救急、について各科に努力していただき、患者数を増やしていく。経営努力の中で、スタッフと機器を増やし、充実した医療を目指す。

当院は、高度専門医療、救急医療を行う、患者さんにもスタッフにも優しい病院として努力を続けていきます。今後とも院内外の皆様の当院へのご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



# 〈目 次〉

令和5年度静岡市立静岡病院年報(Vol.34)刊行にあたって

## 病 院 概 要

|      |   |
|------|---|
| 現況   | 1 |
| 組織図  | 2 |
| 職員配置 | 3 |
| 病院日誌 | 5 |

## 管 理 業 務

|                |    |
|----------------|----|
| 総務課            | 11 |
| 総務・企画係         | 11 |
| 経理係            | 12 |
| 情報係            | 15 |
| 人事課            | 16 |
| 人事係            | 16 |
| 給与・厚生係         | 16 |
| 施設課            | 17 |
| 施設係            | 17 |
| 物品係            | 19 |
| 病院運営機関・各種業務委員会 | 20 |

## 診 療 業 務

|        |     |
|--------|-----|
| 診療科の現況 | 59  |
| 部門別概況  | 99  |
| 医事統計   | 181 |

## 教 育 研 究 実 績

|          |     |
|----------|-----|
| 学術業績     | 197 |
| 論文・紙上発表  | 197 |
| 演題発表     | 199 |
| 講師       | 210 |
| 座長・司会    | 214 |
| 検査技術研修会  | 217 |
| 放射線技術研修会 | 218 |

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 院内教育行事                            | 219 |
| 静岡病診がんカンファレンス                     | 219 |
| 救急セミナー（救急外来ただいま診断中in静岡）           | 220 |
| 第40回 静岡病院看護研究発表大会                 | 220 |
| 静岡市立静岡病院 学術集談会                    | 221 |
| 公開講演会などの活動                        | 222 |
| 静岡市立静岡病院 市民公開講座「当院のロボット支援下手術について」 | 224 |
| 葉々連携アドヒアランス研究会                    | 224 |

## さまざまな活動

|          |     |
|----------|-----|
| 病院厚生会    | 225 |
| 患者友の会の活動 | 225 |

## 施設の概要

### 施設概要

**東館** (平成20年7月完成)

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造、免震構造  
階数 地下1階、地上13階建て (13階は、機械室) 地上高さ約58m  
床面積 23,593.53㎡

**西館** (平成元年3月完成 平成21年度外来・病棟部門等改修工事完了)

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造、耐震構造  
階数 地下1階、地上13階建て (13階は、機械室) 地上高さ約58m  
床面積 24,613.66㎡

**駐車場** (平成22年2月完成)

構造・階数 旧東館の構造体を利用した5層6段の自走式立体駐車場  
床面積 7,992.33㎡ (203台収容)

**北館** (昭和35年完成 平成19年3月耐震改修工事完了)

院内保育所 (つぼみ保育園)、事務所等で使用

構造 鉄筋コンクリート造  
階数 地下1階、地上4階建て  
床面積 1,728.45㎡

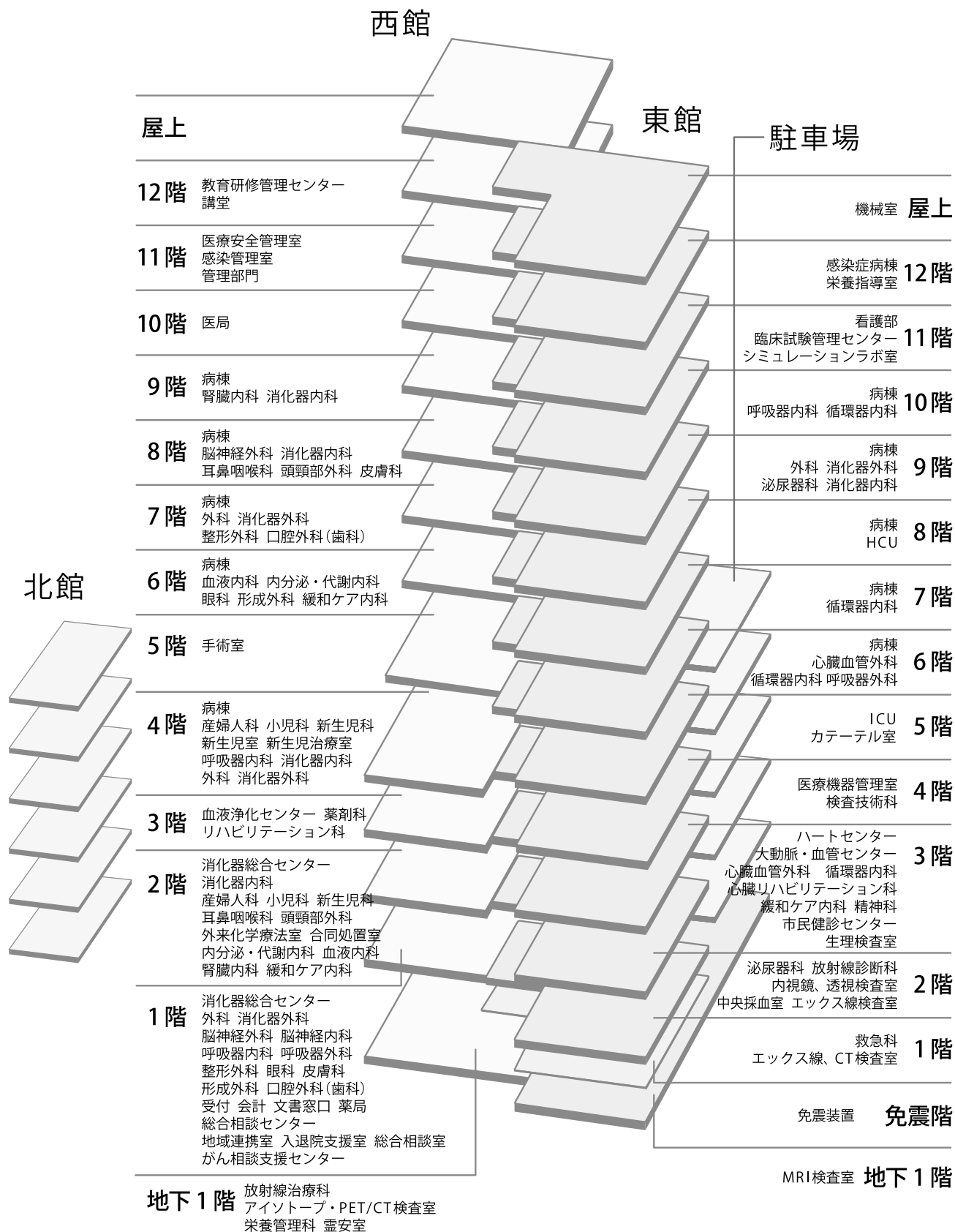
### 位置図





# 病院構成図

病院の構成



# 病 院 概 要

現 況  
組 織 図  
職 員 配 置  
病 院 日 誌



## 現 況

病院の名称 地方独立行政法人 静岡市立静岡病院

所在地 静岡市葵区追手町10番93号

設置主体 静岡市

病院の種別 総合病院（昭和34年2月4日認可）

診療科目 内科 腎臓内科 内分泌・代謝内科 血液内科 脳神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科  
緩和ケア内科 小児科 新生児科 精神科 外科 消化器外科 整形外科 形成外科 脳神経外科  
呼吸器外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 頭頸部外科  
リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 麻酔科 救急科 歯科口腔外科（口腔外科）  
病理診断科

病床数 一般病棟500床 感染症病棟6床

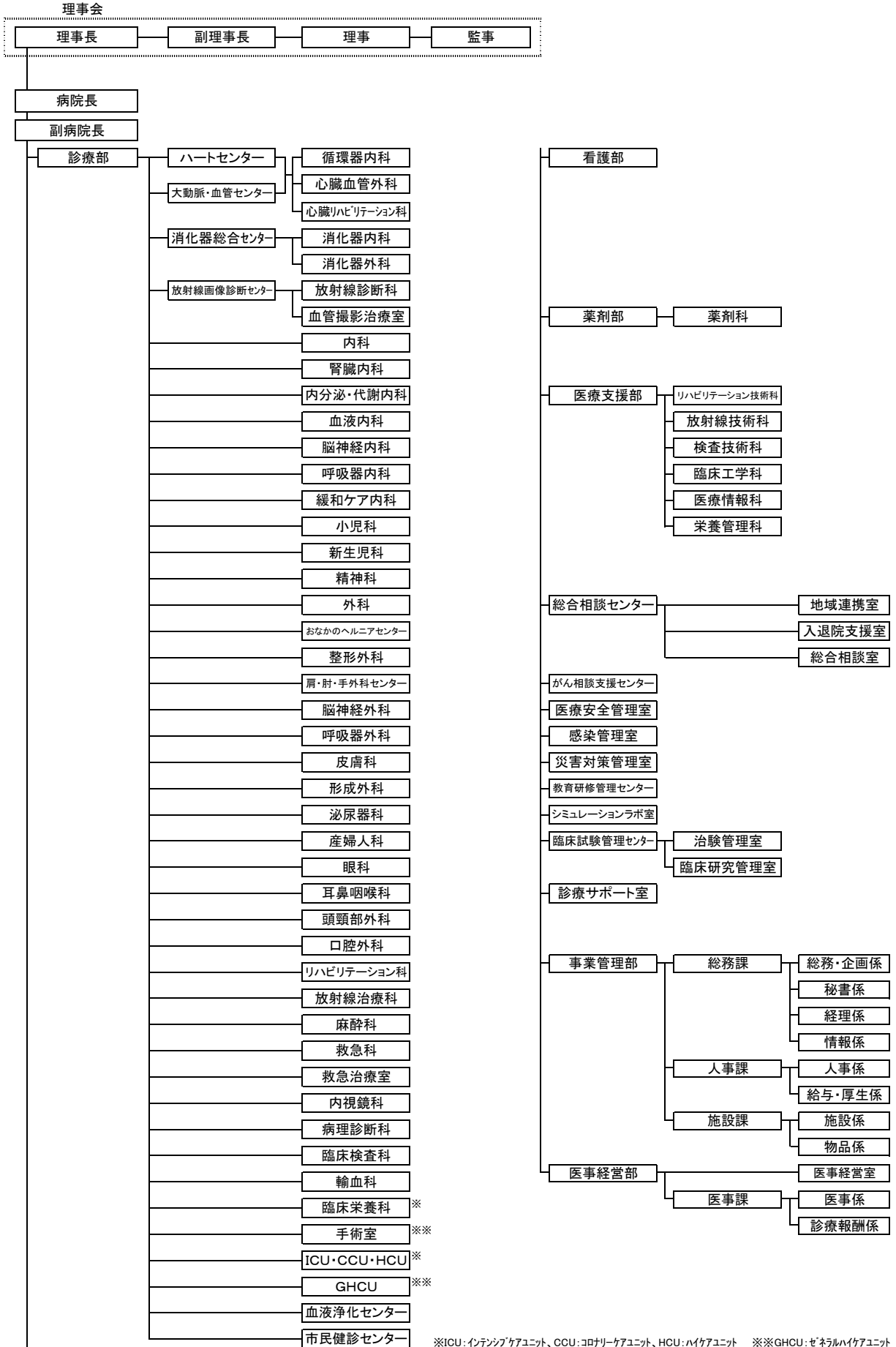
指定・認定 健康保険医療機関 国民健康保険療養取扱医療機関 労災指定医療機関 結核予防法指定医療機関  
生活保護法指定医療機関 被爆者一般疾病医療機関 更生医療指定医療機関 育成医療指定医療機関  
精神通院医療指定医療機関 小児慢性特定疾病指定医療機関 静岡県地域リハビリテーション協力機関  
新型コロナウイルス感染症重点医療機関 特定行為研修指定研修機関 産科救急受入医療機関  
National Clinical Database施設会員 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関  
紹介受診重点医療機関

日本医療機能評価機構認定病院 災害拠点病院 救急告示病院 地域医療支援病院 第一種感染症指定医療機関  
第二種感染症指定医療機関 地域がん診療連携拠点病院 難病指定医療機関 難病医療協力病院 救護病院  
開放型病院 地域周産期母子医療センター エイズ中核拠点病院 静岡県臓器移植推進協力病院  
地域肝疾患診療連携拠点病院 外国人医師臨床修練指定医学会教育関連施設 臨床研修施設  
臨床研修協力施設 卒後臨床研修評価機構認定施設 管理栄養士初任者研修指定病院 管理栄養士配置施設

日本腎臓学会研修施設 日本透析医学会専門医制度認定施設  
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設 日本糖尿病学会認定教育施設 I  
日本肥満学会認定肥満症専門病院 日本血液学会認定血液研修施設 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設 日本高血圧学会研修施設 I  
日本消化器病学会専門医制度認定施設 日本消化管学会胃腸科専門医制度指導施設  
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 日本循環器学会認定専門医研修施設  
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設 日本周産期新生児医学会専門医研修補完施設  
日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設  
日本食道学会食道外科専門医制度食道外科専門医認定施設 日本乳癌学会専門医制度関連施設  
日本肝臓学会認定施設 日本整形外科学会専門医制度研修施設 日本手外科学会研修施設  
日本形成外科学会認定施設 日本脳神経外傷学会専門医制度研修施設 心臓血管麻酔専門医認定基幹施設  
日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設 呼吸器外科学会専門医制度認定基幹施設  
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設 日本心血管インターベンション治療学会研修施設  
日本皮膚科学会認定専門医研修施設 日本泌尿器学会専門医教育施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設 日本医学放射線学会放射線科専門医修練施設 日本放射線腫瘍学会認定施設  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院 日本口腔外科学会専門医制度研修機関 日本臨床細胞学会認定施設  
日本病理学会病理専門医制度研修認定施設 B 日本臨床腫瘍学会認定研修施設  
日本アレルギー学会専門医準教育研修施設 日本核医学会専門医教育病院  
認定輸血検査技師制度指定施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設  
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設 栄養管理・NST実施施設  
経皮的カテーテル心筋冷凍焼灼術に関する施設基準 パワードシースによる経静脈的リード抜去術の施設基準  
経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設 経カテーテル的大動脈弁置換術専門施設  
日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設  
日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設  
下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設  
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設  
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設  
浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会浅大腿動脈ステントグラフト実施施設  
補助人工心臓治療関連学会協議会IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設  
日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設 日本臨床衛生検査技師会精度保証施設  
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設 ISO15189認定臨床検査室  
日本脳ドック学会脳ドック認定施設 日本脳卒中学会一次脳卒中センター 左心耳閉鎖システム実施施設  
日本産科婦人科学会専門研修連携施設（浜松医科大学）肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B  
日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業暫定研修認定施設  
日本循環器学会経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設

# 組織図

令和5年7月1日



# 職員配置

(R5.4.1現在)

## 1. 部門別・職種別職員数

| 職種      | 常勤職員 |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     | 非常勤・パート職員等 | 備考 |       |       |                |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
|---------|------|------|-----|-----|-------|--------|-------|-------|-------|-------|----------|------------|---------|-------|---------|------------|------------|------------|---------|-------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|------------|----|-------|-------|----------------|---------------------------------|----|----------------|-----|---|-----|-----|-------|
|         | 理事   | 診療各科 | 看護部 | 薬剤部 | 医療支援部 | 放射線技術科 | 検査技術科 | 臨床工学科 | 医療情報科 | 栄養管理科 | 総合相談センター | がん相談支援センター | 医療安全管理室 | 感染管理室 | 災害対策管理室 | 教育研修管理センター | シミュレーションラボ | 臨床試験管理センター | 診療サポーター | 事業管理部 | 総務課 | 情報係 | 経理係 | 人事課 | 給与・厚生係 | 施設課 | 施設係 | 物品係 |            |    | 医事経営部 | 医事経営室 | 医事課            | 診療報酬係                           | 合計 |                |     |   |     |     |       |
| 医師      | 172  |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 172   | 0              | ・専攻医・研修医60人含む<br>・常勤職員のうち産育休等3人 |    |                |     |   |     |     |       |
| 看護師     |      | 516  |     |     |       |        |       |       |       |       | 13       |            | 2       | 1     |         | 1          |            |            | 1       |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 535   | 57             | ・常勤職員のうち産育休等42人                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 助産師     |      | 10   |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    | 10    | 1     | ・常勤職員のうち産育休等3人 |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 准看護師    |      |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    | 0     | 0     |                |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 薬剤師     |      |      |     | 1   | 36    |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 38    | 0              | ・常勤職員のうち産育休等3人                  |    |                |     |   |     |     |       |
| 診療放射線技師 |      |      |     |     | 1     | 34     |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 35    | 2              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 臨床検査技師  |      |      |     |     |       |        | 40    |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 40    | 5              | ・常勤職員のうち産育休等2人                  |    |                |     |   |     |     |       |
| 管理栄養士   |      |      |     |     |       |        |       |       | 10    |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 10    | 1              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 理学療法士   |      |      |     |     |       | 18     |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 18    | 1              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 作業療法士   |      |      |     |     |       | 5      |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 5     | 0              | ・常勤職員のうち産育休等2人                  |    |                |     |   |     |     |       |
| 言語聴覚士   |      |      |     |     |       | 5      |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 5     | 0              | ・常勤職員のうち産育休等1人                  |    |                |     |   |     |     |       |
| 視能訓練士   | 2    |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 2     | 2              | ・常勤職員のうち産育休等1人                  |    |                |     |   |     |     |       |
| 臨床工学技士  |      |      |     |     |       |        | 18    |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 18    | 0              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 歯科衛生士   | 2    |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 2     | 3              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 精神保健福祉士 | 1    |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 1     | 0              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 心理療法士   | 1    |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 1     | 0              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 医療映像技師  |      |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 0     | 1              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 事務職員    | 2    |      |     |     |       |        |       |       |       | 8     | 1        |            |         |       | 3       |            |            |            | 1       | 3     | 5   | 4   | 3   | 2   | 4      | 6   | 3   | 5   | 3          | 1  | 3     | 1     | 3              | 67                              | 46 | ・常勤職員のうち産育休等2人 |     |   |     |     |       |
| 診療情報管理士 |      |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    | 1     | 1     | 3              | 5                               | 2  |                |     |   |     |     |       |
| 司書      |      |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       |       | 0              | 2                               |    |                |     |   |     |     |       |
| 事務員     |      |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 0     | 88             | 医療クラーク                          |    |                |     |   |     |     |       |
| 技術職員    |      |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 0     | 0              |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 労務職員    |      |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 0     | 12             |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 医療補助員   |      |      | 1   |     |       |        |       |       |       |       |          |            |         |       |         |            |            |            |         |       |     |     |     |     |        |     |     |     |            |    |       | 1     | 70             |                                 |    |                |     |   |     |     |       |
| 合計      | 2    | 178  | 527 | 1   | 36    | 1      | 28    | 34    | 40    | 18    | 0        | 10         | 21      | 0     | 3       | 1          | 0          | 4          | 0       | 1     | 1   | 1   | 1   | 3   | 5      | 4   | 3   | 2   | 4          | 6  | 3     | 5     | 3              | 1                               | 5  | 1              | 4   | 9 | 965 | 293 | 1,258 |
|         | 2    |      |     |     |       |        |       |       |       |       |          | 873        | 21      | 0     | 3       | 1          | 0          | 4          | 0       | 1     | 1   | 1   |     |     | 15     |     |     | 12  |            | 11 | 1     | 5     |                |                                 | 14 | 965            | 293 |   |     |     |       |

## 2. 診療科別医師数

| 科名     | 循環器内科 | 心臓血管外科 | 消化器内科 | 内臓科 | 腎臓科 | 内分泌代謝内科 | 血液内科 | 脳神経内科 | 呼吸器内科 | 緩和ケア内科 | 小児科 | 精神科 | 外科 | 外科(新専医制度) | 整形外科 | 脳神経外科 | 呼吸器外科 | 皮膚科 | 形成外科 | 泌尿器科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 口腔外科 | リハビリテーション科 | 放射線診断科 | 放射線治療科 | 麻酔科 | 救急科 | 病理診断科 | 臨床検査科 | 市民健診センター | 教育研修管理センター | 計   |
|--------|-------|--------|-------|-----|-----|---------|------|-------|-------|--------|-----|-----|----|-----------|------|-------|-------|-----|------|------|------|----|-------|------|------------|--------|--------|-----|-----|-------|-------|----------|------------|-----|
| 医師数(人) | 14    | 11     | 9     | 16  | 2   | 3       | 3    | 0     | 8     | 1      | 5   | 2   | 10 | 3         | 10   | 5     | 2     | 2   | 3    | 7    | 4    | 2  | 3     | 4    | 0          | 1      | 2      | 8   | 1   | 2     | 1     | 1        | 27         | 172 |

※注1 各科医師数には、専攻医、研修医を含む。

### 3. 看護部門職員配置数

|                           | 常 勤         |             |                  |                       |        | 非常勤・パート     |             |                  |                       |        | 計   |
|---------------------------|-------------|-------------|------------------|-----------------------|--------|-------------|-------------|------------------|-----------------------|--------|-----|
|                           | 看<br>護<br>師 | 助<br>産<br>師 | 准<br>看<br>護<br>師 | 医<br>療<br>補<br>助<br>員 | 小<br>計 | 看<br>護<br>師 | 助<br>産<br>師 | 准<br>看<br>護<br>師 | 医<br>療<br>補<br>助<br>員 | 小<br>計 |     |
| E 10                      | 29          |             |                  |                       | 29     |             |             |                  | 4                     | 4      | 33  |
| E 9                       | 30          |             |                  |                       | 30     |             |             |                  | 5                     | 5      | 35  |
| E 8                       | 28          |             |                  |                       | 28     | 1           |             |                  |                       | 1      | 29  |
| E 7                       | 32          |             |                  |                       | 32     |             |             |                  | 7                     | 7      | 39  |
| E 6                       | 30          |             |                  |                       | 30     |             |             |                  | 6                     | 6      | 36  |
| E 5                       | 55          |             |                  |                       | 55     |             |             |                  | 4                     | 4      | 59  |
| W 9                       | 33          |             |                  |                       | 33     |             |             |                  | 5                     | 5      | 38  |
| W 8                       | 29          |             |                  |                       | 29     |             |             |                  | 5                     | 5      | 34  |
| W 7                       | 29          |             |                  |                       | 29     |             |             |                  | 5                     | 5      | 34  |
| W 6                       | 30          |             |                  |                       | 30     | 1           |             |                  | 5                     | 6      | 36  |
| W 4                       | 26          | 7           |                  |                       | 33     |             | 1           |                  | 5                     | 6      | 39  |
| 小 計                       | 351         | 7           | 0                | 0                     | 358    | 2           | 1           | 0                | 51                    | 54     | 412 |
| 内 科 系・胸 心 外               |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 精 神 科                     |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 産 婦 人 科                   |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 小 児 科                     |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 整 形 外 科                   |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 耳 鼻 咽 喉 科                 |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 眼 科                       |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 外 科・脳 外 科                 |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 皮 膚 科・形 成 外 科             |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 泌 尿 器 科                   |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 口 腔 外 科                   |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| リハビリテーション科                |             |             |                  |                       | 0      |             |             |                  |                       | 0      | 0   |
| 総合相談センター                  | 13          |             |                  |                       | 13     |             |             |                  |                       | 0      | 13  |
| 化 学 療 法 室                 | 4           |             |                  |                       | 4      | 3           |             |                  |                       | 3      | 7   |
| 外 来                       | 11          |             |                  |                       | 11     | 44          |             |                  | 2                     | 46     | 57  |
| 小 計                       | 28          | 0           | 0                | 0                     | 28     | 47          | 0           | 0                | 2                     | 49     | 77  |
| 手 術 室                     | 46          |             |                  |                       | 46     |             |             |                  |                       | 0      | 46  |
| 血液浄化センター                  | 12          |             |                  |                       | 12     |             |             |                  | 2                     | 2      | 14  |
| 内視鏡放射線検査室                 | 13          |             |                  |                       | 13     | 4           |             |                  | 2                     | 6      | 19  |
| 救 急 外 来                   | 25          |             |                  |                       | 25     |             |             |                  | 3                     | 3      | 28  |
| 看護部(医療安全管理室<br>及び感染管理室含む) | 15          | 0           |                  | 1                     | 16     | 3           |             |                  | 10                    | 13     | 29  |
| 小 計                       | 111         | 0           | 0                | 1                     | 112    | 7           | 0           | 0                | 17                    | 24     | 136 |
| 産休・育休・専従・休職等              | 42          | 3           |                  |                       | 45     | 1           |             |                  |                       | 1      | 46  |
| 計                         | 532         | 10          | 0                | 1                     | 543    | 57          | 1           | 0                | 70                    | 128    | 671 |

# 病院日誌

令和5(2023)年4月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | △ |   |
| 2  | ⊕ |   |
| 3  | 月 | 08:30 辞令交付式・新職員オリエンテーション  |
| 4  | 火 |   |
| 5  | 水 | 14:00 看護師特定行為研修了式・開校式<br>(東館11階多目的室)<br>17:00 運営会議①(西館11階第1会議室)                                   |
| 6  | 木 | 14:00 看護部会議   |
| 7  | 金 | 08:00 診療部会議(西館12階講堂)<br>16:00 病院部門連絡会(西館12階講堂)  |
| 8  | △ |   |
| 9  | ⊕ |   |
| 10 | 月 |   |
| 11 | 火 |   |
| 12 | 水 | 16:00 経営統括会議  |
| 13 | 木 |   |
| 14 | 金 |   |
| 15 | △ |   |
| 16 | ⊕ |   |
| 17 | 月 |   |
| 18 | 火 | 15:30 公的病院協議会 合同会議(静岡済生会総合病院)   |
| 19 | 水 | 17:00 運営会議②(西館11階第1会議室)   |
| 20 | 木 | 07:00 新職員合同研修①(テルモ研修センター)<br>09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>14:00 看護部会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議 |
| 21 | 金 | 07:00 新職員合同研修②(テルモ研修センター)<br>16:00 経営統括会議   |
| 22 | △ |   |
| 23 | ⊕ |   |
| 24 | 月 |   |
| 25 | 火 | 15:00 第1回理事会(西館11階第1会議室)  |
| 26 | 水 |   |
| 27 | 木 |   |
| 28 | 金 |   |
| 29 | △ | 昭和の日  |
| 30 | ⊕ | 看護師採用試験①  |

令和5(2023)年5月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 2  | 火 |   |
| 3  | 水 | 憲法記念日   |
| 4  | 木 | みどりの日   |
| 5  | 金 | こどもの日   |
| 6  | △ |   |
| 7  | ⊕ |   |
| 8  | 月 |   |
| 9  | 火 | 15:00 経営統括会議  |
| 10 | 水 | 17:00 運営会議①(西館11階第1会議室)   |
| 11 | 木 | 14:00 看護部会議   |
| 12 | 金 | 08:00 診療部会議(東館11階C会議室)<br>16:00 病院部門連絡会(東館11階C会議室)                  |
| 13 | △ | 採用試験(薬剤師、臨床工学技士)<br>15:00 静岡県医師会主催「Welcome Seminar in Shizuoka2023」 |
| 14 | ⊕ | 11:00 レジナビフェア2023福岡(博多国際展示場)  |
| 15 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>14:00 公的病院薬剤部局長会議(JCHO桜ヶ丘病院)                        |
| 16 | 火 |   |
| 17 | 水 |   |
| 18 | 木 | 15:00 医療支援部会議   |
| 19 | 金 |   |
| 20 | △ | 看護師採用試験②<br>静岡市医師会研修医歓迎セミナー(静岡医師会館)                                 |
| 21 | ⊕ |   |
| 22 | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 23 | 火 |   |
| 24 | 水 | 11:00 経営統括会議<br>17:00 運営会議②(西館11階第1会議室)                             |
| 25 | 木 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>14:00 看護部会議<br>16:00 薬剤部会議                 |
| 26 | 金 |   |
| 27 | △ |   |
| 28 | ⊕ |   |
| 29 | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 30 | 火 |   |
| 31 | 水 |   |



令和5（2023）年6月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | 木 | 14:00 看護部会議   |
| 2  | 金 |   |
| 3  | △ |   |
| 4  | ⊕ |   |
| 5  | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 6  | 火 |   |
| 7  | 水 | 17:00 運営会議①（西館11階第1会議室）   |
| 8  | 木 |   |
| 9  | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>13:30 経営統括会議<br>16:00 病院部門連絡会（西館12階講堂）                              |
| 10 | △ | 08:30 第30回ICLS（東館11階B・C会議室）   |
| 11 | ⊕ |   |
| 12 | 月 |   |
| 13 | 火 | 10:00 経営統括会議  |
| 14 | 水 |   |
| 15 | 木 | 14:00 看護部会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議   |
| 16 | 金 |   |
| 17 | △ | 京大レジビナー2023（Web開催）  |
| 18 | ⊕ | 11:00 レジナビフェア2023東京（東京ビッグサイト）   |
| 19 | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 20 | 火 | 09:00 看護師殉職者慰霊式（慰霊碑前）<br>10:00 経営統括会議<br>15:30 公的病院協議会 合同会議（静岡市立清水病院）<br>16:30 継灯式（西館12階講堂） |
| 21 | 水 | 17:00 運営会議②（西館11階第1会議室）   |
| 22 | 木 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議   |
| 23 | 金 | 14:00 看護部会議   |
| 24 | △ | 15:30 静岡市静岡医師会定時総会（グランヒルズ静岡）  |
| 25 | ⊕ |   |
| 26 | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 27 | 火 |   |
| 28 | 水 |   |
| 29 | 木 | 15:00 第2回理事会（西館11階第1会議室）  |
| 30 | 金 |   |

令和5（2023）年7月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | △ | 看護師採用試験③  |
| 2  | ⊕ | レジナビフェア2023大阪（インテックス大阪）   |
| 3  | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 4  | 火 | 15:00 静岡市公的病院協議会 事務長部会（静岡厚生病院）<br>17:00 第1回院内感染対策研修会（西館12階講堂）   |
| 5  | 水 | 看護師特定行為研修第5期生募集説明会①（東館12階B会議室）<br>13:30 経営統括会議<br>17:00 第1回地域医療構想調整会議<br>17:30 看護師特定行為研修第5期生募集説明会②（東館12階B会議室） |
| 6  | 木 | 14:00 看護部会議<br>17:30 運営会議①（西館11階第1会議室）  |
| 7  | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>16:00 病院部門連絡会（西館12階講堂）  |
| 8  | △ | 15:00 静岡市ドクター・バック合同説明会（城東保健福祉エリア）   |
| 9  | ⊕ |   |
| 10 | 月 | 19:00 第1回臨床研修管理委員会（西館12階講堂）   |
| 11 | 火 | 11:00 看護師特定行為研修第5期生募集説明会③（東館12階B会議室）<br>17:30 看護師特定行為研修第5期生募集説明会④（東館12階B会議室）                                  |
| 12 | 水 |   |
| 13 | 木 | 15:00 経営統括会議<br>19:30 第1回静岡病院評価委員会（県産業会館）   |
| 14 | 金 | 18:00 救急講演会①（西館12階講堂）   |
| 15 | △ |   |
| 16 | ⊕ |   |
| 17 | 月 | 海の日   |
| 18 | 火 |   |
| 19 | 水 | 14:00 看護部会議<br>17:00 運営会議②（西館11階第1会議室）  |
| 20 | 木 | 14:30 全国公立病院連盟関東・中部支部会議 1日目（グランヒルズ静岡）<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議   |
| 21 | 金 | 08:30 全国公立病院連盟関東・中部支部会議 2日目（視察）   |
| 22 | △ |   |
| 23 | ⊕ |   |
| 24 | 月 | 17:15 特定行為管理委員会・特定行為研修運営委員会合同会議（西館11階第一会議室）   |
| 25 | 火 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>10:00 経営統括会議   |
| 26 | 水 | 16:00 院内暴力等対策研修会（西館12階講堂）   |
| 27 | 木 | 13:00 機能評価模擬審査（西館12階講堂ほか）   |
| 28 | 金 |   |
| 29 | △ |   |
| 30 | ⊕ | 12:30 静岡県臨床研修・専門研修病院合同説明会（アクティシティ浜松）  |
| 31 | 月 | 13:00 静岡県中部地域病院見学ツアー（院内各所）<br>19:15 静岡病院病診連携総会（グランヒルズ）  |

令和5（2023）年8月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | 火 | 09:00 高校生1日ナース体験①<br>19:00 第2回静岡病院評価委員会（県産業会館）  |
| 2  | 水 | 17:00 運営会議①（西館11階第1会議室）<br>13:00 臨床研修医採用試験①（多目的室、12B会議室）  |
| 3  | 木 | 14:00 看護部会議   |
| 4  | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>16:00 病院部門連絡会（西館12階講堂）  |
| 5  | △ |   |
| 6  | ⊕ |   |
| 7  | 月 | 09:00 高校生1日ナース体験②<br>14:00 公的病院薬剤長会議（こころの医療センター）  |
| 8  | 火 | 13:15 看護部「夏のインターンシップ」①  |
| 9  | 水 | 13:00 臨床研修医採用試験②（多目的室、12B会議室）   |
| 10 | 木 | 13:15 看護部「夏のインターンシップ」②<br>14:30 経営統括会議  |
| 11 | 金 | 山の日   |
| 12 | △ |   |
| 13 | ⊕ |   |
| 14 | 月 | 看護師採用試験④  |
| 15 | 火 | 「看護のしごと就職相談会」（ハローワーク清水）<br>13:15 看護部「夏のインターンシップ」③<br>第3回理事会（書面開催）   |
| 16 | 水 | 17:00 運営会議②（西館11階第1会議室）   |
| 17 | 木 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>13:00 経営統括会議<br>臨床研修医採用試験③（多目的室、12B会議室）<br>14:00 看護部会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議<br>17:30 院内CPC（西館12階講堂） |
| 18 | 金 | 13:15 看護部「夏のインターンシップ」④<br>14:00 富士山静岡交響楽団 心のコンサート2023（西館12階講堂）  |
| 19 | △ |   |
| 20 | ⊕ |   |
| 21 | 月 | 13:15 看護部「夏のインターンシップ」⑤  |
| 22 | 火 | 13:15 看護部「夏のインターンシップ」⑥  |
| 23 | 水 |   |
| 24 | 木 | 静岡県立大学病院説明会<br>13:30 遗体措置訓練   |
| 25 | 金 |   |
| 26 | △ | 13:00 臨床研修医採用試験④（第一会議室、12B会議室）  |
| 27 | ⊕ |   |
| 28 | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 29 | 火 | 16:00 第1回医療安全講演会（RRT講習会）（西館12階講堂）   |
| 30 | 水 | 13:00 臨床研修医採用試験⑤（多目的室、第一会議室）  |
| 31 | 木 | 13:00 臨床研修医採用試験⑥（多目的室、11B会議室）<br>17:00 第5回病院機能評価合同連絡会（西館12階講堂）  |

令和5（2023）年9月

| 日  | 曜 | 行事とその内容  |
|----|---|--|
| 1  | 金 | 看護師採用試験⑤   |
| 2  | △ | 事務職員採用試験①<br>診療放射線技師採用試験   |
| 3  | ⊕ | 13:00 臨床研修医採用試験⑦（多目的室、11B会議室）  |
| 4  | 月 | 10:00 経営統括会議<br>13:00 臨床研修医採用試験⑧（多目的室、11B会議室）  |
| 5  | 火 | 15:00 公的病院協議会 事務長部会（JCHO桜ヶ丘病院）<br>17:30 医局会（西館12階講堂）   |
| 6  | 水 | 17:00 運営会議①（西館11階第1会議室）  |
| 7  | 木 | 14:00 看護部会議  |
| 8  | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>10:30 経営統括会議<br>16:00 病院部門連絡会（西館12階講堂）<br>聖隷クリストファー大学病院説明会（看護部）                                  |
| 9  | △ |  |
| 10 | ⊕ |  |
| 11 | 月 |  |
| 12 | 火 |  |
| 13 | 水 |  |
| 14 | 木 |  |
| 15 | 金 | 16:30 防災講演会（西館12階講堂）   |
| 16 | △ |  |
| 17 | ⊕ |  |
| 18 | 月 | 敬老の日<br>11:00 レジナビフェア仙台2023（サンフェスタ）  |
| 19 | 火 |  |
| 20 | 水 | 17:00 運営会議②（西館11階第1会議室）  |
| 21 | 木 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>14:00 看護部会議<br>15:00 第4回理事会（西館11階第1会議室）<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議<br>17:30 院内CPC（西館12階講堂） |
| 22 | 金 |  |
| 23 | △ | 秋分の日   |
| 24 | ⊕ |  |
| 25 | 月 |  |
| 26 | 火 |  |
| 27 | 水 | 特定行為修了者実践報告会（静岡県看護協会）  |
| 28 | 木 |  |
| 29 | 金 | 14:00 マッチング中間公表発表<br>16:00 情報セキュリティ・個人情報保護研修会（西館12階講堂他）  |
| 30 | △ | 08:30 第31回静岡病院ICLS（東館11階C会議室他）   |

令和5（2023）年10月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | ㊤ |   |
| 2  | 月 | 看護師採用試験⑥<br>10:00 経営統括会議                              |
| 3  | 火 | 15:00 公的病院協議会 事務長部会（清水厚生病院）                           |
| 4  | 水 | 17:00 運営会議①（西館11階第1会議室）                               |
| 5  | 木 | 14:00 看護部会議   |
| 6  | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>16:00 部門連絡会（西館12階講堂）          |
| 7  | △ |   |
| 8  | ㊤ |   |
| 9  | 月 | スポーツの日  |
| 10 | 火 | 16:30 特定行為実践運営委員会（東館11階B会議室）                          |
| 11 | 水 |   |
| 12 | 木 | 14:00 臨床研修医採用に係るマッチング最終登録締切日<br>15:00 医療支援部会議         |
| 13 | 金 |   |
| 14 | △ |   |
| 15 | ㊤ |   |
| 16 | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 17 | 火 | 15:30 公的病院協議会 定例会（静岡てんかん・神経医療センター）                    |
| 18 | 水 | 厚生労働省受療状況調査<br>13:30 看護部会議<br>17:00 運営会議②（西館11階第1会議室） |
| 19 | 木 | 08:40 病院機能評価受審 1日目（西館12階講堂他）<br>16:00 薬剤部会議           |
| 20 | 金 | 08:40 病院機能評価受審 2日目（西館12階講堂他）                          |
| 21 | △ |   |
| 22 | ㊤ | 13:30 静岡市民「からだ」の学校<br>（しずぎんホールユーフォニア）                 |
| 23 | 月 |   |
| 24 | 火 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議                                 |
| 25 | 水 |   |
| 26 | 木 | 14:00 マッチング採用者決定                                      |
| 27 | 金 | 10:00 経営統括会議  |
| 28 | △ | 08:30 第9回静岡病院JMECC講習会（西館12階講堂）                        |
| 29 | ㊤ |   |
| 30 | 月 |   |
| 31 | 火 |   |

令和5（2023）年11月

| 日  | 曜 | 行事とその内容  |
|----|---|--|
| 1  | 水 | 09:00 接遇研修①（西館12階講堂）<br>17:00 運営会議①（西館11階第1会議室）  |
| 2  | 木 | 09:00 接遇研修②（西館12階講堂）<br>14:00 看護部会議  |
| 3  | 金 | 文化の日   |
| 4  | △ |  |
| 5  | ㊤ |  |
| 6  | 月 | 看護師採用試験⑦<br>10:00 経営統括会議<br>14:00 公的病院薬剤科長会議（西館12階講堂）  |
| 7  | 火 | 15:00 公的病院協議会 事務長部会（静岡県立総合病院）  |
| 8  | 水 | 13:30 第97回十九大都市病院事業主管課長会議（Web）   |
| 9  | 木 | 09:00 接遇研修③（西館12階講堂）   |
| 10 | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>16:00 部門連絡会（西館12階講堂）   |
| 11 | △ |  |
| 12 | ㊤ | 電気設備年次点検   |
| 13 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>19:00 第2回臨床研修管理委員会（西館12階講堂）  |
| 14 | 火 | 09:00 接遇研修④（西館12階講堂）   |
| 15 | 水 | 09:00 接遇研修⑤（西館12階講堂）<br>10:45 特定行為研修選抜試験【筆記】<br>13:30 特定行為研修選抜試験【面接】<br>14:00 静岡市民「からだ」の学校 地域版<br>（井川ヒジターセンター）<br>17:00 第2回地域医療構想調整会議<br>17:45 トリアップ訓練（西館1階外来 他） |
| 16 | 木 | 全国公立病院連盟総会・事務長会・看護部長会合同会議<br>（神戸市・～17日）<br>全国地方独立行政法人病院協議会総会（奈良市・～17日）<br>14:00 看護部会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議  |
| 17 | 金 | 19:00 静岡市民「からだ」の学校 地域版<br>（梅ヶ島生涯学習交流館）   |
| 18 | △ |  |
| 19 | ㊤ | 「ナースのお仕事フェア」（静岡県看護協会）  |
| 20 | 月 | 10:00 経営統括会議   |
| 21 | 火 | 13:30 保健所立入事前書類検査（東館11階多目的室）   |
| 22 | 水 | 13:30 保健所立入訪問検査（西館12階講堂）<br>17:00 運営会議②（西館11階第1会議室）  |
| 23 | 木 | 勤労感謝の日   |
| 24 | 金 | 18:00 救急講演会②（西館12階講堂）  |
| 25 | △ | 第40回 静岡病院看護発表大会（西館12階講堂）   |
| 26 | ㊤ |  |
| 27 | 月 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>13:30 県主催 特定行為研修に係る交流会<br>（県看協第1会議室）  |
| 28 | 火 | 14:00 静岡市民「からだ」の学校 地域版<br>（清沢生涯学習交流館）  |
| 29 | 水 |  |
| 30 | 木 |  |

令和5（2023）年12月

| 日  | 曜 | 行事とその内容  |
|----|---|--|
| 1  | 金 |  |
| 2  | △ |  |
| 3  | ⊕ |  |
| 4  | 月 | 10:00 経営統括会議<br>看護師採用試験⑧   |
| 5  | 火 | 18:00 地域連携勉強会（西館12階講堂）   |
| 6  | 水 | 17:00 運営会議①（西館11階第1会議室）  |
| 7  | 木 | 14:00 看護部会議<br>15:00 第5回理事会（西館11階第1会議室）<br>17:00 病院機能評価受審報告会（西館12階講堂）                              |
| 8  | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>16:00 部門連絡会（西館12階講堂）<br>18:30 厚生会忘年会（グランヒルズ静岡）                             |
| 9  | △ |  |
| 10 | ⊕ |  |
| 11 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>16:00 医療安全講演会（西館12階講堂）   |
| 12 | 火 |  |
| 13 | 水 |  |
| 14 | 木 |  |
| 15 | 金 | 10:00 経営統括会議   |
| 16 | △ | 事務職員採用試験②<br>社会福祉士採用試験   |
| 17 | ⊕ |  |
| 18 | 月 |  |
| 19 | 火 | 17:00 運営会議②（西館11階第1会議室）<br>19:00 中部地区地域エイズ医療関係者研修会<br>・医療対策連絡会（西館12階講堂）                            |
| 20 | 水 |  |
| 21 | 木 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>14:00 看護部会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議<br>18:30 クリスマスコンサート（東館3階ラウンジ） |
| 22 | 金 | 静岡市立静岡看護専門学校就職説明会<br>16:00 院内感染対策研修会（西館12階講堂）<br>18:00 外科専門研修プログラム管理委員会（東館11階C会議室）                 |
| 23 | △ |  |
| 24 | ⊕ |  |
| 25 | 月 | 10:00 経営統括会議   |
| 26 | 火 |  |
| 27 | 水 |  |
| 28 | 木 |  |
| 29 | 金 |  |
| 30 | △ |  |
| 31 | ⊕ |  |

令和6（2024）年1月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | 月 | 元日  |
| 2  | 火 |   |
| 3  | 水 |   |
| 4  | 木 | 08:20 仕事はじめの式（西館12階講堂）<br>14:00 看護部会議                               |
| 5  | 金 | 10:00 経営統括会議  |
| 6  | △ |   |
| 7  | ⊕ |   |
| 8  | 月 | 成人の日  |
| 9  | 火 |   |
| 10 | 水 | 17:00 運営会議①（西館11階第1会議室）<br>18:00 内科カンファレンス（東館11階C会議室）               |
| 11 | 木 |   |
| 12 | 金 | 08:00 診療部会議（西館12階講堂）<br>16:00 部門連絡会（西館12階講堂）                        |
| 13 | △ |   |
| 14 | ⊕ |   |
| 15 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>看護師採用試験⑨<br>17:30 JCEP受審キックオフミーティング（西館12階講堂）        |
| 16 | 火 |   |
| 17 | 水 |   |
| 18 | 木 | 14:00 看護部会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議<br>17:30 院内CPC（西館12階講堂） |
| 19 | 金 |   |
| 20 | △ | 15:00 静岡市医師会研修医を育む会「地域医療懇談会」<br>（静岡市静岡医師会館3階）                       |
| 21 | ⊕ | ナース専科就職説明会（グランシップ）  |
| 22 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>16:00 RPA説明会（西館12階講堂）                               |
| 23 | 火 |   |
| 24 | 水 | 17:00 運営会議②（西館11階第1会議室）   |
| 25 | 木 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議   |
| 26 | 金 |   |
| 27 | △ |   |
| 28 | ⊕ |   |
| 29 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>16:00 医療倫理委員会講演会（西館12階講堂）                           |
| 30 | 火 |   |
| 31 | 水 |   |

令和6（2024）年2月

| 日  | 曜 | 行事とその内容   |
|----|---|---|
| 1  | 木 | 14:00 看護部会議<br>17:30 第1回臨床研修プログラム委員会(西館12階講堂)                                 |
| 2  | 金 |   |
| 3  | △ |   |
| 4  | ⊕ |   |
| 5  | 月 | 看護師採用試験⑩<br>10:00 経営統括会議<br>14:00 公的病院薬剤部局長会議(静岡県立こども病院)                      |
| 6  | 火 | 地方独立行政法人事務責任者会議(～2/7 奈良県)<br>15:00 公的病院協議会 事務長部会(こころの医療センター)                  |
| 7  | 水 | 17:00 運営会議①(西館11階第1会議室)   |
| 8  | 木 | 山梨県立大学看護学部他2校学校訪問   |
| 9  | 金 | 08:00 診療部会議(西館12階講堂)<br>16:00 部門連絡会(西館12階講堂)                                  |
| 10 | △ |   |
| 11 | ⊕ | 建国記念日<br>マイナビ看護学生就職セミナー(グランシップ)   |
| 12 | 月 | 振替休日  |
| 13 | 火 | 16:00 保険診療に関する研修会(西館12階講堂)  |
| 14 | 水 | 18:00 内科カンファレンス(東館11階C会議室)  |
| 15 | 木 | 卒後臨床研修評価機構(JCEP)訪問審査(西館12階講堂他)<br>14:00 看護部会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議 |
| 16 | 金 |   |
| 17 | △ | ナースナビ病院合同就職説明会(浜松・遠鉄ホール)<br>14:00 市民公開講座(西館12階講堂)                             |
| 18 | ⊕ |   |
| 19 | 月 | 10:00 経営統括会議  |
| 20 | 火 | 15:30 公的病院協議会 定例会(静岡県立こども病院)  |
| 21 | 水 | 16:30 DMAT活動報告会(西館12階講堂)<br>19:00 第3回静岡地域医療構想調整会議                             |
| 22 | 木 | 常葉大学看護学科就職説明会<br>17:30 運営会議②(西館12階講堂)   |
| 23 | 金 | 天皇誕生日   |
| 24 | △ |   |
| 25 | ⊕ |   |
| 26 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>16:00 第2回RRT講習会   |
| 27 | 火 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>18:00 夜間消防防災訓練(東7病棟)                                 |
| 28 | 水 |   |
| 29 | 木 | 17:30 院内CPC(西館12階講堂)  |

令和6（2024）年3月

| 日  | 曜 | 行事とその内容  |
|----|---|--|
| 1  | 金 |  |
| 2  | △ |  |
| 3  | ⊕ |  |
| 4  | 月 | 看護師採用試験⑪<br>09:30 県主催中部地区病院見学ツアー(西館12階講堂他)<br>10:00 経営統括会議<br>静岡市立清水看護専門学校就職説明会      |
| 5  | 火 | 15:00 公的病院協議会 事務長部会(静岡赤十字病院)<br>18:00 内科専門研修プログラム管理委員会(西館11階第1会議室)                   |
| 6  | 水 | 17:00 運営会議①(西館11階第1会議室)  |
| 7  | 木 | 14:00 看護部会議<br>16:00 ハラスメント防止研修(西館12階講堂)   |
| 8  | 金 | 08:00 診療部会議(西館12階講堂)<br>16:00 部門連絡会(西館12階講堂)   |
| 9  | △ | マイナビ看護学生就職セミナー沼津(プラザヴェルデ)  |
| 10 | ⊕ |  |
| 11 | 月 | 17:30 特定行為管理・研修運営委員会合同会議(西館12階講堂)  |
| 12 | 火 | 14:30 院内コンサート(西館12階講堂)   |
| 13 | 水 | 18:00 内科カンファレンス(東館11階C会議室)   |
| 14 | 木 | 17:30 院内CPC(西館12階講堂)   |
| 15 | 金 | 10:00 経営統括会議<br>15:00 第6回理事会(西館11階第1会議室)   |
| 16 | △ | 08:30 看護部成果報告会   |
| 17 | ⊕ | 11:00 レジナビフェア2024東京春(東京ビッグサイト)   |
| 18 | 月 | 14:00 看護部会議  |
| 19 | 火 | 13:15 看護部「オープンホスピタル」①<br>17:00 運営会議②(西館11階第1会議室)                                     |
| 20 | 水 | 春分の日   |
| 21 | 木 | 09:30 事業管理部・医事経営部合同会議<br>15:00 医療支援部会議<br>16:00 薬剤部会議<br>19:00 第3回臨床研修管理委員会(西館12階講堂) |
| 22 | 金 | 13:15 看護部「オープンホスピタル」②<br>17:00 臨床研修・専門医研修修了証授与式(西館12階講堂)                             |
| 23 | △ | 08:30 第32回静岡病院ICLSコース  |
| 24 | ⊕ | 12:30 静岡県医師臨床研修・専門医研修病院合同説明会(グランシップ)<br>13:30 病理解剖物故者慰霊式(西館12階講堂)                    |
| 25 | 月 | 10:00 経営統括会議<br>13:15 看護部「オープンホスピタル」③<br>16:00 保険診療に関する研修会(西館12階講堂)                  |
| 26 | 火 | 13:15 看護部「オープンホスピタル」④  |
| 27 | 水 |  |
| 28 | 木 | 13:15 看護部「オープンホスピタル」⑤  |
| 29 | 金 | 13:15 看護部「オープンホスピタル」⑥  |
| 30 | △ |  |
| 31 | ⊕ |  |

# 管 理 業 務

總 務 課  
人 事 課  
施 設 課

病院運営機関・各種業務委員会



## 総務課

### 1) 総務・企画係

総務・企画係は、当院の法人理事会の運営（下表参照）、中期計画・年度計画の進捗管理、経営統括会議、病院運営会議等の運営、病院内の事務・文書管理の取りまとめ及び広報活動などを実施している。

令和5年度においては、静岡市民「からだ」の学校を

市街地及び中山間地で開催し、さらに市民出前講座を実施するなど、一般市民に向けて各種医療知識の普及や当院の事業のPRを行った。

また、病院機能評価の受審にあたっては、院内のとりまとめを行った。

今後も、病院内外からの情報収集を行い、効率的で適正な事務処理が遂行できるように努めるとともに、各種広報活動を通して病院事業の積極的な発信を行っていく。

#### 令和5年度地方独立行政法人静岡市立静岡病院理事会開催実績

| 開催日                            | 議事事項  | 審議結果                 |
|--------------------------------|---|----------------------|
| 第1回<br>令和5年4月25日               | 審議事項<br>①地方独立行政法人静岡市立静岡病院組織規程の一部改正について  | 原案どおり議決              |
| 第2回<br>令和5年6月29日               | 審議事項<br>①令和4年度財務諸表等の承認について<br>②令和4年度業務実績報告書の承認について<br>③第2期中期目標期間業務実績報告書の承認について<br>④令和5年度予算の変更について<br>⑤地方独立行政法人静岡市立静岡病院組織規程の一部改正について<br>報告事項<br>①債権の放棄について<br>②内部監査(会計・業務)報告について<br>③訴訟案件について  | 審議事項<br>①～⑤全て原案どおり議決 |
| 第3回<br>(書面開催)<br>令和5年8月17日～21日 | 審議事項<br>①物品調達業務(内視鏡手術支援ロボット)の締結について<br>②令和5年度予算の変更について  | 原案どおり議決              |
| 第4回<br>令和5年9月21日               | 審議事項<br>①令和5年度予算の変更について<br>②地方独立行政法人静岡市立静岡病院役員報酬規程の一部改正について<br>③人事案件について<br>④訴訟案件について   | 原案どおり議決              |
| 第5回<br>令和5年12月7日               | 審議事項<br>①令和5年度予算の変更について<br>②令和6年度予算編成要領について<br>③地方独立行政法人静岡市立静岡病院職員給与規程の一部改正について<br>報告事項<br>①令和5年度上半期の経営状況について<br>②訴訟案件について<br>③医療訴訟案件について   | 審議事項<br>①～③全て原案どおり議決 |
| 第6回<br>令和6年3月15日               | 審議事項<br>①令和5年度予算の変更について<br>②令和6年度計画について<br>③令和6年度予算について<br>④地方独立行政法人静岡市立静岡病院職員就業規則の一部改正について<br>⑤地方独立行政法人静岡市立静岡病院職員給与規程の一部改正について<br>⑥地方独立行政法人静岡市立静岡病院退職手当規程の一部改正について<br>⑦地方独立行政法人静岡市立静岡病院組織規程の一部改正について<br>報告事項<br>①令和5年度決算見込について<br>②労働基準監督署への届出について<br>③専決処分の報告について | 審議事項<br>①～⑦全て原案どおり議決 |



## 2) 経理係

経理係は、当院の出納及び予算・決算に関する業務を担当している。地方独立行政法人移行に伴い、平成28年度決算から地方独立行政法人会計基準に沿った会計規程等を新たに整えて当院の経理を運用している。

令和5年度の決算は、総収益240億82百万円に対し、総費用は239億89百万円であった。

収益については、クリニカルパスの利用増や地域医療連携による早期退院を推進することで在院日数の短縮を図り、救急患者の積極的な受入による新入院患者の確保を進めることなどにより、医業収益全体では前年度に比べ8億32百万円増の210億34百万円となった。このうち入院収益は、4億85百万円増の144億16百万円で、外来収益は、3億20百万円増の62億47百万円であった。

また、補助金等収益は、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補助金の減などにより、12億60百万円減の6億56百万円となった。

費用については、給与費は、給与改定等により、前年度に比べ1億5百万円増の102億50百万円となった。

また、材料費は、手術件数の増加や診療材料及び医薬品の使用額の増加などにより、6億24百万円増の76億7百万円、減価償却費は、総合医療情報システム及びネットワーク機器等の減価償却が進んだものの、内視鏡手術支援ロボットをはじめとする医療機器等の更新を行ったことで、69百万円増の14億45百万円となった。

第3期中期計画期間の初年度となる令和5年度の当期純利益は、前年度に比べ、10億85百万円減の93百万円の黒字となった。

表1 損益計算書

| 科目              | 令和5年度          | 令和4年度          | 増減額             | 構成比率  |       |
|-----------------|----------------|----------------|-----------------|-------|-------|
|                 |                |                |                 | 令和5年度 | 令和4年度 |
|                 | 円              | 円              | 円               | %     | %     |
| 営業収益            | 23,914,669,870 | 24,107,198,085 | △ 192,528,215   | 99.3  | 99.3  |
| 医業収益            | 21,033,952,466 | 20,202,099,743 | 831,852,723     | 87.4  | 83.2  |
| 入院収益            | 14,416,285,743 | 13,931,130,932 | 485,154,811     | 59.9  | 57.4  |
| 外来収益            | 6,246,755,567  | 5,926,470,473  | 320,285,094     | 25.9  | 24.4  |
| その他医業収益         | 401,233,797    | 380,340,553    | 20,893,244      | 1.7   | 1.6   |
| 保険等査定減          | △ 30,322,641   | △ 35,842,215   | 5,519,574       | △0.1  | △0.2  |
| 運営費負担金収益        | 2,119,000,000  | 1,895,000,000  | 224,000,000     | 8.8   | 7.8   |
| 補助金等収益          | 655,653,080    | 1,915,315,684  | △ 1,259,662,604 | 2.7   | 7.9   |
| 寄附金収益           | 9,000          | 10,073,117     | △ 10,064,117    | 0.0   | 0.1   |
| 資産見返運営費負担金戻入    | 767,352        | 767,352        | 0               | 0.0   | 0.0   |
| 資産見返補助金等戻入      | 97,203,604     | 76,212,429     | 20,991,175      | 0.4   | 0.3   |
| 資産見返寄附金戻入       | 7,974,568      | 6,459,223      | 1,515,345       | 0.0   | 0.0   |
| 資産見返物品受贈額戻入     | 109,800        | 1,270,537      | △ 1,160,737     | 0.0   | 0.0   |
| 営業費用            | 22,711,592,340 | 21,877,379,322 | 834,213,018     | 94.7  | 94.7  |
| 医業費用            | 22,282,072,766 | 21,439,571,322 | 842,501,444     | 92.9  | 92.8  |
| 給与費             | 9,854,406,670  | 9,736,643,907  | 117,762,763     | 41.1  | 42.1  |
| 材料費             | 7,607,162,937  | 6,983,601,779  | 623,561,158     | 31.7  | 30.2  |
| 減価償却費           | 1,440,975,500  | 1,372,521,048  | 68,454,452      | 6.0   | 6.0   |
| 経費              | 3,300,546,961  | 3,275,454,838  | 25,092,123      | 13.8  | 14.2  |
| 研究研修費           | 78,980,698     | 71,349,750     | 7,630,948       | 0.3   | 0.3   |
| 一般管理費           | 429,519,574    | 437,808,000    | △ 8,288,426     | 1.8   | 1.9   |
| 給与費             | 395,851,369    | 408,633,164    | △ 12,781,795    | 1.7   | 1.8   |
| 減価償却費           | 3,901,944      | 3,464,787      | 437,157         | 0.0   | 0.0   |
| 経費              | 29,766,261     | 25,710,049     | 4,056,212       | 0.1   | 0.1   |
| 営業利益            | 1,203,077,530  | 2,229,818,763  | △ 1,026,741,233 | —     | —     |
| 営業外収益           | 165,269,236    | 171,356,872    | △ 6,087,636     | 0.7   | 0.7   |
| 運営費負担金収益        | 51,000,000     | 55,000,000     | △ 4,000,000     | 0.2   | 0.2   |
| 財務収益            | 614,964        | 102,914        | 512,050         | 0.0   | 0.0   |
| その他医業外収益        | 113,654,272    | 116,253,958    | △ 2,599,686     | 0.5   | 0.5   |
| 営業外費用           | 1,277,654,114  | 1,223,179,674  | 54,474,440      | 5.3   | 5.3   |
| 財務費用            | 125,632,880    | 137,664,511    | △ 12,031,631    | 0.5   | 0.6   |
| 消費税             | 1,150,415,794  | 1,078,900,852  | 71,514,942      | 4.8   | 4.7   |
| 雑支出             | 1,605,440      | 6,614,311      | △ 5,008,871     | 0.0   | 0.0   |
| 経常利益            | 90,692,652     | 1,177,995,961  | △ 1,087,303,309 | —     | —     |
| 臨時利益            | 2,558,274      | 0              | 2,558,274       | 0.0   | —     |
| 臨時損失            | 131,767        | 116            | 131,651         | 0.0   | 0.0   |
| 当期純利益(または当期純損失) | 93,119,159     | 1,177,995,845  | △ 1,084,876,686 | —     | —     |

表2 貸借対照表

| 科目                 | 令和5年度          | 令和4年度          | 増減額           | 構成比率  |       |
|--------------------|----------------|----------------|---------------|-------|-------|
|                    |                |                |               | 令和5年度 | 令和4年度 |
|                    | 円              | 円              | 円             | %     | %     |
| 資産                 | 23,376,502,733 | 23,737,821,468 | △ 361,318,735 | 100.0 | 100.0 |
| 固定資産               | 11,836,064,411 | 11,603,815,974 | 232,248,437   | 50.6  | 48.9  |
| 有形固定資産             | 11,034,395,021 | 11,276,620,174 | △ 242,225,153 | 47.2  | 47.5  |
| 無形固定資産             | 25,176,040     | 29,422,401     | △ 4,246,361   | 0.1   | 0.1   |
| 投資その他の資産           | 776,493,350    | 297,773,399    | 478,719,951   | 3.3   | 1.3   |
| 流動資産               | 11,540,438,322 | 12,134,005,494 | △ 593,567,172 | 49.4  | 51.1  |
| 現金及び預金             | 7,331,264,167  | 7,429,879,672  | △ 98,615,505  | 31.3  | 31.3  |
| 未収金                | 3,807,333,163  | 4,301,360,481  | △ 494,027,318 | 16.3  | 18.1  |
| 医薬品                | 248,363,476    | 234,797,093    | 13,566,383    | 1.1   | 1.0   |
| 診療材料               | 132,016,249    | 149,074,172    | △ 17,057,923  | 0.6   | 0.6   |
| 貯蔵品                | 89,081         | 99,140         | △ 10,059      | 0.0   | 0.0   |
| 前払金                | 17,410,069     | 15,357,552     | 2,052,517     | 0.1   | 0.1   |
| その他流動資産            | 3,962,117      | 3,437,384      | 524,733       | 0.0   | 0.0   |
| 負債及び純資産            | 23,376,502,733 | 23,737,821,468 | △ 361,318,735 | 100.0 | 100.0 |
| 負債                 | 14,425,982,346 | 14,880,420,240 | △ 454,437,894 | 61.7  | 62.7  |
| 固定負債               | 10,966,203,426 | 11,514,248,637 | △ 548,045,211 | 46.9  | 48.5  |
| 資産見返負債             | 394,128,319    | 389,480,643    | 4,647,676     | 1.7   | 1.6   |
| 長期借入金              | 600,000,000    | 600,000,000    | 0             | 2.6   | 2.5   |
| 移行前地方債償還債務         | 4,168,815,037  | 4,455,970,271  | △ 287,155,234 | 17.8  | 18.8  |
| 退職給付引当金            | 4,964,091,307  | 4,856,187,331  | 107,903,976   | 21.2  | 20.5  |
| リース債務              | 838,365,763    | 1,212,610,392  | △ 374,244,629 | 3.6   | 5.1   |
| その他固定負債            | 803,000        | 0              | 803,000       | 0.0   | 0.0   |
| 流動負債               | 3,459,778,920  | 3,366,171,603  | 93,607,317    | 14.8  | 14.2  |
| 一年以内返済予定長期借入金      | 300,000,000    | 300,000,000    | 0             | 1.3   | 1.3   |
| 一年以内返済予定移行前地方債償還債務 | 287,155,234    | 281,060,546    | 6,094,688     | 1.2   | 1.2   |
| 未払金                | 1,734,046,844  | 1,688,140,919  | 45,905,925    | 7.4   | 7.1   |
| 未払消費税等             | 4,089,400      | 10,296,800     | △ 6,207,400   | 0.0   | 0.0   |
| 未払費用               | 94,497,274     | 91,394,997     | 3,102,277     | 0.4   | 0.4   |
| 賞与引当金              | 510,450,441    | 493,494,140    | 16,956,301    | 2.2   | 2.1   |
| 一年以内支払予定リース債務      | 374,244,629    | 367,879,541    | 6,365,088     | 1.6   | 1.5   |
| その他流動負債            | 155,295,098    | 133,904,660    | 21,390,438    | 0.7   | 0.6   |
| 純資産                | 8,950,520,387  | 8,857,401,228  | 93,119,159    | 38.3  | 37.3  |
| 資本金                | 4,919,483,623  | 4,919,483,623  | 0             | 21.1  | 20.7  |
| 設立団体出資金            | 4,919,483,623  | 4,919,483,623  | 0             | 21.1  | 20.7  |
| 剰余金                | 4,031,036,764  | 3,937,917,605  | 93,119,159    | 17.2  | 16.6  |
| 利益剰余金              | 4,031,036,764  | 3,937,917,605  | 93,119,159    | 17.2  | 16.6  |

表3 固定資産明細書

| 資産の種類  | 期首残高           | 当期増加額         | 当期減少額       | 期末残高           | 減価償却累計額       |               | 差引当期末残高        |
|--------|----------------|---------------|-------------|----------------|---------------|---------------|----------------|
|        |                |               |             |                | 当期償却額         |               |                |
|        | 円              | 円             | 円           | 円              | 円             | 円             | 円              |
| 土地     | 3,001,110,000  | —             | —           | 3,001,110,000  | —             | —             | 3,001,110,000  |
| 建物     | 7,908,888,787  | 309,701,959   | —           | 8,218,590,746  | 3,486,686,198 | 463,710,592   | 4,731,904,548  |
| 構築物    | 30,900,000     | 3,200,000     | —           | 34,100,000     | 25,439,915    | 1,698,065     | 8,660,085      |
| 器械備品   | 6,152,308,465  | 922,387,483   | 320,748,926 | 6,753,947,022  | 4,567,155,770 | 629,700,495   | 2,186,791,252  |
| 車両     | 24,298,613     | —             | —           | 24,298,613     | 14,008,884    | 4,257,818     | 10,289,729     |
| リース資産  | 2,024,390,520  | —             | —           | 2,024,390,520  | 953,151,113   | 337,124,948   | 1,071,239,407  |
| 建設仮勘定  | 65,290,910     | 160,990,049   | 201,880,959 | 24,400,000     | —             | —             | 24,400,000     |
| 電話加入権  | 163,500        | —             | —           | 163,500        | —             | —             | 163,500        |
| ソフトウェア | 42,087,767     | 3,919,165     | —           | 46,006,932     | 21,214,392    | 8,385,526     | 24,792,540     |
| 長期貸付金  | 297,303,399    | 72,300,000    | 93,430,049  | 276,173,350    | —             | —             | 276,173,350    |
| その他    | 470,000        | —             | 150,000     | 320,000        | —             | —             | 320,000        |
| 計      | 19,547,211,961 | 1,472,498,656 | 616,209,934 | 20,403,500,683 | 9,067,656,272 | 1,444,877,444 | 11,335,844,411 |

表4 キャッシュ・フロー計算書

| 科目                 | 令和5年度            | 令和4年度            | 増減額             |
|--------------------|------------------|------------------|-----------------|
|                    | 円                | 円                | 円               |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー   | 2,087,732,740    | 2,235,720,650    | △ 147,987,910   |
| 材料の購入による支出         | △ 8,418,027,366  | △ 7,650,083,589  | △ 767,943,777   |
| 人件費支出              | △ 10,180,860,700 | △ 10,083,888,042 | △ 96,972,658    |
| その他の業務活動による支出      | △ 3,645,286,726  | △ 3,591,720,007  | △ 53,566,719    |
| 医業収入               | 20,924,455,863   | 20,006,879,717   | 917,576,146     |
| 運営費負担金収入           | 2,170,000,000    | 1,950,000,000    | 220,000,000     |
| 補助金等収入             | 1,250,139,597    | 1,621,388,828    | △ 371,249,231   |
| 寄附金収入              | 9,000            | 10,073,117       | △ 10,064,117    |
| その他の業務活動による収入      | 113,202,569      | 112,175,888      | 1,026,681       |
| 利息及び配当金の受取額        | 208,208          | 125,432          | 82,776          |
| 利息の支払額             | △ 126,107,705    | △ 139,230,694    | 13,122,989      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー   | △ 1,537,933,127  | 1,014,670,731    | △ 2,552,603,858 |
| 定期預金の戻入による収入       | 100,000,000      | 2,000,000,000    | △ 1,900,000,000 |
| 定期預金の預入による支出       | △ 100,000,000    | 0                | △ 100,000,000   |
| 投資その他資産の取得による支出    | △ 500,000,000    | 0                | △ 500,000,000   |
| 有形固定資産の取得による支出     | △ 1,153,463,835  | △ 978,077,931    | △ 175,385,904   |
| 無形固定資産の取得による支出     | △ 10,482,081     | △ 5,053,033      | △ 5,429,048     |
| 貸付金の回収による収入        | 30,280,049       | 34,815,695       | △ 4,535,646     |
| 貸付けによる支出           | △ 72,300,000     | △ 67,650,000     | △ 4,650,000     |
| 預かり保証金による収入        | 3,355,000        | 0                | 3,355,000       |
| 預かり保証金払出しによる支出     | △ 1,078,260      | △ 25,278,000     | 24,199,740      |
| 補助金等収入             | 165,756,000      | 55,914,000       | 109,842,000     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー   | △ 648,415,118    | △ 645,013,557    | △ 3,401,561     |
| 長期借入れによる収入         | 300,000,000      | 300,000,000      | 0               |
| 長期借入金の返済による支出      | △ 300,000,000    | △ 300,000,000    | 0               |
| 移行前地方債償還債務の償還による支出 | △ 281,060,546    | △ 275,095,296    | △ 5,965,250     |
| リース債務の返済による支出      | △ 367,354,572    | △ 369,918,261    | 2,563,689       |
| 資金増加額(または減少額)      | △ 98,615,505     | 2,605,377,824    | △ 2,703,993,329 |
| 資金期首残高             | 7,429,879,672    | 4,824,501,848    | 2,605,377,824   |
| 資金期末残高             | 7,331,264,167    | 7,429,879,672    | △ 98,615,505    |

期首及び期末時点で運用中の定期預金は、資金期首残高及び期末残高に含まない。

表5 年度別経営収支 (令和元年度～令和5年度)

| 年度  | 収入             |       | 支出             |       | 損益            |
|-----|----------------|-------|----------------|-------|---------------|
|     | 決算額            | 趨勢比   | 決算額            | 趨勢比   |               |
|     | 円              | %     | 円              | %     | 円             |
| 令和元 | 20,568,663,138 | 100.0 | 20,545,855,954 | 100.0 | 22,807,184    |
| 令和2 | 22,083,553,096 | 107.4 | 20,861,709,065 | 101.5 | 1,221,844,031 |
| 令和3 | 23,485,993,551 | 114.2 | 22,290,249,716 | 108.5 | 1,195,743,835 |
| 令和4 | 24,278,554,957 | 118.0 | 23,100,559,112 | 112.4 | 1,177,995,845 |
| 令和5 | 24,082,497,380 | 117.1 | 23,989,378,221 | 116.8 | 93,119,159    |

表6 経営分析緒値

| 分析項目 |               |     | 分析項目   |    |              |       |
|------|---------------|-----|--------|----|--------------|-------|
| 1    | 総収支比率         | (%) | 100.4  | 10 | 平均在院日数 (日)   | 10.6  |
| 2    | 経常収支比率        | (%) | 100.4  |    |              |       |
| 3    | 医業収支比率        | (%) | 94.4   | 11 | 診療収入に対する構成比率 |       |
| 4    | 運営費負担金比率      | (%) | 9.0    |    | 投薬収入 (%)     | 3.6   |
| 5    | 職員給与比率        | (%) | 46.8   |    | 注射収入 (%)     | 10.3  |
| 6    | 病床稼働率         | (%) | 80.4   |    | 検査収入 (%)     | 6.5   |
| 7    | 外来入院患者比率      | (%) | 170.6  |    | X線収入 (%)     | 5.0   |
| 8    | 1日平均患者数       |     |        |    | 処置・手術収入 (%)  | 30.6  |
|      | 入院            | (人) | 407    | 12 | 流動比率 (%)     | 333.6 |
|      | 外来            | (人) | 1,046  | 13 | 自己資本構成比率 (%) | 38.3  |
| 9    | 患者1人1日あたり診療収入 |     |        | 14 | 資金不足比率 (%)   | -     |
|      | 入院            | (円) | 96,807 | 15 | 固定比率 (%)     | 132.2 |
|      | 外来            | (円) | 24,586 |    |              |       |

### 3) 情報係

情報係は、院内情報システム及びネットワークの管理を行っている。

院内情報システム管理では、総合医療情報システム及び事務系システムの運用管理を行い、ネットワークの運用管理では、医療情報系及び事務系ネットワークの他に、公衆無線LANの運用管理を行っている。

また、各種システムの導入・変更時の相談や調整、パソコン配備・修繕を随時行っている。

## 人事課

人事課の業務は、職員の任免・服務・給与その他勤務条件、職員の採用、職員の給与の支給、職員の研修、職員の安全衛生、職員の福利厚生に関する業務が主なものである。

### 1) 人事係

人事係は、職員の任免・服務等に関する業務を行った。令和5年度は、職員の増員、医療従事者の勤務負担の軽減、柔軟な勤務形態の整備等を行い、翌年度から開始される「医師の働き方改革」に向けて職場環境の整備に努めた。

### 2) 給与・厚生係

給与・厚生係は、主に正規職員及びパート職員に対する毎月の給与や年間2回（6月、12月）の賞与、外部の応援医師に対する報酬の支給事務のほか、静岡市の制度に準じた給与改定を行った。また、職員健康診断の実施、市町村共済組合や職員互助会に関する事務を行った。

令和5年度は、医師の働き方改革開始に向け、医師労働時間短縮計画を始め、必要な各種書類を作成し、評価センターによる「医師の労働時間短縮の取組」について審査を受けた。その後、審査結果を受け、静岡県へ特定労務管理対象機関の指定申請を行い、2024年4月の医師の働き方改革の開始までにすべての手続きを完了した。

### 職種別職員数推移

(各年4/1現在)

| 職種      | 職員数  |         |         | 増減<br>(B)－(A) |
|---------|------|---------|---------|---------------|
|         | 令和3年 | 令和4年(A) | 令和5年(B) |               |
| 医師      | 167  | 167     | 172     | 5             |
| 看護師     | 546  | 556     | 545     | -11           |
| 薬剤師     | 37   | 38      | 38      | 0             |
| 理学療法士   | 17   | 17      | 18      | 1             |
| 作業療法士   | 5    | 5       | 5       | 0             |
| 言語聴覚士   | 6    | 5       | 5       | 0             |
| 診療放射線技師 | 35   | 35      | 35      | 0             |
| 臨床検査技師  | 42   | 41      | 40      | -1            |
| 臨床工学技士  | 19   | 20      | 18      | -2            |
| 管理栄養士   | 9    | 9       | 10      | 1             |
| 視能訓練士   | 2    | 2       | 2       | 0             |
| 歯科衛生士   | 0    | 2       | 2       | 0             |
| 事務等     | 69   | 72      | 73      | 1             |
| 合計      | 954  | 969     | 963     | -6            |

## 施設課

施設課の業務は、事業資産の取得、管理及び処分、施設及び設備の維持管理、物品の調達及び管理、病院の防災及び消防計画に関する業務が主なものである。

### 1) 施設係

今年度は病院施設の機能向上、維持管理、修繕等を主業務として実施した。

資本的支出（100万円以上）が28件金額約26,730万円、収益的支出として小額修繕（100万円未満）が218件金額約6,260万円、高額修繕（100万円以上）が23件金額約7,710万円である。修繕業務の実施に当たっては現場調査及び担当者とのヒアリングより、修繕業務の優先順位付けを行い効率的に修繕を行っている。

大型工事として、西館5階手術室等増設工事、西館2・3号機エレベーターリニューアル工事、西館4階陣痛室等改修工事などを行った。

光熱水費は約45,200万円であり、前年に比べ約14,800万円（前年度比の約25%減）減少した。電気代（前年度比の約28%減）及びガス代（前年度比22%減）が減少しており、主な要因は国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」により電気料金の燃料調整費やガス料金単価が下がったためである。

業務委託は電気設備・空調設備・消防設備・昇降機等保守管理業務の他、清掃業務、駐車場管理業務など53件約33,823万円である。（前年度51件、約32,528万円）

病院内から排出される産業廃棄物は、全体で約379.0万リットル（前年度369.8万リットル、102%増）で前年度と同程度あった。

#### 令和5年度 大型工事・修繕（1件、500万円以上）

| 事業名                   | 請負人             | 請負金額(円)     |
|-----------------------|-----------------|-------------|
| 西館5階手術室等増設工事          | 木内建設(株)         | 199,526,800 |
| 西館2・3号機エレベーターリニューアル工事 | (株)日立ビルシステム中部支社 | 34,980,000  |
| 西館4階陣痛室等改修工事          | (株)フジコム         | 17,007,100  |
| 昇降機設備定期修繕業務           | (株)日立ビルシステム中部支社 | 5,280,000   |
| 経営課執務室内装修繕            | 大和建设(株)         | 6,116,000   |
| 合計金額                  |                 | 262,909,900 |

#### 令和5年度 小額外注修繕（100万円以下）

| 業種 | 件数    | 金額比率(%)    | 業種      | 件数    | 金額比率(%)   |            |
|----|-------|------------|---------|-------|-----------|------------|
| 建築 | 79    | 42.1%      | 衛生      | 28    | 9.4%      |            |
|    | 金額(円) | 26,393,333 |         | 金額(円) | 5,898,420 |            |
| 電気 | 56    | 22.3%      | 消防・防災   | 7     | 3.3%      |            |
|    | 金額(円) | 13,949,210 |         | 金額(円) | 2,090,000 |            |
| 空調 | 40    | 18.4%      | 昇降機等その他 | 8     | 4.5%      |            |
|    | 金額(円) | 11,507,320 |         | 金額(円) | 2,800,600 |            |
|    |       |            | 総件数     | 218件  | 総金額(円)    | 62,638,883 |

令和5年度 光熱水費

| 種 類 | 金 額(円)      |
|-----|-------------|
| 電 気 | 247,839,619 |
| 水 道 | 26,944,235  |
| ガ ス | 177,344,162 |
| 合 計 | 452,128,016 |

令和5年度 委託料

| 委託 種類      | 件数  | 金 額(円)      |
|------------|-----|-------------|
| 設備機器保守点検業務 | 32件 | 115,864,100 |
| 清掃業務       | 7件  | 71,677,750  |
| 駐車場管理業務    | 3件  | 24,043,800  |
| その他委託業務    | 11件 | 126,650,068 |
| 合 計        | 53件 | 338,235,718 |

令和5年度 産業廃棄物処理実績 (数量)

| 種 類  | 廃棄物の内容                            | 処理量(リットル) |
|------|-----------------------------------|-----------|
| 感染性  | 人工腎臓用血液回路、点滴セット、ビニルチューブ、プラスチック製品等 | 2,674,560 |
|      | 注射針、注射器、ビニルチューブ、廃培地など             | 237,110   |
|      | 小 計                               | 2,911,670 |
| 非感染性 | プラスチック製品、ガラス屑等                    | 730,681   |
|      | キシロール製品等                          | 1,404     |
|      | 小 計                               | 732,085   |
| 安 定  | 金属性ベット、ギプス、金属、陶磁器屑、石膏             | 145,819   |
| 合 計  |                                   | 3,789,574 |

## 2) 物品係

病院が医療サービスを提供するために必要なあらゆる物品を調達するなど、各部門の業務を支援している。

- 1 医療機器の購入契約、支払事務
- 2 固定資産台帳の作成、除却事務
- 3 薬品の購入契約、支払事務
- 4 診療材料の購入契約、供給及び支払事務
- 5 薬品・診療材料のたな卸し業務
- 6 医療用備品及び庁用器具備品の購入契約、支払事務
- 7 文房具、雑貨等の消耗品並びに印刷物の購入契約、供給及び支払事務

- 8 医療器械器具等の修理及び保守契約事務
- 9 在宅医療に関する機器の賃借契約、支払事務
- 10 不用品の売却・処分
- 11 治験契約事務及び治験費物品購入、外部審査委員等への支払事務
- 12 その他の物品等の調達・契約事務

以上の主な業務について、情報収集を行い物品を安価で購入し、病院経営の一助となるように努めている。

令和5年度 器械及び器具購入の概況（1件1,000万円以上のもの）

| 器械名                   | 部門名       |
|-----------------------|-----------|
| 内視鏡手術支援ロボット           | 手術室       |
| 移動型2方向X線透視装置          | 整形外科      |
| 手術用顕微鏡                | 脳神経外科     |
| 注射薬自動払出装置             | 薬剤科       |
| エキシマレーザー血管形成装置        | 心臓血管外科    |
| 多人数用透析液供給装置           | 腎臓内科      |
| 白内障手術システム             | 眼科        |
| 大動脈内バルーンポンプ           | 循環器内科     |
| 微生物分類同定分析装置           | 検査技術科     |
| アーム型X線CT診断装置          | 口腔外科      |
| マンモグラフィ画像診断ワークステーション  | 放射線技術科    |
| FPD搭載移動型Cアーム装置        | 手術室       |
| 無影灯                   | 臨床工学科     |
| 超音波画像診断装置             | 循環器内科、小児科 |
| MRI-USフュージョン前立腺生検システム | 泌尿器科      |
| 関節鏡システム               | 整形外科      |
| 内視鏡用超音波観測装置システム       | 呼吸器内科     |
| 消化器内視鏡システム            | 消化器内科     |
| 電動リモートコントロールベッド       | 看護部       |
| ベッドサイドモニタその1          | 臨床工学科     |
| 超音波画像診断装置             | 検査技術科     |
| ベッドサイドモニタその2          | 臨床工学科     |
| 呼吸器外科内視鏡システム          | 呼吸器外科     |

令和5年度 薬品購入額上位10品目

| 品名                   | 数量   |
|----------------------|------|
| キイトルーダ点滴静注100mg      | 945瓶 |
| テセントリク点滴静注1200mg     | 327瓶 |
| オブジーボ点滴静注240mg       | 369瓶 |
| ヘムライブラ皮下注150mg       | 89瓶  |
| イミフィンジ点滴静注500mg      | 272瓶 |
| ヘムライブラ皮下注105mg       | 97瓶  |
| ステララ皮下注45mgシリンジ0.5mL | 241筒 |
| イクスタンジ錠80mg          | 501箱 |
| レプラミドカプセル5mg         | 188箱 |
| マヴィレット配合錠            | 80箱  |

薬品購入品目数 2,498品（薬品1,777品、試薬721品）  
（薬品執行額 3,934,354千円の27.34%）

令和5年度 診療材料購入額上位10品目

| 品名                               | 数量      |
|----------------------------------|---------|
| サピエン3 Ultra RESILIAシステム          | 56セット   |
| Evolut FX                        | 26セット   |
| TactiFlex SEイリゲーションカテーテル         | 173本    |
| Azure XT DR MRI                  | 88個     |
| THERMOCOOL SMARTTOUCH SFカテーテル    | 152本    |
| BeeAT                            | 270本    |
| ArcticFrontAdvance冷凍アブレーションカテーテル | 89本     |
| Advisor HDグリッドマッピングカテーテルSE       | 140本    |
| ディスプレイオキシプローブ 生体情報モニター用          | 16,104本 |
| SOUNDSTAR ecoカテーテル               | 139本    |

診療材料購入品目数 5,903品目  
（診療材料費執行額 3,623,981千円の21.93%）



## 病院運営機関・各種業務委員会

### 経営統括会議

目的 理事会の議事事項や法人の組織及び人事並びに財務等、法人の経営上の重要事項について迅速な意思決定を行う。

構成 小野寺知哉、前田明則、平松以津子、山田 孝、深澤誠司、大畑和弘、小長井健司、小林恵美子

幹事 長谷川 智、納本直重

開催日 随時開催（令和5年度は計46回開催）。

### 病院運営会議

目的 病院運営の方針に係る事項についての報告、検討、決定を行う。

（経営統括会議の所掌事項の決定を除く）

構成 小野寺知哉、前田明則、平松以津子、大畑和弘、山田 孝、深澤誠司、縄田隆三、水野薫子、前田賢人、田村尚久、佐野倫生、青山治子、望月英明、増田秀道、小長井健司、小林恵美子、浅場浩樹、竹下賢一、吉田多加貢、傳刀啓至、竹田憲司、望月公次郎

幹事 松野謙次、長谷川 智、安藤吉尊、納本直重

開催日 原則、毎月第1と第3水曜日に定例開催した。

### 診療部会議

目的 病院運営会議での意思決定事項の伝達及び医療上の必要事項について協議する。

構成 小野寺知哉、山田 孝、前田明則、深澤誠司、縄田隆三、水野薫子、前田賢人、田村尚久、佐野倫生、村田耕一郎、中井真尚、三岡 博、小柳津竜樹、田中俊夫、濱村啓介、宇佐美 論、松本芳博、岩井一也、五十嵐健康、中村幸治、富田浩一、土屋恭子、森木 睦、金 大志、野口哲哉、李 相沅、池上 聰、大山巖雄、玉里順子、渡邊 出、森木利昭、飯塚裕介

開催日 毎月1回目の病院運営会議開催直後の金曜日に定例開催した。

### 病院部門連絡会

目的 病院運営会議での意思決定事項の伝達等を行い、病院の円滑な運営を図る。

構成 青山治子、井上暢子、市川昭美、鈴木公子、土田裕美、澤口展子、榎本康世、福田彩子、榛葉亜矢子、齋藤輝乃、大石千晴、鍋田 泉、花村多美子、山本聖子、朝比奈ひろみ、吉井葉末、後藤 薫、上野山良子、河合王明、坂上朋子、原木久美、神保聡子、前島秀美、坂本美志、望月英明、園田幸弘、塚本剛生、

小山暢之、伊藤 弘、鈴木芳治、高木聡子、増田秀道、大隅 進、澤井 龍、後藤善人、榎永大二郎、三浦 篤、松本和恵、乙丸 亨、望月 緑、堂本浩二、井出雅子、新村喜明、杉山弥生、加茂川暢彦、佐野史江、風間文美代、山内浩之、篠原宏幸、中沢 稔、田中伸明、大柴麗子、大川 恵、川村雅之、望月公次郎、竹田憲司、小長井健司、浅場浩樹、松野謙次、長谷川 智、安藤吉尊、後藤真司、松下義弘、竹下賢一、宇佐美哲也、野村健一、吉田多加貢、池田逸作、江上芳郎、小林恵美子、石川和俊、傳刀啓至、太田吉彦、大倉瑞穂、佐藤友香

幹事 長谷川 智、安藤吉尊

開催日 毎月1回目の病院運営会議開催直後の金曜日に定例開催した。

### 個人情報保護委員会

目的 静岡病院における個人情報の保護を推進すること

委員長 平松以津子

副委員長 深澤誠司、小長井健司

委員 大畑和弘、山田 孝、中井真尚、榎本康世、北島真利子、高村比路華、梅田智之、松野謙次、長谷川 智、片平茉衣子、江上芳郎、大塚 論、海野千晶

幹事 安藤吉尊

開催記録

令和5年4月20日

- 1 個人情報保護規程の改正について
- 2 年間スケジュールについて
- 3 現場における個人情報の具体的な取扱いの内容について

令和5年6月15日

- 1 現場における個人情報の具体的な取扱いに係る意見の集約及び改訂について
- 2 令和4年度の取組内容について

令和5年9月7日

- 1 個人情報保護に関する基本手引及び現場における個人情報の具体的な取扱いの改正について
- 2 令和5年度個人情報保護研修について

令和5年12月14日

- 1 個人情報保護重点取組月間について
- 2 個人情報保護院内ラウンドについて

令和6年3月21日

- 1 令和5年度の活動報告について
- 2 令和6年度の活動について

講演会等

情報セキュリティ・個人情報保護講演会

令和5年9月29日

テーマ 「サイバーセキュリティと個人情報保護  
～情報漏洩を防ぐ～」

講師 SOMPOリスクマネジメント(株)  
医療・介護コンサルティング部 上級コン  
サルタント 山崎堅司氏

個人情報保護院内ラウンド

令和6年1月31日・2月1日・2日

対象：看護部、施設課、医療支援部

総括コメント

令和5年度は、静岡県個人情報保護条例の全部改正（新  
条例制定）に伴い、当院の個人情報保護規程の改正を行っ  
た。9月に関連マニュアル等の改訂を実施し、チェック  
シートを導入するなど、職員一人ひとりのセルフチェッ  
クに資する内容とした。

これらの改訂したマニュアル等を踏まえ、令和6年1  
月～2月の2か月間を「重点取組月間」とし、部署別に個  
人情報保護の目標と取組内容を定め活動した。具体的  
には、データ等の持ち出し時の手順の徹底、プリンターに  
出力した印刷物の放置防止など、各部署がチェックシ  
ートを活用しながら実情に応じて考えた目標を定め、自  
発的に活動を行った。

また、期間中に、一部の部署において委員会メンバ  
ーによる個人情報保護院内ラウンドを実施し、院内にお  
ける個人情報の取扱い状況の確認と課題の抽出を行い、さ  
らに対策を進めた。

なお、令和5年度の個人情報保護研修は、電算委員会  
との共催による情報セキュリティ・個人情報保護講演会  
として開催し、前年度に引き続き山崎堅司氏を講師に招  
き、院外からのサイバー攻撃に対応する情報セキュリティ  
も含め、個人情報等重要資産漏えい時の影響と対策を学  
んだ。（参加人数817名）

今後も引き続き、個人情報保護に関する院内の運用の  
改善及び職員の意識向上を図っていく。

（平松以津子）

## 広報委員会

目的 地方独立行政法人静岡市立静岡病院における広  
報を推進する。

委員長 前田明則

副委員長 佐野倫生、松野謙次

委員 五十嵐健康、市川昭美、後藤 薫、高木聡子、  
楠山美保、森下克己、明田弥生、安藤吉尊、  
望月敬太、飯田薫理

幹事 高橋美乃莉

開催記録

第1回 令和5年6月14日

1. 広報委員会の設置要綱の制定について
2. 令和5年度広報年間計画について

3. 広報誌「体温計」の掲載について

第2回 令和5年7月24日

1. 「からだ」の学校のメインテーマについて
2. 報道資料の提供について
3. ホームページの更改について
4. 広報紙「体温計」について

第3回 令和5年12月25日

1. 広報紙「体温計」冬号について
2. 外来に展示されている絵画について
3. ホームページ トップページのメイン画像につ  
いて

第4回 令和6年3月18日

1. 広報紙「体温計」春号について
2. 令和6年度の掲載候補（メインテーマ）について
3. 令和6年度の広報年間計画について
4. 外来展示絵画及び機械室保管絵画について

総括コメント

当委員会は当院の広報を推進することを目的に設置さ  
れた委員会であり、具体的には、静岡市民「からだの学  
校」、広報誌「体温計」、病院ホームページなどの広報活  
動の総括的な部分を担当している。

COVID-19感染の影響で開催を見送っていた静岡市民  
「からだ」の学校については、昨年度3年ぶりに開催し、  
今年度も10月22日にしずぎんホール「ユーフォニア」に  
おいて、「肩・肘・手外科センター ～上肢の障害とスポ  
ーツ傷害～」をテーマに、新設された肩・肘・手外科セン  
ターの医師および作業療法士、管理栄養士が講演を行っ  
た。211名の市民の皆様にご参加いただいた。

広報誌「体温計」は夏号と冬号を発行した。夏号では  
リソースナースを、また冬号では肩・肘・手外科センター、  
おなかのヘルニアセンターを特集した。

病院広報におけるホームページの重要性は近年ます  
ます高まっており、今年度もホームページの更改作業を行  
った。各部署のホームページ内容の更新に加え、トップペ  
ージの写真の変更なども行った。今後もさらなる充実を図  
っていきたい。

これからも市民の皆様にご来院の活動を伝えるとともに、  
健康や疾病に関する情報をわかりやすくタイムリーに発  
信できるよう取り組んでいきたい。

（前田明則）

## ボランティア委員会

目的 静岡病院におけるボランティアの活動が円滑に  
行われるよう支援する。

委員長 縄田隆三

副委員長 竹下賢一

委員 井上暢子、朝比奈ひろみ、榛葉亜矢子、  
恒川典子、中川和巳、中山綾野、加地 栞

幹事 杉山つかさ

開催記録

◎令和5年6月14日

1. 令和5年度ボランティア委員会の活動予定について
2. 業務分担について
3. ボランティア会員について
4. ボランティア会員の保険加入について

◎令和5年8月23日

1. ボランティア会員活動内容について
2. ボランティア会員の新規募集について
3. ボランティア委員会設置要綱の改正について

◎令和5年11月8日

1. クリスマスコンサートについて
2. ボランティア会員の新規募集ポスターについて

◎令和6年3月4日

1. 静岡病院ボランティア表彰規程について
2. ボランティアミーティング開催について

総括コメント

令和2年3月よりCOVID-19対策としてボランティア会員の活動を自粛していたが、本年5月に5類感染症に移行したことで、院内ボランティア活動を徐々に再開した。以前会員登録をして頂いていた27名に意思確認を行い、7名の方に継続して頂けることとなった。8月の時点で11名の登録となったが、今後院内のポスター掲示などで20名程度まで増員する予定である。

12月には静岡雙葉中学校・高等学校の協力を頂き恒例の院内クリスマスコンサートを実施した。3月の委員会ではボランティア表彰の実施要項改定を行った。

(縄田隆三)

5S委員会

目的 「モノの整理・整頓に取り組むことで業務の効率化、職場間コミュニケーションの活性化を図り、医療サービスの質と職場改善により患者・来院者、職員の満足向上につなげる。」ことを目的とした5S活動を推進する。

委員長 増田秀道

副委員長 佐野倫生、鈴木公子

委員 山田 孝、榎本康世、塚本剛生、松本和恵、袴田知里、石川和俊、安藤吉尊、松田 薫、高木俊維、戸崎誠也

幹事 出井慎也

開催記録

| 回数  | 開催日   | 議 題  |
|-----|-------|--|
| 第1回 | 5月25日 | 新委員について報告<br>令和5年度5S委員会設置要綱の更新について<br>令和5年度5S活動の取り組みについて |

|     |       |                                     |
|-----|-------|-------------------------------------|
| 第2回 | 6月22日 | ベストプラクティス取組事例の広報について<br>5Sパトロールについて |
| 第3回 | 7月20日 | 5Sパトロール進捗状況について                     |
| 第4回 | 8月24日 | 5Sパトロール結果報告について                     |
| 第5回 | 1月25日 | 前回の振り返り<br>保健所立ち入りの指導事項について報告       |

総括コメント

例年、1年を通じて行っている5Sパトロールを今年度は10月の病院機能評価の受審対策として前期に集中して行った。パトロール内容も改善点の指摘を中心に行った。また今年度はベストプラクティス賞の選出は行わなかったものの5S活動に役立てられるよう過去のベストプラクティス賞例を閲覧するよう広報して、参考にしてもらった。また11月に実施された保健所立ち入り検査時の指導事項で放射線撮影室内の不要物、給食配膳車置き床剥がれに関しては、不要物撤去や修繕を指導し実施することができた。

(増田秀道)

地域医療支援委員会

目的 地域の診療所との連携を図ることによって、地域医療に関し必要な支援を適切に行うこと。

委員長 小野寺知哉

委員 山田 孝 前田賢人

外部委員 福地康紀、望月 篤、日野昌徳、大村宗久、望月 亮、田中一成、杉山智彦、菅原清子、田淵榮男

事務局 鈴木公子、坂上朋子、梅田智之

幹事 望月公次郎

開催記録

第1回 令和6年2月8日

議題：病診連携について（兼病診連携協議会）

第2回 令和6年2月8日

議題：地域医療支援病院の要件と実績について（書面審議）

第3回 令和6年2月26日

議題：病院の質の評価の報告（第3者によるもの）（書面審議）

第4回 令和6年3月13日

議題：病院の質の評価の報告（患者満足度調査によるもの）（書面審議）

オープンシステム委員会

目的 オープンシステムの運営上生じた諸問題を解決するため、静岡市静岡医師会、静岡市静岡歯科医師会と協議し、円滑な運営を図る。

委員長 小野寺知哉

委員 山田 孝、前田明則、深澤誠司、縄田隆三、

水野薫子、田村尚久、中井真尚、野口哲哉、  
大山巖雄

外部委員 静岡市静岡医師会役員、

静岡市静岡歯科医師会役員

事務局 鈴木公子、坂上朋子、梅田智之

幹事 望月公次郎

開催記録 招集案件がなかったため開催なし

## 医療安全委員会

目的 医療安全管理体制を確保し、医療事故防止を中心としたリスクマネジメントを推進する。

委員長 縄田隆三

副委員長 佐野倫生

委員 三岡 博、藤井雅人、榎本康世、田中俊夫、  
中井真尚、玉里順子、鈴木公子、大石千晴、  
朝比奈ひろみ、澤口展子、塚本ひとみ、  
望月英明、小山暢之、増田秀道、中沢 稔、  
佐野史江、興津健吾、佐藤七恵、浅場浩樹、  
吉田多加貢、池谷拓巳、島崎早苗、三浦慎也、  
一年次研修医、二年次研修医

幹事 君島鈴奈

### 1. 開催記録

|           |           |
|-----------|-----------|
| 令和5年5月1日  | 令和5年11月6日 |
| 令和5年6月5日  | 令和5年12月4日 |
| 令和5年7月3日  | 令和6年1月15日 |
| 令和5年8月7日  | 令和6年2月5日  |
| 令和5年9月4日  | 令和6年3月4日  |
| 令和5年10月2日 | 令和6年4月8日  |

### 2. 議題

- (1) 作業部会報告
- (2) 事例の原因分析と医療事故防止対策の策定
- (3) レポートの集計報告
- (4) 画像診断・病理診断の未確認報告
- (5) 医療安全管理マニュアルの改定
- (6) その他

### 3. 各作業部会の取組

〈A部会（医療機器等、窒息、誤飲、誤嚥）〉

- ・永久気管孔患者さんの情報共有と対応時の注意を掲載した『永久気管孔 注意喚起カード』を作成し病棟に配布した。また、運用ルールを決定した。

〈B部会（患者誤認）〉

- ・認証システムを調整した。
- ・患者誤認防止強化月間を設定し、患者さんに関する全ての職員を対象に『患者誤認防止セルフチェック』用紙を用いて実施状況を調査した。

〈C部会（輸血、注射）〉

- ・口頭指示による指示内容の変更について、運用ルールを統一した。

- ・スライディングスケールを用いたインスリン投与時、投与量が0単位の場合の認証ルールを統一した。

- ・持続性GLP-1作動薬のオーダーは注射オーダーのみとすることとした。

〈D部会（手術、麻酔、治療・処置）〉

- ・手術の際、情報共有、伝達エラー防止目的にホワイトボードを用いる試行を行った。

〈E部会（転倒・転落）〉

- ・『転倒・転落防止について』の患者セルフチェック用紙を作成した。入院案内に掲載し患者さん入院前の自己チェックを促進した。

〈F部会（ドレーン・チューブ）〉

- ・協力が得られない患者さんの吸引を施行する際は、バイトブロック、マウスピースを使用することとした。嚙まれた場合の対応方法を周知した。
- ・各種ルートの固定方法を提示した。

〈G部会（内服）〉

- ・平日時間外の急を要する内服薬指示変更時の、医師から看護師への伝達ルールを決定した。

〈H部会（検査、食事、離院、その他）〉

- ・院内の基準時間を電子カルテ端末の時間とし、各部署の時計、PHSの時計のズレがないか月1回各部署で確認することとした。中央コントロールされている壁掛け時計にマークを付け、管理元を明確化した。

〈R部会（院内迅速対応システム）〉

- ・RRS対象者を検討した。外来患者さんの対応は担当医師とし、緊急時はドクターハリーコールにて対応することとした。
- ・RRT研修会を開催した。

〈医療安全管理室〉

- ・委員会での決定事項を「医療あんぜん情報」に掲載し、職員への周知を図った。
- ・医療安全管理体制相互評価を開始した。相互に点検、情報交換を行い、指摘事項の改善を図った。

### 4. 医療安全研修会の実施

- ・末梢静脈穿刺の安全対策勉強会（4/11）
- ・深部静脈血栓症（DVT）予防講習会（4/10）
- ・リスクマネージャー説明会（5/16、17、22、23）
- ・インスリン勉強会（6/6）
- ・血糖管理とインスリン療法勉強会「安心安全な血糖管理」（4/24）
- ・第1回医療安全講演会・RRT講習会「Rapid Response System～基礎知識から最近の話題まで～」（8/29）
- ・転倒転落防止研究会（8/9）
- ・血栓塞栓症・抗凝固療法勉強会（10/30）

- ・診療用放射線の安全利用のための研修会（12/4）
- ・第2回医療安全講演会「インフォームドコンセントを考える～自己決定権では何も分からない～」（2/1）

- ・医療安全研究会（3/13）

〈その他〉

- ・新規採用者オリエンテーション
- ・卒後臨床研修
- ・クリニカルラダー看護教育研修（キャリアⅡ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）

## 5. 総括コメント

毎月第1月曜日に定例開催した。危険度3a以下のインシデントレポートに関して各作業部会で検討し、検討した症例と共に立案した対策が委員会で報告された。委員会では、インシデント・アクシデント、転倒転落及び続発症レポートの集計結果も毎月報告された。令和5年度のレポート報告件数は2,702件、そのうち診療部からの報告は195件（7.2%）で年度目標「医師からのインシデント・アクシデントレポート提出率が前年度より増加する」を達成した。

医療安全講演会は例年通り2回開催した。令和5年8月29日には学校法人聖マリアンナ医科大学救急医学内藤貴基先生に「Rapid Response System～基礎知識から最近の話題まで～」と題してご講演いただき、令和6年2月1日には当院顧問弁護士の岡田隆志先生に「インフォームドコンセントを考える～自己決定権では何も分からない～」と題してご講演いただいた。ビデオ上映会とe-learningを通じて100%の職員が受講した。

あんぜん情報誌の発行、深部静脈血栓症予防講習会、インスリン勉強会、血栓塞栓症・抗凝固療法勉強会、転倒転落予防研修会、末梢静脈穿刺勉強会なども例年通り行い、診療用放射線に係る安全管理体制の研修も開催した。医療安全管理研究会では、GRMが活動報告とインシデントレポート集計報告を行い、縄田委員長が「病院機能評価での指摘事項と改善策」というテーマで講演した。

（縄田隆三）

## 院内感染対策委員会

目的 院内における微生物の感染を積極的に防止し、院内衛生管理に万全を期す。

委員長 岩井一也

副委員長 佐野武尚、田中良枝、七丈藍乃（10月～）

委員 小野寺知哉、中井真尚、寺井恭彦、小林敏樹、大山巖雄、青山治子、井上暢子、齊藤輝乃、望月英明、園田幸弘、矢野佳孝、増田秀道、田中伸明、堂本浩二、大隅 進、山内浩之、小長井健司、一年次研修医、二年次研修医

幹事 太田吉彦、島崎早苗

## 開催記録

令和5年4月20日

1. ICT会議の報告について
2. 新採用職員抗体検査について
3. PPEフレームについて

令和5年5月18日

1. ICT会議の報告について
2. 新採用職員抗体検査予算について

令和5年6月15日

1. ICT会議の報告について
2. 曝露事故の取り扱いについて
3. 針刺し事故の患者の血液検査実施同意書について
4. コロナ入院期間中における感染対策期間について
5. 適時調査改善状況について

令和5年7月20日

1. ICT会議の報告について
2. 廃棄物の取り扱いについて

令和5年8月17日

1. ICT会議の報告について
2. 病院機能評価模擬審査の感染対策指導事項について
3. 院内感染対策に関するポスター掲示について

令和5年9月21日

1. ICT会議の報告について
2. 病院機能評価模擬審査の感染対策指導事項改善策について
3. 集中治療室入室時申込書における感染症チェックの簡略化について
4. 院内感染マニュアルの修正案について

令和5年10月12日

1. ICT会議の報告について
2. 院内感染対策研修会について

令和5年11月22日

1. ICT会議の報告について
2. 新採用職員のワクチン接種について
3. 紫外線照射装置「シキブ」について

令和5年12月20日

1. ICT会議の報告について
2. ライトストライクの運用について
3. 感染性廃棄物段ボールの取り扱いについて
4. 職員・入院患者のCOVID-19 インフルエンザの療養期間について

令和6年1月24日

1. ICT会議の報告について
2. マニュアル差し替えについて
3. 感染症発生届に関する電子カルテ「文書作成」機能の追加について
4. 12階感染症病棟の物品管理について

令和6年2月22日

1. ICT会議の報告について
2. プラスチック手袋について
3. アウトブレイクの発生状況について

令和6年3月19日

1. ICT会議の報告について
2. 分注器（ニプロ シュアホルダー）採用決定について
3. 新職員ワクチン接種状況の把握とデータ管理について
4. 12階感染症病棟の物品管理、定数設定について

#### ◎講演会

##### 第1回研修会

開催日：令和5年7月4日

###### (1) 第一部

内容・講師：「薬剤耐性菌対策とCD感染症」・  
薬剤部 園田幸弘技監

###### (2) 第二部

内容：「院内感染対策としてのワクチン接種  
－何ができるか、何をすべきか－」  
講師：静岡厚生病院 小児科診療部長  
田中敏博医師

参加者：1,183人（ビデオ視聴、eラーニング含む）

##### 第2回研修会

開催日：令和5年12月22日

###### (1) 第一部

内容・講師：「抗菌薬を使う時、何を気にしま  
すか？」・薬剤部 矢野佳孝副  
技師長

###### (2) 第二部

内容：「標準予防策－マスクと手洗い－」  
講師：感染管理室 室長 岩井一也医師

参加者：1,156人（ビデオ視聴、eラーニング含む）  
(岩井一也)

#### 災害医療委員会

目的 防火管理業務及び地震防災応急計画について必要な事項を定め、火災・震災・その他の災害を想定した訓練を実施し、人命の安全並びに被害の軽減・防止を図ることを目的とする。

委員長 米沢 圭

副委員長 深澤誠司、吉田多加貢

委員 山田 孝、玉里順子、渡邊 出、三神瑞樹、  
鈴木公子、坂本美志、望月裕一、茶山 宣、  
太田紘之、池田直人、矢野佳孝、小野田博繁、  
三浦 篤、松下義弘、入山雄一郎、太田吉彦、  
大塚 諭、石川和俊、望月 達

オブザーバー 森下克己、佐藤多加夫

幹事 大長弘幸、中村麻衣子

#### 開催記録

令和5年4月5日 新規採用者 防火・防災設備研修開催

第1回：令和5年4月10日

- (1) 令和5年度災害医療委員会作業予定について
- (2) 3月11日実施 情報伝達訓練（緊急連絡メール）の結果報告
- (3) 令和4年度訓練等の検証に対する対応について

第2回：令和5年5月8日

- (1) 災害時医療対応マニュアル（災害時の役割分担）の改訂について
- (2) 非常食の配布について
- (3) 被災患者簡易カルテ（ピンクカルテ）について
- (4) 令和5年2月9日トリアージ訓練時に判明した簡易ベッドの不具合について

第3回：令和5年6月12日

- (1) 停電時対応マニュアルの進捗状況について
- (2) 6月30日情報伝達訓練（緊急連絡メール）について
- (3) 部門別訓練について

令和5年6月30日「緊急連絡メール」情報伝達訓練実施

第4回：令和5年7月10日

- (1) 部門別訓練について
- (2) 6月30日実施 情報伝達訓練（緊急連絡メール）の結果報告
- (3) その他について

第5回：令和5年8月14日

- (1) 部門別訓練（設備支援部門）の訓練報告について
- (2) トリアージ訓練、夜間消防防災訓練の日程について
- (3) 8月24日遺体措置訓練の参加について
- (4) 9月1日情報伝達訓練（緊急連絡メール）について
- (5) 9月15日清水病院病院長による講演会（昨年台風における断水時の対応）について

令和5年9月1日「緊急連絡メール」情報伝達訓練実施

第6回：令和5年9月11日

- (1) 部門別訓練（設備支援部門・給食担当）、遺体措置訓練の訓練報告について
- (2) 11月15日総合防災訓練（トリアージ）について
- (3) 9月1日実施 情報伝達訓練（緊急連絡メール）の結果報告
- (4) その他について

令和5年9月15日 清水病院病院長による講演会

（昨年台風における断水時の対応）

第7回：令和5年10月16日

- (1) 部門別訓練について
- (2) 11月15日総合防災訓練（トリアージ）について

第8回：令和5年11月13日

- (1) 部門別訓練の検証結果の報告について
- (2) 令和5年度静岡県災害医療従事者研修会の参加について

令和5年11月15日 総合防災訓練（トリアージ）実施

第9回：令和5年12月11日

- (1) 部門別訓練の検証結果の報告について
- (2) 2月27日夜間消防防災訓練について
- (3) 1月17日情報伝達訓練（緊急連絡メール）について
- (4) 非常食の配布について

第10回：令和6年1月15日

- (1) 総合防災訓練（トリアージ）の検証結果の報告について
- (2) 2月27日夜間消防防災訓練について
- (3) その他について

令和6年1月17日「緊急連絡メール」情報伝達訓練実施

第11回：令和6年2月19日

- (1) 令和6年度の災害医療委員会活動予定について
- (2) 部門別訓練の検証結果の報告について
- (3) 1月17日実施 情報伝達訓練（緊急連絡メール）の結果報告
- (4) 非常食の配布について
- (5) 令和5年2月9日トリアージ訓練時に判明した簡易ベッドの不具合について
- (6) DMATについて（能登半島地震における活動）

令和6年2月27日 夜間消防防災訓練実施

（出火想定：東館7階）

令和6年3月11日「緊急連絡メール」情報伝達訓練実施

第12回：令和6年3月11日

- (1) 理事長懸案事項について
- (2) 夜間消防防災訓練の報告について
- (3) 部門別訓練の検証結果の報告について
- (4) 3月11日実施 情報伝達訓練（緊急連絡メール）結果の速報について

総括コメント

DMAT活動としては全国・地方とも訓練が再開され令和5年8月29日の県総合防災訓練、10月1日の政府訓練（四国）、10月14～15日の中部ブロック訓練（山梨）に参加した。令和6年元旦に発災した能登半島地震には当院から1月5～9日（能登）、1月20～24日（金沢）、2月16～19日（金沢）で計3隊DMAT隊を派遣した。能登では震災急性期の避難所のスクリーニングや救済物資のロジスティックに従事し、金沢では15次避難施設の運営・入所者の管理を行った。出動時の病院各部署からのご支援に感謝するとともに今後の能登地方の復興を心から祈念する。院内での活動は緊急連絡メールによる情報伝達訓練を計4回行った。メールの登録率・応答率とも改善

している。令和5年9月15日には市立清水病院・上牧務院長に令和4年9月の台風15号による清水病院断水のご経験を講演して頂いた。災害時における病院のインフラ維持に対する多くの示唆を頂いた。令和5年11月15日には院内総合防災訓練（トリアージ訓練）を開催し、多くの職員に積極的に参加頂いた。令和6年2月27日には東7階での出火を想定した夜間消防防災訓練を行った。また、消防出前講座として各病棟に当委員会スタッフが向いて消火器の使用や消防用設備の訓練を行い、計82名の職員に参加頂いた。

令和6年度は災害拠点病院としての能力を維持・向上できるように災害時対応マニュアルの見直しを行う予定である。また、近隣施設との共催での総合防災訓練を計画している。

（米沢 圭）

### 臨床研修管理委員会

目的 臨床研修プログラム委員会で作成・変更された臨床研修プログラムについて、審議・承認するとともに、臨床研修医の募集・採用および修了に関する審議・承認をおこなう。

委員長 小野寺知哉

副委員長 前田明則、縄田隆三

委員 山田 孝、前田賢人、五十嵐健康、米澤真澄、小林敏樹、青山治子、杉山弥生、浅利亜規代、小長井健司

外部委員（協力型臨床研修病院および協力施設の研修実施責任者、行政、有識者）

上牧 務、久保田英司、唐木克二、西村 勉、神田順二、村上直人、仲田和正、田所康之、仲地 健、長島 仁、田中一成、天野功二、表 信吾、影山慎二、門磨義隆、佐々木玲聡、佐野 佑、内田貞輔、小嶋康則、日野佑介、吉井 仁、鈴木研一郎、高木正和、遠藤博之、福地康紀、外山英志、袴田光治、濱本洋輔、三田智子、平野周太、福田明伸、松田昌幸、水谷彰仁、脇理一郎、吹田浩之、成澤央久、小嶋善吉

研修医代表 植田詩門、中山翔也、發田萌里、兼田大暉、鈴木海渡、千貫綾女、板川俊輝、富川紘州、大澤佑輔、鈴木雄介、成岡大樹、嘉陽菜央、佃さゆり、宮地武史、近藤香歩

事務局（幹事） 竹田憲司、池谷綾子、佐藤隆敏、三浦慎也、塚本真弓

開催記録

第1回 令和5年7月10日

議題 1 静岡病院臨床研修プログラムの理念、基本方針、研修体制について

- 2 令和5年度臨床研修状況について
- 3 令和6年度採用臨床研修医の募集等について
- 4 卒後床研修評価機構(JCEP)の受審について
- 5 静岡市立静岡病院臨床研修管理委員会規約の改正について
- 6 意見交換

第2回 令和5年11月13日

- 議題
- 1 令和5年度臨床研修状況実績報告
  - 2 令和5年度研修の評価
  - 3 令和6年度採用に係る令和5年度臨床研修医採用試験の状況
  - 4 令和5年度リクルート活動について他
  - 5 意見交換

第3回 令和6年3月21日

- 議題
- 1 令和5年度臨床研修状況実績報告
  - 2 2年次臨床研修医の進路予定
  - 3 令和5年度リクルート活動実績
  - 4 卒後床研修評価機構(JCEP)訪問調査の受審について
  - 5 令和6年度臨床研修実施計画
  - 6 令和7年度採用(令和6年度試験)臨床研修医募集
  - 7 専門医研修関連事業
  - 8 ・審議事項 2年次研修医に係る修了認定  
・決定事情 2年次研修医12名全員の研修修了を承認する
  - 9 ・審議事項 令和7年度採用(令和6年度試験)臨床研修医の募集定員  
・決定事項 臨床研修医募集定員を13名とする
  - 10 意見交換

#### 総括コメント

外部委員の方々にもご参加いただき、当院の臨床研修プログラム、臨床研修医の採用、修了などにつき審議し、承認された。臨床研修プログラムは教育研修管理センターの努力、委員会各委員の意見により少しずつ改良できていると感じている。

この委員会は臨床研修医代表も参加しており、自分たちが院外の施設も含めたシステム全体で育てられていることを実感してもらえていると思っている。

臨床研修医は今年もフルマッチを続けることができ10年連続フルマッチとなった。当院のプログラムが医学生から評価されていると受け止めている。今後さらに研修医に実力をつけてもらえるようにプログラムの改善を目

指していく。

(小野寺知哉)

#### 臨床研修運営委員会

目的 静岡市立静岡病院における臨床研修の円滑な運営をおこなうことを目的に設置する。

委員長 前田明則

副委員長 縄田隆三、前田賢人

委員 田村尚久、岩井一也、濱村啓介、五十嵐健康、渡邊 出、玉里順子、米澤真澄、米沢 圭、藤井雅人、澤田智一、野村亮太、野島陽一、小林敏樹、土田裕美、榎本康世、澤口展子、杉山弥生、桝永大二郎、浅利亜規代、松野謙次、野村健一、研修医代表(各月2名)

事務局(幹事) 竹田憲司、池谷綾子、佐藤隆敏、三浦慎也、塚本真弓

開催日 (原則として) 毎月第2・第4水曜日に開催

#### 開催記録

|        |            |
|--------|------------|
| 第1回    | 令和5年4月26日  |
| 第2回    | 令和5年5月24日  |
| 第3回    | 令和5年6月14日  |
| 第4回    | 令和5年6月28日  |
| 第5回    | 令和5年7月12日  |
| 第6回    | 令和5年7月26日  |
| 第7回    | 令和5年8月9日   |
| 第8回    | 令和5年9月13日  |
| 第9回    | 令和5年9月27日  |
| 第10回   | 令和5年10月11日 |
| 第11回   | 令和5年10月25日 |
| 第12回   | 令和5年11月8日  |
| 第13回   | 令和5年11月22日 |
| 第14回   | 令和5年12月13日 |
| 第15回   | 令和6年1月10日  |
| 第16回   | 令和6年1月24日  |
| 第17回   | 令和6年2月14日  |
| 第18回   | 令和6年2月28日  |
| 第19回   | 令和6年3月13日  |
| 第20回   | 令和6年3月27日  |
| 全20回開催 |            |

・毎回、行事予定等の報告事項や連絡事項等の情報共有及び協議事項の検討等を行った。

#### 総括コメント

教育研修管理センターが中心となり、主に診療部・看護部・医療支援部からの委員と臨床研修医の代表で構成され、臨床研修に関する広範な課題に対応し、臨床研修が円滑で充実したものになるよう図った。

月に2回委員会を開催し、各科ローテーション、各種支援プログラム、見学・実習の受け入れ、採用試験、リクルート活動、臨床研修の問題点などにつき検討した。



また、院外リクルート活動への参加者、病院見学バスツアー・院内到達度試験などの担当者の選定は、当委員会の委員が中心となり選定を行った。

マッチングでは募集人数13人に対し13人フルマッチし、全員が国家試験合格、採用に至った。

引き続き、研修医の採用及び育成に委員会として組織的に注力していきたい。

(前田明則)

## シミュレーションラボ委員会

目的 シミュレーションラボ室の適正な運営・実習プログラムや機器等の企画検討

委員長 五十嵐健康

副委員長 村田耕一郎、橋本洋右

委員 山田 孝、縄田隆三、玉里順子、濱村啓介、池上 聡、野口哲哉、米澤真澄、石黒光紀、寺井恭彦、土田裕美、大隅 進、戸崎誠也、佐藤あゆみ

幹事 佐藤隆敏

開催記録

令和5年9月14日 17:05~17:40

令和5年度プログラム運営状況確認、令和5年度シミュレーター購入状況、令和6年度購入希望検討

令和6年3月7日 17:00~17:20

プログラム運営状況確認、シミュレーター購入実績、令和6年度研修プログラム照会

総括コメント

当委員会は、シミュレーションラボが院内多職種の職員や院外医療関係者に周知され、多くの方に活用されることで、最終的には患者さん、市民の皆さんに貢献する一助となるべく、その具体的な運用方法について協議している。現行プログラムは、①初期研修医や看護師等を対象とした、医療現場に必須の技術習得を目指したプログラム、②専門医を目指す専攻医や、高度な技術習得を目指す看護師等を支援するプログラム、③看護師等の復職を支援するプログラムの3カテゴリーに分類されるが、多くのプログラムが活発に運営されている一方で、一部稼働率の低いプログラムも混在している。前者では、シミュレーターの破損や老朽化が問題となっており、新たなシミュレーターの購入計画などについて協議した。次年度の購入に関して、各科からの要望とプログラム運営実績を勘案し優先順位をつけて購入検討を行った。ただシミュレーターを購入するだけでなく、活きたプログラムと連動させ、参加者のスキルアップにつなげていく方針を確認した。学習の“ゴール”を設定し、実効性の高い運用を行うことが求められていることを認識し、目標設定の手順や支援の方法についても再確認した。

今年度特筆すべきこととして、東館5階旧HCUスタッ

フステーションが、シミュレーションラボのトレーニングルームとして利用可能となったことが挙げられる。限られたスペースながら有効利用の選択肢が増え、周知と活用に繋げる必要がある。

稼働率の低いプログラムの活性化、初期研修医・専攻医のニーズに応じたプログラムの運営、院外利用者の促進、学会認定講習会開催の拡大、新しいプログラムの開発、他施設の同機能部署との連携など、多くの課題について引き続き取り組んでいく。

(五十嵐健康)

## 治験審査委員会

目的 当院における治験（製造販売後臨床試験を含む）の実施及び継続等について、倫理的及び科学的妥当性の観点から審査を行う。

また、製造販売後調査（使用成績調査、副作用感染症報告）、及び新規院内製剤等の実施についても検討を行う。

委員長 前田賢人

副委員長 望月英明、大隅 進

委員 山田 浩、坂井美文、深澤誠司、五十嵐健康、土田裕美、吉田多加貢、鈴木崇浩、大倉瑞穂

幹事 茶山 宣、栗山竜輝、北島真利子、渡辺 亮

開催記録

| 開催日     | 新規治験・製造販売後調査   | 治験継続審議<br>(安全性報告等) |
|---------|--|--------------------|
| ①4月13日  |  | 19件                |
| ②6月8日   | <p>【治験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩野義製薬株式会社の依頼による組織プラスミノゲン活性化因子又は血栓回収療法が適応とならない急性期脳梗塞の成人患者を対象にレダセムチド(S-005151)のプラセボに対する有効性及び安全性を比較検討する後期第2相、国際共同、無作為化、二重盲検試験</li> <li>ヤンセンファーマ株式会社の依頼による急性期虚血性脳卒中又は高リスク一過性脳虚血発作後の脳卒中の再発抑制を目的とした経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、並行群間、プラセボ対照試験</li> </ul> <p>【製造販売後調査】</p> <p>ラスビック点滴静注キット(杏林製薬)：特定使用成績調査(呼吸器内科)</p> | 22件                |
| ③7月13日  | <p>【製造販売後調査】</p> <p>トラクリア錠(アクテリオンファーマ)：特定使用成績調査(皮膚科)</p> <p>カナグル錠(田辺三菱)：一般使用成績調査(内分泌代謝内科)</p> <p>セムブリックス錠(ノバルティスファーマ)：特定使用成績調査(血液内科)</p>   | 20件                |
| ④8月10日  |  | 14件                |
| ⑤10月12日 |  | 48件                |

|         |  |     |
|---------|--|-----|
| ⑥11月9日  | <p>【製造販売後調査】<br/>         ヒュミラ皮下注(アッヴィ合同)：妊娠に関する追跡調査(産婦人科)<br/>         リクシアナOD錠(第一三共)：副作用・感染症報告 急性硬膜下血腫(循環器内科)<br/>         ジセレカ錠(エーザイ)：特定使用成績調査 変更申請 分担医師(整形外科)<br/>         リムパーザ錠(MSD)：一般使用成績調査 新規申請(外科・消化器外科)<br/>         ラスビック点滴静注キット(杏林製薬)：特定使用成績調査(呼吸器内科)<br/>         アロカリス点滴静注(大鵬薬品)：特定使用成績調査(呼吸器内科)<br/>         ウプトラビ錠(日本新薬)：特定使用成績調査(循環器内科)</p>  | 20件 |
| ⑦12月14日 | <p>【製造販売後調査】<br/>         エジャイモ点滴静注(サノフィ)：特定使用成績調査(血液内科)<br/>         イジュード・イミフィンジ点滴静注(アストラゼネカ)：特定使用成績調査(消化器内科)</p>  | 13件 |
| ⑧2月8日   | <p>【治験】<br/>         ・ロシュ株式会社の依頼による慢性閉塞性肺疾患患者を対象にastegolimabの有効性及び安全性を評価する第III相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験<br/>         ・アストラゼネカ株式会社の依頼による増悪歴を有する慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者を対象としてトゾラキマブの長期有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、長期投与、並行群間比較、プラセボ対照継続投与試験(PROSPERO)<br/>         【製造販売後調査】<br/>         イミフィンジ点滴静注(アストラゼネカ)：特定使用成績調査(消化器内科)<br/>         アビガン錠(富山化学)：一般使用成績調査【新型又は再興型インフルエンザウイルス感染症】(血液内科)<br/>         アルンプリグ錠(武田薬品)：一般使用成績調査(呼吸器外科)</p> | 42件 |
| ⑨3月14日  | <p>【製造販売後調査】<br/>         エペキンリ皮下注(ジェンマブ)：一般使用成績調査(血液内科)</p>   | 47件 |

総括コメント

令和5年度は9回の委員会が開催され、新規治験審議が4件、治験継続審議245件の審議を行った。報告事項として新規製造販売後調査10件、その他61件の報告を実施した。今年度は継続中の治験9件のうち3件が年度中に終了となり、新たに5件が始まり、治験実施数は11件となった。

新規治験受託数を増やすため、3社(シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社、株式会社E P総合、ノイエス株式会社)のSMO(Site Management Organization：治験施設支援機関)と業務提携をしている。治験実施数も維持できており、次年度も継続して契約する予定である。

(前田賢人)

医学系研究等倫理審査委員会

目的 静岡市立静岡病院における医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議し、病院職員の倫理意識の向上に資することを目的とする。

委員長 前田明則

副委員長 水野薫子

委員 池上 聡、五十嵐健康、土田裕美、望月英明、増田秀道、小長井健司、吉田多加賀

外部委員 北川和彦、横濱竜也、佐々木美晴

事務局 北島真利子、渡邊晃司

開催記録

| 回 | 開催日                | 受付番号  | 案件(新規申請・変更申請のみ)  | 申請科        |
|---|--------------------|-------|--|------------|
| 1 | 2023/4/20<br>迅速審査① | 23-1  | IVR(Interventional Radiology)の副作用の検討   | 放射線治療科     |
|   |                    | 23-2  | 後期高齢者のリンパ節郭清範囲についての現況調査と周術期リスクや予後との関連性の検討  | 外科・消化器外科   |
|   |                    | 23-3  | 食道癌における機械学習を用いた画像認識による術前化学療法および化学放射線療法の効果判定手法確立を目指した多施設共同後向き観察研究   | 外科・消化器外科   |
|   |                    | 23-4  | National Clinical Databaseによる食道癌全国登録を利用した食道癌術後補助療法としてのニボルマブの安全性と有効性に関する観察研究  | 外科・消化器外科   |
|   |                    | 23-9  | 全国放射線治療症例に基づく放射線治療の実態調査および質評価  | 放射線治療科     |
|   |                    | 23-5  | DPP-4阻害薬治療中の2型糖尿病患者を対象としたイメグリミンの追加投与時の有効性及び安全性を検討する多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験 [変更申請]  | 内分泌・代謝内科   |
|   |                    | 23-6  | がん合併の低リスク肺塞栓症患者の最適な抗凝固療法の投与期間を検証する研究(ONCO PE trial)[変更申請]  | 循環器内科      |
|   |                    | 23-7  | セツキシマブ関連Infusion Reactionリスク因子に関する多機関共同後方視的研究 [変更申請]   | 臨床試験管理センター |
| 2 | 2023/5/18<br>迅速審査② | 23-8  | Gruppo Bioimpianti社 人工骨頭製品の使用実態調査(観察研究)[変更申請]  | 整形外科       |
|   |                    | 23-59 | DiNQLベンチマーク評価を活用した褥瘡対策への取り組み   | 看護部        |
|   |                    | 23-60 | 血痰・咯血患者の自然歴および血管内治療効果の多施設前向き観察研究   | 呼吸器内科      |
|   |                    | 23-62 | 肺癌に対する定位放射線治療における呼吸性移動対策の治療成績への影響 Comparison of the methods of respiratory management in stereotactic radiotherapy for lung cancer | 放射線治療科     |
| 3 | 2023/5/25          | 23-61 | NOVELTY-CTサブスタディ   | 呼吸器内科      |
|   |                    | 23-10 | NOVELTY研究に登録された日本人患者を対象とした、閉塞性肺疾患(喘息及び/又は COPD)の患者特性とCT所見の関連性を評価する観察研究 [変更申請]  | 外科・消化器外科   |
| 4 | 2023/6/22<br>迅速審査③ | 23-11 | 離断型胆汁漏れに対する無水エタノール注入による胆管焼灼術 [未承認・保険適応外医療]   | 呼吸器外科      |
|   |                    | 23-63 | 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) [新規治療]   | 循環器内科      |
|   |                    | 23-64 | 多職種ハートケアチームで末期心不全患者の植込み型除細動器(ICD)のdeactivationに関わった一例  | 循環器内科      |
|   |                    | 23-65 | 持続性心室頻拍に対して循環補助用心内留置型ポンプカテーテル導入下でVTアブレーションを行った1例   | 呼吸器外科      |
|   |                    | 23-66 | 左上葉切除後の下葉入口部の屈曲低減の方策の検討  | 形成外科       |
|   |                    | 23-70 | 皮膚潰瘍を対象とした脂肪幹細胞培養上清エキスの有効性及び安全性の検討   | 放射線技術科     |
|   |                    | 23-71 | InversionRecovery-steady state free precession(反転パルス-定常状態磁差運動)による心筋浮腫のイメージングに関する研究   | 心臓血管外科     |

|   |                    |        |   |               |
|---|--------------------|--------|---|---------------|
|   |                    | 23-67  | EVAR 血管内治療のための3D デジタル画像支援プログラム医療機器の開発   | 循環器内科         |
|   |                    | 23-68  | がん合併の低リスク肺塞栓症患者の最適な抗凝固療法との投与期間を検証する研究(ONCO PE trial)[変更申請]                                  | 外科・消化器外科      |
|   |                    | 23-69  | BRCA遺伝学的検査に関するデータベースの作成(JOHBOC)[変更申請]   | 循環器内科         |
|   |                    | 23-72  | 循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究 [変更申請]             | 整形外科          |
|   |                    | 23-73  | 日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究 [変更申請]  | 整形外科          |
| 5 | 2023/7/27<br>迅速審査④ | 23-74  | 日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成 [変更申請]   | 呼吸器内科         |
|   |                    | 23-75  | 過敏性肺炎の全国疫学調査  | 血液内科          |
|   |                    | 23-79  | 難治性悪性腫瘍(膵癌、胆管癌、胆嚢癌、乳癌など)患者におけるVHH抗体を用いたバイオマーカー探索研究  | 循環器内科         |
|   |                    | 23-76  | 経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究 : J-LAAO                            | 東 9 階病棟       |
|   |                    | 23-77  | 自宅での生活をイメージしたストーマ管理を実践していくために、入院時聴取する情報収集の項目を明らかにする [変更申請]                                  | 循環器内科         |
|   |                    | 23-78  | 非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法 : 多施設、前向き、無作為化比較試験(OPTIMA-AF trial)[変更申請] | 形成外科          |
| 6 | 2023/8/24<br>迅速審査⑤ | 23-80  | 皮膚潰瘍を対象とした脂肪幹細胞培養上清エキスの有効性と安全性の検討 [変更申請]  | 呼吸器内科         |
|   |                    | 23-81  | 特発性慢性線維化性間質性肺炎における進行性線維化性肺疾患の頻度、急性増悪率、肺癌合併率、予後についての臨床的検討                                    | 呼吸器内科         |
|   |                    | 23-82  | 分類不能型間質性肺疾患の疾患進行や予後に関する多施設共同研究  | 呼吸器内科         |
|   |                    | 23-83  | 気管支動脈塞栓術における学習曲線の検討   | 大阪大学大学院医学系研究科 |
|   |                    | 23-84  | 集中治療室入室患者における睡眠周期と夜間ケアに関する研究 [変更申請]   | 腎臓内科          |
|   |                    | 23-85  | 大動脈弁狭窄症を併存する慢性維持透析患者の予後に関する多施設共同研究 [変更申請]   | 形成外科          |
| 7 | 2023/9/28          | 23-86  | 皮膚潰瘍を対象とした脂肪幹細胞培養上清エキスの有効性と安全性の検討 [変更申請]  | 循環器内科         |
|   |                    | 23-87  | 経皮的左心耳閉鎖術(Watchman) [新規治療]  | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科   |
|   |                    | 23-89  | ボイスプロテアーゼ挿入の新規術式の開発 [新規治療]  | 薬剤科           |
| 8 | 2023/9/28<br>迅速審査⑥ | 23-98  | 静岡市立静岡病院におけるKCL注の適応外使用方法(別紙改訂)[未承認・保険適応外医療]   | 口腔外科          |
|   |                    | 23-99  | 口腔癌進展、再発、および遠隔転移例に対する治療法およびその効果に関する後ろ向き観察研究   | 呼吸器内科         |
|   |                    | 23-100 | 器質性肺炎合併非特異性間質性肺炎の臨床像に関する多機関共同研究   | 整形外科          |
|   |                    | 23-103 | 脚立からの転落により受傷した骨折症例の特徴   | 呼吸器内科         |
|   |                    | 23-101 | 特発性間質性肺炎における膠原病的背景が、疾患進行・治療反応性および予後に与える影響に関する臨床病理学的研究 : 多施設共同、後ろ向き観察研究                      | 外科・消化器外科      |
|   |                    | 23-102 | トラスツマブ+ベルツマブ+ドセタキセル 初回導入時におけるインフュージョンリアクション対策の検討 [変更申請]                                     | 循環器内科         |

|    |                     |        |   |             |
|----|---------------------|--------|---|-------------|
| 9  | 2023/10/26<br>迅速審査⑦ | 23-104 | 静岡県内の成人先天性心疾患患者全数把握への調査研究 [変更申請]  | 呼吸器内科       |
|    |                     | 23-105 | がん治療に関連した二次性肺障害のリスク評価のための臨床・画像所見の解析 : 前向き観察研究(ACROSS試験)   | 泌尿器科        |
|    |                     | 23-106 | 当院におけるロボット支援前立腺全摘術における神経温存と術後尿失禁の関連について   | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
|    |                     | 23-112 | 喉頭希少疾患における疫学、経過、治療成績、および予後の検証   | 循環器内科       |
|    |                     | 23-113 | JROAD/JROAD-DPCを用いた急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼにおける重症化因子・治療法解明のための多施設登録研究  | 内分泌・代謝内科    |
|    |                     | 23-107 | 肥満症に対する減量介入が2型糖尿病病を含む健康障害の長期的な改善に及ぼす効果を検証する観察研究(SLIM-TARGETフォローアップ)   | 放射線治療科      |
|    |                     | 23-108 | 乳房温存療法における超寡分割照射法の多機関共同ランダム化検証的試験 [変更申請]  | 心臓血管外科      |
|    |                     | 23-109 | 破裂性腹部大動脈瘤に対する開腹手術とステントグラフト内挿術の治療選択に関する全国多施設観察研究 [変更申請]  | 脳神経外科       |
|    |                     | 23-110 | 一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業(Japan Neurosurgical Database : JND)[変更申請]   | 内分泌・代謝内科    |
| 10 | 2023/11/16<br>迅速審査⑧ | 23-111 | DPP-4 阻害薬治療中の2型糖尿病患者を対象としたイメグリミンの追加投与時の有効性と安全性を検討する多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験 [変更申請]   | 心臓血管外科      |
|    |                     | 23-114 | 高度屈曲ネックを有する腹部大動脈瘤に対するExcluder conformableを用いた腹部ステントグラフトに関する多施設共同観察研究 EXTREME registry (Excluder Conformable endoprosthesis for angulated proximal neck anatomy) | 西 4 階病棟     |
|    |                     | 23-115 | 小児の点滴ルートトラブルの実態調査   | 西 6 階病棟     |
|    |                     | 23-116 | 糖尿病教育入院患者が足を見ることに対する関心の変化   | 西 7 階病棟     |
|    |                     | 23-117 | ニーブレース装着患者における総腓骨神経麻痺の発生要因  | 西 8 階病棟     |
|    |                     | 23-118 | 待機的気管切開術を受ける患者が意思表現するためのパンフレット活用と評価   | 西 9 階病棟     |
|    |                     | 23-119 | 行動抑制を減らすための取り組み～抑制カンファレンスの有効性～  | 手術室         |
|    |                     | 23-120 | ロボット支援手術における体温管理を考える～特殊体位における保温方法の確立を目指して～  | 外来          |
|    |                     | 23-126 | インスリン自己注射を導入した患者への外来での継続支援の有用性～情報共有ツールを用いた病棟と外来の連携～   | 循環器内科       |
|    |                     | 23-121 | 冠動脈3枝疾患に対する定量的冠血流比(QFR)に基づく機能的虚血評価の意義 : CREDO-Kyoto Registry Cohort-3 QFR Study   | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |
|    |                     | 23-122 | 喉頭希少疾患における疫学、経過、治療成績、および予後の検証 [変更申請]  | 呼吸器内科       |
|    |                     | 23-123 | 重症喘息に対する治療実態と臨床経過の調査 - 前向き観察研究 - [変更申請]   | 心臓血管外科      |
|    |                     | 23-124 | 重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究(通称 : MITRAPLUS) [変更申請]   | 循環器内科       |
|    |                     | 23-125 | 循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究 [変更申請]   | 内視鏡科        |
| 11 | 2023/11/30<br>迅速審査⑨ | 23-127 | 消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築 [変更申請]   | 感染管理室       |
|    |                     | 23-128 | COVID-19 に関するレジストリー研究   | 整形外科        |

|    |                     |        |   |            |   |          |
|----|---------------------|--------|---|------------|---|----------|
|    |                     | 23-129 | ユニコーンWing 骨癒合調査   | 消化器総合センター  |   |          |
|    |                     | 23-130 | C型肝炎ウイルス排除後の肝発癌予測における血中Lysyl oxidase-like 2 (LOXL2)の有用性   | 西4階病棟      |   |          |
|    |                     | 23-131 | 小児の点滴固定の実態調査  | 西7階病棟      |   |          |
|    |                     | 23-132 | ニーブレース装着患者における総腓骨神経麻痺の発生要因  | 口腔外科       |   |          |
| 12 | 2023/12/21<br>迅速審査⑩ | 23-133 | 多施設共同による舌癌エコー画像の深層学習による後発頸部リンパ節の予測  | 血液内科       |   |          |
|    |                     | 23-134 | 血液疾患登録  | 循環器内科      |   |          |
|    |                     | 23-135 | 本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討 [変更申請]   | 呼吸器内科      |   |          |
|    |                     | 23-136 | EGFR遺伝子変異陽性再発・進行非小細胞肺癌患者に対する免疫チェックポイント阻害剤投与後のEGFRチロシンキナーゼ阻害剤再投与時の免疫細胞動態を評価する多施設共同前向き観察研究 [変更申請] | 血液内科       |   |          |
|    |                     | 23-137 | 難治性悪性腫瘍(膵癌、胆管癌、胆嚢癌、乳癌など)患者におけるVHH抗体を用いたバイオマーカー探索研究 [変更申請]                                       | 循環器内科      |   |          |
|    |                     | 23-138 | 経皮的僧帽弁接合不全修復システムを用いた僧帽弁閉鎖不全に対する治療介入の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究 [変更申請]                               | 循環器内科      |   |          |
|    |                     | 23-139 | 経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究:J-LAAO[変更申請]                            | 外科・消化器外科   |   |          |
|    |                     | 23-140 | BRCA遺伝学的検査に関するデータベースの作成 (JOHBOC) [変更申請]   | 循環器内科      |   |          |
|    |                     | 23-141 | 非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法:多施設、前向き、無作為化比較試験 (OPTIMA-AF trial) [変更申請]     | 形成外科       |   |          |
|    |                     | 23-142 | 皮膚潰瘍を対象とした脂肪幹細胞培養上清エキスの有効性と安全性の検討 [変更申請]  | 整形外科       |   |          |
|    |                     | 13     | 2024/1/25   | 23-143     | 帝人ナカシマメディカル社「GS-Taperシステム」の固定性について [変更申請]   | 循環器内科    |
|    |                     |        |   | 23-144     | 方向性冠動脈粥腫切除術(Directional Coronary Atherectomy: DCA)の新規導入およびプロクター指導下における治療(2症例)新規治療 | 外科・消化器外科 |
| 14 | 2024/1/25<br>迅速審査⑪  | 23-151 | 早期乳がんに対するラジオ波焼灼法(RFA)新規治療   | 小児科        |   |          |
|    |                     | 23-152 | アレルギー疾患の早期発見における、BCG接種後「コッホもどき」の有用性の検討  | 呼吸器内科      |   |          |
|    |                     | 23-153 | 間質性肺疾患の急性増悪に対する治療実態と臨床経過の調査-前向き観察研究- [変更申請]   | 形成外科       |   |          |
| 15 | 2024/3/14<br>迅速審査⑫  | 23-154 | 皮膚潰瘍を対象とした脂肪幹細胞培養上清エキスの有効性と安全性の検討 [変更申請]  | 臨床試験管理センター |   |          |
|    |                     | 23-155 | 重度腎機能低下患者のサクビトリアルサルタン投与時における高カリウム血症発現頻度の多機関共同後方視的研究   | 小児科        |   |          |
|    |                     | 23-156 | 好中球減少患者における抗好中球抗体の検出と特性に関する検討   | 血液浄化センター   |   |          |
|    |                     | 23-157 | シャント穿刺を開始した患者の止血指導プログラムの作成~指導プログラムを使用して指導の統一を目指す~   | 内分泌・代謝内科   |   |          |
|    |                     | 23-158 | DPP-4阻害薬治療中の2型糖尿病患者を対象としたイメグリミンの追加投与時の有効性と安全性を検討する多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験 [変更申請]                    | 整形外科       |   |          |
|    |                     | 23-159 | 日本リマ社手術器械の操作性について [変更申請]  | 小児科        |   |          |

|    |           |        |  |          |
|----|-----------|--------|--|----------|
|    |           | 23-160 | アレルギー疾患の早期発見における、BCG接種後「コッホもどき」の有用性の検討 [変更申請]                                | 消化器内科    |
|    |           | 23-161 | 消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築 [変更申請]  | 循環器内科    |
|    |           | 23-162 | 肥大型心筋症患者の早期心不全、心房細動スクリーニングを目指す多施設レジストリ(HCMレジストリ)[変更申請]                       | 循環器内科    |
|    |           | 23-163 | 心筋梗塞後致死性イベントの新たな危険因子探索と着用例除細動器の使用実態調査 [変更申請]                                 | 内分泌・代謝内科 |
|    |           | 23-164 | DPP-4阻害薬治療中の2型糖尿病患者を対象としたイメグリミンの追加投与時の有効性と安全性を検討する多施設共同プラセボ対照二重盲検比較試験 [変更申請] | 呼吸器外科    |
| 16 | 2024/3/28 | 23-165 | 術前トレッドミル負荷心電図の有効性の検討 [変更申請]  | 呼吸器外科    |
|    |           | 23-166 | 原発性自然気胸に対する胸腔鏡下ブラ切除後の再発リスク低下に最も有効な追加手技に関する研究 [変更申請]                          | 外科・消化器外科 |
|    |           | 23-171 | 尿道カテーテルを用いた肝切除術の際の肝門遮断法 [未承認・保険適応外医療]  | 循環器内科    |

### 統括コメント

今年度は本審査4回、迅速審査12回を行った。審査件数は合計105件で、新規案件は58件であった。内訳としては新規治療5件、保険適応外医療4件、臨床研究(学会、論文発表等含む)49件となっている。実施中試験進捗状況の調査も継続して行っており、その結果が当委員会に報告された(終了報告40件、進捗報告66件)。

(前田明則)

### 安全対策委員会

目的 患者さん等の来院者及び職員の安全確保の推進

委員長 小長井健司

副委員長 水野薫子

委員 市川昭美、榎本康世、望月英明、増田秀道、

望月公次郎、竹下賢一、傳刀啓至、長谷川 智

幹事 納本直重

オブザーバー 山本純二(保安)、青木啓行(保安)

### 開催記録

令和5年6月14日

- 1 防犯対策工事の進捗状況について
- 2 院内暴力対策研修会の開催について
- 3 院内安全管理マニュアルの改訂について

### 総括コメント

令和5年度は、令和4年度から検討を進めていた、休日及び時間外の入退館管理の強化を軸とした院内の保安体制の見直しを引き続き実施した。

玄関及び通用口を改修し出退勤カード認証による解錠を可能にしたため、院内安全管理マニュアルを改訂し入退館の運用方法の変更を行い、7月から運用を開始した。

また、職員の院内安全に対する知識及び意識向上を目的として、日本防災通信協会静岡県支部の職員を講師に招き、院内暴力対策研修会を開催した。医療機関におい

て発生した暴力事件の事例紹介や、実際に院内暴力が発生した際の対処方法、護身術の体験などを実施した。

さらに、院内暴力等の危機案件が発生した場合に、発生現場に速やかに応援職員を招集する仕組みとして、9月から新たに「コードホワイト」コールを導入した。発生現場の職員から警備員室に要請し、緊急放送を行うことで、対応可能な職員が現場に急行し安全確保等に当たるものであり、令和5年度は1件の実施例があった。

令和6年度も職員向けの研修会を実施する等、引き続き院内の安全確保のための体制強化を進めていく。

(小長井健司)

## 学術研修委員会

目的 学術研修委員会では院内各部門の教育研修計画(予定及び実績)の進捗状況確認及びその情報共有をおこなっている。なお、令和元年度より、これまで職員の自主活動として行ってきた静岡病院医療学術集談会を継承した「静岡病院学術発表会」を開催している。

委員長 前田明則

副委員長 土屋恭子

委員 松本芳博、小林敏樹、黒石健吾、土田裕美、朝比奈ひろみ、鈴木芳治、佐藤俊史、森下克己、野田 緑、池谷綾子、佐藤隆敏、三浦慎也

幹事 竹田憲司

開催記録

第1回 令和5年11月2日

- 1 報告 (1) 重要度の高い院内研修の実績・計画について  
(2) 各科(課)の研修実績・計画について
- 2 議題 (1) 海外演題発表奨励金交付事業について  
(2) 令和5年度学術発表会の開催について

総括コメント

COVID-19の感染流行が続いたため、学術研修委員会の主な事業のうち、海外演題発表奨励金の交付事業は3年連続で未実施としていたが、今年度より復活させ、海外演題発表6件に対し交付を行った。学術発表会については国内学会での発表演題を中心に選定した発表演題抄録集の配布やポスター発表(医局廊下前への掲示)事業を実施した。

(前田明則)

## 勤務環境改善委員会

目的 医師等の負担軽減等環境改善に関する計画を策定し、各部署に計画の実施を促すことにより環境改善につなげる。

委員長 深澤誠司

副委員長 水野薫子、小長井健司

委員 前田明則、小柳津竜樹、中井真尚、松本芳博、村田耕一郎、市川昭美、望月英明、増田秀道、小林恵美子、竹下賢一、傳刀啓至、宇佐美哲也、石川和俊、池ヶ谷幸恵、池田逸作

幹事 長谷川 智、野村健一

開催記録

令和5年4月26日

議題 1 勤務医、看護師及び医療技術職員負担軽減計画の令和4年度評価と

令和5年度目標について

議題 2 医師の働き方改革について

令和5年7月20日

議題 1 医師の労働時間短縮計画について

議題 2 面談指導実施医師の選出について

報告 医師の働き方改革の進捗状況について

令和6年2月29日

議題 1 面談指導実施医師の変更について

議題 2 来年度以降の勤務環境改善委員会について

報告 1 医師の働き方改革の進捗状況について

報告 2 医師の働き方改革推進作業部会の報告

報告 3 36協定の締結について

総括コメント

医師等病院勤務職員の勤務環境の改善や医師の働き方改革を踏まえた今後の対応等について協議した。

(深澤誠司)

## 栄養サポートチーム Nutrition Support Team, NST

目的 入院患者の栄養状態の問題点抽出と評価を行い、改善と早期快復に向け活動していくこと。

リーダー 濱村啓介

サブリーダー 佐野武尚、太田紘之

スタッフ 前田賢人、池上 聡、吉井葉未、花村多美子、澤口展子、鈴木菜々、平川奈津美、成田佳恵、佐藤雄一朗、富永真由、久保田恵理、増田晋哉、水上紘司、明田弥生、望月敬太、山内浩之、佐藤七恵、鈴木愛実、浅倉 晶、小林美穂、吉田優希、川田奈津美、黒岩美紅

幹事 大山実希

開催記録

令和5年4月6日

1. NST回診報告
2. 令和4年度NST回診報告
3. 摂食嚥下支援チーム活動報告

令和5年5月11日

1. NST回診報告
2. 2023年度チーム編成
3. その他：算定件数増加の取組

令和5年6月1日

1. NST回診報告
2. 2023年度チーム編成
3. 回診対象者の選定（決定）と回診記録について
4. ラコールNF配合経腸用半固形剤の運用

令和5年7月6日

1. NST回診報告
2. NST院内講習会について

令和5年8月3日

1. NST回診報告
2. NST回診対象者の確認方法
3. その他：NST回診日時、集合場所等の確認方法

令和5年9月7日

1. NST回診報告
2. 臨床研修受入について

令和5年10月5日

1. NST回診報告
2. 臨床研修受入について

令和5年11月2日

1. NST回診報告
2. 臨床研修受入について
3. NST回診記録について
4. その他：改訂水飲みテスト実施率について

令和5年12月7日

1. NST回診報告
2. 臨床研修受入について
3. ところみ剤の規格追加
4. 令和5年度 改訂水飲みテスト実施率について

令和6年1月4日

1. NST回診報告
2. 臨床研修受入について
3. NSTチーム編成・NST加算施設基準に係わる届出の変更・歯科衛生士のNST参加について
4. NST講習会について
5. その他：改訂水飲みテスト実施率向上に向けた取組

令和6年2月1日

1. NST回診報告
2. NST講習会について
3. 栄養治療実施計画兼栄養治療実施報告書の運用
4. その他：NSTセミナー受講及び修了証書発行について  
改訂水飲みテスト実施率向上に向けた取組

令和6年3月7日

1. NST回診報告
2. NST講習会報告
3. 退院先療養施設等へのアンケート

4. その他：令和5年度病棟からのNST依頼件数の報告

総括コメント

①NST回診

毎週実施。多職種による多角的視点から、患者栄養状態を検討しています。

医師がファシリテーターとなり、看護師、栄養士、薬剤師、理学・作業療法士、言語聴覚士はもとより、医療相談員、医事課職員も含め、すべての職種が関与できるように努めています。

臨床栄養学も、他の医学分野と同じく、科学的根拠に基づいた検討を心がけなければなりません。基礎となる文献が少ないと感じています。

②NST加算算定件数増加に向けた取り組み


NST回診件数、算定件数、算定率が減少傾向で、その要因として「対象患者抽出数の減少」「回診・カンファレンスに費やす時間が長いこと」「算定に必要なスタッフの欠員」の3点を挙げました。対象患者抽出件数増加のため、従来行っていた検査値の評価、SGA評価に加え、栄養管理計画書からもスクリーニング対象者を抽出しました。回診・カンファレンスの時間短縮には、昨年度見直した栄養治療実施計画兼栄養治療実施報告書を活用しました。さらに、NST回診スタッフを流動的に配置することで、加算条件を満たしやすくしました。これらの対応が奏功し、NST回診件数、算定件数、算定率が向上しています。次年度は、算定件数がさらに増加できるよう、スタッフの資格取得に努めます。また、NST活動報告、勉強会、講演会などを通して、NST依頼件数が増えるようにしたいと思います。

(濱村啓介)

(資料1)

### 栄養サポートチーム(NST)講習会

〔日時〕 2月20日(火) 17:30~18:15頃  
〔場所〕 西館12階講堂 もしくはZoom

 **リハビリテーション栄養** ※業務外  
～急性期病院として必要な事～

講師 リハビリテーション技術科  
**PT増田 晋哉 OT水上 絢司**

Zoomでの参加は別途配布の「NST院内講習会Zoomでの参加方法」をご確認下さい。

主催：栄養サポートチーム(NST) 内線2061

(資料2)

〈院内講習会(2月20日)〉

「リハビリテーション栄養～急性期病院として必要な事～」

講師：リハビリテーション技術科  
増田晋哉、水上絢司

参加者：30名

### アンケート結果報告

アンケート回収30名、回収率100%

- ・「非常に参考になった」、「参考になった」あわせて100%と全体的に好評であった。
- ・「リハビリテーション栄養」と題し、特に急性期病院でのリハビリテーションと栄養管理の考え方について取り上げた。実際に「フレイル、サルコペニアという言葉や状態を知っていた」との回答は97%、「急性期の侵襲期の際には、過度な栄養負荷や運動負荷をかけることが良くないと知っていた」との回答は77%であった。リハビリテーションを行う上で、栄養状態は切り離せない問題であり、低栄養状態の患者へ積極的なリハビリテーションを行うことが、かえって栄養状態を悪化させ、さらに筋肉量低下につながってしまうことを考慮した上で、状態に応じたリハビリテーションと栄養管理の考え方を今後のNST活動にも取り入れていきたい。今後講習会で取り上げて欲しいテーマとしてせん妄や食欲不振、重症患者や周術期の栄養管理等の要望も多く、また栄養管理で困っていることとして、栄養評価をする際の指標の1つである体重測定をしていない、またはできない患者への対応に苦慮しているとの回答が多かったため、体重測定の推進等についても今後の課題としていきたい。

### NST報告

－診療科別NST回診件数－

| 診療科         | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|-------------|------|------|------|
| 腎臓内科        | 1    | 3    | 1    |
| 血液内科        | 0    | 1    | 9    |
| 呼吸器内科       | 11   | 13   | 28   |
| 消化器内科       | 7    | 9    | 5    |
| 循環器内科       | 10   | 16   | 13   |
| 内分泌代謝内科     | 0    | 0    | 2    |
| 外科・消化器外科    | 12   | 5    | 12   |
| 整形外科        | 5    | 4    | 13   |
| 形成外科        | 2    | 4    | 0    |
| 脳神経外科       | 3    | 2    | 7    |
| 呼吸器外科       | 2    | 2    | 2    |
| 心臓血管外科      | 6    | 5    | 12   |
| 皮膚科         | 0    | 0    | 3    |
| 泌尿器科        | 5    | 0    | 2    |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 13   | 8    | 20   |
| 口腔外科        | 5    | 4    | 1    |
| 産科          | 1    | 0    | 0    |
| 合計          | 83   | 76   | 130  |

NST回診件数・NST加算算定件数・算定率の推移

|         | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|---------|------|------|------|
| NST回診件数 | 83   | 76   | 130  |
| 算定件数    | 20   | 12   | 66   |
| 算定率(%)  | 24   | 15   | 50   |

### 医療倫理委員会

目的 患者の権利に関する事、医療者としての職業倫理に関する事及び臨床における倫理に関する事を審議する。

委員長 小野寺知哉

副委員長 前田明則

委員 山田 孝、田村尚久、佐野倫生、濱村啓介、岩井一也、青山治子、鍋田 泉、嶋根久美子、増田秀道、望月英明、小長井健司、浅場浩樹

幹事 山崎実優

開催記録

令和5年9月29日

「子どもの患者さんの権利」について（書面開催）

総括コメント

当委員会は、医療倫理に関する病院全体の方針を決定する委員会であり、これまでに宗教的輸血拒否に対する対応や、成人年齢引き下げに対する対応等を決定してきた。個々の症例における倫理的な問題については、臨床倫理カンファレンスにおいて検討している。また、医学系研究等における倫理審査は当委員会ではなく、医学系研究等倫理審査委員会において審査している。

今年度は、「こどもの患者さんの権利」を新たに策定し、ホームページに掲載するとともに、各部署において掲示した。医療倫理講演会を今年度も開催し、1月29日に、日本の医療倫理の第一人者である東京大学大学院人文社会科学系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座特任教授会田薫子先生に、「共同意思決定とACP ～意思決定支援とは～」という内容でご講演いただいた。

医療における倫理的な問題は、決まった正解の無い難しい問題がほとんどであるが、患者さんにとって安全で温かい方針決定をこれからも目指していきたい。

（前田明則）

### 衛生委員会

目的 労使が互いに協力し、労働条件の改善等を通じて職場における職員の安全と健康を確保するための審議をする。

委員長 小長井健司

産業医 五十嵐健康

衛生管理者 矢野真梨子、疋野友紀乃、星野明宏、杉保亮太

委員 竹下賢一、浅場浩樹、青山治子、増田秀道、

望月英明、太田紘之、若林由香里、山内達也、  
杉山真理、三浦慎也

施設管理者 馬場英明

幹事 宇佐美哲也、柴 由香、杉山つかさ

委員会開催日及び会議内容

| 回    | 実施日    | 実施内容   |
|------|--------|--|
| 第1回  | 4月27日  | 令和5年度開催日程及び院内巡視年間計画について<br>令和5年3月分時間外実績報告について<br>令和5年3月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(東館6階・東館5階・東館4階)結果について<br>院内巡視(西館1階・西館2階)                             |
| 第2回  | 5月29日  | 令和5年4月分時間外実績報告について<br>令和5年4月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(西館1階・西館2階)結果について<br>院内巡視(西館3階・西館4階・西館5階)  |
| 第3回  | 6月26日  | 令和5年5月分時間外実績報告について<br>令和4年度年次有給休暇取得状況について<br>令和5年5月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(西館3階・西館4階・西館5階)結果について<br>院内巡視(西館6階・西館7階・西館8階)                            |
| 第4回  | 7月31日  | 令和5年6月分時間外実績報告について<br>令和5年6月分職員の被ばく線量の報告について<br>令和5年度職員健康診断受診状況について<br>院内巡視(西館6階・西館7階・西館8階)結果について<br>院内巡視(西館12階・東館12階・北館1階・新中町ビル(看護実習生控))            |
| 第5回  | 8月28日  | 令和5年7月分時間外実績報告について<br>令和5年7月分職員の被ばく線量の報告について(再報告)<br>院内巡視(西館12階・東館12階・北館1階・新中町ビル(看護実習生控室))結果について<br>院内巡視(西館9階・西館10階・西館11階)                           |
| 第6回  | 9月25日  | 令和5年8月分時間外実績報告について<br>令和5年8月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(西館9階・西館10階・西館11階)結果について<br>院内巡視(北館2階・北館3階・北館4階)   |
| 第7回  | 10月30日 | 令和5年9月分時間外実績報告について<br>令和5年9月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(北館2階・北館3階・北館4階)結果について<br>院内巡視(東館11階・東館10階)  |
| 第8回  | 11月27日 | 令和5年10月分時間外実績報告について<br>令和5年10月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(東館11階・東館10階)結果について<br>院内巡視(東館9階・東館8階・東館7階)  |
| 第9回  | 12月25日 | 令和5年11月分時間外実績報告について<br>令和5年11月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(東館9階・東館8階・東館7階)結果について<br>院内巡視(東館6階・東館5階・東館4階)   |
| 第10回 | 1月29日  | 令和5年12月分時間外実績報告について<br>令和5年12月分職員の被ばく線量の報告について<br>令和5年度ストレスチェック実施状況について<br>令和5年度職員健康診断受診状況について<br>院内巡視(東館6階・東館5階・東館4階)結果について<br>院内巡視(東館3階・東館2階・西館2階) |
| 第11回 | 2月26日  | 令和6年1月分時間外実績報告について<br>令和6年1月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(東館3階・東館2階・西館2階)結果について<br>院内巡視(東館1階・東館地階・西館地階)   |
| 第12回 | 3月25日  | 令和6年2月分時間外実績報告について<br>令和6年2月分職員の被ばく線量の報告について<br>院内巡視(東館1階・東館地階・西館地階)結果について<br>院内巡視(西館地階・西館1階)  |

## 総括コメント

職場における職員の健康と安全を確保するため、時間外勤務状況の把握、職員健康診断及びストレスチェックの受診状況や有給休暇等の取得実績の確認、職員の放射線被ばく線量の状況確認、勤務環境改善のための院内巡視を行った。

長時間勤務職員に対して、当該職員と所属長で面談を実施し、報告書の提出を求めるとともに、当該職員には産業医との面談を促した。

職員の放射線被ばく線量については、放射線業務委員会からの報告を受け、1ヶ月の被ばく線量が当院で定めた参考値を超える職員に対して、聞き取り調査及び被ばく防止の指導を行った。

院内巡視では、1年間で院内全ての部署を巡視し、現場でのヒアリングを踏まえ指摘事項を取り纏め、改善策を検討、実施した。

今後も職場環境の状況把握に努め、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進等に関し、十分な審議、調査及び対策を実施していく。

(小長井健司)

## パートナーシップ委員会

目的 患者と医療者間の信頼関係を樹立し、医療への患者参加をととして、信頼される安全な医療を実現する。

委員長 浅場浩樹

副委員長 市川昭美

委員 縄田隆三、伊藤 弘、曾根祥仁、松本和恵、  
海野千晶、君島鈴奈

幹事 伊藤 香

## 開催記録

| 回数  | 開催日       | 議 題 等  |
|-----|-----------|--|
| 第1回 | 令和5年7月26日 | 令和4年度委員会活動の振り返り<br>令和5年度の委員会活動について               |
| 第2回 | 令和5年9月13日 | 患者図書室に関する各部門のアイデアについて(意見交換)                      |
| 第3回 | 令和6年2月28日 | 患者図書室に関する各部門の役割及びアイデアの整理について(報告)<br>令和6年度の活動について |

## 総括コメント

令和5年度は、患者さん向け情報発信の場である「患者図書室」の利活用促進に向けた活動を行った。具体的には患者図書室の現状を把握した上で意見交換を行い、課題を時間軸で整理した。また、その中から患者図書室に関する掲示の見直し(院内掲示物、外来モニタ)、静岡市中央図書館のリサイクル本の無償譲り受けによる貸し出し本の充実について取り組んだ。

今後も、「患者さんと医療者のパートナーシップ」の考え方について、患者さんと職員の理解を深めるための啓発活動等を継続的に実施していく。

(浅場浩樹)



## 保険診療委員会

目的 保険診療の適正かつ円滑な運営を図ること。

委員長 佐野倫生

副委員長 中井真尚、傳刀啓至

委員 玉里順子、藤井雅人、杉山博文、石黒光紀、  
鈴木博貴、河合王明、久保 浩、鈴木芳治、  
袴田知里

オブザーバー 小林恵美子

外部委員 ニチイ学館

幹事 大倉瑞穂

### 開催記録

- 第1回 令和5年4月24日  
議題 1. 査定状況について  
2. 高額査定について  
3. 再審査請求結果について  
4. 返戻状況について

第2回 令和5年5月22日

議題 1～4 同上

第3回 令和5年6月26日

議題 1～4 同上

第4回 令和5年7月24日

議題 1～4 同上

第5回 令和5年8月28日

議題 1～4 同上

第6回 令和5年9月25日

議題 1～4 同上

第7回 令和5年10月23日

議題 1～4 同上

第8回 令和5年11月27日

議題 1～4 同上

第9回 令和5年12月25日

議題 1～4 同上

第10回 令和6年1月22日

議題 1～4 同上

第11回 令和6年2月26日

議題 1～4 同上

第12回 令和6年3月27日

議題 1～4 同上

### 年度ごと請求額と査定額

| 年度    | 請求額            | 査定額        | 査定率   |
|-------|----------------|------------|-------|
| 令和元年度 | 17,670,425,960 | 55,406,980 | 0.31% |
| 令和2年度 | 17,603,802,000 | 48,791,090 | 0.28% |
| 令和3年度 | 18,649,115,970 | 65,688,360 | 0.35% |
| 令和4年度 | 19,872,783,480 | 35,948,960 | 0.18% |
| 令和5年度 | 21,062,461,560 | 37,158,200 | 0.18% |

### 総括コメント

毎月1回、3ヶ月前の診療報酬請求に対する調査と検

討を行っています。1件につき1,000点以上の査定に関しては、全例について再審査請求ができるかを検討しています。

当院では、現場で働く医師になるべく負担をかけないような配慮がレセプト業務ではなされていますので、症状詳細を書く依頼や、再審査請求の相談があったときにはご協力をお願い致します。

この5年間の請求額と査定状況の表を見ると、病院全体では0.2～0.3%台の査定率で推移しています。今年度査定率が0.18%という数字はとても良い数字だと思います。しかしながら、金額にすると3,700万円です。0.1%でも下げることができれば、医師一人を余分に雇えます。今後もしかに査定額を減らし病院収益を上げられるかを念頭に運営してゆきます。

(佐野倫生)

## 電算委員会

目的 病院事業の電算化システムについて、検討、審議、決定する。

委員長 山田 孝

副委員長 濱村啓介、浅場浩樹

委員 江河勇樹、井上暢子、吉井葉末、藤井真一、  
小林広典、田中伸明、岩崎浩典、杉山弥生、  
興津健吾、小林美穂、大塚 論、後藤真司、  
入山雄一郎

幹事 池谷拓巳

### 開催記録

第1回 令和5年4月14日

- 議題 1. 前回議事録の確認  
2. 総合情報システム稼働状況について  
3. システム依頼書対応状況について  
4. 電子処方箋について  
5. 電子カルテ運用マニュアルの改定について  
6. 電算委員会のスケジュールについて

第2回 令和5年5月19日

- 議題 1. 前回議事録の確認  
2. 総合情報システム稼働状況について  
3. システム依頼書対応状況について  
4. 電子処方箋について  
5. 公益社団法人全日本病院協会主催「2023年度 医療DX人材育成プログラム」について  
6. 処方箋の発行について

第3回 令和5年6月16日

- 議題 1. 前回議事録の確認  
2. 総合情報システム稼働状況について  
3. システム依頼書対応状況について  
4. 電子処方箋について

5. 医療情報システムの安全管理に関するガイドラインの更新について
6. ICT用語の解説について
- 第4回 令和5年8月18日  
議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. システム依頼書対応状況について
  4. 電子処方箋について
  5. 病院DX推進部会について
  6. 標的型メール訓練の実施結果について
  7. 令和5年度情報セキュリティ研修の開催について
  8. 放射線・病理報告書の代理開封運用について
  9. カウンターサインの承認について
  10. 個人情報のクラウド環境（外部）への保存について
- 第5回 令和5年10月13日  
議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. システム依頼書対応状況について
  4. 電子処方箋について
  5. 令和5年度情報セキュリティ研修の結果について
  6. 放射線・病理報告書の代理開封運用について
- 第6回 令和5年11月17日  
議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. システム依頼書対応状況について
  4. 電子処方箋について
  5. 病院DX推進部会について
  6. 入院時処方における開始タイミングの初期表示の変更について
- 第7回 令和5年12月15日  
議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. システム依頼書対応状況について
  4. システムトラブルに関する院内連絡について
  5. 転科オーダ権限について
  6. 電子カルテシステムRPA専用アカウントの作成について
- 第8回 令和6年1月17日  
議題
1. 前回議事録の確認
  2. 総合情報システム稼働状況について
  3. システム依頼書対応状況について
  4. 電子処方箋について

5. 電子カルテシステムのレベルアップに伴う追加機能の検討について

第9回 令和6年2月20日

議題

1. 前回議事録の確認
2. 総合情報システム稼働状況について
3. システム依頼書対応状況について
4. 電子処方箋について
5. 電子カルテシステムのレベルアップについて

第10回 令和6年3月22日

議題

1. 前回議事録の確認
2. 総合情報システム稼働状況について
3. システム依頼書対応状況について
4. 電子処方箋について
5. 電子カルテシステムのレベルアップについて
6. 病院DX推進部会の報告
7. 令和6年度診療報酬改定について

統括コメント

システムの定期メンテナンスが継続されているが、重大なトラブルは発生せず、安定的な運用がされている。年度末から次年度初めにシステムのバージョンアップが予定され、準備が進行している。200項目近くが変更予定であり、より使いやすくなることが期待されている。電子処方箋については、HPKIカードの取得などハードウェアでの準備は完了しているが、ソフトの開発・配布が遅れている。スモールスタートが計画されており、院内への普及にはまだ時間を要すると思われる。

(山田 孝)

薬剤委員会

目的 当院で使用する医薬品の選定、管理および適正使用について審議する。

委員長 前田賢人

副委員長 望月英明

委員 濱村啓介、佐野武尚、中村幸治、清水洋佑、大石千晴、矢野佳孝、池田逸作、佐藤友香

オブザーバー 埜村登美子

幹事 伊藤 弘、小林広典、栗山竜輝

開催記録

| 開催日       | 臨時購入<br>(品目数) | 正規採用<br>(品目数) | 院外専用<br>(品目数) | 中止<br>(品目数) | 後発<br>切り替え |
|-----------|---------------|---------------|---------------|-------------|------------|
| 令和5年4月6日  | 4             | 9             | 8             | 0           | 0          |
| 令和5年6月1日  | 7             | 4             | 2             | 7           | 0          |
| 令和5年7月6日  | 3             | 5             | 5             | 3           | 0          |
| 令和5年8月3日  | 3             | 9             | 2             | 4           | 2          |
| 令和5年10月5日 | 5             | 5             | 6             | 3           | 0          |
| 令和5年11月2日 | 2             | 5             | 0             | 3           | 0          |
| 令和5年12月7日 | 5             | 10            | 5             | 1           | 0          |

|            |        |        |        |        |      |
|------------|--------|--------|--------|--------|------|
| 令和6年2月1日   | 3      | 15     | 0      | 10     | 0    |
| 令和6年3月7日   | 4      | 5      | 1      | 1      | 1    |
| 本年度合計(昨年度) | 36(41) | 67(66) | 29(27) | 32(27) | 3(8) |

総括コメント

出荷制限・出荷停止などの供給支障が150品目（後発品43品目）におよびそのうち17品目、製薬会社における経営再建の影響等による製造販売中止39品目（後発品11品目）のうち19品目の切り替えを行った。すべてが代替できず治療に影響を及ぼした例もみられた。また後発品への切り替えもままならない。

今年度も使用実績が1年以上ない正規採用医薬品および院外処方専用医薬品の必要性について診療科長宛に調査を行い、これを基に品目の整理を実施した（正規採用から中止：14品目、正規採用から院外処方専用：6品目）。

申請書をわかりやすくし、規約を現状に沿った内容に変更を行った。

(前田賢人)

薬剤業務委員会

目的 当院での薬剤関連業務のあり方や運用方法について審議する。

委員長 望月英明

副委員長 水野薫子

委員 佐野武尚、井上暢子、大石千晴、大倉瑞穂、伊藤 弘

幹事 高木聡子

開催記録

| 開催日       | 議題等                                  |
|-----------|--------------------------------------|
| 令和5年6月15日 | 入院患者処方薬の一包化推進について、OP室における麻薬毒薬新運用について |
| 令和5年9月14日 | 入院患者処方薬の一包化推進について、PBPMの充実化について       |

総括コメント

入院患者の一包化推進は、配薬業務に係る時間削減を目的として看護部より提案された。処方変更がほぼない患者を選定し、病棟も限定(W7)した上で、看護部薬剤部の業務量等を検証しながら推進していくことになった。その結果、W7病棟では配薬に係る業務時間の短縮が得られた。引き続き他病棟でも推進していく予定であったが、一包化薬の処方変更が少なからず存在し、円滑な処方カレンダー運用に弊害があることから、院内全体で一包化を推進しづらい状況となってしまった。PBPMについては、すでに2つのプロトコルが行われているところだが、9月にさらに3つのプロトコルを追加した。従来であれば、医師に修正依頼していた内容を薬剤師が修正することで、医師の負担軽減に寄与していると考えられる。今後、本委員会では、薬剤師が医師・看護師のタスクシフトとして具体的に何ができるかを検討していく。

(望月英明)

物品調達委員会

目的 病院が購入し使用する診療材料等の選定及び管理に関する事項を処理することを目的とする。

委員長 縄田隆三

副委員長 中井真尚、池田逸作

委員 佐野倫生、大山巖雄、李 相沅、濱村啓介、井上暢子、杏澤りつ子、大隅 進、高木俊維

オブザーバー 高尾実香

幹事 戸崎誠也、栗山竜輝、渡邊晃司

開催記録

| 開催日       | 診療材料の採用及び中止        | 診療材料減耗損報告                                     |
|-----------|--------------------|---|
| 令和5年6月1日  | 23品目 採用            | 期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日<br>件数245件 金額2,486,649円  |
| 令和5年8月24日 | 10品目 採用            | 期間：令和5年5月1日～令和5年7月31日<br>件数62件 金額673,812円     |
| 令和5年10月5日 | 6品目 採用<br>1品目 次回審議 | 期間：令和5年8月1日～令和5年9月30日<br>件数50件 金額748,928円     |
| 令和5年12月7日 | 1品目 採用             | 期間：令和5年10月1日～令和5年11月30日<br>件数50件 金額1,102,427円 |
| 令和6年2月22日 | 21品目 採用            | 期間：令和5年12月1日～令和6年1月31日<br>件数43件 金額617,486円    |

総括コメント

本年度は委員会を5回開催し、合計60品目の採用を決定した。採用に当たっては、必要性および類似品目の有無、使用頻度、購入単位等を審議して不良在庫が出ないよう配慮している。ここ数年の物価高の影響を受けて病院の医薬費用における診療材料費は年々上昇しており、来年度はベンチマークを上回る物品は採用しないこと、診療材料費2%削減を目標に活動していく。

減耗損については、高額な物品の算定があり昨年度より金額が上昇した。受け渡しの際に不潔にしたり期限切れなどを起こさないよう、各部署に引き続き注意喚起していく。

(縄田隆三)

臨床検査業務委員会

目的 臨床検査業務の効率化の向上及び検査技術科と他部門との相互連絡と、業務に係わる諸問題を審議し、円滑化を図る。

委員長 森木利昭

副委員長 富田浩一、堂本浩二

委員 前田明則、縄田隆三、田中俊夫、増田秀道、上野山良子、福井健一朗、江上芳郎、桜田真唯、井出雅子、杉山弥生

オブザーバー 新村喜明、渡部友芸

幹事 加茂川暢彦

## 開催記録

2023（令和5年）年6月28日

1. 令和4年度検査技術科統計
2. 令和4年度外注検査依頼状況
3. 令和4年度外部精度管理調査結果報告
4. 各部署の報告
  - (1) 外来採血に関する調査報告 中央採血室
  - (2) 生理機能検査室からの報告 生理機能検査室
  - (3) 中央分析室からのお知らせ・提案 中央分析室
5. 検査技術科のタスク・シフト/シェアへの対応
6. その他
  - (1) 安静採血について

### 総括コメント

令和5年度検査総件数は3,135,891件で前年比5.3%増、保険点数は130,148,246点で前年比2.7%増であった。微生物検査の保険点数は前年比57%減と大幅に減少したが、これは新型コロナウイルス検査を微生物検査室で実施していたLAMP法から中央分析室での抗原定量法に切り替えたことに起因している。試薬機材費は7.8%増、外注金額は遺伝子検査など高額な項目の増加により、前年比23.7%増となった。

外部委託検査の中で診療科から要望のあったsIL-2R、コルチゾール、ACTHを院内検査に変更した。

外部精度管理調査では評価総合点に対する当院の評価（比率）は、日本医師会：98.9%、日本臨床検査技師会：100%、静岡県医師会：病理項目でC評価が1項目と良好な結果だった。

繁忙時間帯8時～9時台の採血平均待ち時間は15分以内、超音波検査待ち時間は予約オーダ最大34分、当日緊急オーダは最大161分だった。ホルター心電図検査は検査依頼件数減少につき、令和5年7月から解析を外部委託とした。新型コロナ抗原検査は2023年5月に5類となり、依頼件数は減少したが陽性率は5類になる以前よりも高い。

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会は15名が受講済みである。現時点では実施可能な業務とできない業務がある。

安静採血の増加により採血待ち時間の延長が問題となっている。安静採血が必要な場合は電話連絡をお願いすることとなった。

（森木利昭）

## 放射線業務委員会

目的 放射線診断科・放射線治療科・放射線技術科の運営に関する事項を審議する。

委員長 前田賢人

副委員長 宇佐美 諭、増田秀道

委員 小柳津竜樹、田中俊夫、村田耕一郎、石黒光紀、

三岡 博、飯塚裕介、野口哲哉、澤田智一、後藤 薫、後藤善人、乙丸 亨、安藤吉尊、渡邊晃司

幹事 星野明宏

## 開催記録

第1回 令和5年4月12日

- 1) CT/MR検査の緊急遠隔読影の運用について
- 2) RIS（放射線部門システム）の一部改良について RIとMRIの静脈確保を技師が行う予定、その実施者をRISに記録するための変更
- 3) 東館2階透視検査室における有線放送設置について（消化器内科依頼）

第2回 令和5年5月17日

- 1) 放射線診療（業務）従事者の指定に関するガイドライン（日本放射線看護学会）の審議
- 2) インシデント報告が必要な被ばく線量について
- 3) PET-CT中止判断基準
- 4) CT/MRI検査のオープン患者に於いて造影剤副作用発症時の対応
- 5) 造影剤投与基準であるeGFR値の見直し
- 6) オープン検査での心臓MRI検査について

第3回 令和5年8月9日

- 1) 委員会設置要綱の変更について
- 2) PETの登録医師の変更について
- 3) 放射線管理区域一時立入者で管理が必要な2職種の管理方法の提案
- 4) カテーテル検査の医療被ばく個人別線量について
- 5) アミロイドPET検査について
- 6) CT 3D画像のSYNAPSE転送について

第4回 令和5年9月14日

- 1) カテーテル検査における医療被ばく線量の設定値を超えた症例の検討

第5回 令和5年11月13日

- 1) 緊急MRI検査時の医師の立ち会いについて

第6回 令和6年2月29日

- 1) CT、MRI同意書の運用周知文の検討
- 2) R6年度更新予定のガンマカメラSPECT-CTの機種クラス選定
- 3) オープンPETの癌疑いでレセプトが査定されるような場合でも強く要望される場合の検討

### 総括コメント

本年度も放射線関連業務で生じる諸問題に対応した。どの検査も概ね安定して運営されているが、MRIに関しては検査数の増加に伴い、慢性的に待ち時間が長くなっている。検査枠の拡大で対応しているが、限界があり、オーダーする側の検査の妥当性が見直しが必要になると思われる。救急外来での検査遅延を防ぐためのシフトの変更や造影検査のルート確保といったタスクシフトなど、

放射線技術科職員の工夫・努力には、謝意を表したい。  
(前田賢人)

### 放射線安全管理委員会

目的 「放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」に基づき、リニアックを取り扱うことにより発生する放射線障害を防止し、公共の安全を確保する事を目的とする。

委員長 飯塚裕介

副委員長 増田秀道

委員 青山治子、小柳津竜樹、村田耕三、宇佐美 諭、  
澤井 龍、江上芳郎

幹事 望月 緑

開催記録 (回覧による承認)

1. 日時 令和5年9月19日

議題 放射線障害予防規程の修正(案)の承認について

2. 日時 令和6年2月19日

議題 放射線障害予防規程に基づく教育訓練の承認について

教育訓練実施記録

日時 令和6年3月7日、3月15日

出席者 業務従事者(飯塚、小坂、望月み、星野、  
小野田、山口、鳥羽、広田、  
西田、渡部、曾我)

放射線取扱主任者(澤井、荻田、長田)

内容 1. 放射線の人体に与える影響について 10分  
2. 放射線発生装置の安全取り扱いについて 10分  
3. 放射線障害の防止に関する法令及び放射線障害予防規程について 10分

総括コメント

昨年度、放射線同位元素等の規制に関する法律(RI法)の改正に伴う放射線障害予防規程の変更案について、委員に説明するための委員会を開催した。そのため今年度は委員に回覧、承認のみ行い、放射線障害予防規程の変更を令和5年9月25日に原子力規制庁へ提出、10月1日より施行となった。その他、来年度に向けての業務従事者の教育訓練も滞りなく開催し、引き続き事故なく安全に業務が行われるように努める。

安全管理に関しては、引き続き、放射線治療品質委員会、PET診療安全管理委員会及び衛生委員会と連携しながら進めて行く。

(飯塚裕介)

### 患者給食委員会

目的 患者給食の基本事項を審議し、その向上を図る。

委員長 青山治子

副委員長 濱村啓介、田村尚久

委員 清水洋佑、齊藤輝乃、山本聖子、山内浩之、  
黒岩美紅、高木俊維、加藤仁章、赤津航二郎

幹事 佐藤七恵

開催記録

令和5年6月8日

1. 令和5年度年間計画について
2. 献立メニューについて
3. 嗜好調査の報告
4. その他(配膳車で下膳された物品、入院時食事療養費について、他)

令和5年8月10日

1. 献立メニューについて
2. その他(土用丑の日、給食用箸における事例報告、食事オーダ操作について)

令和5年10月12日

1. 献立メニューについて
2. 嗜好調査の報告
3. その他(配膳車で下膳された物品、提案箱について)

令和5年12月14日

1. 献立メニューについて
2. その他(年末年始の食事、給食用箸の入れ替え、病棟配膳時刻および配膳車割り振りについて)

令和6年2月8日

1. 献立メニューについて
2. 嗜好調査の報告
3. その他(給食用箸の入れ替えについて)

総括コメント

今年度も3回の嗜好調査を実施。5月は行事食「駿府葵弁当」について満足度調査を行った。通常献立と比較し満足度は高いとの結果が得られたが、温度管理については改善を望む意見も聞かれた。引き続き通常献立のみならず行事食を含めた病院給食全体の満足度向上に努めていく。9月は病院給食全体について調査。満足度は86%であり、前年度と比較し9.2%の増加が見られた。月2回の献立会議にて新メニュー考案や既存メニューの改良に取り組んでおり、その成果に因る可能性が示唆された。1月は主食について調査。ご飯の軟らかさに対する要望や主食量が多いとの意見が度々ある点から、軟飯の導入および個々の年齢や体格に合わせた調整を行っていく必要がある。

病院給食に関するトラブル対応始め、適宜病棟職員へ働きかけ問題解決に努めた。今後も各方面の意見を取り入れながら、満足度の向上および安心・安全な病院給食の運営に努めていきたい。

(青山治子)

## 救急業務委員会

目 的 救急業務の円滑な運営を図るため救急診療に関する事項について審議する。

委員長 山田 孝

副委員長 前田賢人、渡邊 出

委 員 小柳津竜樹、佐野武尚、玉里順子、野口哲哉、杉山博文、酒井秀政、小木浩孝、井上暢子、澤口展子、小保方幸広、塚本剛生、岩崎浩典、井出雅子、小林恵美子、石川和俊、池谷拓巳、鍵山周吾

幹 事 小嶋優子

### 開催記録

令和5年4月26日

CPAOAの検証について（2月～3月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について

令和5年5月31日

CPAOAの検証について（3月～4月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について  
放射線技術科よりMRI検査について要望  
設置要綱の更新について

令和5年6月28日

CPAOAの検証について（4月～5月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について

令和5年7月26日

CPAOAの検証について（5月～6月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について

令和5年8月23日

CPAOAの検証について（6月～7月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について  
外科当番日の医師の対応について

令和5年9月27日

CPAOAの検証について（7月～8月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について  
救急外来マニュアルの改訂について

令和5年10月25日

CPAOAの検証について（8月～9月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について  
当番日の放射線検査について

令和5年11月29日

CPAOAの検証について（9月～10月）  
不応需症例判断の是非等検証について

応需率について

藤枝市立総合病院の救命救急センターについて

令和5年12月27日

CPAOAの検証について（10月～11月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について

令和6年1月31日

CPAOAの検証について（11月～12月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について

令和6年2月28日

CPAOAの検証について（12月～1月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について  
検査技術科より時間外での検体検査の結果連絡について

内科宅直の受け入れ患者について

令和6年3月27日

CPAOAの検証について（1月～2月）  
不応需症例判断の是非等検証について  
応需率について  
脳神経外科の脳卒中疑い患者の受け入れ体制について

### 総括コメント

今年度新たに行ったこととして、CPAOA症例検討結果の通知方法の変更がある。

CPAOA症例検討において、書類選択の妥当性や死因の選択について検討しているが、委員会の意見と異なる場合、これまでは口頭で連絡していた。今年度は文書で通知する形式に改めた。この結果、死因を検討するうえで十分な所見がそろわない症例については、最も妥当と考えられる「不詳の死」を選択されることが多くなった。より適切な書類が増加してきている。

救急搬送者数については、域内でのトップが維持されている。今年度の新たな傾向として、中等症が搬送者の最多数となり、以前の軽症から変遷していることが挙げられる。

(山田 孝)

## 手術業務委員会

目 的 手術室の円滑な運営をはかり、関係各診療科間の調整を行う。

委員長 深澤誠司

副委員長 前田賢人、玉里順子

委 員 水野薫子、中井真尚、池上 聡、李 相沅、村田耕一郎、大山巖雄、野口哲哉、土屋恭子、金 大志、森木 睦、澤田智一、野島陽一、市川昭美、坂本美志、高木聡子、成田佳恵、

榎永大二郎、高村比路華、大隅 進、  
池ヶ谷幸恵  
幹事 杏澤りつ子、久保 浩、戸崎誠也  
オブザーバー 小林恵美子  
開催記録

- ・令和5年4月12日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) 人事について
  - (4) 10ルーム工事進捗状況
  - (5) 麻酔科学会に伴う手術制限について
  - (6) 5月連休に伴う手術申し込み締め切りについて
  - (7) 10ルーム増設に伴う手術枠について
  - (8) 次世代ロボット支援手術のための説明会について
  - (9) DC装置増設について
- ・令和5年5月17日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) ME機器修理状況
  - (4) 10ルーム工事進捗状況
  - (5) ジーゴ点検について
  - (6) 電気メスデモのお知らせ
  - (7) キシロカインE入り 0.5%・1.0%について
  - (8) 10ルーム稼働後の部屋割りについて
- ・令和5年6月14日
  - (1) 麻薬の運用について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) 10ルーム工事進捗状況
  - (4) 圧縮空気のアラームについて
  - (5) その他
- ・令和5年7月12日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) ME機器修理費の報告
  - (4) 麻薬の運用変更点について
  - (5) 10ルーム増設工事について
  - (6) Cアームデモについて
  - (7) 器械庫、機材庫、医師控え室の整理整頓について
  - (8) ソノサージ販売終了に伴う対応について
  - (9) ヘッドライト購入について
  - (10) 整形外科からお知らせ
- ・令和5年8月9日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) 人員について
  - (4) 10ルームの状況について
  - (5) 放射線機器の修理状況
  - (6) アブレーションの麻酔科管理について
  - (7) ソノサージ購入について
- ・令和5年9月13日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) 西館受付工事進捗状況
  - (4) 10ルーム稼働後の手術枠について
  - (5) その他
- ・令和5年10月11日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) 10ルーム稼働後の現状について
  - (4) 麻酔科管理手術枠調整カレンダーの運用について
  - (5) ダヴィンチチームの作業部会について
  - (6) その他
- ・令和5年11月8日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) 10ルームの運用について
  - (4) 働き方改革、医師の特別加算について
  - (5) その他
- ・令和5年12月13日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) ロボット手術運営部会について
  - (4) 年始の手術申し込み締め切りについて
  - (5) 超緊急手術麻薬、筋弛緩薬の保管、管理について
  - (6) 周術期薬剤管理加算について
  - (7) ハイブリッド室の運用について
  - (8) その他
- ・令和6年1月17日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) ロボット手術運営部会について
  - (4) 放射線医療機器使用時の放射線オーダーについて
  - (5) その他
- ・令和6年2月14日
  - (1) 体内異物遺残防止のための術後レントゲン撮影について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) サンプルシーツの試用について
  - (4) 9ルーム及び10ルームの手術枠調整について
  - (5) エコー配置、配置図作成について
  - (6) 10ルーム追加設備設置の進行状況について
  - (7) 西4階分娩室、陣痛室の改築工事について
- ・令和6年3月13日
  - (1) 医療安全について
  - (2) 減耗損報告
  - (3) 周術期薬剤加算算定について

- (4) 医療機器について
- (5) 手術部位のマーキングについて
- (6) その他

統括コメント

令和5年秋に念願であったロボット手術専用のNo.10手術室が完成した。ただし、No.8手術室を師長室としたため、室数としては増室には至らなかった。ダビンチもXiに更新されロボット手術を行う科のモチベーションが上がった。また、1月からは呼吸器外科のロボット手術が開始となり、都合4科で同手術室を利用することとなった。

薬剤科が手術室に常駐することとなり、麻薬、筋弛緩剤等の劇薬が薬剤科の一括管理となり安全性の向上が図られたとともに、看護師の負担減少が図られた。

手術室看護師の増員が行われ、多くが卒後1年目、2年目となる構成となった。上級者の指導のもとに各手術に積極的に関与して技量の向上を図っている。次年度以降も更なる修練を継続していただきたいと考える。

(深澤誠司)

外来業務委員会

目的 外来業務に関する諸問題について関連部門が連携し円滑な運営を図る

委員長 田村尚久

副委員長 藤井雅人、井上暢子

委員 前田賢人、川人充知、鈴木公子、河合王明、  
原木久美、畠沢喜代子、塚本剛生、小野田博繁、  
牧野泰恵枝、後藤善人、鈴木崇浩、出井慎也、  
大倉瑞穂、池ヶ谷幸恵、入山雄一郎、加地 栗  
オブザーバー 小林恵美子、傳刀啓至、  
森橋陽子（ニチイ学館）

幹事 石川和俊

開催記録

令和5年7月31日

- (1) 静岡市立静岡病院外来業務委員会設置要綱の一部改定について
- (2) 問診の電子化について
- (3) 電子処方箋、薬剤・特定検診情報等の運用について
- (4) 外来患者待ち時間対策の取組状況について

令和5年9月25日

- (1) 「診察の順番」の記載内容変更について
- (2) 問診の電子化について
- (3) 外来患者待ち時間対策の取組状況について

令和6年1月11日

- (1) 診療科紹介予約の対応について
- (2) 外来化学療法室・合同処置室移転工事について
- (3) 電子処方箋、薬剤・特定検診情報等の運用について

- (4) 問診の電子化の進捗と今後の対応について
- (5) 外来業務に必要な備品等の購入について

令和6年2月19日

- (1) 電子処方箋、薬剤・特定検診情報等の運用について
- (2) 待ち時間の状況について
- (3) 令和6年度各科外来診療体制の確認について
- (4) 外来化学療法室・合同処置室移転工事の進捗について

令和6年3月28日

- (1) 院内へのシニアカーの乗り入れについて
- (2) 外来予約票について
- (3) 外来待ち時間対策部会の設置について
- (4) 予約待ち時間について
- (5) 問診の電子化の進捗について
- (6) 電子処方箋の進捗について
- (7) 外来受付時間後の患者受け入れ・かかりつけ患者の救急対応について

総括コメント

医療DXへの対応に追われた1年間だった。電子カルテシステムの不具合があり進捗が遅れているが、来年度も重要課題となると予想される。外来待ち時間対策は、再診患者は対象とせず、初診患者の待ち時間短縮を目的に検討を始めている。来年度に対策部会を設ける予定だが、再診患者の大幅な削減が課題となると考えられる。  
(田村尚久)

病棟業務委員会

目的 病棟全体の円滑な運営に努めるとともに、病棟間の調整について看護業務と連携をとり審議する。

委員長 前田明則

副委員長 水野薫子、石川和俊

委員 前田賢人、小柳津竜樹、藤井雅人、井上暢子、  
鈴木公子、大石千晴、池ヶ谷幸恵、前田弘子、  
塚本剛生、高村比路華、傳刀啓至、江上芳郎

オブザーバー 小林恵美子

幹事 大井手るな

開催記録

第1回 令和5年7月12日

- 議題
- (1) 9月からの病床割当について
  - (2) 職員業務マニュアルの内容について
  - (3) 西7病棟・西9病棟の浴室改修について

第2回 令和5年11月8日

- 議題
- (1) 予約票コメント欄の内容変更について  
(総務課情報係より報告)
  - (2) 職員業務マニュアル（入院診療）の内容一部変更について



### (3) 西館浴室の改修について

#### 総括コメント

長らくCOVID-19感染に振り回された当委員会であったが、5類への移行を受け一段落となった。

COVID-19対応のために減床となっていた病床数の復活、重症系病棟・病床の再編を目指し、多職種による病棟・病床再編プロジェクトを立ち上げた。様々な可能性を検討した結果、下記のように再編を行うことと決定し、再編実行日を9月1日とした。

西館各病棟の食事室を3人床の病室に変更した。また西館8階病棟は59床へ増床した。

重症系はこれまでICU、HCU、GHCUの3部門が存在したが、GHCUを廃止し、東館5階にICU8床、東館8階にHCU30床を設けた。

これにより病院の病床数は、感染症病床6床を含む506床に久しぶりに戻った。

今後も関係部署間の連携をさらに密に取りながら、病棟業務が円滑に進行するよう図っていきたい。

(前田明則)

#### 医療廃棄物委員会

目的 当院で排出される医療廃棄物について、「医療廃棄物処理マニュアル」及び関係法令等に基づく安全で衛生的な処理を確保することを目的とする。

委員長 深澤誠司

副委員長 吉田多加貢

委員 玉里順子、岩井一也、坂本美志、渡邊 悠、三浦 篤、佐藤雄一郎、伊藤栄和

幹事 江上芳郎、中村麻衣子

#### 開催記録

令和5年8月30日

- (1) 院内廃棄物処理マニュアルの改正について
- (2) オペ室における感染性廃棄物(液状物)の処理について

#### 総括コメント

COVID-19の5類移行と発症者の減少により、産業廃棄物の排出量は令和4年より減少、令和3年に近づいた。また、処分費用は令和3年よりも減少した。

院内で資源ゴミ回収を行っているが、本年は病院全体で567,688円の削減となった。

(深澤誠司)

#### 医療ガス安全管理委員会

目的 病院で使用する医療ガス及びその設備の保安管理を図り、患者の安全を確保する。

委員長 深澤誠司

副委員長 吉田多加貢

委員 岩井一也、玉里順子、坂本美志、伊藤栄和、佐藤雄一郎、三浦 篤、福井健一郎

幹事 馬場英明

#### 開催記録

令和6年3月13日

- (1) 令和5年度 医療ガス設備保守点検業務について(報告)
- (2) 医療ガス基礎研修について(報告)

#### 総括コメント

保守点検に関しては、年4回の定期保守点検で特に指摘事項は有りませんでした。

昨年より再開した4月の新人研修での医療ガス安全管理講習は本年も好評でした。

次年度以降も継続を考えています

(深澤誠司)

#### 輸血療法委員会

目的 安全かつ適正な輸血療法の推進

委員長 前田明則

副委員長 堂本浩二

委員 米沢 圭、野村亮太、榎本康世、進藤 仁、櫻井貴斗、佐野史江、桜田真唯

幹事 新村喜明

#### 開催記録

令和5年5月18日

1. 令和5年2月～3月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 令和4年度の年間輸血用血液製剤使用状況について
3. 「輸血用血液製剤の病棟保管禁止について再度徹底のお願い」について
4. 宗教の信仰等を背景とする医療ネグレクトが疑われる事案への対応について
5. その他
  - ①日本赤十字社監修「輸血用血液製剤取り扱いマニュアル」改訂版の紹介
  - ②クリオプレシピテート作製方法についての再確認
  - ③日曜日入院、月曜日手術の場合の輸血用血液の準備について

令和5年7月20日

1. 令和5年4月～5月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 輸血療法委員会の設置要綱の更新について
3. 血小板輸血により細菌感染が疑われた事例について  
(令和5年度第1回血液事業部会資料より)

4. 洗浄血小板製剤のシステム認証における対策について  
(製剤の有効期限が「0時」の対応策)

5. 血液センターから当委員会へのオブザーバー参加について

令和5年9月21日

1. 令和5年6月～7月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 病院機能評価受審に向けての再確認事項について
3. 当委員会が実施する行事等及び下部組織に関する調査への回答について
4. 新着輸血情報（日本赤十字社）について
5. 輸血に使用した使用済み製剤バッグの冷蔵保存について

令和5年11月16日

1. 令和5年8月～9月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 「輸血およびアルブミン製剤の使用に関する同意書」等について
3. 血小板製剤への細菌スクリーニング導入について（日赤）

令和6年1月11日

1. 令和5年10月～11月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 「輸血およびアルブミン製剤の使用に関する同意書」等の改定について

令和6年3月21日

1. 令和5年12月～令和6年1月の輸血用血液製剤使用状況について
2. 輸血療法委員会運用マニュアル改定について
3. 「輸血およびアルブミン製剤の使用に関する同意書」改定の進捗について
4. その他

- ①厚生労働省の血液事業部会令和5年度第1回適正使用調査会の議事内容紹介

#### 総括コメント

今年度は病院機能評価の更新年ということもあり、輸血療法について再確認を行った。輸血用血液製剤の病棟保管禁止については、通知文と改定した院内輸血業務マニュアルを配布することで再度周知して遵守を徹底した。また、静岡県赤十字血液センターから輸血療法委員会へオブザーバーとして参加招致するなど、外部情報も積極的に取り入れるよう努力もした。病院機能評価の受審結果では若干の指摘を受けたが、「輸血およびアルブミン製剤の使用に関する同意書」等を改定することで対応することができた。今後も適正な輸血療法を推進するために改善を検討していく。

(前田明則)

#### 診療録委員会

目的 院内の診療記録・医学資料の保存、廃棄について検討し、よりよい診療録の管理を目指す。  
更に診療録の記載内容について検討し、診療録の質の向上を目的とする。

委員長 山田 孝

副委員長 傳刀啓至

委員 五十嵐健康、橋本洋右、稲葉好則、井上暢子、河合王明、篠原宏幸、乙丸 亨、櫻井貴斗、佐藤友香

オブザーバー 大塚 諭

幹事 海野千晶

#### 開催記録

令和5年4月12日

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 新規・修正文書承認について
4. その他

令和5年6月14日

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. カルテ監査実施について
4. 新規・修正文書承認について
5. その他

令和5年8月15日

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. カルテ監査の結果について
4. 新規・修正文書承認について
5. その他

令和5年10月11日

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. 新規文書承認について
4. その他

令和5年12月13日

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. カルテ監査の実施について
4. 新規文書承認について
5. 病院機能評価での指摘事項について
6. その他

令和5年2月14日

1. 前回の議事録
2. サマリ記入率について
3. カルテ監査結果について
4. 新規文書承認について
5. その他

## 総括コメント

サマリ記入率は高く維持されており、医師からの協力が安定して得られている。

診療録の質の維持・向上のため、年2回のカルテ監査を行っている。定型的内容についてはほぼ問題ないが、病状説明時の本人や家族の受け止め方などの記載に改善に余地が残されている。文書の種類としては、化学療法の説明用紙など、説明用の書類が増加してきている。増えた分、文書内容のアップデート管理が漏れないことが求められる。これらの事項が今後の課題である。

(山田 孝)

## 褥瘡対策委員会

目的 褥瘡対策について、病院として総合的な対策を検討する。

委員長 森木 睦

副委員長 山本聖子

委員 金 大志、深澤拓斗、北條貴子、福田 萌、海老名哲生、市川由布子、渡邊 悠、杉山和寛、鈴木康介、藤吉翔吏、芦田拓真、浅倉 晶

幹事 桜田真唯

### 開催記録

令和5年4月24日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク
- 5 令和5年度褥瘡対策講習会の日程及び内容について

令和5年5月29日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 令和5年度褥瘡対策講習会の講師決定について

令和5年6月26日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク
- 5 令和5年度褥瘡対策講習会の資料について

令和5年7月24日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 令和5年度褥瘡対策講習会の演題決定とポスター（案）について

令和5年8月28日

- 1 褥瘡回診の報告

- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク
- 5 褥瘡対策講習会の当日役割分担について
- 6 来年度褥瘡対策講習会のメインテーマについて

令和5年9月25日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク
- 5 総務課からの調査への回答について
- 6 褥瘡対策講習会eラーニング受講依頼通知について

令和5年10月23日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク
- 5 褥瘡対策講習会アンケート結果について

令和5年11月27日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク

令和5年12月25日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク

令和6年1月22日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク
- 5 令和5年度講習会出席率について
- 6 電子カルテシステムのバージョンアップにおける機能追加事項の要否の回答について
- 7 3月委員会日程の変更について
- 8 令和6年度の委員会日程について

令和6年2月26日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告
- 3 新規発生率
- 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク
- 5 令和6年度褥瘡対策講習会の日程決定

令和6年3月18日

- 1 褥瘡回診の報告
- 2 褥瘡対策カンファレンスの報告

### 3 新規発生率

### 4 DiNQL 褥瘡関連ベンチマーク

#### 総括コメント

前年度に引き続き、WOCナース、栄養士、理学療法士、薬剤師がそれぞれのデータを事前に収集してカンファレンスを行い、効率的かつ効果的な回診を行っています。定期的に院内勉強会を行い、褥瘡の予防の段階から治療において“除圧、栄養状態の是正、局所治療もしくは予防的スキンケア”の徹底を周知させるよう努力を続けます。今後も活発な委員会活動を行い、褥瘡を伴った患者さんに対してチームでサポートを行っていきます。

(森木 睦)

#### 病院機能評価委員会

**目的** 病院機能評価を通じて各業務の基準や手順を確認し、病院としてのクオリティを高めるとともに、その実現のため病院に対して提言することを目的とする。

**委員長** 水野薫子

**副委員長** 中井真尚

**委員** 藤井雅人、寺井恭彦、青山治子、井上暢子、榎本康世、七丈藍乃、増田秀道、篠原宏幸、高木聡子、山内浩之、小林恵美子、江上芳郎、大井手るな、寺田知世、納本直重、池谷拓巳、大塚 諭、三浦慎也

**幹事** 松野謙次、長谷川 智

#### 開催記録

##### ・病院機能評価委員会

令和5年4月27日

1. 病院基本理念、基本方針について
2. 患者満足度調査について

令和6年2月13日

1. 中間的な結果報告での課題について
2. C評価に関する補充的な審査について

令和6年3月21日

1. 患者満足度改善部会活動報告
2. 医療廃棄物用段ボール箱の取り扱いについて

##### ・病院機能評価作業部会

令和5年6月8日

1. 各領域の進捗報告
2. 自己評価調査票の確認
3. 事前準備書類の確認
4. 模擬審査について

令和5年8月31日

1. 各領域の進捗報告
2. 事前準備書類の確認
3. 本審査時の役割分担について

#### ・その他

##### 【模擬審査】

令和5年7月27日

講師 日本医療機能評価機構

看護領域サーベイヤ― 市川智恵子氏

##### 【訪問本審査】

令和5年10月19日～20日

訪問サーベイヤ―

診療領域 大井克之氏、田中和美氏、

長瀬 清氏

看護領域 遠山香織氏、河内昌子氏

事務領域 清水 晃氏、後藤孝浩氏

##### 【病院機能評価受審報告会】

令和5年12月7日

1. 本審査受審までの流れ
2. 今後の流れ
3. サーベイヤ―からの意見
4. 次回受審までの流れ

#### 総括コメント

令和5年度は、病院機能評価の更新年度にあたり、10月19日～20日に訪問本審査を受審した。評価結果はS評価1、A評価76、B評価11であった。

中間報告では感染管理（評価項目2.1.9）に関して、病棟でのランドリーバッグの運用と保管場所についてC評価の指摘を受けた。看護部を中心に改善し、書面による補充的な審査を受審した。その結果、改善が認められ、C評価からB評価に繰り上がり令和5年11月17日から令和10年11月16日までの更新が認定された。

今後は、訪問本審査で課題とされた点を中心に改善活動を継続し、医療の質の更なる向上を目指していく。

(水野薫子)

#### がん診療委員会

**目的** 病院のがん診療にかかる方針、運用等について、検討、審議する。

**委員長** 前田明則

**副委員長** 前田賢人

**委員** 山田 孝、小柳津竜樹、大山巖雄、岩井一也、鈴木公子、鍋田 泉、坂上朋子、原木久美、藤田清子、増田友美、渡部美尚子、青木 望、落合真希、野川晴美、足立敬幸、森川結加、高橋美乃莉

**幹事** 石井佐代子

#### 開催記録

第1回がん診療委員会全体会議

令和5年8月16日

- 1 令和5年度のがん診療委員会体制について
- 2 各部会年度報告

- ①がん登録部会
  - ②広報学術部会
  - ③歯科医師連携部会
  - ④化学療法部会
  - ⑤緩和医療部会
  - ⑥がん教育部会
  - ⑦相談・就労支援部会
  - ⑧がんゲノム医療部会
- 3 がん診療連携拠点病院指定更新に係る現況報告のための集計依頼
- 4 その他

#### 総括コメント

今年度も、がん登録部会、化学療法部会、広報学術部会、緩和医療部会、医科歯科連携部会、相談・就労支援部会、支持療法部会、がん教育部会の8部会では、それぞれの活動を継続して行った。

今年度からがんゲノム医療部会を新たに立ち上げ、前田賢人先生に部会長をお願いし、当院のがんゲノム医療推進を図った。

また一時的な部会として、化学療法室移転拡充部会を適宜開催し、手狭となった化学療法室の移転、拡充を検討し、令和6年7月8日からの新化学療法室運用開始を目指している。

病診がんカンファレンスは、令和5年度中に4回開催した。

がん患者サロンは、令和5年度中に12回開催した。

緩和ケア研修会、フォローアップ研修会は合わせて2回開催した。

主に市立中学校を中心に行っているがん教育の授業は、2023年度中には9中学校において、計14回の授業を前田が学校に出向いて行った。

これからも心のこもった質の高いがん医療を提供していくとともに、受診前の市民の健康維持にも貢献していきたい。

(前田明則)

#### クリニカルパス委員会

目的 医療の標準化を目指し、質の高い医療の提供と、効率のかつ、患者に分かりやすい医療を目指すためのシステム構築と管理を目的とする。

委員長 山田 孝

副委員長 佐野倫生

委員 米澤真澄、中井真尚、小林敏樹、黒石健吾、鈴木公子、福田彩子、河合王明、池ヶ谷幸恵、佐藤友香、中山綾野

幹事 大塚 諭

#### 開催記録

令和5年4月11日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. バリエーション分析について
4. その他

令和5年5月11日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. バリエーション分析について
5. パス検証について
6. その他

令和5年6月13日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. バリエーション分析について
5. パス検証について
6. その他

令和5年7月11日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. パス検証について
5. バリエーション分析について
6. その他

令和5年8月8日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. パス検証について
5. バリエーション分析について
6. その他

令和5年9月12日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. 新規作成予定のパスについて
5. バリエーション分析について
6. パス検証について
7. その他

令和5年10月10日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. バリエーション分析について
4. その他

令和5年11月14日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. パス検証について
5. バリانس分析について
6. その他

令和5年12月12日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. バリانس分析について
4. その他

令和6年2月13日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. 修正パス報告について
5. バリانسについて
6. その他

令和6年3月12日

1. 前回の議事録
2. パス稼働報告について
3. 新規パス承認について
4. バリانس分析について
5. その他

#### 総括コメント

令和6年2月、退院患者に対するクリニカルパスの使用率が50%を超える結果となった。また、令和6年3月には51.4%となり過去最高の使用率である。総合医療情報システムの更新後、クリニカルパスの体制整備に約3年の時間を要したが、地道な努力が結実している。今後もクリニカルパスが各部署の業務負担軽減につながるよう更なる取り組みを行っていく。

(山田 孝)

#### DPC委員会

目的 標準的な診断及び治療方法について院内で周知を徹底し、適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう。）を行う体制を確保する。また、診断群分類の適切なコーディングに関する勉強会を主な目的として、DPCコーディング検討会を開催する。

委員長 山田 孝

副委員長 小林恵美子

委員 多田誠一郎、服部雄介、鈴木公子、鈴木芳治、後藤善人、海野千晶

幹事 佐藤友香

#### 開催記録

第1回 令和5年4月27日

- 議題
1. コーディング検証（血液内科：うっ血性心不全）
  2. DPC統計
  3. 診療科別の入院期間割合
  4. 令和5年度機能評価係数Ⅱ比較について
  5. 外部環境分析について

第2回 令和5年5月25日

- 議題
1. コーディング検証（形成外科：膝部開放創）
  2. DPC統計
  3. 診療科別の入院期間割合
  4. 医療機関別係数の推移について
  5. DPC診断群分類承認状況について

第3回 令和5年6月22日

- 議題
1. コーディング検証（産婦人科：子宮の先天奇形のための母体管理）
  2. DPC統計
  3. 診療科別入院期間割合
  4. 令和4年度定義副傷病名割合について

第4回 令和5年7月27日

- 議題
1. コーディング検証（循環器内科：大動脈弁狭窄症）
  2. DPC統計
  3. 診療科別入院期間割合
  4. 令和6年度基礎係数・機能評価係数Ⅱシュミレーションについて

第5回 令和5年8月24日

- 議題
1. コーディング検証（呼吸器内科：肺アスペルギルス症）
  2. DPC統計
  3. 診療科別入院期間割合
  4. 令和4年度紹介入院診断群分類について
  5. 令和6年度基礎係数シュミレーション結果について
  6. 令和4年度病院情報の公開について

第6回 令和5年9月28日

- 議題
1. コーディング検証（心臓血管外科：解離性胸部大動脈瘤）
  2. DPC統計
  3. 診療科別入院期間割合
  4. 令和4年度病院情報公表について
  5. 令和6年度基礎係数シュミレーションについて

第7回 令和5年10月26日

- 議題
1. コーディング検証（循環器内科：頻脈性不整脈）
  2. DPC統計

3. 診療科別入院期間割合  
4. 令和5年10月医療機関別係数推移について
- 第8回 令和5年11月30日  
議題 1. コーディング検証（心臓血管外科：大動脈弁閉鎖不全症）  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 入院レポート自院KPI変化について  
5. 入院レポート変化率ベンチマークについて
- 第9回 令和5年12月28日  
議題 1. コーディング検証（消化器外科：大腸血管形成異常）  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 令和6年度機能評価係数II見直し（案）について
- 第10回 令和6年1月25日  
議題 1. コーディング検証（整形外科：左脛骨骨幹部骨折）  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 令和6年度機能評価係数II・地域医療係数の評価方法変更について
- 第11回 令和6年2月22日  
議題 1. コーディング検証（消化器外科：グラム陽性菌敗血症）  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 令和6年度診療報酬改定について
- 第12回 令和6年3月28日  
議題 1. コーディング検証（産婦人科：尖圭コンジローマ合併妊娠）  
2. DPC統計  
3. 診療科別入院期間割合  
4. 令和6年度DPCの評価・検証等に係る調査について

#### 総括コメント

DPC委員会の活動目標は、院内にDPC制度を周知し普及させ、入院診療報酬の核心部分であるDPC機能を十分に発揮させることにある。この目標の実現には、多岐にわたる活動が求められ、かつ同期性も不可欠である。知識としてのDPCの普及、電算システム上でのDPCソフトの操作習熟、副傷病名の検討、入院期間とDPCでの入院期間の連動など、本委員会以外の活動との共同作業は年余にわたった。その結果、期間IIまでの退院が目標70%を超えるような目に見える成果を生み出しつつある。

(山田 孝)

#### ICU・HCU委員会

目的 ICU及びHCUの円滑な運営に努めるため、診療科・病棟間の調整、連携等について審議する。

委員長 前田賢人

副委員長 村田耕一郎、渡邊 出、市川昭美

委員 深澤誠司、中井真尚、大山巖雄、松本芳博、小柳津竜樹、池上 聡、野口哲哉、岩井一也、米澤真澄、土屋恭子、澤田智一、森木 睦、清水洋佑、佐野武尚、江河勇樹、井上暢子、大石千晴、吉井葉末、木原美智子、岩邊しのぶ、村松早希、天野裕美、池ヶ谷幸恵、吉田多加貢、傳刀啓至

オブザーバー 石川和俊

幹事 大井手るな

#### 開催記録

第1回 令和5年6月26日

議題 (1) ICU・HCU規約の変更内容について  
(2) その他

第2回 令和5年9月7日

議題 (1) ICU・HCU当直体制について  
(2) 入室申込について  
(3) 面会時間の見直しについて  
(4) その他

第3回 令和5年10月6日

議題 (1) ICU規約及びHCU規約の修正について  
(2) 「ICU日当直日誌」について  
(3) その他

#### 総括コメント

9月に東館5階のHCU12床を廃し、新たに東館8階にHCU22床を設けて、従来のGHCU8床と併せて、計30床のHCUとした。入室中の患者さんを含めた引っ越し作業はスムーズに完了した。看護師の人員不足もあり、これまでは24床までで運営している。HCUの日当直は循環器内科の医師がCCU当直と兼務する形で担当してくれている。東館5階のICU8床に関しては、これまでと同様の運営であるが、ICUの日当直に関して、日誌の変更を含め、人事課がしっかりと把握できるように若干の修正を行ったが、まだ改善の余地が大きいと考えている。

(前田賢人)

#### 放射線治療品質委員会

目的 放射線治療全体の観点から、専門的知識をもとに品質管理を行うとともに、放射線治療の安全性の向上を図る事を目的とする。

委員長 飯塚裕介

副委員長 岩崎浩典

委員 米沢 圭、乙丸 亨、望月 緑、星野明宏、後藤 薫、渡部美尚子

幹事 戸崎誠也

開催記録

令和5年6月20日

1. 前回の振り返り
2. 臨床案件（インシデント報告）
3. 放射線治療装置のエラー、故障の報告
4. 装置の品質管理状況等について
5. その他…体幹部固定用吸引マットの購入について  
VARIAN社製放射線治療システムのアップグレードについて  
脳定位専用治療計画装置 (ELEMENTS) の運用開始について  
IMRT郵送調査について

令和5年9月6日

1. 前回の振り返り
2. 臨床案件（インシデント報告）
3. 放射線治療装置のエラー、故障の報告
4. 装置の品質管理状況等について
5. 照射装置の回転中心精度について
6. その他…IMRT郵送調査の結果について

令和5年12月5日

1. 前回の振り返り
2. 臨床案件（インシデント報告）
3. 放射線治療装置のエラー、故障の報告
4. 装置の品質管理状況等について
5. 照射装置回転中心精度補正のための芯出し作業の実施について
6. 患者治療計画データの保存について
7. その他…放射線治療システムアップグレードについて  
脳定位専用治療計画装置 (ELEMENTS) の運用状況について  
精度管理装置の購入について

令和6年3月12日

1. 前回の振り返り
2. 臨床案件（インシデント報告）
3. 放射線治療装置のエラー、故障の報告
4. 装置の品質管理状況等について
5. 照射装置の総合的な回転中心精度について
6. その他…年間点検プログラムについて  
来年度の校正、施設認定等について  
機能評価の結果について

総括コメント

放射線治療装置の故障やインシデントはあったが、重大な事故やアクシデントはなく運用できている。装置の品質管理についても点検結果は良好で安定している。品質管理の高さから連続治療が達成できているとして治療機器メーカーから表彰を受けた。今後とも安全、安心な

医療を提供できるように務めていく。また、放射線治療システムの更新を予定しており、問題なく移行できるように準備していく。

(飯塚裕介)

クオリティーマネージメント委員会

目的 地方独立行政法人静岡市立静岡病院における医療の質の向上を図ることを目的に設置する。

委員長 山田 孝

副委員長 小柳津竜樹、中井真尚

委員 前田明則、深澤誠司、前田賢人、森木利昭、松本芳博、岩井一也、濱村啓介、村田耕一郎、野口哲哉、米澤真澄、土田裕美、朝比奈ひろみ、塚本剛生、中沢 稔、澤井 龍、風間文美代、茶山 宜、鈴木愛実、栗山竜輝

オブザーバー 小林恵美子、池ヶ谷幸恵

幹事 海野千晶

開催記録

令和5年5月1日

医療の質向上に向けた具体的な医療指標について

令和5年6月12日

各診療科の医療指標について

令和5年12月15日

今年度のクオリティーマネージメント報告会について

令和5年度クオリティーマネージメント報告会 ポスター掲示開催日

第1クール：令和6年2月13日夕方～令和6年2月28日

第2クール：令和6年2月28日夕方～令和6年3月13日

第3クール：令和6年3月13日夕方～令和6年3月28日

【第1クール】

|   | 演題名                                     | 所属部署       | 氏名    |
|---|---|------------|-------|
| 1 | 誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率の推移 | 呼吸器内科      | 藤井雅人  |
| 2 | 卵巣癌の5年生存率                               | 産婦人科       | 米澤真澄  |
| 3 | 手術室での麻薬管理の徹底を目指して                       | 麻酔科        | 美根智子  |
| 4 | 令和5年度 臨床試験管理センターの実績                     | 臨床試験管理センター | 北島真利子 |
| 5 | 本格的にタスクシフトはじめました                        | 放射線技術科     | 澤井 龍  |

【第2クール】

|   | 演題名                            | 所属部署         | 氏名    |
|---|--------------------------------|--------------|-------|
| 1 | 人工股関節置換術・人工膝関節置換術の症例統計         | 整形外科         | 堀 留奈  |
| 2 | 当院での精神科リエゾンチームの活動について          | 精神科          | 小島千加子 |
| 3 | 当院における抗菌薬使用量の現状(入院：注射：2023年)   | 薬剤科          | 園田幸弘  |
| 4 | リハビリテーション技術科の実績と継続した取組みの紹介     | リハビリテーション技術科 | 小柳慎介  |
| 5 | 管理栄養士の業務拡充～多職種連携・チーム医療参画の変遷    | 栄養管理科        | 鈴木愛実  |
| 6 | 事務方でできる加算算定カイゼン活動～病院と委託業者との協働～ | 医事経営室        | 大井手るな |



### 【第3クール】

|   | 演題名  | 所属部署   | 氏名   |
|---|--|--------|------|
| 1 | 当院における大動脈生体弁置換の長期成績                              | 心臓血管外科 | 中井真尚 |
| 2 | 胃癌・大腸癌手術の短期成績                                    | 消化器外科  | 橋本洋右 |
| 3 | 令和5年カテーテルアブレーションの急性期成績と安全性～脳梗塞予防への取り組み～          | 循環器内科  | 川人充知 |
| 4 | SHD領域におけるタスクシフト                                  | 臨床工学科  | 内藤豊貴 |
| 5 | 薬剤部内の防災訓練で導入した、2つの新しい試み(電子カルテの活用と、防災レクリエーションの導入) | 薬剤科    | 矢野佳孝 |
| 6 | 調定システムの稼働に向けて                                    | 医事課    | 小嶋優子 |

#### 総括コメント

今年度も発表形式はポスター方式を採用した。院内から17の発表をいただいた。医局横の廊下に、3回に分けてポスターを掲示した。今回は各診療科で掲げるインジケータの発表があり、新規の内容が多くなった。これからの院内クオリティ活動の活性化に寄与できればと思います。

(山田 孝)

#### 専門医等資格委員会

**目的** 診療報酬上加算が得られる資格等、病院に資する資格の取得を希望している職員に対し、資格取得にかかる費用の援助をして院内職員の所持する資格を充実させる。

委員長 前田賢人

副委員長 水野薫子

委員 佐野武尚、酒井秀政、土田裕美、青木 望、堂本浩二、佐藤友香

幹事 杉保亮太

#### 開催記録

令和6年1月22日

#### 議題

- (1) ラジオ波焼灼療法 e ラーニング (術者用・病理用) 受講費用の助成について
- (2) 設置要綱及び支援の対象・基準の再確認

#### 総括コメント

様々な施設基準の取得・維持に必要とされる職員の研修受講などは多岐にわたる。業務遂行や加算取得のために必要なもので、従来から各部署の所属長による業務命令として出張扱いとしている研修受講などについては自明のものとしてあえて審査対象とはせず、従来にない新しい案件などに絞って審査することにした。これまででもそうであったが、個人に属する資格取得に対する病院の費用負担の在り方については、資格取得後の病院への貢献を加味することとし、その貢献度に応じて支援することとしている。各医療職において、資格取得を通じて職員のモチベーションの維持・向上が図れるならば、積極的に支援していきたいと考えている。

(前田賢人)

#### 多職種連絡委員会

**目的** 医師、看護師、メディカルスタッフ、事務職員が互いに連携し、職種にとらわれない柔軟な発想により提案や問題提起をすることで、病院全体の懸案事項について情報を共有し、改善を行うことにより連携強化を推進し職場環境の向上に資することを目的とする。

委員長 増田秀道

副委員長 深澤誠司

委員 市川昭美、菊池晴香、大柴麗子、大川 恵、藤森貴大、田中伸明、榊永大二郎、加茂川暢彦、伊藤栄和、川田奈津美、曾根聖子、山崎実優、大長弘幸、望月敬太、森下克己

幹事 持ち回り (輪番制)

#### 開催記録

| 回   | 開催日       | 議題等  |
|-----|-----------|--|
| 第1回 | 令和5年7月13日 | (1) 多職種連絡委員会設置要綱の改正について<br>(2) 第61回全国自治体病院学会参加者について<br>(3) 医療支援部のスクラブ導入検討について<br>(4) 患者満足度調査について |
| 第2回 | 令和5年9月14日 | (1) チーム医療等について所管する委員会の決定について(提案)   |
| 第3回 | 令和5年11月9日 | (1) 多職種連絡委員会設置要綱の改正について<br>(2) その他(多職種管轄チームの結成撤回)  |
| 第4回 | 令和6年1月11日 | (1) 能登半島地震へのDMAT(災害派遣医療チーム)の派遣について   |

#### 総括コメント

今年度は、委員会の設置要綱に「多職種で編成されたチーム等が、所管する組織や委員会が明確でないものについては、多職種委員会の部会と位置づけする」といった項目の追加を行った。その後いくつかの部会案について議論した。また令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対し当院からDMATチームが派遣された。派遣された職員の役割は重要だが病院に残って日常業務を支えることも価値のある災害支援であることを確認し、各科で共有するようにした。

(増田秀道)

#### 認知症ケア委員会

**目的** 認知症による行動・心理症状や意思疎通の困難が見られ、身体疾患の治療への影響が見込まれる患者に対し、病棟の看護師等や専門知識を有した多職種が適切に対応することで、認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられるよう認知症ケアに関する事項について審議する。

委員長 深澤誠司

副委員長 前島秀美

委員 石黒光紀、嶋根久美子、坪内亜希子、伏見順子、  
恒川典子、田中伸明、鈴木愛実、佐久間恵、  
中村幸治（オブザーバー）

幹事 高木俊維

その他 令和5年9月1日

「認知症ケアマニュアル」第1.6改定施行

令和5年12月20日

認知症ケア研修会開催

テーマ「パーソン・センタード・ケアを目指  
した認知症看護について」

#### 開催記録

第1回 令和5年4月19日

認知症ケアシステムの稼働状況について、新規介入  
患者の確保に向け、病棟リンクナースを中心に指導  
継続

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について

第2回 令和5年5月17日

認知症ケアシステムの稼働状況について

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、認知症ケア研修会の講演者お  
よびテーマについて検討

第3回 令和5年6月28日

認知症ケアシステムの稼働状況について

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、委員会の設置要綱を実態に則  
した内容に改定

第4回 令和5年7月26日

認知症ケアシステムの稼働状況について

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、認知症ケア研修会の講演者決定

第5回 令和5年8月23日

認知症ケアシステムの稼働状況について

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、認知症ケアマニュアルの改定  
について協議。令和5年9月1日改定とした

第6回 令和5年9月27日

認知症ケアシステムの稼働状況について、早期介入  
に向けたせん妄と認知症ケアの同時介入依頼を病棟  
に指導

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について

第7回 令和5年10月25日

認知症ケアシステムの稼働状況について

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、認知症ケア研修会の開催テー  
マ決定

第8回 令和5年11月22日

認知症ケアシステムの稼働状況について

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、認知症ケア研修会の開催時に  
依頼するアンケート内容について協議

第9回 令和5年12月27日

認知症ケアシステムの稼働状況について、栄養管理  
科の体制変更に伴うカンファレンスへの参加運用変  
更について共有

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、院内デイケアの今後の運営に  
ついて協議

第10回 令和6年1月31日

認知症ケアシステムの稼働状況について

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、令和6年度診療報酬改定にお  
ける認知症ケア加算の変更点について共有

第11回 令和6年2月28日

認知症ケアシステムの稼働状況について、身体拘束  
の定義や今後の対応について協議

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について、次年度の認知症ケア研修会の  
開催について協議

第12回 令和6年3月27日

認知症ケアシステムの稼働状況について、早期介入  
の実現に向け看護部への協力依頼を指示

認知症ケアチームの活動状況について

運用、課題について

#### 総括コメント

令和5年度、Covid-19の5類移行に伴い、院内体制が  
従前に復帰した。積極的に認知症ラウンドをして、介入  
を行った。また、研修会を開催し職員の認知症に対して  
の知識向上を図った。マニュアルの改訂も行った。次年  
度もこれらの活動を継続して行きたいと考えている。

（深澤誠司）

#### 内科専門研修プログラム管理委員会

目的 静岡市立静岡病院における内科専門研修の円滑  
な運営を行うことを目的に設置する。

委員長 縄田隆三

副委員長 前田明則

委員 山田 孝、田村尚久、小柳津竜樹、松本芳博、  
岩井一也、渡邊 出

外部委員 袴田康弘、竹内隆浩、吉富 淳、松本朋美、  
豊嶋敏弘、福田晃久、内藤立暁、野口暉夫、  
河合 勉

事務局 竹田憲司

幹事 佐藤隆敏

## 開催記録

- 第1回 令和5年12月27日 メール審議  
議題 内科専門研修中断認定について
- 第2回 令和6年3月5日  
議題1 令和5年度研修状況等報告  
議題2 令和3年度内科専門研修開始者の修了認定について  
議題3 令和元年度内科専門研修開始者の研修中断認定について  
議題4 令和6年度採用の専攻医について  
議題5 令和6年度専攻医研修計画について

## プログラム運営実績

### 《基幹プログラム採用人数》

平成30年度3名、令和元年度5名、令和2年度3名、令和3年度4名、令和4年度3名、令和5年度4名、令和6年度3名

### 《連携施設研修派遣実績（延べ人数表記）》

令和5年度 静岡県立総合病院1名、  
静岡済生会総合病院1名、静岡赤十字病院1名  
国立循環器病研究センター1名

### 《プログラム修了者》

令和2年度2名、令和3年度5名、令和4年度3名、令和5年度2名

(縄田隆三)

## 外科専門研修プログラム管理委員会

目的 静岡市立静岡病院における外科専門研修の円滑な運営を行うことを目的に設置する。

委員長 前田賢人

副委員長 中井真尚、土屋恭子

委員 米沢 圭

外部委員 福本弘二、上村和康、寺谷直樹、平山一久

事務局 竹田憲司

幹事 佐藤隆敏

## 開催記録

- 第1回 令和5年4月27日 メール審議  
議題1 令和2年度研修開始者の修了認定について
- 第2回 令和5年12月22日  
議題1 令和5年度の専攻医研修状況報告について  
2 研修修了予定者の進路について  
3 令和6年度採用専攻医の応募状況について  
4 令和6年度専攻医ローテーション計画について  
5 その他

## プログラム運営実績

### 《基幹プログラム採用人数》

平成30年度1名、令和元年度2名、令和2年度2名、令和3年度2名、令和4年度1名、令和5年度1名、

令和6年度0名

### 《連携施設研修派遣実績》

令和5年度 浜松ろうさい病院1名、  
島田市立総合医療センター1名

### 《プログラム修了者》

令和2年度1名、令和3年度2名、令和4年度2名、令和5年度2名

(前田賢人)

## 血液浄化センター業務委員会

目的 本委員会は、血液浄化センター（血液浄化療法）における業務の質的向上を図り、患者に安全な治療を提供すること、スタッフに安心安全な作業環境を整えることを目的に活動する。

委員長 松本芳博

副委員長 縄田隆三

委員 鈴木公子、上野山良子、後藤祐子、大隅 進、  
勝又恵美、江上芳郎

幹事 勝又恵美

## 開催記録

第1回 令和5年6月22日

議題1 血液浄化センター更新機器について

議題2 プライミング自動化について

第2回 令和5年11月15日

議題1 静岡市災害時透析対策協議会LINEWORKSの運用について

議題2 血液浄化センター機器更新について

第3回 令和6年2月15日

議題1 災害時情報連絡ツールについて

議題2 血液浄化センタースタッフ体制について

議題3 設備、装置関連

1) 電子カルテ端末の増設

2) ベッドサイドコンソールの更新

議題4 その他

1) 持続緩徐式血液濾過透析患者について

## 総括コメント

血液浄化療法全般の業務管理に対して、他職種連携、業務効率化、安全確保を軸に活動している。令和5年度は、機器の更新・増設と災害時連絡ツールの事案が主であった。

(松本芳博)

## 特定行為管理委員会

目的 特定行為研修運営委員会及び特定行為実践運営委員会の統括管理組織。特定行為に関する重要な事項を審議する。

委員長 小野寺知哉

副委員長 縄田隆三、玉里順子

委員 前田賢人、岩井一也、金大志、寺井恭彦、  
黒石健吾、野島陽一、徳増芳則、青山治子、  
上野山良子、海老名哲生、池谷綾子、松野謙次、  
竹田憲司、佐藤隆敏

外部委員 脇 昌子

幹事 三浦慎也

#### 開催記録

開講式 令和5年4月5日

- 1 開式の辞
- 2 入講生紹介
- 3 理事長兼病院長式辞
- 4 看護部長祝辞
- 5 受講生代表挨拶
- 6 閉式の辞

第1回 令和5年7月24日

- 議題
- 1 前回議事録の確認について
  - 2 特定行為に係る各委員会の役割について
  - 3 第4期生(2023年度)共通科目受講者(6名)の修了認定について
  - 4 令和5年度 区分別科目の履修スケジュールについて
  - 5 当院が静岡県立大学、静岡県看護協会の協力施設となることについて
  - 6 第5期生(2024年度)募集に関する予定について
  - 7 選抜試験合否判定基準の制定について
  - 8 手順書の承認について
  - 9 静岡市立静岡病院看護師特定行為研修修学資金貸与規程に係る当院顧問弁護士への問合せ結果について
  - 10 その他連絡事項

第2回 令和5年12月26日

- 議題
- 1 前回議事録の確認について
  - 2 第5期生(2024年度)選抜試験の合否の承認について
  - 3 令和6年度 研修計画(案)について
  - 4 令和6年度のSQUEeラーニングの契約手続きの変更について
  - 5 特定行為実践運営委員会の開催報告について
  - 6 その他連絡事項

第3回 令和6年3月11日

- 議題
- 1 前回の議事録の確認について
  - 2 第4期生(2023年度)区分別科目修了の承認について
  - 3 区分拡大について
  - 4 特定行為研修の推移について
  - 5 令和6年度の各委員会のメンバーについて

6 症例記録における実習症例評価基準の改定について

7 創傷管理関連の特定看護師の今後の活動について

8 他院の実践状況について

9 特定行為に係る補助金の現状と今後の申請について

10 その他連絡事項

修了式 令和6年4月3日

- 1 開式の辞
- 2 修了生紹介
- 3 修了証授与
- 4 理事長兼病院長式辞
- 5 副病院長兼看護部長祝辞
- 6 修了生挨拶
- 7 閉式の辞

#### 総括コメント

当院では令和2年10月から特定行為研修を開講している。令和5年度には第4期生8名(院内6人、院外2人)の修了認定を行った。今までのべ19名が修了認定を受けた。

令和6年度は第5期生(院内3名)の研修が開始される。それぞれ「術中麻酔管理領域」、「創傷管理関連+栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の区分を研修する。

当院では現在「創傷管理関連」、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「感染に係る薬剤投与関連」、「術中麻酔管理領域」パッケージ、「集中治療領域」パッケージ、の研修が可能である。今後も区分拡大を検討していく。

今後は特定行為を行える看護師の実際の活躍を進めることが重要である。他病院でどのように実践しているかも研究し、活躍の場を提供していきたい。

(小野寺知哉)

#### 特定行為研修運営委員会

目的 静岡病院特定行為研修の円滑な運営を行う。

委員長 青山治子

副委員長 玉里順子

委員 金大志、佐野武尚、寺井恭彦、黒石健吾、  
野島陽一、徳増芳則、土田裕美、榎本康世、  
上野山良子、海老名哲生、池谷綾子、  
平川奈津美、松野謙次、竹田憲司、佐藤隆敏

幹事 三浦慎也

#### 開催記録

開講式 令和5年4月5日

- 1 開式の辞
- 2 入講生紹介
- 3 理事長兼病院長式辞

- 4 看護部長祝辞  
5 受講生代表挨拶  
6 閉式の辞
- 第1回 令和5年7月24日  
議題 1 前回議事録の確認  
2 特定行為に係る各委員会の役割について  
3 第4期生(2023年度)共通科目受講者(6名)の修了判定について  
4 令和5年度 区分別科目の履修スケジュールについて  
5 当院が静岡県立大学、静岡県看護協会の協力施設となることについて  
6 第5期生(2024年度)募集に関する予定について  
7 選抜試験合否判定基準の制定について  
8 その他連絡事項
- 第2回 令和5年12月26日  
議題 1 前回議事録の確認について  
2 第5期生(2024年度)選抜試験の合否判定について  
3 令和6年度 研修計画(案)について  
4 令和6年度のSQUEeラーニングの契約手続きの変更について  
5 その他連絡事項
- 第3回 令和6年3月11日  
議題 1 前回の議事録の確認について  
2 第4期生(2023年度)区分別科目の修了判定について  
3 区分拡大について  
4 特定行為研修の推移について  
5 令和6年度の各委員会のメンバーについて  
6 症例記録における実習症例評価基準の改定について  
7 その他連絡事項
- 修了式 令和6年4月3日  
1 開式の辞  
2 修了生紹介  
3 修了証授与  
4 理事長兼病院長式辞  
5 副病院長兼看護部長祝辞  
6 修了生挨拶  
7 閉式の辞

#### 総括コメント

当院の特定行為研修は令和2年10月の開講から4年半が経過した。今年度は第4期生：当院看護師6名(小沼文香：創傷管理関連+感染に係る薬剤投与関連、田中良枝：感染に係る薬剤投与関連、天野裕美・稲葉浩嗣・菊池和也・中村真理子：集中治療領域)と院外施設2名(静

岡厚生病院 看護師・静岡済生会総合病院 看護師：術中麻酔管理領域)の計8名が3月に研修を修了した。当院で研修を修了した特定看護師は開講から計19名となった。

令和5年度からは、新たに「感染に係る薬剤投与関連」と「集中治療領域」の2科目の区分を拡大した。

また、「静岡県看護協会の感染管理認定看護師教育(特定行為研修含む)B課程」及び「静岡県立大学 看護実践教育研究センター」の協力施設となり、静岡県看護協会は「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連+感染に係る薬剤投与関連」1名を、静岡県立大学は「創傷管理関連」1名の研修生を受け入れた。

11月には令和6年度の受講者選抜試験を実施し、当院看護師3名を合格とした。

令和5年度からは特定行為研修運営委員会とは別に特定行為実践運営委員会を新たに設置し、特定行為の実践に係る各種手順書の作成、実施記録、医師の指示入力を含めた電子カルテ記録やその運用方法等についても検討した。

令和6年度は更なる区分拡大を検討し、受講者がより受講しやすい体制整備に注力していきたい。

(青山治子)

#### 麻酔科専門研修プログラム管理委員会

目的 静岡市立静岡病院における麻酔科専門研修の円滑な運営を行うことを目的に設置する。

委員長 玉里順子

副委員長 前田賢人

委員 中井真尚、佐久間潮里

外部委員 長坂安子、讃井将満、鳥羽好恵、樋口秀行、石田和慶

事務局 竹田憲司

幹事 佐藤隆敏

開催記録

第1回 令和6年1月25日 メール審議

議題1 令和6年度研修予定について

2 令和5年度研修状況について

(玉里順子)

#### 特定行為実践運営委員会

目的 ①静岡病院特定行為実践の精査及び円滑な運用の作成並びに運営を行う。

②各種手順書、マニュアルの作成及び改訂を行う。

委員長 青山治子

副委員長 玉里順子

委員 金大志、佐野武尚、寺井恭彦、黒石健吾、市川昭美、榎本康世、吉井葉末、上野山良子、山本聖子、海老名哲生、名取宏樹、大木一範、池谷綾子、伏見順子、平川奈津美、尾崎博文、

杉山弥生、松野謙次、竹田憲司、佐藤隆敏

幹事 三浦慎也

開催記録

第1回 令和5年10月10日

- 議題 1 手順書の内容確認について
- 2 現在までの活動報告
- 3 特定行為研修修了者の今後の活用・活躍について
- 4 院内での周知方法についての検討
- 5 その他

総括コメント

当院では令和5年度から新たに「特定行為実践運営委員会」を設置し、特定行為の実践に係る各種手順書の作成、実施記録・医師の指示入力を含めた電子カルテ記録やその運用方法等について審議・検討している。また、看護部ではクリニカルラダー研修の一環として、「特定行為研修・共通科目の臨床推論」を課題として受講を開始した。年度末に実績を集計した結果、目標以上の受講があり、職員の特有行為研修への関心や意識の高さが感じられた。来年度も継続して共通科目の一部を課題として設定し受講を推進していく。

手順書の検討・作成について、当院で実施する特定行為で過去に承認された手順書は下部組織である看護部特定看護師会議で定期的に検討・改善を実施しており、新規の手順書や委員会で審議が必要なものは委員会で随時検討・審議している。

研修修了者のフォローアップについては、院外の修了者と共に定期的な症例検討会を実施し、臨床スキルの向上に努めている。また、修了者を一部の病棟に複数名配置し、ペアナーシング静岡病院方式により臨床推論力を生かした看護実践をペアの看護師に指導する等、研修修了者が病棟職員から中心的に慕われる存在となっている。今後も修了者の活躍創出や安全で質の高い特定行為が実施できるよう体制や環境の整備を推進し、病院全体で看護実践の向上や医師のタスクシフトに取り組んでいく。

(青山治子)

#### ハラスメント対策委員会

目的 ハラスメントの防止等を適切に実施する。

委員長 小野寺知哉

副委員長 大畑和弘

委員 平松以津子、前田明則、山田孝、深澤誠司

幹事 竹下賢一、野村健一

開催記録

令和5年7月10日

- 議題 1 当院のハラスメント防止規程について
- 議題 2 ハラスメント事案に関する報告について
- 議題 3 再発防止策について

議題 4 当事者への結果報告について

令和5年7月19日

- 議題 1 ハラスメント事案に関する報告書について
- 議題 2 再発防止策について
- 議題 3 当事者への報告及び通知について
- 議題 4 当事者から不服の訴えがあった場合について

令和6年3月22日

議題 1 ハラスメント事案に関する報告について  
総括コメント

ハラスメント被害の申し立て・調査依頼に基づき、ハラスメント調査委員会と連携して調査及び対応に当たるとともに、再発防止措置を実施した。また、全職員を対象に令和5年8月1日付でハラスメント防止に関する注意喚起の通知を行うとともに、令和6年3月7日にハラスメント防止研修会を開催した。

(小野寺知哉)

#### ハラスメント調査委員会

目的 ハラスメントの調査等を適切に実施する。

委員長 小長井健司

副委員長 縄田隆三

委員 前田賢人、青山治子、市川昭美、望月英明、  
増田秀道、浅場浩樹、小林恵美子

幹事 竹下賢一、野村健一

開催記録

令和5年5月17日

- 議題 1 当院のハラスメント防止規程について
- 議題 2 ハラスメント事案の報告について
- 議題 3 今後の対応について

令和5年6月7日

- 議題 1 ハラスメント行為について
- 議題 2 問題点の整理について
- 議題 3 再発防止策の検討について
- 議題 4 ハラスメント対策委員会への付議について

令和5年10月10日

- 議題 1 ハラスメント被害の申立について
- 議題 2 ハラスメント事案の調査について
- 議題 3 今後について

令和6年3月5日

- 議題 1 ハラスメント事案の調査報告について
- 議題 2 問題点の整理について
- 議題 3 ハラスメント対策委員会への付議について

総括コメント

ハラスメント被害の申し立て・調査依頼に基づき、ハラスメントに関する調査及び再発防止策の検討を行い、ハラスメント対策委員会に報告した。また、各部からハラスメント相談員を選任し全職員に周知した。

(小長井健司)



# 診 療 業 務

診 療 科 の 現 況  
部 門 別 概 況  
医 事 統 計



## 小 目 次

### 診療科の現況

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 循環器内科                       | 59 |
| 心臓血管外科                      | 60 |
| 消化器内科                       | 62 |
| 外科・消化器外科                    | 64 |
| おなかのヘルニアセンター                | 65 |
| 腎臓内科                        | 66 |
| 内分泌・代謝内科                    | 67 |
| 血液内科                        | 68 |
| 脳神経内科                       | 69 |
| 呼吸器内科                       | 69 |
| 緩和ケア内科                      | 70 |
| 小児科                         | 71 |
| 新生児科（新生児治療室）                | 73 |
| 精神科                         | 74 |
| 整形外科                        | 76 |
| 肩・肘・手外科センター                 | 77 |
| 脳神経外科                       | 78 |
| 呼吸器外科                       | 79 |
| 皮膚科                         | 80 |
| 形成外科                        | 81 |
| 泌尿器科                        | 82 |
| 産婦人科                        | 84 |
| 眼科                          | 85 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科                 | 86 |
| 口腔外科                        | 88 |
| リハビリテーション科・<br>リハビリテーション技術科 | 89 |
| 放射線診断科                      | 90 |
| 放射線治療科                      | 90 |
| 麻酔科・手術室                     | 91 |
| 救急科                         | 92 |
| 内視鏡科                        | 92 |
| 病理診断科                       | 93 |
| 輸血科                         | 94 |
| I C U                       | 96 |
| H C U                       | 96 |
| 血液浄化センター                    | 97 |
| 市民健診センター                    | 98 |

### 部門別概況

|                |     |
|----------------|-----|
| 看護部            | 99  |
| 薬剤科            | 143 |
| 放射線技術科         | 145 |
| 検査技術科          | 150 |
| 臨床工学科          | 151 |
| 医療情報科          | 155 |
| 図書室            | 155 |
| 医学写真室          | 159 |
| 栄養管理科          | 161 |
| 総合相談センター・総合相談室 | 163 |
| がん相談支援センター     | 167 |
| 感染管理室          | 168 |
| 災害対策管理室        | 168 |
| 教育研修管理センター     | 169 |
| シミュレーションラボ室    | 170 |
| 臨床試験管理センター     | 177 |
| 診療サポート室        | 178 |
| 医事経営部          | 179 |
| 医事経営室          | 179 |
| 医事課            | 181 |
| 医事統計           | 181 |

## 診療科の現況

### 循環器内科

令和2年春より猛威を振るったCOVID-19も沈静化し、令和5年5月から5類感染症となった。しかし患者さんの受療行動の変化もあり、入院患者数はCOVID前までは回復していない。その一方で超高齢の心不全入院が増加しているが、ハートケアチームによる方向付けやスタッフの努力により、当科の平均在院日数は昨年度の9.5日から8.8日へと短縮した。

臨床面では虚血性心疾患に対するカテーテル検査・治療が緩やかに減少しているが、高度石灰化病変に対する血管内破砕（IVL）カテーテルの使用や近位部粥腫に対するDCAなど、デバイス面での進歩もあった。不整脈に対するカテーテルアブレーションは年間400例を超え、県内トップの症例数となった。構造的な心疾患はTAVI 102例、Mitra Clip 17例を施行し、安定した成績を出してい

る。8月からは出血リスクの高い心房細動患者に対する経皮的左心耳閉鎖術（WATCHMAN）も開始となり、年度内に9例を施行した。

業績面では日本循環器学会総会で5題、日本心血管インターベンション学会総会で4題、日本不整脈心電学会総会で3題の発表を行った（コメディカル含む）。

人事面では令和6年度から始まる医師の働き方改革に備えて人員を増やし、スタッフ・専攻医合わせて20人の大所帯となった。令和5年4月に藤田英憲医師、政後直毅医師、10月に本杉大医師、福田裕紀医師が専攻医として当科に加わった。また12月に影山茂貴医師が留学先より帰国しスタッフとして復帰した。令和6年3月末に服部雄介医師が自院継承のため退職、鎌倉理充医師が聖隷三方原病院に移動となった。

（縄田隆三）

#### 疾患別入院患者総数

|              | R 3   | R 4   | R 5   |
|--------------|-------|-------|-------|
| 入院患者総数       | 2,860 | 2,240 | 2,336 |
| 一般入院         | 1,105 | 987   | 1,122 |
| 虚血性心疾患       | 250   | 225   | 162   |
| AMI(含RMI)    | 133   | 142   | 142   |
| その他の虚血性心疾患   | 117   | 83    | 20    |
| 高血圧症、高血圧性心疾患 | 30    | 20    | 75    |
| 心筋症、心筋疾患     | 58    | 51    | 36    |
| 弁膜症          | 91    | 95    | 100   |
| 心膜疾患         | 6     | 11    | 5     |
| 先天性心疾患       | 0     | 0     | 0     |
| 肺性心          | 7     | 6     | 3     |
| その他の心不全      | 140   | 105   | 169   |
| 感染性心内膜炎      | 4     | 6     | 8     |
| 不整脈          | 200   | 174   | 234   |
| 肺塞栓          | 16    | 16    | 12    |
| 心臓腫瘍         | 1     | 0     | 0     |
| 大動脈疾患        | 28    | 15    | 28    |
| 末梢動脈疾患       | 0     | 6     | 11    |
| 静脈疾患         | 12    | 7     | 12    |
| 他の心疾患        | 1     | 0     | 3     |
| 非心疾患         | 261   | 250   | 264   |
| 心カテ入院        | 1,755 | 1,253 | 1,214 |

AMI：Acute Myocardial Infarction

RMI：Recent Myocardial Infarction

（令和4年度より集計方法変更のため入院患者総数、心カテ入院に変動あり）

#### 主要検査、治療件数

|                   | R 3   | R 4   | R 5   |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 心臓カテーテル検査総数       | 1,816 | 1,676 | 1,530 |
| 冠動脈造影             | 1,178 | 1,034 | 971   |
| 電気生理学的検査          | 269   | 376   | 417   |
| 冠動脈インターベンション      | 453   | 395   | 372   |
| ステント              | 443   | 344   | 311   |
| ロータブレード・ダイヤモンドバック | 17    | 10    | 7     |
| PTMC              | 1     | 1     | 1     |
| カテーテルアブレーション      | 322   | 368   | 410   |
| EVT               | 40    | 28    | 34    |
| TAVI              | 98    | 102   | 102   |
| TEER(MitraClip)   |       | 13    | 17    |
| LAAO(WATCHMAN)    |       |       | 9     |

PTMC：Percutaneous Transluminal Mitral Commissurotomy

EVT：Endovascular Therapy

TAVI：Transcatheter Aortic Valve Implantation

TEER：Transcatheter Edge-to-Edge Repair

LAAO：Left Atrial Appendage Occlusion

#### 急性心筋梗塞の治療（RMIを含む）

|         | R 3 | R 4 | R 5 |
|---------|-----|-----|-----|
| 総数      | 133 | 142 | 142 |
| 保存療法    | 12  | 19  | 21  |
| emCAGのみ | 1   | 7   | 7   |
| PCI     | 115 | 113 | 110 |
| emCABG  | 5   | 3   | 4   |

emCAG：緊急冠動脈造影

PCI：冠動脈インターベンション

emCABG：緊急冠動脈バイパス

## 心臓血管外科

心臓血管外科手術は2年前から1-12月の総数を報告している。胸部心臓大血管が388例、腹部以下の血管手術189例で1年前からは多少回復した。デバイス手術を含めた総手術数は760例でほぼコロナ前水準に戻っている。今回の心臓血管外科専門医認定基準の改定によりペースメーカー移植も点数になった。当院は継続してデバイス植え込みを行っており今後も継続の予定である。また心臓血管外科専門医の修練施設区分が変更され当院は心臓大血管領域と血管外科領域双方の基幹施設として認定された。基幹施設認定の要件が引き上げられており2領域の要件を満たしていることは重要な事である。修練プログラムも静岡市立静岡病院修練プログラムとして継続している。専門医に関して内山Drが心臓血管外科専門医を取得、鈴木Dr、古橋Drが外科専門医を取得した。現在小澤

Drは心臓血管外科連動型修練を規定通りの年限で終了、2024年心臓血管外科専門医受験予定、その他4名が心臓血管外科修練中である。内山Drはその後順天堂大学大学院進学のため退職となった。その他資格としてはTAVI実施医、指導医、大動脈STENT実施医、指導医を順次取得できている。

2023年度の時間外勤務は2名が960時間超えとなった。2024年度からは働き方改革B基準となり、より厳密な勤務管理が必要となる。

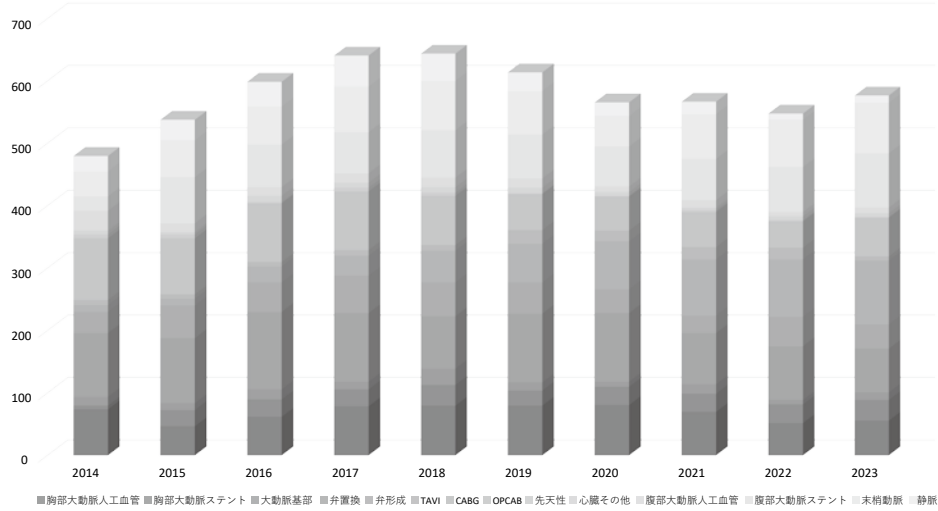
2019年から桜が丘病院、2023年から清水厚生病院への外来勤務を行っている。これらの病院からの手術症例も確保しており、清水地区の医療に対する貢献も継続していく予定である。

(中井真尚)

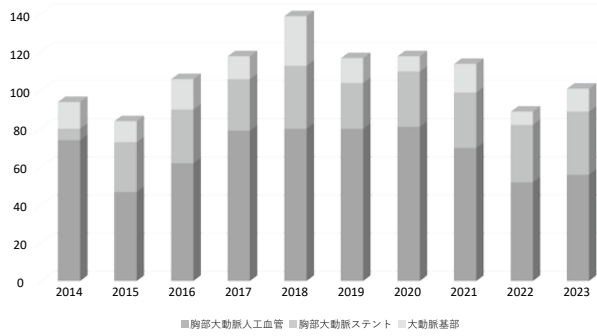
|      | 胸部大動脈人工血管 | 胸部大動脈ステント | 大動脈基部 | 弁置換 | 弁形成 | TAVI | CABG | OPCAB | 先天性 | 心臓その他 | 腹部大動脈人工血管 | 腹部大動脈ステント | 末梢動脈 | 静脈 | device | 計   |
|------|-----------|-----------|-------|-----|-----|------|------|-------|-----|-------|-----------|-----------|------|----|--------|-----|
| 2014 | 74        | 6         | 14    | 102 | 34  | 11   | 8    | 99    | 6   | 6     | 32        | 23        | 40   | 25 | 214    | 694 |
| 2015 | 47        | 26        | 11    | 104 | 52  | 11   | 7    | 90    | 6   | 4     | 14        | 74        | 59   | 33 | 124    | 662 |
| 2016 | 62        | 28        | 16    | 124 | 47  | 26   | 7    | 94    | 2   | 10    | 14        | 68        | 61   | 40 | 145    | 744 |
| 2017 | 79        | 27        | 12    | 110 | 60  | 32   | 9    | 94    | 6   | 8     | 15        | 66        | 73   | 50 | 121    | 762 |
| 2018 | 80        | 33        | 26    | 84  | 54  | 51   | 9    | 79    | 5   | 9     | 15        | 76        | 79   | 44 | 195    | 839 |
| 2019 | 80        | 24        | 13    | 110 | 50  | 62   | 22   | 58    | 1   | 9     | 15        | 70        | 70   | 30 | 123    | 737 |
| 2020 | 81        | 29        | 8     | 110 | 38  | 77   | 17   | 55    | 1   | 6     | 9         | 64        | 49   | 22 | 125    | 691 |
| 2021 | 70        | 29        | 15    | 82  | 28  | 90   | 20   | 56    | 3   | 4     | 12        | 66        | 72   | 20 | 176    | 743 |
| 2022 | 52        | 30        | 7     | 86  | 47  | 92   | 19   | 42    | 2   | 6     | 7         | 72        | 76   | 10 | 173    | 721 |
| 2023 | 57        | 33        | 11    | 70  | 39  | 102  | 7    | 62    | 1   | 6     | 9         | 87        | 81   | 12 | 183    | 760 |

|      | 複合手術 | CABG | OPCAB | 総計  |      | 腹部大動脈人工血管 | 腹部大動脈ステント | 末梢動脈 | 静脈 | 計   |      | 複合手術 | root | replacement | plasty | TAVI | 総計  |
|------|------|------|-------|-----|------|-----------|-----------|------|----|-----|------|------|------|-------------|--------|------|-----|
| 2014 | 19   | 8    | 99    | 126 | 2014 | 32        | 23        | 40   | 25 | 120 | 2014 | 23   | 14   | 102         | 34     | 11   | 184 |
| 2015 | 38   | 7    | 90    | 135 | 2015 | 14        | 74        | 59   | 33 | 180 | 2015 | 11   | 11   | 104         | 52     | 11   | 189 |
| 2016 | 41   | 7    | 94    | 142 | 2016 | 14        | 68        | 61   | 40 | 183 | 2016 | 14   | 16   | 124         | 47     | 26   | 227 |
| 2017 | 23   | 9    | 94    | 126 | 2017 | 15        | 66        | 73   | 50 | 204 | 2017 | 11   | 12   | 110         | 60     | 32   | 225 |
| 2018 | 24   | 9    | 79    | 112 | 2018 | 15        | 76        | 79   | 44 | 214 | 2018 | 19   | 26   | 84          | 54     | 51   | 234 |
| 2019 | 32   | 22   | 58    | 112 | 2019 | 15        | 70        | 70   | 30 | 185 | 2019 | 21   | 13   | 110         | 50     | 62   | 256 |
| 2020 | 41   | 17   | 55    | 113 | 2020 | 9         | 64        | 49   | 22 | 144 | 2020 | 15   | 8    | 110         | 38     | 77   | 248 |
| 2021 | 32   | 20   | 56    | 108 | 2021 | 12        | 66        | 72   | 20 | 170 | 2021 | 15   | 15   | 80          | 28     | 90   | 228 |
| 2022 | 31   | 19   | 42    | 92  | 2022 | 7         | 72        | 76   | 10 | 165 | 2022 | 9    | 7    | 86          | 48     | 92   | 242 |
| 2023 | 11   | 7    | 62    | 80  | 2023 | 9         | 87        | 81   | 12 | 189 | 2023 | 8    | 12   | 70          | 39     | 102  | 231 |

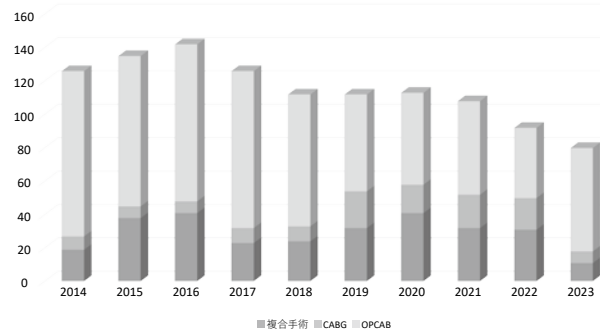
### 心臓血管手術数の推移



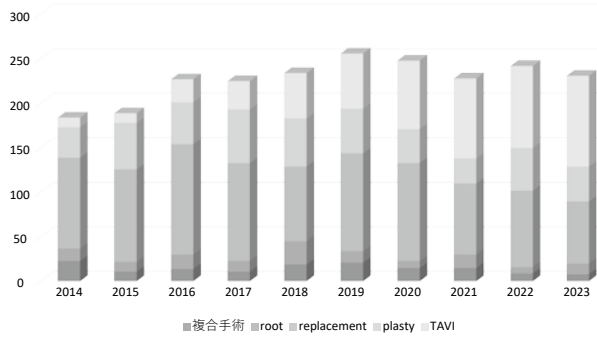
### 胸部大動脈手術推移



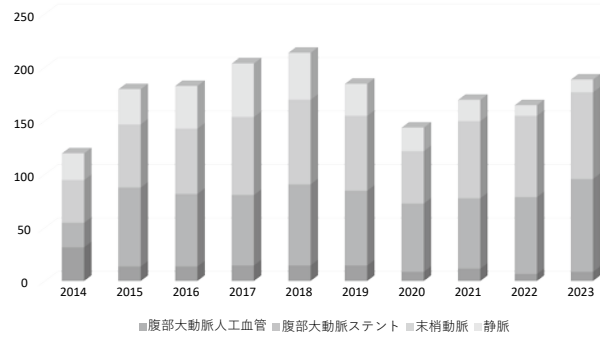
### 冠動脈バイパス術推移



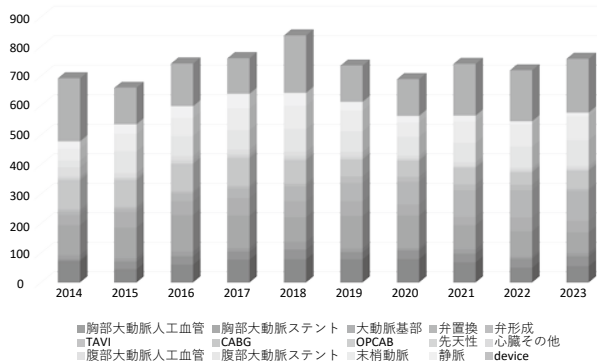
### 弁膜症手術推移



### 末梢血管推移



### 総手術数の推移



## 消化器内科

外来患者数は平均108.6人／日と減少、入院患者数52.2人／日、病床占床率は91.6%に減少、平均在院日数は10.4日に短縮した。初診患者数は2,193人に増加した。その内紹介患者数も55.4%にあたる1,215人に増加、救急搬送患者数は786人に増加した。結果、紹介率は91.5%（逆紹介率は98.3%）であった。

COVID-19感染者、入院患者ともに減少し5月には5類感染症となった。入院患者総数は昨年より若干減少した。その内訳は昨年同様に胆膵疾患（434名）が最多で大腸疾患（361名）、肝臓（305名）と続く。胃疾患（170名）は増加傾向であった。

EUS-FNA(B)を積極的に行い、壊死性/感染性膵嚢胞に対するEUS下のドレナージ手技により膵疾患に対する新たな治療展開が広がった。切除腸管症例に対するバルーン内視鏡を用いた胆膵経乳頭処置も件数が増加した。出血などハイリスク胆嚢炎症例に対する内視鏡的胆嚢ドレナージも行っている。大腸領域では大腸憩室関連疾患が最多であった。大腸癌も患者数は増加し大腸閉塞を来した15例に大腸ステントを留置した。炎症性腸疾患では潰瘍性大腸炎は新規治療薬が進歩し外来治療で寛解導入可能であり入院を要する症例は減った。一方クローン病は精査、治療を含めて10名程度の入院加療を行っている。肝臓癌は減少傾向にあり、RFA、TACEとも治療件数は減少。一方、免疫チェックポイント阻害薬を用いた薬物療法が広がり、TACEとの併用も行われている。またアルコール性肝硬変患者が増加傾向にありアルコール依存

に対する介入が今後の課題である。消化器癌の化学療法において免疫チェックポイント阻害薬の適応が広がった。これは免疫系を活性化させ、がん細胞に対する攻撃を促進する働きを持つ薬剤であるが、その一方で免疫関連有害事象(irAE)も増加している。下垂体・甲状腺/副腎系、肺、肝臓、大腸、心臓、神経、皮膚などに多彩な病態呈し、重症化する場合もしばしば経験するため早期の発見と適切な管理が重要である。

内視鏡件数は昨年より減少傾向、ESDは術者も増え胃ESDが増加した。胆膵内視鏡処置は新たに指導医が増えて件数が増加した。IVR、RFAも新たに術者を育成している。チーム医療、コミュニケーション、適応、合併症対策、医療経済に焦点を当て、スキル重視の育成法からコンピテンス重視を目指し、より優れた医療人としての成長を期待したい。

研究会、地方会、総会などの学会活動、論文作成が重要な課題である。臨床医として科学的考察していく姿勢を求めている。

専攻医が少なく負担増となったため循環器内科より3名（山田、清水、瀧医師）が消化器内科をサポートしてくれた。

長谷川力也、上森淳史、引地智基医師が着任し、36年の長きにわたり消化器内科を支えてきた田中俊夫医師が退職した。

小柳津、田中、濱村、黒石、鈴木、長谷川、早川、木村、菊池、川口、上森、引地と高橋（非常勤）であった。  
(小柳津竜樹)

表1 病名別入院患者数

(単位:件数)

|                 | H3 R1 | R 2   | R 3   | R 4   | R 5   |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 入院患者総計          | 1,799 | 1,670 | 1,632 | 1,672 | 1,661 |
| <b>肝臓</b>       | 336   | 317   | 293   | 311   | 305   |
| 急性肝炎            | 7     | 4     | 3     | 6     | 6     |
| 慢性肝炎            | 10    | 7     | 3     | 4     | 1     |
| 肝硬変             | 35    | 62    | 50    | 41    | 43    |
| アルコール性肝障害       | 15    | 24    | 23    | 12    | 28    |
| 肝障害(薬物・原因不詳など)  | 8     | 10    | 16    | 9     | 13    |
| 肝細胞癌            | 230   | 179   | 160   | 194   | 175   |
| 胆管細胞癌           | 6     | 1     | 5     | 3     | 5     |
| 転移性肝癌           | 7     | 7     | 11    | 7     | 14    |
| AIH/PBC         | 6     | 9     | 5     | 12    | 3     |
| 肝膿瘍             | 4     | 4     | 10    | 11    | 14    |
| その他             | 8     | 10    | 7     | 12    | 3     |
| <b>胆道</b>       | 296   | 253   | 257   | 267   | 264   |
| 胆石・総胆管結石        | 88    | 77    | 78    | 76    | 95    |
| 胆のう癌            | 26    | 9     | 19    | 9     | 6     |
| 胆管癌             | 50    | 37    | 52    | 49    | 24    |
| 胆管炎(泥・原因不明)     | 94    | 86    | 84    | 105   | 102   |
| その他             | 8     | 2     | 6     | 2     | 3     |
| 胆のう炎            | 30    | 42    | 18    | 26    | 34    |
| <b>膵臓</b>       | 171   | 157   | 132   | 174   | 170   |
| 急性膵炎            | 30    | 39    | 41    | 40    | 19    |
| 慢性膵炎            | 18    | 14    | 4     | 7     | 26    |
| 膵癌(膵管癌)         | 113   | 97    | 79    | 120   | 114   |
| 膵のう胞性疾患(腫瘍、その他) | 1     | 3     | 2     | 3     | 4     |
| その他             | 9     | 4     | 6     | 4     | 7     |
| <b>胃</b>        | 177   | 152   | 148   | 149   | 170   |
| 急性胃炎            | 1     | 3     | 1     | 1     | 0     |
| 胃潰瘍             | 41    | 23    | 30    | 36    | 45    |
| 早期癌             | 58    | 49    | 45    | 43    | 58    |
| 進行癌             | 56    | 54    | 49    | 41    | 36    |
| 粘膜下腫瘍           | 3     | 5     | 4     | 6     | 9     |
| 悪性リンパ腫          | 1     | 1     | 1     | 0     | 1     |
| 腺腫・ポリープ         | 4     | 3     | 5     | 6     | 7     |
| その他             | 13    | 14    | 13    | 16    | 14    |
| <b>食道</b>       | 122   | 104   | 90    | 90    | 82    |
| 逆流性食道炎          | 7     | 9     | 2     | 6     | 6     |
| 早期癌             | 11    | 11    | 10    | 20    | 16    |
| 進行癌             | 39    | 42    | 23    | 19    | 24    |
| 食道・胃静脈瘤破裂       | 38    | 29    | 32    | 32    | 24    |
| マロリ・ワイス症候群      | 9     | 2     | 6     | 5     | 2     |
| アカラシア           | 1     | 3     | 2     | 2     | 2     |
| その他             | 17    | 8     | 15    | 6     | 8     |
| <b>十二指腸・小腸</b>  | 59    | 71    | 48    | 63    | 50    |
| 十二指腸潰瘍          | 26    | 32    | 13    | 19    | 24    |
| 小腸炎             | 1     | 4     | 4     | 5     | 3     |
| 十二指腸癌           | 7     | 6     | 9     | 3     | 5     |
| 乳頭部癌            | 8     | 9     | 11    | 7     | 2     |
| 小腸腫瘍            | 1     | 1     | 0     | 0     | 5     |
| 悪性リンパ腫          | 0     | 2     | 0     | 0     | 0     |
| その他             | 16    | 17    | 11    | 29    | 11    |

|                 | 430   | 372    | 387    | 323   | 361   |
|-----------------|-------|--------|--------|-------|-------|
| <b>大腸</b>       | 430   | 372    | 387    | 323   | 361   |
| 潰瘍性大腸炎          | 13    | 17     | 18     | 7     | 7     |
| クローン病           | 4     | 8      | 11     | 10    | 10    |
| 虚血性腸炎           | 40    | 29     | 35     | 31    | 38    |
| 感染性腸炎           | 27    | 15     | 7      | 7     | 8     |
| 憩室炎/憩室出血        | 24/90 | 23/100 | 26/108 | 19/92 | 29/96 |
| 他腸炎(不明・薬剤など)    | 27    | 9      | 7      | 9     | 18    |
| ポリープ            | 46    | 43     | 46     | 50    | 44    |
| 癌               | 124   | 90     | 94     | 63    | 86    |
| 虫垂炎             | 1     | 4      | 1      | 1     | 0     |
| その他             | 33    | 33     | 33     | 31    | 24    |
| その他の腫瘍          | 1     | 1      | 1      | 3     | 1     |
| <b>消化器その他</b>   | 109   | 137    | 146    | 133   | 144   |
| イレウス            | 41    | 42     | 57     | 35    | 40    |
| 急性胃腸炎           | 8     | 9      | 14     | 12    | 9     |
| 急性腹症            | 5     | 9      | 5      | 8     | 11    |
| 胃瘻造設            | 14    | 13     | 16     | 8     | 11    |
| 癌性腹膜炎、原発不明癌     | 2     | 4      | 2      | 5     | 3     |
| 腹膜炎             | 2     | 1      | 3      | 0     | 2     |
| 上部消化管出血         | 6     | 4      | 12     | 7     | 8     |
| 下部消化管出血         | 10    | 9      | 14     | 20    | 16    |
| 消化管出血(OGIB)     | 7     | 7      | 5      | 5     | 11    |
| 貧血              | 6     | 27     | 15     | 25    | 25    |
| その他             | 8     | 12     | 3      | 8     | 8     |
| <b>消化器以外の疾患</b> | 99    | 107    | 131    | 162   | 115   |
| 脱水・衰弱・食欲不振など    | 23    | 20     | 29     | 44    | 32    |
| 他科疾患            | 48    | 31     | 30     | 23    | 17    |
| 腫瘍              | 0     | 1      | 0      | 0     | 0     |
| 感染症             | 25    | 51     | 68     | 87    | 61    |
| アナフィラキシー        | 3     | 4      | 4      | 8     | 5     |
| COVID-19        |       | 26     | 43     | 38    | 16    |

表2 消化器内科検査件数

|                          | R 1   | R 2   | R 3   | R 4   | R 5   |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 上部消化管 内視鏡                | 4,090 | 3,336 | 3,485 | 3,757 | 3,607 |
| ELPS(咽喉頭内視鏡手術)           | 1     | 0     | 1     | 0     | 2     |
| 食道ESD                    | 13    | 8     | 12    | 22    | 18    |
| 胃ESD                     | 58    | 41    | 45    | 37    | 56    |
| 小腸カプセル内視鏡                | 29    | 31    | 31    | 25    | 29    |
| 小腸内視鏡(DBE/SBE)           | 21    | 12    | 12    | 22    | 26    |
| 下部消化管内視鏡                 | 2,682 | 2,229 | 2,463 | 2,574 | 2,549 |
| 大腸ESD                    | 34    | 18    | 19    | 23    | 19    |
| 大腸ステント*                  |       |       |       |       | 15    |
| ERCP(内視鏡的膵胆管造影)          | 344   | 339   | 300   | 286   | 365   |
| EIS/EVL(内視鏡的食道静脈瘤治療)     | 73    | 60    | 55    | 44    | 46    |
| PTCD(経皮経肝胆道ドレナージ)**      | 28    | 11    | 11    | 12    | 19    |
| PEG(内視鏡的胃瘻造設術)           | 41    | 30    | 33    | 31    | 20    |
| 肝生検                      | 33    | 33    | 27    | 29    | 32    |
| TACE(肝動脈塞栓療法)***         | 65    | 75    | 45    | 65    | 44    |
| RFA(経皮的ラジオ波焼灼療法)         | 112   | 77    | 71    | 83    | 70    |
| EUS-FNA(超音波内視鏡ガイド下吸引細胞診) | 14    | 5     | 6     | 12    | 64    |

\*R 5より集計開始

\*\*PTGBD, PTABDを含む

\*\*\*肝動注、B-RTO、消化管止血術を含む

## 外科・消化器外科

### 1. 外科・消化器外科の現況、動向、課題など

#### 【現況、動向、課題】

2023年度には矢崎医師が着任した。消化器外科専門医取得者だが、さらに乳腺専門医を目指すとのことで、米沢医師の負担が大きくなっていた乳腺外科部門だが、外来診療・手術ともにパワーアップし、症例も増えた。当科において育児中の女性医師が2人となったが、診療もしっかりこなしてくれており、彼女たちが外科医として活躍している姿は若い研修医によきロールモデルとして映っているのではないかと期待している。

2023年（1月～12月）の手術件数（症例ベース）は1,086件と、前年から96件増加したが、ヘルニア手術が304件から390件と大幅に増加した分ともいえる。これまででも多くの紹介をいただいていたが、おなかのヘルニアセンター創設により、さらに集患効果があがったと思われる。大腸のロボット支援下手術では、今年度にロボットの機種

が更新となったが、前年の34例から51例と数を伸ばしている。ロボット手術を行う診療科が増えつつあり、その有効活用の在り方が、病院の課題のひとつでもある。当科においても上部消化管および肝胆膵領域での導入を目指したい。

紹介があつてこそその外科・消化器外科であることを肝に銘じ、患者さんとその家族に満足度の高い治療を提供し、紹介医の期待に応えられるように努力したい。また若い医師にも魅力的と映る診療科を目指したい。

#### 【人事】

令和5年4月1日 矢崎真澄医師、外科・消化器外科医長として採用（SBS静岡健康増進センターより）

令和5年3月31日 菱川恵介医師、退職（千葉県立千葉がんセンター 内視鏡科へ）

（前田賢人）

手術件数（術式別） ー過去3年間の比較（2021年1月1日～2023年12月31日）

|                       | 2021年      |        | 2022年      |        | 2023年      |        |
|-----------------------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
| 全手術数                  | 1,036      |        | 990        |        | 1,086      |        |
| 鏡視下手術                 | 583        |        | 582        |        | 716        |        |
| 全身麻酔手術数               | 866        |        | 864        |        | 975        |        |
| 緊急手術数                 | 193        |        | 197        |        | 182        |        |
|                       | うち鏡視下手術    |        | うち鏡視下手術    |        | うち鏡視下手術    |        |
| 食道癌切除術                | 11         | 10     | 7          | 6      | 6          | 6      |
| 幽門側胃切除術               | 18         | 14     | 27         | 20     | 18         | 16     |
| 胃全摘術（噴門側胃切除術を含む）      | 11         | 3      | 14         | 5      | 8          | 5      |
| 結腸切除術                 | 153        | 95     | 86         | 63(5)  | 102        | 75(18) |
| 直腸前方切除術               | 41         | 33(31) | 29         | 25(22) | 37         | 33(30) |
| 直腸切断術                 | 7          | 5(5)   | 8          | 8(7)   | 4          | 4(3)   |
| 肝切除術（葉切除以上）           | 4          | 0      | 6          | 1      | 5          | 2      |
| 肝切除術（区域・亜区域切除）        | 10         | 0      | 6          | 2      | 4          | 3      |
| 肝切除術（上記以外）            | 31         | 15     | 20         | 8      | 13         | 9      |
| 膵頭十二指腸切除術             | 12         | 0      | 23         | 0      | 12         | 0      |
| 膵体尾部切除術（胃癌手術に伴うものは除く） | 8          | 3      | 8          | 5      | 6          | 4      |
| 膵切除術（その他）             | 0          | 0      | 2          | 1      | 2          | 1      |
| 乳癌手術                  | 93         | 0      | 88         | 0      | 111        | 0      |
| 胆嚢摘出術                 | 164        | 136    | 165        | 147    | 197        | 183    |
| 脾摘術                   | 0          | 0      | 2          | 1      | 2          | 1      |
| 虫垂切除術                 | 54         | 52     | 62         | 61     | 66         | 62     |
| ヘルニア手術（小児を除く）         | 273        | 207    | 304        | 250    | 390        | 327    |
| 良性肛門疾患に関する手術          | 4          | 0      | 4          | 0      | 3          | 0      |
| 小児外科手術（ヘルニアも含む）       | 1          | 1      | 1          | 1      | 2          | 2      |
|                       | ( )はロボット手術 |        | ( )はロボット手術 |        | ( )はロボット手術 |        |

## おなかのヘルニアセンター

### 【現況・動向・課題】

おなかのヘルニア、いわゆる脱腸は、わが国では年間15万件以上の手術が行われている非常に重要な疾患である。おなかのヘルニアには、またの付け根が膨らむ単径部ヘルニア、臍が膨らむ臍ヘルニア、手術後の傷が膨らむ腹壁癒痕ヘルニア等の種類がある。いずれのヘルニアも、おなかの壁が弱くなって穴ができ、臓器が脱出している状態であり放置すると、ふくらみが大きくなって日常生活に支障をきたしたり、ときに脱出した臓器がもとに戻らずに腐ってしまう「嵌頓」という危険な状態になることもある。自然によくなることや、薬によくなることはなく、外科手術が唯一の治療法となる。外科・消化器外科の一領域である、おなかのヘルニアの、当院における昨年までの手術件数は、単径部ヘルニア 約250件／年、腹壁癒痕ヘルニア+臍ヘルニア 約18件／年であり、再発例はなく、重篤な合併症も発生することなく、良好な成績をおさめてきた。症例のさらなる集約化と、豊富な治療経験を市民に還元することを目指して、2023年7月に、満を持して【おなかのヘルニアセンター】を開設するはこびとなった。

センター開設後は、病診連携総会にてセンター開設告

知を行い、また市民公開講座【からだの学校】にて、おなかのヘルニアの啓蒙活動を行った。さらに病院の広報誌【体温計】に、おなかのヘルニアに関する記事を掲載した。

センター開設の結果として、開業医の先生方からの紹介患者さん数は、約1.4倍となった。医療圏を跨いでの紹介患者さんも散見されるようになった。また単径部ヘルニア手術件数は、322例／年となり、腹壁癒痕ヘルニア+臍ヘルニア手術件数は 33件／年となった。他院での術後慢性疼痛の患者さんも受診され、またセカンドオピニオンの患者さんも、紹介されるようになった。

おなかのヘルニア、特に単径部ヘルニア修復術は、最も多く行われている外科・消化器外科手術であり、どのような外科医が行っても、治療成績には大差ないと考えられがちである。しかし、ヘルニアセンター開設後に紹介された患者さんを診察すると、おなかのヘルニア診療を安易に考えることは、大変危険であると感じている。患者さんに最適な治療方法を提供し、かつ安定した治療成績を担保するために、症例の集約化は必要であり、当院での【おなかのヘルニアセンター】開設は、その一助になると考えている。

(小林敏樹)

### 手術件数

|          | 2022年 | 2023年 |
|----------|-------|-------|
| 単径部ヘルニア  | 252   | 322   |
| 腹壁癒痕ヘルニア | 13    | 15    |
| 臍ヘルニア    | 5     | 18    |



## 腎臓内科

2023年4月、それまで当院研修医であった2名の医師（望月泰建、田上暁之）が腎臓内科専攻医師として新メンバーに加わった。一方、沖永専攻医は内科学会の規定により他院に1年間の予定で移動、寺田専攻医は12月まで休業した。その結果、松本、野島、望月、田上の4名体制となってスタートしたが、他にも、内科系専攻医あるいは研修医が当科のローテを選択し、カンファレンスや回診は時に主要内科の様相を呈した。科内ではより密接な情報共有を心掛け、特に入院診療においては複数担当医制を徹底した。ストレスを少なくしワンチーム体制で腎内診療を遂行した。

年間総入院患者数は352名、一人当たりの平均在院日数は15.4日、1日平均腎内入院患者は16.4人となった。入院患者総数は前年度より9%増加し、在院日数は5.6日減少、平均入院患者数は3.5人減少した。表1に入院疾患分布をしめす。多い順に「シャント・アクセス関連」「CKD合併の溢水/肺水腫/不整脈」「急性腎不全」「透析導入期の慢性腎不全」となった。ERからの一般内科入院症例は少なく、AKIあるいはCKD急性増悪、腎炎・ネフローゼ・血管炎など腎臓内科らしい入院が多くをしめた。コロナ入

院は7人まで減少し、急性薬物中毒入院は14人となった。

腎生検は32症例に行われた。IgA腎症が全体の44%に達し、透析回避を目的に多くの症例が積極的治療を受けた。ANCA/GBM血管炎は稀な病気でなくなり、多くの症例に腎生検がおこなわれた。ANCAに対する新規薬剤は治療に大きく貢献した。また、コロナワクチン（MCNS）、免疫チェックポイント阻害剤（GBM腎炎）、機能性食品（尿細管障害）など薬品/サプリ関連の腎障害が複数例含まれたことは特筆すべきである。腎生検症例はこれまで同様に江河医師・森木医師による迅速病理診断のもと早期に適切な治療介入が行われた（表2）。

透析外来を除いた腎内外来総患者数は5,672名で前年度と同レベルであったが、紹介件数は749件と11%増加した。ブラッドアクセス手術総数は490件で32%増、腹膜アクセス症例はなかった。一方、無痛透析に繋がる長期透析用カフ型カテの留置件数は60件に達した（表3）。透析導入患者総数は76名、前年度より4名減少した。QOLを意識した穏やかな透析導入を心がけ、外来血液透析導入は全導入患者の33%となった。

（松本芳博）

表1 入院統計

|                   | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|
| 急性腎不全             | 17    | 12    | 28    | 35    |
| CKD急性増悪           | 7     | 13    | 24    | 15    |
| 導入期慢性腎不全          | 35    | 43    | 30    | 26    |
| PD導入/腹膜炎/PDカテ関連   | 2     | 0     | 0     | 0     |
| ANCA/GBM関連血管炎/SLE | 10    | 9     | 10    | 12    |
| ネフローゼ(腎生検/治療)     | 17    | 13    | 9     | 15    |
| 他の腎炎(腎生検/治療)      | 10    | 12    | 14    | 17    |
| シャント・アクセス関連       | 72    | 80    | 81    | 85    |
| CKD(肺水腫/溢水/不整脈)   | 48    | 48    | 41    | 51    |
| CKD(脳血管障害/意識障害)   | 5     | 5     | 9     | 11    |
| CKD(肺炎/その他の感染症)   | 22    | 22    | 22    | 25    |
| CKD(消化管出血/その他)    | 13    | 13    | 11    | 6     |
| 尿路感染症/敗血症         | 54    | 24    | 8     | 10    |
| 電解質・代謝異常          | 7     | 10    | 8     | 10    |
| 薬物中毒/悪性症候群        | 17    | 11    | 16    | 14    |
| 横紋筋融解症            | 7     | 4     | 2     | 3     |
| 不明熱               | 5     | 2     | 0     | 1     |
| 腎梗塞               | 2     | 0     | 1     | 1     |
| COVID-19          | 11    | 20    | 9     | 7     |
| ADPKDサムスカ導入入院     |       |       |       | 3     |
| 尿細管アシドシス          |       |       |       | 3     |
| その他               | 16    | 2     | 1     | 2     |
| 合計                | 377   | 343   | 324   | 352   |

表3 透析アクセス手術

|             | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 内シャント造設     | 96    | 100   | 91    | 118   |
| 人工血管シャント造設  | 29    | 26    | 28    | 36    |
| 血栓除去・PTA・他  | 172   | 204   | 226   | 276   |
| HD長期カテーテル留置 | 11    | 28    | 25    | 60    |
| PDカテーテル留置   | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 合計          | 308   | 358   | 370   | 490   |

表2 腎生検病理診断

|                                | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|--------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 微小変化群                          | 3     | 3     | 6     | 4     |
| 臍状分節性糸球体硬化症                    | 1     | 2     | 2     | 1     |
| 膜性腎症                           | 2     | 2     | 1     | 1     |
| 膜性増殖性糸球体腎炎                     | 0     | 0     | 1     | 0     |
| 管内増殖性腎炎                        | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 半月体形成糸球体腎炎/壊死性血管炎/ANCA関連/GBM関連 | 3     | 4     | 3     | 5     |
| IgA腎症                          | 7     | 5     | 5     | 14    |
| ループス腎炎                         | 0     | 0     | 0     | 0     |
| クリオグロブリン血症性糸球体腎炎               | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 糖尿病性糸球体硬化症                     | 4     | 0     | 2     | 1     |
| 腎硬化症                           | 1     | 0     | 3     | 1     |
| 悪性高血圧性腎硬化症                     | 0     | 1     | 0     | 0     |
| アミロイド腎症                        | 0     | 1     | 2     | 0     |
| 間質性腎炎/IgG4関連                   | 1     | 2     | 2     | 0     |
| 紫斑病性腎炎/IgA血管炎                  | 2     | 3     | 1     | 1     |
| 腎サルコイドーシス                      | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 菲薄化基底膜病                        | 0     | 0     | 1     | 0     |
| コレステロール塞栓症                     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 特発性結節性糸球体硬化症                   | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 尿酸性腎症                          | 1     | 0     | 0     | 0     |
| 感染関連糸球体腎炎                      |       |       | 1     | 1     |
| 急性尿細管障害                        |       |       |       | 1     |
| その他・分類不能                       | 0     | 2     | 0     | 2     |
| 合計                             | 25    | 25    | 30    | 32    |

## 内分泌・代謝内科

糖尿病・脂質異常症などの代謝疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、視床下部・下垂体疾患、副腎疾患などの内分泌疾患に加え、高血圧外来を担当し高血圧診療も行っている。

外来診療では、糖尿病は2型糖尿病中心だが、インスリンポンプ療法実施中の1型糖尿病患者も多い。自己注射指導が随時可能で、フットケア外来も開設し、充実した療養指導を実施している。糖尿病認定看護師や日本糖尿病療養指導士（CDE-J）資格を有する看護師と、やはりCDE-J資格を有する管理栄養士とともに糖尿病透析予防指導を実施し、静岡市糖尿病性腎症（DKD）連携パスにも対応している。フリースタイルリブレやDexcom G6を用いた血糖管理に対応し（令和5年度計314人）、診察室での血中ケトン体迅速測定も可能である。種々の内分泌負荷試験を外来で実施でき（令和5年度107件）、原発性アルドステロン症をはじめ多くの内分泌疾患を外来で診断できる。免疫チェックポイント阻害薬による内分泌・代謝系の免疫関連有害事象への対応も行っている。甲状腺穿刺吸引細胞診は耳鼻咽喉科・頭頸部外科で、放射性ヨウ素内用療法は放射線治療科で、副腎静脈サンプリングは循環器内科で、膵内分泌腫瘍に対する選択的動脈内カルシウム注入試験は消化器内科で実施いただいている。

入院診療は糖尿病教育入院が中心だが、電解質異常も多い。低血糖症、糖尿病ケトアシドーシス、重症低ナトリウム血症など内分泌代謝救急での入院も多い。視床下部・下垂体疾患での入院患者も増加している。総合内科的な疾患の担当も多く、COVID-19患者も担当した。入院患者数には含まれないが、これを上回る多数の他科入院患者の糖尿病・内分泌疾患管理を担当している。

当科は日本内分泌学会認定教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設Iであり、機構認定内科専門医、内分泌・代謝科専門医（内科）、糖尿病専門医に加えて、機構認定内分泌代謝・糖尿病内科学専門医の取得のための研修が可能である。高血圧学会認定高血圧専門医の取得も可能である。京都大学医学部の臨床実習を担当し、令和5年度は2名の学生を受け入れた。

近藤仁江医師と京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学大学院生の須川琢医師に、引き続き外来担当の非常勤応援医師として勤務して頂いている。内分泌代謝・糖尿病内科をサブスペシャリティとする内科専攻医は、静岡県立総合病院基幹プログラム研修1年目の高橋わかかな医師が、令和5年10月1日から当院当科で研修中である。

（田村尚久）

|                 | R3             | R4             | R5             |              | R3    | R4    | R5    |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|-------|-------|-------|
| 該当病床数(床)        | 10             | 10             | 14             | 糖尿病教室        |       |       |       |
| 入院患者数(人)        | 236            | 290            | 255            | 開催日数(日)      | 22    | 41    | 35    |
| 平均年齢(歳)<br>(SD) | 69.9<br>(16.5) | 71.1<br>(17.0) | 69.6<br>(17.3) | 参加人数(人)      | 117   | 153   | 86    |
| 疾病内訳(人)         |                |                |                |              |       |       |       |
| 糖尿病             | 97             | 156            | 121            | 外来療養指導       |       |       |       |
| （うち 2型）         | (89)           | (136)          | (103)          | 糖尿病透析予防指導(人) | 13    | 24    | 31    |
| （うち 1型）         | (8)            | (20)           | (16)           | フットケア(延べ人数)  | 52    | 74    | 84    |
| 低血糖症            | 20             | 10             | 23             | 自己注射指導(人)    | 144   | 97    | 86    |
| 高血圧             | 2              | 0              | 1              | （インスリン・配合注）  | (65)  | (64)  | (45)  |
| 甲状腺疾患           | 1              | 6              | 3              | （GLP-1アナログ）  | (79)  | (33)  | (41)  |
| 副甲状腺疾患          | 1              | 0              | 4              | 外来栄養指導(件)    | 1,842 | 1,594 | 2,065 |
| 視床下部・下垂体疾患      | 10             | 14             | 20             |              |       |       |       |
| 副腎疾患            | 2              | 2              | 5              |              |       |       |       |
| 肥満症             | 3              | 0              | 1              |              |       |       |       |
| 電解質異常           | 集計なし           | 38             | 39             |              |       |       |       |
| その他             | 101            | 64             | 38             |              |       |       |       |
| (COVID-19)      | (20)           | (14)           | (18)           |              |       |       |       |

## 血液内科

2023年はCOVID-19が5類に移行したことを受け、当院の診療もCOVID-19蔓延以前の状態に少しずつ戻っていった1年であった。

今年も多く血液疾患患者さんの診療を行い、患者さんの立場に立った診療を心がけた。

平野暁子医師、山崎寛章医長の若手2人は、今年も当院の血液疾患診療のため大活躍してくれたとともに、臨床研修医に血液内科の魅力を伝えてくれた。その甲斐あって当院で臨床研修を行っていた嘉陽菜央研修医が、令和6年度からの進路として、血液内科をサブスペとした当院の内科専門研修プログラムを選択してくれた。また2024年1月から坂本奈美医長が浜松医科大学より当科に赴任し、さっそく積極的に診療を行ってくれており、当科のパワーが大きくアップした。血液内科に魅力を感じる若い医師が当院で育ってくれたこと、そして科に新たな若い力が加わることは、当科にとってこの上ない喜びである。

当院緩和ケア内科主任科長でもある岩井一也科長は、今年も血液疾患のみならず多くの緩和ケア内科症例の主

治医も務め、また感染管理室室長として院内外において、正しい感染対策の普及にも尽力した。

がん教育の授業は今年度も継続し、2023年度中には9中学校において14回の授業を前田が学校に出向いて行った。

当科の外来医療クラークは、3人とも血液疾患診療サポートのスペシャリストの域に達しており、そのおかげで当科外来では患者さんに、安全で心のこもった質の高い医療が提供できている。

重症化することも少なくない血液疾患であるが、今年度も多くの血液疾患患者さんの診療を行った。その大変な血液疾患診療を支えてくれた病棟の看護スタッフ、外来(化学療法室も含め)スタッフには心から感謝している。

今後も血液疾患診療に関しては、質の高い治療はもろんのこと、当科のモットーである「患者さんに優しい医療」を心がけ、また感染管理、緩和ケア、がん教育等血液診療以外においても血液内科スタッフが中心的存在となり、この地域の医療全体の充実に貢献していきたいと考えている。

(前田明則)

### 疾患別入院患者数

|                | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 急性骨髄性白血病 / MDS | 70    | 69    | 52    | 49    | 50    | 52    |
| 急性リンパ性白血病      | 1     | 4     | 7     | 7     | 3     | 4     |
| 慢性骨髄性白血病       | 7     | 1     | 2     | 1     | 3     | 3     |
| ホジキンリンパ腫       | 2     | 4     | 3     | 0     | 5     | 3     |
| 非ホジキンリンパ腫      | 112   | 98    | 102   | 84    | 71    | 68    |
| 多発性骨髄腫         | 23    | 25    | 26    | 30    | 26    | 21    |
| その他造血器腫瘍       | 6     | 3     | 6     | 2     | 11    | 7     |
| 再生不良性貧血        | 3     | 6     | 2     | 5     | 4     | 6     |
| その他血液疾患        | 16    | 14    | 13    | 18    | 16    | 23    |
| 膠原病・不明熱等内科疾患   | 12    | 30    | 52    | 44    | 47    | 52    |
| HIV/AIDS       | 2     | 3     | 3     | 0     | 0     | 1     |
| COVID-19       |       |       | 14    | 27    | 30    | 12    |

## 脳神経内科

月曜、水曜、金曜日の週3日、京都大学脳神経内科学大学院生からなる非常勤医師により外来業務（院内他科よりの診察依頼、院外開業医よりの紹介）を行った。月曜

日は岡医師、水曜日は櫻井医師、金曜日は三宅、孝橋医師の4名で担当した。初診、再診、他科依頼にて総数2,942名の診察を行った。

(深澤誠司)

### 外来患者数の推移

|    | 令和3年   | 令和4年   | 令和5年   |
|----|--------|--------|--------|
| 初診 | 220名   | 200名   | 151名   |
| 再診 | 2,494名 | 2,624名 | 2,791名 |

## 呼吸器内科

令和5年度はCOVID-19が5類感染症となった。ワクチン接種やオミクロン株への変異により重症のCOVID-19肺炎患者は減少したが、COVID-19感染を契機とした誤嚥性肺炎、慢性呼吸器疾患増悪などの対応を要した。また感染対策緩和の影響か、インフルエンザやRSウイルスなどのウイルス感染による入院も増加した。当科は肺炎・感染症などの救急対応が多く、入院患者のうち53.9%が救急外来からであった。

近年、肺癌における遺伝子診断や個別化治療が進んでいる。当院でもオンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システムやAmoyDx 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネルなどを用いた遺伝子変異の検索、またPD-L1免疫組織化学染色検査などを行った上で、多岐にわたる化学療法のレジ

メンから肺癌ガイドラインに準じて治療の選択を行っている。また気管支鏡検査においては、診断率向上のため、先端径3-4mmの細径/極細径のスコープを使用し、ガイドシース併用気管支内超音波断層法(EBUS-GS)や超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)を用いた生検を積極的に行っている。

咯血治療においては、カテーテルを用いた気管支動脈塞栓術(BAE)を継続して施行しており、累計件数が99件に到達した。全国的にも呼吸器内科医自身がBAEを行える数少ない施設のひとつである。

人事面としては中井医師が異動により退職、増田医師が赴任され、スタッフ8名と研修医で診療を行っていた。

(藤井雅人)

### 入院統計

|                | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|----------------|--------|--------|--------|
| 肺癌・肺腫瘍         | 383    | 395    | 400    |
| 肺炎・感染症         | 381    | 503    | 586    |
| 肺気腫・喘息(閉塞性疾患群) | 33     | 31     | 45     |
| 間質性肺疾患         | 107    | 109    | 114    |
| 胸膜疾患・気胸        | 41     | 42     | 22     |
| 心疾患・肺血管疾患      | 8      | 18     | 11     |
| その他            | 126    | 166    | 137    |
| 計              | 1,079  | 1,264  | 1,315  |

### 検査・処置件数

|               | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 気管支鏡検査        | 234    | 280    | 247    |
| 局所麻酔下胸腔鏡検査    | 25     | 27     | 23     |
| 気管支動脈塞栓術(BAE) | 6      | 3      | 4      |

## 緩和ケア内科

新規患者数は昨年度と比較してわずかに増加した。痛みの治療効果が不十分であったり、咳嗽や呼吸困難といった身体的苦痛が主な理由であるが、死戦期せん妄や抑うつなどの精神的苦痛、積極的抗がん治療が終了したあとの最終段階の診療や、ADLが低下した状態での退院支援などであった。

緩和ケアチームでは、入院患者で多職種の支援が必要な患者に対し、担当病棟看護師を含めて、緩和ケア認定看護師、地域連携担当看護師、薬剤師、栄養士、精神科からなるカンファレンスを週1回行った。心不全緩和ケアチームも活動を開始しており当緩和ケアチームとの連携も開始している。

(岩井一也)

|        | 緩和ケア内科新規患者数 | 緩和ケアチーム新規検討患者数 |
|--------|-------------|----------------|
| 2023年度 | 68人         | 65人            |
| 2022年度 | 57人         | 55人            |
| 2021年度 | 52人         | 57人            |

## 小児科

2023年の新生児科入院（別項記載）を除いた小児科一般入院は299名で、前年比プラス164名の大幅増加であった。2020年から2022年の3年間、COVID-19感染流行による当科診療への影響は甚大であったが、これでコロナ禍前の水準（2019年268名）にほぼ戻ったと言える。診療体制としては、小児科専門医資格を有する2名の常勤医（五十嵐・酒井）と、静岡県立こども病院小児科専攻医プログラム修了後当科スタッフとなった本橋医師、同プログラム派遣の専攻医（伊藤史子医師1年間、山中雄城医師上半期半年間）の上半期5名、下半期開始時4名体制で診療を行った。2023年1月からは、聖隷浜松病院より小児科専門医の芹澤龍太郎医師が加わり、再び5名体制で診療を継続している。

京都大学ならびに医局関連病院でもある静岡県立こども病院との連携を引き続き継続し、同院腎臓内科OB：和田尚弘医師、内分泌代謝科：上松あゆ美医師による外来診療応援により専門診療に対応可能な診療を継続した。当科OBである東卓司医師、飯山道郎医師からも引き続き応援を頂いた。経験豊富な先輩医師や、専門領域の異

なる先生方からの助言や激励は大変ありがたく、諸先生方にはこの場を借りて深謝申しあげ、引き続き診療内容の質の向上といった形で応えていきたい。

引き続き、診療対象疾患として大きな位置を占めていた感染症の減少に対し、アレルギー疾患や免疫疾患の割合が増加した。感染症に関しては、季節流行の状況が様変わりしてきており、局所流行などの状況は、近隣医療機関との情報共有や連携がより重要となっている。アレルギー診療については、アレルギー専門医である酒井科長を中心に、舌下免疫療法・食物負荷試験などの専門診療を行い、積極的に診療を拡大している。このように、従来から進んできた疾病構造の変化（感染症の減少、免疫アレルギー疾患の増加）に対応しつつ、引き続き幅広く小児疾患全般に対応していく姿勢を継続していく。

少子化と疾病構造の変化に柔軟に対応しつつ、各医師の専門性を生かした診療の更なる強化を行い、病診連携・病病連携・研修医教育を引き続き推進し、地域に貢献していきたい。

（五十嵐健康）

2023年入院症例（一部新生児、外来症例含む） 疾患名は重複・合併例を含む

| 主要診断群名称        | DPC分類名称                    | 例数 | 年齢中央値 | 入院日数中央値 | 主な疾患名                       |
|----------------|----------------------------|----|-------|---------|-----------------------------|
| その他            | その他の感染症(真菌を除く。)            | 36 | 0歳    | 4日      | COVID-19、RSウイルス感染症、経口摂取困難   |
|                | その他の新生物                    | 1  | 2歳    | 3.5日    | 左涙のう部腫瘍                     |
|                | 敗血症                        | 1  | 0歳    | 3日      | 敗血症の疑い                      |
| 外傷・熱傷・中毒       | 薬物中毒(その他の中毒)               | 3  | 3歳    | 2日      | 医薬品中毒                       |
| 筋骨格系疾患         | リンパ節、リンパ管の疾患               | 1  | 1歳    | 3日      | 不明熱                         |
|                | 血管腫、リンパ管腫                  | 1  | 0歳    | 5日      | いちご状血管腫                     |
|                | 骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)         | 2  | 1歳    | 2日      | 後頭部皮下結節                     |
|                | 重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患        | 3  | 14歳   | 9日      | シェーグレン症候群、横紋筋融解の疑い          |
| 血液・造血器・免疫臓器の疾患 | アレルギー性紫斑病                  | 2  | 4.5歳  | 6.5日    | IgA血管炎                      |
|                | 出血性疾患(その他)                 | 2  | 4.5歳  | 7.5日    | 特発性血小板減少性紫斑病                |
| 呼吸器系疾患         | インフルエンザ、ウイルス性肺炎            | 10 | 4歳    | 3日      | インフルエンザ、RSウイルス感染症、脱水症、ゲトース  |
|                | 急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) | 25 | 0歳    | 4日      | 気管支炎、RSウイルス細気管支炎、RSウイルス気管支炎 |
|                | 肺炎等                        | 13 | 1歳    | 3.5日    | 肺炎、気管支炎、気管支肺炎               |
|                | 喘息                         | 13 | 4歳    | 4日      | 気管支喘息、小児喘息、喘息性気管支炎          |
| 耳鼻咽喉科系疾患       | 急性副鼻腔炎                     | 2  | 3.5歳  | 3.5日    | 急性上顎洞炎、経口摂取困難               |
|                | 血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>   | 1  | 11歳   | 4日      | アレルギー性鼻炎 ※皮下免疫療法の急速導入       |
|                | 上気道炎                       | 11 | 0.5歳  | 3日      | 不明熱、急性上気道炎、早期乳児発熱           |
|                | 中耳・乳様突起の障害                 | 2  | 2.5歳  | 4日      | 経口摂取困難                      |
|                | 伝染性単核球症                    | 1  | 10歳   | 4日      | 経口摂取困難                      |
|                | 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫             | 1  | 2歳    | 3日      | 経口摂取困難                      |
|                | 慢性副鼻腔炎                     | 16 | 3歳    | 4日      | 上顎洞炎、小児副鼻腔炎                 |
| 循環器系疾患         | 扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎       | 1  | 6歳    | 4日      | 扁桃炎                         |
|                | 循環器疾患(その他)                 | 2  | 14歳   | 8日      | 起立性調節障害                     |
|                | 心筋炎                        | 1  | 2歳    | 5日      | 心筋炎                         |

| 主要診断群名称               | DPC分類名称                      | 例数 | 年齢<br>中央値 | 入院日数<br>中央値 | 主な疾患名                                  |
|-----------------------|------------------------------|----|-----------|-------------|--|
| 小児疾患                  | 川崎病                          | 18 | 4歳        | 6日          | 川崎病、不全型川崎病                             |
|                       | 熱性けいれん                       | 8  | 3歳        | 2日          | 熱性痙攣、意識障害、痙攣重積発作                       |
| 消化器系疾患、<br>肝臓・胆道・膵臓疾患 | ウイルス性腸炎                      | 14 | 6.5歳      | 3日          | 急性腸炎、感染性腸炎、嘔吐症                         |
|                       | 食道、胃、十二指腸、<br>他腸の炎症(その他良性疾患) | 1  | 13歳       | 3日          | 過敏性腸症候群                                |
|                       | 虫垂炎                          | 1  | 8歳        | 3日          | 急性虫垂炎                                  |
| 神経系疾患                 | てんかん                         | 1  | 4歳        | 3日          | 熱性痙攣                                   |
|                       | 水頭症                          | 1  | 0歳        | 2日          | 水頭症の疑い                                 |
|                       | 睡眠障害                         | 1  | 15歳       | 11日         | 脱力症                                    |
|                       | 脳脊髄の感染を伴う炎症                  | 3  | 4歳        | 3日          | 意識障害、ムンプスの疑い                           |
|                       | (無記載)                        | 1  | 2歳        | 5日          | 急性小脳失調                                 |
| 腎・尿路系疾患及び<br>男性生殖器系疾患 | 急性腎炎症候群                      | 1  | 11歳       | 4日          | 蛋白尿                                    |
|                       | 腎臓又は尿路の感染症                   | 12 | 0.5歳      | 4日          | 尿路感染症、急性巣状細菌性腎炎                        |
|                       | 男性生殖器疾患                      | 1  | 3歳        | 3日          | 精巣炎                                    |
| 精神疾患                  | 神経症性障害、ストレス関連障害及び<br>身体表現性障害 | 1  | 0歳        | 2日          | 憤怒痙攣の疑い                                |
| 内分泌・栄養・代謝に<br>関する疾患   | その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害           | 14 | 6歳        | 4日          | ケトン血性嘔吐症、アセトン血性嘔吐症、ケトーシス               |
|                       | 栄養障害(その他)                    | 2  | 12歳       | 11.5日       | 低栄養                                    |
|                       | 下垂体機能低下症                     | 2  | 3歳        | 2日          | 下垂体腫瘍の疑い                               |
|                       | 代謝障害(その他)                    | 7  | 1歳        | 3日          | ケトーシス、アセトン血性嘔吐症                        |
|                       | 低血糖症                         | 2  | 1歳        | 3日          | ケトン性低血糖症                               |
| 皮膚・皮下組織の疾患            | 食物アレルギー                      | 55 | 1歳        | 1日          | 食物アレルギー、アナフィラキシー、<br>食物依存性運動誘発アナフィラキシー |
|                       | 帯状疱疹                         | 1  | 12歳       | 6日          | 帯状疱疹                                   |
|                       | 膿皮症                          | 2  | 4.5歳      | 5.5日        | 足蜂巣炎、下腿壊死性筋膜炎の疑い                       |
|                       | 母斑、母斑症                       | 1  | 0歳        | 5日          | いちご状血管腫                                |
|                       | 痒疹、蕁麻疹                       | 1  | 8歳        | 2日          | じんま疹                                   |

## 新生児科（新生児治療室）

2023年の新生児科入院は、早産・低出生体重児25名（前年比1名減）、正常産の病的新生児49名（前年比1名減）の計74名と、前年比2名減（表1）とほぼ横ばいであった。静岡市内の分娩環境変化や少子化の影響等、入院数増減要因分析と対策を引き続き継続していく必要がある。

疾患の内訳では、正常産児の呼吸障害の占める割合が引き続き高く、半数以上を占めている。呼吸障害のうち最多は、出生後の適応障害と考えられる一過性多呼吸だが、新生児仮死に伴うものやエアリーク・胎便吸引症候群などの発症がこれに続く。これらの疾患は、産科管理が重要であると同様、出生時の適切な処置や見極めが重要である。継続的に、児に関わるスタッフ間での一定レベル以上の新生児蘇生法の習得実施が必要であり、本年も引き続き、シミュレーションラボ室も活用し、実技講習を含めた取り組みを継続して行った。学会公認の新生児蘇生講習会もAコース（新規取得コース）3回、Sコース（復習コース）4回を開催し、多くの参加者が実践的な学習に取り組んでいる。従前より五十嵐が学会公認インストラクターとして指導にあたっているが、今年度は本橋医師がインストラクター資格を取得し共に指導にあたった。

当院は静岡県中部地区における地域周産期母子医療センターの指定を受けており、より重症度の高い児（“母胎”搬送を含む）については、総合周産期母子医療センター（県立こども病院）への入院がすすんでおり、当科は一定週数以上（在胎32週かつ出生体重1,500g以上を対象）の児への対応、及び急性期の集中治療離脱後のバックトランスファー受け入れを引き続き積極的に行っていくべきであると考えている。周産期センターとして産科の先生方、病棟助産師看護師をはじめとする院内各部門との連携が最重要と考えており、過去にも当科からの提案で、院内出生児全例の臍帯動脈血採血・出生後早期入院児の胎盤病理提出などを実施しており、妊娠期からシームレスに児を診療する体制構築に引き続き努めていく。

本年も引き続き『新生児治療室感染カンファレンス』を定期的（月1回）に開催した。院内ICTと連携しながら効果的な感染対策を心がけ実践している。本年も引き続きMRSAのアウトブレイクは無かったが、監視培養を継続実施することで保菌状態が明らかになり、手洗いや業務手順の見直し・環境改善等につなげている。

今後も引き続き、産科の先生方をはじめ、西4病棟スタッフとともに、一つのチームとして病的新生児やそのご家族の幸せのために尽力していきたいと考えている。診療と人材育成を両立しながら、地域のひとつの“砦”として機能していきたい。

（五十嵐健康）

表1 体重別入院数（カッコ内は死亡数）

|              | R 3    | R 4     | R 5       |
|--------------|--------|---------|-----------|
| 低出生体重児       | 20(0)  | 21(0)   | 17(0)     |
| ～999g        | 0      | 0       | 0         |
| 1,000～1,499g | 0      | 0       | 1         |
| 1,500～1,999g | 4      | 3       | 4         |
| 2,000～2,499g | 16     | 18      | 12        |
| 2,500g以上     | 65*(0) | 55**(0) | 57*** (0) |
| 計            | 85(0)  | 76(0)   | 74(0)     |

\*早産だが出生体重2,500g以上の3名を含む

\*\*早産だが出生体重2,500g以上の5名を含む

\*\*\*早産だが出生体重2,500g以上の8名を含む

表2 正常産新生児疾患内訳

R 5

|                     |    |
|---------------------|----|
| 呼吸障害(*)             | 42 |
| うち胎便吸引症候群・エアリーク     | 5  |
| 新生児仮死(Apgarスコア6点以下) | 6  |
| 新生児低血糖              | 7  |
| 新生児黄疸               | 4  |
| COVID-19母体からの出生     | 1  |
| 新生児ループス             | 1  |
| 合計                  | 49 |

(重複あり)

\*主に新生児一過性多呼吸症・及び新生児仮死に伴うもの。MAS, エアリークについては再掲



## 精神科

令和5年度精神科は、昨年度に引き続き科長を中村医師が務め、医師1名及びコメディカル3名のスタッフで診療にあたった。9月から医師1名増員となったが、令和6年3月退職することとなった。

主たる業務は、院内他科から依頼のあった入院患者さんに対する診療であり、その件数は345件で、各診療科と連携して診療を実施した。これまでも精神科コンサルテーション、リエゾンとしての役割及び機能を担ってきたが、精神科リエゾンチーム活動加算の施設基準を満たす体制が整い、6月から診療報酬の算定を開始した。入院診療における主要疾患は、器質性精神障害に分類されるせん妄・認知症で、全体の約70%を占めた。外来診療については、原則、身体疾患の治療のために当院へ通院している患者さんを対象としており、そのほとんどは当院への入院を予定していた患者さんであった。

平成21年12月に開設した身体合併症を発症した精神疾患のある患者さんを受け入れるための病床（心身合併症病床）の利用患者数は13名となっており、昨年度と比較

すると大幅に増加した。しかし、実際には、患者さんの疾患やベッド調整の状況によって各診療科病棟の一般病床や個室への入院となっているため、心身合併症病床に限定せず対応しているのが現状である。

また、当院血液内科協力のもと、静岡県立こころの医療センターで発生したクロザピン関連合併症患者（顆粒球減少患者）さんの受入れ体制も確保しているが、令和5年度の病床利用実績はなかった。

診療業務以外においては、例年に引き続き緩和ケア内科との連携業務（院内の緩和ケアチームへの参加、院内外の緩和ケア研修会・セミナーのファシリテーターや講師としての協力など）、静岡市立看護専門学校講師、院内職員対象研修講師を務めた。加えて、静岡市保健所からの依頼による精神保健福祉法第38条6項に基づく市内精神科病院実地指導及び第27条に基づく指定の診察への医師の派遣など、院内外における精神科医療関連業務を実施した。

（中村幸治）

新患者数

（単位：名）

| 依頼診療科別        | 入院患者の往診<br>(心身合併症病床での診療人数も含む) |       |       | 外来<br>(週2日・院内紹介予約制) |       |       |
|---------------|-------------------------------|-------|-------|---------------------|-------|-------|
|               | 令和3年度                         | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和3年度               | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 総合内科          | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 0     |
| 腎臓内科          | 23                            | 17    | 20    | 0                   | 0     | 1     |
| 内分泌・代謝内科      | 14                            | 17    | 25    | 0                   | 2     | 0     |
| 血液内科          | 7                             | 4     | 9     | 1                   | 0     | 0     |
| 脳神経内科         | 0                             | 1     | 0     | 0                   | 0     | 0     |
| 呼吸器内科         | 25                            | 43    | 35    | 2                   | 0     | 0     |
| 消化器内科         | 28                            | 46    | 59    | 0                   | 2     | 0     |
| 循環器内科         | 45                            | 52    | 58    | 0                   | 1     | 0     |
| 小児科           | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 0     |
| 外科            | 3                             | 2     | 1     | 1                   | 1     | 1     |
| 消化器外科         | 18                            | 26    | 28    | 0                   | 2     | 0     |
| 整形外科          | 56                            | 67    | 64    | 0                   | 0     | 0     |
| 脳神経外科         | 1                             | 3     | 2     | 0                   | 0     | 0     |
| 呼吸器外科         | 4                             | 5     | 10    | 1                   | 0     | 0     |
| 心臓血管外科        | 4                             | 8     | 6     | 0                   | 0     | 0     |
| 皮膚科           | 4                             | 2     | 3     | 0                   | 0     | 0     |
| 形成外科          | 4                             | 10    | 3     | 0                   | 0     | 0     |
| 泌尿器科          | 6                             | 10    | 14    | 0                   | 0     | 0     |
| 産婦人科          | 0                             | 1     | 0     | 3                   | 3     | 6     |
| 眼科            | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 0     |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科   | 7                             | 4     | 5     | 0                   | 0     | 0     |
| 口腔外科          | 5                             | 2     | 3     | 0                   | 0     | 0     |
| 救急外来          | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 1     |
| ファーストタッチ      | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 0     |
| 職場メンタル        | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 0     |
| 緩和ケアチーム       | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 0     |
| なし(ただし当院通院患者) | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 2     |
| 合計            | 254                           | 320   | 345   | 8                   | 11    | 11    |

| 疾病別 | 入院患者の往診<br>(心身合併症病床での診療人数も含む) |       |       | 外来<br>(週2日・院内紹介予約制) |       |       |    |
|-----|-------------------------------|-------|-------|---------------------|-------|-------|----|
|     | 令和3年度                         | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和3年度               | 令和4年度 | 令和5年度 |    |
| F0  | 器質性精神障害                       | 177   | 229   | 236                 | 2     | 1     | 0  |
| F1  | 精神作用物質                        | 12    | 19    | 35                  | 1     | 0     | 1  |
| F2  | 統合失調症                         | 12    | 20    | 23                  | 1     | 2     | 4  |
| F3  | 気分(感情)障害                      | 10    | 6     | 9                   | 1     | 1     | 2  |
| F4  | 神経症性障害                        | 22    | 14    | 8                   | 2     | 3     | 3  |
| F5  | 生理的障害・身体的要因                   | 7     | 14    | 15                  | 0     | 1     | 0  |
| F6  | パーソナリティ障害                     | 3     | 0     | 2                   | 0     | 0     | 0  |
| F7  | 知的障害                          | 0     | 1     | 4                   | 0     | 0     | 0  |
| F8  | 心理的発達の障害                      | 1     | 1     | 2                   | 0     | 0     | 1  |
| F9  | 情緒障害・特定不能                     | 0     | 1     | 0                   | 0     | 0     | 0  |
| G4  | てんかん                          | 0     | 0     | 1                   | 0     | 0     | 0  |
| X   | 精神症状ではない                      | 10    | 15    | 10                  | 1     | 3     | 0  |
| 合計  |                               | 254   | 320   | 345                 | 8     | 11    | 11 |

| 性別 | 入院患者の往診<br>(心身合併症病床での診療人数も含む) |       |       | 外来<br>(週2日・院内紹介予約制) |       |       |
|----|-------------------------------|-------|-------|---------------------|-------|-------|
|    | 令和3年度                         | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和3年度               | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 男性 | 138                           | 177   | 197   | 1                   | 3     | 1     |
| 女性 | 116                           | 143   | 148   | 7                   | 8     | 10    |

| 居住地別 | 入院患者の往診<br>(心身合併症病床での診療人数も含む) |       |       | 外来<br>(週2日・院内紹介予約制) |       |       |
|------|-------------------------------|-------|-------|---------------------|-------|-------|
|      | 令和3年度                         | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和3年度               | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 市内   | 241                           | 298   | 319   | 8                   | 11    | 10    |
| 市外   | 13                            | 22    | 26    | 0                   | 0     | 1     |
| 不明   | 0                             | 0     | 0     | 0                   | 0     | 0     |

| 年代別  | 入院・外来混合 |       |       |
|------|---------|-------|-------|
|      | 令和3年度   | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 10代  | 2       | 1     | 0     |
| 20代  | 9       | 7     | 8     |
| 30代  | 6       | 8     | 10    |
| 40代  | 12      | 12    | 16    |
| 50代  | 25      | 21    | 27    |
| 60代  | 26      | 30    | 37    |
| 70代  | 69      | 69    | 88    |
| 80代  | 79      | 129   | 115   |
| 90代  | 34      | 53    | 52    |
| 100代 | 0       | 1     | 3     |

心身合併症病床利用患者数 (単位:名)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 7     | 2     | 13    |

精神科リエゾンチーム活動件数 (単位:延べ件数)

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| -     | -     | 18    |

## 整形外科

【人事】：令和5年4月、明珍が研修医から後期研修医として繰り上がり就職した。柴田が後期研修医として赴任した。西が中東遠総合病院より赴任した。R6年3月、柴田が退職した。

それ以外は、佐野倫生（手・末梢神経・骨軟部腫瘍）、澤田智一（肩・手・末梢神経）、宮城（骨軟部腫瘍、手外科）、杉山（股関節）、堀（膝）、小木（肩肘手外科）9名の体制である。

なお、令和5年7月より「肩・肘・手外科センター」を開設し、澤田が初代センター長に就いた。

【近況】：昨年1年間の手術件数は1,060件であった。（表1）

当院整形外科の年間手術件数が1,000件の大台に達したのは開院以来初の快挙である。7月に開設した肩肘手外

科センターが徐々に周知され、近隣の診療所からの紹介も増えてきている。当院の手術件数の内訳を見ると、一般総合病院ではあまり行っていない骨軟部腫瘍、上肢、末梢神経の特殊な手術が多く、若手医師からも魅力的に見えている。しかしながら、弱点としては人工関節手術、脊椎手術などの手術点数が高く病院経営に貢献できる手術が少ないことである。人工関節手術は、杉山、堀の努力が着実に手術件数に現れており、今後更に増えてゆくことが期待される

医師数 9

整形外科病床数 定床42床

（佐野倫生）

表1 整形外科手術件数

| 手術内容          | H31, R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5   |
|---------------|----------|-----|-----|-----|-------|
| 専門的手術         |          |     |     |     |       |
| 頰椎・胸椎         | 10       | 15  | 15  | 6   | 8     |
| 腰椎除圧          | 5        | 2   | 3   | 2   | 0     |
| 腰椎固定          | 8        | 3   | 5   | 5   | 2     |
| 脊髄腫瘍          | 0        | 0   | 1   | 1   | 0     |
| 脊椎その他         | 1        | 4   | 0   | 1   | 0     |
| THA           | 8        | 16  | 19  | 22  | 29    |
| TKA・UKA       | 3        | 12  | 25  | 21  | 17    |
| HTO           | 0        | 0   | 0   | 3   | 4     |
| ACL再建         | 1        | 3   | 1   | 1   | 3     |
| 膝関節鏡手術        | 14       | 28  | 15  | 7   | 23    |
| 膝その他          | 1        | 6   | 1   | 3   | 3     |
| 舟状骨骨折・偽関節     | 4        | 5   | 6   | 7   | 6     |
| 末梢神経          | 68       | 41  | 55  | 25  | 70    |
| 腱縫合・腱移行       | 27       | 24  | 16  | 21  | 15    |
| 手の外科(その他)     | 75       | 69  | 64  | 83  | 97    |
| 足の外科(骨折以外)    | 4        | 2   | 9   | 19  | 18    |
| 肩腱板・反復脱など     | 7        | 8   | 15  | 11  | 23    |
| 悪性腫瘍          | 7        | 11  | 7   | 8   | 13    |
| 良性腫瘍          | 85       | 82  | 100 | 93  | 121   |
| 生検            | 2        | 5   | 6   | 13  | 11    |
| 感染処置          | 17       | 16  | 15  | 34  | 14    |
| 切断            | 4        | 3   | 6   | 2   | 7     |
| 計             | 351      | 355 | 384 | 386 | 484   |
| 外傷            |          |     |     |     |       |
| 股関節周辺骨折       | 130      | 114 | 88  | 127 | 149   |
| 人工骨頭          | 62       | 79  | 71  | 81  | 71    |
| 下肢骨折(骨盤骨折を含む) | 85       | 79  | 65  | 80  | 72    |
| 上肢骨折          | 116      | 89  | 123 | 178 | 171   |
| 抜釘            | 97       | 84  | 66  | 90  | 94    |
| その他           | 13       | 38  | 30  | 5   | 19    |
| 計             | 503      | 483 | 443 | 561 | 576   |
| 手術件数          | 854      | 838 | 827 | 947 | 1,060 |
| 入院手術          | 750      | 742 | 735 | 759 | 914   |
| 外来手術          | 104      | 96  | 92  | 188 | 146   |

## 肩・肘・手外科センター

令和5年7月1日より「肩・肘・手外科センター」を開設した。整形外科は最近、細分化が著しく専門性の高い診療が要求されている。その中でも当センターでは肩から指先まで（上肢）を専門に診察治療にあたっている。センターを設立することで地域住民の皆様により専門性の高い医療を提供することを目的としている。

静岡市民「からだ」の学校での講演や静岡市病診連携総会で当センターの周知を行うことで、少しずつ近隣の

診療所からの紹介が増えている。以前より手外科領域の手術は多かったが、それに加え、肩関節（腱板修復や人工関節など）の手術が増加している。

当院は日本手外科学会、基幹研修施設の認定を受けており、日本手外科学会専門医2名、指導医1名が在籍しているため、若手医師の専門治療の指導も行っている。今後は若いスタッフの育成を図りながら、手術件数の増加を行っていきたい。

(澤田智一)

令和5年度 手術件数

|      |     |
|------|-----|
| 手    | 188 |
| 肩・肘  | 23  |
| 上肢骨折 | 171 |

## 脳神経外科

### 【人事】

9月末をもって森嶋亮医師が総合大雄会病院に転出され、後任として山田拓見医師が10月1日付けで豊橋医療センターより着任された。また6年3月末をもって清水陽平医師が高山赤十字病院に転出され、後任として4月1日付けで山本力義医師が岐阜県総合医療センターより着任された。

### 【入院動向】

Covid-19の5類移行に伴い、西8階病棟が一般病棟として再開された。3年ぶりに当科は主病棟に復帰した。入院総数は700名を超え、その6割は脳血管障害であった。5人の医師で700名強の患者に対応するのは少しhard work

であり、教室に対しての増員希望は今後も継続してお願いする所存である。

### 【手術動向】

入院患者数の増加と相まって、手術数も増加した。脳動脈瘤治療は前年より増加、血行再建術は安定した件数維持となっている。外視鏡への移行を図っているが、顕微鏡手術の技術向上も必須と考える。本年末に更新した本邦初号機であるPentero 800Sを次年度より活用し更なる手技の向上を図りたいと考えている。

### 【資格、その他】

米澤慎悟医師がPET認定医を、森嶋亮医師が脳神経外科専門医を取得された。

(深澤誠司)

表1 入院症例数

|              | R3         | R4         | R5         |
|--------------|------------|------------|------------|
| <b>脳腫瘍</b>   | <b>35</b>  | <b>33</b>  | <b>27</b>  |
| 原発性脳腫瘍       | 32         | 28         | 24         |
| 転移性脳腫瘍       | 3          | 5          | 3          |
| <b>脳血管障害</b> | <b>426</b> | <b>457</b> | <b>488</b> |
| 脳動脈瘤         | 53         | 43         | 68         |
| 脳血管奇形        | 2          | 1          | 2          |
| 脳内出血         | 89         | 104        | 119        |
| 脳虚血性疾患       | 242        | 285        | 270        |
| その他の脳血管障害    | 40         | 24         | 31         |
| <b>外傷性疾患</b> | <b>124</b> | <b>147</b> | <b>193</b> |
| 脳挫傷          | 28         | 30         | 45         |
| 硬膜外血腫        | 2          | 7          | 1          |
| 急性硬膜下血腫      | 25         | 36         | 42         |
| 頭部外傷I～II型    | 10         | 4          | 4          |
| 慢性硬膜下血腫      | 57         | 70         | 99         |
| その他の外傷性疾患    | 2          | 0          | 2          |
| <b>その他</b>   | <b>54</b>  | <b>54</b>  | <b>76</b>  |
| 炎症性疾患        | 5          | 5          | 10         |
| 水頭症・先天奇形     | 10         | 24         | 23         |
| エPILEプシー     | 25         | 19         | 29         |
| 末梢神経障害       | 8          | 0          | 9          |
| その他          | 4          | 6          | 5          |
| <b>合計</b>    | <b>639</b> | <b>691</b> | <b>784</b> |

表2 手術件数

|              | R3         | R4         | R5         |
|--------------|------------|------------|------------|
| <b>開頭術</b>   | <b>70</b>  | <b>62</b>  | <b>83</b>  |
| 脳腫瘍          | 23         | 26         | 23         |
| 脳動脈瘤         | 8          | 3          | 14         |
| 脳動静脈奇形       | 2          | 0          | 0          |
| 脳内出血         | 3          | 6          | 7          |
| 外傷性頭蓋内血腫     | 7          | 10         | 7          |
| 微小血管減荷術      | 7          | 0          | 5          |
| 頭蓋形成術        | 8          | 8          | 11         |
| 頭蓋外-内血管吻合術   | 2          | 2          | 3          |
| その他の開頭術      | 10         | 7          | 13         |
| <b>穿頭術</b>   | <b>129</b> | <b>138</b> | <b>181</b> |
| シャント術        | 21         | 23         | 31         |
| 脳室ドレナージ      | 27         | 16         | 23         |
| 脳膿瘍ドレナージ     | 0          | 4          | 3          |
| 慢性硬膜下血腫      | 74         | 91         | 121        |
| 脳内血腫穿頭術      | 7          | 4          | 3          |
| その他の穿頭術      | 0          | 0          | 0          |
| <b>血管内手術</b> | <b>63</b>  | <b>69</b>  | <b>74</b>  |
| 頸動脈ステント留置術   | 6          | 16         | 12         |
| 脳動脈瘤塞栓術      | 27         | 23         | 34         |
| 血栓回収療法       | 15         | 27         | 21         |
| その他の血管内手術    | 15         | 3          | 7          |
| <b>その他</b>   | <b>18</b>  | <b>25</b>  | <b>27</b>  |
| 経蝶形骨下垂体手術    | 1          | 1          | 0          |
| 頸動脈血栓内膜剥離術   | 9          | 15         | 14         |
| その他          | 8          | 9          | 13         |
| <b>合計</b>    | <b>280</b> | <b>294</b> | <b>365</b> |

## 呼吸器外科

令和5年度の延べ入院患者数は304人、手術件数は141例、うち原発性肺癌は66例で、令和4年度と比較して1割程度減少した。全例の平均在院日数は12日であった。

近年は画像診断技術の進歩により高解像度のComputed Tomography (CT) が簡便に撮影されるようになり、これに伴って早期の肺癌が診断される機会が増加している。日本肺癌学会の肺癌診療ガイドライン2022年版では、早期の肺癌で一定の条件を満たすものに対しては、従来の手術よりも肺切除量を減らした手術（縮小手術）が推奨されている。当科ではこれを実現するための技術としてRadiofrequency Identification (RFID) を応用した新たなマーキングシステムを令和5年度に導入した。これにより縮小手術が望ましいとされる肺癌を、より低侵襲かつより正確に治療ができるようになった。この技術は京都大学呼吸器外科で開発されたもので、その関連病院を中心に全国へ普及しつつあるが、東海地方では当院が他院

に先駆けての導入となった。

進行期の肺癌に対しては、手術後の再発を防ぐ目的で術後の補助療法として全身化学療法（抗がん剤治療）を行うことが前述の診療ガイドラインで推奨されており、当科では術後の補助療法も積極的に行っている。令和5年度の全身化学療法目的の入院患者数は延べ76人であった。

当科の手術の大半は、3つの小さな皮膚切開のポートを利用して内視鏡下に行う完全胸腔鏡手術（Video-assisted Thoracoscopic Surgery, VATS）で行った。これに加え、さらなる低侵襲手術を行う目的で令和5年度からロボット支援胸腔鏡手術（da Vinci<sup>®</sup>）を開始した。肺癌の手術はそのほとんどがロボット支援胸腔鏡手術の適応であり、令和6年度からは肺癌に加えて縦隔腫瘍に対してもロボット支援胸腔鏡手術の保険診療を開始する予定である。

常勤医は2名で、不定期に京都大学呼吸器外科から応援医師を招聘した。

(玉里滋幸)

### 手術件数（術式別）－過去3年間の比較

| 疾患      | 術式           | R3     | R4     | R5     | 疾患        | 術式             | R3   | R4   | R5   |
|---------|--------------|--------|--------|--------|-----------|----------------|------|------|------|
| 肺癌      | 肺摘除          |        | 2      |        | 胸壁腫瘍      | 切除             | 3(3) | 3(3) | 1    |
|         | 肺葉切除         | 61(56) | 71(64) | 40(31) | 胸部外傷      | 肺切除            | 1(1) |      |      |
|         | 肺部分切除        | 4(4)   | 10(6)  | 18(18) |           | 血腫除去           |      | 6(6) | 4(2) |
|         | 肺区域切除        | 1(1)   | 5(3)   | 8(8)   | 手掌多汗症     | 交感神経切除         | 3(3) | 6(6) | 1(1) |
|         | 試験開胸         |        | 1(1)   |        | びまん性肺疾患   | 開胸・VATS肺生検     | 1(1) | 2(2) |      |
| 転移性肺腫瘍  | 肺葉切除         | 2(1)   | 3(1)   | 1(1)   | 胸膜腫瘍      | 胸膜生検           | 1(1) |      |      |
|         | 肺部分切除        | 12(12) | 12(12) | 5(5)   | 癌性胸膜炎     | 胸膜生検           |      |      | 1(1) |
| 肺良性腫瘍   | 肺区域切除        | 4(4)   | 2(2)   | 2(1)   | 肺がんその他の腫瘍 | 腫瘍、リンパ節生検、審査開胸 | 5(4) | 2(2) |      |
|         | 肺葉切除         | 2(2)   | 2(2)   |        |           | 縦隔リンパ節生検       | 2(2) |      | 3(3) |
|         | 肺部分切除        | 6(6)   | 6(6)   | 8(8)   |           | 切除             | 2(1) | 1(1) |      |
| 肺炎症性疾患  | 肺区域切除        |        | 1(1)   |        | 肺痿・気管支瘻   |                |      | 1    |      |
|         | 肺葉切除         |        | 1(0)   |        | 血胸        |                | 1(1) | 2(1) | 2(1) |
| 肺先天性疾患  | 肺部分切除        |        | 1(1)   |        | 胸郭変形      | 胸骨挙上法          | 1    |      |      |
|         | 肺部分切除        | 1(1)   | 1(1)   |        |           | バー撤去術          |      |      | 1    |
| 胸腺腫・胸腺癌 | 切除           | 1      | 4(1)   |        | 肺動静脈瘻     | 腫瘍核出術          |      |      | 1    |
| 縦隔良性腫瘍  | 摘除           | 5(5)   | 1      | 5(5)   | シェーグレン症候群 | 部分切除           |      |      | 1(1) |
| 肺嚢胞性疾患  | 肺葉切除         |        | 1(1)   |        | その他       | 血腫除去           |      | 1(1) |      |
|         | 肺部分切除        | 1(1)   | 1(1)   | 2(2)   |           | 気管切開           |      | 1    |      |
| 気胸      | 肺部分切除        | 12(12) | 35(35) | 26(26) |           | 肋骨切除           |      |      | 1    |
|         | 肺縫縮術         | 1(1)   | 1(1)   |        |           | 肋軟骨切除          |      | 1    |      |
| 肺気腫     | 試験開胸         |        | 2(2)   | 1(1)   |           | 深頸部膿瘍          |      | 2(2) |      |
|         | 気腫肺減量(LVRS)  |        | 2(2)   | 2(2)   |           | 横隔膜損傷/試験開胸     |      | 1(1) |      |
| 膿胸      | 郭清           | 2(2)   | 7(7)   | 5(5)   |           |                |      |      |      |
|         | 開窓           |        | 2      | 1      |           |                |      |      |      |
|         | 郭成形術、有茎筋弁充填術 |        |        | 1      |           |                |      |      |      |

( ) : 胸腔鏡補助下手術 \* : 同一例

## 皮膚科

皮膚科では、常勤医師2名と非常勤医師2名の診療体制で、午前は外来診療、午後は病棟業務、手術や処置、検査を行っています。

アトピー性皮膚炎や乾癬などの炎症性皮膚疾患、蕁麻疹、水疱症や膠原病などの自己免疫疾患、皮膚感染症、皮膚腫瘍、代謝性皮膚疾患など多岐にわたる皮膚疾患を診療し、重症皮膚疾患に対しては入院治療を行っています。

また、現在は未定ですが医療発展のため臨床試験に関しても検討しています。

### ・乾癬について

近年になりTNF- $\alpha$ 、IL-23、IL-17を標的とする生物学的製剤が開発されています。その効果は非常に高く、他の治療で効果不十分だった場合でも皮膚症状が全くなく

なることを治療目標にすることができる時代になりました。また、効果は生物学的製剤に劣りますが、新規の内服治療も導入され、有効性だけでなく利便性や安全性を重視するなど患者さんごとに最適化した治療を提案することが重要です。

乾癬には合併症が多いことも特徴です。いわゆる生活習慣病の糖尿病、肥満、高血圧、高脂血症の他、非アルコール性脂肪肝が挙げられます。脳卒中や心筋梗塞が多いこともわかっており、乾癬の治療と同時に生活習慣の改善に努める必要があります。

病院で生物学的製剤を導入し、クリニックで維持投与を行っていただく治療連携を推進し、より患者さんのニーズに合わせた医療を提供できるよう体制を整えております。

(森木 睦)

### 入院患者内訳

|             | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 細菌性皮膚疾患     | 41  | 19  | 23  | 41  | 41  |
| ヘルペスウイルス感染症 | 0   | 6   | 4   | 3   | 5   |
| 皮膚潰瘍        | 5   | 8   | 5   | 1   | 2   |
| 湿疹・皮膚炎群     | 4   | 1   | 10  | 4   | 7   |
| 薬疹・中毒疹      | 1   | 3   | 6   | 4   | 4   |
| 皮膚腫瘍・母斑     | 4   | 0   | 1   | 0   | 3   |
| 熱傷          | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| その他         | 37  | 26  | 10  | 10  | 8   |
| 合計          | 92  | 63  | 59  | 63  | 70  |

### 手術件数

|              | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 皮膚良性腫瘍       | 52  | 50  | 31  | 54  | 53  |
| 皮膚悪性腫瘍(以下内訳) | 7   | 9   | 6   | 19  | 28  |
| 悪性黒色腫        | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   |
| 基底細胞癌        | 3   | 5   | 4   | 12  | 17  |
| 有棘細胞癌        | 3   | 2   | 0   | 3   | 3   |
| ボーエン病        | 0   | 2   | 2   | 4   | 6   |
| 乳房外パジェット病    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 転移癌          | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| その他          | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   |

## 形成外科

常勤医3名体制で診療を行っている。

令和5年9月に北條医師が退職し、同10月からは山本医師が赴任した。

当科は「失われた機能性と整容性を取り戻す治療」を行っている。治療内容により他科と連携して手術、治療を行っていることも多い。

「腫瘍外科」として、皮膚良性・悪性腫瘍、軟部腫瘍の摘出手術および二次的な再建手術を行っている。

「創傷外科」として、顔面外傷（顔面皮膚軟部組織外傷、顔面骨骨折）、熱傷、四肢外傷をはじめとする急性創傷および糖尿病性足壊疽に代表する慢性創傷に適切な創傷治療を行っている。救急外来で処置を受けた創と傷跡のフォローアップを担っている。難治性潰瘍は虚血や神経障害により増悪した感染や壊死により治療が難渋することが多く、血行再建を循環器内科、心臓血管外科に行っていたがながら多角戦略的創傷治療をチームで行っている。特定行為研修を終えた看護師が処置、回診に参加し、より手厚い創傷管理を行うことができています。褥瘡対策チームにも参画している。

「再建外科」としては、乳癌術後の患者さんの乳房再建（インプラント再建、自家組織再建）を行っている。口腔外科で切除される舌がんの再建手術協力を行っている。

「小児外科」として先天遺相の症例は少なめではあるが、一般的な症例には対応可能である。

「美容外科」として整容を取り戻すニーズに合わせた技術を提供していきたい。

そのほか、眼瞼下垂・腋臭症・陥入爪・リンパ浮腫などの変性疾患に対する治療は器質的問題の解決にとどまらず、精神的負担を軽減することで患者さんのQOL向上に寄与する。

瘢痕醜状や瘢痕拘縮に対しては、「きずあとセンター」をあらたに設立した。多くの患者さんが経験したことあるであろうきずあと全般の悩み、トラブルに対し整容的かつ機能的に治療を進めていく。

当科が抱える問題として、外来診察室が一部屋しかなく十分な広さが確保できていないだけでなく、処置室がない。患者さんの需要にハード面では対応できておらず、診察待ち時間、手術待機を患者さんに大きな負担を強いっている現状、さらには処置を行うスペースがないために緊急な対応が困難となる状況が続いており院内の早急な対応を引き続き切にお願いしている。時間的分散を図り、外来手術日である火曜日にも初診を受けつけ、臨機応変な対応をさせていただいている。

(金 大志)

### 2023年「年間の麻酔別及び疾患大分類別手術手技数」

2023年1月1日～2023年12月31日

|       |     |
|-------|-----|
| 新患者数  | 315 |
| 入院患者数 | 174 |

|                             | 入院  | 外来  | 計   |
|-----------------------------|-----|-----|-----|
| 全身麻酔での手技数                   | 127 | —   | 127 |
| 腰麻・伝達麻酔での手技数                | 66  | 1   | 67  |
| 局所麻酔・その他での手技数               | 163 | 633 | 796 |
| 入院または全身麻酔の手技数計：356          |     |     |     |
| 外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他の手技数計：634 |     |     |     |
| 合計係数：673                    |     |     |     |

※件数の条件

- ・入院手術または全身麻酔手術の手技数の合計が認定施設150以上、教育関連施設80以上であること
- ・「入院手術または全身麻酔手術1例を係数1.0」、「外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他1例を係数0.5」とした場合の合計係数が認定施設 200以上、教育関連施設 130以上であること

| 疾患大分類手技数     | 入院   |         |          | 外来   |         |          | 計   |
|--------------|------|---------|----------|------|---------|----------|-----|
|              | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 |     |
| 外傷           | 26   | 10      | 12       | —    | —       | 180      | 228 |
| 先天異常         | 3    | —       | —        | —    | —       | 1        | 4   |
| 腫瘍           | 64   | 3       | 54       | —    | —       | 359      | 480 |
| 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド | 8    | —       | 3        | —    | —       | 9        | 20  |
| 難治性潰瘍        | 20   | 25      | 50       | —    | —       | 21       | 116 |
| 炎症・変性疾患      | 6    | 28      | 19       | —    | 1       | 22       | 76  |
| 美容(手術)       | —    | —       | —        | —    | —       | —        | —   |
| その他          | —    | —       | 25       | —    | —       | —        | 25  |
| Extra レーザー治療 | —    | —       | —        | —    | —       | 41       | 41  |
| 合計           | 127  | 66      | 163      | 0    | 1       | 633      | 990 |



## 泌尿器科

野口哲哉（平成2年卒、指導医）、八木橋祐亮（平成11年卒、指導医）、藤原裕士（平成27年卒、専門医）、伊藤誠哲（令和2年卒）、野澤将斗（令和2年卒）が留任。4月より高島靖（平成24年卒）が着任し、藤川祥平（平成23年卒、指導医）が市内で開業するため退職した。常勤医6名体制にて、月木金に3診、火水に2診の外来診療と、火水木金にそれぞれ1列ずつの手術を行っている。悪性腫瘍、尿路結石症、排尿障害（前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱、尿道狭窄症など）、尿路感染症、女性泌尿器科疾患など多岐に渡る診療分野に対して、それぞれに精通した医師を中心に、週5回のカンファレンスを行って治療方針を統一し、どの医師でも一貫した方針で治療を提供している。医師から患者・家族へ十分な情報提供を行ったうえで、患者・家族の希望を尊重し、治療方針と一緒に考えるように心掛けている（“Shared decision making”）

当科では、従来からの技術の向上に努めるのと並行して、医療の質を高める新規技術を積極的に導入している。本年度では、令和4年5月より経皮経尿道併用結石破碎術（ECIRS）、令和5年3月よりMRI融合前立腺針生検を新規に導入した。

経皮経尿道併用結石破碎術（ECIRS）は、サイズの大きな腎結石に対し、経尿道的手術（TUL）と経皮的手術（腎瘻経由PNL）を同時並行で行う術式であり、年度内に11例を行った。手術時間が短縮、結石完全除去率が改善し、術中腎盂内圧上昇に伴う周術期有熱性尿路感染症の合併症が減少した。

MRI融合前立腺針生検は、あらかじめ撮影していたMRI画像を生検中のエコー画面に投影し、標的病変位置への穿刺をガイドする生検方法である。MRIで癌疑い病変が描出されてさえいれば正診率が極めて高いため、1回の生検で診断がほぼ確定でき、迅速に治療を開始できる利点がある。2022年に保険収載されていたが、静岡県内で

の導入は当院が初めてである。

10月より、当院の手術支援ロボットがdaVinci SiからdaVinci Xiに更新された。当院の常勤医6名全員がSiのcertificateを元々所有してロボット支援手術を執刀しており、全員速やかにXiのcertificateも取得して移行した。近年、他診療分野と同様に当科でもロボット支援下手術の保険適用術式が続々と認可されており、従来から行っている前立腺癌に対する根治的前立腺全摘（RALP）、小径腎癌に対する腎部分切除（RAPN）、浸潤性膀胱癌に対する根治的膀胱全摘（RARC）、腎盂尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成術（RAPP）に加え、腎癌に対する根治的腎摘（RARN）、腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘（RANU）なども保険収載された。新規に収載されたRARN、RANUは当院でも技術的には全く問題なく導入可能ではあるが、コストやロボット手術卒などを考慮し、難易度が高い少数の症例以外はロボットではなく腹腔鏡手術で行う方針としている。

手術室での年間の手術件数512件、局所麻酔下での外来手術335件、総手術件数847件といずれも前年より増加した。従来当科に割り振られていた週3日の手術枠に入りきらなくなったため、年度途中から週4枠に増枠していただいた。

当院でロボット支援下手術を行う診療科が増え、泌尿器科、消化器外科、婦人科に次いで呼吸器外科でのロボット支援下手術が導入されたのを機に、ロボット専用手術室および手術支援ロボットの効率的な運用、情報共有、安全確保などを目的としたロボット手術運営部会が手術業務委員会の下部組織として発足し、当科主任科長野口が部会長に就任した。八木橋科長は昨年度に引き続き日本泌尿器科学会にて泌尿器専門領域委員会委員（外傷・救急医療部門副部会長）を務めており、泌尿器外傷診療ガイドライン、尿道狭窄症診療ガイドラインの作成にも携わっている。

（野口哲哉）

年度別手術件数

| 術式                                  | R 3  | R 4  | R 5  |
|-------------------------------------|------|------|------|
|                                     | 2021 | 2022 | 2023 |
| 〈手術室〉                               |      |      |      |
| 副腎摘除術(鏡視下)                          | 8    | 8    | 8    |
| 腎部分切除術(開腹)                          | 0    | 0    | 0    |
| 腎部分切除(ロボット支援)                       | 7    | 21   | 11   |
| 根治的腎摘除術(開腹)                         | 0    | 1    | 0    |
| 根治的腎摘除術(鏡視下)                        | 8    | 15   | 12   |
| 単純腎摘除術(鏡視下)                         | 3    | 1    | 2    |
| 腎尿管全摘膀胱部分切除術(開腹)                    | 0    | 0    | 0    |
| 腎尿管全摘膀胱部分切除術(鏡視下)                   | 12   | 15   | 19   |
| 腎尿管全摘膀胱部分切除術(ロボット支援)                |      |      | 1    |
| 腎盂形成術(鏡視下またはロボット支援)                 | 4    | 3    | 2    |
| 経皮経尿道の同時尿路結石手術(ECIRS)               |      |      | 11   |
| 経皮的腎・尿管碎石術(PNL)                     | 6    | 11   | 4    |
| 経皮的腎瘻造設術                            | 4    | 2    | 0    |
| 経尿道の尿管碎石術(TUL)                      | 47   | 36   | 58   |
| 膀胱脱メッシュ修復術(TVM)                     | 3    | 2    | 1    |
| 膀胱全摘除術(開腹、回腸導管)                     | 0    | 0    | 0    |
| 膀胱全摘除術(開腹、尿管皮膚瘻)                    | 0    | 0    | 0    |
| 膀胱全摘除術(鏡視下)                         | 0    | 0    | 0    |
| 膀胱全摘除術(ロボット支援、回腸導管)                 | 9    | 11   | 8    |
| 膀胱全摘除術(ロボット支援、代用膀胱)                 | 0    | 0    | 1    |
| 膀胱全摘除術(ロボット支援、尿管皮膚瘻)                | 5    | 2    | 1    |
| 経尿道の膀胱腫瘍切除術                         | 108  | 106  | 115  |
| 経尿道の膀胱結石摘除術                         | 19   | 14   | 19   |
| 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎)<br>※ハンナ型間質性膀胱炎手術を含む | 5    | 2    | 6    |
| ボツリヌス毒素膀胱壁内注入(過活動膀胱)                | 4    | 0    | 1    |

| 術式                    | R 3  | R 4  | R 5  |
|-----------------------|------|------|------|
|                       | 2021 | 2022 | 2023 |
| 経尿道の前立腺手術(TURP、TUEB)  | 34   | 20   | 9    |
| 経尿道のツリウムレーザー前立腺蒸散術    |      | 25   | 50   |
| 前立腺全摘除術(開腹)           | 0    | 0    | 0    |
| 前立腺全摘除術(ロボット支援)       | 43   | 43   | 32   |
| 前立腺針生検(MRI融合以外、手術室)   | 20   | 15   | 11   |
| 前立腺針生検(MRI融合)         |      |      | 6    |
| 尿道狭窄切開術               | 8    | 8    | 2    |
| 尿道形成術                 | 2    | 4    | 2    |
| 尿失禁手術(TVT、TOT)        | 0    | 2    | 1    |
| 精巣摘出術(ホルモン療法、良性腫瘍、外傷) | 2    | 10   | 8    |
| 高位精巣摘除術(悪性腫瘍)         | 2    | 5    | 2    |
| 精索静脈瘤高位結紮術(鏡視下)       | 0    | 2    | 0    |
| 精索静脈瘤低位結紮術(顕微鏡下)      | 2    | 2    | 4    |
| 精巣捻転手術                | 0    | 2    | 2    |
| 陰嚢水腫                  | 2    | 5    | 11   |
| 陰茎切断・切除(陰茎癌)          | 0    | 0    | 1    |
| 外尿道腫瘍                 | 0    | 0    | 0    |
| 経尿道のステント留置            | 15   | 18   | 17   |
| その他                   | 48   | 50   | 74   |
| 合計                    | 430  | 461  | 512  |
| 〈外来手術〉                |      |      |      |
| 体外衝撃波破碎術(ESWL)        | 8    | 13   | 28   |
| 経皮的腎瘻造設術              | 10   | 9    | 16   |
| 経尿道の尿管ステント留置術         | 148  | 120  | 167  |
| 前立腺針生検(外来)            | 143  | 148  | 124  |
| 合計                    | 309  | 290  | 335  |
| 総計                    | 739  | 751  | 847  |

ロボット支援下手術件数(通算)

| 疾患名       | 手術術式 | 導入   | 症例数 |
|-----------|------|------|-----|
| 前立腺癌      | RALP | 2013 | 518 |
| 腎癌        | RAPN | 2017 | 96  |
| 膀胱癌       | RARC | 2019 | 54  |
| 腎盂尿管移行部狭窄 | RAPP | 2022 | 4   |
| 腎癌        | RARN | 2022 | 1   |
| 腎盂尿管癌     | RANU | 2023 | 1   |
| 計         |      |      | 674 |

(2013年7月～2024年3月)

## 産婦人科

令和5年度に特記すべきこととしては、非侵襲的出生前遺伝学的検査 (NIPT) を開始したことである。出生前診断の中でもNIPT検査は採血という簡便な方法であるが故に、今までしぼりが厳しく、全国でも十数か所ではしか検査ができない時期が続いていた。しかし羊水染色体検査のようにお腹に針を刺すこともなく、手軽に採血で結果が得られるため、産婦人科でもない美容外科などの無認可施設で検査の意味・限界を説明することもなく、カウンセリングのまったくない状態で行われていることが多く、問題となっていた。この倫理的な無法状態を解消すべく、認可基準の幅を広げる動きがあり、当院も総合病院としてこの基準を満たすよう研修・認定を受け、10月より検査を開始した。現在、カウンセリングは堀越医師と米澤医師が担当し、さらに詳しい遺伝カウンセリングが必要な場合は、浜松医大の臨床遺伝専門医と連携をとっており、webで3者面談を行うことができるような体制をとっている。当院で分娩せず、検査だけの妊婦さんも受け付けており、希望者は増加している。

一方、婦人科では、ロボット手術や腹腔鏡などの鏡視下手術は水野を中心に行っているが、2年前から始めた

ロボット手術は軌道に乗ってきており、良性疾患のロボット手術数は静岡県内では浜松医大、聖隷浜松病院に次いで3番目の症例数をこなすまでになった。骨盤臓器脱に対する仙骨腔固定術は周辺の病院で行っているところが少ないため、ご紹介いただく数も増えている。腹腔鏡およびロボット手術とも、若い医師にも執刀してもらうよう、教育体制も整えつつある。

当院は市内中心部にある病院で敷地面積に限りがあるため、どの階も各部屋を広くとることができないのが苦しいところではあるが、その中でも工夫しながらスペースを改修・利用するようにしている。産科部門では今年度、陣痛室のリニューアルを行った。今までは昔ながらのベッド間をカーテンでしきるだけの空間だったが、プライベートに配慮し、妊婦さんが安心して分娩に臨めるよう、個室に改修した。落ち着いた照明でリラックスできる色調の部屋になり、妊婦さんやスタッフからも好評である。同時に分娩室も改修し、明るい空間となった。

令和5年度静岡県母体保護法指定医師研修会の学術集会長を水野が務めた。なお大学医局の人事異動に伴い、4月1日に加藤貴史医師が赴任した。

(水野薫子)

表1 分娩統計

|         | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 総分娩数    | 214 | 153 | 156 | 137 | 129 |
| 多胎      | 3   | 2   | 2   | 1   | 1   |
| 帝王切開分娩  | 49  | 34  | 45  | 28  | 28  |
| 鉗子・吸引分娩 | 11  | 6   | 7   | 6   | 5   |
| 低出生体重児  | 31  | 21  | 20  | 23  | 10  |

(各年とも1-12月の合計)

表3 救急搬送受け入れ

|         | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|---------|----|----|----|----|----|
| 産科母体搬送  | 13 | 14 | 17 | 15 | 14 |
| 婦人科救急搬送 | 16 | 11 | 22 | 18 | 15 |

(各年とも1-12月の合計)

表2 手術統計

|                  | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  |
|------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 悪性腫瘍手術           | 23  | 30  | 25  | 23  | 27  |
| リンパ節郭清を含む悪性腫瘍手術  | 13  | 15  | 16  | 15  | 16  |
| 子宮全摘術+付属器切除術     | 10  | 15  | 9   | 8   | 11  |
| 良性開腹手術           | 65  | 42  | 31  | 26  | 19  |
| 子宮全摘術            | 42  | 31  | 22  | 23  | 9   |
| 筋腫核出術            | 9   | 3   | 0   | 0   | 2   |
| 卵巣腫瘍手術           | 12  | 6   | 6   | 3   | 2   |
| その他              | 2   | 2   | 3   | 0   | 6   |
| 腹腔鏡下手術           | 24  | 37  | 38  | 33  | 38  |
| 子宮全摘術            | 9   | 15  | 26  | 4   | 7   |
| 筋腫核出術            | 1   | 1   | 0   | 2   | 4   |
| 卵巣腫瘍手術           | 12  | 19  | 10  | 24  | 25  |
| 子宮外妊娠手術          | 2   | 2   | 2   | 2   | 1   |
| その他              | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   |
| ロボット下手術          |     |     | 2   | 39  | 38  |
| 子宮全摘術            |     |     | 2   | 34  | 24  |
| 仙骨腔固定術           |     |     | 0   | 5   | 14  |
| 腔式手術             | 39  | 37  | 44  | 34  | 46  |
| 子宮脱手術(腔式子宮全摘を含む) | 15  | 19  | 19  | 18  | 18  |
| 円錐切除             | 17  | 16  | 19  | 13  | 17  |
| 頸管縫縮術            | 2   | 1   | 3   | 0   | 0   |
| その他              | 5   | 1   | 3   | 3   | 11  |
| 帝王切開術            | 49  | 34  | 45  | 28  | 28  |
| 合計               | 200 | 180 | 185 | 183 | 196 |

(各年とも1-12月の合計)

## 眼科

【人事】櫻井美晴医師と李相沅医師は移動なし。清水佳陽医師は令和5年3月退職した。眼科専門医2人体制となり、令和5年から月曜日に手術支援のため渡部大介医師が非常勤として勤務することになった。視能訓練士は去年のように常勤2名、非常勤2名の4人体制を維持した。

【研修医】初期研修医1名が1か月間眼科研修を受けた。当院にて後期研修で眼科を志望する医師はいなかった。

【外来】手術日（月、水曜日）は2診で（初診及び初回患者のみ）診療を行った。非手術日（火、木、金曜日）は1診、2診で全日診療（午前・午後）を行った。非手術日の外来患者さんの診療待機時間が長くなるのが慢性的な問題になっている。

【カンファレンス】眼科カンファレンスを毎週金曜日行った。外来症例、手術症例の治療方針検討や連絡事項の伝達を行った。

【機器】手術室では白内障手術のため Centurion と Active sentry handpiece を具備した。昨年度に導入した IOL Master 700 と CALLISTO Eye のため、トーリック眼内レンズの使用例が増加した。今後も角膜乱視を矯正する症例が増加すると期待される。患者さんにより良質の術後視力を提供することができるので患者満足度の向上にもつながると考えられる。

【手術】観血的手術症例数は前年に比べて減少した。勤務医の退職、移動などが原因と考えられた。コロナ禍以後、白内障手術は入院手術を減らし主に通院手術を行っているので入院患者も少なくなった。本年度はオープンシステムを利用した登録医師による手術はなかった。非観血手術症例数（レーザー手術症例数）は前年度に比べて変わりなかった。

（李 相沅）

| 主な手術         | R3  | R4  | R5  |
|--------------|-----|-----|-----|
| 白内障手術        | 301 | 282 | 128 |
| 緑内障手術        | 4   | 0   | 0   |
| 網膜剥離手術       | 3   | 0   | 0   |
| 硝子体手術        | 7   | 3   | 0   |
| 涙道手術         | 0   | 0   | 0   |
| その他          | 4   | 9   | 11  |
| 観血的手術合計      | 320 | 294 | 139 |
| 網膜光凝固術       | 54  | 38  | 44  |
| YAGレーザー後嚢切開術 | 20  | 22  | 10  |
| 非観血的手術合計     | 74  | 60  | 54  |

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2024年3月までは池上聰（平成元年卒）、山本浩孝（平成27年卒）、山下燎亮（平成31年卒）の耳鼻咽喉科専門医2人、常勤3人に加え京都大学より手術日に応援医師をお願いして3.5人体制で診察にあたっていました。山下医師が転勤となり現在は服部矩繁（平成30年卒）が常勤として加わっています。科長の池上が専門である甲状腺・頭頸部腫瘍や音声の専門外来に加え、県内では当院だけとなるメニエル病に対する中耳加圧療法も不定期ながら施行中です。また2020/4月から診療報酬改正により嚥下支援加算が取れるようになったことを受けて、2019年嚥下Nsの資格を取った鈴木看護士と2020/4月に日本嚥下医学会認定嚥下相談医の資格を取得した池上に脳外科、呼吸器内科のDrや、NSTチームの看護師、ST、OT、薬剤師、栄養士といった多職種で構成された摂食・嚥下支援チームが2020/5月から活動を開始、全入院患者に対して嚥下スクリーニングを実施し、毎週カンファレンスを行って経口摂取可能な患者の嚥下支援を行っている。また静岡市内で音声専門外来を設けている唯一の病院として他院から多数の音声障害患者をご紹介頂いており、STと共に保存的音声治療と手術療法を組み合わせ治療にあたっています。科名が耳鼻咽喉科・頭頸部外科となっているのは頭頸部疾患の多くが手術治療を必要とするためであり、2023年度に行った手術の内訳は別表のとおりで科長が頭頸部外科、喉頭、嚥下を専門にしているため

耳の疾患は少ないものの、頭頸部悪性腫瘍症例は多く、機能温存を最大限図りつつ根治を行う方針で治療を行っています。例として消化器内科と合同で行う経口腔的切除や導入化学療法と化学放射線療法を組み合わせ積極的に喉頭温存を図る治療があげられます。当科で進行頭頸部SCCに対して行っていたTPF変法のTCS法は導入化学療法として90%近い奏効率を示し、その後のCDDP併用放射線療法の完遂率もほぼ100%の治療となっていますが骨髄抑制が強い傾向が認められました。そのため現在は導入化学療法を骨髄抑制や悪心嘔吐、腎機能障害、内耳機能障害の少ないPCE療法に変更しています。またPCE療法のレジメも当院に多い高齢者に対しても骨髄抑制がより少ないように用量調節を行いより安全に行えるようになっております。頭頸部癌にいち早く承認になったオプジーボ、キイトルーダの免疫チェックポイント阻害薬も積極的に使用しており化学療法を含めた治療戦略は様々なものがありますが、週1回放射線治療科や口腔外科とのがん治療カンファレンスなどで各患者に最適な治療法を相談し治療にあたっています。また入院期間の短縮も医療サービス向上のため重要と考えており、入院治療計画書（パス）の積極的な使用をほぼ100%達成し安全、安心な治療を」受けていただけるように心がけています。

（池上 聰）

## 2023年 手術件数

| 手術名              | 件数  |
|------------------|-----|
| <b>耳科手術</b> 計    | 5   |
| 鼓膜チューブ挿入術(外来除く)  | 3   |
| 顔面神経減荷術          | 1   |
| 先天性耳瘻管摘出術        | 1   |
| <b>鼻科手術</b> 計    | 65  |
| 内視鏡下鼻・副鼻腔手術      | 28  |
| 鼻中隔矯正術           | 9   |
| 鼻甲介切除術           | 18  |
| 後鼻神経切断術          | 6   |
| 鼻骨整復術            | 4   |
| <b>口腔咽喉頭手術</b> 計 | 73  |
| 扁桃摘出術            | 39  |
| 口蓋垂・軟口蓋形成術       | 1   |
| 舌・口腔底良性腫瘍摘出術     | 2   |
| 咽頭良性腫瘍摘出術        | 2   |
| 咽頭悪性腫瘍摘出術        | 5   |
| 喉頭微細手術           | 14  |
| 喉頭形成術            | 4   |
| その他の口腔・咽頭の手術     | 6   |
| <b>頭頸部手術</b> 計   | 95  |
| 頸部郭清術            | 6   |
| 顎下腺良性腫瘍摘出術       | 1   |
| 耳下腺良性腫瘍摘出術       | 7   |
| 耳下腺悪性腫瘍摘出術       | 5   |
| 甲状腺良性腫瘍摘出術       | 9   |
| バセドウ病手術          | 8   |
| 甲状腺悪性腫瘍摘出術       | 16  |
| 鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術     | 5   |
| 鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術     | 4   |
| 喉頭悪性腫瘍摘出術        | 1   |
| リンパ節生検           | 19  |
| その他の唾液腺・頭頸部手術    | 14  |
| <b>その他</b>       | 26  |
| 異物摘出術(外耳・鼻腔・咽頭)  | 4   |
| 気管切開術            | 22  |
| 計                | 264 |

## 新規頭頸部癌 治療症例

| 年度    | 癌症例数 |
|-------|------|
| 2023年 | 53人  |

## 嚥下カンファ

| 年度    | 延べ症例数 |
|-------|-------|
| 2019年 | 223名  |
| 2020年 | 307名  |
| 2021年 | 293名  |
| 2022年 | 372名  |
| 2023年 | 317名  |

## 音声カンファ

| 年度                                 | 延べ症例 | 新規症例 |
|------------------------------------|------|------|
| 2023年度<br>(2023. 4. 1~2024. 3. 31) | 150  | 38   |
| 2022年度<br>(2022. 4. 1~2023. 3. 31) | 117  | 35   |
| 2021年度<br>(2021. 4. 1~2022. 3. 31) | 95   | 34   |

## 口腔外科

### 【人事】

久保田真子が退職となり代わりに山崎新太郎が着任した。常勤4名、非常勤1名の歯科医師5人体制は継続だった。衛生士は常勤歯科衛生士2名、パート衛生士3名の計5名体制だった。

### 【外来】

月曜日から金曜日まで午前中は毎日診察を行っており、月曜日、火曜日、木曜日の午後は常勤医、水、金は非常勤による局所麻酔下での外来小手術を行っている。初診患者は3,381人（昨年3,069人）、内他院紹介は2,661人（昨年2,442人）、延べ外来受診患者は18,749人（昨年17,162人）であった。外来手術件数は2,217例（昨年2,452例）だった。最も多い外来手術は抜歯で、次に顎骨嚢胞摘出術、良性腫瘍切除術が続いた。昨年度と比較して初診患者数は312人（10.2%）、紹介患者数は219人（9.0%）、延べ外来患者数は1,587人（9.2%）それぞれ増加した。外来手術件数は234件（9.5%）減少した。これは歯科医師1名の休養のため、数か月間外来処置を休止していたことが要因の一つとして考えられた。院内紹介初診患者数が昨年度より93名増えた。これは今年度より院内周術期口腔ケアに力を入れており、周術期口腔ケアの実績が2022年度の123人から222人に増えていることが影響していると考えられた。

### 【手術】

全身麻酔下での手術は主に水曜日と金曜日に行っている。手術の件数は昨年よりやや減少し227例（昨年238例で4.6%減少）であった。悪性腫瘍症例は減少し、インプラント関連手術や顎骨嚢胞症例が増加した。再建を用いた手術は遊離皮弁2例で、植皮が2例であった。再建が必要な進行がんが例年に比べて少なかった。

### 【その他】

2022年より静岡市内の開業歯科医院向けに電話相談窓口を設置し、2023年度は計5歯科医院より、計13件の症例に対する相談があった。

### 【今後の展望】

歯科衛生士の増員に伴い、院内への周術期口腔ケア依頼を積極的に受けて、入院中の患者さんへの口腔管理の充実を図りたい。

（大山厳雄）

### 手術室における疾患別手術件数

|           | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 悪性腫瘍      | 24     | 37     | 26     |
| 良性腫瘍      | 6      | 3      | 1      |
| 顎骨嚢胞      | 56     | 60     | 68     |
| 他の嚢胞      | 0      | 0      | 0      |
| 顎変形症      | 5      | 10     | 6      |
| 口唇口蓋裂     | 0      | 0      | 0      |
| 顎骨骨折      | 3      | 9      | 3      |
| 他の外傷      | 0      | 0      | 0      |
| 歯性上顎洞炎    | 1      | 2      | 1      |
| 下顎骨骨髓炎    | 0      | 0      | 0      |
| 重度感染症     | 0      | 1      | 0      |
| 唾液腺疾患     | 2      | 1      | 2      |
| 顎関節疾患     | 0      | 2      | 0      |
| インプラント関連  | 7      | 10     | 14     |
| 薬剤関連顎骨壊死  | 7      | 2      | 3      |
| 障害者歯科治療   | 11     | 12     | 12     |
| その他（抜歯など） | 52     | 89     | 89     |
| 計         | 174    | 238    | 225    |

## リハビリテーション科・リハビリテーション技術科

### 【現況】

リハビリテーション科は、昨年度に引き続き、深澤誠司副病院長がリハビリテーション科主任科長、藤井雅人呼吸器内科科長がリハビリテーション科科長を兼務された。

リハビリテーション技術科には理学療法士 (PT)・作業療法士 (OT)・言語聴覚士 (ST) が所属しており (表1)、各療法の実績 (延べ人数) は (表2) のとおりであった。

診療科とのカンファレンスは、整形外科 (週1回)、呼吸器内科 (週1回)、脳神経外科 (月1回) で実施している。耳鼻咽喉科・頭頸部外科とは、嚥下カンファレンス (週1回)、音声カンファレンス (週1回) を実施している。心臓リハビリテーションに関しては、心疾患カンファレンスを週1回と、月に1回の心リハ運営会議を実施している。また、隔週開催の心不全カンファレンスにも参加している。病棟回診は、脳神経外科 (週2回)、整形外科 (週1回) にそれぞれ参加している。各病棟ともカンファレンスなどを通して積極的に情報共有を図っている。

患者の急変に対応するための勉強会および緊急時シミュレーション訓練 (2回) を例年通り実施した。

### 【人事】

理学療法士 (PT) 葛西 徹 令和5年4月採用  
理学療法士 (PT) 鍋田潤希 令和5年4月採用  
パート理学療法士 (PT) 藤井奈美 令和5年12月退職

### 【動向】

昨年6月より算定開始した早期離床・リハビリテーション加算は、関連するスタッフの増員や医師への周知徹底などにより、結果として80%前後の高い介入率となった。

また今年6月より、「高齢心不全グループアクティビティ」と称して、医師・看護師と連携しながら、高齢心不全患者に対して「入院中のADL・認知機能の低下予防」、「退院後の心不全増悪による再入院予防」を目的とした取り組みを開始している。

心臓リハビリテーションに関しては、所定の「運動処方講習会」を2名が修了し、心大血管リハビリテーションを担当可能なスタッフは15名となった。

また、がんのリハビリテーション研修に4名の理学療法士が参加し、がん患者リハビリテーションを担当可能なスタッフは27名となった。

### 【課題】

徐々に実績は改善しつつあるが、引き続き実績向上への意識改革と業務改善に取り組んでいく必要がある。一方で、スタッフの満足度向上やストレス軽減にも配慮が必要である。

### 【臨床実習生の受け入れ】

- ・4月10日～5月19日 聖隷クリストファー大学4年生 総合実習1名、指導者：小柳慎介 (PT)
- ・5月28日～7月21日 常葉大学4年生 総合実習1名、指導者：佐藤俊史 (PT)
- ・12月11日～12月15日 専門学校富士リハビリテーション大学校1年生 見学実習1名

### 【資格取得等】

- ・日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士：水上紘司 (OT)
- ・日本心臓リハビリテーション学会 運動処方講習会 修了者：葛西 徹 (PT), 鍋田潤希 (PT)
- ・日本循環器学会 心不全療養指導士：小野田博繁 (PT)
- ・日本腎臓リハビリテーション学会 腎臓リハビリテーション指導士：佐藤俊史 (PT)
- ・静岡県理学療法士会 臨床実習指導者講習会 修了者：鈴木康介 (PT), 芦田拓真 (PT), 葛西徹 (PT), 藤吉翔史 (PT)

(篠原宏幸)

### 【業務統計資料等】

表1 リハビリテーション技術科 療法士数

表2 各療法の件数 (延べ人数)

表1 リハビリテーション技術科 療法士数 (人)

| 療法士/年度           | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------|-------|-------|-------|
| 理学療法士 (PT) (パート) | 17(1) | 17(1) | 18(1) |
| 作業療法士 (OT)       | 5     | 5     | 5     |
| 言語聴覚士 (ST)       | 6     | 5     | 5     |
| 合計               | 29    | 28    | 29    |

表2 各療法の件数 (延べ人数)

| 療法/年度           | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  |
|-----------------|--------|--------|--------|
| ・理学療法           | 32,792 | 37,427 | 37,883 |
| 心臓リハビリ(ステップアップ) | 1,701  | 2,084  | 1,974  |
| ・作業療法           | 7,338  | 9,317  | 8,099  |
| ・言語聴覚療法         | 5,735  | 6,766  | 5,721  |
| 合計              | 47,566 | 55,594 | 53,677 |



## 放射線診断科

常勤医師1名、非常勤医師2名で診療に従事している。当院ではCT、MRI、RIなどの画像検査が年間35,000件以上行われており、地域連携として開業医からの撮影依頼にも応じている。

これらの読影業務の大部分は遠隔読影会社に委託している。常勤医師、非常勤医師は読影業務を行いつつ、緊急時や主治医が判断に迷う場合など、各診療科からの相談に対応している。

画像撮影については、主治医からの依頼内容に応じて適切な撮像方法を選択し、被曝の低減も心掛けている。

令和5年度は血管内治療に積極的に参加し、診療放射線技師や初期研修医とのカンファレンス・勉強会も開始した。医療安全にも積極的に関わった。

引き続き、各診療科との連携を強化し、チーム医療の一助になりたいと考えている。

(宇佐美 諭)

## 放射線治療科

放射線治療科はおもにがん患者に対する外部放射線治療、核医学治療を行っている。昨年度の総治療件数は374例と前年度から若干増加した。高精度治療としては、強度変調放射線治療 (IMRT) は84件 (前年度48件)であった。体幹部定位放射線治療が52件 (前年度35件)、脳定位放射線治療が16件 (前年度20件)であった。令和5年6月に脳定位放射線治療専用の計画装置 (ELEMENTS) を導入し、正確な治療が短時間でできるようになった。治

療件数に対する高精度治療の割合が増えてきており、治療期間も短くなっている。

核医学治療はバセドウ病に対するヨード内用療法は4件、ラジウム223治療は8件行った。

令和6年3月で前任の主任科長の飯塚医師が退職し、4月から岸が着任した。診療体制は維持されており、高精度治療も変わりなく継続の予定である。

(岸 高宏)

### 治療実績 (部位別症例数)

|             | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 |
|-------------|------|------|------|------|------|
| 脳・脊髄腫瘍      | 4    | 3    | 3    | 8    | 5    |
| 頭頸部腫瘍       | 48   | 32   | 26   | 22   | 26   |
| 食道癌         | 7    | 7    | 10   | 7    | 5    |
| 肺癌、気管・縦隔腫瘍  | 85   | 110  | 105  | 87   | 83   |
| うち肺癌        | 83   | 102  | 103  | 85   | 82   |
| 乳癌          | 58   | 44   | 36   | 49   | 57   |
| 肝・胆・膵癌      | 13   | 8    | 15   | 18   | 14   |
| 胃・小腸・結腸・直腸癌 | 21   | 37   | 22   | 25   | 26   |
| 婦人科腫瘍       | 6    | 12   | 9    | 9    | 10   |
| 泌尿器系腫瘍      | 89   | 81   | 82   | 92   | 111  |
| うち前立腺癌      | 80   | 57   | 61   | 74   | 93   |
| 造血器リンパ系腫瘍   | 31   | 11   | 10   | 11   | 16   |
| 皮膚・骨・軟部腫瘍   | 1    | 2    | 2    | 3    | 5    |
| その他(悪性腫瘍)   | 0    | 1    | 4    | 9    | 9    |
| 良性腫瘍        | 2    | 3    | 4    | 3    | 7    |
| 小児例15歳以下    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| 総計          | 365  | 353  | 328  | 343  | 374  |

## 麻酔科・手術室

令和5年度の総手術例数は5,784例であり前年度と比較して約273症例増加した。11月から手術室10が稼働を開始し、年度末までには泌尿器科、消化器外科、婦人科、呼吸器外科の4科によって、ほぼ毎日ロボット支援手術が行われるようになった。新しい手術室の追加に伴い手術枠の再調整も行ったため、来年度以降はさらなる増加が見込まれる。麻酔科管理症例数は3,251症例と前年度よりも96症例増加している(表1)。1件当たりの麻酔時間は年々上昇しており、初期研修医と特定行為研修の看護師教育、術前術後の診察と評価に加えて昨年度4月から開始した疼痛管理チームによる回診など全体の業務量も増えてきていることから、麻酔科では変形労働の常勤医と

非常勤医を組み合わせることで連続、連携した勤務体制を強化している。それにより長時間手術や重症症例、緊急手術への対応と教育が可能となり、各大学と連携した学術的な活動も盛んになってきた。

急性期エリアの医療安全教育として心肺蘇生や危機管理に関する各種シミュレーション教育や講義は例年通り行っており、院内のICLSインストラクター養成も続けている。患者の周術期管理の質の向上と安全管理、スタッフの勤務環境整備のために常にシステム改善に継続的に取り組んでいる。教育体制の整備は今後の課題であり、麻酔科医が増員次第、領域を拡充していく予定である。

(玉里順子)

表1 科別年間麻酔統計

|          | 令和3年度   |          |       |        |          |       |           | 令和4年度   |          |       |        |          |       |           | 令和5年度   |          |       |        |          |       |           |
|----------|---------|----------|-------|--------|----------|-------|-----------|---------|----------|-------|--------|----------|-------|-----------|---------|----------|-------|--------|----------|-------|-----------|
|          | 麻酔科管理症例 |          |       | 各科管理症例 |          |       | 総手術<br>件数 | 麻酔科管理症例 |          |       | 各科管理症例 |          |       | 総手術<br>件数 | 麻酔科管理症例 |          |       | 各科管理症例 |          |       | 総手術<br>件数 |
|          | 全麻      | 全麻<br>以外 | 合計    | 全麻     | 全麻<br>以外 | 合計    |           | 全麻      | 全麻<br>以外 | 合計    | 全麻     | 全麻<br>以外 | 合計    |           | 全麻      | 全麻<br>以外 | 合計    | 全麻     | 全麻<br>以外 | 合計    |           |
| 外科・消化器外科 | 1,003   | 14       | 1,017 | 0      | 66       | 66    | 1,083     | 920     | 7        | 927   | 2      | 65       | 67    | 994       | 1,036   | 1        | 1,037 | 0      | 55       | 55    | 1,092     |
| 脳神経外科    | 131     | 2        | 133   | 2      | 95       | 97    | 230       | 138     | 0        | 138   | 0      | 87       | 87    | 225       | 169     | 0        | 169   | 0      | 152      | 152   | 321       |
| 心臓血管外科   | 444     | 1        | 445   | 0      | 217      | 217   | 662       | 494     | 12       | 506   | 1      | 78       | 79    | 585       | 497     | 8        | 505   | 1      | 265      | 266   | 771       |
| 呼吸器外科    | 144     | 0        | 144   | 0      | 0        | 0     | 144       | 172     | 0        | 172   | 0      | 0        | 0     | 172       | 141     | 0        | 141   | 0      | 0        | 0     | 141       |
| 整形外科     | 299     | 14       | 313   | 1      | 475      | 476   | 789       | 301     | 1        | 302   | 0      | 656      | 656   | 958       | 318     | 5        | 323   | 0      | 732      | 732   | 1,055     |
| 産婦人科     | 114     | 59       | 173   | 0      | 4        | 4     | 177       | 179     | 49       | 228   | 1      | 0        | 1     | 229       | 135     | 56       | 191   | 0      | 0        | 0     | 191       |
| 眼科       | 7       | 0        | 7     | 0      | 225      | 225   | 232       | 5       | 2        | 7     | 0      | 451      | 451   | 458       | 0       | 0        | 0     | 0      | 276      | 276   | 276       |
| 耳鼻咽喉科    | 160     | 2        | 162   | 0      | 29       | 29    | 191       | 141     | 0        | 141   | 0      | 39       | 39    | 180       | 159     | 0        | 159   | 0      | 29       | 29    | 188       |
| 泌尿器科     | 318     | 58       | 376   | 0      | 17       | 17    | 393       | 398     | 16       | 414   | 1      | 31       | 32    | 446       | 388     | 14       | 402   | 0      | 32       | 32    | 434       |
| 口腔外科     | 164     | 0        | 164   | 0      | 14       | 14    | 178       | 220     | 0        | 220   | 0      | 16       | 16    | 236       | 209     | 0        | 209   | 0      |          | 0     | 209       |
| 皮膚科      | 0       | 0        | 0     | 0      | 35       | 35    | 35        | 0       | 0        | 0     | 0      | 29       | 29    | 29        | 0       | 0        | 0     | 0      | 40       | 40    | 40        |
| 形成外科     | 66      | 1        | 67    | 0      | 443      | 443   | 510       | 73      | 0        | 73    | 0      | 447      | 447   | 520       | 79      | 4        | 83    | 1      | 463      | 464   | 547       |
| 循環器内科    | 101     | 0        | 101   | 0      | 70       | 70    | 171       | 105     | 2        | 107   | 0      | 3        | 3     | 110       | 110     | 0        | 110   | 0      | 109      | 109   | 219       |
| 腎内、消内他   | 4       | 3        | 7     | 0      | 334      | 334   | 341       | 9       | 2        | 11    | 0      | 357      | 357   | 368       | 9       | 2        | 11    | 0      | 287      | 287   | 298       |
| 総合内科     | 0       | 0        | 0     | 0      | 0        | 0     | 0         | 0       | 0        | 0     | 0      | 0        | 0     | 0         | 0       | 0        | 0     | 0      | 0        | 0     | 0         |
| 麻酔科      | 0       | 2        | 2     | 0      | 0        | 0     | 2         | 0       | 1        | 1     | 0      | 0        | 0     | 1         | 1       | 1        | 2     | 0      | 1        | 1     | 3         |
| 合計       | 2,955   | 156      | 3,111 | 3      | 2,024    | 2,027 | 5,138     | 3,155   | 92       | 3,247 | 5      | 2,259    | 2,264 | 5,511     | 3,251   | 91       | 3,342 | 2      | 2,441    | 2,443 | 5,785     |

## 救急科

本年度は、過去最高の約7,500台の救急搬送受け入れとなりました。例年主に冬季間に発生していた病床コントロール上の問題からの受け入れ制限を行わずに済んだことの影響が大きいと考えております。急激な医療需要の落ち込みが予想される中、新規入院患者を獲得するためには、さらなる救急搬送の受け入れアップが肝心と考えております。

富士・富士宮地域の医療崩壊が進む中、同地域からの

患者確保が生命線と考え、富士・富士宮医師会、同消防本部等との更なる連携を進めてまいりたいと考えております。断らない救急という受け身から脱皮していきたいと考えております。

また、本年度は横浜市立大学、慶応大学や東京大学から医師派遣を受け、研修医教育等にご協力いただきました。今後とも継続して次代を担う医師教育の一翼を担いたいと考えております。

(渡邊 出)

| 令和5年度<br>(R5.4~R6.3) | 搬送人員       | 転院を除く<br>搬送人員 | 問合せ<br>回数 | 応需率   | 傷病程度別応需率  |           |       |            |           |       |             |           |     |        |
|----------------------|------------|---------------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|------------|-----------|-------|-------------|-----------|-----|--------|
|                      |            |               |           |       | 軽症<br>搬送者 | 問合せ<br>回数 | 応需率   | 中等症<br>搬送者 | 問合せ<br>回数 | 応需率   | 重症以上<br>搬送者 | 問合せ<br>回数 | 応需率 |        |
| 静岡地域                 | 静岡病院       | 7,460         | 6,567     | 6,729 | 97.59%    | 2,525     | 2,613 | 96.63%     | 3,656     | 3,717 | 98.36%      | 386       | 399 | 96.74% |
|                      | 搬送人員第2位の病院 | 6,245         | 5,486     | 6,350 | 86.39%    | 1,993     | 2,398 | 83.11%     | 2,989     | 3,420 | 87.40%      | 504       | 532 | 94.74% |
|                      | 搬送人員第3位の病院 | 5,644         | 5,194     | 5,846 | 88.85%    | 2,922     | 3,223 | 90.66%     | 2,105     | 2,428 | 86.70%      | 167       | 195 | 85.64% |

## 内視鏡科

新型コロナウイルス感染流行により2020年度以降内視鏡検査数は大きく減少し、その後は徐々に回復している。2023年5月をもって5類に引き下げられたコロナ禍明けの2023年度の総検査数は6,521件でありコロナ禍以前よりまだ少ない。検査内容では超音波内視鏡（EUS）とくにEUS-FNAとEUS下ドレナージが増加した。これは胆膵領域を専門とする長谷川医師の赴任によるところが大きい。ESDの治療数も増加しコロナ禍以前と変わらない件

数である。

また、2024年3月末をもって田中俊夫医師が退職となった。長い間当院の内視鏡診療に尽くしていただいたことに感謝申し上げます。2024年度より小生が内視鏡科主任科長を拝命した。これまで以上に安心・安全な内視鏡診療に努めたい。2024年度は医師の働き方改革によって内視鏡の診療体制への影響が予想される。効率の良い検査・治療ができるように環境を整えていきたい。

(黒石健吾)

|            |       |            |       |                  |     |
|------------|-------|------------|-------|------------------|-----|
| 上部消化管内視鏡総数 | 3,607 | PEG        | 20    | ERCP総数           | 365 |
| 食道ESD      | 18    | 胃婁カテーテル交換  | 74    | ERBD             | 164 |
| 食道EMR      | 2     |            |       | EST              | 108 |
| 胃ESD       | 56    | 下部消化管内視鏡総数 | 2,549 | EPBD             | 36  |
| 胃EMR       | 10    | 大腸ESD      | 19    | EP               | 1   |
| 十二指腸EMR    | 3     | 大腸EMR      | 644   | 超音波内視鏡総数(注1)     | 243 |
| 止血術        | 122   | 大腸ポリペクトミー  | 636   | EUS-FNA          | 51  |
| EVL        | 16    | 止血術        | 93    | 注：消化管を含む         |     |
| EIS        | 30    | ステント留置術    | 17    | 穿刺術(PTBD, PTCD等) | 23  |
| ステント留置術    | 14    | 拡張術        | 6     |                  |     |
| 拡張術        | 20    |            |       |                  |     |

## 病理診断科

より良い診療のためには質の良い病理診断が必要である。患者さんが最適な医療を速やかに受けられるように、迅速で正確・適切な病理診断の提供を心がけている。そのため、細胞診は受付から24時間以内、生検組織診は2日以内の診断報告を目標としている。細胞診ではほぼ10割、生検組織診は約8割の症例で達成されており、全国的にみても非常に早い報告となっている。病理診断結果は電子カルテ上でみることができ、診療に迅速に役立っていると考えている。

表1は病理診断件数である。令和5年度は組織診総数は術中迅速診断233件を含めると6,638件。細胞診は4,301件であった。表2は病理解剖症例を示す。令和5年度は16体。解剖症例では希少例もあり病理所見をまとめ、診断や考察に時間を要する難解な症例も多い。

病気の正確な診断や分子標的治療の指針（コンパニオン診断）として免疫染色は必要不可欠となっている。コンパニオン診断に関しては検体採取から免疫染色の実施・

判定までの精度管理が詳細に規定されている。令和5年度の実施件数は1,521症例で4,330枚の免疫染色を行った。前年度より多くなった。診断や治療と関係した免疫染色は今後も増加すると考えられる。

研修医の必修項目であるCPC（臨床病理検討会）は、令和5年度は8回開催した。研修医にとってCPCレポートをまとめることは、これから経験する診療に役立つと考えられる。CPCは本院の医療の検証や向上に期待される。

病理の重要性、必要性は今後もますます高くなると思われる。がんゲノム医療の進歩に伴い病理検体を使用する外注検査依頼も年々増加している。令和5年度は532件、それに伴う病理標本作製枚数は約5,300枚と非常に多かった。5年前と比較すると件数、枚数ともに2倍以上に増加している。これらの業務量の増加は通常業務への影響も懸念されるが、医学や医療の進歩に対応した、診療に役立つ病理診断を引き続き行っていきたいと考えている。

（森木利昭）

表1 病理診断件数の年次推移

|         | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 組織診     | 5,957 | 6,390 | 6,405 |
| 細胞診     | 4,838 | 4,632 | 4,301 |
| 術中迅速組織診 | 277   | 234   | 233   |
| 病理解剖    | 18    | 13    | 16    |

表2 病理解剖

| (番号)         | 年齢・性  | 臨床診断名                             | 病理診断名   |
|--------------|-------|-----------------------------------|---|
| 2023/4月 3353 | 92・男  | 続発性気胸、誤嚥性肺炎                       | 両側誤嚥性肺炎、直腸潰瘍、大動脈粥状硬化                                      |
| 3354         | 86・女  | 下肢急性動脈閉塞症                         | 肺腺癌(stage IA 1)、高度の肺炎、老人性全身性アミロイド症、右下肢乾性壊疽、胃の小型GIST、胸水、腹水 |
| 3355         | 68・男  | 直腸癌、多発肺転移、下垂体腺腫                   | 直腸癌、肺肝転移(ystage IVB)、S状結腸多発憩室、脂肪肝、敗血症性肝、腹水                |
| 3356         | 101・女 | 尿路感染症、アルツハイマー型認知症                 | 左腎盂尿路上皮癌、子宮留膿腫、尿路感染症、右下葉気管支肺炎、S状結腸多発憩室                    |
| 3357         | 77・女  | 胃癌、癌性腹水、癌性胸膜炎                     | 胃癌ESD後、腹膜播種、胸膜播種、肺炎                                       |
| 3358         | 76・女  | CD5陽性DLBCL治療後、敗血症性ショック、COVID-19感染 | CD5陽性DLBCL(骨髄に残っている)、びまん性肺胞傷害(COVID-19肺炎)+細菌性肺炎、血球貪食      |
| 3359         | 54・男  | 急性心筋炎                             | リンパ球性心筋炎、うっ血肝、肺うっ血水腫                                      |
| 3360         | 75・男  | 肺血栓塞栓症、心タンポナーデ、縦隔血腫               | 気腫合併肺線維症+肺炎、縦隔血腫、血性胸腹水、後腹膜血腫、前立腺偶発癌、老人性心アミロイド症            |
| 3361         | 62・男  | COVID-19、MALTリンパ腫、肺炎              | 眼窩MALTリンパ腫治療後寛解状態、COVID-19肺炎、心肥大、腎腫大、肝うっ血                 |
| 3362         | 67・女  | 胆嚢癌                               | 胆嚢癌(G-CSF陽性腺扁平上皮癌, stage IVB)、骨髄過形成、リンパ球性甲状腺炎、肺うっ血水腫、腔水症  |
| 2024/1月 3363 | 84・女  | 小腸出血                              | 小腸出血+大腸出血、空腸多発憩室、腎動脈硬化性腎硬化症+フィブリン血栓、大動脈粥状硬化               |
| 3364         | 69・女  | 大動脈弁狭窄症                           | 大動脈弁狭窄症TAVI後、陳旧性心筋梗塞CABG後、肺うっ血水腫                          |
| 3365         | 77・男  | 急性心筋梗塞                            | 心前壁出血性梗塞、肺うっ血水腫、肝うっ血、胸膜プラーク                               |
| 3366         | 71・男  | 胃癌、出血性ショック                        | AFP産生胃癌(stage IIIB)+腫瘍出血、糖尿病性腎症、尿管管間質性腎炎、肝線維症、腔水症         |
| 3367         | 74・男  | 慢性腎臓病                             | 副腎萎縮、腔水症  |
| 3368         | 76・女  | CPA蘇生後、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧症             | 心肥大、冠動脈3枝病変、透析腎(糖尿病性腎症)、肝線維症、大動脈粥状硬化、胸水、心嚢水               |

## 輸血科

輸血用血液の使用量は濃厚血小板、アルブミン製剤、自己血で増加傾向が見られる。一方、新鮮凍結血漿は増加に転じたが、赤血球製剤は微減した。赤血球製剤の使用数は前年比0.94、使用率は66.5%であったが、廃棄率は0.02%に著減している。これは、令和4年度末に施行された赤血球液の有効期間延長による影響が大きい。有効期間が延長されたことで赤血球液の有効利用が容易になり、廃棄血の削減が可能になった。ところが、保存期間が長くなれば保管管理には一層の厳しさが求められる。それは、不適切な取り扱いにより細菌汚染のリスクやカリウム値上昇なども問題になる可能性があるからである。令和5年度は病院機能評価の受審も重なり、血液製剤の品質をできるだけ良好に維持するために血液製剤の病棟保管禁止について再度徹底した。しかし、保管状態を良好に保持する努力は当然だが、血液製剤を納品後速やかに使用する体制を構築することが重要であることは忘れてはいけない。また、輸血適正使用加算の施設基準であるFFP/MAP比は0.39、Alb/MAP比は0.74と良好な状態を継続している。今後も安心安全な輸血を実践するために邁進していきたい。

(前田明則)

表1 年度別輸血用血液製剤使用状況

|            |          | 令和3年度   | 令和4年度    | 令和5年度    |
|------------|----------|---------|----------|----------|
| 赤血球製剤      | 割付単位数    | 14,086  | 16,646   | 16,268   |
|            | (時間外)    | 3,270   | 3,384    | 3,180    |
|            | 使用単位数    | 9,714   | 11,484   | 10,788   |
|            | 前年比      | 1.05    | 1.18     | 0.94     |
|            | 使用率      | 69.0%   | 69.0%    | 66.3%    |
|            | C/T比     | 1.45    | 1.45     | 1.51     |
|            | 廃棄単位数    | 42      | 18       | 2        |
|            | 廃棄率      | 0.43%   | 0.16%    | 0.02%    |
| 新鮮凍結血漿     | 割付単位数    | 7,550   | 7,706    | 8,442    |
|            | (時間外)    | 1,868   | 1,580    | 1,728    |
|            | 使用単位数    | 4,450   | 4,196    | 4,702    |
|            | 前年比      | 1.04    | 0.94     | 1.12     |
|            | 使用率      | 58.9%   | 54.5%    | 55.7%    |
|            | 血漿交換件数   | 7       | 8        | 27       |
|            | FFP/MAP比 | 0.44    | 0.35     | 0.39     |
|            | 廃棄単位数    | 26      | 30       | 30       |
| 廃棄率        | 0.58%    | 0.71%   | 0.63%    |          |
| 濃厚血小板      | 割付単位数    | 10,490  | 11,400   | 11,820   |
|            | (時間外)    | 2,680   | 2,310    | 2,890    |
|            | 使用単位数    | 10,300  | 11,230   | 11,710   |
|            | 前年比      | 1.17    | 1.09     | 1.04     |
|            | 使用率      | 98.2%   | 98.5%    | 99.1%    |
|            | 廃棄単位数    | 20      | 20       | 10       |
|            | 廃棄率      | 0.19%   | 0.18%    | 0.09%    |
|            | アルブミン    | 使用グラム数  | 23,100.0 | 23,400.0 |
| 使用単位数      |          | 7,700.0 | 7,800.0  | 8,254.2  |
| 前年比        |          | 1.12    | 1.01     | 1.06     |
| アルブミン/MAP比 |          | 0.77    | 0.66     | 0.74     |
| 廃棄単位数      |          | 0       | 8.4      | 0        |
| 自己血        | 貯血単位数    | 271     | 324      | 341      |
|            | (時間外)    | 2       | 2        | 4        |
|            | 使用単位数    | 248     | 311      | 327      |
|            | 前年比      | 0.77    | 1.25     | 1.05     |
|            | 使用率      | 91.5%   | 96.0%    | 95.9%    |
|            | 廃棄単位数    | 23      | 13       | 14       |
|            | 廃棄率      | 8.49%   | 4.01%    | 4.11%    |
| T & S      | T & S件数  | 341     | 320      | 355      |
|            | 割付件数     | 41      | 45       | 59       |
|            | 割付率      | 12.02%  | 14.06%   | 16.62%   |

表2 年度別血液製剤購入金額（円）

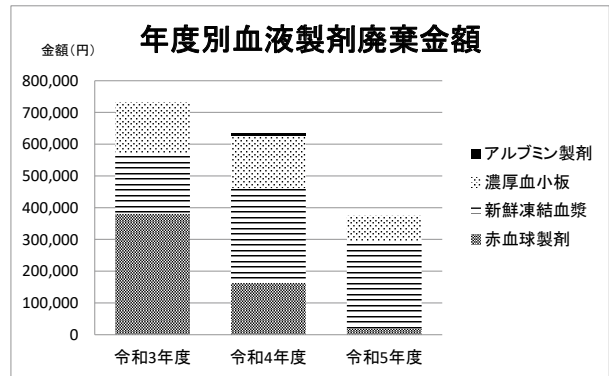
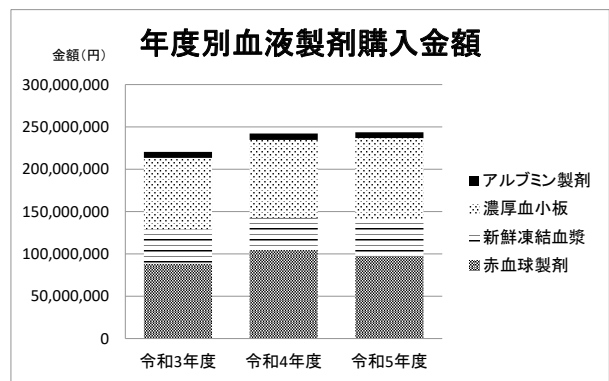
|         | 令和3年度       | 令和4年度       | 令和5年度       |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 赤血球製剤   | 88,520,424  | 104,422,188 | 97,695,216  |
| 新鮮凍結血漿  | 40,332,542  | 38,189,526  | 43,215,018  |
| 濃厚血小板   | 84,441,552  | 91,962,000  | 95,885,712  |
| アルブミン製剤 | 7,077,928   | 7,619,810   | 6,860,880   |
| 合計      | 220,372,446 | 242,193,524 | 243,656,826 |

表3 年度別血液製剤廃棄金額（円）

|         | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |
|---------|---------|---------|---------|
| 赤血球製剤   | 380,772 | 163,188 | 18,132  |
| 新鮮凍結血漿  | 188,450 | 298,382 | 274,830 |
| 濃厚血小板   | 163,488 | 163,488 | 81,744  |
| アルブミン製剤 | 0       | 8,072   | 0       |
| 合計      | 732,710 | 633,130 | 374,706 |

表4 令和5年度廃棄血内訳（単位数）

|         | 期限切れ | 減耗損 | 合計 |
|---------|------|-----|----|
| 赤血球製剤   | 0    | 2   | 2  |
| 新鮮凍結血漿  | 0    | 30  | 30 |
| 濃厚血小板   | 10   | 0   | 10 |
| アルブミン製剤 | 0    | 0   | 0  |
| 自己血     | 12   | 2   | 14 |



## ICU

本年度も引き続き各診療科のご協力もあり、約80パーセントの稼働率を確保することが出来ました。二年前から進めていた早期リハ栄養の他職種連携も軌道に乗り、

来年度からは口腔ケアチームにも参加していただく予定となっております。全診療科、他職種の協力のもと質の高い集中治療体制を構築していきたいと考えております。  
(渡邊 出)

## HCU

2023年9月よりハイケアユニット (HCU) の再編を行った。ICUに併設していた、主に心臓血管外科と循環器内科の患者さんが継続加療を受けるHCUと外科系の術後や内科の重症患者さんの治療管理を行うGHCUを統合して、新たにHCUを編成し、病床数は20床で運用することになった。今後は看護スタッフの増員が可能となれば最大24床まで稼働させたいと考えている。

循環器疾患の症例だけではなく、消化器外科での大手術後、重症呼吸不全、緊急透析症例などほぼすべての診療科の患者さんを収容して重症系病棟としての役割を担っている。

以下に、年間ではないがR5年度の統計を以下に示す。  
(村田耕一郎)

| R5年度     | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1日当たり患者数 | 14.9 | 13.6 | 13.7 | 14.7 | 18.8 | 19.7 | 14.9 |
| 稼働率, %   | 74.7 | 67.9 | 68.7 | 73.4 | 94.0 | 98.4 | 74.5 |

## 血液浄化センター

日本透析医学会統計報告によると、本邦透析患者数は2022年末現在34.7万人となっている。人口100万人あたり2,800人である。2021年度までは増加傾向であったが、2022年はじめて前年比2,200人の減少に転じた。当院では令和5年度新たに76名の患者が透析導入され、全例が血液透析を選択した（前年度－4名）。当院では緊急導入を除いては、血液透析（HD）、腹膜透析（PD）を問わずインクリメンタル方式で導入することが多く、腎不全保存期から維持透析期への穏やかな移行を心がけている（穏透析）。さらに、導入期のADL低下やQOLへの影響を考慮し、可能な限り外来導入を選択した。結果的に全導入患者の33%が待機的外来導入となった。一方、入院透析導入は多くが、CKDの溢水、心臓大血管病治療下、あるいはAKIの患者で、準緊急症例であった。

血液浄化センターでは、透析導入期の新規患者だけで

なく、PCI、冠動脈バイパスや弁置換、骨折などの根治的治療を受ける透析患者、さらに心不全・肺炎・敗血症などの重症合併症のために入院した透析患者が透析を受けた。持続的な透析（CHD・CHDF）は主にICU・HCU・GHCUで行われ、総患者数は138名（前年度+17%）となった。その他の血液浄化として、血漿交換（7名）エンドトキシン吸着（10名）、顆粒球吸着名（2名）、活性炭吸着（1名）、腹水濾過濃縮再静注（CART）（15名）が行われた。何れも臨床工学科および当該診療科とのチーム連携によってスムーズにおこなわれた。

2024年3月末現在、当院で透析管理を受けている患者総数は87名、そのうちHDのみの患者は85名、HDとPDを併用する患者は2名、PDのみの患者0名。HD患者のうち、週1HD、週2HDといった穏透析下の患者は31%を占めた。

（松本芳博）

### その他の血液浄化（症例数）

|                        | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|
| CHD/CHDF(持続的血液透析/濾過透析) | 141   | 131   | 118   | 138   |
| PE(血漿交換)               | 4     | 2     | 6     | 7     |
| PMX(エンドトキシン吸着)         | 18    | 23    | 2     | 10    |
| GCAP(顆粒球吸着)            | 2     | 4     | 1     | 2     |
| 活性炭吸着                  |       |       |       | 1     |
| CART(腹水濾過濃縮再静注)        | 7     | 13    | 15    | 15    |



## 市民健診センター

令和2年、3年度に新型コロナで落ち込んだ受診数も、ようやく昨年度からもとに戻りつつある。しかし、企業団体の健康診断は増加傾向にあるが、一般の人間ドックに関しては頭打ちになっている感が否めない。

また、今年度の精密検査の受診率は66%だった。つま

り約1/3の方々は健診でひっかかっても精査に結びついていないということで、非常に残念である。結果説明のときに再受診の重要性を丁寧に説明する必要性を強く感じた。

(水野薫子)

### 市民健診センター事業別検診業務統計

表1. 人間ドック (年度別)

|       | 男   | 女       | 計   |
|-------|-----|---------|-----|
| 令和元年度 | 187 | 121(53) | 308 |
| 令和2年度 | 117 | 60(30)  | 177 |
| 令和3年度 | 137 | 70(49)  | 207 |
| 令和4年度 | 162 | 84(64)  | 246 |
| 令和5年度 | 170 | 89(70)  | 259 |

( ) の数は婦人科検診も行った件数

表2. 令和5年度 人間ドック (年齢別)

| 年齢階層別   | 男   | 女  | 計   |
|---------|-----|----|-----|
| 40歳未満   | 9   | 9  | 18  |
| 40歳～49歳 | 32  | 16 | 48  |
| 50歳～59歳 | 40  | 25 | 65  |
| 60歳以上   | 89  | 39 | 128 |
| 合計      | 170 | 89 | 259 |

表3. 脳ドック

|       | 男  | 女  | 計  |
|-------|----|----|----|
| 令和元年度 | 12 | 7  | 19 |
| 令和2年度 | 10 | 7  | 17 |
| 令和3年度 | 11 | 5  | 16 |
| 令和4年度 | 16 | 5  | 21 |
| 令和5年度 | 16 | 13 | 29 |

表4. レディース検診

|       | 総数 |
|-------|----|
| 令和元年度 | 51 |
| 令和2年度 | 9  |
| 令和3年度 | 44 |
| 令和4年度 | 44 |
| 令和5年度 | 43 |

表5. 健康診断 (個人)

|       | 男  | 女  | 計  |
|-------|----|----|----|
| 令和元年度 | 37 | 39 | 76 |
| 令和2年度 | 57 | 40 | 97 |
| 令和3年度 | 28 | 31 | 59 |
| 令和4年度 | 19 | 22 | 41 |
| 令和5年度 | 25 | 32 | 57 |

表6. 健康診断 (企業団体)

|       | 団体数 | 男   | 女   | 計   |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 令和元年度 | 85  | 183 | 166 | 349 |
| 令和2年度 | 55  | 120 | 108 | 228 |
| 令和3年度 | 73  | 148 | 111 | 259 |
| 令和4年度 | 107 | 218 | 155 | 373 |
| 令和5年度 | 130 | 258 | 188 | 446 |

表7. 職員健康診断

|       | 総数    | 子宮がん検診 | 乳がん検診 | 胃透視 |
|-------|-------|--------|-------|-----|
| 令和元年度 | 959   | 245    | 31    | 294 |
| 令和2年度 | 967   | 220    | 48    | 281 |
| 令和3年度 | 933   | 257    | 34    | 244 |
| 令和4年度 | 1,038 | 262    | 82    | 232 |
| 令和5年度 | 1,094 | 248    | 115   | 194 |

## 部門別概況

### 看護部

#### 令和5年度 看護部目標（バランスト・スコアカード）

1. 臨床推論を看護ケアに活かす
2. 互いに補完し合い看護力を高める
3. 医療チームの中で看護の専門性を発揮する
4. 健全な病院経営に参画する

#### ○健全な病院経営への参画

- (1) 506床が機能できる看護職員の確保
- (2) 病院機能評価の認定更新
- (3) 診療報酬で算定可能な加算を取得する

看護職員の確保については県内外にリクルート活動を拡大し、ホームページなどの工夫を行い確保に努めた。病院機能評価受審においては、看護師長を中心に、多職種と協働してケアプロセスを準備し、医療提供の見直しや不足部分の改善を行い認定更新することができた。診療報酬に関しては、急性期一般入院基本料1の算定は維持できた。コロナ禍対応により算定辞退した看護職員夜勤配置加算についても病棟編成や人員配置の検討により算定が可能になった。

#### ○入退院支援を強化し、円滑な病床管理を行う

- (1) 空床管理システムを活用した入退院調整を行う
- (2) クリニカルパスの稼働率を上げる

空床管理システムは全部署が入力し、翌日の入院患者の調整をベットコントローラーと図った。病床稼働率は79.5%の維持であり目標値には至らなかった。

クリニカルパス稼働率は目標値45%を超え、45.8%に上昇し、パス通りの退院率73.3%であった。

退院支援は手厚く実践し、DPCII期以内の退院率も70.1%と目標値に達することができた。

#### ○看護業務を効率化し、ベットサイドケアを充実する

- (1) 業務量調査を活用・分析し看護業務をカイゼンする

業務量調査の結果分析より、看護師の時間外勤務を要する要因として、看護記録、申し送り、タイムアウト、医師との連絡調整が時間外要因として明確となった。業務カイゼンプロジェクトチームを中心に検討し、タイムアウトの時間・方法の確立、看護記録はペアナーシングでその場で記録するということを徹底した。クリニカルパス患者のSOAPへの重複記録を削除した。部署ごとに作成された退院時チェックリストも院内統一し、効率化を図り簡便にした。看護師の時間外勤務は減少傾向にあるが、その結果、ベットサイドケアが充実できたという結果の可視化はできなかった。

次年度の課題として、患者満足度調査等を活用し可視化できるよう検討する必要がある。

#### ○特定看護師が活躍し、看護の質向上を図る

特定看護師は13名が活躍し、今年度は集中治療領域4名、感染に係わる薬剤投与関連2名が研修を受講している。また院外教育により在宅ケア領域も1名が受講し、特定行為実践数も184件に増加した。

西7階病棟に3名複数配置したことにより、医師のタスクシフトが徐々に拡大しつつある。2030年までに看護部では、特定看護師の育成50名に増やし、部署への複数配置を目指している。医師のタスクシフトとともに、急性期病院として対応できる看護の質向上に努めていきたい。

#### ○お互いを認め合い高め合う看護チームになる

「お互いを認め合い高め合う看護チームになる」では、職務満足度調査による「自分の意見が活かされている」の項目では看護師、看護補助者ともに向上「同僚から褒められたり認められたりすることがある」の項目では看護補助者のみ向上「職場はお互いに助け合っている」の項目でも看護補助者のみ向上した。

看護業務のタスクシフト・タスクシェアでは、入院支援チームが午前中入院患者の対応、エディー（プラチナナース）

チームが全病棟の配薬と注射セッティング、外来部門から入院部門への応援機能が主体的に実施され協働していくことができた。

#### ○働き続けられる職場環境をつくる

コロナ禍も影響した分娩件数の減少により、スキルアップが叶わないという理由で助産師の退職が問題とされた。助産師が働き続けることができるよう分娩件数を確保するため院内職員に分娩に関するアンケート調査を実施した。その結果を参考に、産科医と病棟が中心となり、産後の個室管理、陣痛・分娩室のリニューアルを実施した。R4年度より分娩は20件数を上昇することができた。令和5年度の助産師退職は無かった。

看護業務のカイゼンやタスクシフトにより、働き続けられる職場環境が徐々に整えられ、令和4年度退職率12.2%が令和5年度は7.6%に減少できた。

新人の退職率も令和4年度9.3%から令和5年度は2.0%に減少できた。

看護補助者の17時から21時までの学生アルバイトを増やし確保したことは、看護師の夜勤負担軽減に繋がったと評価している。

#### ○高度急性期に対応できる看護師を育成する

令和5年度から院内クリニカルラダー教育の課題である症例検討を廃止した。症例検討は看護の振り返りとして大変重要である。しかし、受講者、指導者の負担が大きく日々の業務に支障が生じていたために廃止を決断した。

キャリア1以上は特定行為研修共通科目である「臨床推論」をキャリア毎に課題設定しe-ラーニング実施に変更した。受講率は98%と予想を遙かに超え、キャリアIIIはOSCE前に設定以上の項目を自主的に学習していた。

救急外来でも過去最高の救急車受入を実施している。1人1人が臨床推論を学んだことが患者対応に役立ったという感想が聞かれている。今後、積極的に看護師が臨床推論を学ぶことは、判断のできる高度急性期看護・急性期看護の実践に求められると感じている。

#### ○看護職員のメンタルヘルス支援

「メンタル不調を早めにキャッチし対応する」では、令和4年度メンタルによる退職者8名に対し、令和5年度はメンタル不調による退職者は無かった。これは、各部署で所属長が勤務する全ての人に声かけを実践した結果であると示唆する。そのため、早期に相談しやすく、勤務調整など細やかな対応ができたこと。精神専門看護師による丁寧な支援。副看護部長による新人への面接実施の評価である。

#### おわりに

令和5年度は前年度から「カイゼン事業」を引き継ぎ、看護職員が働き続けられる体制を構築することが最重要課題であった。まずは、看護職員である仲間を活用から活躍できる存在となる仕組みを考え、現場で頑張るスタッフのモチベーションが維持できるよう実践してきた。重症系病棟の病床編成も加わり、1人1人の意見に対応することに難渋した。しかし、失敗から得ることも多くあり、多くの苦難を乗り越えてきた結果、看護部の見える化を図り、伝えることができ、看護部組織のベクトルを揃える事ができたと思う。苦難もあったが、実りの多き1年であった。

これは臨床現場のスタッフが理解し協力してくださった結果である。

臨床現場の笑顔で働くスタッフに、感謝と敬意を表します。ありがとうございました。

(青山治子)

## 看護部研修会（オンライン配信）

| 主催   | テーマ  | 講師   |
|--|--|--|
| 全国自治体病院協議会                                     | 新型コロナ禍を振り返って<br>病院運営を支える応援し合う看護部づくり                                  | 全国自治体病位協議会 看護部会長<br>地方独立行政法人東京都立病院機構<br>東京都立多摩総合医療センター 看護部長 宮崎 隆 |
|  | やりがいをもって働く組織作り   | 株式会社オーセンティックス 代表取締役 高田 誠   |
|  | 医療機関における情報セキュリティについて   | 富士フィルムメディカル株式会社<br>サービス&サポート事業部事業推進部企画グループ<br>千々木宏一              |
|  | 今、病院に迫るサイバー犯罪の脅威   | NTTデータエグゼクティブ・セキュリティ・アナリスト 新井 悠                                  |
|  | カリキュラム改正の意図をふまえた臨地実習指導のあり方   | 佐久大学大学院看護学研究科 看護教育学領域<br>吉田文子                                    |
|  | 「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～  | 特定社会保険労務士・産業カウンセラー 中辻めぐみ   |
|  | くりかえし発生するエラーについて   | 上尾中央総合病院 特任副院長 長谷川 剛   |
| エルゼビア・ジャパン                                     | 中小規模病院における看護職の働き方の発展～働き方の未来を一緒に考える<br>これからの看護職の働き方と改革をリードする看護管理職への期待 | 東京医療保健大学・副学長 (公社)日本看護協会・元会長 坂本すが                                 |
|  | 中小企業病院におけるタスクシフト/シェアの考え方   | 康心会汐見台病院 熊谷雅美  |
|  | 看護職における業務改善の実践の事例：タスクシフト・シェアとICT導入の事例                                | 上垣内佐知子   |
|  | 中規模病院を支える看護職への支援とその発展に関わる新たな働き方を考える～君たちはどう生きるか(看護師編)～                | 東京医療保健大学東が丘看護学部大学院看護学研究科<br>中島美津子                                |
| キャリア開発制度改革 “Koa-Nurse”による働き方の実践～働き方の未来を一緒に考える～ | 亀田総合病院 教育担当副部長 認定看護管理者<br>安田友恵                                       |  |
| S-QUE 事業部                                      | 超速報！令和6年度診療報酬改訂概要 ～医療DXをふまえた解説                                       | 東日本税理士法人 代表社員 所長<br>社会・特定医療法人協議会代表 監査法人長隆事務所<br>長 英一             |
| 静岡県病院協議会                                       | 看護師の定着について ～医療機関が取り組むべきこと～   | 公益社団法人日本医業経営コンサルト協会<br>認定登録 医業コンサルタント 椿本由紀                       |

## 実習生・研修生の受け入れ

|                   | 学校名                 | 実習領域             | 対象       | 延べ人数 |
|-------------------|---------------------|------------------|----------|------|
| 実習生               | 静岡市立静岡看護専門学校        | 基礎看護実習Ⅰ          | 1年生      | 40   |
|                   |                     | 基礎看護実習Ⅱ          | 1年生      | 38   |
|                   |                     | 成人看護学実習Ⅰ         | 2年生      | 41   |
|                   |                     | 成人看護学実習Ⅱ         | 2年生      | 41   |
|                   |                     | 老年看護学実習          | 2年生      | 42   |
|                   |                     | 母性看護学実習C-1       | 3年生      | 18   |
|                   |                     | 在宅看護論実習D-1       | 3年生      | 38   |
|                   |                     | 発展看護実習D-2        | 3年生      | 38   |
|                   |                     | 事例研究発表           | 3年生      | 40   |
|                   | 静岡県立大学看護学部看護学科      | 基礎看護学実習Ⅰ         | 1年生      | 71   |
|                   |                     | 母性看護学実習          | 3年生      | 5    |
|                   |                     | 発展看護実習           | 4年生      | 5    |
|                   | 常葉大学健康科学部看護学科       | 成人看護学実習Ⅱ         | 3年生      | 50   |
|                   |                     | 母性看護学実習          | 3年生      | 10   |
|                   |                     | 成人看護学実習Ⅲ         | 4年生      | 10   |
|                   |                     | 臨床実習講義(医師・認定看護師) | 4年生      | 63   |
|                   |                     | 看護統合実習           | 4年生      | 2    |
|                   | 神戸常盤大学短期大学看護学科通信制課程 | 基礎看護学実習(2日間)     |          | 1    |
|                   |                     | 看護マネージメント実習(2日間) |          | 1    |
|                   |                     | 小計               |          | 554  |
| その他<br>(病院見学・説明会) | 病院見学                |                  | 看護師・看護学生 | 50   |
|                   | 看護部見学説明会            |                  | 看護学生     | 119  |
|                   | 高校生1日ナース体験          |                  | 高校生      | 39   |
|                   |                     |                  | 小計       | 208  |
|                   |                     |                  | 合計       | 762  |

## 看護師長会議

### I. 目的

各病棟の応援体制を整え、互いに補完し合い看護力を高められるように課題を抽出し、協議・検討する

### II. 目標

1. 病院・看護部の方針の理解
2. 病院機能評価受審の準備・対応ができる
3. 病棟間の応援体制を円滑にする
4. 状況に応じた問題を師長間で共有し解決していく

### III. 活動内容

- 4～6月 各病棟応援体制、長日勤の活用について検討
- 7～10月 病院機能評価受審準備
- 11～1月 業務量調査の結果から対応策の検討・共有
- 2月 看護補助者（ナースングアシスタント）との協働

### IV. 評価

今年度、長日勤者の活用を目的に師長会で話し合いを行った。時間外が多い病棟への応援体制を検討したが、各病棟の長日勤者は自部署の業務を実践することに多くの時間を費やし、他部署に応援に行く状況ではないことが明確となった。その中で、病棟間の協力体制として、育児短時間制度利用看護師で構成される「入院支援チーム」や外来系の内視鏡室、血液浄化センター、手術室などが午前入院者の対応やケアを応援する体制ができ、各病棟の業務がスムーズに行えるようになってきた。また、今年度実施した業務量調査では「申し送り」「タイムアウト」の時間が長いことがあげられた。各病棟「申し送り」「タイムアウト」の内容、時間の見直しがなされ、取り組みについて情報共有を行った。「看護記録」の時間については「クリニカルパス」の活用が推進され、看護記録に対応する重複を減少する取り組みがされた。申し送り、記録以外に業務量調査での課題については、カイゼンプロジェクトと連携し「入退院チェックリスト」を検討し、院内共通のチェックリストを作成した。日常的な問題点に取り組み、申し送りの短縮、応援体制の構築ができ業務カイゼンに繋がったと思われる。今年度受審した病院機能評価への対応内容の確認が行え、看護部全体として統一した対応が行えた。師長会で情報共有を行うことで、ローカルルールを減少させることに繋がり、お互いが補完しやすい環境に近づくことができた。今後もカイゼンを重ね、長く働き続けられる病棟づくりに取り組んでいく。

(大石千晴)

## 副看護師長会議

### I. 目的

1. 顧客の視点を持って日常の看護を見直し、部署の実践に活かす

### II. 目標

1. 機能評価受審を踏まえ、記録が正しく書けているか知り対応する
2. 看護業務改善支援の結果を踏まえ、パスを運用する
3. リーダー業務の見える化、標準化をはかる

### III. 活動内容と評価

1. 機能評価受審を踏まえ、記録が正しく書けているか知り対応する

#### (1) 内容

機能評価受審にあたり、自部署で出している症例について、行っている看護が記されているか、不備の有無や部署の傾向はどうかを監査した。また当該事例に関連する部署と話をしながら内容を共有した。ケアプロセスの練習を通し、自部署だけでまとめるのではなく、関わった部署や、認定看護師と情報を共有し患者のプロセスを作り上げていく事を意識してもらうよう伝えた。

#### (2) 評価

記録の内容に関しては、機能評価受診の緊張感もあり、全ての職種が丁寧に記録を書くことを意識していた。また、当初の目的からは逸れるが、アンケート結果から、副師長会議での取り組みが「審査のイメージがついた」、「他部署の取り組みが参考に出来た」、「情報共有が出来た」事に繋がったと考える。副師長の6割近くが、機能評価の審査やラウンドに参加したことがない状況であったことから、会議を通じて、審査のイメージに繋がったとことで機能評価受診にも良い影響を与えたと考える。

2. 看護業務改善支援の結果を踏まえ、パスを運用する

主に記録委員会で、パス作成や使用率向上を行っていたことから、当会議では、特別に何か行うことは無く、主として情報共有の場とした。

3. リーダー業務の見える化 標準化をはかる

日替わりリーダーの業務内容について 全部署に聞き取り調査を行った。内容は①日勤帯のスタッフの人数と体制 ②業務内容 ③残務になる内容と理由とした。内容を多くカテゴリー化し「カイゼン」プロジェクト委員会につなげた。

(吉井葉末)

## 実習指導者会議

### I. 目的

臨地実習が効果的に行われるよう、実習指導者と看護教員が連携を図り実習環境の調整を行う

### II. 目標

1. 「教育」の重要性を考えることで指導の大切さや指導者としての役割を振り返り実習指導に役立てることができる
2. 「看護教育」について学習する
3. 学生指導での悩みを解決する糸口を見いだすことができる

### III. 活動内容

#### 1. 実習指導について

各実習開始前に担当教員から学習の進行状況と共に実習目的、学生の傾向、指導の際の留意点などについての説明を受け、実習受け入れ準備及び指導に役立てた。また実習状況や評価についての報告を共有した。

#### 2. グループワークについて

指導者自身またはスタッフが学生と関わった場面を振り返り、学生が思考過程を上手く発展できた事例、指導に難渋した事例を取り上げて6回/年グループワークを実施した。実習指導者と教員がともに学生指導を意図的に振り返ることで、指導者としての役割理解を深め、病棟全体として学生への指導を考える機会とした。

### IV. 評価・課題

4月、実習指導者講習会受講者より伝達講習を実施した。役割を考えるとともに、指導者として学生に対して、どのようになってほしいか、どんなことを大切にしたいかという個々の願いについて考えた。グループワークでは指導者の願いを一つのテーマとし、実習環境を整えるために部署で実践したことについて話しあった。事例を振り返る中で看護実践を言語化して学生へ伝えていくことの重要性を感じた。どのように伝えていけばよいのか、教員から学生の思考や関わり方についてのアドバイスをもらいながら指導について考え、共有することができた。

指導者は日々の業務に対応する中で学生指導に直接関わる機会が少ない。そのため、各スタッフが目的、目標の異なる実習を理解し、実習環境の調整や自ら看護を語ることが求められる。各キャリアに合わせた、部署スタッフへの指導も必要である。

(永田 優)

## 看護倫理委員会

### I. 目標

倫理的配慮のある看護実践ができるように倫理的感

受性と倫理的行動力を養う

1. 倫理的問題に関心を持つことができる（倫理的感受性）
2. 倫理的事柄を問題視できる（倫理的感受性）
3. 話し合える環境をつくることことができる（倫理的行動力）
4. 倫理的問題の対処に向け働きかけることができる（倫理的行動力）

### II. 到達目標

1. 臨床倫理4分割法を理解し、活用できる
2. 倫理的感受性と倫理的行動力を養うために部署の特性に合わせた看護倫理にかかわるカンファレンスを実施する
3. 「患者にとっての最善」を様々な視点で考え、意見交換ができる

### III. 活動内容

- 6月：今年度の目標と活動計画について  
院内の医療倫理チームの活動について、看護職の倫理綱領 講義
- 8月：部署年間目標・計画発表  
臨床倫理4分割法について 講義
- 10月：部署活動中間評価報告  
GW 各部署の倫理カンファレンスの共有
- 12月：4分割法を用いた倫理カンファレンスが全部署で実施済み  
GW 各部署の倫理カンファレンスの共有
- 2月：部署活動最終評価報告  
GW 倫理委員会の活動について、意見や要望を話し合う

### IV. 評価・課題

昨年度、委員会で臨床倫理4分割法は、情報を管理するツールであること、4つの視点の必要な項目について学び、委員が部署に伝えて18部署中13部署で臨床倫理4分割法を用いたカンファレンスの実施ができた。今年度は、全部署で4分割法を用いた倫理カンファレンスを開催し、倫理カンファレンスの定着を目指した。各部署のカンファレンス記録を、その都度委員会のホルターに入力するようにしカンファレンス内容の情報共有を図った。4分割法を用いてのカンファレンスをするのに難しさがあったと言う部署があったが、4分割の項目がすべて埋まらなくても、どんな情報が不足していたのか、何が不安なのか、何が気になるのか、何が解れば良いと言う意見があがった。また、倫理の議題が出にくいと言う部署もあり、リフレクションやちょっと聞いて欲しいこと、日々の気がかりや疑問を出してもらいカンファレンスをするとう良いと言う意見交換ができた。今年度、全部署で4分割法を用いたカンファレンスが全部署で実施でき、倫理カンファレン

スは定着してきた。今後更に、日常の看護実践の現場で気がかりなことや疑問なことをタイムリーに定期開催できる、多職種も参加するカンファレンスが開催できる、委員が倫理的問題の対処に向け働きかける環境を作る役割を果たせる事が、次年度の課題となる。「患者さんにとっての最善」を様々な視点で考え、意見交換ができることを継続していきたい。

(花村多美子)

## 看護研究推進委員会

### I. 目標

日々の看護実践において、看護師が研究的視点で取り組むことにより看護の質が高まり、患者満足度が上がることを目指して看護研究を推進する

### II. 到達目標

1. 第40回(東館) 静岡病院看護研究発表大会において、多くの参加が得られるようWeb配信をスムーズに行う
2. 外部講師指導、勉強会を継続し、研究的視点で看護研究に取り組めるよう支援する
3. 看護研究の外部発表を推進する

### III. 活動内容・評価

1. 「磨こう 看護のちから」をテーマに9部署が研究し発表をすることができた。昨年開始したWeb配信も行い、今後も継続していけるよう実行委員の係にもWeb配信担当を作り活動してもらった。Web配信によりサテライト会場を1つに減らすことができ会場準備を簡略できたが、前日の音声チェックに時間を要し、当日も表彰時の音声に不具合があり今後の課題となっている。会場参加131人、Web参加126人と、昨年より多くの参加が得られた。また、昨年同様、事前に質問を集めることにより集録をしっかり読むスタッフが増えた。
2. 昨年度、倫理審査委員会への研究計画書の提出遅れや修正での戻りが多く、看護研究の開始が遅れ気味だったことを踏まえ、今年度は研究計画書の提出や指導日を早めに設定した。しかし、外部講師指導を受けるまでに研究計画書が整わない部署もあった。計画書を作成する段階の指導方法の検討が必要と考える。
3. 日本看護学会学術集会・全国自治体病院学会・静岡県看護学会・静岡県看護協会実践報告会・日本摂食嚥下リハビリテーション学会・日本新生児学会へ発表ができた。外部へ発表するときの申請手続きが滞る部署もあり、申請手順の周知をしていく。

## IV. 課題

看護の質を向上させるため看護研究は継続していくが、発表大会においては、働き方改革の観点などから時間内での開催や、看護研究への関心を高め多くの人が参加できる方法を検討していく。

(朝比奈ひろみ)

## 看護基準・手順検討委員会

今年度は、看護師が使用をしているマニュアルの疾患別看護マニュアル、検査手順集の見直しを行った。疾患別マニュアルの見直しは掲載されている疾患の分野に合わせ認定看護師、特定看護師に依頼する項目を増やし、専門性の高い最新の内容にすることが出来た。また、目次には見直しを行った認定看護師、特定看護師の氏名を記載し担当として問い合わせ先を明確にした。不明な点が生じた場合や今後の見直しに活かしていきたい。検査手順集は検査を多く扱っている部署へ見直しの依頼をした。現在行われていない検査を削除し、新たに行われるようになった検査の追加を行うことができた。現在、ナースングスキルの活用が円滑に行われ、いつでもどこでも看護手順の確認や操作を動画で確認ができる。基礎看護手順集ファイルの見直しは、最新のナースングスキル掲載項目の表記と、院内独自のマニュアルの更新を主に行った。院内独自のマニュアルは紙面で基礎看護手順集に綴じ、独自の方法があることを分かりやすく示した。また、ナースングスキルは定期的に内容の更新が行われているため更新内容を分かりやすくするため基礎看護手順集に更新履歴を年ごとに綴れるよう見直しを行った。

今後、ますますIT化が進みマニュアルに関しても紙運用から電子媒体への移行が必要になると考えられる。臨床において標準的な看護手順の確認や習得に現在役立っているナースングスキルに加え学習のためのオンラインツールの導入を検討する必要がある。また、院内で作成されているマニュアルに関しても電子媒体を利用した学習ツールへの移行も必要だと考える。今後は電子媒体の利点と注意しなければならない点を十分認識し勤めていくことが課題である。

(上野山良子)

## 褥瘡対策・NST委員会

### I. 目標

1. 褥瘡の発生予防と褥瘡ケアの質向上をめざす
2. NSTにおける看護師の役割を理解しNST活動に参加できる

### II. 到達目標

1. 褥瘡予防ケアを適切に行うことができる  
予防用具を正しく使用する  
院内自重関連の発生率 1.0%以下 弾性ストッキ

ングによるMDRPU20件以下

2. NST対象者の抽出を行い、NST介入を含めた適切な栄養管理につなげる

看護師からのNST介入依頼40件以上

3. 水飲みテストを実施し、嚥下機能評価と正しいポジショニングを提供することで安全な食事開始につなげる入院患者に対して40%以上

4. 褥瘡対策マニュアルに基づいて自立度判定、褥瘡危険因子評価、褥瘡対策計画書、褥瘡経過表を必要な患者に対して入力できる

### III. 活動内容

1. リンクナース対象の褥瘡対策、栄養管理に関する講義

2. リンクナースによる演習形式の院内勉強会

11月胃管のテープ固定と栄養剤の特徴 12月ハーティグロブの使用法

3. 褥瘡発生率MDRPU発生件数、水飲みテスト入力件数と実施率の報告

4. ポジショニングクッションの定数調査、配布

### IV. 評価

褥瘡発生予防・創傷治癒・病状の回復を目指し、適切な栄養管理、ポジショニングや圧抜きによる除圧と局所の治療についてリンクナース達が学習し、部署での伝達と啓蒙を行った。褥瘡発生率0.9%（1月現在）自重関連褥瘡新規発生率は、0.64%（1月現在）弾性ストッキングによるMDRPU11件（1月現在）であった。高齢患者数の増加や経験年数3年未満の看護師が半数以上を占める中、どの部署も新規の発生を低く抑えることができた。看護師からのNST介入依頼は44件（2月現在）内28件が回診につながった。水飲みテストも実施率が上がり61.9%（1月現在）と大きく向上した。今後は対象者を明確にして100%実施を目指す。予防用具を充実したこと、リンクナースが学んだことを生かし部署の褥瘡予防や栄養管理につなげたことが良い結果となった。計画書の作成、正しく褥瘡評価入力ができること、水飲みテスト実施率を100%にすること、部署特性を考えた活動することを次年度の課題としたい。

(山本聖子)

## 看護部リスクマネジメント委員会

### I. 目標

患者の安全確保に向けた手順の周知・徹底を図る

### II. 到達目標

1. 自部署の医療安全に関する問題を客観的に捉える  
(1) インシデントレポートを適切に入力できているか確認できる

(2) インシデント発生の原因を見つけ再発防止に向けた指導ができる

(3) レポート分析ができる

2. 事故防止に向けて自部署で教育・監督できる

(1) 医療安全に関するマニュアルの周知・徹底

(2) コミュニケーションエラーを防止する

### III. 活動内容

1. 前年度のインシデントレポートを分析し年間活動計画を立案

RCA分析勉強会 7月、8月 講師：医療安全管理室 塚本ひとみ

部署のRCA分析 他部署のRCA分析に参加

2. 医療安全に関する部署の課題抽出と対策の検討

3. 部署の与薬手順の確認

配薬時の病棟巡視 2回/年 ・処方カレンダー運用の問題と課題抽出

4. チームステップス事例検討

11月チームステップス勉強会 講師：医療安全管理室 塚本ひとみ

12月から2月 事例検討 3月 事例発表

### IV. 評価・課題

「患者の安全確保に向けた手順の周知・徹底を図る」という目標を基に各部署で年間活動計画を立案し活動した。今年度は病院機能評価受審の機会もあり医療安全に関する基準や手順を確認し部署での遵守状況を話し合い、課題と対策を共有する時間を持った。曖昧な点を明確にすることや、薬剤の安全な使用については病棟ラウンドを行い保管が必要な薬剤は全部署保管場所を統一した。

リスクマネジャーは、多職種を交えたカンファレンスを計画し実践することが定着している。問題提起を行い共に考える場を持ち課題を明確にしていく過程が部署の安全意識を高めることにつながってきている。また、各部署で発生したインシデントの情報共有は、自部署の安全管理状況を知る機会となった。

処方カレンダーを用いた配薬の運用について、安全な配薬、与薬が行えるように使用状況の確認や検討を重ねた。次年度は、3病棟で試行運用を開始し、全部署で処方カレンダーを用いた配薬、与薬が行えるように取り組みたい。

(澤口展子)

## 看護部感染対策委員会

### I. 目標

1. 部署の感染症発生を予防する

2. 部署で発生した感染症制圧の対策と教育指導・評価

3. 院内ICT活動との連携を図る

### II. 到達目標

1. リンクナースとして正しい知識を持ち、自部署で感染予防対策を徹底させる



2. 自部署の感染予防対策が正しくできているかを評価する
3. ICTと情報共有し、部署の活動に生かす

### III. 活動内容

1. 手指衛生のタイミング調査の実施と評価
2. オムツ交換車廃止
3. 各部署で感染対策実施

### IV. 評価・課題

今年度は手指衛生のタイミング調査と、オムツ交換車廃止に向けての活動を中心に行った。手指衛生のタイミング調査では、10月以降の委員会を30分とし、後半の30分はリンクナースの調査時間として確保した。場面数も100場面と少なめに設定した。結果としては、委員会の時間を有効に調査に活用出来たかは不明だが、ほとんどの部署で100場面以上を調査し遵守率から評価、課題の抽出まで得られた。オムツ交換車廃止については、6月から廃止した病棟があり、その経過を委員会で伝達し、徐々に廃止出来る病棟が出てきた。オムツ交換車を廃止しても、汚染したゴミ袋を床やワゴンに置いてしまうとか、汚染したゴミ袋を触った手で患者さんに触れるなどしては意味が無い。また、オムツ交換の時間が1時間以上に伸びているとの報告もあり、廃止後の状況についても引き続き観察が必要となる。しかし、困難であると思えた廃止も残り1病棟のみとなった。これは委員会の中で得られた知識を活用し根拠を持った指導が行えた結果でありリンクナースの力と評価する。1月に委員会の内容についてのアンケートを行った。委員会の中で部署の取り組みを共有したり、GWの時間を希望する回答もあった。次年度は基本に立ち戻り、感染対策に対する知識の提供や問題解決に向けたGWの時間を充実させたい。加えて手指衛生調査の効果的な実施、リンクナースに達成感が得られるような活動を計画していきたい。

(齊藤輝乃)

### 災害看護対策委員会

#### I. 目標

1. 災害時、一人一人のスタッフが状況を把握でき、災害看護の役割を冷静かつ迅速に発揮することができる
2. 受援システムを整える

#### II. 到達目標

1. 院内災害時医療対策委員会活動に参加し、災害訓練時の評価・課題検討ができる
2. 各病棟で災害時医療対策訓練が実施できる
  - (1) 1回/年、部署災害訓練(火災または地震)を実施し報告書を提出する
  - (2) 発災直後の行動を考えることができる

3. 受援システムを整える
4. 防災物品確認の全体把握と物品請求ができる

### III. 活動内容

#### 1. 夜間防災訓練(2/27)

東7階病棟で火災訓練を実施した。消防からは、看護師の報告や状況把握ができていて良かったと評価を受けた。施設課提供のシナリオで訓練を行ったが、看護部で使用しているアクションカードと齟齬があるため、修正が必要である。応援看護師が部屋と物の場所がわからないという問題点も上がり、次年度への課題となった。

#### 2. セコム情報伝達訓練

4回の緊急メール訓練の11時間後返答率は、後期に向け上昇したが89.4%止まりであった。30分後返答率は30%前後で低値なため、メール配信時間を8時から7時に変更したが、改善はなかった。

#### 3. 防災物品確認の全部署の状況把握と物品追加購入を行った。

#### 4. 総合防災訓練(11/15)

各部署から看護師2名、災害看護対策委員のメンバーは評価者として参加した。今年度は、事前に部門訓練として、トリアージセクション毎にマニュアルの事前読み合わせと、物品の点検を行った。次年度は防災委員会マニュアル改訂が予定されているため、「マニュアルとアクションカード」が実働で使用可能かを判断する最終のトリアージ訓練であり、出来ていない事や具体的な問題点が抽出できた。

### IV. 評価

看護部の全部署で防災訓練が実施できた。能登半島地震被災地へ救護活動に出た看護師の経験や、被害の実態などの情報を参考にマニュアルの改訂や対策を講じる必要性がある。

(坂本美志)

### クリニカルラダー委員会

#### I. 目標

急性期病院の看護師育成のための院内教育を企画・運営し、個々の看護師の能力開発のための支援を行う

#### II. 到達目標

1. 各キャリアの目的に沿った研修を企画・運営し、評価する
2. 特定看護師と協働し、急性期病院の看護師として推論力を高めることができるような研修を行う
3. 集合研修とOJTが連動した教育活動ができるよう支援する
4. ナーススケジューラーを活用して、院内教育の管理を行う

### III. 活動内容

1. 卒後臨床研修 昨年度と同様に看護技術はナースングスキルの視聴と繰り返し練習できる時間を設け、受講生の達成感を得ることができた。集合研修は同期と共に学ぶという心強さがあり、「学びのサポートだけでなく精神的なサポートにもなった。」という声も聞かれ、メンタルヘルスサポートに関して集合研修終了後に精神看護専門看護師によるグループワークでは少人数の参加であった。卒後臨床研修を受けることができる環境は安心して働けることにも繋がっていると考える。
2. キャリア I 今年度開始した「臨床推論」は、担当副看護師長と特定看護師が協働してグループワークに参加したことで、研修生の思考を広げる支援ができた。事例検討では自部署に関連する疾患以外は考えることが難しい傾向にあり、集合研修で他部署と交わって行うグループワークは有意義であったと考える。
3. キャリア II 「医療安全」では、過去の事例を用いながらコミュニケーションの方法やチームステップスについて学ぶことができ、医師への報告でSBARの活用や相手への伝え方を学ぶことができた。「人材育成」の研修後のレポートには、プリセプターになるための自分の課題や関係性作りなど、次年度に向けた課題も記載されていたため、次の自身の役割への意識づけともなったと考える。
4. キャリア III 「OSCE」の課題は昨年度と同様に6項目を事前提示し、認定看護師や特定看護師が研修生の部署を考慮して課題を決定した。臨床推論の課題として提示したSQUEは、研修生25名のうち23名がOSCE前に視聴していて、事前学習の教材としても取り入れやすかったと考える。「人材育成」ではナースングスキルのティーチングやコーチングについて視聴し、コーチングのロールプレイングを実施した。その後プリセプティや先輩看護師との日々のかかわりを振り返り、自己の課題を見出し言葉にすることができた。
5. キャリア IV 「看護マネジメント」ではBSCや目標管理を学び、病院組織における看護部のあり方から日々の看護実践、自己の目標へ繋げて考えていくということが理解できた半面、「これまでのキャリア III から一気にハードルが高くなり不安が大きい。」という意見もあった。キャリア IV の概念を理解し、日頃からそれを意識できる課題を自部署で投げかけていく必要性を感じた。キャリア IV フォローアップ研修は13名が受講した。「組織的役割遂行能力」について看護部長より講義をい

ただき、組織における自身の役割について自身の看護観やキャリアを振り返る機会となった。

6. キャリア V M (マネジメント) 3名、G (ジェネラリスト) 3名、P (特定) 3名、S (認定) 1名が受講した。M-Vを目指す3名は全ての研修において終始積極性もあり、マネジメントリーダーの役割モデルを理解していると感じることができ、課題発表も具体的で次年度の実践が期待できる内容であった。また、M-V取得者や副看護師長代行による実践報告は、報告者が主体的に質疑応答しオープンな報告会としたことで、中間管理者として活躍していくための思考を深めることができた。G-V フォローアップのナラティブ事例発表会は、リラックスした雰囲気、看護について自由に語り合い有意義な時間となった。相手の感情に気づく・共感することを大切に、これらを看護実践の場で語り、発信・指導していくことが役割モデルであるため、日々の実践に期待したい。

### IV. 評価・課題

今年度は感染症等による出勤停止となる研修生はなく、計画通り集合研修を実施できた。研修は一昨年度より使用しているナースングスキルの内容を研修委員が担当となる副看護師長と共に吟味したうえで効果的に学びを深めることができるようファシリテートし、研修生が意欲的に参加できるような講義内容や組み立てをしていきたい。

また、今年度より研修科目に「臨床推論」を加え、特定看護師の協力を得ながら実施することができた。これまで課題としていたケーススタディは研修生や指導者の負担も大きかったことからキャリアアップの課題をやめ、キャリアごと設定したSQUE視聴を事前課題として「臨床推論」の講義に参加してもらった。特にキャリア III-1 研修のOSCE前には研修生のほとんどが設定した項目以上にSQUEの視聴をしており、知識を深める教材として身近に感じるものであった。研修終了後のアンケートでは、SQUEの視聴や講義での学びは深く、キャリア I やキャリア II を受講する若い看護師の半数は、特定行為研修受講による特定看護師を希望するという結果が得られた。しかし個人差はあるが、キャリア IV 以上はすべての項目を必須と設定したが視聴していないスタッフもあり、キャリア研修だけでなく各所属での指導や確認などOJTの関わりを再認識した。

M-V研修修了者による課題発表や昨年度M-V受講修了者による実践報告、副看護師長代行による実践報告を報告者同士がディスカッションする場と変えたことで、お互いの看護実践を知り、自身の今後の看護実践

を深める学びの場となった。進行に当たる研修委員は試行錯誤ではあったが、限られた時間内で多くの意見が交換できるよう今後もファシリテート力を高めていきたい。

(鍋田 泉)

## 卒後臨床研修委員会

### I. 目的

新人の教育目標に沿ってOJTと連携した研修の企画、運営を行う

### II. 到達目標

1. 臨地実習経験の少ない新人に合わせた研修を企画・実施する（ナーシングスキルの活用）
2. 新人が自らの看護実践を振り返り、意味づけ出来るように研修を行う
3. 研修の様子・学びを自部署に伝えOJTにつなげる

### III. 活動内容

1. 看護技術はナーシングスキルを活用し、視聴後に実際の演習を行い、繰り返し練習出来る時間を設けた。メンタルヘルスのサポートのため、集合研修終了後、精神看護専門看護師によるGWを昨年同様継続した。集合研修のテーマと目的が新人に合っているものか見直しながら行った。
2. 委員会や研修で各病棟の教育状況・評価を確認しながら、担当委員を中心にOJTを行った。振り返り研修は、原則自部署のGWに担当委員が参加して、新人看護師の状況の把握・指導に努めた。
3. 課題レポートを課すことが、新人または指導者の負担や時間外勤務となることを避けるため、研修記録は時間内で行うことを原則とした。研修前に研修日時・研修内容・テーマを各部署に提示しテーマに沿った指導を依頼した。
4. 院内マニュアルやナーシングスキルに合わせ内容を見直した院内基準チェックリストと基礎看護手順チェックリストを使用した。9月と2月で指導者の確認欄を設け実施状況の確認に努めた。

### IV. 評価

1. ナーシングスキルの視聴と実際の演習・繰り返しの練習で、知識と手技をその場で取得でき患者さんに実際に行う際はより安全に行うことができた、学生の時に実践していない（あるいは1回だけ実施）一番不安な注射の演習をしてもらえて良かったとの研修生からの声があった。ナーシングスキルは自分の時間で繰り返し視聴でき、練習時間の確保も新人が病棟でスムーズに実践できることにつながっている。集合研修で積極的に発言する新人は少ないが、発言の機会を与えるとすることはできるのが特徴的であり、研修を進める側のコーディネート力が必要とされた。テーマと目的を見直して提示したことで

集合研修での目標がわかりやすくなり委員がコーディネートしやすかったという声があった。

精神看護専門看護師によるGWへの参加は1～2名で個人的に相談することが多いため集合研修後の実施は少なかった。研修は同期とともに学べ心強く感じ、手厚く研修を行える環境は少しでも安心して働けることにつながっていると感じる、学びのサポートだけでなく精神的なサポートにもなったという新人もいた。

2. 委員会や研修で、各病棟の新人看護師の進行状況を確認しながら臨床で副師長を中心にOJTを行い、テーマごと部署の副師長と時間をかけて共有できたのは学びになるだけでなく、精神的なサポートにもなったと新人から評価があった。
3. 事前に各部署にテーマを提示したことで、病棟では受け持ち患者の選定に配慮する様子があり、新人も意識でき、研修時間内でレポートを書くこともスムーズにできた。研修前の各部署への提示は効果的であり次年度も継続していきたい。
4. 9月に確認が出来ておらず年度末にあわてて確認する部署があり、もっと早い時期に実施するよう働きかけが必要だった。

### V. 課題

1. チェックリストなどの確認時期と新人・プリセプターの負担の軽減
2. 企画運営する委員の負担の軽減

(榛葉亜矢子)

## 看護部院内研修 卒後臨床研修

新採用者オリエンテーション：令和5年4月3日～4月7日

### 卒後臨床研修1（第一段階）

令和5年4月10日～6月30日 研修生47名

〈目的〉 リアリティショックを緩和し、スムーズな職場適応を図る

〈目標〉 患者の観察が正確にでき、患者の話を理解し、結果を適切に相談・報告できる

〈内容〉

- ・注射技術研修(注射技術確認テストを含む)
- ・看護技術演習
- ・ME機器取り扱い
- ・フィジカルアセスメント
- ・DVT予防
- ・褥瘡予防
- ・コミュニケーションスキル
- ・状況設定演習
- ・医療安全
- ・転倒転落予防
- ・リフレクション

〈集合研修 振り返りテーマⅠ～Ⅵ〉

- I 患者を取り巻く療養環境を理解し、五感を使った観察をしよう
- II 入院によって変化する患者の1日の生活を理解しよう
- III 看護場面を振り返り意味づけをしよう
- IV ペアナーシングで行った看護実践を振り返ろう
- V 患者を取り巻くチーム医療を知ろう(関連他部署の見学、NA・クラーク体験)
- VI 3か月経験をして感じたリアリティショックを言語化しOJTに向けて心の整理をしよう

### 卒後臨床研修2～6（第二段階）

〈目的〉 指導を受けながら、マニュアルに沿って看護実践能力を身に付ける

〈目標〉 指導を受けながら基本的看護技術が提供でき、メンバーとしての役割

卒後臨床研修2：令和5年7月12日 研修生43名

|              |  |
|--------------|--|
| 〈専門・認定看護師講義〉 | コミュニケーション技術（緩和ケア認定看護師：増田友美）<br>セルフコントロール（精神看護専門看護師：嶋根久美子）<br>フィジカルアセスメント（クリティカルケア 認定看護師：中村真理子） |
| 〈地域看護講義〉     | 地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を理解する<br>（総合相談室看護師長：坂上朋子）  |

卒後臨床研修3：令和5年9月20日 研修生45名

|             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 〈グループワーク〉   | 担当看護師(日替わり)としての看護実践を振り返る      |
| 〈看護方式〉      | 受け持ち看護師の役割を理解し、実践のための行動目標を立てる |
| 〈先輩看護師と話そう〉 | 2年目看護師と話そう                    |

卒後臨床研修4：令和5年11月29日 研修生45名

|           |  |
|-----------|--|
| 〈認定看護師講義〉 | 意思決定支援Ⅰ（緩和ケア 認定看護師：鍋田 泉）<br>がん看護（がん化学療法看護 認定看護師：原木久美）<br>フィジカルアセスメント(クリティカルケア 認定看護師：中村真理子)<br>摂食・嚥下障害の看護（摂食・嚥下障害看護 認定看護師：鈴木菜々） |
|-----------|--|

卒後臨床研修 5：令和 6 年 1 月 17 日 研修生 44 名

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 〈認定看護師講義〉 | 認知症患者の看護(認知症看護 認定看護師：伏見順子) |
| 〈グループワーク〉 | 受け持ち看護師としての看護を振り返る         |
| 〈看護を語ろう〉  | 東 9 階 副看護師長：永田 優           |

卒後臨床研修 6：令和 6 年 3 月 13 日 研修生 44 名

|             |  |
|-------------|--|
| 〈認定看護師講義〉   | 透析看護 意思決定支援 2 (透析看護 認定看護師：上野山良子)<br>感染管理 (感染管理 認定看護師：七丈藍乃) |
| 〈グループワーク〉   | 印象に残った看護場面を振り返り、自分の行った看護や思について語り合う                         |
| 〈1 年間を振り返る〉 | 1 年間の看護実践を振り返り、私が目指す看護師像を 1 人 1 分で発表                       |

キャリアⅠ研修（Ⅰ-1 研修生42名 ・ Ⅰ-2 研修生41名）

キャリアⅠの概念：指導を受けながら、マニュアルにそって看護を実践する

| 研修名<br>日/場所         | 時間              | 科目                                   | 目標  | 内容   | 講師  |
|---------------------|-----------------|--------------------------------------|---|--|---|
| キャリアⅠ-1             | 10:25           | 集合                                   |   |  | 研修担当  |
|                     | 10:30～<br>10:50 | 看護部長挨拶、オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |   |  |   |
| ①8/10               | 10:50～<br>12:00 | セルフコントロール                            | 組織の一員としての自覚を持ち、自己の考えを表現できる                  | ・セルフコントロールとは<br>・自己表現の3つのタイプ<br>・ロールプレイ                              | 嶋根久美子<br>副看護師長<br>精神看護<br>専門看護師                             |
| ②8/17               | 13:00～<br>14:10 | 感染管理                                 | 感染管理の視点で患者環境を整えることができる<br>感染管理における患者指導ができる  | ・感染対策の視点で環境を整える<br>・患者、家族指導のポイント                                     | 田中良枝<br>副看護師長<br>感染管理                                       |
|                     | 14:20～<br>15:30 | 看護研究                                 | 実践における看護研究の意義を理解する<br>看護研究とは何かを理解する         | ・看護研究をする意義<br>・看護研究の進め方  | 石川彩実<br>看護師   |
| 8/10<br>西館12階<br>講堂 | 15:40～<br>16:50 | 災害看護                                 | 災害や火災発生時、アクションカードに従って率先して行動できる              | 災害発生時に必要な知識・技術<br>・災害の種類と特徴<br>・災害サイクルに応じた看護の視点<br>・役割分担<br>・平時からの準備 | 坂本美志<br>看護師長<br>災害対策委員会<br>委員長                              |
| 8/17<br>東11C<br>会議室 | 16:50～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |   |  | 研修担当  |
| キャリアⅠ-2             | 10:25           | 集合                                   |   |  | 研修担当  |
|                     | 10:30～<br>10:40 | オリエンテーション、身だしなみチェック                  |   |  |   |
| ①10/16              | 10:40～<br>12:00 | 臨床推論                                 | 急性期病院の看護師が臨床推論を学ぶ目的を理解する                    | S-QUEを使用しての学習  | 海老名哲生<br>皮膚排泄ケア<br>特定認定看護師<br><br>坪内亜希子<br>認知症看護<br>特定認定看護師 |
| ②10/26              | 13:00～<br>15:00 | 看護倫理                                 | 専門職としての倫理・行動指針について、事例を通して説明できる              | 日常の看護ケアで考える倫理<br>(ナーシングスキル)  | 石垣靖子<br>北海道医療大学<br>名誉教授                                     |
|                     | 15:10～<br>16:50 | 地域看護                                 | 地域包括ケアシステムにおける病院看護師の役割を認識し、他職種との連携の必要性を理解する | 病院看護師が行う入退院支援<br>(ナーシングスキル)  | 石原ゆきゑ<br>昭和大学<br>老人看護<br>専門看護師                              |
| 西館12階<br>講堂         | 16:50～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |   |  | 研修担当  |

キャリアⅡ研修（Ⅱ-1 研修生37名 ・ Ⅱ-2 研修生35名）

キャリアⅡの概念：自立して標準的な看護を実践し、メンバーシップを発揮する、受け持ち看護師として自立する

| 研修名<br>日/場所  | 時間              | 科目                                   | 目標   | 内容   | 講師  |
|--------------|-----------------|--------------------------------------|--|--|---|
| キャリアⅡ-1      | 10:25           | 集合                                   |  |  | 研修担当  |
|              | 10:30～<br>10:50 | 看護部長挨拶、オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |  |  |   |
| ①9/6         | 10:50～<br>12:20 | 臨床推論                                 | 各論に沿って学習を行うことで、臨床推論力をつける                                   | S-QUEを使用しての学習  | 伏見順子<br>認知症看護<br>特定認定看護師<br><br>鈴木菜々<br>摂食嚥下障害看護<br>特定認定看護師 |
|              | ②9/13           | 13:20～<br>15:20                      | 医療安全   | 医療安全の考え方を理解する(チームステップス/講義)<br>リアリティのある危険認知能力を高め、患者安全に対する意識をもって行動する   | ・コミュニケーションエラー場面を共有する<br>・「チームSTEPPS」とは                      |
|              | 15:30～<br>16:50 | 人材育成                                 | プリセプターシップについて理解し、その役割を果たすための準備をする                          | ・人を育てるとは<br>・プリセプターの役割について<br>・卒後臨床研修について                            | 土田裕美<br>副看護部長   |
| 西館12階<br>講堂  | 16:50～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |  |  | 研修担当  |
| キャリアⅡ-2      | 10:25           | 集合                                   |  |  | 研修担当  |
|              | 10:30～<br>10:40 | オリエンテーション、身だしなみチェック                  |  |  |   |
| ①11/8        | 10:40～<br>12:20 | セルフコントロール                            | 他者との関係を築き自分の感情をコントロールし自己の役割を果たすことができる                      | ・自分の考え方の傾向を知る<br>・セルフコントロールに役立つ方法                                    | 嶋根久美子<br>副看護師長<br>精神看護<br>専門看護師                             |
| ②11/15       | 13:20～<br>15:00 | 接遇<br>コミュニケーション                      | 自分の伝えたいことを適切に表現し、自分も相手もストレスを感じないコミュニケーションがとれるようになる         | アサーティブコミュニケーション<br>(ナーシングスキル)  | 船見敏子<br>ハビネス<br>ワーキング<br>代表取締役                              |
| ①西館12階<br>講堂 | 15:10～<br>16:50 | 地域看護                                 | 地域包括ケアシステムにおける病院看護師の役割を認識し、他職種と連携を図り、患者の生活を見据えた支援の必要性を理解する | ・地域包括ケアシステムにおける病院看護師に求められる役割<br>・院内外での他職種連携<br>・実際に退院支援する看護師として大切なこと | 坂上朋子<br>看護師長  |
| ②東11C<br>会議室 | 16:50～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |  |  | 研修担当  |

キャリアⅢ研修（Ⅲ-1・2・3 研修生 各25名）

キャリアⅢの概念：個別的な看護を実践し、リーダーシップを発揮する、日替わりリーダーおよび新人指導ができる

| 研修名<br>日/場所                                    | 時間                            | 科目                                   | 目標  | 内容   | 講師  |
|--|-------------------------------|--------------------------------------|---|--|---|
| キャリアⅢ-1<br>6/21<br>6/22<br>6/23<br>東11<br>C会議室 | いずれかの<br>日程に参加<br>1人1時間<br>程度 | OSCE<br>(客観的臨床<br>能力試験)              | 急性期病院の看護師として高齢化、<br>多様化する臨床現場に対応できる看<br>護実践力を身につける                                      | 実技試験<br>(事例は予め提示します)<br>→OSCE終了後、関連図を描き、<br>アセスメント内容を振り返る          | 中村真理子<br>クリティカルケア<br>認定看護師<br><br>名取宏樹<br>クリティカルケア<br>認定看護師 |
| キャリアⅢ-2  | 10:25                         | 集合                                   |   |  | 研修担当  |
| ①10/11<br><br>②10/17<br><br>東11<br>C会議室        | 10:30～<br>10:50               | 看護部長挨拶、オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |   |  | 研修担当  |
|  | 10:50～<br>12:00               | セルフ<br>コントロール                        | 他者との関係を築き自分の感情をコ<br>ントロールし自分がとるべき姿勢を<br>考え行動できる   | ・プリセプターの役割を再認識する<br>・指導の実践を考察した内容を共有<br>し、以後の指導について具体的な<br>方法を見いだす | 嶋根久美子<br>副看護師長<br>精神看護<br>専門看護師                             |
|  | 13:00～<br>14:40               | 人材育成                                 | プリセプターの役割をふまえ指導案<br>を具体化する<br>プリセプターとしての実践を振り返<br>り、課題を明確にし指導案を修正する                     | 臨床コーチング<br>(ナーシングスキル)  | 土田裕美<br>副看護部長   |
|  | 14:50～<br>16:50               | 人材育成                                 | コーチング基本スキルの「聴く」「質<br>問する」「承認する」ことの意味合い<br>や、その効果、コーチングの会話を<br>学ぶ                        | 臨床コーチング<br>(ナーシングスキル)  | 田丸 司<br>偕行会リハビリ<br>テーション病院<br>病院長                           |
|  | 16:50～<br>17:15               | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |   |  | 研修担当  |
| キャリアⅢ-3  | 10:25                         | 集合                                   |   |  | 研修担当  |
| ①12/13<br><br>②12/15<br><br>東11<br>C会議室        | 10:30～<br>10:40               | オリエンテーション、身だしなみチェック                  |   |  | 研修担当  |
|  | 10:40～<br>12:00               | 看護倫理                                 | 日常の臨床場面において倫理的に配<br>慮した看護を実践できる   | 日常の看護ケアで考える倫理<br>(ナーシングスキル)  | 石垣靖子<br>北海道医療大学<br>名誉教授                                     |
|  | 13:10～<br>15:10               | 看護倫理                                 | 医療安全 医療安全の考え方を理解<br>する<br>(チームステップス/演習)<br>リアリティのある危険認知能力を高<br>め、患者安全に対する意識をもって<br>行動する | ・「チームSTEPPS」とは(復習)<br>・「チームSTEPPS」ツールを使っ<br>た演習                    | 榎本康世<br>技監兼看護師長<br>医療安全管理室                                  |
|  | 15:20～<br>16:50               | リフレクション                              | 自己の実践を振り返り、行動変容に<br>つなげる  | ・体験から学ぶ<br>・リフレクションの実際   | 朝比奈<br>看護師長   |
|  | 16:50～<br>17:15               | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |   |  | 研修担当  |



キャリアIV研修 (IV-1 研修生22名 ・ IV-2 研修生21名)

キャリアIVの概念：熟練した看護を実践し、チーム医療を推進する

受け持ち看護師としてのモデルとなり、サブリーダーができる

| 研修名<br>日/場所  | 時間              | 科目                                   | 目標   | 内容   | 講師   |
|--------------|-----------------|--------------------------------------|--|--|--|
| キャリア<br>IV-1 | 10:25           | 集合                                   |  |  | 研修担当   |
| 8/24         | 10:30～<br>10:50 | 看護部長挨拶、オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |  |  |  |
|              | 10:50～<br>12:00 | 看護<br>マネジメント                         | サブリーダーとしてマネジメントの<br>基礎を学ぶ 目標管理、BSCを理解<br>する  | ・看護マネジメントと目標管理<br>・SWOT分析、BSCの手法                         | 井上暢子<br>副看護部長  |
|              | 13:00～<br>15:30 | 医療安全                                 | 医療安全の考え方を理解する<br>(RCA分析)<br>安全な組織を支えるために管理的視<br>点で行動できる能力を高める<br>危機の回避や対応に対して後輩のモ<br>デルとなって指導できる | ・ヒューマンエラー<br>・根本原因分析(RCA)の概要<br>・根本原因分析(RCA)の手順<br>・注意事項 | 塚本ひとみ<br>主任看護師<br>医療安全管理室                                |
|              | 15:40～<br>16:50 | セルフ<br>コントロール                        | 自分の立場を認識し、前向きに感情<br>をコントロールできる   | ・ハラスメントのない職場作り   | 井上暢子<br>副看護部長  |
| 西館12階<br>講堂  | 16:50～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |  |  | 研修担当   |
| キャリア<br>IV-2 | 12:55           | 集合                                   |  |  | 研修担当   |
| 12/14        | 13:00～<br>13:10 | オリエンテーション、身だしなみチェック                  |  |  |  |
|              | 13:10～<br>14:40 | 臨床推論                                 | 臨床推論を用いて看護実践力を身に<br>つける  | 事例検討   | 渡部美尚子<br>放射線看護<br>特定認定看護師<br>鈴木菜々<br>摂食嚥下障害看護<br>特定認定看護師 |
|              | 14:45～<br>15:45 | キャリアデザ<br>イン                         | 今後のキャリアデザインを描く   | 領域別キャリアについて  | 土田裕美<br>副看護部長  |
|              | 15:50～<br>17:00 | リフレクション                              | 実践を多様な観点から振り返り、行<br>動変容につなげる   | ・体験から学ぶ<br>・リフレクションの実際                                   | 朝比奈ひろみ<br>看護師長   |
| 西館12階<br>講堂  | 17:00～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |  |  | 研修担当   |

キャリアIVフォローアップ研修（研修生13名）

キャリアIVの概念：熟練した看護を実践し、チーム医療を推進する

受け持ち看護師としてのモデルとなり、サブリーダーができる

| 研修名<br>日/場所           | 時間              | 科目                                   | 目標  | 内容                        | 講師   |
|-----------------------|-----------------|--------------------------------------|---|---------------------------|--|
| キャリアIV<br>フォロー<br>アップ |                 | 集合                                   |   |                           | 研修担当   |
|                       | 8:45            | 看護部長挨拶、オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |   |                           |  |
|                       | 8:55～<br>9:55   | 組織的<br>役割遂行能力                        | 病院や看護部から求められる役割を認識し、チーム医療を推進する。所属部署の目標達成に向けたマネジメント力を発揮する<br>チーム運営ではサブリーダーの役割を遂行する               | 医療・看護の動向と<br>看護部指針        | 青山治子<br>看護部長   |
|                       | 10:05～<br>12:05 | 地域看護                                 | 地域包括ケアシステムにおける病院看護師の役割を果たし、なぜ看看連携が重要なのかを訪問看護の視点から学び、「医療」と「生活」の両方の視点を持ち病院看護師としての役割を果し継続した支援に取り組む | 看看連携に必要な視点<br>～訪問看護の立場から～ | 金坂宇将<br>ケアプロ株式会社<br>在宅療養事業部<br>事業部長<br>ケアプロ訪問看護<br>ステーション<br>東京管理者 |
| 東11C<br>多目的室          | 12:05～<br>12:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                   |   |                           | 研修担当   |

|       |           |  |   |
|-------|-----------|--|---|
| 【OJT】 | 倫理カンファレンス | 倫理綱領に基づいた責任ある看護実践を行うために、倫理原則を用いて倫理カンファレンスを実施する<br>自らファシリテーターとなり自部署の倫理的感性を高める | 看護倫理委員会の書式に則り実施し、1月末までにクリニカルラダー委員会に提出する |
|       | RCA分析     | 自部署(状況により他部署)で行うRCA分析に参加し、医療安全に関する意識を高める                                     | 1月末までに、実施日をクリニカルラダー委員会に報告する             |

キャリアM-V研修 (M-V-1・2・3 研修生各3名)

キャリアM-Vの概念：チーム医療の要となり創造的にリーダーシップを発揮する  
 固定チームナーシングにおけるチームリーダーができる

| 研修名<br>日/場所            | 時間              | 科目                            | 目標   | 内容  | 講師  |
|------------------------|-----------------|-------------------------------|--|---|---|
| キャリア<br>M-V-1<br>(V共通) | 10:25           | 集合                            |  |   | 研修担当  |
|                        | 10:30~<br>10:50 | オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |  |   |   |
| 7/13                   | 10:50~<br>12:00 | 資源管理                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報を敏感にキャッチする必要性を認識し、看護・医療の方向性を考える</li> <li>現行の保険制度を理解し、患者個々に応じた看護サービスを提供する知識を高める</li> </ul>                     | 医療・看護の動向と 看護部指針                                   | 青山治子<br>看護部長  |
|                        | 13:00~<br>14:10 | 資源管理                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>当院の目指す医療を理解する</li> <li>自らの看護が病院収入につながっていることの認識を高め、看護部が病院経営に関与していることを理解する</li> </ul>                               | 病院指針と病院経営   | 小長井健司<br>事業管理部長                                       |
|                        | 14:20~<br>15:30 | ヘルスケア<br>システム論                | <ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬のしくみ、内容を再確認できる</li> <li>診療報酬改定の動きから、医療機関が期待されていることを理解する</li> <li>看護に関する診療報酬上の評価ができる</li> </ul>                | 初学者のための診療報酬・介護報酬のしくみ(ナーシングスキル)                    | 坂本すが<br>東京医療保険大学/<br>大学院/副学長                          |
|                        | 15:40~<br>16:50 | ヘルスケア<br>システム論                | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア時代における社会保障制度の動向について理解できる</li> <li>生活を支えるための医療・介護について理解できる</li> <li>地域全体で連携を強化していく看護師の役割について理解できる</li> </ul> | 社会保障制度の動向<br>-地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割-<br>(ナーシングスキル) | 櫃本真事<br>四国医療産業<br>研究所所長<br>日本医師会総合<br>政策研究機構<br>客員研究員 |
|                        | 16:50~<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ            |  |   | 研修担当  |
| キャリア<br>M-V-2<br>(V共通) | 10:25           | 集合                            |  |   | 研修担当  |
|                        | 10:30~<br>10:50 | オリエンテーション、身だしなみチェック           |  |   |   |
| 9/28                   | 10:50~<br>12:00 | 組織管理論                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理的感受性を持ち、日常の臨床の現場に発生する臨床倫理の問題に気づく能力を高め、スタッフと共に倫理上の問題について、最善の対応策を見いだすことができる</li> </ul>                            | 管理者に求められる<br>倫理的なリーダーシップ<br>(ナーシングスキル)            | 石垣靖子<br>北海道医療大学<br>名誉教授                               |
|                        | 13:00~<br>14:30 | 人材管理                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフコントロールができ、アサーティブなコミュニケーションがとれ、他者との信頼関係を築き調整ができる</li> </ul>   | アサーティブコミュニケーション<br>(ナーシングスキル)                     | 船見敏子<br>日本傾聴力協会代表<br>株式会社ハビネス<br>ワーキング代表<br>取締役       |
|                        | 14:40~<br>15:30 | 質管理                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全に対し管理的視点で行動でき、モデルとなり、後輩に指導ができる</li> </ul>   | リスクマネジメント   | 塚本ひとみ<br>主任看護師<br>医療安全管理室                             |
|                        | 15:40~<br>16:50 | 人材管理                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア開発の概念を理解し、倫理観をもって看護実践ができ、スタッフへのキャリア支援ができる</li> </ul>  | キャリア開発  | 土田裕美<br>副看護部長   |
| 東館11階<br>C会議室          | 16:50~<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ            |  |   | 研修担当  |

| 研修名<br>日/場所   | 時間              | 科目   | 目標   | 内容                             | 講師                               |
|---------------|-----------------|--|--|--------------------------------|----------------------------------|
| キャリア<br>M-V-3 | 10:25           | 集合   |  |                                | 研修担当                             |
|               | 10:30~<br>10:50 | オリエンテーション、研修前レポート記入                          |  |                                |                                  |
| 11/22         | 10:50~<br>12:00 | 組織管理論<br>(組織マネジメント概論)<br>人材管理<br>(労務管理の基礎知識) | ・組織マネジメントや看護管理の基礎知識を学び、中間管理者の役割を理解する                                   | 看護管理(感染・個人情報含む)                | 市川昭美<br>副看護部長                    |
|               | 13:00~<br>14:10 | 組織管理論<br>(組織マネジメント概論)                        | ・自己の管理観を深め、看護実践の活用に結びつける   | M-V研修終了者による実践報告、グループワーク        | 救急外来<br>吉澤和弘看護師<br>手術室<br>木村慧看護師 |
|               | 14:20~<br>15:30 | 人材管理<br>(看護チームのマネジメント)                       | ・スタッフとより良い人間関係を構築するために必要なコミュニケーション力を学ぶ・リーダーに必要な資質リーダーシップ、フォロワーシップを理解する | リーダーシップ&フォロワーシップ<br>(ナースングスキル) | 畑埜義雄<br>和歌山県立医科大学<br>名誉教授        |
|               | 15:40~<br>16:50 | 組織管理論<br>(論理的思考技法)                           | ・目標管理とは何か全体像を理解できる・目標設定、目標達成度評価のポイントを理解できる                             | 目標管理                           | 井上暢子<br>副看護部長                    |
| 東館11階<br>多目的室 | 16:50~<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ                           |  |                                | 研修担当                             |
| キャリア<br>M-V-4 | 13:25           | 集合   |  |                                |                                  |
| 2024/<br>2/20 | 13:25~<br>13:30 | オリエンテーション                                    |  |                                | 研修担当                             |
|               | 13:30~<br>16:30 | 課題発表会  |  |                                | 研修担当                             |
| 東館11階<br>多目的室 | 16:30~<br>17:15 | 今後のスケジュール(実践報告について)                          |  |                                | 研修担当                             |

キャリアM-V実践報告および副看護師長代行実践報告 (M-V 4名・副師長代行 4名)

| 研修名         | 月/日           | 時間/場所                    | 内容       | 評価者                         |
|-------------|---------------|--------------------------|----------|-----------------------------|
| M-V<br>実践報告 | 6月            |                          | 実践計画書提出  |                             |
|             | 10月           |                          | 中間報告書    |                             |
|             | 2024/<br>1月末  |                          | 最終報告提出   |                             |
|             | 2024/<br>2/16 | 13:30~17:15<br>東館11階多目的室 | M-V実践報告会 | 看護部長<br>副看護部長<br>クリニカルラダー委員 |
| 副看護師長<br>代行 | 2024/<br>1/16 | 15:00~17:00<br>東館11階多目的室 | 実践報告     | 看護部長<br>副看護部長<br>クリニカルラダー委員 |

キャリアP-V・S-V研修（P-V研修生3名・S-V研修生1名）

キャリアP-Vの概念：医療技術と知識を用いて水準の高い看護実践を行い、チーム医療の推進者として役割を發揮する

キャリアS-Vの概念：特定の看護ケア分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践・指導・相談を行い、看護の質向上のためにリーダーシップを發揮する

| 研修名<br>日/場所                  | 時間              | 科目                            | 目標  | 内容  | 講師  |
|------------------------------|-----------------|-------------------------------|---|---|---|
| キャリア<br>S・P-<br>V-1<br>(V共通) | 10:25           | 集合                            |   |   | 研修担当  |
|                              | 10:30～<br>10:50 | オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |   |   |   |
| 7/13                         | 10:50～<br>12:00 | 資源管理                          | ・医療情報を敏感にキャッチする必要性を認識し、看護・医療の方向性を考える・現行の保険制度を理解し、患者個々に応じた看護サービスを提供する知識を高める            | 医療・看護の動向と看護部指針                                    | 青山治子<br>看護部長  |
|                              | 13:00～<br>14:10 | 資源管理                          | ・当院の目指す医療を理解する・自らの看護が病院収入につながっていることの認識を高め、看護部が病院経営に関与していることを理解する                      | 病院指針と病院経営   | 小長井健司<br>事業管理部長                                       |
|                              | 14:20～<br>15:30 | ヘルスケア<br>システム論                | ・診療報酬のしくみ、内容を再確認できる・診療報酬改定の動きから、医療機関が期待されていることを理解する・看護に関する診療報酬上の評価ができる                | 初学者のための診療報酬・介護報酬のしくみ(ナースングスキル)                    | 坂本すが<br>東京医療保険大学<br>/大学院副学長                           |
|                              | 15:40～<br>16:50 | ヘルスケア<br>システム論                | ・地域包括ケア時代における社会保障制度の動向について理解できる・生活を支えるための医療・介護について理解できる・地域全体で連携を強化していく看護師の役割について理解できる | 社会保障制度の動向<br>-地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割-<br>(ナースングスキル) | 櫃本真事<br>四国医療産業研<br>究所所長<br>日本医師会総合<br>政策研究機構<br>客員研究員 |
|                              | 16:50～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ            |   |   | 研修担当  |
| キャリア<br>S・P-<br>V-2<br>(V共通) | 10:25           | 集合                            |   |   | 研修担当  |
|                              | 10:30～<br>10:50 | オリエンテーション、身だしなみチェック           |   |   |   |
| 9/28                         | 10:50～<br>12:00 | 組織管理論                         | ・倫理的感受性を持ち、日常の臨床の現場に発生する臨床倫理の問題に気づく能力を高め、スタッフと共に倫理上の問題について、最善の対応策を見いだすことができる          | 管理者に求められる<br>倫理的なリーダーシップ<br>(ナースングスキル)            | 石垣靖子<br>北海道医療大学<br>名誉教授                               |
|                              | 13:00～<br>14:30 | 人材管理                          | ・セルフコントロールができ、アサーティブなコミュニケーションがとれ、他者との信頼関係を築き調整ができる                                   | アサーティブコミュニケーション<br>(ナースングスキル)                     | 船見敏子<br>日本傾聴力協会代表<br>株式会社ハピネス<br>ワーキング代表<br>取締役       |
|                              | 14:40～<br>15:30 | 質管理                           | ・医療安全に対し管理的視点で行動でき、モデルとなり、後輩に指導ができる   | リスクマネジメント   | 塚本ひとみ<br>主任看護師<br>医療安全管理室                             |
|                              | 15:40～<br>16:50 | 人材管理                          | ・キャリア開発の概念を理解し、倫理観をもって看護実践ができ、スタッフへのキャリア支援ができる  | キャリア開発  | 土田裕美<br>副看護部長   |
| 東館11階<br>C会議室                | 16:50～<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ            |   |   | 研修担当  |

キャリアG-V研修 (G-V-1・2・3・4 各研修生3名)

キャリアG-Vの概念：看護の実践者として役割モデルとなる

| 研修名<br>日/場所                      | 時間                     | 科目  | 目標   | 内容   | 講師  |                            |
|----------------------------------|------------------------|---|--|--|---|----------------------------|
| キャリア<br>G-V-1<br>(V共通)           | 10:25                  | 集合  |  |  | 研修担当  |                            |
|                                  | 10:30~<br>10:50        | オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入   |  |  |   |                            |
|                                  | 10:50~<br>12:00        | 資源管理  | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報を敏感にキャッチする必要性を認識し、看護・医療の方向性を考える</li> <li>現行の保険制度を理解し、患者個々に応じた看護サービスを提供する知識を高める</li> </ul>                     | 医療・看護の動向と看護部指針   | 青山治子<br>看護部長  |                            |
|                                  | 13:00~<br>14:10        | 資源管理  | <ul style="list-style-type: none"> <li>当院の目指す医療を理解する</li> <li>自らの看護が病院収入につながっていることの認識を高め、看護部が病院経営に関与していることを理解する</li> </ul>                               | 病院指針と病院経営  | 小長井健司<br>事業管理部長                                       |                            |
|                                  | 14:20~<br>15:30        | ヘルスケアシステム論  | <ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬のしくみ、内容を再確認できる</li> <li>診療報酬改定の動きから、医療機関が期待されていることを理解する</li> <li>看護に関する診療報酬上の評価ができる</li> </ul>                | 初学者のための診療報酬・介護報酬のしくみ<br>(ナーシングスキル)   | 坂本すが<br>東京医療保険大学/<br>大学院/副学長                          |                            |
| 東11階<br>C会議室                     | 15:40~<br>16:50        | ヘルスケアシステム論  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア時代における社会保障制度の動向について理解できる</li> <li>生活を支えるための医療・介護について理解できる</li> <li>地域全体で連携を強化していく看護師の役割について理解できる</li> </ul> | 社会保障制度の動向<br>—地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割—<br>(ナーシングスキル)  | 櫃本真幸<br>四国医療産業<br>研究所所長<br>日本医師会<br>総合政策研究機構<br>客員研究員 |                            |
|                                  | 16:50~<br>17:15        | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ<br>コーディネーター研修について  |  |  | 研修担当  |                            |
|                                  | キャリア<br>G-V-2<br>(V共通) | 10:25   | 集合   |  |   | 研修担当                       |
|                                  | 10:30~<br>10:50        | オリエンテーション、身だしなみチェック   |  |  |   |                            |
| 9/28                             | 10:50~<br>12:00        | 組織管理論   | <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理的感受性を持ち、日常の臨床の現場に発生する臨床倫理の問題に気づく能力を高め、スタッフと共に倫理上の問題について、最善の対応策を見いだすことができる</li> </ul>                            | 管理者に求められる倫理的なリーダーシップ<br>(ナーシングスキル)   | 石垣靖子<br>北海道医療大学<br>名誉教授                               |                            |
|                                  | 13:00~<br>14:30        | 人材管理  | <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフコントロールができ、アサーティブなコミュニケーションがとれ、他者との信頼関係を築き調整ができる</li> </ul>   | アサーティブ<br>コミュニケーション<br>(ナーシングスキル)  | 船見敏子<br>日本傾聴力協会代表<br>株式会社ハピネス<br>ワーキング代表<br>取締役       |                            |
|                                  | 14:40~<br>15:30        | 質管理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全に対し管理的視点で行動でき、モデルとなり、後輩に指導ができる</li> </ul>   | リスクマネジメント  | 塚本ひとみ<br>主任看護師<br>医療安全管理室                             |                            |
| 【G-Vのみ<br>会場異動】<br>東館11階<br>多目的室 | 15:40~<br>16:50        | 質管理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理観を養い自己の看護観を再認識することができる</li> <li>自己の看護を語ることで、部署・施設の看護実践能力の向上をはかることができる</li> </ul>                                | ナラティブ・アプローチ  | 澤口展子<br>看護師長  |                            |
|                                  | 16:50~<br>17:15        | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ  |  |  | 研修担当  |                            |
| キャリア<br>G-V-3                    | 13:25                  | 集合  |  |  | 研修担当  |                            |
| 12/11                            | 13:30~<br>13:40        | オリエンテーション、身だしなみチェック   |  |  |   |                            |
|                                  | 13:40~<br>16:50        | 質管理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理観を養い自己の看護観を再認識することができる</li> <li>自己の看護を語ることで、部署・施設の看護実践能力の向上をはかることができる</li> </ul>                                | ナラティブ事例発表会   | 澤口展子<br>看護師長<br>畠沢喜代子<br>副看護師長                        |                            |
| 東館11階<br>多目的室                    | 16:50~<br>17:15        | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ  |  |  | 研修担当  |                            |
| キャリア<br>G-V-4                    | 9/20                   | 14:20~<br>15:45予定<br>集合時間等<br>詳細は後日   | 人材管理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア研修のグループワークに参加し、目的に合わせて研修生の意見を引き出すことができる</li> <li>自己の看護観を再認識し、看護を考慮することができる</li> </ul> | コーディネーター研修  | G-V研修担当<br>卒後臨床研修<br>副看護師長 |
| 西館12階<br>講堂                      |                        | 卒後研修3にコーディネータとして参加する予定<br>参加時間については詳細が決まり次第連絡する<br>研修修了後コーディネート自己評価と感想レポートを記入する |  |  |   |                            |

キャリアG-Vフォローアップ研修 (研修生6名)

キャリアG-Vの概念：看護の実践者として役割モデルとなる

| 研修名<br>日/場所                      | 時間              | 科目                            | 目標   | 内容  | 講師  |
|----------------------------------|-----------------|-------------------------------|--|---|---|
| 聴講キャリア<br>G-V-1<br>(V共通)         | 10:25           | 集合                            |  |   | 研修担当  |
|                                  | 10:30~<br>10:50 | オリエンテーション、身だしなみチェック、研修前レポート記入 |  |   |   |
| 7/13                             | 10:50~<br>12:00 | 資源管理                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報を敏感にキャッチする必要性を認識し、看護・医療の方向性を考える</li> <li>現行の保険制度を理解し、患者個々に応じた看護サービスを提供する知識を高める</li> </ul>                     | 医療・看護の動向と看護部指針                                    | 青山治子<br>看護部長  |
|                                  | 13:00~<br>14:10 | 資源管理                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>当院の目指す医療を理解する</li> <li>自らの看護が病院収入につながっていることの認識を高め、看護部が病院経営に関与していることを理解する</li> </ul>                               | 病院指針と病院経営   | 小長井健司<br>事業管理部長                                       |
|                                  | 14:20~<br>15:30 | ヘルスケアシステム論                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬のしくみ、内容を再確認できる</li> <li>診療報酬改定の動きから、医療機関が期待されていることを理解する</li> <li>看護に関する診療報酬上の評価ができる</li> </ul>                | 初学者のための診療報酬・介護報酬のしくみ<br>(ナースングスキル)                | 坂本すが<br>東京医療保険大学<br>/大学院副学長                           |
|                                  | 15:40~<br>16:50 | ヘルスケアシステム論                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア時代における社会保障制度の動向について理解できる</li> <li>生活を支えるための医療・介護について理解できる</li> <li>地域全体で連携を強化していく看護師の役割について理解できる</li> </ul> | 社会保障制度の動向<br>—地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割—<br>(ナースングスキル) | 櫃本真事<br>四国医療産業<br>研究所所長<br>日本医師会<br>総合政策研究機構<br>客員研究員 |
|                                  | 16:50~<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ            |  |   | 研修担当  |
| 聴講キャリア<br>G-V-2<br>(V共通)         | 10:25           | 集合                            |  |   | 研修担当  |
|                                  | 10:30~<br>10:50 | オリエンテーション、身だしなみチェック           |  |   |   |
| 9/28                             | 10:50~<br>12:00 | 組織管理論                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理的感受性を持ち、日常の臨床の現場に発生する臨床倫理の問題に気づく能力を高め、スタッフと共に倫理上の問題について、最善の対応策を見いだすことができる</li> </ul>                            | 管理者に求められる倫理的なリーダーシップ<br>(ナースングスキル)                | 石垣靖子<br>北海道医療大学<br>名誉教授                               |
|                                  | 13:00~<br>14:30 | 人材管理                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフコントロールができ、アサーティブなコミュニケーションがとれ、他者との信頼関係を築き調整ができる</li> </ul>   | アサーティブ<br>コミュニケーション<br>(ナースングスキル)                 | 船見敏子<br>日本傾聴力協会代表<br>株式会社ハビネス<br>ワーキング<br>代表取締役       |
|                                  | 14:40~<br>15:30 | 質管理                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全に対し管理的視点で行動でき、モデルとなり、後輩に指導ができる</li> </ul>   | リスクマネジメント   | 塚本ひとみ<br>主任看護師<br>医療安全管理室                             |
| 【G-Vのみ<br>会場異動】<br>東館11階<br>多目的室 | 15:40~<br>16:50 | 質管理                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理観を養い自己の看護観を再認識することができる</li> <li>自己の看護を語ることで、自部署・施設の看護実践能力の向上をはかることができる</li> </ul>                               | ナラティブ・アプローチ                                       | 澤口展子<br>看護師長  |
|                                  | 16:50~<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ            |  |   | 研修担当  |
| キャリア<br>G-V-3<br>フォローアップ         | 13:25           | 集合                            |  |   | 研修担当  |
|                                  | 13:30~<br>13:40 | オリエンテーション、身だしなみチェック           |  |   |   |
| 12/11                            | 13:40~<br>16:50 | 質管理                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理観を養い自己の看護観を再認識することができる</li> <li>自己の看護を語ることで、自部署・施設の看護実践能力の向上をはかることができる</li> </ul>                               | ナラティブ事例発表会  | 澤口展子<br>看護師長<br>畠沢喜代子<br>副看護師長                        |
| 東館11階<br>多目的室                    | 16:50~<br>17:15 | 研修受講後レポート記入・提出、まとめ            |  |   | 研修担当  |

新看護師長・新副看護師長研修

研修責任者：看護部 教育担当 土田

- 【目的】 1. 管理監督者の役割を自覚し、必要な情報や知識を看護管理に活かす  
 2. 新たな課題に向けて挑戦することを動機づけし、問題解決能力を向上させる

- 【目標】 1. 組織を理解し、病院運営の参画と看護管理上の問題解決能力を養う  
 2. 人間関係能力を高め、リーダーシップを発揮する力を養う

【研修生】 看護師長：前島秀美・神保聡子・坂本美志・原木久美

副看護師長：佐藤卓也・望月雅貴・名取宏樹

| 回 | 月日           | 時間              | 科目                       | 目標   | 内容  | 講師・担当   |
|---|--------------|-----------------|--------------------------|--|---|---|
| ① | 7/13         | 10:30～<br>10:50 | オリエンテーション・自己紹介・研修前レポート記入 |  |   | 研修担当  |
|   |              | 10:50～<br>12:00 | 資源管理                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報を敏感にキャッチする必要性を認識し、看護・医療の方向性を考える</li> <li>現行の保険制度を理解し、患者個々に応じた看護サービスを提供する知識を高める</li> </ul>   | 医療・看護の動向と看護部指針                                | 青山治子<br>看護部長  |
|   |              | 13:00～<br>14:10 | 資源管理                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>当院の目指す医療を理解する</li> <li>自らの看護が病院収入につながっていることの認識を高め、看護部が病院経営に関与していることを理解する</li> </ul>   | 病院指針と病院経営                                     | 小長井健司<br>事業管理部長                                       |
|   |              | 14:20～<br>15:30 | ヘルスケアシステム                | <ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬のしくみ、内容を再確認できる</li> <li>診療報酬改定の動きから、医療機関が期待されていることを理解する・看護に関する診療報酬上の評価ができる</li> </ul>   | 初学者のための診療報酬・介護報酬のしくみ(ナースングスキル)                | 坂本すが<br>東京医療保険大学<br>大学院副学長                            |
|   |              | 15:40～<br>16:50 | ヘルスケアシステム                | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア時代における社会保障制度の動向について理解できる</li> <li>生活を支えるための医療・介護について理解できる・地域全体で連携を強化していく看護師の役割について理解できる</li> </ul>  | 社会保障制度の動向<br>-地域包括ケアシステムの牽引は看護師の役割-(ナースングスキル) | 櫃本真事<br>四国医療産業<br>研究所所長<br>日本医師会<br>総合政策研究<br>機構客員研究員 |
|   | 東11階<br>C会議室 | 16:50～<br>17:15 | まとめ                      |  |   | 研修担当  |
| ② | 8/25         | 10:00～<br>10:05 | オリエンテーション                |  |   | 土田  |
|   |              | 10:05～<br>12:00 | 人材育成                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>看護を取り巻く状況の変化と自部署の課題について検討する</li> <li>専門職として求められる学習の継続と実際とのギャップについて考察する</li> <li>看護管理者としての自己の学習の継続と課題を抽出する</li> <li>自部署の看護ケア提供システムの評価と人材育成・活用について検討する</li> <li>自施設・自部署のOJTの課題を抽出し、効果的なOJTについて検討する</li> </ul> | 人材育成の中核<br>看護ケア提供システムを通して考える<br>(ナースングスキル)    | 鶴田恵子<br>聖隷クリストファー大学<br>看護学部                           |
|   |              | 13:00～<br>16:00 | 組織管理                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床倫理の原則を理解する</li> <li>患者にとって最善を選択するための意思決定のプロセスを学び、そのためのACPのあり方を理解する</li> <li>臨床におけるアドボケートの意味、アドボケートとしての看護師の役割を理解する</li> <li>組織文化に臨床倫理を定着させるための医療チームのあり方を学ぶ</li> </ul>                                      | 管理者に求められる<br>倫理的なリーダーシップ<br>(ナースングスキル)        | 石垣靖子<br>北海道大学<br>名誉教授                                 |
|   |              | 16:00～<br>17:00 | 労務管理                     | 労務管理の基礎知識を学び看護管理者としての役割を理解する   | 労務管理の基礎知識<br>勤務表作成の留意点                        | 市川<br>副看護部長   |
|   | 東11階<br>C会議室 | 17:00～<br>17:15 | まとめ                      |  |   | 土田  |



| 回 | 月日                   | 時間              | 科目                       | 目標  | 内容   | 講師・担当                      |
|---|----------------------|-----------------|--------------------------|---|--|----------------------------|
| ③ | 11/13                | 10:00～<br>10:05 | オリエンテーション                |   |  | 土田                         |
|   |                      | 10:05～<br>12:30 | 質管理                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護サービスの「サービス業」の在り方について理解することができる</li> <li>・質保証と質向上の違いについて理解することができる</li> <li>・医療の質評価の枠組みについて理解することができる</li> <li>・ベンチマーキングについて理解し、看護サービスにおいて比較できる項目は何かを検討することができる</li> </ul>                                       | 看護サービスとは何か？<br>その質保証と評価<br>(ナーシングスキル)  | 金井Pak雅子<br>関東学院大学<br>教授    |
|   |                      | 13:30～<br>16:15 | 組織管理                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リフレクション(内省)と反省の違いを知る</li> <li>・看護マネジメントリフレクションの概念を理解する</li> <li>・看護マネジメントリフレクションの実践方法を学ぶ</li> </ul>   | 看護マネジメントリフレクション<br>(ナーシングスキル)  | 河野秀一<br>株式会社サフィール<br>代表取締役 |
|   | 東11階<br>多目的室         | 16:15～<br>16:25 | まとめ                      |   |  | 土田                         |
| ④ | 1/29<br>東11階<br>多目的室 | 14:00～<br>16:30 | R4年度研修生<br>フォローアップ<br>研修 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決過程PDCAサイクルの実際がわかる</li> <li>・部署運営における現状の問題の明確化につなげる</li> </ul> R4年度研修生実践報告8名<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・1人15分(発表8分・質疑応答7分)</li> <li>・パワポ 表紙を入れて8枚以内(両面印刷)</li> <li>提出期限：R6.1.24 10時</li> </ul> | R4年度研修生実践報告8名<br>〈看護師長〉<br>後藤 薫・坂上朋子・福田彩子<br>〈副看護師長〉<br>海老名哲生・石垣昭味・田中みか<br>永田 優・村松早希<br><br>R5年度研修生7名は聴講 | 土田                         |
| ⑤ | 2/27<br>東11階<br>多目的室 | 14:00～<br>16:30 | 個人発表<br>1年間の実践と<br>今後の課題 | 中間管理者としての1年間を振り返って課題を明確にし、今後の実践につなげる<br>R5年度研修生課題発表7名<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・1人15分(発表8分・質疑応答7分)</li> <li>・パワポ 表紙を入れて8枚以内(両面印刷)</li> <li>提出期限：R6.2.21. 10時</li> </ul>  | R5年度研修生 7名   | 土田                         |

## 認知症・せん妄看護委員会

### I. 目標

1. 認知症・せん妄患者の看護について知識を深め、患者・家族へのケアを実践できる
2. 認知症・せん妄患者に安全で安楽な療養環境を提供し、ケアできるように推進する
3. パーソン・センタード・ケアの視点に立ったケアの実践ができる

### II. 到達目標

1. 認知症アセスメント評価を正しく行い、予防ケアの推進ができる  
(認知症ケアチームに早期に介入依頼できる→身体抑制を減らす)
2. 病棟スタッフとともに、認知症デイケアの実践ができる
3. 部署の現状を把握し、問題提起(カンファレンス)ができる
4. せん妄リスクアセスメント評価を正しく行うための支援ができる

### III. 活動内容

毎回：認知症ケアチームのラウンド状況と活動報告、デイケア企画、準備、実践

- 5月：認知症アセスメント評価の入力状況、問題点や課題、今年度の目標について説明
- 6月：院内認知症デイケアの企画と運営について  
(リンクナースを4Gにわけ活動)  
せん妄ハイリスク患者ケア加算の算定について説明(嶋根副看護師長)
- 9月：パーソン・センタード・ケアの勉強会(伏見認定看護師)  
認知症ケア実践推進者研修を通じて(坪内認定看護師)
- 11月：「パーソン・センタード・ケアを目指した認知症ケアについて」(伏見認定看護師)
- 1月：GW 各部署での事例の共有、院内デイケア振り返り
- 3月：年間実践報告と次年度の課題(委員のみ)

### IV. 評価・課題

昨年度までは対象を認知症患者としてきた。委員会も6年目を迎え、今年から「せん妄」と「認知症」の違いを理解したうえでの活動を目指した。パーソン・センタード・ケアという認知症ケアの基本的な考え方を学び、それを部署に伝達し認知症看護の理解を深めた。院内認知症デイケアは毎週金曜15時から30分程度、東10談話室で体操や季節の催しを实践、延べ180名の参加があった。応援チームやNAの協力が得られたこともあり、2年前に比べ2倍の参加人数となった。委員以外のスタッフが参加することで、患者さんのいつもと

違う表情や、ボール遊びや輪投げに体を乗り出して参加する姿などに喜びを感じることができた。来年度は診療報酬改定がある。認知症ケアチームの早期介入と行動制限解除のためのカンファレンスを徹底し抑制を最小限にする取り組みにつなげていきたい。また、令和5年度6月に「認知症基本法」が成立した。増加する認知症の患者さんや家族をどう支えるのかが課題である。

(前島秀美)

## 固定チームナーシング委員会

### I. 目標

1. 固定チームナーシング ペアナーシング静岡病院方式の統一化・推進
2. 受け持ち看護師の役割強化
3. 看護必要度を正しく理解し、評価できる

### II. 到達目標

1. 看護方式  
(1) ペアナーシング静岡病院方式の継続  
(2) 受け持ち看護師の自己評価の実施
2. 令和4年度診療報酬改訂に伴う改訂事項を周知し、正しく評価する
3. 病棟内監査・院内監査を実施し、評価精度を向上させる

### III. 実践

- 5月 新人対象に重症度、医療・看護必要度研修を実施(講師：大石千晴)
- 7月 受け持ち看護師の自己評価 1回目(新人、副師長を除く)
- 8-9月 病棟看護師を対象にナーシングスキルを活用した必要度研修を実施
- 12月 受け持ち看護師の自己評価 2回目(副師長のみを除く)

### IV. 評価

今年度、ペアナーシングの院内統一の方向で活動を行った。ペアナーシングを開始してから5年経過し、各部署のペアナーシングの現状についてプレゼンテーションを実施し情報共有を行った。ペアナーシングのねらいは、「経験の差をお互いに補い合いながら安心・安全な看護の提供」「多職種が共有する記録をタイムリーに提供」することである。現状として「タイムリーな記録」「新人指導」の役割を果たしており、記録をタイムリーに実施することで患者さんの状況をタイムリーに情報共有することができている。また、先輩看護師と新人看護師などのペアナーシングで経験の差を補完することにより、新人看護師の成長につながり、新人看護師の独り立ちが9月から11月に行えている。しかし、一部では指導することが負担であること、ペ

アの必要性を感じないことを理由にペアを実施しない状況もあり、実践ではペアになっていることが難しくなっている。ペアナーシングの目的、活動内容を見直していくことが次年度の課題である。

受け持ち看護師の自己評価では前期より後期にポイントが軽度上昇し、受け持ち看護師の役割が発揮されている。受け持ち看護師として、計画評価や退院支援に関われないなどの課題もあり、今後取り組んでいく。  
(大石千晴)

## 看護部記録クリニカルパス委員会

### I. 目標と評価

#### 1. 正しく記録ができる

評価：病院機能評価を契機に、チーム医療の実践を記録する意義を見直された。各部署が目的意識を高めたことにより、面談への参加及び面談後の意思確認の記録の入力率は高まった。

#### 2. クリニカルパスマニュアルを整備する

評価：アウトカムの運用変更と共に、マニュアルを変更した。今後バリエーションを入力するにあたり、再度修正する。

#### 3. クリニカルパスの使用率を増加する

評価：クリニカルパスの使用率を、45%まで増加する事を目標値とした。2024年1月退院患者において47.7%のパス適用率であり、令和4年度の平均使用率38.2%、令和5年度4月42.1%から大幅に上昇した。医師・コメディカル・事務部門で協力してパス推進に取り組んだ成果であると考えられる。

#### 4. クリニカルパスのアウトカムを正しく評価する

評価：(1)クリニカルパスのアウトカムを、100%入力できる。

アウトカムの評価率は、2023年1月から2024年1月までで約85%（未評価率15%）だった。評価忘れ、パスを適応しても使用していないアウトカムがあること等が理由として考えられる。アウトカム未評価は今後バリエーションとして評価していくため、正確の入力と監査制度の確立が必要である。

(2)クリニカルパスのアウトカムを、評価しやすい内容に修正する。

記録システムを更新し、未達成のアウトカムはバリエーションを入力する方向とした。

### II. 総括

今後も、クリニカルパス委員会と連携しながら、患者用パスとアウトカムの修正・評価を行っていく事が求められる。バリエーションの入力により個別性のある患者の看護が表現されると共に、患者へのケアも見直さ

れ、より充実した看護が提供出来ることが望まれる。

また、パスが浸透した病棟の方が記録に関する時間外勤務が減少する傾向が見られた。看護師の記録に関する負担減少のためにも、パス活動の推進は必要不可欠である。

(河合王明)

## 緩和ケア・がん看護委員会

### I. 目標

1. 緩和ケアを必要とする患者、がん患者の苦痛を全人的にアセスメントできる
2. 多職種連携を図り適切なケアを切れ目なく行うことで患者のよりよく生きようとする力を引き出す看護を提供する

### II. 到達目標

1. 緩和ケアの必要な患者、がん患者にスクリーニングシートを用いて苦痛を評価することができる
2. 院内の緩和ケアチームおよび心不全チーム、専門看護師、認定看護師、がん相談支援センターの活動・役割を理解し、必要な患者をコンサルテーションすることができる
3. 緩和ケア、がん看護について必要な知識を得て患者・家族のケアに活かすことができる
4. STAS-Jを活用し多職種間で患者アセスメント、ケアについて検討することができる
5. 退院前・退院後訪問を行い患者の在宅療養支援を行う

### III. 活動内容

1. 専門・認定看護師、緩和ケアチーム、ハートケアチーム、がん相談支援センターから講義と報告  
5月 「生活のしやすさに関する質問表」「がん化学療法暴露について」「緩和ケアマニュアルについて」  
6月 「STAS-Jについて」「緩和ケアチーム活動について」「ハートケアチーム活動について」  
7月 「退院前・退院後訪問について」、  
9月 「がん放射線療法について」  
10月 「がん化学療法について」
2. STAS-J仮想症例にて演習（7月）STAS-J実症例にてGW（9月、10月、12月）

### IV. 評価・課題

今年度は終末期に限らずあらゆる疾患の患者さんを対象にその苦痛を適切に評価し必要に応じて専門職や専門チームと連携しチームアプローチができることを委員会の目標とした。前期は各専門、認定看護師の講義から緩和ケア、がん看護に関する知識と院内専門チームの活動内容の理解と周知を図った。また苦痛のスクリーニングとSTAS-Jの活用の定着を目指した。リンク

ナースは昨年度と入れ替わり、ほとんどがSTAS-Jについて認知はしていても活用したことがないという人が多かった。そこで実際に活用している部署の事例を用いて演習を行った。部署でSTASカンファレンスを実施できたのは16部署中10部署、集中治療系病棟、救急外来など患者さんとの関わりが短く対象患者の選定がしにくいという部署があったが仮想症例での学習会は実施された。循環器系病棟はハートケアチームを中心に緩和ケアチームと協働して別ツールでカンファレンスを実施していた。1事例につき2回STASカンファレンスを実施した部署ではツールを活用し継続的に評価することでケアを多角的に数値で評価でき患者さんや家族との関わりを積極的に持ちより個別的なケアに繋げることができたという意見が得られた。苦痛のスクリーニングは2月までに509件と入力が増加している。リンクナースには入力実績やツールの活用を目標とし活動してもらったが、緩和ケアを必要とする患者さんの苦痛を掬い上げ、チームで継続的に適切にケアをしていくことの有効性を実感してもらえよう活動内容を今後も検討していきたい。

(坂上朋子)

## 看護補助者委員会

### I. 目的

1. 看護補助者教育に必要な研修を企画・運営する
2. 日常業務における問題点を抽出し、改善を図る

### II. 目標

1. 看護師と看護補助者が協働出来る
2. タスクシフト・タスクシェアを考慮して教育・指導を行う

### III. 今年度到達目標

1. 看護補助者は自信を持って直接ケアに介入できる
2. 準夜勤者の病棟応援ができる
3. 看護補助者のやりがい感や達成感を向上できる

### IV. 活動内容

#### 1. 集合研修

| 日時     | 研修内容  | 受講人数 |
|--------|---|------|
| 7月28日  | 看護師と看護補助者との協働・守秘義務・個人情報の保護・倫理<br>講師：井上暢子副部長 | 70名  |
| 9月22日  | 看護補助業務における医用安全・BLS<br>講師：集中治療認定看護師<br>名取宏樹  | 88名  |
| 10月27日 | 食事介助と口腔ケア<br>講師：摂食・嚥下障害認定看護師<br>鈴木奈々        | 78名  |
| 11月24日 | 看護補助業務における感染防止<br>講師：感染管理認定看護師<br>七丈藍乃      | 80名  |
| 12月22日 | おむつ交換・おむつのあて方<br>講師：皮膚・排泄ケア認定看護師<br>市川由布子   | 77名  |

| 日時    | 研修内容  | 受講人数 |
|-------|---|------|
| 1月26日 | 車椅子への移乗の仕方、スライダールの使用の仕方<br>講師：リハビリテーション科<br>中沢稔技監 | 65名  |

### V. 評価・課題

電子カルテの看護指示に「NA〇〇」と入力し、各部署への活用を推進した。指示方法を統一することにより業務の標準化が図られ、病棟の特色にもよるが、看護師との直接ケアの協働が増加している。

集合研修では、直接介助の根拠を理解し実践できるように、認定看護師や、理学療法士を中心に体験型の研修とした。おむつの当て方では、家族は持参する規格の異なるおむつの使用法についても質問があった。実演では尿が実際におむつにどのように吸収されるのかモデルを使い見ることができ、おむつの正しい当て方、効果的な当て方についてわかりやすく学ぶことができた。今回は、研修生が実際に困っていることなどの質問があり、研修の年数を重ねる度に直接ケアの実践に対する意識が高まり、積極的になっていると考える。参加出来ない研修生にはナーシングスキルを使用し補習をしている。しかし、ナーシングスキルの内容と実際が相違にあるため内容に検討を行う必要がある。

(福田彩子)

## 広報委員会

### I. 目的

魅力ある看護部をHPでアピールする

### II. 目標

1. 病棟紹介のバージョンアップ
  - (1) 各病棟毎に写真と紹介文を更新
2. 広報委員がCMS3の編集方法を必要最低限理解できる
  - (1) 必要時、総務課と連携してHP更新する
  - (2) 最新情報をできるだけリアルタイムに更新する
3. SNS情報発信について理解し、アピールにつなげる

### III. 活動内容

- 5月…広報委員会の役割説明と今年度の目標を共通認識した  
総務課広報担当者によるCMS3についての簡単な講習を実施
- 6月…各部署毎に通知を出し、HP紹介文を300字程度でまとめてもらった
- 7月…広報委員がセクション毎に分担し、6月、7月で部署毎の写真撮影を実施  
夏のインターンシップ募集要項をHPにUP
- 8月…9月発行の「体温計」に向けて、専門分野で活躍するリソースナースの写真撮影  
(総務課の広報担当者に依頼)と添付文書の作

成、看護部HP改訂

9月…看護部パンフレットの見直し（写真更新、全部署紹介に向けてHP上のアイコン作成、先輩スタッフからのメッセージとして現看護師4人に依頼（200字程度）  
看護部HP改訂

10月…看護部パンフレットの見直し

11月…今年新人へのアンケート調査実施のための準備

12月…「静岡病院看護部ホームページに関するアンケート依頼」を今年度の新人宛にQRコード読み取りでWEB入力実施

1月…アンケート結果の検討、CM3のアーティス会社に依頼し年間アクセス数の評価実施

#### IV. 評価

メンバーが比較的PCに慣れた人材だったため、それぞれが役割分担を完遂した。

今年度は病院機能評価もあり、看護部のHP作改訂開始が当初より早まった。それに伴って写真撮影や紹介文の依頼も総務課の協力を得て早期に取りかかることができ、希望通りのHPが完成した。

パンフレット見直しについては、看護師写真の差し替えと個人情報留意した写真掲載、メッセージ文を更新できた。アンケート調査でも明らかになったが、学生は病院の雰囲気や福利厚生を知りたい傾向があり、より見やすくHPも定期的に更新していく必要がある。当院の就職希望者がさらに増えるように他病院のHPも参考にしながら今後も検討していきたい。

（後藤 薫）

#### 排尿自立支援委員会

##### I. 目標

1. カテーテル挿入基準を確認し、カテーテルの早期抜去をアセスメントできる
2. フローチャートにそった手順で実践し排尿ケアチームにつなげられる
3. 下部尿路機能障害、症状アセスメントを行い、排尿自立に向けた看護ケアが行える
4. 排尿自立に導くケアを理解し、実践できる部署のスタッフを育成する

##### II. 目標値

1. カテーテル留置率、留置延べ日数、感染発生率の減少
2. 排尿自立ケアチームの介入件数の増加
3. 排尿自立支援加算の増加

##### III. 活動内容

###### 1. 講義

- (1) 「排尿自立に関する基礎知識」「排尿日誌記入方法、排尿ケアチーム介入時の記録」

講師：市川由布子 皮膚排泄ケア認定看護師

(2) オムツの正しい使用方法

講師：ユニチャームケアアドバイザー

(3) 自己導尿の指導方法

講師：市川由布子 皮膚排泄ケア認定看護師

(4) 排尿に影響を与える可能性のある薬剤について

講師：薬剤部 加藤薬剤師

(5) 膀胱用超音波画像診断装置「リリアム」の使用  
方法

講師：Otuka

2. 排尿自立チーム介入事例の紹介

3. 陰部洗浄、おむつの当て方の実践指導ラウンド  
年2回（7～9月 12～2月 各病棟）

#### IV. 評価、課題

排尿自立支援活動も2年目に入り、膀胱留置カテーテル抜去後の対象患者に排尿日誌を使用することが定着してきた。排尿自立ケアチームの介入は71件から99件、排尿自立支援加算数は67件から84件と昨年度より増加している。また、医師に報告し泌尿器科受診することだけでなく、排尿誘導や、リハビリ科と協力しADLを確認するなど、排尿自立ケアへの意識が高まってきた病棟もある。患者さん個々の排尿状態をアセスメントし看護の視点をもった排尿自立ケアができる看護師を育成していきたい。

カテーテル留置率は9.37%から9.47%、留置延べ日数は4,087日から4,218日と若干増え、それに伴い感染率も0.57%から0.98%へ上昇している。来年度は、感染対策委員会とも協力し、カテーテルの早期抜去ができるよう方法を検討し、排尿自立への第1歩につなげていく。

（神保聡子）

#### 認定看護師会議

##### I. 目標

1. 認定看護師間の連携と情報共有により、認定分野での活動の充実と拡大を図る
2. 講師および実践指導活動を通して、院内外の看護師へ働きかけができる

##### II. 到達目標

1. Web配信・オンデマンド配信を活用併用し達人ナース勉強会を発信できる
2. 講師および実践指導活動において、院内スタッフのニーズを検討・対応することができる
3. 各分野の実践活動の連携ができる。特定看護師との連携を図る

### III. 活動内容

達人ナース勉強会を以下の通りに実施した。

| 日程・方法           | 内 容   | 講 師               |
|-----------------|---|-------------------|
| 8月<br>オンデマンド    | 抗がん剤の取り扱い<br>～曝露対策について～                           | がん化学療法看護<br>原木久美  |
| 10月<br>オンデマンド   | がん放射線療法について                                       | がん放射線看護<br>渡部美尚子  |
| 11月<br>オンデマンド   | 透析シャント、<br>長期留置カテーテル管理<br>方法と看護                   | 透析看護<br>上野山良子     |
| 12月<br>対面+webex | インスリン等の血糖降下<br>注射薬を使用する際の注意<br>点<br>(地域連携勉強会も兼ねて) | 糖尿病看護<br>今井憲二     |
| 12月<br>オンデマンド   | がん性疼痛のアセスメン<br>トと評価について                           | 緩和ケア<br>増田友美      |
| 1月10日<br>対面で演習  | とろみ水の作り方と食事<br>介助                                 | 摂食・嚥下障害看護<br>鈴木菜々 |

にんにん通信を以下の通り発行した

| 発行ナンバー  | 発行月 | 内 容                          | 担当者   |
|---------|-----|------------------------------|-------|
| Vol.101 | 5月  | 認定看護師制度について                  | 原木久美  |
| Vol.102 | 6月  | 曝露対策のための抗がん剤の取<br>り扱い        | 原木久美  |
| Vol.103 | 7月  | 認知症マフについて                    | 伏見順子  |
| Vol.104 | 8月  | 放射線治療と看護                     | 渡部美尚子 |
| Vol.105 | 9月  | 失禁関連皮膚炎(IAD)のケア              | 市川由布子 |
| Vol.106 | 10月 | 嚥下スクリーニングと口腔ケア               | 鈴木菜々  |
| Vol.107 | 11月 | 人生会議 アドバンスケアプラン<br>ニングについて   | 鍋田 泉  |
| Vol.108 | 12月 | 患者の意識状態がいつもと違う<br>と感じたら何をする？ | 名取宏樹  |
| Vol.109 | 1月  | がんに関連した痛みの緩和ケア<br>について       | 増田友美  |
| Vol.110 | 2月  | 血圧で何を考え判断しますか                | 中村真理子 |

### IV. 評価・課題

達人ナース勉強会は、昨年度は12階講堂での集合研修をWebexでも配信する形式で実施したが、参加者が少ないため開催当日に各病棟に聴講者を募っていた。部署業務が終了していない看護師の参加の負担と、複数の講演会や学習会を抱えている認定看護師の負担を考え、今年度は、達人ナース勉強会の開催を5回に減らし、そのうち4回はナースングスキルを用いたオンデマンドでの配信とした。講義時間は10分前後でポイントを絞った内容で視聴しやすくなっている。また、オンデマンド配信とすることで自宅や空き時間での視聴が可能となった。

各分野の認定看護師は、病棟での指導や実践、委員会活動を、各々の専門性を生かし実践できている。また、多職種と連携し横断的な活動も行うことができている。

次年度も、特定看護師やクリニカルラダー委員会等と連携し院内のスタッフの知識と技術の向上に寄与していきたい。

(原木久美)

### 特定看護師会議

#### I. 目標

1. 手順書に基づき、特定行為を安全に実践できる
2. 特定行為の実践を通し、部署の看護師へ病態、臨床推論等を指導することで看護師のアセスメント力の向上を図る
3. 特定行為研修生へ演習および実習を通して指導できる

#### II. 今年度到達目標

1. 各区分で手順書をもとに実践できる
2. 特定行為実践、ラダー研修を通し、部署の看護師を病態判断、臨床推論等を指導できる
3. 特定行為研修生が安心して受講でき、修了できる

#### III. 活動内容

##### 1. 手順書をもとにした実践

複数配置された部署では、特定看護師どうしが話し合い、診療科の医師、指導医と相談できた。その上で、交代勤務でもお互いに情報共有しながら患者さんの水分・栄養管理を行えた。部署に単独で配置されている場合、動脈穿刺など特定行為が実践しやすい手術室や救急外来などの部署とそうでない部署で実践の機会に差が出た。

自部署等で実践（医師の立ち会い・提案を含む）は下記の通りであった。

| 特定行為区分        | 件数(昨年度)      | 実践内容          |
|---------------|--------------|---------------|
| 水分・栄養管理       | 43(13)       | 輸液調整          |
| 術中麻酔領域        | 88(53)       | 動脈血採血・Aライン確保  |
| 創傷管理関連        | 46(17)       | デブリドマン・陰圧閉鎖療法 |
| 創部ドレーン抜去      | 6(2)         | J-VAC抜去       |
| 精神及び神経症状の薬剤関連 | 1<br>(今年度から) | 薬剤の調製         |
| 計             | 184(85)      |               |

##### 2. 特定看護師の知識・技術のフォローアップ、ラダー研修等での病態の判断、臨床推論に関する指導

ラダー研修では、特定看護師が担当し、臨床推論を指導した。臨床推論を部署で活用できるきっかけ作りができた。またペアナースで推論、検査データ、画像などを部署のスタッフへ指導する機会が増え、臨床で指導する場面も増えてきた。

##### 3. 特定行為研修生への指導

4期生8名（他施設2名含む）全員が修了できた。

#### IV. 評価・課題

所属部署によって実践する機会にばらつきがでている。実践だけが特定看護師の役割ではないが、特定行為を実践しながら看護にどのように繋げるか検討する必要がある。今後、特定行為を実践できる機会が得られるような仕組みづくりを検討する必要がある。今年

度からラダー研修の臨床推論を特定看護師が担当した。今後も臨床の連続した看護の中で高い実践能力を発揮できるように部署のスタッフのアセスメント力の向上を支援する。

(海老名哲生)

## 特定実践検討会議

### I. 目標

1. 特定看護師間の連携と特定行為区分の活動を推進できる
2. 特定行為の実践事例を評価し、特定看護師の病態判断力の向上を図ることができる

### II. 到達目標

1. 特定行為実践や提案の事例検討を通して、実践内容を評価できる、臨床推論などの妥当性を検証できる
2. 事例検討を通して知識、技術、リスク管理などを情報共有できる
3. 特定看護師としてスキルの向上を図る

### III. 活動内容

1. 特定看護師間の連携・特定行為区分の活動の検証、知識・技術・リスク管理などの情報共有

毎月1例以上を報告し、症例を検討できた。加えて4ヶ月に1度の割合で、他施設（済生会総合病院、静岡厚生病院、清水厚生病院、静岡市立静岡病院）の特定看護師と症例検討を行うことができた。その結果、自施設の特定看護師の視点だけでなく多角的な視点で検証し、自身の実践内容、臨床推論、病態判断などを研鑽することができた。

また自らの実践した内容を看護部会議で発表することで、特定看護師の活動を周知し始めることができた。

特定行為の実践報告は、下記の通り検証した。

| 特定行為区分   | 実践検討数 | 実践内容         |
|----------|-------|--------------|
| 水分・栄養管理  | 8     | 輸液調整         |
| 術中麻酔領域   | 2     | 動脈血採血・Aライン確保 |
| 創傷管理関連   | 4     | デブリドマン       |
| 創部ドレーン抜去 | 1     | J-VAC抜去      |
| 計        | 15    |              |

2. 特定看護師としての知識・スキルの向上

放射線診断科医に画像の見方について指導して頂いた。実践前の病態判断時に血液データの他、画像を評価し、特定行為の範疇かどうかの判断力を高められるように学びを深めた。こうした学びをもとに特定行為実践に繋げている。

### IV. 評価・課題

各区分の特定看護師が所属する部署または横断的に実践できはじめている。今後も特定看護師の判断力の

検証する機会をもち、自ら研鑽し続けることで、知識、技術を維持、向上に努めることが重要である。そのため、次年度も継続して実践の検証を特定看護師同志で行う。加えて、特定看護師の活動の周知としても、看護部会議や部署会議で報告できるようにしていく必要がある。部署での報告の機会を増やすことで、特定看護師の思考過程を部署のスタッフへ周知するとともに、臨床推論を活かしたアセスメント力が向上できるようにしていく。また現状として特定行為研修の指導医以外の医師や多職種への周知が不足している。そこで、その周知方法についても検討が必要である。

(海老名哲生)

## がん化学療法看護認定看護師

令和5年度の入院での化学療法の件数は1,785件、外来化学療法件数は4,540件だった。活動の場の多くは外来化学療法室で、主に抗がん剤の投与管理とセルフケア支援に携わった。そして、「癒やしの空間づくり」の取り組みを継続した。

医師の面談同席件数は14件でがん患者指導管理料を算定している。また、血液内科医師の依頼で化学療法を実施している患者の指導を25件実施した。看護師からの指導の依頼で、脱毛等のアピアランスケア指導12件、中心静脈ポートの管理指導1件、化学療法導入時指導4件を実施した。

今年度は、看護師の抗がん剤の曝露予防対策として投与の部分で閉鎖式薬物移送システム（CSTD）の導入をした。導入に際しては「曝露予防の為の抗がん剤の取り扱い」のミニレクチャーとCSTDの使用法のデモンストラクションを化学療法室と各病棟に実施した。化学療法室では4月より、病棟では8月より、すべての点滴の抗がん剤にCSTDの使用を開始した。次年度も、ヘルシーワークプレイスを目指し院内職員の抗がん剤曝露予防対策に努めていきたい。

(原木久美)

## 緩和ケア認定看護師

### I. 学会、研修参加

1. 第54回日本看護学会学術集会
2. 2023年度ELNEC-Jコアカリキュラム指導者フォローアップ研修 日本緩和医療学会  
実践できるアドバンス・ケア・プランニング 愛知医科大学看護学部附属看護実践教育センター

### II. 研修会等講師

1. 院内  
(1) 看護部卒後臨床研修「意思決定支援」
2. 院外  
(1) ELNEC-Jコアカリキュラム研修コーディネー

ター 県立総合病院主催

### III. コンサルテーション

昨年度と同様に自部署での看護実践の中で、スタッフや主治医と情報を共有・緩和ケアチームに繋げるなどの支援を行った。また、救急外来からの患者対応の相談を受けて、電話相談場面での患者指導を支援し、その後の対応について主治医と共に考えることができた。

### IV. 総括

病棟管理業務を行う上で、日々の看護実践を行う看護師に対して支援し、緩和ケアチームや退院支援チームに繋ぐことができたが、自らの実践の機会は不十分であったと考える。その中で、告知・治療方針のための面談同席は継続することができたため、今後も診療科医師との風通しの良い関係性を維持し、患者・家族支援を行っていききたい。またがん以外の疾患を持つ患者・家族に対しても、“よりよく生きる”にこだわり、思いを引き出し、共に考えていくことを行っていききたい。

(鍋田 泉)

## 緩和ケア認定看護師

### I. 学会・研修会参加

1. 第28回 日本緩和医療学会学術大会
2. 2023年度 専門的緩和ケア看護師教育プログラム (SPACE-N) 等

### II. 研修会等講師

1. 卒後臨床研修 I 「コミュニケーション スキル」
2. 常葉大学健康科学部看護科講義「事例を通して緩和ケアの実際を考える」
3. 出前講座「人生会議って何？」
4. ELNEC-Jコアカリキュラム GWファシリテーター 等

### III. 総括

各部署に使用を勧めている「苦痛のスクリーニング」は1,156件実施され、前年の598件から飛躍的に増加した。病棟看護師から緩和ケアチーム (PCT) への依頼も2倍弱増加し、スクリーニングが有効に活用されてきている。PCT新規介入患者65名、PCTカンファレンスは依頼病棟で延べ117回開催し、緩和ケア診療加算の算定は85件であった。

次年度も患者さんの苦痛の緩和、QOLの維持・向上にむけて自身も看護実践すると共に、院内看護師の基本的緩和ケアの質向上が図れるよう相談・指導役割を担う。

(増田友美)

## 皮膚・排泄ケア認定看護師

### I. 学会・研修会参加・発表

1. 第25回日本褥瘡学会学術集会他セミナー参加

2. 第54回日本看護学会学術集会 DiNQL活用実践報告・一般演題発表

### II. 研修会等講師

1. 院内
  - (1) 部署勉強会講師
2. 院外
  - (1) 静岡市立看護専門学校・常葉大学講師「ストーマケア」
  - (2) 静岡市立看護専門学校「創傷ケア」
  - (3) 静岡県看護協会 看護の質向上研修講師

### III. コンサルテーション 依頼件数 470件

### IV. スキンケア看護外来 受診件数 266件

### V. 総括

リンクナースと共に褥瘡ケアの質の向上を目標として褥瘡ケアに取り組んだ。その結果、早期介入でき、褥瘡の改善、治癒する例が多くみられた。院内褥瘡発生率0.84%、自重関連褥瘡発生率0.60%であった。DiNQLデータは同規模同程度の施設の中央値よりも低く推移できた。院内発生は軽症の褥瘡であった。全部署で予防的ケアが定着していると示唆される。関連職種とともに褥瘡発生の予防が向上できるように関わっていききたい。

ストーマケアでは、実践、勉強会を通して外来・病棟スタッフへ指導した。術前の外来を含めた周手術期で継続した関わりを持つことができた。今後もケアの質の向上に関わっていききたい。

(海老名哲生)

## 皮膚・排泄ケア認定看護師

### I. 学会・研修会参加

第32回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会  
他学会参加

### II. 研修会等講師

1. 院内
  - (1) 卒後臨床研修「褥瘡予防ケア、DESIGN-R2020の評価方法」
  - (2) 排尿自立支援院内研修会「排尿自立支援の実際」
  - (3) NA勉強会「おむつ交換、おむつのあて方」
2. 院外
  - (1) 第60回静岡ストーマリハビリテーション講習会「術前のストーマケア」

### III. コンサルテーション 186件

### IV. スキンケア看護外来 61件

### V. 総括

所属病棟でストーマケアの実践を通して病棟看護師へ指導を行った。4月からスキンケア看護外来の担当を始め、術前から退院後へ継続して患者さんの支援を



している。退院後訪問の機会があり、訪問看護師やヘルパーと情報共有し、ストーマケアの指導も行った。

排尿ケアでは、病棟看護師と排尿日誌を読み、導尿間隔の調整、排尿ケア方法の検討をした。病棟で自己導尿指導を行えるよう働きかけ、7件行えた。尿道カテーテル留置延べ日数や、カテーテル関連尿路感染率の減少には至らなかった。DiNQLデータでも同規模病院の中央値より高く、尿道カテーテル留置期間の短縮と、感染率の減少が課題である。今後もケアの質の向上に貢献したい。

(市川由布子)

## クリティカルケア特定認定看護師

### I. 学会・研修会参加

第51回日本集中治療医学会学会学術集会 演題発表、共同研究

1. ICU入室患者に対し実施されている夜間ケアに関する実態調査
2. ICU入室患者に対する夜間ケアが睡眠に及ぼす影響について：脳波からみた影響

### II. 研修会等講師

#### 1. 院内

- (1) ラダー教育、新卒教育 3件
- (2) 特定看護師養成研修

#### 2. 院外

- (1) 市政出前講座 2件
- (2) 静岡県看護協会主催 災害支援ナース養成研修 ファシリテーター
- (3) 静岡市立静岡看護専門学校講義

### III. 総括

急性期病院として患者の変化や異常に気づき対応できるスタッフ育成ができるよう、院内ラダー教育や卒後教育でフィジカルアセスメント力の向上や臨床推論力の向上を目指し院内教育を行った。

また、入院患者の予期せぬ死亡を防ぐため、院内迅速対応チーム (RRT) 活動を行い、患者の変化や看護師の不安に対して一緒にフィジカルアセスメントを行うなどして自分のアセスメントを伝えると共に、できる限りスタッフ自身でも考え行動できるような関わりを行った。院内急変を少しでも減らすため能動的にRRT活動が行えるように考えていく。

(名取宏樹)

## クリティカルケア特定認定看護師

### I. 学会・研修会参加

日本集中治療医学会学術集会 演題発表 (共同研究)

1. 当院における早期離床・リハビリテーション加算の算定率を高める取り組み

2. ICU入室患者に対する夜間ケアが睡眠に及ぼす影響について：脳波からみた検討

### II. 研修会等講師

#### 1. 院内

- (1) ラダー教育、新卒教育 3件

#### 2. 院外

- (1) 市政出前講座 2件

### III. 総括

患者さんの病態変化を予測し重篤化予防を目的に院内教育を行い、看護スタッフの質の向上を目指した。患者さんの観察内容の意味を考え予防的な看護、早期対応が出来るように、院内講義では症例検討を行い、受講者が自ら考えることを大切に。集中治療領域では、生命維持装置の装着、倫理、集中治療の緩和についても考える必要があり多職種でカンファレンスをする必要がある。高齢患者さんの増加があり、せん妄予防ツールの導入を検討したい。また集中治療後症候群予防のため、退院後の生活を見据えスタッフ教育、体制を構築することが課題である。

(中村真理子)

## 感染管理認定看護師

### I. 学会、研修会参加

1. 感染管理認定看護師のためのキャリアディプロマメント講座 (2回)
2. 第11回日本感染管理ネットワーク学会学術集会
3. 第38回日本環境感染学会総会・学術集会、他

### II. 研修会等講師

#### 1. 院内

- (1) 看護部新採用看護師 感染対策研修 (4回)
- (2) ナーシングアシスタント 感染対策研修
- (3) 医療クラーク 感染対策研修 (4回)
- (4) 看護師卒後臨床研修 6

#### 2. 院外

- (1) 市政出前講座 2件  
「5類移行後の感染対策」 参加者108名  
「新型コロナウイルスの感染対策について インフルエンザとどうちがうの？」 参加者30名

### III. コンサルテーション

依頼件数 80件程度

### IV. 総括

前期は血液浄化センターにおいて兼任として、根拠に基づいた感染対策を検討し、汚物室の環境改善、穿刺介助時のPPEの見直し、消毒方法の変更を行った。

後期は専従として活動し、マニュアル整備、血液曝露事故対策、感染症病棟の管理体制整備に尽力した。また、感染対策向上加算要件のカンファレンスを行い、多方面との連携の重要性を実感した。

今後も、病院内のみならず地域の感染対策の質の向上に貢献できるよう活動していきたい。

(七丈藍乃)

#### 透析看護認定看護師

- I. 学会、研修参加  
静岡県看護学会  
日本看護学会学術集会
- II. 院内講演、院外講演  
なし
- III. 研修会等講師  
1. 院内  
(1) ラダー研修「透析看護と意思決定支援」  
(2) 認定看護師委員会 達人ナース「長期留置カテーテルについて」オンライン  
2. 院外  
(1) 静岡市立静岡看護専門学校「腎臓病と透析看護」
- IV. コンサルテーション  
依頼件数不明 看護実践の中で必要時には対応をした
- V. 総括  
令和5年度は血液浄化センターの勤務を通し慢性期である透析を受ける患者に対しての支援を実践できるよう活動を行った。受け持ち看護師が中心となり患者の生活状況やこれからの生活に対する思いを把握し、個々の患者に沿った生活支援の提供を行っていった。また、長期留置カテーテル挿入患者の増加に伴い、転院先施設に対して長期留置カテーテルの取り扱いについての指導を行った。高齢患者の透析導入や維持透析患者の高齢化が進みセルフケア能力の維持が難しい患者が増加している。今後も他部門との連携に加え地域との連携を密に行うことが課題である。  
(上野山良子)

#### 糖尿病看護認定看護師

- I. 学会・研修参加  
1. 第2回日本フットケア・足病医学会 関東・甲信越地方会  
2. 第32回静岡糖尿病看護研究会 等
- II. 研修会等講師  
1. 院内  
(1) 卒後臨床研修(インスリン注射の取り扱いと血糖測定)  
(2) 院内勉強会(インスリンポンプ、フットケア)等  
2. 院外  
(1) 第29回インターネット糖尿病プライマリケア

#### 研究会

- (2) 市政出前講座 糖尿病はどんな病気?
- (3) 糖尿病予防キャンペーン 看護相談
- (4) しずデル2023 秋の学習会 糖尿病療養指導に関するセミナー 等

#### III. コンサルテーション

依頼81件

#### IV. 総括

入院患者さんへのフットケアに取り組んでおり、病棟から79件のフットケア相談を受けた。相談件数は年々増加している。爪切り用のニッパーを各病棟に配布し勉強会を行った。多数の質問を受け、患者さんの足を守るフットケア支援に努めている。研修で深めた知識や実践した内容を、勉強会などを通して院内や地域の方々へ情報発信し、療養支援の一助になるよう今後も努めていきたい。

(今井憲二)

#### 認知症看護認定看護師

- I. 学会、研修参加  
1. 第42回日本認知症学会学術集会  
2. 認知症ケアを考える会 浜松の認知症マフの展開とマフの編み方  
3. 認定看護師のためのスキルアップセミナー
- II. 研修会等講師  
1. 院内  
(1) 認知症ケア研修会  
(2) 病棟勉強会講師  
2. 院外  
(1) 静岡市立看護専門学校講師  
(2) 市政出前講座職員講師派遣  
(3) 看護職員認知症対応力向上研修 コーディネーター(静岡県看護協会)
- III. コンサルテーション  
チーム活動以外での相談件数20件  
認知症ケアシステム、勉強会、ケアなどを含めた問い合わせ30件
- IV. 総括  
今年度も、院内職員に対する認知症ケアの対応力向上を目指し、院内研修の企画・運営に携わることが出来た。また、チームカンファレンス・ラウンド総回数は52回/年であった。院内デイケアについては、全38回開催し、180名参加している。今後も、多職種と連携していきながら、認知症のある患者さんが、認知症に伴うBPSDにより治療が中断せず最善の医療が受けられ安心して入院生活が送れるように、院内全体のケア向上を目指していきたい。  
(坪内亜希子)

## 摂食嚥下障害看護認定看護師

### I. 学会発表・参加

1. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 摂食嚥下リハビリテーションと多様性 演題名：大腿骨近位部骨折患者のベッド上での食事姿勢の検討ー改訂水飲みテストと足底接地に着目してーで口演
2. 第16回日本摂食嚥下障害看護研究会『摂食嚥下障害看護認定看護師が描く未来Envisioning the future』参加

### II. 研修会等講師

#### 1. 院内

- (1) 勉強会 西9、西7、西8、東9、東10
- (2) ナーシングアシスタント研修「口腔ケア」
- (3) 認定看護師委員会 達人ナース
- (4) 新人研修
- (5) 特定行為研修 共通科目を1項目、キャリア I、II、IV研修

#### 2. 院外

- (1) 市政出前講座「誤嚥性肺炎の予防」4件
- (2) 静岡市立看護専門学校  
A-1 実習 回復期にある患者の看護  
老年看護の展開 嚥下機能に障害のある患者の看護

### III. コンサルテーション

相談：3件（看護師）

### IV. 摂食・嚥下支援チーム活動

1. 嚥下カンファレンス延べ患者数314名、摂食嚥下機能回復体制加算2（190点）254件算定
2. 摂食機能療法算定（185点）看護師、言語聴覚士含み対象患者524名、算定件数3,606件

### V. 総括

今年度は、改訂水飲みテスト実施率100%を目標に掲げた。改訂水飲みテスト実施率上昇は、隠れた嚥下障害の抽出と看護師が患者さんに安全な食事形態を提供できる事を目的としている。4月は40%だったが、3月には90%まで上昇する事ができた。これを継続することで、誤嚥性肺炎予防、入院期間の短縮につながるように支援を続けていく。

（鈴木菜々）

## 精神看護専門看護師

### I. 学会・研修会参加

- 精神保健看護学会 第33回学術集会  
第10回日本CNS看護学会  
専門看護師研修会（日本専門看護師協議会主催）  
3 回出席  
ナースのためのグループ研究会 年間10回

## II. 活動実績（随時対応、概要のみ示す）

1. 直接ケア 122件
2. コンサルテーション  
患者さんに関する相談 27件  
看護師のメンタルヘルスに関する相談 107件
3. コーディネーション 14件
4. 倫理調整 2件
5. 教育（研修講師等）  
卒後臨床研修、ラダー I .II.III研修（セルフコントロール）  
静岡市立看護専門学校 2年生、3年生対象講義  
「リエゾン精神看護」「感情と看護」  
市政出前講座「良い睡眠でこころも体も健康に」  
日知大学、ふれあい大在家の里

### III. 総括

今年度は精神科リエゾンチームの活動を診療報酬につなげた。さらに、ハートケアチームでの活動を開始したことが複雑な事例へとつながっていき、直接介入の機会が増えた。今後も現場のニーズに応えられるよう自己研鑽を積んでいきたい。

（嶋根久美子）

## がん放射線療法看護認定看護師

### I. 治療数

総件数374件 外来照射353件、入院照射121件

### II. 学会、研修参加

11月21日 第39回がん放射線療法看護セミナー  
胸部がんの放射線治療看護（WEB）

### III. 研修会等講師

#### 1. 院内

- (1) 達人ナース勉強会（オンデマンド配信）
- (2) にんにん通信発行
- (3) 院内勉強会（化学療法室、がん緩和委員会）
- (4) 看護研究発表11月「放射線治療室と病棟間の連携における皮膚炎ケアマップに有用性」

#### 2. 院外

なし

### IV. コンサルテーション

依頼3件、指導件数23件、研修参加1件

### V. 総括

院内看護研究で、放射線治療室と病棟の連携を図るために「放射線性皮膚炎ケアマップ」を作成し、病棟訪問を行っていった。病棟から照射範囲や皮膚炎の観察がより具体的に実践できたとご意見があり、また治療室からの情報発信が行えたことなど患者さんに対して看護の質の向上に繋がり有益であった。現在も病棟訪問は継続し、さらに活用しやすいケアマップの改訂と電子カルテに登録できるよう努めていく。

（渡部美尚子）

#### 西4階病棟

西4階病棟は産婦人科・小児科を主科とし、内科系・外科系の様々な女性患者さんを受け入れている。生命の誕生から様々なライフステージの患者さんに寄り添い、生命の尊さを感じながら、患者さんがその人らしく生活ができるように支援している。今年度は退職や産休などの理由から夜勤の出来る助産師が減少、いつお産の入院が来ても助産師が迅速に対応出来る環境を整え、分娩時に自信を持って児受けをし、その後の新生児看護が出来る看護師の育成を強化する事が課題となった。看護師と助産師が協働して温かい看護を実践するために、今年度の戦略テーマは、苦手意識を変える、出来ないこと・解らないことの克服を目指し、「チャレンジ(知識の習得)」とし、病棟目標は「患者さんの安全・安心のため、互いの知識を活かし看護しよう」とした。

病棟運営を行っていく中で、他病棟と違いAチームとBチームで業務内容に差があるため、チームで動き方が違っている、お互いのチームの動きが見えず、何をしているのか解らないと言う問題点があった。職場環境と看護の質改善のために、12月から病棟をワンチーム体制としペアナーシングを再編成、日勤リーダー(司令塔)を1人置き、日責者とともに病棟全体を把握し、入院対応の人員配や医師の対応をする。産科以外の患者さんを2チームに分け、日勤2人と遅勤1人のペアナーシング構成とし検温しながら医師の指示取りも行う。産科は基本助産師で、妊産褥婦を担当し保健指導や授乳支援に専念できるようにした。お互いの業務を見える化するために、ホワイトボードに提示し共有した。毎月CTG(胎児心拍数陣痛図)勉強会やNCPR(新生児心肺蘇生法)勉強会を開催し、周産期・新生児看護の知識向上に努めた。新体制について評価、修正しながら継続している。平均在棟日数は6.1日、クリニカルパス稼働率は産婦人科75.2%、小児科28.5%でパス使用により記録の簡略化となっている。今年度の分娩件数は146件で昨年度より増えている。ハイリスク分娩管理加算は月平均2.8人で4人に1人はハイリスク分娩となっている。今後もアサーティブコミュニケーションを意識し、お互いを認め合い、尊重できる職場風土を作り上げていきたい。

(花村多美子)

#### 西6階病棟

西6階病棟は血液内科・緩和ケア科・内分泌代謝科・眼科・形成外科の計48床の混合病棟となっている。今年度は看護カンファレンスを充実させ、患者の病態や心理的变化に合わせた看護を考えることを目標にしてきた。日替わりリーダーがカンファレンスのファシリテーターとなるよう指導し、その役割を意識しながらメンバーの意見交換を促せるようになってきた。その結果、患者の

今後の方針の情報共有ができ、患者、家族から必要な情報を得ることや多職種への連携などがチームワークでタイムリーに行えた事例が増えてきた。また、緩和カンファレンスにおいては、患者の問題点を共通認識し話し合いができるよう、患者のアウトカム評価スケールとして使用されているSTAS-Jというツールを活用し始めた。カンファレンス前に準備することは容易ではないが、多職種で行うカンファレンスを充実させたい思いがある。急性期病院の中の緩和ケアにも真摯に取り組み、患者に寄り添う看護を目指している。また、昨年度からの課題としていたフィジカルアセスメント力の向上については、急変時の対応のシミュレーション回数を増やして学んだ。しかし、観察点の不足や看護計画との結びつきにおいてはまだ不十分であり、次年度への課題とする。

目標には多職種との協働を深めることも挙げていた。特にナーシングアシスタントとの協働はできてきてはいるが、業務のタスクシフトなどを含む協働をより深めたいと考えてきた。ナーシングアシスタントにもタイムアウトに参加してもらうことで病棟内の様子の把握ができ、患者対応がスムーズになってきていると思われる。また、事務専属のナーシングアシスタントを育成するため、当病棟で説明、指導を開始した。委譲できる事務作業を少しずつ増やし、先に述べたカンファレンスや記録などに看護師が十分な時間をかけられる環境を作り、よりよい看護を考え実践していくことを大切にしていきたいと考える。

(朝比奈ひろみ)

#### 西7階病棟

西7階病棟は整形外科、口腔外科、外科・消化器外科の混合病棟であり52床となっている。令和5年度病棟スローガンは「関心を寄せる」、戦略目標を看護業務のタスクシフト・タスクシェアを推進する、高度急性期病院に対応できる看護師を育成する、同僚に関心を寄せ支え合う職場風土をつくることとした。病棟特性として日常生活動作が困難な患者さんが多く、以前より看護補助者が患者の直接ケアや周辺業務を積極的に担っていたが今年度は事務担当看護補助者に電話対応等の業務の移譲をした。看護師が患者のベッドサイドケアの時間を増やすことに繋がった。また、クリニカルパスの新規作成、使用率向上に取り組み使用率は整形外科65.9%、口腔外科75.5%と大幅に向上した。患者さんに標準的で質の高い医療の提供をすると共に、今後アウトカム評価を適切に行うことで記録時間の減少、ベッドケアの充実が見込めると考える。

令和5年度は認定・特定看護師1名、特定看護師2名、併せて3名の配置があった。手術や外来診療で多忙な医師が早期対応困難になることもあり、医師の指示のもと

で手順書により補液の管理を中心に特定行為を行った。また、後輩看護師と共に患者の状態観察を行いアセスメント力、実践力の向上の役割を担った。

機能評価受審にあたっては、部署職員全員がマニュアルの遵守や環境の見直しを行い、記録の監査をした。自分たちの看護は患者さんに感心を寄せて寄り添っていたか、個別性のあるものだったかを振り返り看護のやりがいを感じることができた。また、患者さんだけでなく同僚や多職種にも関心を寄せて優しい職場環境を作ることができたと思う。外部委託の業務量調査もあり、クリニカルパスの使用率向上やタイムアウトの内容変更等で看護師の時間外労働も大きく減少することができ、離職防止に繋がった。今後も患者さんに寄り添う看護を続けていきたいと思う。

(山本聖子)

## 西 8 階病棟

西 8 階病棟は、脳神経外科・耳鼻咽喉科・COVID-19・混合科の49床として開始した。感染の拡大予防に十分に配慮しながら病棟としての通常稼働を始めると共に、新人・看護学生の受け入れも再開した。病棟目標を「患者にも、看護職にも選ばれる病棟になろう」とし、再度各科の看護の専門性などの知識の再確認を行い、職員の働く環境を整えた。

脳神経外科回診、耳鼻咽喉科のカンファレンスを通し、患者さん治療方針、状態などの情報共有を医師と行った。また、リハビリカンファレンスでは、患者さんの機能回復の為、日々のリハビリに対しての疑問や実践方法などを看護師が実践できることをリハビリ科に確認し実施した。また、看取りの人工呼吸器装着の患者さんを2名同時に準集中治療室から受け入れた。患者さんが安全に看護を受けられるためにはどうしたら良いか、家族とよりよい時間を持てるにはどうしたら良いか、病棟一丸となり話し合い、協力し合い患者さんの最後の時間まで安全で安心な看護を提供した。

10月からは、脳神経外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・消化器内科・救急科・精神科の病床52床に変更した。その内7床を入院支援チーム担当とした。午前入院当日検査・当日手術の治療前を入院支援チーム看護師が対応した。他部署の患者の受け入れを行うことで他部署の業務量の軽減となった。また、育児休暇明け・途中配属・特殊部署の異動看護師の、電子カルテの指導を実施した。電子カルテの研修を実施することで異動看護師の不安の軽減につながった。

今年度は病棟の再構築となった年であった。新しいことを積極的に受け入れ、患者さんが安全に安心して入院生活が過ごせるように話し合いながら看護を実践した。スタッフそれぞれが疑問を声に出し、その声を他のス

タッフが耳を傾けたからこそ話し合いの必要性が理解し行動出来たのではないかと考える。次年度はその風土を保ちながら看護の質の向上に努めたい。

(福田彩子)

## 西 9 階病棟

西 9 階病棟の今年度の在院日数は10.3日（消化器内科9.9日、腎臓内科14.4日）、病床稼働率は87.9%であった。消化器内科は食道ESD・大腸ESD・大腸EMR・胃瘻造設のクリニカルパスのアウトカム評価を開始し稼働率が上がっている。腎臓内科は5日あまり在院日数が短縮し、病床管理により退院の予定を早期に把握できるようになったことが影響していると考えられる。また、長期留置カテーテルやサムスカ導入・シャント造設のパスが作成・承認されたため、次年度さらに在院日数が短縮することが期待される。

機能評価受審はケアプロセス対象病棟となり、受審までの準備を多職種で繰り返し行い、受審当日は日々の専門職としての実践を示すことができ、結束を強めることとなった。

今年度もキャリアに応じたリーダーシップの育成、患者さんを取り巻くチーム力の強化、表現し合える風土の構築を課題として、“看護する喜びを探究しよう”をスローガンとして取り組んだ。その中で固定チームナーシングの定義を見直し、小集団活動を主体とし日々の看護実践をチーム活動としたことで、各小集団がコラボレーションして活動することができた。これにより、消化器内科医師2名と週1回の定期的な患者カンファレンスを行うこととなり、治療方針や患者さん・家族の思いなどを共有し退院支援につなげることができた。

例年取り組んでいる「新人のステップアップ指標」による新人教育に関しては、8月に家庭の事情で1名が退職となったが他3名は同じタイミングで11月に夜勤立ちした。1年間を通して4名が産前休暇を取得し、リーダー層が不足する中でお互いを思いやり共に成長することができたと感じる。また、他部署から育児短時間勤務者や応援看護師のサポートにより、入院の約60%である緊急入院の受け入れや病棟処置室での肝生検・ラジオ波などの処置介助を継続することができた。このようにスタッフ不足を補いながら患者さんの安全・安楽を考えた1年間であった。しかし、患者満足度調査では看護師の説明や技術、看護師間や医療者間での連携でポイントが低下しており、報告・連絡・相談を意識したコミュニケーション力やチーム力の強化が課題である。

(鍋田 泉)

## 東 5 階病棟

東 5 階病棟は診療科を問わず集中的な全身管理を必要

とする症例を入室基準に従い受け入れている。症例としては、開心術患者 緊急のカテーテル治療など心臓、動脈疾患を中心に年間845症例を受け入れた。心臓血管外科や循環器内科以外の診療科の受け入れも積極的に行い呼吸器外科、脳外科、消化器外科など、全体の10%にあたる90症例を受け入れた。病床稼働率については、昨年までは心臓血管外科の手術件数や循環器内科の緊急入院数に影響を受け、年間通して稼働率が安定していなかった。今年度の病床稼働率の平均は74.8%であったが、9月頃からの平均は78.8%と上昇するとともに、大きく上下することなく安定していた。科を問わず重症患者を受け入れたことが大きかったと考える。また稼働率の安定化は、特定集中加算管理料算定の安定化にも繋がったと考える。また、MDRPUを含めた褥瘡予防、気道感染予防に常に留意し、手術や治療の侵襲以上の侵襲を与えないという看護も平均在院日数の短縮に繋がり、稼働率の安定化を支えたと考え。今年度、看護師の動きに大きな影響を与えたこととして、9月の病棟再編成があげられる。HCUと東8階GHCUが統合され、ICUのみの運営となった。再編時は、今まで互いに協力してきたHCUの看護師がいない状況となり、緊急入院の対応など混乱は否めなかった。とくに夜間の入院では、マンパワー不足を実感していたが、診療科にも協力を呼びかけ、徐々に適応して今日に至っている。看護師の教育については、病棟目標として「チームで互いに高め合う」を掲げ、集中治療に対応できる看護師の育成を目指してきた。平均経験年数4年、1から3年目が3割以上の若いチーム編成ではあるが、学習意識が高く、経験を通して学びを深め、大動脈バルーンポンピング法やECMO、持続的血液透析など日常的に対応している。次年度は、診療報酬の改訂により集中治療室の重症度、医療・看護必要度の中にSOFAスコアが導入される。手術など低侵襲化が進む中、集中治療室に入室する患者は、さらに科を問わず重症な症例に対応すると考える。教育体制を整え変化に対応していきたい。

(吉井葉末)

## 東6階病棟

今年度、5月に脳神経外科が他病棟に移り、9月からは心臓血管外科、呼吸器外科、循環器内科の3科になった。新規入院患者数は1,084人、そのうち緊急入院患者は456人と42%を占めた。入退院や手術前後の転入転出が多く、病床編成にも対応するなか「互いに補完し合い働き続けられる職場作り～支え合おう信じ合おうお互いの力～」をスローガンとして取り組んだ。

平均在院日数は昨年10.39日から8.3日に減少した。加えてDPCⅡ期間内での退院が74.1%と昨年よりも4%上昇しているため、業務改善としてクリニカルパスの活用をすすめた効果とも考える。クリニカルパスの活用をす

すめ、アウトカム評価の使用率が上がったことは記録時間の減少につながった。業務量調査でのタイムアウトが長いと言う指摘に対しては、昼のタイムアウトは重要な情報共有のみとし、5分ほどで終了するようにした。少しの時間でもベッドサイドケアや患者さん・家族との会話に費やすことができると、それは患者さんの安心に繋がると同時に看護師にとってのやりがいや達成感にも結びつくと思う。

看護の質と看護チーム力の向上に向け、カンファレンスの充実に取り組んだ。インシデントをタイムリーに共有し原因と対策を考えるKYTカンファレンスにはナースングアシスタント (NA) にも参加してもらった。これは、インシデントを共有することでチームの一員であり協力し合う仲間であるという意識付けと、話し合いに参加する責任を持つこととなった。内容によっては薬剤師や病棟クラークにも参加を促し病棟全体で患者さんの安全を守る意識を高めていった。NAとの協働の意識が高まると、看護指示のもと食事介助ができるようになった。それをきっかけにオムツ交換や清潔介助にも積極的になり、NAの職務満足度調査で、やりがい感の項目が高得点であった。看護チームとしてお互いに力を発揮し活躍できる場を提供していく環境作りが重要といえる。

今後ともどんなに忙しくても協力し合い、尊敬し合い、お互いに高め合うことでやりがい感達成感が得られるように、看護の専門性と質の向上を目指し、働き続けられる環境でありたい。

(齊藤輝乃)

## 東7階病棟

東7階病棟は循環器内科の単科病棟であり、当院のハートセンターの中心として診療・看護に日々取り組んでいます。あらゆる心臓病に対する内科的な診断、治療を行っており、カテーテル検査・治療を積極的に行っています。

令和5年度の部署戦略目標を「気づきを言語化し看護ケアに活かす」「お互い認め合い協力し合える看護チーム作り」「患者にとって最善を考える看護チーム作り」「健全な病院経営に貢献する」とし、スローガンに「気づきに立ち止まろう・相手を思いやろう・共に取り組もう」を掲げました。そして患者さんも看護師も安全・安心であることの基本を守り、時代の変化に柔軟に対応したいという思いで、部署目標を「安全・安心かつ柔軟に対応できる職場づくり」としました。ペアナーシングを推進し補い合いながら安全で質の高い看護を目指しつつ、クリニカルパスにおけるアウトカム評価を推進し業務の効率化を図り超過勤務の減少にも繋げ、やりたい看護を行う時間を捻出することができました。

また、多職種で協働しながらチーム医療を行い、患者

さん一人一人の病状や生活に合わせてリハビリテーションや生活指導を行っています。近年は特に心不全の患者さんのケアに積極的に取り組んでいます。高齢化社会に伴い慢性心不全を繰り返す高齢患者さんが増加しており、生命予後の改善や緩和ケアの必要性が高まっています。そこで、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・総合相談員の多職種からなる「ハートケアチーム」が、それぞれの専門分野から意見を出し合う「心不全カンファレンス」を開き、患者さんが抱える問題に対して最善の方針を検討しています。患者さんの意思を尊重し、納得したケアを受けられるよう日々話し合いをしています。今後はより一層、外来や地域との連携を強化し、より患者さんの生活をみすえた看護を提供していきたいと考えています。

(榛葉亜矢子)

#### 東8階病棟

東8階病棟は、HCU (High Care Unit) で、一般病床とICUの中間的な役割を担う部署である。術後の経過観察を行う患者さんと共にCOVID-19の重症者を受け入れることが多く、感染管理に重点を置いて取り組んだ。9月に東5階HCUと東8階が統合され、東8階HCUとなった。ICUでの治療により緊急の状態を脱した患者さん、術後で集中的に経過観察が必要な患者さんなど幅広く受け入れるようになった。病床稼働率は65.3%、重症度、医療・必要度は平均87.8%であった。

今年度は、2年ぶりに新人看護職員を受け入れ、お互いが補完できるようコミュニケーションを活発に行い、「知識を深め、チームで協働し、看護を楽しもう！」をスローガンに取り組んだ。患者カンファレンスでは、患者さんの思いやご家族が抱える思い、現在の患者さんの病状と今後の治療方針について何度も話し合いを行う場面が多くあった。意識レベルが低下し話すことができない患者さんご家族との橋渡しができるようご家族の面会時には様子を説明した。また、ご家族の不安をお伺いし、チームで共有しご家族が少しでも長く患者さんのベッドサイドで過ごせるように配慮するなど統一した対応ができるよう取り組んだ。患者さんの意志の尊重については、倫理委員会とカンファレンスを行い治療方針、対応を検討した。療養中のリハビリテーションや栄養については、毎日カンファレンスを行い、患者さん一人ひとりについて情報共有し、毎日のリハビリテーションや栄養の相談している。看護師が医師や理学療法士、栄養士、薬剤師などと相談し、対応を確認する場面が多く協働できている。話し合いの中では教育的な面があり、新人看護職員が考え成長に繋がっている。HCUでは在棟期間が平均3.9日と短いため、受け持ち看護師として関わる事が少なくなってしまうが、治療や退院に向けた患者

さんやご家族の思いを知り、チーム全体で考え患者さんに安全で安心な看護を提供できるよう知識の向上、連携、協働を行い、看護の質の向上に取り組んでいく。

(大石千晴)

#### 東9階病棟

東9階病棟は、外科、消化器外科、泌尿器科、消化器内科の混合病棟である。今年度は、「守ろう安全、届けよう安心」をスローガンとし、フィジカルアセスメント力の向上をはかり、異常の早期対応、繰り返す転倒の予防、受け持ち看護師の役割を發揮し、患者に寄り添った看護を行うことを目指した。また看護実践のための業務改善にも取り組んだ。

病院機能受審におけるケアプロセスでは、ストーマ造設患者に対し入院から退院まで、多職種や認定看護師と連携し、個別性のある関わりができた。看護研究でも取り組み、退院後の入浴に対する指導不足があることがわかりパンフレットを修正した。1例ではあるが退院後訪問を行い、訪問看護師との連携をはかることもできた。カンファレンス時に患者と関わる時間をもうけ、受け持ち強化月間として看護計画やケアの見直しをすることで受け持ち看護師としての意識も高まってきた。医師を交えた倫理カンファレンスやデスカンファレンスを行い、何も出来なかったという思いから、次にどうすればいいのかの学びを次の患者さんに実践できた事例もあった。患者満足度でも、退院に向けての支援や看護師、医療者間の連絡がとれているという項目が上昇した。受け持ち看護師が中心となりチームで看護実践したことを、患者さんの視点で評価し、患者さんに寄り添った看護を継続していきたい。

業務改善では、クリニカルパスの推進と申し送り、タイムアウトの時間短縮をはかった。医師と協力し新規パスの作成、アウトカム評価を実施した。クリニカルパスの稼働率は、外科で91.7%、泌尿器科で52.5%と上昇した。アウトカムを評価することで記録時間が短縮し記録による超過勤務も減少した。申し送り内容を検討し少しではあるが患者と関わる時間の確保につながった。チーム間での情報共有が増え、タイムアウトを利用し、リーダーが業務の采配をできるようになったり、時間を意識した行動ができるようになってきた。

フィジカルアセスメント力の強化には課題が残る。認定看護師や特定看護師と連携し実践力の向上をはかり、病棟の暗黙知を形式知にすることで、安全な看護の実践に繋げたい。

(神保聡子)

#### 東10階病棟

東10階病棟は、「PLACE MAKING! 互いのために、

語り合い、仲間と考え続ける」を病棟目標に、学びの場・対話の場・居場所をつくるという「場づくり」を大切にしてきた。

病床稼働率は、95%を超えめまぐるしい1年であった。病床編成の変更により、ほぼ呼吸器内科単科となり、入院患者のさらなる高齢化と看護度の高い患者さんが増加した。呼吸器内科の患者さんは、ADLの低下があり、予備能力もなく治療が終わっても退院調整が必要となる。特に誤嚥性肺炎では療養型病院への転院となるケースも多く、平均在院日数が長くなってしまふ。今後、パスの件数も増やしていき、在院日数の短縮や記録による超過勤務の削減を目指したい。

病院機能評価受審時には、ケアプロセス対象病棟となった。受審に向けマニュアルの確認や病棟内の整理整頓を行った。なぜ、こういうマニュアルがあるのかを改めて確認でき、マニュアルを守ることは、患者さんだけでなく自分たちを守ることにつながることだと気づくことができた。カイゼンの取り組みとしては、タイムアウトの見直しを行った。実施時間、参加メンバー、共有する内容などは、必ずスタッフの意見を集め変更していった。現在は、11時15分のタイムアウトは日替わりリーダーと日責、夕番のNAで行っている。日替わりリーダーはメンバーの元に行き、患者さんの観察とともに進捗を把握し業務量調整を図っている。これは、日替わりリーダーの情報整理力の向上にもつながっている。

今年度は、受け持ち看護師として患者さんとご家族で意思確認を行い記録するようにした。患者カンファレンスで受け持ち発信の情報共有ができつつある。東10階は、科の特性上、終末期を迎える患者さんや嚥下機能の低下により「食べる」ことを失ったり、それにより自宅を離れ、終の棲家の選択を余儀なくされる。患者さんだけでなく、その家族も多くの葛藤を抱えることになる。そのとき、患者さんやご家族の意向をくみ、意思決定支援ができる看護チームとなることを今後の課題としたい。

(前島秀美)

## 手術室 血管撮影室

近年、手術室は若いスタッフの心理的安全を保障して教育することを大切に指導體制を構築してきた。その成果として、若い日替わりリーダーやクリーンリーダー達が多く誕生した。今年度は、手術介助手技だけに囚われず、看護の視点で物事を捉え、リーダーシップを発揮できるように育成することが、質の高い手術室看護に繋がると考え、成長を支援した。部署のスローガンを「繋げよう、繋がろう」と掲げ、患者さんの思いを手術チーム皆に繋ぐよう実践に臨んだ。手術室では、看護師の帰りの会の開催を導入し、患者さんに細やかな配慮ができる工夫についてや、術中の急変やトラブルを共有した。血

管撮影室では毎日のショートカンファレンスを継続し、第12回静岡県看護学会で実践報告として発表した。自分達が普段行っている看護がいかにか、患者さんにとって意味ある事なのかを考え、言葉にすることの大切さを再確認できた。術前訪問用のパンフレットの改訂、ステントグラフト内挿術パンフレットの作成など丁寧な手術/検査前後の訪問を心がけ、患者満足度調査では両室共に高評価を得た。10月には手術室10roomが完成し、ダヴィンチXi更新があった。診療科毎のロボット手術チームを作り、多職種で検討を重ねて、物品の準備、マニュアル整備を行った。運用開始後の5ヶ月間の手術実績は約140件で、順調に件数を重ねている。血管撮影室ではアブレーションチームが多職種で協働し、県内トップの400症例を実施した。放射線技師に一部清潔介助をタスクシェアしたことで、医師と看護師はより専門性を発揮できるようになった。また、両室の協働として、今年度はペースメーカー植え込みと電池交換術、シャント経皮的血管拡張術手術を血管撮影室へ移行した。結果として、手術室定時時間内稼働率が上昇し、超過勤務時間の減少にもなった。なによりも、患者さんの待機時間が短縮したことが大きな成果であった。今後も、患者さんの思いを大切に考えた質の高い看護実践を目指していきたい。

(坂本美志)

## 血液浄化センター

令和5年度は部署のスローガンとして「シンカ」とし周りの状況に合わせよりよく変化、対応ができることを目標に活動した。血液浄化センターでは病院経営の参画として血液透析領域での加算が得られるように活動をし、導入期加算、下肢末梢動脈、腎臓リハビリ実施での算定を行った。また、安全に透析治療の提供を行うための体制を整えた。手指衛生を確実に行うためにベッド毎に配置していた察式用アルコール製剤を個人持ちに変更をし、月の使用量が4500mlから8000mlに増加した。また、患者誤認防止を防ぐためのシステムを採血の際にも導入することができ、注射認証率86.6%、採血が91.6%であった。また、働きやすい環境作りを作る取り組みとして今年度から情報伝達の間である申し送りを廃止し申し送りシートを活用することで患者情報を確実に伝達するよう変更した。申し送りを廃止したことで生じた時間を活用し早番勤務が担っていた透析開始準備を全員で行うよう業務改善を行い、早番勤務を廃止することができた。また、透析室で勤務している看護師はラダーⅣ以上のベテラン看護師が多いが、未就学児の育児との両立を課題にしている。児が就学する際には日勤勤務から夜勤のあるシフト勤務への移行に困難な場合がある。夜勤を行うことの困難さに加え、育児との両立、複雑な書類への対応も不安の原因である。そこで今年度は夜勤シフト勤務へ



の移行が円滑に行えるよう看護師が病棟勤務を体験し入院関連業務を習得できるよう活動を行った。透析室看護師は患者さんや家族との対応には問題はなかったが電子カルテへの入力操作が困難であったが、回数を重ねることで複雑な入力操作も可能になった。

今後、看護師の人員確保がますます困難になると思われるなか働きやすい環境、働き続けられる環境を整えることは患者さんに安心して安全な療養環境を提供することに繋がる。今後も業務の改善を継続していくことが課題である。

(上野山良子)

## 救急外来

今年度の救急外来戦略テーマは、1、救急外来チームを強化する 2、専門性を発揮する 3、病院経営に参画するとし、スローガンは「inclusion!!」（多様な人材がお互いを認め一体感を持ち相互に機能している状態）として活動した。令和5年度の救急外来患者数は13,304名そのうち救急車搬送患者数は7,460件、応需率97.59%で市内最多であった。今年度も多くの救急患者を受け入れることができたのは、臨床推論力を高め合い、救急外来のフロアコントロールを行ったこと、救急外来での受け持ち看護師の役割を明確にし、患者さんや家族に看護が提供できたからであると考えます。

臨床推論力を高める活動として、鑑別疾患の列挙及び病態予測を行いやすいようにペアカンファレンス用紙を改訂した。また、ホットラインカンファレンスを継続し、患者さんの訴えによる症状に着目してアセスメントを行うことを意識付けした。その結果、想定される疾患を想起し臨床推論を活用しながら重症度や緊急度を考慮し、人員配置や救急外来のフロアコントロールを行うことができた。また、受け持ち看護師としての役割を機能させ、面談に同席する場面が増えた。それにより意思確認やどのように病状を受け止めているのかを知り、患者さんや家族の支援ができるようになった。そして、その情報を入院する病棟に伝えること、帰宅する患者さんや家族には帰宅後の注意点を説明し、安心して自宅療養ができるように支援を行った。

今後も、患者さんの安全を担保しながら受診患者さんを受け入れていくために、短時間で臨床推論を用いて考える訓練を行っていききたい。そして、各々がもつ知識を補完し合いアセスメント力を向上させ看護に導くことが出来るように継続して学ぶ姿勢を大切にしていきたい。次年度も緊急性や切迫性がある救急外来において、揺れ動く患者さんや家族の感情に気づき、寄り添える看護をめざしていきたい。

(澤口展子)

## 外来

静岡市立静岡病院外来には、1日約1,000人の患者が通院し、多職種が連携して治療・検査・看護・教育を行っている。

近年、在院日数の短縮、患者の高齢化と共に、大きなリスクを抱えて治療に臨む患者さんや、退院後継続して治療を要する患者さんが少なくない。また、開業医からの紹介制度が進み、地域連携による患者さんの受入数は増加し、地域包括ケアシステムにおける急性期病院としての役割が増している。退院した患者さんには、身体的な治療だけでなく、心理的な不安、社会的な負担等を抱えたままの方がおり、継続した看護が必要となる。そこで、患者さんにとって最善の治療が提供出来るよう、面談への同席や、面談後の意思確認を積極的に行い、患者さんの立場に立った看護に取り組んでいる。更に、お話を伺うだけでなくその内容は積極的に記録に残し、病棟との連携強化に努めている。また、患者さんが安心して入院し、患者さんが退院後地域での生活を継続するため、入退院支援室とも連携して、説明・指導を行っている。

また、外来診療は医療クラークとの連携が必要不可欠であり、医療クラークの統括部門である診療サポート室と職員の配置や応援態勢などについてきめ細かい調整をし、円滑な外来診療を行っている。

一方、患者サービスの評価のために毎年患者満足度調査を行い、外来業務の改善に努めているが、近年、外来の待ち時間が長い事が問題となっていた。しかし、診療科が積極的に対策に取り組むことで、徐々に外来の終了時間が早まっている。次年度は、待ち時間短縮のためのワーキンググループを発足し、更なる待ち時間短縮を試みる。

患者さんの注射・処置を行う合同処置室は、2024年度にリニューアルする予定となっている。更なる増加が予想される治療を要する患者さんの受け入れと共に、より患者さんの目線に立ったサービスを提供するため、職員一丸となって外来診療及び看護を充実していきたい。

(河合王明)

## 内視鏡放射線検査室

今年度は「“安心して下さい”安全で優しい内視鏡・放射線看護提供します」を目標に掲げスタートした。患者さんとの関わりは、検査・治療の前後と検査中に限られており、非常に短い時間である。患者さんに「この病院で検査をしてよかった」と思ってもらえるように医師・看護師・コメディカルと協働し、患者さんにとって安全で、苦痛のないものとなるように心がけている。看護師の平均年齢が高いが、その経験値を活かし患者さんの不安を出来る限り軽減し寄り添い、精神的なサポートにも積極的に取り組んだ。検査・治療件数は年々増え、上部

内視鏡検査3,607件、下部内視鏡検査2,549件、ERCP365件、造影CT検査6,666件、放射線治療検査7,707件、PET・MRI・RI検査1,446件（以上、看護師が関わった検査）である。今年度、当院看護研究発表大会で最優秀賞に評価された看護研究をきっかけに、放射線治療における皮膚炎ケアマップを導入し、病棟訪問を開始した。病棟看護師との情報交換が行われ、治療に関する質問を受けることが増え、治療室と病棟間との連携が少しずつ確立してきている。

また、勉強会は年間計画を立てて、看護師・医師・業者による22講座実施した。特に、異動者・看護補助者に対してはスコープの基本構造・洗浄方法・特殊スコープの取り扱いを早期に実施している。急変時シミュレーションやチームステップスも、実際に部署内で発生した事例を取り上げ、多職種（医師・看護師・放射線技師・クラーク・NA等）が参加して共有を図った。看護倫理については、複数人集合出来て検査数が少ないときに「看護を語る会」と称して患者さんへの関わりについて振り返る時間を設けている。他のスタッフの患者さんへの配慮や思いを、その場で共有することによって新たな気づきがあり、検査を受ける患者さんへの関わりにおいてとても参考になっている。引き続き、安全で優しい内視鏡放射線検査室を目指して頑張っていきたい。

（後藤 薫）

## 化学療法室

令和5年度より化学療法室は、増加傾向である外来化学療法に対応する為に、移転拡充にむけて外来部門より独立し一看護単位となった。そして、「患者さんにあたたかな治療室をめざします」を部署目標に掲げ、患者さんに寄り添い、患者さんが生活と治療の継続ができるような支援を心がけた。

令和5年度の外来化学療法件数は、4,540件であり昨年度より75件増加している。院内で実施する化学療法の約70%は化学療法室で実施している。治療予約が集中する事もあり、患者さんの治療日の変更や入院での化学療法を余儀なくされる事があった。そこで、増加傾向の外来化学療法に対応する為に、次年度7月より西館3階へ移転となり、現行の13床から20床に増床予定である。

近年、免疫チェックポイント阻害剤の適応範囲が広がった事や新規薬剤やレジメンの増加により治療や指導が複雑になってきている。その為、進化する化学療法に対応できるように、適宜勉強会を開催し、安全で確実な投与管理とセルフケア支援を心がけた。

また、看護師と薬剤師や緩和ケア認定看護師、がん相談支援センターの相談員でのカンファレンスを毎朝行うことができおり、多職種による情報共有とタイムリーな介入を実践することができた。

更に、「癒やしの環境づくり」として化学療法室の通路の季節のディスプレイも毎月変更し患者さんから好評を得ている。そして、患者さん向けの外部発信としてホームページ「外来化学療法室だより」を2ヶ月に1回程度更新した。

また、トリアキシン、イホスファミド、エンドキサンの3剤のみに使用していた抗がん剤曝露予防の為に閉鎖式薬剤移送システム（CSTD）を調整と投与の部分ですべての抗がん剤に導入することができ職員の抗がん剤の曝露予防対策の強化につながったと考えられる。

増床後も看護の質を維持できるように、多職種連携の強化とタイムリーなセルフケア支援が提供できるよう務めていきたい。

（原木久美）

## 院外研修会参加者一覧

| 主催                                     | 研 修 名  | 研修期間                                    | WEB, E-learning       | 受 講 者                 |
|--|--|---|-----------------------|-----------------------|
| 日本看護協会                                 | 208 主任のための組織管理入門ー自部署の問題を組織管理の視点で考えるー                               | 2023. 6. 14                             | Z M                   | 森 桜子                  |
|  | 202 高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす①～夜、眠れない高齢者～                                | 2023. 6. 27                             | Z M                   | 奥野真奈                  |
|  | 138 地域で療養生活と看取りを実現するための最適な看護介入とQOLの維持向上                            | 2023. 5. 25                             | O D                   | 殿岡香予子                 |
|  | 201 臓器移植における基礎知識と看護実践<移植後患者指導管理料対応>                                | 2023. 6. 20～6. 22<br>3日間                | Z M                   | 岩邊しのぶ・川嶋みどり           |
|  | 203 高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす②～食事に時間がかかる高齢者～                             | 2023. 7. 25                             | Z M                   | 勝山 恵                  |
|  | 210 看護師長のレジリエンス強化 ー環境変化への即応力と柔軟性ー                                  | 2023. 9. 27                             | Z M                   | 上野山良子                 |
|  | 131 地域包括ケアシステムを形成する施設・職種・制度  | 2023. 11. 5                             | O D                   | 深沢優香                  |
|  | 132 協働におけるコンサルテーションと他職種カンファレンス                                     | 2023. 4. 15                             | O D                   | 加瀬あいら                 |
|  | 143 看護の多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇  | 2023. 10. 12                            | O D                   | 大石千晴                  |
|  | 141 「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)」を目指して！<br>看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドラインの活用 | 2023. 12. 21～12. 22                     | O D                   | 吉井葉末                  |
| 静岡県看護協会                                | 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル   | 2023. 5. 17～7. 27                       |                       | 原木久美・坂本美志・前田鈴子        |
|  | 災害看護一般研修Ⅱ  | 2023. 7. 26                             |                       | 藤浪敦子・芝 千晶             |
|  | 看護補償者の活用推進のための看護管理研修   | 2023. 6. 22 / 6. 28                     | 2023. 6. 22 ZM        | 神保聡子・花村多美子            |
|  |  | 2023. 8. 22 / 8. 23                     | 2023. 8. 12 ZM        | 伊藤志保                  |
|  | 新入会員研修   | 2023. 6. 22 / 7. 5 / 7. 28<br>(いづれかの1日) |                       | 新採用者45人(1名欠席)         |
|  | 組織で取り組む医療安全ー心理的安全性が高いチーム作りー  | 2023. 6. 17                             |                       | 田中みか・清水美帆・青島伶実・広橋美和子  |
|  | 看護研究の第一歩   | 2023. 6. 17                             |                       | 渡邊美鈴・齊藤翔悟・青島伶実        |
|  | JNA収録DVD研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」                                      | 2023. 7. 13                             |                       | 小泉輝代美・小林明子            |
|  | 後輩育成に活かすコーチングスキル   | 2023. 7. 6                              |                       | 岩崎めい・宗意 栞             |
|  | 今、求められる外来看護  | 2023. 7. 22                             |                       | 宮下和子・中津山訓子            |
|  | 暮らしをつなげる看護職員のための研修   | 2023. 7. 29・2023. 11. 7                 |                       | 青木香里                  |
|  | 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル  | 2023. 6. 29～10. 24                      |                       | 河合王明                  |
|  | 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル実習「ナーシングホーム気の里」                                 | 2023. 9. 4                              |                       | 河合王明                  |
|  | 資格認定教育「小論文・レポートの書き方」   | 2023. 6. 16                             |                       | 河合王明                  |
|  | 看護教員継続研修(トピックス研修)  | 2023. 8. 9                              |                       | 小野山真惟・永田 優            |
|  | 臨床判断をOJTで活かして組織の看護力を高めよう   | 2023. 8. 7・2023. 10. 13 2日間             |                       | 横野靖代・朝比奈亜希・廣瀬麻紀子・佐藤卓也 |
|  | 「最新の感染予防 感染予防リンクナースの役割」  | 2023. 8. 25～8. 26<br>2日間                |                       | 鈴木知美・保崎有香             |
|  | タスク・シフト/シェアの理解と看護管理者の役割を考える<br>～特定行為修了者の活躍支援を焦点に～                  | 2023. 8. 28                             |                       | 青山治子・土田裕美             |
|  | セカンドレベル公開講座 資源管理「施設基準とマネジメント」                                      | 2023. 9. 9                              |                       | 市川昭美                  |
|  | 重症心障害児(者)対応看護従事者養成研修   | 2023. 8. 19 / 9. 6<br>2日間               |                       | 井林綾乃                  |
| 医療従事者向け障害福祉事業研修<br>障害福祉サービスの基本を学びましょう！ | 2023. 10. 9  |   | 川嶋栞奈                  |                       |
| ぐんぐん伸びる教え方・育て方                         | 2023. 9. 9   |   | 古木亜希子・菊池優里・小野山真惟・荒木那帆 |                       |
| JNA収録 DVD研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識          | 2023. 9. 20  |   | 小林明子                  |                       |

| 主催                                 | 研修名  | 研修期間   | WEB, E-learning | 受講者                       |
|------------------------------------|--|--|-----------------|---------------------------|
| 静岡県看護協会                            | 医療従事者向け障害福祉事業研修  | 2023. 10. 9  |                 | 川嶋菜奈                      |
|                                    | 看護研究の基礎  | 2023. 7. 29 / 8. 4 / 10. 28 3日間                                      |                 | 齊藤翔悟                      |
|                                    | みんなで考え、実践に活かそう看護倫理   | 2023. 11. 24・2024. 1. 29 2日間   |                 | 杉山勝則・松下 唯・増田麗勇            |
|                                    | その人らしい人生の実現に向けた意思決定支援  | 2023. 11. 5  |                 | 高須紗規子・望月茉央                |
|                                    | 効果的なプレゼンテーション技法  | 2023. 11. 18   |                 | 青木真琴・内田実来                 |
|                                    | 2023年度 医療安全管理者養成研修   | 2023. 11. 22<br>1日集合研修あり   | OD              | 神保聡子                      |
|                                    | 災害支援ナース養成研修 集合研修   | 2023. 11. 28   |                 | 杉山倫代                      |
|                                    | 切れ目ない看護の連携を目指して 地域包括システムの完結に向けて私たちが取り組むべきこと                                    | 2023. 12. 2  |                 | 広橋美和子・古木亜希子               |
|                                    | 再発見、理論で意味づける私の看護実践   | 2023. 12. 4 / 12. 11<br>2日間  |                 | 白井 優・横田川真成                |
|                                    | 医療や看護を受ける人の意向を尊重した意思決定支援   | 2023. 12. 14   | OD              | 上柳牧子・井林綾乃・荻野栄子            |
|                                    | 災害支援ナース養成研修 集合研修   | 2023. 12. 18 / 2024. 1. 28 2日間                                       |                 | 持田佳代子                     |
|                                    | 組織づくりに活かす看護倫理  | 2023. 12. 22   |                 | 青木佐代子・野口純世・福田彩子・村松早希・古川祥枝 |
|                                    | 倫理綱領や看護基準を学び倫理的実践を考えてみよう   | 2024. 1. 11  |                 | 谷口七海                      |
|                                    | 認定管理者研修セカンドレベル フォローアップ研修   | 2024. 3. 5   |                 | 河合王明                      |
| 全自病研修                              | 2023年度 第1回看護部会オンラインセミナー<br>講演Ⅰ 新型コロナ禍を振り返って<br>講演Ⅱ やりがいをもって働く組織作り              | 2023. 7. 3   | OD              | 看護部管理者・師長・副師長・副師長代行・スタッフ  |
|                                    | サイバーセキュリティ対策オンラインセミナー<br>講演Ⅰ 医療機関における情報セキュリティについてVOL.2<br>講義Ⅱ 今、病院に迫るサイバー犯罪の脅威 | 2023. 6. 16(講演Ⅰ)<br>2023. 6. 29(講演Ⅱ)                                 | OD              | 看護部管理者・師長・副師長・副師長代行・スタッフ  |
|                                    | 臨地実習オンラインセミナー<br>カリキュラム改正の意図をふまえた臨地実習指導のあり方                                    | 2023. 10. 24   | OD              | 看護部管理者・師長・副師長・副師長代行・スタッフ  |
|                                    | 第2回看護部会オンラインセミナー<br>「メンタルヘルス対策」～働きやすい職場を目指して～                                  | 2023. 11. 1  | OD              | 看護部管理者・師長・副師長・副師長代行・スタッフ  |
|                                    | 第3回看護部会オンラインセミナー<br>繰り返し発生するエラーについて  | 2024. 3. 6   | OD              | 看護部管理者・師長・副師長・副師長代行・スタッフ  |
|                                    | 第1回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 6. 8   | ZM              | 佐藤瑞恵                      |
|                                    | 第3回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 6. 9   | ZM              | 岩邊しのぶ                     |
|                                    | 第3回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 7. 6   | ZM              | 藤田清子・木原美智子                |
|                                    | 第4回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 7. 7   | ZM              | 杏澤りつ子・村松早希・瀧浪友紀子          |
|                                    | 第5回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 10. 4  | ZM              | 坂本美志                      |
|                                    | 第6回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 10. 5  | ZM              | 野口純世・永田 優・中井美由紀           |
|                                    | 第7回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 10. 25   | ZM              | 畠沢喜代子・石垣昭味・小保方幸広          |
|                                    | 第8回看護補助体制指導者要請研修   | 2023. 10. 26   | ZM              | 森 桜子・佐藤卓也・北楯淳子            |
|                                    | その他  | FCCSオンラインコース   | 2023. 6. 25     | ZM                        |
| がんのリハビリテーション研修                     |  | 2023. 12. 15～<br>2024. 2. 14<br>(E-learning)<br>2024. 3. 2<br>(集合学習) | E-learning      | 佐藤瑞恵                      |
| 第25回日本骨粗鬆症学会<br>第22回骨粗鬆症学会レクチャーコース |  | 2023. 9. 30  |                 | 阿部高志・谷川麻智子                |
| 第13回 学会認定・臨床輸血看護師制度協議会             |  | 2023. 11. 4～11. 5<br>2日間   |                 | 大石悦子・若林由香里                |

| 主催                | 研修名                              | 研修期間   | WEB, E-learning | 受講者        |            |
|-------------------|----------------------------------|--|-----------------|------------|------------|
| その他               | 令和5年度「医療機関の看護師研修」                | 2023. 8. 1 / 8. 9 / 8. 10(訪問看護)<br>2023. 8. 23 |                 | 本間未来       |            |
|                   |                                  | 2023. 8. 1 / 8. 9 / 8. 22(訪問看護)<br>2023. 8. 23 |                 | 原 琴音       |            |
|                   | 2023年度 看護部会研修                    | 2023. 6. 27                                    |                 | 青山治子・鈴木公子  |            |
|                   | 令和5年度 日本看護協会総会                   | 2023. 6. 7～6. 8<br>2日間                         |                 | 井上暢子       |            |
|                   | 学会認定臨床輸血看護師                      | 2023. 11. 4<br>(講習会・試験)                        |                 |            | 若林由香里・大石悦子 |
|                   |                                  | 2024. 1. 25<br>(施設研修)                          |                 |            | 若林由香里      |
|                   |                                  | 2024. 2. 14<br>(施設研修)                          |                 |            | 大石悦子       |
|                   | 第25回日本骨粗鬆症学会                     | 2023. 9. 30<br>(レクチャーコース受講)                    |                 |            | 谷川麻智子・阿部高志 |
|                   |                                  | 2023. 11. 5<br>(認定試験)                          |                 |            |            |
|                   | 日本病態栄養学会NSTセミナー                  | 2023. 8. 16～8. 20<br>(期間内に受講)                  | E-learning      |            | 望月雅貴       |
| 日本看護協会 看護サミット2023 | 2024. 2. 14                      |  |                 | 青山治子・土田裕美  |            |
| 看護師特定行為研修指導者講習会   | 2023. 8. 20                      | ZM   |                 | 土田裕美・坪内亜希子 |            |
| 看護師特定行為研修指導者講習会   | 2023. 8. 27                      | ZM   |                 | 鈴木菜々・伏見順子  |            |
| 認定看護師             | 第25回日本褥瘡学会学術集会                   | 2023. 9. 1～9. 2                                |                 | 海老名哲生      |            |
|                   | 第32回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会        | 2023. 7. 8～7. 9                                |                 | 市川由布子      |            |
|                   | 第38回日本環境感染症学会総会 学術集会             | 2023. 7. 20～7. 22                              |                 | 七丈藍乃       |            |
|                   | 2023年度クリティカルケア認定看護師教育課程 フォロアップ研修 | 2023. 6. 28                                    |                 | 森 茜        |            |
|                   | 第42回日本認知症学会学術集会                  | 2023. 11. 24～11. 26                            |                 | 坪内亜希子      |            |

## 薬 剤 科

令和5年度、新入職員2名を迎え当科では初の男性育児休業取得者が誕生し、4月初めは34人体制でのスタートとなった。本年度は、厚生労働省から公表された病院薬剤師不足という調査結果を受け、静岡県主催の病院薬剤師部合同説明会への積極的参加や、病院ホームページの薬剤部門紹介の刷新を行い、当院薬剤部に興味を持ってくれている方々への情報発信の強化を行った。

今年度の薬剤科内の目標であった周術期薬剤管理加算の算定開始は、年度をまたいでしまったが算定を開始することができた。

病棟薬剤業務関連では、直近4年間、薬剤管理指導件数が横ばいの状態が続いている。これは、退院時処方の説明、関わりを増やすように指示しているのに加え、病棟再編、コロナ前の入院患者数には戻っていないことなどが影響していると分析している。病棟業務では今後、

薬剤管理指導記録、持参薬鑑別業務等について、事務作業的な業務の効率化を図り、業務改善を行っていきたい。

医薬品の安定供給に関しては、出荷制限、出荷停止になっていた薬剤が供給再開になっても、また違う薬剤が出荷停止になるなど、相変わらずの状況が続いている。代替薬品の選別、確保のための業務に費やす時間も少なくはなく、通常業務に対する影響も問題になってきている。

令和6年7月には、外来化学療法室の移転が決まっておりベッド数の増床も予定されている。当然のことながら利用患者の増加も見込まれており、薬剤科でも安心安全で質の高いがん薬物療法を患者さんに提供するとともに、新設される、がん薬物療法体制充実加算の算定開始に向け準備していく。

(望月英明)

表1 薬効別医薬品使用状況（購入金額）

|                       | 令和3年度         | 令和4年度         | 令和5年度         |
|-----------------------|---------------|---------------|---------------|
| 中枢神経系用薬               | 34,241,541    | 35,623,940    | 37,363,846    |
| 末梢神経系用薬               | 7,398,728     | 7,146,254     | 6,939,067     |
| 感覚器官用薬                | 10,040,440    | 15,639,690    | 18,238,985    |
| アレルギー用薬               | 3,728,901     | 2,160,369     | 3,981,402     |
| 循環器官用薬                | 54,669,233    | 58,429,395    | 91,416,427    |
| 呼吸器官用薬                | 25,387,542    | 15,502,188    | 40,858,013    |
| 消化器官用薬                | 118,499,184   | 110,195,485   | 99,296,900    |
| ホルモン剤                 | 99,706,809    | 112,436,971   | 107,169,942   |
| 泌尿生殖器及び肛門用薬           | 3,181,504     | 2,957,050     | 2,443,273     |
| 外皮用薬並びにその他の個々の器官系用医薬品 | 11,189,535    | 10,856,521    | 12,010,604    |
| ビタミン剤                 | 1,737,766     | 1,765,524     | 1,722,478     |
| 滋養強壯薬                 | 26,793,171    | 22,982,197    | 27,842,538    |
| 血液及び体液用薬              | 137,770,776   | 150,361,523   | 162,979,568   |
| 人工灌流用剤                | 20,103,020    | 16,087,773    | 17,891,656    |
| その他の代謝性医薬品            | 203,726,327   | 213,385,841   | 252,876,245   |
| 腫瘍用薬                  | 1,352,804,033 | 1,519,418,032 | 1,598,920,082 |
| 漢方製剤                  | 1,166,198     | 1,050,382     | 1,054,297     |
| 抗生物質製剤                | 47,000,605    | 57,587,079    | 79,614,296    |
| 化学療法剤                 | 222,840,767   | 212,817,484   | 220,485,064   |
| 生物学的製剤                | 479,510,958   | 493,862,656   | 696,182,879   |
| 寄生動物に対する薬             | 1,195,562     | 1,847,398     | 1,396,519     |
| 調剤用薬及び公衆衛生用薬          | 9,480,285     | 10,441,955    | 11,886,407    |
| 診断用薬                  | 66,836,032    | 55,047,810    | 72,530,633    |
| 麻薬                    | 22,885,288    | 21,018,509    | 18,827,679    |
| その他                   | 5,649,548     | 6,100,801     | 6,676,627     |
| 合計                    | 2,967,859,729 | 3,154,722,827 | 3,590,605,427 |

表2 麻薬使用状況

|             | 品名                      | 令和2年, 10. 1~令和3年, 9. 30 | 令和3年, 10. 1~令和4年, 9. 30 | 令和4年, 10. 1~令和5年, 9. 30 |
|-------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 内服<br>用     | アブストラル舌下錠 100 $\mu$ g   | 1,852錠                  | 2,122錠                  | 1,756錠                  |
|             | アブストラル舌下錠 200 $\mu$ g   | 821錠                    | 1,418錠                  | 1,068錠                  |
|             | アブストラル舌下錠 400 $\mu$ g   | 0錠                      | 0錠                      | 0錠                      |
|             | アヘン散                    | 194.4 g                 | 24.2 g                  | 27.3 g                  |
|             | M S コンチン10mg錠           | 55錠                     | 259錠                    | 809錠                    |
|             | M S コンチン30mg錠           | 0錠                      | 424錠                    | 100錠                    |
|             | オキシコドン徐放錠 5mg/NX        | 2,254錠                  | 2,245錠                  | 3,229錠                  |
|             | オキシコドン徐放錠20mg/NX        | 273錠                    | 261錠                    | 164錠                    |
|             | オキシコドン徐放錠40mg/NX        | 46錠                     | 147錠                    | 238錠                    |
|             | オキノーム散2.5mg             | 461包                    | 554包                    | 939包                    |
|             | オキノーム散 5mg              | 285包                    | 166包                    | 469包                    |
|             | オキノーム散10mg              | 119包                    | 519包                    | 188包                    |
|             | オプソ内服液 5mg              | 598包                    | 807包                    | 1,067包                  |
|             | オプソ内服液10mg              | 833包                    | 930包                    | 927包                    |
|             | ナルサス錠 2mg               | 3,727錠                  | 4,101錠                  | 3,994錠                  |
|             | ナルサス錠 6mg               | 5,140錠                  | 5,246錠                  | 4,915錠                  |
|             | ナルサス錠24mg               | 2,221錠                  | 2,780錠                  | 1,145錠                  |
|             | ナルラピド錠 1mg              | 2,868錠                  | 3,025錠                  | 3,165錠                  |
|             | ナルラピド錠 2mg              | 2,008錠                  | 2,721錠                  | 2,574錠                  |
|             | ナルラピド錠 4mg              | 4,193錠                  | 8,085錠                  | 4,025錠                  |
|             | パシーフカプセル30mg            | 366cap                  | 55cap                   | 175cap                  |
|             | パシーフカプセル120mg           | 28cap                   | 104cap                  | 106cap                  |
|             | メサベイン錠 5mg              |                         | 81錠                     | 954錠                    |
|             | メサベイン錠10mg              |                         | 321錠                    | 1,685錠                  |
| 注<br>射<br>剤 | モルヒネ塩酸塩注射液10mg          | 573A                    | 449A                    | 682A                    |
|             | モルヒネ塩酸塩注射液50mg          | 165A                    | 421A                    | 200A                    |
|             | アンベック注200mg             | 16A                     | 182A                    | 2A                      |
|             | オキファスト注50mg             | 8A                      | 0A                      | 8A                      |
|             | フェンタニル注射液               | 23,050A                 | 21,005A                 | 22,575A                 |
|             | レミフェンタニル静注用 2mg         | 4,635V                  | 4,851V                  | 5,200V                  |
|             | ケタラール静注用50mg            | 23A                     | 94A                     | 80A                     |
|             | ナルベイン注 2mg              | 904A                    | 557A                    | 910A                    |
|             | ナルベイン注20mg              | 242A                    | 333A                    | 176A                    |
|             | ベチジン塩酸塩注射液35mg          | 4A                      | 5A                      | 0A                      |
| 外<br>用<br>剤 | アンベック坐剤10mg             | 88個                     | 92個                     | 45個                     |
|             | フェントス/フェンタニルクエン酸テープ 1mg | 1,169枚                  | 1,247枚                  | 1,353枚                  |
|             | フェントス/フェンタニルクエン酸テープ 2mg | 1,253枚                  | 1,251枚                  | 893枚                    |
|             | フェンタニルクエン酸テープ 4mg       | 534枚                    | 812枚                    | 552枚                    |
|             | フェンタニルクエン酸テープ 8mg       | 378枚                    | 241枚                    | 198枚                    |
|             | コカイン塩酸塩                 | 0.2 g                   | 0.4g                    | 0.2 g                   |

備考：麻薬管理年度(令和2年, 10. 1~令和5年, 9. 30)による

表3 処方箋枚数推移

|    | 令和3年度  | 令和4年度   | 令和5年度   |
|----|--------|---------|---------|
| 外来 | 8,341  | 9,392   | 10,936  |
| 入院 | 95,634 | 104,254 | 113,645 |

表4 処方箋剤数推移

|    | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |
|----|---------|---------|---------|
| 外来 | 17,168  | 18,795  | 19,625  |
| 入院 | 242,773 | 254,011 | 261,090 |

表5 注射処方箋枚数推移

|    | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |
|----|---------|---------|---------|
| 外来 | 35,962  | 42,281  | 61,283  |
| 入院 | 274,641 | 313,590 | 414,041 |

表6 薬剤管理指導業務推移

|             | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  |
|-------------|--------|--------|--------|
| 指導回数        | 14,139 | 14,278 | 14,057 |
| 算定件数        | 13,417 | 13,619 | 13,465 |
| 退院時薬剤情報管理指導 | 3,301  | 3,902  | 4,518  |

表7 抗がん剤混注処方箋枚数推移

|    | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----|-------|-------|-------|
| 外来 | 4,169 | 4,482 | 4,523 |
| 入院 | 1,572 | 1,596 | 1,785 |

## 放射線技術科

令和5年度の放射線技術科スタッフは、退職者2名の補充を加え診療放射線技師36名（正規33、再任用2、パート1）、受付事務員7名（パート）、撮影補助1名（パート）でスタートした。新型コロナの影響はほぼ無くなり、ほとんどのモダリティでコロナ以前の水準に戻ったようであった。一方CT検査、骨密度、手術室Cアームは、大幅に件数を伸ばしている。要因としてCT検査は緊急が増加、骨密度は股関節術後のクリニカルパスに組み込まれたこと、手術室Cアームは使用記録の徹底をはかったことが挙げられる。

機器装置の導入・更新についてはエンド・サポートのマンモサーバ、Cアーム外科イメージ、移動型バイプレーン透視装置の更新を行った。結石破碎室にパノラマ撮影装置を増設した。これにより1台で行っていたCBCTやパノラマ撮影を分散でき患者待ち時間の短縮が図れた。また装置トラブルによる診療への影響も2台体制で最小限に抑えられるようになった。

医師の働き方改革を推進するためのタスク・シフトを前提とした告示研修は対象者33名中31名が修了した。また2022年10月から放射線技師がRI心筋シンチグラフィのTc製剤再投与業務の実施を始めたが、2023年5月から

はRIの（負荷心筋シンチグラフィ、PET-CT検査を除く）静脈路確保と放射性製剤の注入業務を開始した。さらに同年7月から造影MRI検査の静脈路確保と造影剤注入を放射線技師が行うようになり、看護師から静脈路確保業務の移管を行った。またデンタル撮影装置を2021年11月より口腔外科外来から放射線部門に移設し、技師が撮影を開始した。2023年度の実績は医師が携わっていた2021年度の4倍近くに増加した。

放射線診断科医師を中心にSTAT（緊急画像報告）のための研修会を月1回開催し技師のスキルアップと救急現場で緊急性の高い画像に対して担当医師に報告できるような体制の構築を目指した。

放射線治療においては放射線治療医が2名体制になったことから令和4年からIMRTを開始し、令和5年度はIMRTの件数が前年度を7割以上上回った。

### 【臨床実習生の受入】

- ① 鈴鹿医療科学大学 4年 1名  
実習期間：4月24日～7月14日（57日間）
- ② 静岡医療科学専門学校 3年 1名  
実習期間：5月8日～7月14日（50日間）

（増田秀道）

表1 一般撮影検査件数

|       | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比    |
|-------|--------|--------|--------|---------|
| 頭     | 917    | 772    | 801    | +3.8%   |
| 鼻     | 50     | 27     | 65     | +140.7% |
| 頸椎    | 891    | 765    | 1,005  | +31.4%  |
| 胸椎    | 252    | 354    | 324    | -8.5%   |
| 腰椎    | 2,155  | 2,689  | 3,301  | +22.8%  |
| 骨盤    | 499    | 583    | 621    | +6.5%   |
| 仙骨・尾骨 | 91     | 80     | 211    | +163.8% |
| 胸部    | 52,965 | 55,008 | 55,084 | +0.1%   |
| 腹部    | 8,678  | 7,977  | 8,056  | +1.0%   |
| 肋骨    | 103    | 158    | 124    | -21.5%  |
| 胸骨・鎖骨 | 306    | 437    | 393    | -10.1%  |
| 肩     | 738    | 831    | 995    | +19.7%  |
| 肩甲骨   | 31     | 28     | 47     | +67.9%  |
| 上腕    | 148    | 174    | 209    | +20.1%  |
| 肘     | 656    | 675    | 747    | +10.7%  |
| 前腕    | 141    | 170    | 307    | +80.6%  |
| 手関節   | 924    | 1,305  | 1,186  | -9.1%   |
| 手     | 1,076  | 1,340  | 1,497  | +11.7%  |
| 股関節   | 3,271  | 3,579  | 4,003  | +11.8%  |
| 大腿骨   | 320    | 360    | 339    | -5.8%   |
| 膝     | 1,559  | 1,767  | 2,010  | +13.8%  |
| 下腿    | 271    | 341    | 331    | -2.9%   |
| 足関節   | 558    | 590    | 608    | +3.1%   |
| 足     | 620    | 651    | 720    | +10.6%  |
| 下肢全長  | 68     | 120    | 134    | +11.7%  |
| 乳房    | 804    | 906    | 927    | +2.3%   |
| パントモ  | 2,620  | 3,129  | 3,394  | +5.5%   |
| デンタル  | 147    | 402    | 611    | +52.0%  |
| 咽頭・喉頭 | 28     | 39     | 52     | +33.3%  |
| 乳房生検  | 9      | 5      | 8      | +60.0%  |
| 計     | 80,896 | 85,262 | 88,110 | +3.3%   |



表2 出張撮影件数

|      | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比  |
|------|--------|--------|--------|-------|
| 胸部   | 11,801 | 13,929 | 13,060 | -6.2% |
| 腹部   | 4,322  | 4,161  | 3,931  | -5.5% |
| 骨・関節 | 1,420  | 1,629  | 1,645  | +1.0% |
| 総計   | 17,543 | 19,719 | 18,636 | -5.5% |

表3 CT検査件数

|              | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 頭部単純         | 5,794  | 6,405  | 6,978  | +8.9%  |
| 頭部造影         | 119    | 91     | 62     | -31.9% |
| 頭部単純+造影      | 448    | 459    | 416    | -9.4%  |
| 頸・胸・腹・他単純    | 14,595 | 16,434 | 16,698 | +1.6%  |
| 頸・胸・腹・他造影    | 1,844  | 2,159  | 1,853  | -14.2% |
| 頸・胸・腹・他単純+造影 | 5,726  | 5,818  | 5,793  | -0.4%  |
| 治療計画         | 452    | 441    | 504    | +14.3% |
| CBCT(2F放射線)  | 928    | 1,056  | 1,151  | +9.0%  |
| 合計           | 29,906 | 32,863 | 33,455 | +1.8%  |

グラフ CT検査件数

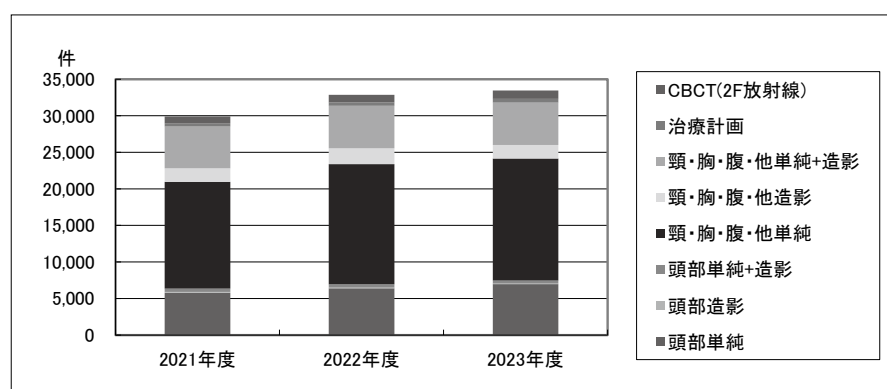


表4 CT 3D処理件数

|    | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比  |
|----|--------|--------|--------|-------|
| 件数 | 3,796  | 3,961  | 4,341  | +9.6% |

表5 MRI検査件数

|       | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 頭部    | 3,327  | 3,309  | 3,322  | +0.4%  |
| T M J | 10     | 5      | 6      | +20.0% |
| 頸部    | 156    | 135    | 135    | ±0%    |
| 胸部    | 192    | 198    | 239    | +20.7% |
| 腹部    | 1,322  | 1,693  | 1,762  | +4.1%  |
| 骨盤    | 527    | 490    | 526    | +7.3%  |
| 心・大血管 | 110    | 126    | 108    | -14.3% |
| 脊髄・脊椎 | 471    | 513    | 506    | -1.4%  |
| 四肢    | 378    | 478    | 622    | +30.1% |
| 合計    | 6,493  | 6,947  | 7,226  | +4.0%  |

グラフ MRI検査件数

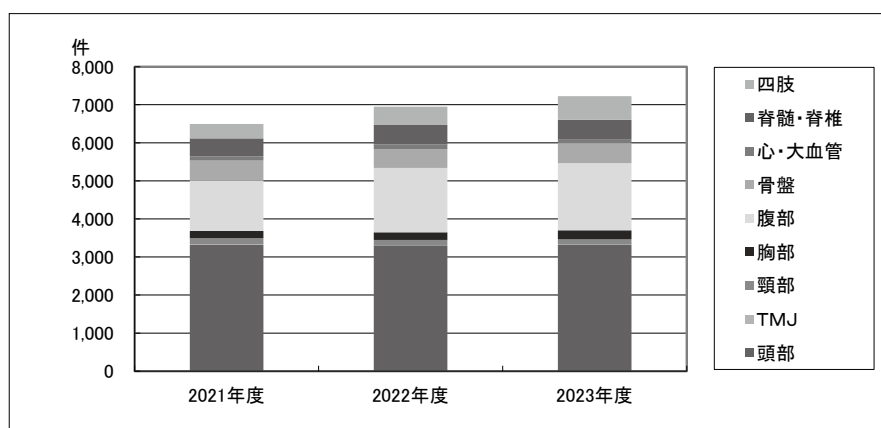


表6 骨密度件数

|    | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 件数 | 504    | 809    | 962    | +18.9% |

表7 血管撮影検査件数

|       | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 循環器科  | 1,799  | 1,712  | 1,720  | +0.5%  |
| 心臓外科  | 249    | 212    | 307    | +44.8% |
| 脳神経外科 | 196    | 160    | 176    | +10.0% |
| 消化器科  | 68     | 85     | 57     | -32.9% |
| その他   | 8      | 11     | 6      | -45.5% |
| 合計    | 2,320  | 2,180  | 2,380  | +9.2%  |

グラフ 血管撮影検査件数

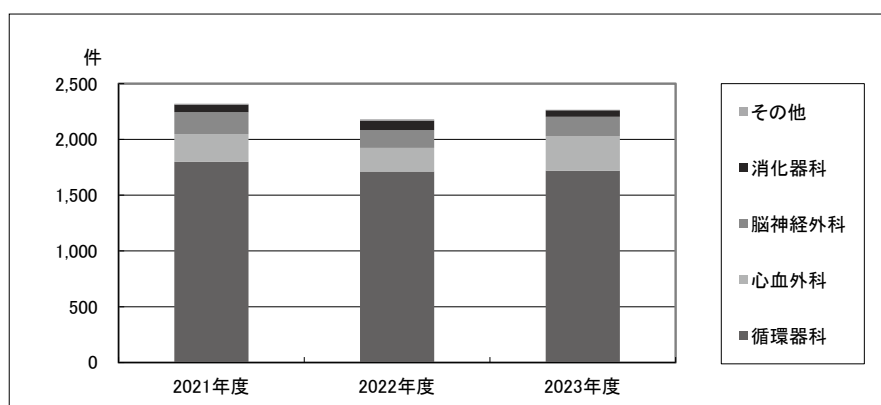


表8 HB手術室・手術室Cアーム件数

|         | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| HB手術室   | 227    | 257    | 283    | +10.1% |
| 手術室Cアーム | 298    | 373    | 473    | +26.8% |
| 合計      | 525    | 630    | 756    | +20.0% |

表9 透視造影検査件数

|             | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比    |
|-------------|--------|--------|--------|---------|
| 食道・胃・十二指腸造影 | 438    | 375    | 282    | -24.8%  |
| 消化器系その他     | 648    | 689    | 677    | -1.7%   |
| 健診・食道・胃     | 241    | 255    | 234    | -8.2%   |
| 腸           | 276    | 278    | 286    | +2.9%   |
| 呼吸器系        | 301    | 362    | 327    | -9.7%   |
| 泌尿器系        | 417    | 478    | 465    | -2.7%   |
| 整形          | 22     | 15     | 30     | +100.0% |
| 婦人科系        | 21     | 16     | 20     | +25.0%  |
| 単純透視        | 102    | 93     | 100    | +7.5%   |
| その他         | 4      | 5      | 6      | +20.0%  |
| 計           | 2,470  | 2,566  | 2,427  | -5.4%   |

グラフ 透視造影検査件数

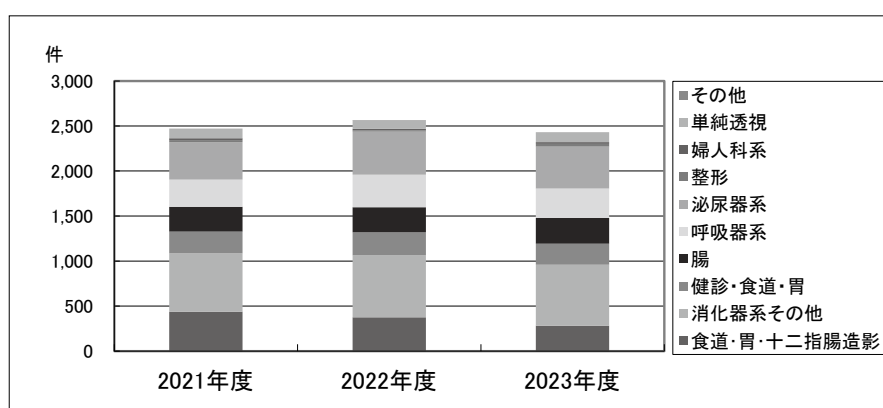


表10 放射線治療件数

|     | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 頭部  | 245    | 408    | 331    | -18.9% |
| 頭頸部 | 590    | 558    | 737    | +32.1% |
| 胸部  | 1,501  | 1,214  | 1,284  | +5.8%  |
| 腹部  | 275    | 267    | 203    | -24.0% |
| 骨盤部 | 1,884  | 2,037  | 2,381  | +16.9% |
| 四肢  | 68     | 41     | 6      | -85.4% |
| その他 | 1,018  | 1,398  | 1,310  | -6.3%  |
| 合計  | 5,581  | 5,923  | 6,252  | +5.6%  |

グラフ 放射線治療件数

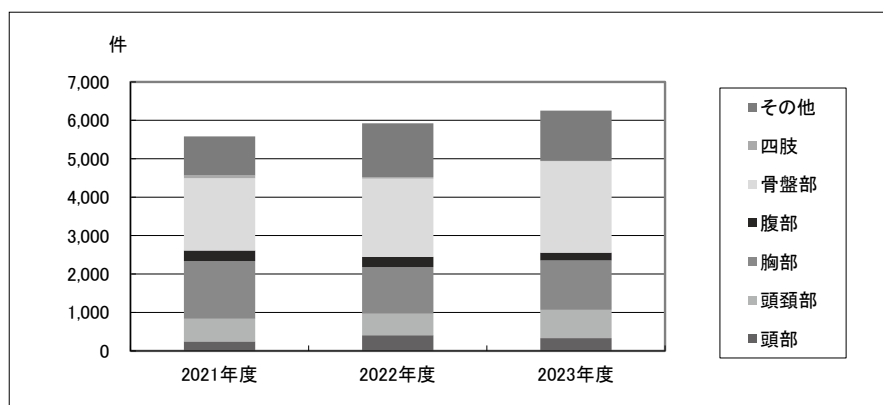


表11 特殊照射件数

|           | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 体幹部定位照射   | 40     | 35     | 52     | +48.6% |
| 脳定位照射     | 19     | 20     | 16     | -20.0% |
| 強度変調放射線治療 | 0      | 48     | 84     | +75.0% |

表12 アイソトープ検査件数

|          | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比    |
|----------|--------|--------|--------|---------|
| 脳・脊髄     | 63     | 73     | 75     | +2.7%   |
| 唾液腺      | 6      | 3      | 6      | +100.0% |
| 甲状腺・副甲状腺 | 20     | 15     | 14     | -6.7%   |
| 肺        | 20     | 25     | 24     | -4.0%   |
| 安静時心筋    | 142    | 205    | 152    | -25.9%  |
| 運動負荷心筋   | 131    | 127    | 75     | -40.9%  |
| 運動負荷併用   | 0      | 84     | 228    | +171.4% |
| 薬剤負荷心筋   | 707    | 548    | 357    | -34.9%  |
| 心        | 2      | 0      | 1      | -       |
| 肝・消化管    | 0      | 3      | 2      | -33.3%  |
| 腎・副腎     | 12     | 27     | 28     | +3.7%   |
| リンパ節     | 64     | 63     | 76     | +20.6%  |
| 骨・骨髄     | 416    | 405    | 422    | +4.2%   |
| 腫瘍・炎症    | 40     | 42     | 44     | +4.8%   |
| PETCT    | 726    | 767    | 793    | +3.4%   |
| 治療       | 10     | 20     | 46     | +130.0% |
| 合計       | 2,359  | 2,407  | 2,343  | -2.7%   |

グラフ アイソトープ検査件数

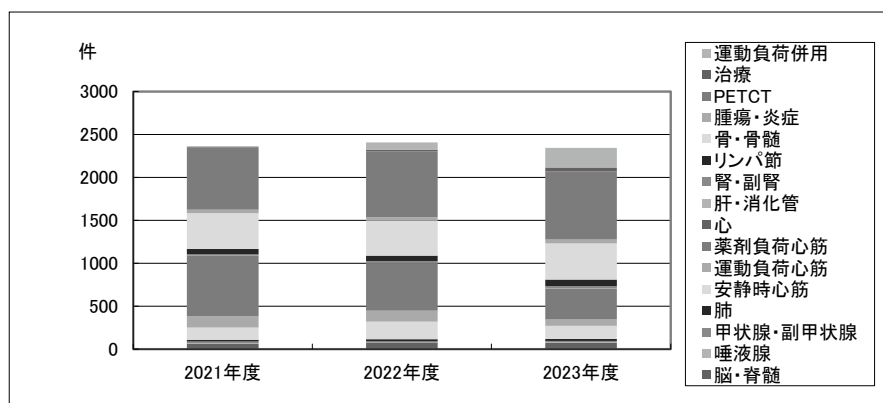


表13 CD-Rコピー件数

|    | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 無料 | 4,224  | 5,147  | 5,798  | +12.6% |
| 有料 | 206    | 172    | 171    | -0.6%  |
| 合計 | 4,430  | 5,319  | 5,969  | +12.2% |

表14 Filmコピー件数

|    | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|----|--------|--------|--------|--------|
| 無料 | 780    | 793    | 769    | -3.0%  |
| 有料 | 22     | 16     | 11     | -31.3% |
| 合計 | 802    | 809    | 780    | -3.6%  |

表15 Film・画像データのサーバ取り込み件数

|        | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 前年度比   |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| フィルム   | 150    | 162    | 170    | +4.9%  |
| CD・DVD | 3,609  | 3,897  | 4,434  | +13.8% |
| 件数     | 3,759  | 4,059  | 4,604  | +13.4% |

## 検査技術科

令和5年度の検査総件数は、3,096,159件で前年比1.3%減であった。部署別で見ると、検体検査（中央分析・血液・一般・採血）1.4%減、輸血5.2%増、病理1.6%減、微生物3.2%増、生理機能2.2%増であり若干の増減はあるが、ほぼ前年度並みとなっている。保険点数は125,234,608点で前年比4.4%減であった。新型コロナウイルス感染拡大以前の状況に戻ったと思われる。

外注検査のうち、要望があり依頼が多かった cortisol や ACTH を院内検査に導入した。今後も臨床の要望や採算性を考慮して院内測定項目への採用を検討していきたい。

材料費（試薬・機材費、外注は委託費）は、検査科全体では5.8%減となっている。これは比較的高価であった新型コロナウイルスの検査件数減少によるところが大きく、輸血や病理、生理などは材料費の値上げによる影響で10%超の増加となっている。

令和5年度の業務目標は『検査品質の維持向上と職場

環境のカイゼン』をテーマとし、採血や超音波の待ち時間短縮やタスク・シフト/シェア推進、個人スキルアップなどについて目標値を定め改善を図ってきた。職員個々の努力により目標は概ね達成することができた。特にタスク・シフト/シェアについては生理機能検査室が『超音波パルステスト』を早期に導入し、順調に症例を重ねている。今後も実施可能な業務について積極的に導入を検討したい。当検査室の長年の課題である採血、超音波の待ち時間については、わずかな短縮は達成できたが満足できるレベルにはほど遠く、今後も継続して改善に努めたい。

令和5年度は新たに3名の職員が加わり順調に業務の習得が進んでいる。次世代の人材育成にも注力していきたい。

個人、組織のレベルを引き上げ、質の高い検査データを提供できるように、スタッフ全員で協力して業務に取り組んでいく。

(堂本浩二)

### 検査統計

|       |      | 年度件数      | 前年比   | 年度点数        | 前年比   | 試薬・機材費(円)   | 外注金額(円)    | 前年比   | 総額(試薬・機材費・外注) | 前年比   |
|-------|------|-----------|-------|-------------|-------|-------------|------------|-------|---------------|-------|
| 2019年 | R1年度 | 3,161,285 | -2.7% | 118,236,157 | -3.4% | 247,660,160 | 71,098,074 | 6.3%  | 318,758,234   | -2.7% |
| 2020年 | R2年度 | 2,879,417 | -8.9% | 114,302,444 | -3.3% | 244,725,971 | 65,461,732 | -7.9% | 310,187,703   | -2.7% |
| 2021年 | R3年度 | 2,978,399 | 3.4%  | 126,675,565 | 10.8% | 281,134,328 | 77,017,599 | 17.7% | 358,151,927   | 15.5% |
| 2022年 | R4年度 | 3,135,891 | 5.3%  | 130,948,216 | 3.4%  | 303,134,850 | 95,289,305 | 23.7% | 398,424,155   | 11.2% |
| 2023年 | R5年度 | 3,096,159 | -1.3% | 125,234,608 | -4.4% | 281,175,650 | 94,169,587 | -1.2% | 375,345,237   | -5.8% |

### 件数推移

|       |      | 検体系       | 輸血     | 病理     | 微生物    | 生理     | 外注     | 計         | 採血患者数  |
|-------|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|--------|
| 2019年 | R1年度 | 2,933,242 | 45,783 | 12,345 | 40,990 | 65,533 | 63,392 | 3,161,285 | 89,298 |
| 2020年 | R2年度 | 2,675,244 | 44,212 | 11,158 | 37,731 | 58,127 | 52,945 | 2,879,417 | 83,079 |
| 2021年 | R3年度 | 2,754,369 | 52,544 | 12,409 | 40,939 | 57,830 | 60,308 | 2,978,399 | 84,263 |
| 2022年 | R4年度 | 2,904,598 | 58,796 | 12,676 | 38,320 | 59,150 | 62,351 | 3,135,891 | 84,454 |
| 2023年 | R5年度 | 2,863,415 | 61,863 | 12,476 | 39,563 | 60,458 | 58,384 | 3,096,159 | 81,677 |

### 保険点数

|       |      | 検体系        | 輸血        | 病理        | 微生物        | 生理         | 外注         | 計           |
|-------|------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|
| 2019年 | R1年度 | 61,708,920 | 2,278,651 | 8,156,980 | 6,939,453  | 24,891,911 | 14,260,242 | 118,236,157 |
| 2020年 | R2年度 | 56,577,995 | 2,195,160 | 7,247,186 | 12,741,186 | 22,282,384 | 13,258,533 | 114,302,444 |
| 2021年 | R3年度 | 60,376,966 | 2,498,541 | 8,368,312 | 18,883,486 | 21,907,038 | 14,641,222 | 126,675,565 |
| 2022年 | R4年度 | 71,599,250 | 3,071,278 | 8,703,056 | 8,097,470  | 22,304,265 | 17,172,897 | 130,948,216 |
| 2023年 | R5年度 | 66,017,167 | 3,296,124 | 8,734,520 | 8,544,293  | 22,598,131 | 16,044,373 | 125,234,608 |

### 材料費（外注は委託費）

|       |      | 検体系         | 輸血         | 病理         | 微生物        | 生理        | 外注         | 計           |
|-------|------|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-------------|
| 2019年 | R1年度 | 173,646,283 | 22,662,260 | 10,065,886 | 36,732,998 | 4,552,733 | 71,098,074 | 318,758,234 |
| 2020年 | R2年度 | 164,859,632 | 21,330,999 | 9,890,568  | 44,384,796 | 4,259,976 | 65,461,732 | 310,187,703 |
| 2021年 | R3年度 | 183,278,860 | 25,083,293 | 9,890,568  | 59,165,701 | 3,715,906 | 77,017,599 | 358,151,927 |
| 2022年 | R4年度 | 219,339,075 | 24,886,826 | 10,292,353 | 44,051,541 | 4,565,055 | 95,289,305 | 398,424,155 |
| 2023年 | R5年度 | 196,406,085 | 28,008,603 | 11,957,824 | 39,365,510 | 5,437,628 | 94,169,587 | 375,345,237 |

## 臨床工学科

本年度は宮地健太技士が豊橋ハートセンターから当科スタッフとして入職した。

業務は増加傾向にある臨床技術支援に努めたが、休暇取得が進まず年度末月に対処したことは反省点となった。タスクシフト施策の医療法改正告示研修は94%の履修であった。

### 【医療機器管理】

中央管理貸出機器の稼働状況は、シリンジポンプの稼働率が95.0%で管理した。保守業務は、年間保守計画に沿って特定保守管理医療機器（人工呼吸器、閉鎖式保育器、人工心肺装置、除細動器、血液浄化装置）、中央管理機器の保守を実施した（表2、3）。作業は、定期点検の他、始業・終業時点検、異常時対応（修理、調整など）に努め、臨床の安全を保障する範囲により使用者（当科スタッフ）と製造メーカー保守依頼に振り分け実施した。保守対象はcovid-19拡大以前（R1年度）の動向に戻りつつあるも除細動器、人工呼吸器の保守が増加傾向であった。医療機器の安全使用を目的とした院内説明会および勉強会は61回開催した。

### 【臨床技術業務】

連携する診療科に症例数（表4）は準ずる。血液浄化

関連の業務総数は減少傾向（前年比4.0%減）であった。集中治療領域での出張透析、血漿交換療法は変動なく推移した。人工心肺関連は、緊急手術が増加傾向（前年比20.0%増）であった。予定手術では弁膜疾患の人工心肺が減少傾向（前年比6.7%減）であった。背景にはTAVIの適応拡大、MitraClipの実施（前年比23.1%増）など低侵襲手術への移行が考えられる。ペースメーカー関連業務の件数は、covid-19拡大以前の水準に戻ったと考えられた。電池交換、外来、ホームモニタリング（インターネットを利用した遠隔監視）が増加（前年比8.6%増）している。カテーテル関連業務においてはアブレーション（前年比13.5%増）、ステント業務（前年比33.3%増）が増加した。手術機器関連ではdaVinci更新とロボット手術室開設で、ロボット支援手術が増加（前年比：消化器外科48.8%増、産婦人科7.9%増）、加えて呼吸器外科でロボット支援手術を導入した。

### 【対外活動】

当科では施設認定、施設機能に適應する専門資格の取得を促し、その他学術活動、各種認定資格取得は自主性に任せている。本年度は多くの学会が参集型にもどりつつあり各々参加し自己研鑽に努めている。

（大隅 進）

令和5年度中央管理機器貸出状況

表1 中央管理貸出機器稼働状況  
患者監視装置

|    | 外来 |     | W3 |     | W4 |     | OP |    | W6 |    | W7 |     | W8 |    | W9 |     | 救急 |    |
|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|
|    | 件数 | 日数  | 件数 | 日数  | 件数 | 日数  | 件数 | 日数 | 件数 | 日数 | 件数 | 日数  | 件数 | 日数 | 件数 | 日数  | 件数 | 日数 |
| R1 | 2  | 730 | 1  | 2   | 1  | 43  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 6   | 1  | 20 | 1  | 31  | 0  | 0  |
| R2 | 3  | 6   | 3  | 30  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 204 | 0  | 0  | 4  | 23  | 0  | 0  |
| R3 | 7  | 4   | 0  | 0   | 1  | 364 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 4  | 12  | 0  | 0  |
| R4 | 5  | 3   | 3  | 96  | 1  | 364 | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 14  | 0  | 0  | 10 | 68  | 0  | 0  |
| R5 | 17 | 743 | 7  | 128 | 3  | 771 | 0  | 0  | 0  | 0  | 5  | 224 | 1  | 20 | 19 | 134 | 0  | 0  |

|    | E5 |     | E6 |     | E7 |    | E8 |    | E9 |     | E10 |     | E12 |     | 合計  |       | 稼働率 |      |
|----|----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|
|    | 件数 | 日数  | 件数 | 日数  | 件数 | 日数 | 件数 | 日数 | 件数 | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 台数  | %    |
| R1 | 0  | 0   | 5  | 8   | 0  | 0  | 1  | 3  | 0  | 0   | 1   | 1   | 2   | 272 | 16  | 1,116 | 6   | 87.6 |
| R2 | 0  | 0   | 5  | 16  | 0  | 0  | 4  | 71 | 13 | 169 | 4   | 15  | 1   | 70  | 39  | 604   | 4   | 41.4 |
| R3 | 0  | 0   | 2  | 27  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 3   | 2   | 27  | 0   | 0   | 17  | 437   | 4   | 41.4 |
| R4 | 2  | 252 | 3  | 458 | 0  | 0  | 0  | 0  | 3  | 66  | 2   | 478 | 0   | 0   | 72  | 2,157 | 6   | 82.3 |
| R5 | 2  | 252 | 15 | 509 | 0  | 0  | 5  | 74 | 17 | 238 | 9   | 521 | 3   | 342 | 103 | 3,956 | 6   | 76.9 |

## 人工呼吸器

|     | 外来  |       | W 3 |     | W 4 |     | OP  |       | W 6 |    | W 7 |     | W 8 |       | W 9 |       | 救急  |      |
|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-----|------|
|     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 件数  | 日数 | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数  | 日数   |
| R 1 | 0   | 0     | 0   | 0   | 2   | 374 | 0   | 0     | 3   | 8  | 1   | 47  | 2   | 9     | 1   | 1     | 1   | 4    |
| R 2 | 0   | 0     | 0   | 0   | 2   | 11  | 0   | 0     | 2   | 6  | 0   | 0   | 3   | 17    | 2   | 2     | 1   | 8    |
| R 3 | 0   | 0     | 0   | 0   | 7   | 133 | 0   | 0     | 3   | 6  | 0   | 0   | 1   | 1     | 1   | 1     | 1   | 27   |
| R 4 | 18  | 685   | 0   | 0   | 1   | 0   | 2   | 0     | 6   | 31 | 1   | 11  | 6   | 28    | 6   | 20    | 3   | 401  |
| R 5 | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 5   | 10 | 0   | 0   | 10  | 160   | 1   | 8     | 4   | 460  |
|     | E 5 |       | E 6 |     | E 7 |     | E 8 |       | E 9 |    | E10 |     | E12 |       | 合計  |       | 稼働率 |      |
|     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 件数  | 日数 | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 台数  | %    |
| R 1 | 100 | 1,507 | 7   | 104 | 5   | 30  | 75  | 1,684 | 5   | 49 | 6   | 43  | 4   | 418   | 212 | 4,278 | 24  | 58.3 |
| R 2 | 179 | 2,398 | 10  | 109 | 10  | 39  | 46  | 925   | 3   | 22 | 14  | 10  | 6   | 1,291 | 278 | 4,838 | 24  | 58.3 |
| R 3 | 164 | 2,079 | 8   | 104 | 14  | 154 | 75  | 1,438 | 3   | 87 | 22  | 111 | 0   | 0     | 299 | 4,141 | 25  | 69.6 |
| R 4 | 175 | 2,043 | 8   | 81  | 9   | 73  | 90  | 1,017 | 2   | 42 | 33  | 297 | 4   | 654   | 364 | 5,383 | 27  | 39.9 |
| R 5 | 144 | 1,941 | 11  | 29  | 20  | 110 | 163 | 1,556 | 3   | 3  | 15  | 143 | 0   | 0     | 376 | 4,420 | 23  | 37.6 |

## シリンジポンプ

|     | 外来    |        | W 3 |       | W 4 |       | OP    |        | W 6 |       | W 7 |       | W 8 |     | W 9   |        | 救急  |       |
|-----|-------|--------|-----|-------|-----|-------|-------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-------|--------|-----|-------|
|     | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数  | 日数  | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    |
| R 1 | 46    | 1,306  | 60  | 7,199 | 80  | 611   | 930   | 14,542 | 90  | 916   | 34  | 305   | 56  | 730 | 61    | 683    | 236 | 2,944 |
| R 2 | 37    | 518    | 21  | 6,435 | 72  | 568   | 1,076 | 15,620 | 94  | 1,289 | 45  | 464   | 25  | 294 | 146   | 1,137  | 257 | 3,138 |
| R 3 | 54    | 1,689  | 39  | 8,405 | 70  | 524   | 367   | 8,689  | 59  | 524   | 41  | 451   | 5   | 45  | 148   | 635    | 294 | 2,661 |
| R 4 | 54    | 1,193  | 21  | 6,785 | 86  | 801   | 143   | 6,875  | 83  | 424   | 46  | 660   | 58  | 333 | 172   | 837    | 414 | 3,568 |
| R 5 | 109   | 1,652  | 21  | 5,426 | 63  | 437   | 144   | 9,733  | 72  | 338   | 51  | 616   | 105 | 405 | 170   | 929    | 460 | 3,540 |
|     | E 5   |        | E 6 |       | E 7 |       | E 8   |        | E 9 |       | E10 |       | E12 |     | 合計    |        | 稼働率 |       |
|     | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数  | 日数  | 件数    | 日数     | 台数  | %     |
| R 1 | 2,101 | 18,869 | 305 | 2,832 | 351 | 4,279 | 473   | 3,989  | 108 | 619   | 99  | 788   | 6   | 326 | 5,036 | 60,938 | 205 | 75.3  |
| R 2 | 2,371 | 18,501 | 284 | 2,786 | 370 | 4,400 | 267   | 3,428  | 136 | 915   | 134 | 826   | 8   | 399 | 5,343 | 60,718 | 205 | 75.3  |
| R 3 | 2,531 | 17,167 | 227 | 1,692 | 399 | 3,727 | 550   | 4,708  | 109 | 586   | 151 | 1,010 | 0   | 0   | 5,044 | 52,513 | 184 | 86.0  |
| R 4 | 2,786 | 16,249 | 226 | 1,637 | 368 | 3,646 | 442   | 2,888  | 92  | 637   | 162 | 865   | 0   | 0   | 5,153 | 47,398 | 201 | 95.1  |
| R 5 | 2,466 | 13,061 | 278 | 1,312 | 349 | 3,020 | 962   | 5,648  | 97  | 461   | 98  | 909   | 0   | 0   | 5,445 | 47,487 | 169 | 95.0  |

## 輸液ポンプ

|     | 外来    |        | W 3 |       | W 4 |       | OP    |       | W 6 |       | W 7 |       | W 8 |       | W 9   |        | 救急  |       |
|-----|-------|--------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-------|--------|-----|-------|
|     | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数    | 日数    | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    |
| R 1 | 57    | 6,191  | 9   | 286   | 385 | 3,996 | 8     | 53    | 275 | 2,247 | 188 | 1,970 | 158 | 1,147 | 84    | 1,386  | 60  | 1,366 |
| R 2 | 51    | 6,229  | 6   | 558   | 328 | 3,052 | 4     | 28    | 282 | 2,147 | 264 | 2,027 | 63  | 509   | 154   | 1,600  | 77  | 1,578 |
| R 3 | 96    | 5,754  | 16  | 1,978 | 368 | 3,076 | 5     | 36    | 327 | 2,276 | 298 | 2,030 | 21  | 110   | 208   | 2,145  | 122 | 1,891 |
| R 4 | 96    | 5,754  | 16  | 1,978 | 368 | 3,076 | 5     | 36    | 327 | 2,276 | 298 | 2,030 | 21  | 110   | 208   | 2,145  | 122 | 1,891 |
| R 5 | 53    | 4,885  | 20  | 1,751 | 426 | 2,852 | 10    | 102   | 347 | 1,943 | 320 | 2,528 | 306 | 1,601 | 264   | 1,679  | 260 | 3,145 |
|     | E 5   |        | E 6 |       | E 7 |       | E 8   |       | E 9 |       | E10 |       | E12 |       | 合計    |        | 稼働率 |       |
|     | 件数    | 日数     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数    | 日数    | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数  | 日数    | 件数    | 日数     | 台数  | %     |
| R 1 | 1,572 | 13,664 | 65  | 628   | 624 | 4,168 | 1,051 | 7,996 | 336 | 2,863 | 212 | 1,883 | 2   | 205   | 5,086 | 50,049 | 147 | 74.8  |
| R 2 | 2,051 | 15,489 | 117 | 863   | 741 | 4,092 | 487   | 4,755 | 366 | 2,659 | 252 | 2,028 | 5   | 279   | 5,248 | 47,893 | 147 | 74.8  |
| R 3 | 2,150 | 15,137 | 167 | 1,057 | 813 | 3,514 | 714   | 5,657 | 365 | 2,275 | 305 | 2,127 | 0   | 0     | 5,975 | 49,063 | 144 | 92.0  |
| R 4 | 2,150 | 15,137 | 167 | 1,057 | 813 | 3,514 | 714   | 5,657 | 365 | 2,275 | 305 | 2,127 | 0   | 0     | 5,975 | 49,063 | 129 | 82.2  |
| R 5 | 1,934 | 17,315 | 228 | 1,106 | 874 | 4,170 | 1,289 | 8,553 | 406 | 2,869 | 379 | 2,925 | 0   | 0     | 7,116 | 57,424 | 196 | 75.3  |

## 超音波ネブライザー

|     | 外来  |     | W 3 |     | W 4 |     | OP  |     | W 6 |     | W 7 |     | W 8 |     | W 9 |       | 救急  |      |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|------|
|     | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 件数  | 日数   |
| R 1 | 12  | 427 | 0   | 0   | 1   | 7   | 0   | 0   | 1   | 5   | 14  | 345 | 19  | 420 | 0   | 0     | 0   | 0    |
| R 2 | 17  | 572 | 0   | 0   | 1   | 37  | 0   | 0   | 1   | 13  | 11  | 172 | 19  | 500 | 4   | 12    | 0   | 0    |
| R 3 | 11  | 450 | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 6   | 34  | 31  | 515 | 0   | 0   | 2   | 5     | 0   | 0    |
| R 4 | 6   | 384 | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 3   | 15  | 15  | 399 | 23  | 389 | 1   | 15    | 0   | 0    |
| R 5 | 3   | 349 | 0   | 0   | 2   | 24  | 0   | 0   | 3   | 31  | 8   | 121 | 35  | 682 | 2   | 16    | 0   | 0    |
|     | E 5 |     | E 6 |     | E 7 |     | E 8 |     | E 9 |     | E10 |     | E12 |     | 合計  |       | 稼働率 |      |
|     | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 台数  | %    |
| R 1 | 11  | 180 | 11  | 185 | 4   | 62  | 20  | 482 | 0   | 0   | 4   | 5   | 0   | 0   | 97  | 2,118 | 10  | 59.2 |
| R 2 | 25  | 521 | 12  | 158 | 6   | 89  | 13  | 429 | 4   | 104 | 12  | 197 | 0   | 0   | 125 | 2,804 | 10  | 59.2 |
| R 3 | 16  | 266 | 28  | 503 | 5   | 40  | 9   | 106 | 4   | 74  | 15  | 208 | 0   | 0   | 127 | 2,201 | 10  | 59.5 |
| R 4 | 24  | 400 | 20  | 274 | 3   | 118 | 21  | 316 | 11  | 262 | 42  | 646 | 0   | 0   | 169 | 3,218 | 17  | 58.6 |
| R 5 | 19  | 172 | 16  | 287 | 8   | 112 | 31  | 476 | 21  | 387 | 55  | 654 | 0   | 0   | 203 | 3,311 | 17  | 44.5 |

持続吸引器

|     | 外来 |    | W 3 |    | W 4 |     | OP  |       | W 6 |     | W 7 |    | W 8 |    | W 9 |     | 救急 |     |
|-----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|-----|
|     | 件数 | 日数 | 件数  | 日数 | 件数  | 日数  | 件数  | 日数    | 件数  | 日数  | 件数  | 日数 | 件数  | 日数 | 件数  | 日数  | 件数 | 日数  |
| R 1 | 0  | 0  | 0   | 0  | 14  | 195 | 949 | 9,260 | 3   | 28  | 5   | 73 | 9   | 99 | 5   | 21  | 40 | 828 |
| R 2 | 0  | 0  | 0   | 0  | 2   | 11  | 911 | 9,010 | 3   | 38  | 1   | 10 | 2   | 14 | 6   | 34  | 31 | 714 |
| R 3 | 0  | 0  | 0   | 0  | 10  | 51  | 795 | 7,774 | 25  | 341 | 5   | 65 | 1   | 8  | 9   | 51  | 32 | 665 |
| R 4 | 0  | 0  | 0   | 0  | 13  | 176 | 663 | 7,120 | 24  | 455 | 6   | 70 | 4   | 53 | 11  | 95  | 46 | 845 |
| R 5 | 0  | 0  | 0   | 0  | 11  | 149 | 716 | 6,470 | 15  | 373 | 4   | 30 | 3   | 12 | 18  | 149 | 45 | 751 |

|     | E 5 |       | E 6 |     | E 7 |    | E 8 |     | E 9 |     | E10 |     | E12 |    | 合計    |        | 稼働率 |      |
|-----|-----|-------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|--------|-----|------|
|     | 件数  | 日数    | 件数  | 日数  | 件数  | 日数 | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数  | 件数  | 日数 | 件数    | 日数     | 台数  | %    |
| R 1 | 84  | 2,123 | 57  | 609 | 4   | 51 | 30  | 663 | 21  | 610 | 52  | 759 | 0   | 0  | 1,273 | 15,319 | 59  | 63.9 |
| R 2 | 47  | 1,672 | 35  | 328 | 1   | 7  | 9   | 80  | 17  | 103 | 70  | 782 | 0   | 0  | 1,135 | 12,803 | 59  | 63.9 |
| R 3 | 43  | 1,697 | 19  | 179 | 3   | 23 | 17  | 119 | 32  | 208 | 72  | 545 | 0   | 0  | 1,063 | 11,726 | 56  | 67.5 |
| R 4 | 42  | 1,473 | 18  | 124 | 2   | 30 | 6   | 41  | 35  | 284 | 63  | 667 | 0   | 0  | 933   | 11,433 | 83  | 34.8 |
| R 5 | 715 | 6,459 | 10  | 136 | 1   | 11 | 8   | 159 | 26  | 316 | 58  | 0   | 0   | 0  | 1,630 | 15,015 | 45  | 57.3 |

表 2 機器別保守点検状況

| 機器名       | R 1   | R 3   | R 4   | R 5   | R1年度比較 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 自動血圧計     | 140   | 210   | 171   | 185   | ▲ 45   |
| 胎児診断装置    | 2     | 0     | 0     | 0     | ▲ 2    |
| 除細動器      | 718   | 769   | 737   | 1,055 | 337    |
| 電気メス      | 10    | 4     | 0     | 12    | 2      |
| ファイバースコープ | 67    | 73    | 4     | 23    | ▲ 44   |
| 人工心肺装置    | 5     | 15    | 4     | 17    | 12     |
| パルスオキシメータ | 18    | 13    | 0     | 10    | ▲ 8    |
| 超音波診断装置   | 12    | 9     | 19    | 20    | 8      |
| バルーンパンピング | 43    | 29    | 46    | 39    | ▲ 4    |
| 保育器       | 12    | 12    | 16    | 11    | ▲ 1    |
| 低圧持続吸引器   | 16    | 22    | 9     | 3     | ▲ 13   |
| 患者監視装置    | 384   | 88    | 85    | 256   | ▲ 128  |
| 超音波ネブライザー | 97    | 130   | 154   | 129   | 32     |
| ペースメーカー   | 14    | 15    | 19    | 16    | 2      |
| 透析用患者監視装置 | 88    | 55    | 50    | 54    | ▲ 34   |
| 人工呼吸器、麻酔器 | 3,393 | 3,485 | 3,238 | 3,312 | ▲ 81   |
| 酸素流量計     | 30    | 2     | 0     | 29    | ▲ 1    |
| その他       | 581   | 418   | 730   | 448   | ▲ 133  |
| 計         | 5,630 | 5,349 | 5,282 | 5,619 | ▲ 11   |

表 3 部署別保守点検状況

| 部署    | R 1   | R 3   | R 4   | R 5   | R1年度比較 |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 血液浄化C | 13    | 10    | 9     | 7     | ▲ 6    |
| W 4   | 14    | 171   | 196   | 306   | 292    |
| OP    | 60    | 285   | 231   | 171   | 111    |
| W 6   | 6     | 5     | 0     | 13    | 7      |
| W 7   | 21    | 5     | 4     | 20    | ▲ 1    |
| W 8   | 30    | 4     | 5     | 11    | ▲ 19   |
| W 9   | 10    | 0     | 1     | 13    | 3      |
| 外来    | 23    | 143   | 123   | 20    | ▲ 3    |
| リハビリ  | 9     | 25    | 16    | 14    | 5      |
| CE    | 6,172 | 5,006 | 4,928 | 6,559 | 387    |
| E10   | 12    | 2     | 0     | 15    | 3      |
| E 9   | 16    | 4     | 2     | 11    | ▲ 5    |
| E 8   | 19    | 2     | 1     | 2     | ▲ 17   |
| GHC U | 17    | 4     | 0     | 26    | 9      |
| E 7   | 40    | 9     | 1     | 20    | ▲ 20   |
| E 6   | 14    | 8     | 0     | 18    | 4      |
| E 5   | 84    | 376   | 453   | 918   | 834    |
| W12   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      |
| ER 1  | 0     | 4     | 166   | 13    | 13     |
| 臨床検査  | 0     | 0     | 0     | 1     | 1      |
| 薬剤科   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      |
| 計     | 6,560 | 6,063 | 6,136 | 8,158 | 1,598  |

部署別件数 (別掲)

|       | R 1   | R 3   | R 4   | R 5   | R1年度比較 |      |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| 血液浄化C | 8     | 10    | 9     | 7     | ▲ 1    |      |
| W 4   | W 4   | 26    | 171   | 196   | 306    | 280  |
|       | 未熟児   | 0     | 0     | 0     | 1      | 1    |
| OP    | OP    | 55    | 285   | 231   | 169    | 114  |
|       | 心カテ   | 5     | 5     | 0     | 2      | ▲ 3  |
| E 5   | ICU   | 28    | 368   | 453   | 753    | 725  |
|       | HCU   | 9     | 8     | 16    | 12     | 3    |
|       | モービル  | 0     | 3     | 5     | 15     | 15   |
| 検査    | 内視鏡室  | 40    | 7     | 0     | 12     | ▲ 28 |
|       | RI    | 0     | 0     | 0     | 2      | 2    |
| 外来    | 一般外来  | 11    | 143   | 123   | 20     | 9    |
|       | 救急外来  | 12    | 4     | 166   | 13     | 1    |
| E 8   | GHC U | 17    | 8     | 1     | 26     | 9    |
| 計     | 211   | 1,012 | 1,200 | 1,338 | 1,127  |      |

保守点検率 (別掲)

|         | R 1 | R 3   | R 4   | R 5   | R1年度比較 |       |
|---------|-----|-------|-------|-------|--------|-------|
| シリンジポンプ | 対象数 | 561   | 334   | 392   | 392    | ▲ 169 |
|         | 点検数 | 460   | 293   | 346   | 342    | ▲ 118 |
|         | 達成率 | 81.9% | 87.7% | 88.3% | 87.2%  | 5.3   |
| 輸液ポンプ   | 対象数 | 432   | 258   | 403   | 403    | ▲ 29  |
|         | 点検数 | 380   | 218   | 356   | 356    | ▲ 24  |
|         | 達成率 | 92.1% | 84.5% | 88.3% | 88.3%  | ▲ 3.8 |



表4 臨床技術提供 (単位: 件)

| 業 務                    |               | R 1     | R 2    | R 3    | R 4    | R 5    | R1年度比較 |    |
|------------------------|---------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 血液浄化関連                 | 血液透析          | 12,664  | 12,481 | 12,310 | 11,641 | 10,909 | ▲1,755 |    |
|                        | 出張透析          | 4       | 1      | 18     | 17     | 12     | 8      |    |
|                        | 術中透析          | 68      | 53     | 30     | 33     | 24     | ▲44    |    |
|                        | 限外濾過          | 123     | 116    | 51     | 76     | 81     | ▲42    |    |
|                        | 血漿交換          | 7       | 18     | 7      | 8      | 25     | 18     |    |
|                        | 持続緩徐式血液濾過透析   | 1,113   | 1,103  | 1,009  | 785    | 945    | ▲168   |    |
|                        | 血液直接灌流他       | 59      | 55     | 81     | 8      | 49     | ▲10    |    |
|                        | 腹水濾過濃縮再静注法    | 142     | 81     | 52     | 42     | 57     | ▲85    |    |
| 小計                     | 14,180        | 13,908  | 13,558 | 12,610 | 12,102 | ▲2,078 |        |    |
| 人工心肺装置関連               | 弁膜疾患患者        | 160     | 134    | 102    | 120    | 112    | ▲48    |    |
|                        | 虚血性心疾患患者      | 21      | 18     | 26     | 11     | 8      | ▲13    |    |
|                        | 弁膜疾患+虚血性心疾患患者 | 24      | 30     | 11     | 18     | 7      | ▲17    |    |
|                        | 大動脈瘤疾患+その他    | 64      | 66     | 70     | 60     | 72     | 8      |    |
|                        | その他           | 0       | 19     | 8      | 3      | 4      | 4      |    |
|                        | 補助循環(ECMO)    | 12      | 9      | 9      | 13     | 6      | ▲6     |    |
| 補助循環日数                 | 31            | 72      | 50     | 80     | 28     | ▲3     |        |    |
| 小計                     | 281           | 276     | 226    | 225    | 209    | ▲72    |        |    |
| 人工呼吸器動作確認              |               | 2,185   | 2,653  | 2,455  | 2,281  | 2,526  | 341    |    |
| ペースメーカー関連              | 植込み           | PM      | 132    | 104    | 118    | 113    | 135    | 3  |
|                        |               | リードレスPM | 6      | 7      | 10     | 4      | 10     | 4  |
|                        |               | ICD     | 13     | 9      | 12     | 5      | 12     | ▲1 |
|                        |               | S-ICD   | 3      | 3      | 4      | 1      | 2      | ▲1 |
|                        |               | CRT-D   | 14     | 12     | 10     | 11     | 20     | 6  |
|                        |               | CRT-P   | 3      | 5      | 7      | 0      | 7      | 4  |
|                        |               | ICM     | 4      | 13     | 11     | 11     | 7      | 3  |
|                        | リード増設/再留置     | 10      | 4      | 7      | 11     | 8      | ▲2     |    |
|                        | 電池交換          | PM      | 39     | 63     | 56     | 89     | 90     | 51 |
|                        |               | ICD     | 6      | 11     | 6      | 8      | 17     | 11 |
|                        |               | S-ICD   |        |        | 1      | 2      | 2      | 2  |
|                        |               | CRT-D   | 4      | 9      | 6      | 6      | 4      | 0  |
|                        |               | CRT-P   | 0      | 2      | 1      | 2      | 3      | 3  |
|                        | 植込後チェック       | 153     | 129    | 142    | 129    | 181    | 28     |    |
| 設定変更等                  | 258           | 140     | 269    | 158    | 402    | 144    |        |    |
| MRI撮像時設定変更             | 8             | 8       | 18     | 10     | 15     | 7      |        |    |
| リード抜去/本体摘出             | 4             | 4       | 7      | 4      | 8      | 4      |        |    |
| 外来チェック                 | 1,732         | 1,589   | 2,135  | 2,084  | 2,151  | 419    |        |    |
| Home Monitoring チェック件数 | 5,216         | 6,433   | 8,510  | 8,903  | 9,783  | 4,567  |        |    |
| 小計                     | 7,605         | 8,545   | 11,330 | 11,551 | 12,540 | 4,935  |        |    |
| カテーテル関連                | ablation      | 275     | 239    | 319    | 363    | 412    | 137    |    |
|                        | TAVI          | 66      | 69     | 97     | 102    | 101    | 35     |    |
|                        | Mitra clip    | —       | —      | —      | 13     | 16     |        |    |
|                        | CAG           | 247     | 250    | —      | —      | —      |        |    |
|                        | PCI           | 83      | 137    | —      | —      | —      |        |    |
|                        | EVT           | 71      | 39     | 64     | 41     | 34     | ▲37    |    |
|                        | ステントグラフト内挿術   | 24      | 24     | 27     | 28     | 27     | 3      |    |
|                        | TEVAR         | 76      | 77     | 87     | 78     | 104    | 28     |    |
| 小計                     | 842           | 835     | 594    | 625    | 694    | ▲148   |        |    |
| その他                    | 自己血回収術総数      | 266     | 218    | 157    | 188    | 138    | ▲128   |    |
|                        | 内訳            | 266     | 218    | 155    | 187    | 138    | ▲128   |    |
|                        | 心臓血管外科        | 0       | 0      | 2      | 1      | 0      | 0      |    |
|                        | 泌尿器科          | 88      | 61     | 77     | 62     | 66     | ▲22    |    |
|                        | 消化器外科         | 19      | 31     | 35     | 43     | 64     | 45     |    |
|                        | 産婦人科          | —       | —      | 13     | 38     | 41     |        |    |
|                        | 呼吸器外科         | —       | —      | —      | —      | 6      |        |    |
|                        | 末梢血幹細胞採取      | 0       | 6      | 3      | 4      | 5      | 5      |    |
| ラジオ波焼灼                 | 111           | 76      | 69     | 79     | 90     | ▲21    |        |    |
| 小計                     | 484           | 392     | 354    | 602    | 548    | 64     |        |    |
| 合計                     | 25,577        | 26,609  | 28,517 | 27,894 | 28,619 | 3,042  |        |    |

## 医療情報科

### 1) 図書室

前年度では、西館10階・西館地下ともに雑誌の製本依頼ができましたが、今年度は、西館10階の雑誌架に余裕があったこともあり、一年間製本依頼を見送りました。

〈表1〉

冊子で購入していた和雑誌について、契約しているパッケージ商品に、当院希望雑誌が追加で掲載され、オンラインのみの了解を得られた雑誌は購入を中止しました。〈表2〉

電子版の洋雑誌について、診療科購入希望の高額な2誌がMEDLINE Ultimateに含まれていたため、昨年までのMEDLINE Completeから変更契約しました。〈表3〉

文献の相互貸借について、インボイス制度に伴い、文献依頼の少額支払でも相手館に請求書等の対応をしていただきました。当院が相手館に提出する請求は、総務課でインボイス対応してくれている事もあり、前年度減少していた受付件数は、増加しました。また、日本ライブラリー協会の目録 [HospiCa] 内で相殺できる当院への

文献依頼は、好評のようです。〈表4〉

職員の資料貸出数は例年どおりでしたが、図書室ホームページ[SFX]を利用したメールからの文献依頼数と、当院所蔵でない文献の他機関依頼件数は半減しました。

〈表5〉

西館10階リースの複写機について、2023年3月に機種を切り替えたこともあり、今年度分は、実質1年強の数字となりました。〈表6〉

“医局図書室”と称されることがあり、今年度は特にコメディカル・事務の利用が減少したので、病院全体で活用してもらえるよう考えていきたいと思います。

患者さん図書室について、改訂版が出版されることのない開設時からの図書を、関連科に確認していただき、継続している内容なら引き続き所蔵、古い内容のものは除籍としました。がん関連等のパンフレットを12種類追加し、5種類終了しました。〈表7・8〉

利用状況は、前年度より増加できたので、引き続き利用していただけるよう努めていきたいと思います。〈表9〉

(曾根聖子)

表1 蔵書構成 (2024. 3. 31現在)

|           | 今年度受入   | 今年度廃棄 |
|-----------|---------|-------|
| 和書        | 5,355 冊 | 232 冊 |
| 洋書        | 909 冊   | 6 冊   |
| 単行書計      | 6,264 冊 | 238 冊 |
| 製本雑誌      | 8,838 冊 | 0 冊   |
| 現行受入冊子体雑誌 | 国内      | 86 J  |
|           | 外国      | 4 J   |
|           | 内寄贈     | 12 J  |
|           | 内寄贈     | 0 J   |

上記ほかに、和洋オンラインパッケージジャーナル購入中

\* 図書費実績 22,313,317円

表2 受入変更雑誌

|                        | 誌名                  | 購入部署      | 備考           |
|------------------------|---------------------|-----------|--------------|
| 受入中止<br>[2023年12月まで購入] | BeyondER            | 循環器内科治験   | 医書.jp利用      |
|                        | 医療職の能力開発            | パラメディカル共通 | メディカルオンライン利用 |
|                        | 腎と透析                | 腎臓内科      | 医書.jp利用      |
|                        | JOHNS               | 耳鼻咽喉科     | 医書.jp利用      |
|                        | 呼吸器内科               | 呼吸器内科治験   | 中止           |
|                        | 麻酔                  | 麻酔科       | 医書.jp利用      |
|                        | ペインクリニック            | 麻酔科       | メディカルオンライン利用 |
|                        | 臨床麻酔                | 麻酔科       | メディカルオンライン利用 |
|                        | 産科と婦人科              | 産婦人科      | 医書.jp利用      |
|                        | 精神看護                | 精神科       | 医書.jp利用      |
|                        | 消化器内視鏡              | 消化器内科     | 医書.jp利用      |
|                        | 小児科診療               | 小児科       | 医書.jp利用      |
|                        | 小児内科                | 小児科       | 医書.jp利用      |
|                        | 周産期医学               | 産婦人科      | 医書.jp利用      |
| 薬局                     | 薬剤部                 | 医書.jp利用   |              |
| 新規購入<br>[2024年1月から購入]  | EuroIntervention EJ | 循環器内科治験   |              |

表3 有料電子ジャーナル（冊子+EJも含む）＆ 契約サイト（2024.3.31現在）

|    |  |
|----|--|
| 1  | American Journal of Roentgenology                        |
| 2  | American Journal of Surgical Pathology                   |
| 3  | AUA Update Series  |
| 4  | Blood  |
| 5  | The Bone & Joint Journal                                 |
| 6  | Cancer   |
| 7  | Chest  |
| 8  | Circulation  |
| 9  | Circulation. Cardiovascular Interventions                |
| 10 | EuroIntervention   |
| 11 | European Heart Journal                                   |
| 12 | European Journal of Cardio-Thoracic Surgery              |
| 13 | European Respiratory Journal                             |
| 14 | International Journal of Oral and Maxillofacial Implants |
| 15 | The Journal of the American Medical Association          |
| 16 | Journal of Bone & Joint Surgery - American Volume        |
| 17 | Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism           |
| 18 | Journal of Endovascular Therapy                          |
| 19 | Journal of Neurosurgery                                  |
| 20 | Journal of Thoracic Oncology                             |
| 21 | Laryngoscope   |
| 22 | Nature Digest  |
| 23 | New England Journal of Medicine                          |
| 24 | Pediatrics   |
| 25 | Plastic and Reconstructive Surgery                       |
| 26 | Radiology  |
| 27 | Stroke   |
| 28 | Thoracic and Cardiovascular Surgeon                      |
| 29 | Thorax   |
|    | 医書.jp  |
|    | nature.com Complete                                      |
|    | ClinicalKey  |
|    | MEDLINE Ultimate   |
|    | Springer Hospital Edition                                |
|    | UpToDate Anywhere  |
|    | The Cochrane Library                                     |
|    | Medical Online イーブックスライブラリープラス                           |
|    | 医中誌 Web  |
|    | 最新看護索引 Web   |
|    | 今日の診療 病院フルアクセスプラン プレミアムプラス                               |
|    | Proceduresconsult(教育研修管理センター扱い)                          |
|    | MEDIFAX web  |
|    | SFX (文献検索リンクリゾルバ)  |

表4 相互貸借件数

| 文献複写依頼先        | 2021 | 2022 | 2023 | 文献複写受付先        | 2021 | 2022 | 2023 |
|----------------|------|------|------|----------------|------|------|------|
| 東海目録参加病院図書室    | 30   | 46   | 18   | 県内病院図書室        | 44   | 8    | 8    |
| 東海目録参加大学図書館    | 49   | 34   | 11   | 県外の東海目録参加病院図書室 | 26   | 15   | 24   |
| 東海目録以外の大学図書館   | 116  | 154  | 80   | Hospica 相殺図書室  | 125  | 73   | 92   |
| Hospica 相殺図書室  | 67   | 72   | 34   | Hospica 相殺外図書室 | 27   | 11   | 18   |
| Hospica 相殺外図書室 | 26   | 32   | 15   | その他            | 1    |      |      |
| 上記以外の病院図書室・ほか  | 47   | 80   | 32   | 合計             | 223  | 107  | 142  |
| 合計             | 335  | 418  | 190  | 備考 受付謝絶件数      | 16   | 11   | 8    |

表5 図書室利用状況…貸出（地下図書室も含む）、SFX文献申込、他機関への文献申込

| 職種       | 項目        | 貸出冊数(冊) |      |      | SFX文献申込(件) |      |      | 文献相互貸借(件) |      |      |
|----------|-----------|---------|------|------|------------|------|------|-----------|------|------|
|          |           | 2021    | 2022 | 2023 | 2021       | 2022 | 2023 | 2021      | 2022 | 2023 |
| 医        | 師         | 395     | 384  | 419  | 340        | 300  | 200  | 237       | 309  | 154  |
| 医学部臨床実習生 |           | 0       | 0    | 1    |            |      |      |           |      |      |
| 看        | 護 師       | 69      | 49   | 26   | 170        | 201  | 51   | 95        | 100  | 31   |
| コ        | メ デ ィ カ ル | 25      | 35   | 27   | 1          | 8    | 2    | 2         | 8    | 2    |
| 事        | 務         | 8       | 14   | 17   | 0          | 0    | 0    | 1         | 1    | 3    |
|          | 合計        | 497     | 482  | 490  | 511        | 509  | 253  | 335       | 418  | 190  |

表6 図書室利用状況…複写機

|            |      | 図書室複写機利用枚数(枚) |         |         |                |
|------------|------|---------------|---------|---------|----------------|
|            |      | 2021          | 2022    | 2023    |                |
| 西10階       | モノクロ | 179,137       | 122,846 | 136,530 |                |
|            | カラー  | 207,049       | 216,113 | 287,214 |                |
|            | 合計   | 386,186       | 338,959 | 423,744 |                |
| 西地下<br>図書室 | モノクロ | 116           | 300     | 279     | 2023年3月リース切替あり |
|            | カラー  | 401           | 39      | 42      |                |
|            | 合計   | *517          | 339     | 321     |                |

\*新設 1/21～3/31,2021年度

表7 患者さん支援図書室 蔵書構成 (2024. 3. 31現在)

|     |             | '08～'20 | 2021 | 2022 | 2023 | 除籍・終了 | 紛失  | 合計    |          |
|-----|-------------|---------|------|------|------|-------|-----|-------|----------|
| 単行書 | 購入(一部寄贈)    | 1,585   | 50   | 75   | 66   | -364  | -6  | 1,406 | 冊        |
|     | ①真田氏・②鈴木氏寄贈 | 18①・9②  | 0    | 0    | 0    | -1①   | -1① | 25    | 冊        |
|     | 受入雑誌        |         | 7    | 6    | 7    | 0     | 0   | 7     | Journals |
|     | 受入パンフレット    | 222     | 15   | 1    | 12   | -105  |     | 145   | 種類       |

\*図書費実績 161,913円

表8 患者さん支援図書室 単行書・雑誌・パンフレット詳細 (2024. 3. 31現在)

| 単行書10項目別        | '08~'20 | '21 | '22 | '23 | 除籍※  | 紛失 | 累計    | 年度版 | 受入雑誌(種) | 受入パンフレット<br>関連科別(種) | '08~'20 | '21 | '22 | '23 | 終了   | 合計  |
|-----------------|---------|-----|-----|-----|------|----|-------|-----|---------|---------------------|---------|-----|-----|-----|------|-----|
| あか 内科           | 347     | 21  | 14  | 11  | -84  | -2 | 307   |     | CCJAPAN | 整形外科                | 14      |     |     |     | -8   | 6   |
| むらさき がん・腫瘍      | 235     | 10  | 6   | 8   | -82  |    | 177   |     | 栄養と料理   | 血液内科                | 8       |     |     |     | -5   | 3   |
| あお 外科・その他       | 106     | 1   | 3   | 3   | -26  |    | 87    |     | ハルメク    | 呼吸器内科               | 11      |     |     |     | -3   | 8   |
| オレンジ 女性・高齢・子ども  | 218     | 5   | 14  | 6   | -32  | -1 | 210   |     | こまど     | 精神科                 | 6       |     |     |     | -5   | 1   |
| みどり 心臓・脳・神経     | 210     | 5   | 8   | 11  | -24  |    | 210   |     | きょうの健康  | 脳神経外科               | 13      |     |     |     | -5   | 8   |
| ゴールド 辞典・病院・基礎医学 | 192     | 4   | 14  | 16  | -67  |    | 159   |     | すこやかライフ | 循環器内科               | 4       |     |     |     | -3   | 1   |
| きいろ 検査・治療・薬     | 66      | 0   | 3   | 1   | -29  |    | 41    | 2   | がんの先進医療 | 眼科                  | 11      | 3   |     |     | -4   | 10  |
| シルバー 医学随筆・エッセイ  | 112     | 3   | 5   | 4   | -2   | -3 | 119   |     | 7       | 薬剤科<br>(治療管理室)      | 7       |     |     |     | -2   | 5   |
| くろ 耳鼻・眼・口腔      | 75      | 1   | 6   | 5   | -15  |    | 72    |     |         | 内分泌・代謝内科            | 33      |     |     |     | -17  | 16  |
| ちゃ 泌尿器          | 24      | 0   | 2   | 1   | -3   |    | 24    |     |         | 耳鼻咽喉科               | 3       |     |     |     |      | 3   |
| 冊数 合計           | 1,585   | 50  | 75  | 66  | -364 | -6 | 1,406 | 2   |         | 皮膚科                 | 3       |     |     |     |      | 3   |
| 特別 小児科外来        | 39      | 15  | 8   | 6   |      |    | 68    |     |         | 消化器内科               | 4       |     |     |     | -2   | 2   |
| 寄贈 小児科外来        | 3       | 23  | 9   | 16  |      |    | 51    |     |         | 総合内科                | 1       |     |     |     |      | 1   |
| 特別 W4病棟         | 3       | 3   |     |     |      |    | 6     |     |         | 外科                  | 10      |     |     |     | -4   | 6   |
| 特別 市民健診センター     | 6       |     |     | 1   | -1   |    | 6     |     |         | 泌尿器科                | 2       |     |     |     | -2   | 0   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 腎臓内科                | 1       |     |     | 1   |      | 2   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 産婦人科                | 2       |     |     | 1   | -2   | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 小児科                 |         | 1   |     |     |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 救急                  |         |     |     | 1   |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | リハ技術科               |         |     |     | 1   |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 栄養管理                | 2       | 9   | 1   | 1   | -2   | 11  |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 医療安全                | 2       |     |     |     |      | 2   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 医事課                 | 3       |     |     |     |      | 3   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 総務課                 | 1       |     |     |     |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | がん研究振興財団            | 25      |     |     | 1   | -19  | 7   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 国立がん<br>研究センター      | 40      | 1   |     | 4   | -18  | 27  |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 静岡がんセンター            | 2       |     |     |     |      | 2   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 静岡県健康福祉部            | 1       |     |     |     |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 日本対がん協会             | 3       |     |     | 1   | -3   | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 厚生労働省               | 3       |     |     |     |      | 3   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 農林水産省               |         |     |     | 1   |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 日本緩和医療学会            | 1       |     |     |     |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | ネットワークジャパン          | 3       |     |     |     |      | 3   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 環境再生保全機構            | 1       |     |     |     | -1   | 0   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 金原出版                | 1       |     |     |     |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 日本小児臨床<br>アレルギー学会   | 1       |     |     |     |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 浜松医科大学              |         | 1   |     |     |      | 1   |
|                 |         |     |     |     |      |    |       |     |         | 合計                  | 222     | 15  | 1   | 12  | -105 | 145 |

※除籍…旧版・項目変更の為

表9 患者さん支援図書室 利用状況

|      | 男性(人) | 女性(人) | 合計(人) | 日数(日) | 平均(人) | パソコン利用者(人)                          |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------------------|
| 2021 | 1,576 | 1,765 | 3,341 | 242   | 13.8  | ←感染対策の為、2台とも撤去中<br>←2023.2.28~1台再設置 |
| 2022 | 1,348 | 1,700 | 3,048 | 243   | 12.5  |                                     |
| 2023 | 1,572 | 1,760 | 3,332 | 243   | 13.7  |                                     |

## 2) 医学写真室

個人情報保護委員会の決定に従い、臨床記録目的で作成した前年度以前の写真フィルム・ビデオテープ及び写真・動画データの廃棄及び消去を行なった。

今回の当院としての決定・方針も患者個人情報保護の要請が高まる社会・時代の変化に沿ったものなのだから

う。今後の診断や治療の際の資料として、役に立つものと平成元年より35年に渡り管理・整理・蓄積してきたので残念な思いではある。

今後も毎年3月末に前年度以前の臨床写真・動画データを消去する作業を継続するのであるが、当室の役割・存在意義も時代に合わせ変化すべき時と考える。

(森下克己)

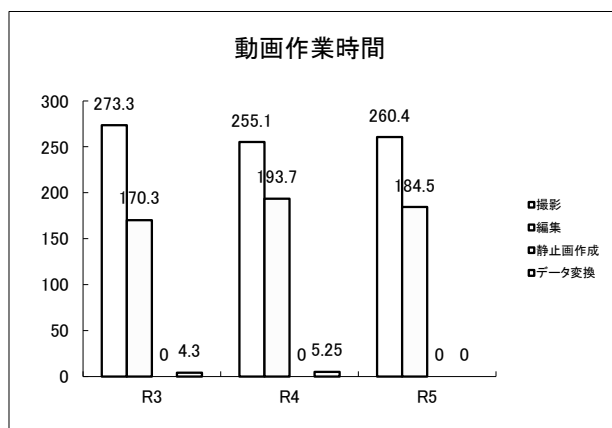
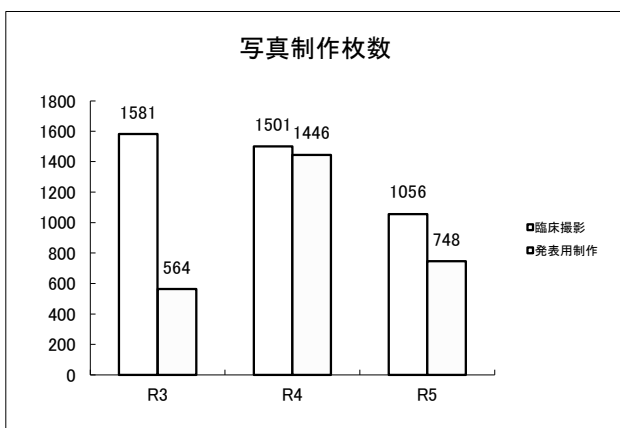
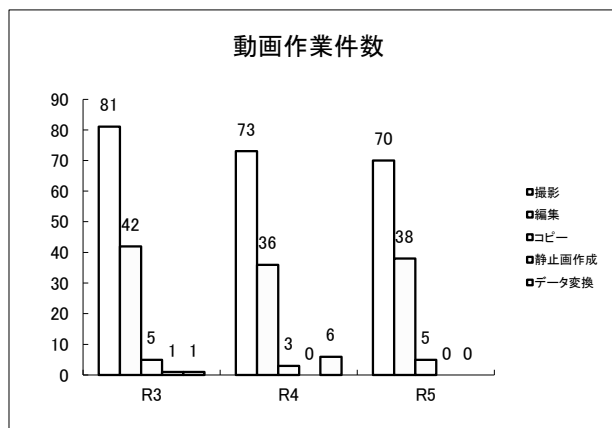
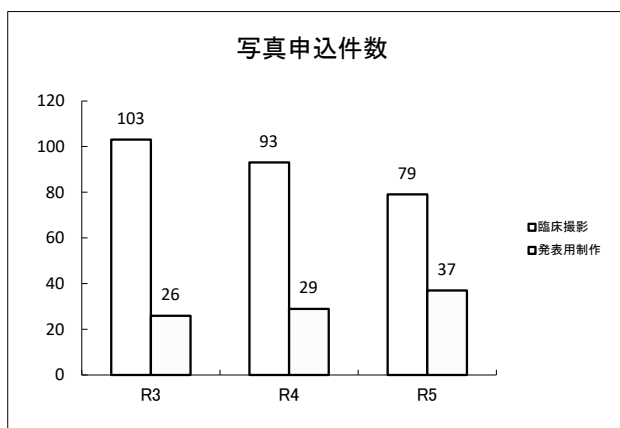


表1 発表用制作 件数

| 年度 | プリント数 | データ数  | 合計数   | 図表複写 | X線縮小 | 器具機材 | スナップ | C G制作 | プリントのみ | 証明用顔 | スキャン | 画像データ加工 | その他 | 件数合計 |
|----|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|--------|------|------|---------|-----|------|
| R3 | 73    | 491   | 564   | 0    | 0    | 0    | 3    | 9     | 4      | 7    | 1    | 1       | 1   | 26   |
| R4 | 360   | 1,086 | 1,446 | 0    | 0    | 1    | 2    | 6     | 10     | 9    | 1    | 0       | 0   | 29   |
| R5 | 99    | 649   | 748   | 0    | 0    | 0    | 9    | 3     | 12     | 10   | 0    | 2       | 1   | 37   |

表2 市民+職員用等の動画制作 (DVDディスク保存データファイル)

|    |  |    |   |
|----|--|----|---|
| 1  | 令和5年度 新採用職員オリエンテーション (DISC1・前半+DISC2・後半)     | 18 | 令和5年度 第2回 医療安全講演会<br>インフォームド・コンセントを考える  |
| 2  | 病院機能評価 オンライン受審相談会                            | 19 | 総合機能評価加算研修会                             |
| 3  | CTGの読み方 2023年版                               | 20 | 大腸内視鏡検査 2023・12<br>※編集のみ担当(素材はパワポデータ)   |
| 4  | クリニカルパスの整備と加算獲得                              | 21 | 認知症ケア研修会<br>パーソン・センタード・ケアを目指した認知症看護について |
| 5  | CTGの読み方 2023年版(後半)                           | 22 | 2023 クリスマス コンサート                        |
| 6  | 令和5年度 第1回 院内感染対策研修会                          | 23 | 令和5年度 第2回 院内感染対策研修会                     |
| 7  | 令和5年 第1回 院内暴力対策研修会                           | 24 | 院内特別講演会・旅好き大学教員が見たコロナ禍の4年               |
| 8  | 病院機能評価模擬審査                                   | 25 | RPA説明会・医療機関におけるRPA活用の可能性について            |
| 9  | 令和5年度 臨床研究倫理セミナー                             | 26 | 令和5年度 医療倫理講演会<br>「共同意思決定とACP～意思決定支援とは～」 |
| 10 | RRT講習会 2023 Part1 (WEB)<br>(令和5年度第1回医療安全講演会) | 27 | 排尿自立支援院内研修会                             |
| 11 | 令和5年度褥瘡対策講習会                                 | 28 | 診療報酬改定に関する研修会 第一部                       |
| 12 | 特別講演会<br>「病院の1週間の断水を経験して我々が得たもの」             | 29 | 栄養サポートチーム(NST)講習会・リハビリテーション栄養           |
| 13 | 令和5年度 情報セキュリティ・個人情報保護研修                      | 30 | 令和6年 能登半島地震 DMAT活動報告会                   |
| 14 | 第14回 静岡市民「からだ」の学校<br>(肩・肘・手外科センター)           | 31 | 令和5年度 第2回 RRT 講習会                       |
| 15 | 令和5年度 トリアージ訓練 事前講習会                          | 32 | 第7回 院内CPC                               |
| 16 | 二次性骨折予防院内研修会                                 | 33 | 第8回 院内CPC                               |
| 17 | 放射線防護用品の着用方法とガラスバッジのつけ方について                  | 34 | 診療報酬改定に関する研修会 第二部                       |

表3 院内専用テレビ放送中番組 (職員による自主制作)

|  |
|--|
| 市立静岡病院 基本理念・基本方針のご紹介(1分29秒)              |
| 「産後のリフレッシュ体操」(20分10秒)                    |
| 「放射線技術科紹介 RI、CT検査室」(9分45秒)               |
| 「カテーテル検査を受けられる方へ」(8分27秒)                 |
| 「検査技術科紹介シリーズ 生理機能検査室」(3分8秒)              |
| 「検査技術科紹介シリーズ 採血業務・尿・血液検査」(7分19秒)         |
| 「検査技術科紹介シリーズ 病理検査室」(5分3秒)                |
| 「患者さんを間違えないために」(47秒)                     |
| 「入院生活を安全に送っていただくために-転倒・転落を予防するには」(6分8秒)  |
| 「水戸光圀、入院す(転ばぬ先の杖)」・特別番組-自治医科大学制作(23分25秒) |

※ 一般病室テレビではメニュー選択で希望の番組を希望の時間に視聴できます

表4 初心者パソコン指導

|    | 件数 | 時間  |
|----|----|-----|
| R3 | 11 | 6   |
| R4 | 7  | 6.3 |
| R5 | 4  | 1.5 |

## 栄養管理科

### 【現況】

令和5年度の栄養管理科は人事異動により管理栄養士が科長となった。パート管理栄養士の復帰および新規採用によってマンパワーが充実したことで、令和4年度実績と比較し有給休暇取得日数20%弱増加、特別休暇取得率の向上、時間外勤務10%弱削減など働き方改革を着実にすすめることができた。

### 【人事】

大山実希 令和5年4月入職  
熊澤七瀬 令和5年4月育児休業より復帰  
高橋友香 令和5年11月入職

### 【栄養管理】

病棟再編成プロジェクトに対応しHCUに3名の専任管理栄養士を配置、高度治療室における早期栄養介入管理加算の算定を開始した。令和4年度開始していたICU業務と併せて集中・高度治療領域における切れ目の無い栄養管理が可能となった。

個人栄養指導件数は令和4年度実績と比較し15%前後増加した(表1)。内分泌・代謝内科外来に専従のパート管理栄養士1名を配置することで常勤の管理栄養士がより高度な支援を要する入院患者の栄養管理・栄養支援に注力することが可能となった。

### 【給食管理】

患者給食の食数については病棟再編成や入院可能病床数の変動等の影響もあり伸び悩んでいる(表2)。

イベントメニューについては例年通り年間26回の提供体制を維持(表3)。食材料費など費用面で採算が取れていないのが実状であるが、給食委託会社の協力もあってフードサービスの品質を維持することができている。

### 【臨床実習等受け入れ】

以下の通り6名の学生の見学・実習指導を行った。

- ・9月4日～9月15日 日本大学 短期大学部  
臨地実習4名 指導者：小林、川田
- ・2月26日～3月8日 常葉大学  
臨地実習2名 指導者：吉田、黒岩、大山

### 【課題】

年齢・性別等当科スタッフの特性を踏まえると、今後各種休暇取得・育児休業等の理由で中長期的な欠員が発生し、かつその状況が持続する可能性が高い。社会情勢の変容や診療報酬改訂に柔軟に対応しつつ、持続可能な部門業務遂行・病院給食運営を実現するためには引き続き部門レベル・スタッフレベルで業務改善に努めていく必要がある。

(山内浩之)

表1 疾患別栄養指導延人員の推移

|                       | 疾患名                      | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------------------|--------------------------|-------|-------|-------|
| 個人<br>人<br>指<br>導     | 糖 尿 病                    | 174   | 186   | 218   |
|                       | 腎 臓 病                    | 45    | 42    | 32    |
|                       | 膵 臓 病                    | 5     | 9     | 2     |
|                       | 胃 疾 患                    | 46    | 48    | 31    |
|                       | 心 臓 病<br>(高血圧症)          | 1,008 | 1,182 | 1,423 |
|                       | 高 脂 血 症<br>(動脈硬化症)       | 27    | 29    | 41    |
|                       | 高 尿 酸 血 症<br>(痛風)        | 0     | 0     | 0     |
|                       | 肝 臓 病                    | 75    | 79    | 85    |
|                       | 妊 娠 中 毒 症                | 1     | 0     | 0     |
|                       | そ の 他                    | 378   | 429   | 476   |
| 小 計                   | 1,759                    | 2,004 | 2,308 |       |
| 糖<br>尿<br>病<br>関<br>連 | 内 分 泌 外 来<br>(個人指導)      | 1,365 | 1,594 | 1,805 |
|                       | 内 分 泌 外 来<br>(糖尿病透析予防指導) | 31    | 24    | 31    |
|                       | 糖尿病教育入院                  | 90    | 143   | 134   |
|                       | 小 計                      | 1,486 | 1,761 | 1,970 |
| 集<br>団<br>指<br>導      | 糖尿病教育入院                  | 111   | 133   | 86    |
|                       | 糖 尿 病 教 室                | 83    | 112   | 58    |
|                       | 心臓リハビリ教室<br>(令和元年度開始)    | 15    | 15    | 7     |
|                       | 小 計                      | 209   | 260   | 151   |
| 栄養サポートチーム回診           | 83                       | 76    | 130   |       |
| 合 計                   | 3,537                    | 4,101 | 4,559 |       |

表2 患者食の推移(食事療養費)

|          | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   |
|----------|---------|---------|---------|
| 一般食      | 172,080 | 183,791 | 176,290 |
| 特別食      | 146,589 | 148,635 | 146,126 |
| 特別食比率(%) | 46.0    | 44.7    | 45.3    |
| 流動食(経管)  | 9,585   | 11,521  | 11,643  |



表3 行事献立・駿府葵弁当 実施内容一覧

| 月日     | 行事・テーマ | 献立   |
|--------|--------|--|
| 4月7日   | 駿府 葵弁当 | 天ぷら、卵焼き、炊き合わせ、酢物、味噌汁、さくらもち                 |
| 5月2日   | 八十八夜   | 茶飯、鮭の漬け焼、筍の旨煮、なます、抹茶ゼリー                    |
| 5月5日   | 端午の節句  | 若竹寿司、清まし汁、胡麻和え、かしわもち                       |
| 5月19日  | 駿府 葵弁当 | かき揚げ、茹でしらす、筍の煮物、塩もみ、清まし汁、安倍川もち             |
| 5月26日  | 新緑初鰹   | えんどう豆ごはん、かつおの春野菜添え、すき焼風煮、菜の花のお浸し、果物缶 梨     |
| 6月16日  | 駿府 葵弁当 | かき揚げ、煮物、茹でしらす、鮪角煮、清まし汁、安倍川もち               |
| 7月7日   | 七夕     | ちらし寿司、清まし汁、胡麻和え、果物缶 梨                      |
| 7月21日  | 駿府 葵弁当 | 天ぷら、冬瓜煮、胡瓜と大葉の塩もみ、枝豆、豆腐と花ふの清汁、果物缶 みかん      |
| 7月30日  | 土用の丑   | うな鶏丼、すき焼風煮、塩もみ、果物缶 梨                       |
| 8月25日  | 駿府 葵弁当 | そば、炊き合わせ、塩もみ、水まんじゅう                        |
| 9月22日  | 駿府 葵弁当 | 麦ごはん、とろろ汁、かじき鮪生姜焼、炊き合わせ、酢物、安倍川もち           |
| 9月29日  | 中秋の名月  | 栗ごはん、松風焼、衣かつぎ、胡瓜のおろし和え、月見清まし汁、へそもち         |
| 10月3日  | 秋の味覚   | きのこごはん、鶏肉の松の実焼、五目スープ、切干大根の酢味噌和え、果物缶 桃      |
| 10月27日 | 駿府 葵弁当 | 麦ごはん、とろろ汁、紅鮭の塩焼、炊き合わせ、卵焼き、お浸し              |
| 11月7日  | 秋の味覚   | きのこごはん、鶏肉の松の実焼、とろろ昆布汁、豆腐サラダ、果物缶 梨          |
| 11月17日 | 駿府 葵弁当 | 麦ごはん、とろろ汁、かじき鮪生姜焼、炊き合わせ、塩もみ、安倍川もち          |
| 12月15日 | 駿府 葵弁当 | ヒレカツ、里芋煮、小花はんぺん煮、胡瓜と大葉の塩もみ、豆腐と花ふの清汁        |
| 12月24日 | クリスマス  | バターライス、クリスマスチキン、コールスローサラダ、コンソメスープ、クリスマスケーキ |
| 12月31日 | 大晦日    | 年越しそば、天ぷら盛り合わせ、大学芋、キャベツのさっぱりサラダ、果物 みかん     |
| 1月1日   | 元旦     | おせち ぶりの照焼、有頭海老、伊達巻、生酢、黒豆、野菜炊き合わせ           |
| 1月7日   | 春の七草   | 七草ごはん、蟹餡仕立ての玉子焼、粕汁、茹でしらすおろし                |
| 1月26日  | 駿府 葵弁当 | 麦ご飯、とろろ汁、かじき鮪生姜焼、炊き合わせ、酢物、安倍川もち            |
| 2月3日   | 節分     | 山菜ごはん、鰯の竜田揚げ、かき玉汁、かぶとわかめの酢物、福豆             |
| 2月23日  | 駿府 葵弁当 | ヒレカツ、里芋煮、小花はんぺん煮、かぶとわかめの酢物、味噌汁             |
| 3月3日   | 桃の節句   | ちらし寿司、菜の花の清まし汁、ぬた、ひなあられ                    |
| 3月15日  | 駿府 葵弁当 | 麦ごはん、とろろ汁、かじき鮪生姜焼、炊き合わせ、酢物、安倍川もち           |

## 総合相談センター・総合相談室

### 1) 総合相談センター・総合相談室

今年度の総合相談室の相談件数は1,526件で、相談内容の内訳は在宅療養に関する相談が396件と多く、次いで疾患や治療に関する相談が340件、医療費やそれに伴う制度に関する相談が176件であった。高齢世帯、高齢独居者が増加し、患者・家族が抱える経済的・社会的問題は多々ある。相談者が少しでも問題を解決して、安心して治療を受け療養生活が送れるように院内だけでなく、地域の医療機関や介護事業所との多職種連携体制を強化していく必要がある。今年度は、医師会、訪問看護ステーション、地域包括支援センターとの多職種協議会や研修会に参加し、病院と地域の連携における課題解決に向け前向きに検討することができた。

提案箱や相談窓口寄せられる病院に対する要望や意見等は、関係部署に報告し解決、改善に向け検討し、院内全体に周知して患者サービスの向上に努めている。今年度はATMコーナー再開の要望が多くあり、院内のコン

ビニのATMや近隣のキャッシュコーナーを案内するマップを掲示した。また携帯電話の充電ステーション設置の要望について、充電器を警備員室と総合相談センターに設置しポスターで周知した。その他、杖ホルダーの設置場所が不足しているという指摘に対して、設置場所を見直し追加造設をした。

医療安全管理室と共有すべき情報は適宜医療安全管理室へ報告し、窓口として察知できる安全管理についての情報を早い段階で情報共有し検討をしている。

昨年度より設置された脳卒中相談窓口では、相談員が脳卒中療養相談士の講習会を受講し、脳卒中患者に対して必要な相談支援や情報提供を実践している。今後は日本脳卒中学会が推奨する動画配信の活用やマニュアルを検討し体制の充実を図っていききたい。

総合相談室としての役割を明確にし、窓口の周知を図り相談者のニーズに対応できるようにしていきたい。

(坂上朋子)

### 相談内容別集計（令和5年度 4月～3月）

|        | 転院調整        |            |          |                   | 在宅調整            |              |            |               | 受診に関する相談 |             | 症状・日常生活に関する相談 |              |                   | 精神的な相談       |         | 緩和等の相談    |             | 経済的な相談          |            | 計         |    |     |                |           |       |
|--------|-------------|------------|----------|-------------------|-----------------|--------------|------------|---------------|----------|-------------|---------------|--------------|-------------------|--------------|---------|-----------|-------------|-----------------|------------|-----------|----|-----|----------------|-----------|-------|
|        | 1           | 2          | 3        | 4                 | 5               | 6            | 7          | 8             | 9        | 10          | 11            | 12           | 13                | 14           | 15      | 16        | 17          | 18              | 19         |           | 20 | 21  | 22             | 23        | 24    |
|        | 療養型病院への転院調整 | リハ病院への転院調整 | 介護施設入所調整 | その他病院(急性期・一般など)調整 | 介護保険等ケアマネとの連絡調整 | 在宅医の情報提供連絡調整 | 訪問看護との連絡調整 | 自宅以外の在宅施設入所調整 | 受診相談     | 他院・他施設からの受入 | 症状について        | 治療・検査・薬剤について | 食事・服薬・入浴等日常生活について | 不安・精神的苦痛について | 医療者との関係 | セカンドオピニオン | 緩和・ホスピスについて | 医療費・高額療養費など福祉制度 | 就労支援に関する相談 | その他機関との調整 | 苦情 | その他 | 地域包括支援センターとの連携 | 障害者手帳の説明等 |       |
| 入院相談件数 | 439         | 564        | 395      | 137               | 1,581           | 145          | 158        | 307           | 10       | 2           | 25            | 16           | 13                | 23           | 6       | 5         | 17          | 199             | 4          | 96        | 10 | 68  | 142            | 8         | 4,370 |
| 外来相談件数 | 8           | 1          | 7        | 5                 | 200             | 92           | 66         | 38            | 99       | 10          | 117           | 117          | 106               | 160          | 34      | 17        | 66          | 148             | 28         | 70        | 28 | 77  | 28             | 4         | 1,526 |
| 合計     | 447         | 565        | 402      | 142               | 1,781           | 237          | 224        | 345           | 109      | 12          | 142           | 133          | 119               | 183          | 40      | 22        | 83          | 347             | 32         | 166       | 38 | 145 | 170            | 12        | 5,896 |

## 2) 病診連携業務について

総合相談センターの主要な業務である「病診連携」は「イーツネット」(医療連携システム)を軸に、静岡市静岡医師会、静岡市清水医師会、静岡市静岡歯科医師会及び静岡市清水歯科医師会の多大な協力を得て着実にその実を上げている。平成18年度からは、がん術後連携パスシステム(S-net)、心房細動連携システムを開始、平成19年度からは、脳卒中連携システムの取り組みを開始し、さらに平成21年度からは虚血性心疾患連携システム、大腿骨頸部骨折連携システムを開始、平成29年より前立腺がん連携システムを開始し、令和3年度はてんかん病診連携、潰瘍性大腸炎病診連携が立ち上がりイーツネットのさらなる充実にも努めている。また、平成16年3月よりイーツネットで紹介された患者さんが安心して療養を続けられるように、当院と静岡市静岡医師会で開始した「連携安心カード」(オレンジカード)の発行枚数も令和6年3月31日現在8,448枚に達している。

こうした病診連携の取り組みによって、平成18年9月21日付で地域医療支援病院の承認を受けた。令和5年度においては、地域医療支援病院紹介率90.8%、逆紹介率153.5%と地域医療支援病院の要件(紹介率80%以上、紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上、紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上のいずれかを満たすこと)を満たす

安定した実績を残すことができた。

セキュリティを確保した電子メールとFAXを使い、より便利で安全な情報交換の仕組みを持つ病診連携システム「イージーイーツネット」を平成23年度から運用開始しており、令和4年度の当院と診療所間の運用状況は、逆紹介等の送信20,767件、返書等の受信が872件となっている。

診療科においても診療所の先生との病診連携勉強会(緩和ケア研修会、清水循環器カンファレンス等)やWeb講演会を開催し、信頼関係の構築に努めている。

また、検査機器や入院病床等の設備を診療所の先生に活用していただくオープンシステムを推進しており、具体的には紹介受診、オープン検査(MRI、CT、アイソトープ、膀胱鏡、前立腺生検等及びPET検査)、入院ベッド共同利用等を実施している。

ふじのくにねっとも順調に利用数を伸ばしており、病診連携にて緊急搬送の一助にも寄与している。

周術期口腔ケアの推進により、当院で手術予定の患者さんの多くは地域の歯科診療所で口腔ケアを実施している。

これらの病診連携推進を通じて、地域医療資源の効率的な活用を図り、地域全体の医療水準向上により、市民に質の高い医療の提供に努めている。

(望月公次郎)

### 1 地域医療支援病院紹介率

|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 年度平均  |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 令和3年度 | 80.0% | 80.7% | 90.2% | 82.5% | 73.7% | 91.0% | 85.5% | 83.3% | 84.8% | 79.0% | 92.0% | 88.3% | 86.6% |
| 令和4年度 | 87.5% | 87.6% | 91.1% | 88.7% | 81.4% | 92.6% | 92.8% | 94.5% | 91.3% | 94.9% | 92.9% | 92.4% | 90.6% |
| 令和5年度 | 88.2% | 87.4% | 87.0% | 89.4% | 89.5% | 90.6% | 91.4% | 91.4% | 93.6% | 93.3% | 95.0% | 93.8% | 90.8% |

### 2 地域医療支援病院紹介患者数

|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 年度平均   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 令和3年度 | 1,158 | 895   | 1,330 | 1,146 | 1,024 | 1,139 | 1,237 | 1,282 | 1,108 | 943   | 842   | 1,120 | 13,224 |
| 令和4年度 | 1,071 | 1,098 | 1,246 | 1,094 | 1,053 | 1,061 | 1,207 | 1,214 | 1,149 | 1,017 | 1,054 | 1,309 | 13,573 |
| 令和5年度 | 1,176 | 1,194 | 1,294 | 1,207 | 1,253 | 1,210 | 1,310 | 1,310 | 1,211 | 1,202 | 1,204 | 1,285 | 14,856 |

### 3 地域医療支援病院逆紹介率

|       | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 年度平均   |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 令和3年度 | 110.6% | 181.7% | 128.5% | 106.3% | 140.2% | 148.9% | 127.8% | 129.6% | 147.9% | 145.1% | 170.8% | 170.0% | 140.0% |
| 令和4年度 | 170.0% | 156.3% | 133.6% | 149.0% | 152.8% | 142.8% | 172.5% | 150.7% | 160.9% | 161.2% | 156.4% | 162.5% | 155.5% |
| 令和5年度 | 155.7% | 145.1% | 143.5% | 147.8% | 147.0% | 153.7% | 150.0% | 148.2% | 165.9% | 153.7% | 166.4% | 168.7% | 153.5% |

### 4 地域医療支援病院逆紹介患者数

|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 年度平均   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 令和3年度 | 1,601 | 2,015 | 1,895 | 1,476 | 1,949 | 1,863 | 1,849 | 1,995 | 1,931 | 1,732 | 1,563 | 2,157 | 22,026 |
| 令和4年度 | 2,157 | 1,913 | 1,674 | 2,037 | 1,884 | 1,846 | 1,977 | 1,959 | 2,024 | 1,728 | 1,775 | 2,302 | 23,276 |
| 令和5年度 | 2,077 | 1,982 | 2,134 | 1,995 | 2,058 | 2,052 | 2,149 | 2,123 | 2,147 | 1,981 | 2,108 | 2,311 | 25,117 |

### 5 オープンシステム(オープン検査)

|       | MRI | CT  | アイソトープ | 膀胱鏡 | 前立腺生検 | その他 | PET |
|-------|-----|-----|--------|-----|-------|-----|-----|
| 令和3年度 | 130 | 155 | 25     | 20  | 11    | 14  | 163 |
| 令和4年度 | 159 | 162 | 40     | 21  | 13    | 21  | 169 |
| 令和5年度 | 166 | 161 | 20     | 32  | 8     | 23  | 190 |

3) 提案箱による意見・提案対応、患者満足度調査業務  
平成15年度から投書、苦情対応業務を総合相談センターにおいて担当している。

患者さん等からの提案・意見・苦情を病院の最優先課題と認識し、誠実かつ迅速な対応を心掛けるとともに、医療サービスの改善を図っていく。

提案箱等処理の統計データは統計表のとおりで、意見等に対する回答は随時、西館1階ロビーに掲示している。

患者さん及び家族からの提案箱への投書は、令和4年度106件あった。

患者さんからの意見が反映できるようにホームページ

にて満足度調査の結果や施設改善した情報を掲載している。

投書箱の投書、苦情等は貴重なご意見として、具体的な改善等につながるよう患者意見等検討・改善部会で協議し、各部門の改善実施を促している。

患者満足度調査は外来は令和5年11月13日～11月17日回答者数810人、入院は令和5年11月6日～11月19日回答者数は272人であった。いただいた意見は院内で共有し問題点はワーキングチームを作り改善に務めている。また、結果はホームページにて公表している。

(望月公次郎)

#### 4) 入退院支援室

入退院支援室は患者さんが入院決定から退院後までの療養生活を安心して送れるように看護師、社会福祉士、薬剤師、栄養士、事務職員など多職種で支援している。

入院支援では患者さんの状態把握、入院に対する不安の軽減を図るために多職種で十分な説明を行い安心へと繋げられるように努めている。クリニカルパスは11種類の説明が行えるようになり、患者さんは入院中のスケジュールを知ることができ、より安心して治療や検査を受けて頂いている。

病床管理は空床管理システムを活用し、全病棟が前日に入院予定患者さんのシミュレーション入力を行い、ベッドコントローラーと共に入院病室の調整をすることが定着した。

育児短時間勤務看護師の入院支援チームが東8階の7床を活用し、午前入院患者さんの受け入れ体制を構築した。それにより、午前入院患者さんの病床確保ができるようになり、スムーズに入院できるようになった。

退院支援は退院支援専任担当者（看護師又は社会福祉士）を病棟に1名配置し、入院早期より患者さんに関わり退院に対する意思決定を支援している。

今年度は医療者間、患者さん、ご家族が入院時から退院に意識が向けられるように、入院診療計画書の予測される入院期間を具体的な日数で記載出来るように変更した。さらに、退院支援に関する記録を電子カルテの機能を活用し連携が必要な部門が容易に情報の共有ができるように周知し、退院支援の進捗状況を分かりやすくした。

多職種でのカンファレンスを重ね退院に向けての調整を行い、継続した医療、看護、介護が行えるように地域との連携を図り、患者さんやご家族が自宅や転院先で安心して療養できるよう支援している。

患者さんが安心して入院生活を送ることができ、住み慣れた地域でその人らしい暮らしをしていくために退院後の生活を見据え多職種が連携して患者さん、ご家族にとって最善の支援ができるように努めていきたい。

(鈴木公子)

入院前の療養場所→退院後の療養先→件数

| 退院先\入院前の場所  | 自宅    | 自宅以外の在宅施設 | 介護施設(老健・特養) | リハビリ病院 | 療養型病院 | 地域包括ケア病棟 | 一般病院 | その他 | 合計    |
|-------------|-------|-----------|-------------|--------|-------|----------|------|-----|-------|
| 自宅          | 1,187 | 4         | 3           | 4      | 0     | 0        | 4    | 3   | 1,205 |
| 自宅以外の介護施設   | 195   | 172       | 6           | 2      | 1     | 0        | 3    | 2   | 381   |
| 介護施設(特養・老健) | 80    | 8         | 124         | 0      | 0     | 0        | 0    | 0   | 212   |
| リハビリ病院      | 435   | 6         | 2           | 23     | 1     | 0        | 2    | 0   | 469   |
| 療養型病院       | 190   | 25        | 40          | 5      | 13    | 0        | 1    | 0   | 274   |
| 地域包括ケア病棟    | 66    | 2         | 3           | 0      | 0     | 2        | 0    | 0   | 73    |
| 一般病院        | 41    | 2         | 2           | 0      | 0     | 0        | 18   | 1   | 64    |
| 死亡          | 206   | 19        | 19          | 3      | 0     | 0        | 3    | 1   | 251   |
| その他         | 9     | 0         | 0           | 0      | 0     | 0        | 0    | 3   | 12    |
| 合計          | 2,409 | 238       | 199         | 37     | 15    | 2        | 31   | 10  | 2,941 |

2023（令和5）年度 提案箱統計

総合相談センター

| 種 別  |            | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   | 比率1    | 比率2    |
|------|------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|--------|--------|
| 苦情   | 職員の態度、言動など | 2  |    | 1  |    | 2  | 3  | 3   | 2   |     | 7  | 1  | 4  | 25  | 43.1%  | 54.7%  |
|      | 病院の施設面     |    | 1  |    | 1  | 2  | 1  | 2   | 2   |     | 1  | 2  | 1  | 13  | 22.4%  |        |
|      | 待ち時間などソフト面 | 2  |    |    | 2  |    |    |     | 2   |     |    |    | 1  | 7   | 12.1%  |        |
|      | 診療に関わることなど |    |    |    |    | 1  |    |     | 1   |     | 1  |    | 1  | 4   | 6.9%   |        |
|      | その他        |    |    |    |    | 1  |    | 1   | 3   | 1   |    |    |    | 3   | 9      |        |
|      | 計          | 4  | 1  | 1  | 3  | 6  | 4  | 6   | 10  | 1   | 9  | 3  | 10 | 58  | 100.0% |        |
| 提案要望 | 職員の態度、言動など |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   | 0.0%   | 18.9%  |
|      | 病院の施設面     |    | 3  |    | 2  |    | 3  | 2   |     | 1   |    | 1  | 1  | 13  | 65.0%  |        |
|      | 待ち時間などソフト面 | 1  |    | 1  |    |    |    |     |     | 1   |    |    |    | 3   | 15.0%  |        |
|      | 診療に関わることなど | 1  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 1   | 5.0%   |        |
|      | その他        |    |    | 2  |    |    |    |     | 1   |     |    |    |    | 3   | 15.0%  |        |
|      | 計          | 2  | 3  | 3  | 2  | 0  | 3  | 2   | 1   | 2   | 0  | 1  | 1  | 20  | 100.0% |        |
| 質問   | 職員の態度、言動など |    | 1  |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 1   | 50.0%  | 1.9%   |
|      | 病院の施設面     |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   | 0.0%   |        |
|      | 待ち時間などソフト面 |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   | 0.0%   |        |
|      | 診療に関わることなど |    |    |    |    |    |    |     | 1   |     |    |    |    | 1   | 50.0%  |        |
|      | その他        |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   | 0.0%   |        |
|      | 計          | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2   | 100.0% |        |
| お褒め  | 職員の態度、言動など | 1  |    |    | 3  | 3  | 5  | 2   | 1   | 2   | 1  | 1  | 6  | 25  | 96.2%  | 24.5%  |
|      | 病院の施設面     |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   | 0.0%   |        |
|      | 待ち時間などソフト面 |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   | 0.0%   |        |
|      | 診療に関わることなど | 1  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 1   | 3.8%   |        |
|      | その他        |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   | 0.0%   |        |
|      | 計          | 2  | 0  | 0  | 3  | 3  | 5  | 2   | 1   | 2   | 1  | 1  | 6  | 26  | 100.0% |        |
| その他  | その他        |    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    | 0   |        | 0.0%   |
|      | 計          | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |        |        |
| 計    | 職員の態度、言動など | 3  | 1  | 1  | 3  | 5  | 8  | 5   | 3   | 2   | 8  | 2  | 10 | 51  | 48.1%  | 100.0% |
|      | 病院の施設面     | 0  | 4  | 0  | 3  | 2  | 4  | 4   | 2   | 1   | 1  | 3  | 2  | 26  | 24.5%  |        |
|      | 待ち時間などソフト面 | 3  | 0  | 1  | 2  | 0  | 0  | 0   | 2   | 1   | 0  | 0  | 1  | 10  | 9.4%   |        |
|      | 診療に関わることなど | 2  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0   | 2   | 0   | 1  | 0  | 1  | 7   | 6.6%   |        |
|      | その他        | 0  | 0  | 2  | 0  | 1  | 0  | 1   | 4   | 1   | 0  | 0  | 3  | 12  | 11.3%  |        |
|      | 計          | 8  | 5  | 4  | 8  | 9  | 12 | 10  | 13  | 5   | 10 | 5  | 17 | 106 | 100.0% |        |

※4月3日までの回収分です。

## がん相談支援センター

がん相談支援センターで対応する相談内容は、治療の選択、症状や副作用、治療費、仕事との両立、日常生活や介護、心理的な不安、緩和ケアなど多様である。相談内容に応じて医師、がん認定看護師、他職種等と連携し相談者のニーズに応えられるよう相談支援、情報提供を行っている。

今年度は新聞社からの取材要請に応じた他、静岡市の「がんに関する知識の普及啓発動画」の配信へ協力するなどがん相談支援センターの役割について広報活動を行うことができた。今後も地域がん診療拠点病院としてより多くの地域住民にがん相談支援センターの役割を理解し活用してもらえよう周知に努めたい。

静岡県がん診療連携協議会相談支援部会では、がん相談の質担保のためにがん相談支援センター利用者からのフィードバックを得る体制整備を検討している。当院はワーキンググループメンバーとなり利用者の満足度調査

方法やがん相談の効果的な評価方法を県内で統一できるよう活動中である。

また令和6年度に開催する静岡県がん相談員ワークショップの企画を中部地区総合病院の相談員と共同し担当している。がん患者の相談支援に必要となる相談員のスキルアップや、連携体制の構築などを目指しテーマを考え、より有意義な研修を企画している。

がん患者サロン葵は毎月7、8名程度の参加者があった。サロン参加者からの要望で次年度はがんに関するミニレクチャーを予定している。

ハローワーク出張相談件数は年間20人と増加傾向にある。就職に繋げたケースも2件あった。がん患者の仕事と治療の両立は重要な課題である。長期的な視点で継続的な支援ができるよう今後もハローワーク、産業保健総合支援センター等と連携していきたい。

(前田明則)

### 令和5年度 がん相談 統計

|    | がんの治療・検査 |           |          |          |           |           | 症状・副作用・後遺症 |          |        |       | セカンドオピニオン            |               |               | 治療・医療         |                 |      |           |         | 在宅  | 緩和 |     |         |         |
|----|----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|------------|----------|--------|-------|----------------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|------|-----------|---------|-----|----|-----|---------|---------|
|    | 手術について   | 放射線治療について | 薬物療法について | 免疫療法について | ゲノム医療について | その他治療について | がんの検査      | 妊孕性・生殖機能 | アピラランス | 晩期合併症 | 症状・副作用・後遺症の長期フォローアップ | その他症状・副作用・後遺症 | セカンドオピニオン(一般) | セカンドオピニオン(受入) | セカンドオピニオン(他へ紹介) | 治療実績 | 臨床試験・先進医療 | 受診方法・入院 |     |    | 転院  | 医療機関の紹介 | がん予防・検診 |
| 対面 | 12       | 2         | 9        | 1        | 1         | 7         | 1          | 0        | 7      | 0     | 13                   | 2             | 2             | 0             | 0               | 1    | 1         | 5       | 371 | 23 | 1   | 349     | 211     |
| 電話 | 10       | 2         | 4        | 1        | 0         | 12        | 2          | 2        | 1      | 0     | 6                    | 1             | 4             | 0             | 1               | 0    | 0         | 10      | 604 | 29 | 0   | 500     | 433     |
| 合計 | 22       | 4         | 13       | 2        | 1         | 19        | 3          | 2        | 8      | 0     | 19                   | 3             | 6             | 0             | 1               | 1    | 15        | 975     | 52  | 1  | 849 | 644     |         |

|    | 日常生活    |             |     |    | 仕事・就学 |          |       |         | 社会福祉制度 |       |                     | 治療     | こころ・スピリチュアル |          |    | コミュニケーション         |                    |               | 家族ケア          |        | 不明 | その他   | 合計 |
|----|---------|-------------|-----|----|-------|----------|-------|---------|--------|-------|---------------------|--------|-------------|----------|----|-------------------|--------------------|---------------|---------------|--------|----|-------|----|
|    | 運動・外出など | 食事・服薬・入浴・介護 | 看護  | 養育 | 就労    | 治療と仕事の両立 | 就学・就園 | 学業・学校生活 | 介護保険   | 傷病手当金 | その他(医療費・生活費・社会保障制度) | 補完代替療法 | 生きがい・価値観    | 不安・精神的苦痛 | 告知 | 医療者との関係・コミュニケーション | 患者家族間の関係・コミュニケーション | 友人・知人・職場の人間関係 | 患者会・家族会(ピア情報) | グリーフケア |    |       |    |
| 対面 | 14      | 447         | 46  | 5  | 3     | 8        | 0     | 129     | 0      | 54    | 0                   | 14     | 9           | 1        | 2  | 10                | 0                  | 0             | 19            | 0      | 5  | 1,785 |    |
| 電話 | 5       | 433         | 173 | 6  | 2     | 5        | 0     | 256     | 0      | 44    | 0                   | 6      | 5           | 0        | 2  | 14                | 0                  | 1             | 35            | 0      | 12 | 2,621 |    |
| 合計 | 19      | 880         | 219 | 11 | 5     | 13       | 0     | 385     | 0      | 98    | 0                   | 20     | 14          | 1        | 4  | 24                | 0                  | 1             | 54            | 0      | 17 | 4,406 |    |

## 感染管理室

3年を超えるCOVID-19への対応は2022年5月に法律上の位置づけが5類となり、ほとんどの特例的な取り扱いが撤廃され、日常のよくある感染症の一つとなった。一般に感染対策の弊害が議論されることは極めて少ないが、医療のみならず社会に大きな影響を与えた政策・感染対策については今後検証が不可欠と考えている。

職員のワクチン接種歴や抗体保有状況のデータ管理の現況確認を行った。今後は膨大なデータを感染管理シス

テムに一元化する方向で検討を開始した。

院内講演会では静岡厚生病院小児科の田中敏博先生よりワクチンの歴史や最近のトピックなどについて講演いただいた。

抗生物質の供給が品目によっては不安定な状態が続いているが、適正使用を促し耐性菌によるアウトブレイクは発生していない。

(岩井一也)

## 災害対策管理室

### 1. DMAT大規模地震時医療活動訓練

米沢圭(医)、杉山倫代(看)、吉澤和弘(看)、茶山宣(ロジ)、池田直人(ロジ)

令和5年9月30日、淡路島サービスエリア、徳島県立中央病院(兵庫県、徳島県)

### 2. 令和5年度中部ブロックDMAT実働訓練

米沢圭(医)、名取宏樹(看)、増田七実(看)、矢野佳孝(ロジ)

令和5年10月14-15日、山梨大学、富士川病院(山梨県)

### 3. 能登地震DMAT派遣

三神瑞樹(医)、名取宏樹(看)、杉山倫代(看)、茶山宣(ロジ)、池田直人(ロジ)

令和6年1月5日-9日(石川県)

### 4. 能登地震DMAT派遣

米沢圭(医)、吉澤和弘(看)、増田七実(看)、矢野佳孝(ロジ)、大塚論(ロジ)

令和6年1月20日-24日(石川県)

### 5. 能登地震DMAT派遣

鈴木博貴(医)、杉山倫代(看)、茶山宣(ロジ)、山脇和磨(ロジ)、出井慎也(ロジ)

令和6年2月16日-19日(石川県)

COVID-19の5類移行に伴い、昨年まで控えていた院外での種々の活動が再開となった。また令和6年1月1日に発生した能登沖地震に対して、DMATの派遣等を行った。

(深澤誠司)

## 教育研修管理センター

教育研修管理センターは、臨床研修の管理運営と、専門研修の管理運営、そして看護師の特定行為研修を所管している。

令和5年度は、1年次研修医については、基幹型13名、京都大学からの協力型1名、浜松医科大学からの協力型1名の計15名、2年次研修医については、基幹型12名が当院での研修を行った。

研修各科ローテーションと各種支援プログラム（オリエンテーション、救急セミナー、外科系集中講義、国保旭中央病院の坂本 壮救命救急センター医長による救急講演会、院内CPC、専門研修説明会など）を実施した。静岡市医師会と市内研修病院からなる「静岡市研修医を育む会」主催のセミナーや、静岡県医師会主催のセミナーが今年度も開催された。

2年次の地域医療研修は、西伊豆健育会病院、岡本石井病院、熱川温泉病院、翔南病院（沖縄市）に加え今年度から士別市立病院（北海道士別市）でも行わせていただいた。また精神科研修は今年度も溝口病院にお世話になった。小児科研修は、当院小児科での必須研修に加えて、希望者は選択研修として静岡県立こども病院で研修を行わせていただいた。

また診療所研修においては静岡市医師会の多大なご協力のもと、研修医一人につき2カ所の診療所で研修を行わせていただき、どちらかの診療所で必ず訪問診療に同行させていただいた。

静岡市保健所研修、救急車同乗研修を今年度も行わせていただいた。

リクルート活動に関しては、静岡、浜松、東京、大阪、仙台に加え今年度初めて福岡での病院紹介イベントにも参加し、それぞれ多くの来訪者があった。

今年度も教育研修管理センターが窓口となり学生見学

を受け入れた。日本各地の大学から過去最多の200名の医学生が今年度当院の見学に訪れた。オンライン病院説明会も非常に有効な病院紹介のツールであり、病院合同の説明会に加え、当院個別でも実施した。

今年度も研修医のヒアリングを行い、臨床研修の問題点の把握と研修内容の見直しの参考とした。

令和5年度の採用試験は69名とこれも過去最多の受験者があり、10月のマッチングでは13名の定員を充足した。京都大学から1名の協力型研修依頼があり、令和6年度は1年次14名、2年次13名での研修開始予定となった。

京都大学、浜松医科大学、関西医科大学、徳島大学からの学部実習生の受け入れを今年度も行った。

令和6年2月15日に卒後臨床研修評価機構（JCEP）の認定更新審査を受審した。関係部署の多大なご協力のもと当センターにおいて受審に向けた準備を行い、無事受審を終えることができた。

日本専門医機構による新専門医制度は今年度6年目となった。当院は内科、外科、麻酔科の3つの専門研修プログラムを有しているが、今年度は新たに内科専門研修プログラムに4名と外科専門研修プログラムに1名が参加し、上の学年を含めると今年度の当院専門研修プログラム所属者は、内科12名、外科5名であった。3年間のプログラムのうち半年～1年は他の施設での研修が必要とされているので、順次転出、転入した。また逆に当院を連携施設として静岡県立総合病院、浜松医科大学、京都大学医学部附属病院、関西医科大学の各プログラムから専攻医を受け入れた。

看護師の特定行為研修については、指定研修機関として令和2年10月に開講し、令和5年度末までにのべ19名が修了認定となった。

（前田明則）



## シミュレーションラボ室

H24年度に運営を開始した当シミュレーションラボは、①初期研修医や看護師等を対象とした、医療現場に必須の技術習得を目指したプログラム、②専門医を目指す専攻医や、高度な技術習得を目指す看護師等を支援するプログラム、③看護師等の復職を支援するプログラム、を三本柱とし、院内職員のみならず広く静岡市内の医療従事者の利用促進を目指している。今年度も多くの実効性のあるプログラム（表1）が、専属職員をはじめとする関連部署の強力なサポートのもと実施され、今年度も延べ約4,000人の参加を得た。表2には、当室の職種別使用件数を、表3には職種別シミュレーター利用人数を示した。

当院は看護師特定行為研修指定医療機関に認定されており、令和3年度より実技講習を含む専門プログラムがすすめられている。当室としても引き続き全面的にバックアップしていく。静岡市立静岡看護専門学校の看護学生を対象とした小児・新生児シミュレーターを用いた実習も引き続き実施協力していく。

例年同様、学会公認プログラムなど積極的に運営されているプログラムでは、シミュレーターの不足や老朽化・破損などの問題があり、安定継続していくためのルール

作りや環境整備を行う必要がある。これらはプログラム毎に関係者と協議のうえ実践している。院内各科の研修内で行われる手技獲得とシミュレーション学習の位置づけ、“ゴール”設定を行い実効性の高い運用を行うことに着目し、プログラムの整備と充実とともに継続的に取り組んでいる。今後も引き続き、教育研修管理センターなど関連部署との連携を強化しつつ各プログラムの支援に努めていく。

副室長である橋本洋右外科・消化器外科科長によるドライボックストレーニング（腹腔鏡シミュレーター）による折り鶴作成であるが、新聞やテレビ報道、SNSやネットニュースなどで取り上げられることが増えており、当室としても引き続き支援していきたい。こうした技術の向上は、臨床現場での患者さんの利益に直結する。引き続き若手医師の手本としてのご活躍を期待するものである。

シミュレーション教育や実習への期待はますます高まっており、参加者のニーズに敏感かつ迅速に対応していく決意である。当室での学習が最終的には患者さんの利益につながることを引き続き意識し、今後も当ラボ室の運営に尽力して参ります。

（五十嵐健康）

表1 令和5年度 臨床研修運営委員会及びシミュレーションラボ室両主催による臨床研修プログラム

| 年月          | 月日    | 研修会名                     | 講師                           | 参加者        | 参加人数     |
|-------------|-------|--------------------------|------------------------------|------------|----------|
| 2023年<br>4月 | 4月4日  | 気管支鏡操作                   | 呼吸器内科 藤井医師                   | 研修医        | 2名       |
|             | 4月6日  | 研修医 オリエンテーション 縫合結紮       | 外科・消化器外科 西谷医師<br>心臓血管外科 小澤医師 | 研修医        | 15名      |
|             | 4月7日  | 研修医 オリエンテーション エコー        | 検査科 桑山臨床検査技師                 | 研修医        | 3名       |
|             | 4月10日 | 研修医 オリエンテーション 注射・採血      | 心臓血管外科 内山医師<br>麻酔科 玉里医師      | 研修医        | 15名      |
|             | 4月10日 | 研修医 オリエンテーション エコー        | 検査科 桑山臨床検査技師                 | 研修医        | 4名       |
|             | 4月11日 | 研修医 オリエンテーション 気道管理・心肺蘇生  | 麻酔科 玉里医師                     | 研修医        | 15名      |
|             | 4月11日 | 研修医 オリエンテーション エコー        | 検査科 桑山臨床検査技師                 | 研修医        | 4名       |
|             | 4月11日 | 看護師 卒後臨床研修 注射            | 卒後臨床研修委員 13名                 | 新人看護師      | 49名      |
|             | 4月12日 | 研修医 オリエンテーション エコー        | 検査科 桑山臨床検査技師                 | 研修医        | 4名       |
|             | 4月12日 | 看護師 卒後臨床研修 採血            | 卒後臨床研修委員 13名                 | 新人看護師      | 49名      |
|             | 4月13日 | 看護師 卒後臨床研修 採血            | 卒後臨床研修委員 13名                 | 新人看護師      | 49名      |
|             | 4月14日 | 看護師 卒後臨床研修 採血            | 卒後臨床研修委員 13名                 | 新人看護師      | 49名      |
|             | 4月17日 | 輪状甲状軟骨切開実習<br>胸腔ドレーン挿入実習 | 呼吸器外科 土屋医師                   | 研修医<br>医学生 | 1名<br>2名 |
|             | 4月17日 | 看護師 卒後臨床研修 採血            | 卒後臨床研修委員 13名                 | 新人看護師      | 49名      |
|             | 4月18日 | 気管支鏡操作                   | 呼吸器内科 藤井医師                   | 専攻医        | 1名       |

| 年月          | 月日    | 研修会名                     | 講師                               | 参加者        | 参加人数     |
|-------------|-------|--------------------------|----------------------------------|------------|----------|
| 2023年<br>4月 | 4月18日 | 膝関節鏡視下手術<br>シミュレーター      | 整形外科 小木医師                        | 専攻医<br>研修医 | 2名<br>1名 |
|             | 4月20日 | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師                        | 研修医        | 1名       |
|             | 4月20日 | 看護技術研修                   | 看護部 田中看護師                        | 看護師        | 2名       |
|             | 4月24日 | 輪状甲状靱帯切開実習<br>胸腔ドレーン挿入実習 | 呼吸器外科 土屋医師                       | 研修医        | 1名       |
|             | 4月26日 | 眼科 白内障手術<br>(Wet Lab)    | 眼科 李医師                           | 研修医        | 1名       |
|             | 4月28日 | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者                        | 看護師        | 1名       |
| 5月          | 5月8日  | BLS講習会①                  | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師           | 研修医<br>看護師 | 1名<br>5名 |
|             | 5月8日  | BLS講習会②                  | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師           | 研修医<br>看護師 | 2名<br>9名 |
|             | 5月10日 | 特定行為研修OSCE               | 特定行為研修指導者                        | 看護師        | 1名       |
|             | 5月11日 | 縫合結紮講習会                  | 外科・消化器外科 橋本医師                    | 研修医        | 4名       |
|             | 5月15日 | BLS講習会                   | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師           | 看護師        | 7名       |
|             | 5月15日 | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者                        | 看護師        | 8名       |
|             | 5月22日 | BLS講習会                   | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師           | 看護師        | 6名       |
|             | 5月23日 | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師                        | 研修医        | 1名       |
|             | 5月24日 | 気管支鏡操作                   | 呼吸器内科 藤井医師                       | 研修医        | 1名       |
|             | 5月29日 | BLS講習会(救急外来)             | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師           | 看護師        | 7名       |
|             | 5月31日 | BLS講習会(東館10階病棟)          | 専攻医 亀井医師                         | 看護師        | 7名       |
|             | 5月31日 | BLS講習会(薬剤科)              | 救急外来 名取看護師                       | 薬剤師        | 9名       |
| 6月          | 6月2日  | BLS講習会(手術室)              | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師           | 看護師        | 6名       |
|             | 6月5日  | BLS講習会(救急外来)             | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師           | 研修医<br>看護師 | 1名<br>9名 |
|             | 6月6日  | 膝関節鏡視下手術<br>シミュレーター      | 整形外科<br>堀医師・小木医師                 | 専攻医<br>研修医 | 1名<br>3名 |
|             | 6月7日  | 気管支鏡操作                   | 呼吸器内科 藤井医師                       | 研修医        | 3名       |
|             | 6月7日  | 輪状甲状靱帯切開実習<br>胸腔ドレーン挿入実習 | 呼吸器外科 土屋医師                       | 研修医        | 1名       |
|             | 6月8日  | 縫合結紮講習会                  | 外科・消化器外科 橋本医師                    | 研修医        | 3名       |
|             | 6月12日 | BLS講習会(救急外来)             | 救急外来 森本看護師                       | 研修医<br>看護師 | 1名<br>8名 |
|             | 6月19日 | BLS講習会(救急外来)             | 救急外来 森本看護師                       | 研修医<br>看護師 | 1名<br>6名 |
|             | 6月20日 | 採血技術研修                   | 教育研修管理センター<br>池谷看護師<br>看護部 田中看護師 | 研修医        | 2名       |
|             | 6月22日 | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師                        | 研修医        | 1名       |

| 年月 | 月日    | 研修会名                      | 講師   | 参加者                 | 参加人数            |
|----|-------|---------------------------|--|---------------------|-----------------|
| 6月 | 6月27日 | BLS講習会(内視鏡室)              | 消化器内科 医師   | 看護師<br>放射線技術科<br>事務 | 8名<br>22名<br>1名 |
|    | 6月30日 | 日本救急医学会認定<br>ICLS講習会      | 麻酔科 玉里医師、<br>院内医師 5名<br>看護師 5名、<br>診療放射線技師 1名<br>院外医師 3名 | 看護師                 | 12名             |
| 7月 | 7月4日  | 出前講座 BLS講習                | 救急外来 名取看護師   | 院外<br>医療            | 11名             |
|    | 7月6日  | 縫合結紮講習会                   | 外科・消化器外科 橋本医師  | 研修医                 | 3名              |
|    | 7月6日  | NCPR・PALS講習会              | 小児科 五十嵐医師  | 研修医                 | 1名              |
|    | 7月7日  | BLS講習会(救急外来)              | 救急外来 森本看護師   | 研修医<br>看護師          | 1名<br>7名        |
|    | 7月7日  | BLS講習会(救急外来)              | 救急外来 北川看護師   | 看護師                 | 3名              |
|    | 7月10日 | 特定行為研修                    | 特定行為研修指導者  | 院内看護師<br>院外看護師      | 6名<br>2名        |
|    | 7月11日 | 気管支鏡操作                    | 呼吸器内科 藤井医師   | 研修医                 | 1名              |
|    | 7月12日 | 看護技術研修                    | 看護部 田中看護師  | 看護師                 | 3名              |
|    | 7月19日 | 看護技術研修                    | 看護部 田中看護師  | 看護師                 | 1名              |
|    | 7月21日 | 看護技術研修                    | 看護部 田中看護師  | 看護師                 | 1名              |
|    | 7月25日 | BLS講習会(東館6階病棟)            | 麻酔科 玉里医師   | 看護師                 | 11名             |
|    | 7月26日 | BLS講習会(救急外来)              | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師                                   | 看護師                 | 8名              |
|    | 7月27日 | 新生児蘇生法Aコース                | 小児科 五十嵐医師  | 専攻医<br>看護師          | 1名<br>3名        |
|    | 7月27日 | 看護技術研修                    | 看護部 田中看護師  | 看護師                 | 1名              |
|    | 7月28日 | 看護技術研修                    | 看護部 田中看護師  | 看護師                 | 1名              |
| 8月 | 8月8日  | 特定行為研修                    | 特定行為研修指導者  | 院内看護師<br>院外看護師      | 4名<br>2名        |
|    | 8月10日 | 縫合結紮講習会                   | 外科・消化器外科 橋本医師  | 研修医                 | 2名              |
|    | 8月15日 | 特定行為研修                    | 特定行為研修指導者  | 院内看護師<br>院外看護師      | 4名<br>2名        |
|    | 8月17日 | NCPR・PALS講習会              | 小児科 五十嵐医師  | 研修医                 | 1名              |
|    | 8月21日 | 特定行為研修                    | 特定行為研修指導者  | 院内看護師               | 1名              |
|    | 8月21日 | 特定行為研修                    | 特定行為研修指導者  | 院内看護師<br>院外看護師      | 2名<br>2名        |
|    | 8月26日 | 心外Wet Lab                 | 心臓血管外科 中井医師  | 専攻医<br>事務<br>院外医療   | 6名<br>2名<br>6名  |
|    | 8月28日 | 輪状甲状腺靱帯切開実習<br>胸腔ドレーン挿入実習 | 呼吸器外科 土屋医師   | 研修医                 | 1名              |
|    | 8月30日 | 特定行為研修                    | 特定行為研修指導者  | 看護師                 | 3名              |
|    | 8月30日 | 特定行為研修                    | 特定行為研修指導者  | 院内看護師<br>院外看護師      | 4名<br>2名        |

| 年月     | 月日     | 研修会名                     | 講師   | 参加者                    | 参加人数             |    |
|--------|--------|--------------------------|--|------------------------|------------------|----|
| 8月     | 8月31日  | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者  | 院内看護師<br>院外看護師         | 4名<br>2名         |    |
|        | 8月31日  | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者  | 看護師                    | 4名               |    |
| 9月     | 9月6日   | BLS講習会<br>(医事課・総合相談センター) | 救急外来 名取看護師   | 看護師<br>事務              | 11名<br>13名       |    |
|        | 9月8日   | 気管支鏡操作                   | 呼吸器内科 藤井医師   | 研修医                    | 1名               |    |
|        | 9月11日  | 出前講座 BLS講習               | 救急外来 名取看護師   | 院外医療                   | 50名              |    |
|        | 9月19日  | BLS講習会<br>(診療サポート室)      | DVDにて  | 医療クラーク                 | 3名               |    |
|        | 9月20日  | BLS講習会<br>(診療サポート室)      | DVDにて  | 医療クラーク                 | 6名               |    |
|        | 9月20日  | BLS講習会<br>(医事課・総合相談センター) | 救急外来 名取看護師   | 看護師<br>事務              | 3名<br>6名         |    |
|        | 9月21日  | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師  | 研修医                    | 1名               |    |
|        | 9月22日  | BLS講習会(NA)               | 救急外来 名取看護師   | NA                     | 88名              |    |
|        | 9月26日  | BLS講習会<br>(西館9階病棟)       | 専攻医 田上医師   | 看護師                    | 8名               |    |
|        | 9月26日  | BLS講習会<br>(診療サポート室)      | DVDにて  | 医療クラーク                 | 4名               |    |
|        | 9月28日  | 新生児蘇生法Sコース               | 小児科 五十嵐医師、本橋医師                                     | 助産師<br>看護師             | 1名<br>2名         |    |
|        | 9月30日  | 日本救急医学会認定<br>ICLS講習会     | 麻酔科 玉里医師、<br>院内医師6名、看護師5名、<br>診療放射線技師1名、<br>院外医師1名 | 看護師<br>臨床検査技師          | 10名<br>2名        |    |
|        | 10月    | 10月3日                    | 看護技術研修   | 看護部 田中看護師              | 看護師              | 1名 |
|        |        | 10月3日                    | 特定行為研修   | 特定行為研修指導者              | 看護師              | 1名 |
| 10月12日 |        | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師  | 研修医                    | 1名               |    |
| 10月18日 |        | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者  | 院内看護師                  | 1名               |    |
| 10月23日 |        | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者  | 院外看護師                  | 1名               |    |
| 10月24日 |        | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者  | 院外看護師                  | 1名               |    |
| 10月25日 |        | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者  | 院外看護師                  | 1名               |    |
| 10月26日 |        | 新生児蘇生法Aコース               | 小児科 五十嵐医師  | 看護師                    | 4名               |    |
| 10月28日 |        | 日本内科学会認定<br>JMECC講習会     | 循環器内科 縄田医師<br>院内医師5名<br>院外医師3名                     | 専攻医<br>研修医             | 2名<br>10名        |    |
| 11月    | 11月1日  | 看護技術研修                   | 看護部 田中看護師  | 看護師                    | 1名               |    |
|        | 11月14日 | BLS講習会<br>(救急外来)         | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師                             | 研修医<br>看護師             | 2名<br>6名         |    |
|        | 11月16日 | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師  | 研修医                    | 1名               |    |
|        | 11月21日 | 気管支鏡操作                   | 呼吸器内科 藤井医師   | 研修医                    | 1名               |    |
|        | 11月27日 | 輪状甲状靱帯切開実習<br>胸腔ドレーン挿入実習 | 呼吸器外科 土屋医師   | 研修医                    | 1名               |    |
|        | 11月27日 | BLS講習会(外来)               | 外来 畠沢看護師   | 看護師<br>管理栄養士<br>医療クラーク | 15名<br>3名<br>33名 |    |

| 年月          | 月日     | 研修会名                     | 講師  | 参加者                    | 参加人数           |           |
|-------------|--------|--------------------------|---|------------------------|----------------|-----------|
| 11月         | 11月28日 | BLS講習会(救急外来)             | 麻酔科 玉里医師<br>呼吸器外科 玉里医師                                      | 研修医<br>看護師             | 2名<br>6名       |           |
|             | 11月28日 | BLS講習会(外来)               | 外来 畠沢看護師  | 看護師                    | 3名             |           |
|             | 11月29日 | BLS講習会<br>(リハビリテーション技術科) | 救急外来 名取看護師  | リハビリテーション技術科           | 15名            |           |
|             | 11月30日 | 新生児蘇生法Sコース               | 小児科 五十嵐医師   | 助産師<br>看護師             | 1名<br>3名       |           |
| 12月         | 12月7日  | 新生児蘇生法Sコース               | 小児科 五十嵐医師   | 助産師<br>看護師             | 3名<br>1名       |           |
|             | 12月13日 | BLS講習会(ICU)              | 麻酔科 玉里医師  | 看護師                    | 13名            |           |
|             | 12月13日 | BLS講習会(東館6階病棟)           | 心臓血管外科 山田医師   | 看護師                    | 13名            |           |
|             | 12月14日 | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師   | 研修医                    | 1名             |           |
| 2024年<br>1月 | 1月9日   | 気管支鏡操作                   | 呼吸器内科 藤井医師  | 研修医                    | 1名             |           |
|             | 1月16日  | BLS講習会(東館5階病棟)           | 麻酔科 玉里医師  | 看護師                    | 5名             |           |
|             | 1月18日  | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師   | 研修医                    | 1名             |           |
|             | 1月18日  | 出前講座(BLS講習)              | 東館5階病棟 中村看護師  | 一般                     | 6名             |           |
|             | 1月23日  | 特定行為研修                   | 特定行為研修指導者   | 看護師                    | 1名             |           |
|             | 1月24日  | 到達度テスト                   | 消化器内科 田中医師<br>外科・消化器外科 小林医師                                 | 研修医                    | 4名             |           |
|             | 1月25日  | 新生児蘇生法Aコース               | 小児科<br>五十嵐医師、本橋医師   | 看護師                    | 2名             |           |
|             | 1月29日  | BLS講習会(カテ室)              | 麻酔科 玉里医師  | 看護師<br>放射線技術科<br>検査技術科 | 7名<br>2名<br>3名 |           |
|             | 1月30日  | BLS講習会(西館4階病棟)           | BLS指導医師   | 看護師                    | 15名            |           |
|             | 1月31日  | BLS講習会(西館9階病棟)           | BLS指導医師   | 看護師                    | 10名            |           |
|             | 1月31日  | BLS講習会(透析室)              | BLS指導医師   | 看護師<br>臨床工学科<br>NA     | 7名<br>3名<br>1名 |           |
|             | 1月31日  | BLS講習会(東館5階病棟)           | 麻酔科 玉里医師  | 看護師                    | 6名             |           |
|             | 2月     | 2月1日                     | 看護技術研修  | 看護部 田中看護師              | 看護師            | 1名        |
|             |        | 2月3日                     | BLS講習会(東館8階病棟)  | 東館8階病棟 長倉看護師           | 看護師<br>NA      | 18名<br>3名 |
| 2月6日        |        | 到達度テスト                   | 心臓血管外科 山田医師、<br>野村医師<br>消化器内科 鈴木博医師、<br>引地医師、小柳津医師、<br>菊池医師 | 研修医                    | 7名             |           |
| 2月7日        |        | エコー下穿刺練習                 | 特定行為研修指導者   | 院内看護師<br>院外看護師         | 2名<br>2名       |           |
| 2月7日        |        | 到達度テスト                   | 外科・消化器外科 米沢医師<br>消化器内科 川口医師、<br>早川医師、黒石医師                   | 研修医                    | 8名             |           |
| 2月8日        |        | 到達度テスト                   | 産婦人科 米澤医師<br>消化器内科 木村医師、<br>長谷川医師、濱村医師                      | 研修医                    | 8名             |           |

| 年月 | 月日    | 研修会名                     | 講師                                  | 参加者                  | 参加人数      |
|----|-------|--------------------------|-------------------------------------|----------------------|-----------|
| 2月 | 2月14日 | エコー下穿刺練習                 | 特定行為研修指導者                           | 院外看護師                | 2名        |
|    | 2月15日 | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師                           | 研修医                  | 1名        |
|    | 2月21日 | BLS講習会(出前講座)             | 救急外来 名取看護師                          | 学生・一般                | 24名       |
|    | 2月21日 | BLS講習会(西館6階病棟)           | BLS指導医師                             | 看護師                  | 16名       |
|    | 2月22日 | 新生児蘇生法Sコース               | 小児科 五十嵐医師                           | 看護師                  | 4名        |
|    | 2月26日 | BLS講習会(外来)               | 外来 畠沢看護師                            | 看護師                  | 7名        |
|    | 2月28日 | BLS講習会(東館7階病棟)           | 東館7階病棟 加瀬看護師                        | 看護師                  | 13名       |
|    | 2月29日 | 輪状甲状靱帯切開実習<br>胸腔ドレーン挿入実習 | 呼吸器外科 土屋医師                          | 研修医                  | 1名        |
|    | 2月29日 | 吸引指導                     | 看護部 田中看護師                           | リハビリテーション技科<br>臨床工学科 | 2名<br>1名  |
| 3月 | 3月1日  | 点滴採血                     | 看護部 田中看護師                           | 看護師                  | 1名        |
|    | 3月4日  | BLS講習会(西館4階病棟)           | 西館4階病棟 川嶋看護師                        | 看護師                  | 14名       |
|    | 3月5日  | 吸引指導                     | 看護部 田中看護師                           | 臨床工学科                | 1名        |
|    | 3月6日  | BLS講習会(検査技術科)            | 救急外来 名取看護師                          | 検査技術科                | 32名       |
|    | 3月14日 | NCPR・PALS講習会             | 小児科 五十嵐医師                           | 研修医                  | 1名        |
|    | 3月23日 | 日本救急医学会認定<br>ICLS講習会     | 麻酔科 玉里医師、<br>院内医師6名<br>看護師2名、院外医師1名 | 看護師<br>臨床検査技師        | 10名<br>2名 |

|  |          |
|--|----------|
|  | 学会認定講習会  |
|  | 研修医参加講習会 |
|  | 院内開催講習会  |

表2 令和5年度シミュレーションラボ室使用件数（ラボ室を使用した件数）

| 医師・専攻医<br>自己練習 | 研修医<br>自己練習 | 研修医・学生<br>教育 | 看護師<br>教育/勉強会 | コメディカル<br>勉強会 | 講習会<br>研修会 | 院外<br>医療従事者 | 合計    |
|----------------|-------------|--------------|---------------|---------------|------------|-------------|-------|
| 555            | 356         | 60           | 117           | 42            | 144        | 39          | 1,313 |

表3 令和5年度シミュレーター利用人数（ラボ室以外での利用も含む当院シミュレーター利用人数）

| 医師  | 専攻医 | 研修医 | 看護師   | 医学生 | コメディカル | 事務  | 院外医療 | 業者・中高生 | 合計    |
|-----|-----|-----|-------|-----|--------|-----|------|--------|-------|
| 768 | 63  | 685 | 1,482 | 56  | 440    | 137 | 127  | 90     | 3,848 |

【講習会・研修風景】



縫合結紮講習会



ICLS講習会



胸腔ドレーン挿入実習



新生児蘇生法2020専門Aコース



眼科Wet Lab



JMECC講習会

## 臨床試験管理センター

臨床試験管理センターは、治験管理室、臨床研究管理室および実務支援部門から構成されている。

### 1) 治験管理室

治験管理室には治験受託業務の窓口であり、GCP省令ガイダンスに記された治験の実施に関する事務及び支援を行う治験事務局と、治験審査委員会（IRB）の運営を行うIRB事務局が置かれている。

新規受託治験数を増やす取り組みとして、実施可能性調査に回答し、今年度の回答件数は33件であった。事務局でのスクリーニング、各診療科へのリクルートも積極的に進められ、実施可能とした回答数は15件となった。

令和5年度は、新たに開始となった5試験、前年度より継続中の9試験が実施された。継続中の9試験のうち3試験については年度内に終了と報告されたため、実施課題数は11試験となった。実施率（年度内に組み入れ期間の終了した治験における「組み入れ症例数/契約症例数」の平均は89%となった。

### 2) 臨床研究管理室

臨床研究管理室には、研究の事務的管理や研究者への書類作成等の支援を行い、研究参加者の総合窓口として相談・質問へ対応する臨床研究事務局と、医学系研究等

倫理審査委員会（IEC）の運営を行うIEC事務局が置かれている。

令和5年度は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の見直しが行われ改正があったため、研究者への周知を目的とした臨床研究倫理セミナーを実施した。

これと並行して、実施中の研究の進捗状況の確認を行い、66件を医学系研究等倫理審査委員会に報告した。

### 3) 実務支援部門（CRC業務）

実務支援部門には、研究参加者と責任（分担）医師及び研究依頼者の三者間をコーディネートし治験・臨床研究の円滑な推進支援を図る、臨床研究コーディネーター（CRC）が所属している。

院内職員CRCは静岡県ファルマバレーセンター（PVC）経由の臨床研究3試験を担当した。以前より業務委託しているSMO-CRCが昨年度から継続中の治験9試験、新規治験5試験、臨床研究3試験を担当した。

試験全般において、今年度は倫理面、安全面でも、特に問題となる事象は起こらず、適正に治験・臨床研究が実施できた。

（前田明則）

治験実績

|          | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 契約件数     | 3     | 5     | 6     | 5     |
| 継続件数     | 6     | 3     | 7     | 9     |
| 実施可能性調査数 | 124   | 100   | 44    | 33    |

臨床研究実績

|          | 令和2年度  | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |    |
|----------|--------|-------|-------|-------|----|
| 審査件数(新規) | 51     | 46    | 44    | 58    |    |
| 審査件数(変更) | —      | —     | —     | 47    |    |
| 終了報告     | 19     | 28    | 39    | 40    |    |
| 実施中      | 介入研究   | 10    | 12    | 8     | 6  |
|          | 観察研究   | 77    | 62    | 69    | 82 |
|          | その他    | —     | —     | 42    | 3  |
|          | 特定臨床研究 | 6     | 7     | 4     | 4  |



## 診療サポート室

当院にはもともとアシスタントクラーク（AC）と医師事務作業補助者であるメディカルクラーク（MC）の2種類のクラークが存在し、主な業務内容として、ACは、外来における患者対応、検査案内、会計処理など、MCは、外来部門、病棟部門、事務部門があり、カルテ入力、紹介状入力・作成、診断書等の書類下書き・作成、病名入力、データ入力などを行うことで、医師の業務量を減らし、診療がスムーズに行われるように様々な形でサポートしていた。

一昨年度までACは看護部、MCは医事課が管轄していたが、管轄が違うことでの不便が多数生じていたため、両クラークを同一部署で管轄すべく、昨年度より診療サポート室を立ち上げた。

今年度は、診療サポート室専用部屋を新設し、診療サポート室専従スタッフも確保した。

診療サポート室設置の目的は大きく2つあり、一つ目は両クラークともが、最後までこの病院で勤め上げたいと思えるような、幸せを感じながら働ける職場づくり、もう一つは業務が効率よく進むような体制づくりである。

昨年度、両クラークの業務の把握、時間外勤務の把握、クラーク自身が問題点と感じている項目の把握等をまず

行い、業務量の均等化・効率化、休暇・休憩の取得のしやすさを目指すためには、両クラークの一本化が有効であるとの結論に達し、今年度より両クラークを一本化した。一本化後のクラークの名称は医療クラークに統一した。

一本化によりお互いの業務への理解がさらに深まり、同一外来における旧AC、旧MC間での業務量、時間外勤務の不均衡は改善傾向にある。また休暇・休憩の代替に関しても、従来のような旧AC間、旧MC間内での代替のみならず、両クラークをまたいだ代替で診療サポートに当たったケースもあり、休暇・休憩の取得のしやすさにつながっていくと思われる。

医師の働き方改革等でタスクシフトの必要性が高まっており、ますますクラークの重要性が認識されるようになってきた。優秀なクラークを育て、集めることは病院の最重要課題の一つである。現在診療サポート室では、クラークたちのキャリアアップの仕組み作り、待遇改善へ向けての取り組み等を行っており、医療クラークが幸せを感じながら働ける職場になるように、そして各部署において効率的で質の高い診療サポートが行えるように、これからも取り組んでいきたい。

（前田明則）

# 医事経営部

## 医事経営室

医事経営室では、院内データ、各種公表データ（厚生労働省、総務省統計局等）を活用し、内部環境・外部環境の分析業務を行った。また、「病床機能報告」「外来機能報告」「患者調査」の集計・報告を行った。

さらに、病院DXへの取り組みとして、問診の電子化システム導入、RPA（Robotic Process Automation）の導入検討及び準備を行った。

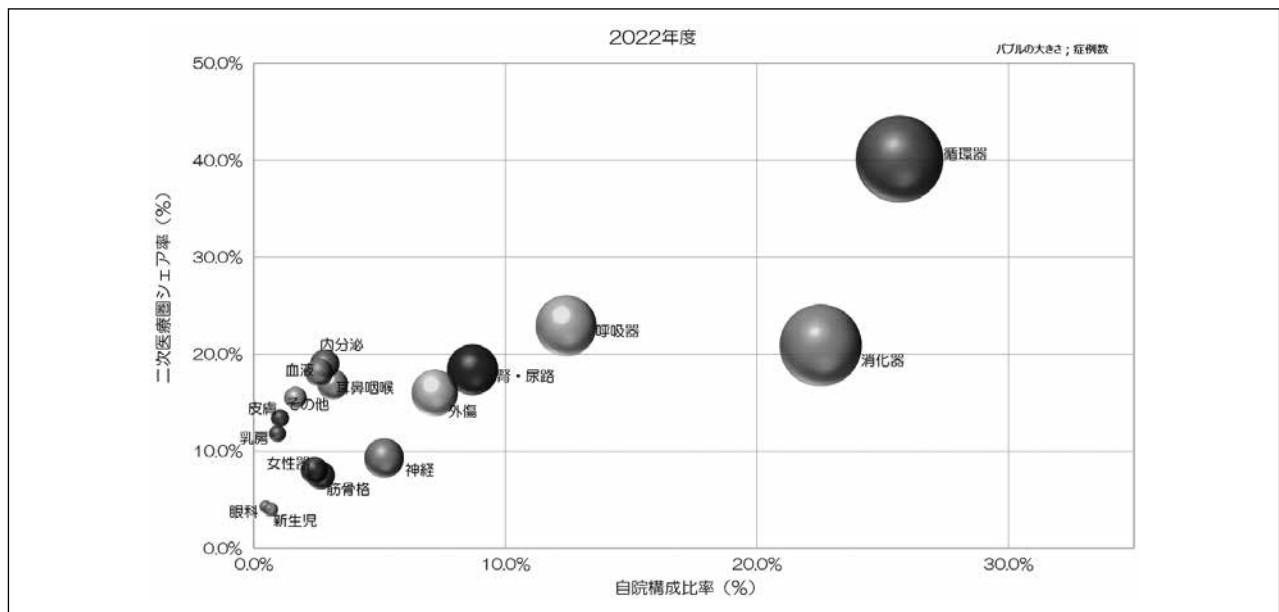
### 令和5年度の主な業務

#### 【内部環境分析】

|  |  |
|--|--|
| 経営分析に関するもの<br>原価計算<br>DPC分析<br>クリニカルパス分析<br>施設基準取得状況分析 | 診療、質的データの調査に関するもの<br>病床機能報告・外来機能報告<br>重症度、医療・看護必要度分析<br>QI報告 |
| その他<br>診療科別院長ヒアリング<br>医事統計<br>問診の電子化システム導入             | 照会・回答<br>救急外来台帳<br>RPAの導入検討及び準備                              |

#### 【外部環境分析】

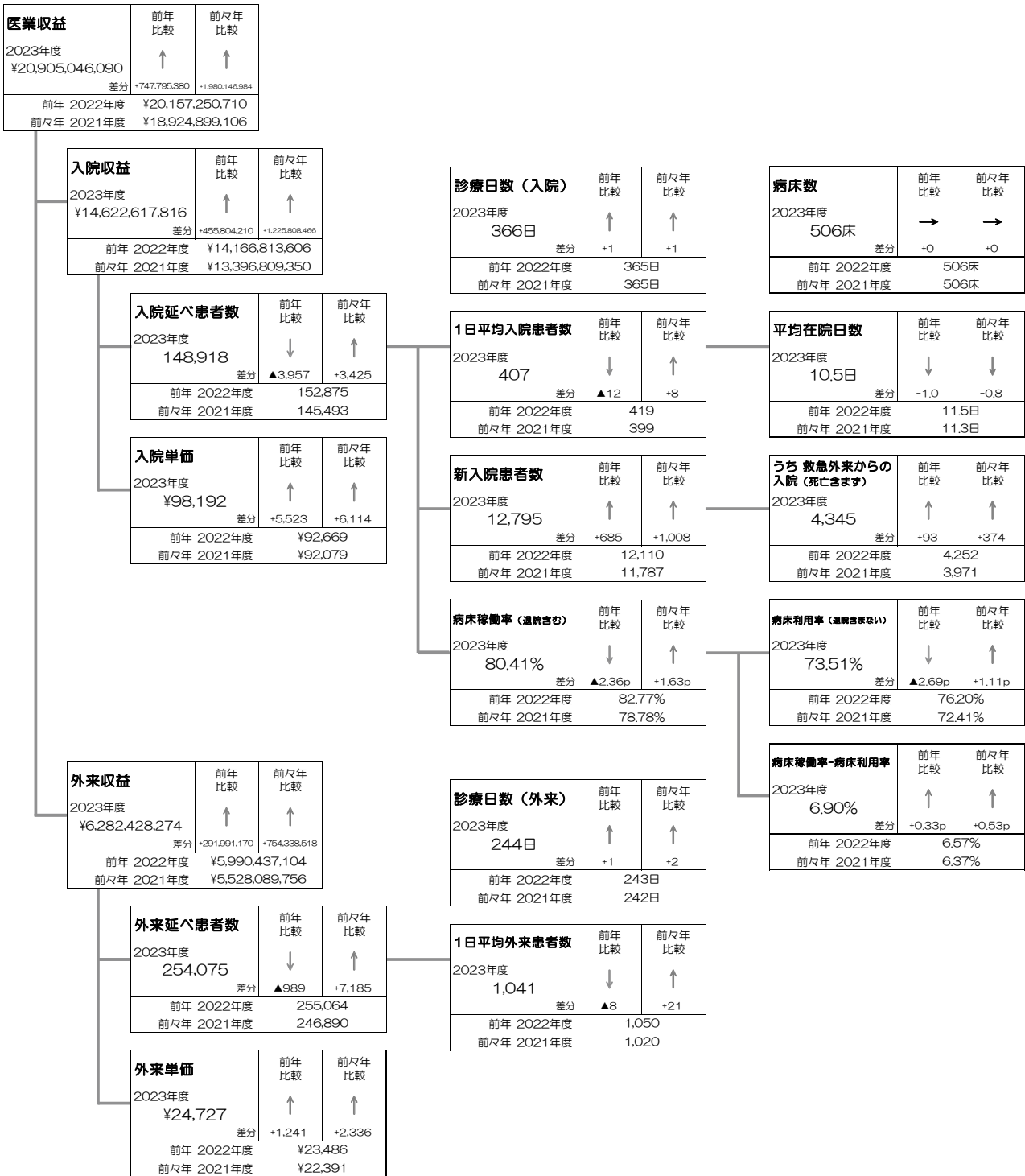
#### 厚労省公開データによる二次医療圏（静岡医療圏）分析



| 2022年度                | MDC01 | MDC02 | MDC03 | MDC04 | MDC05 | MDC06 | MDC07 | MDC08 | MDC09 | MDC10 | MDC11 | MDC12 | MDC13 | MDC14 | MDC15  | MDC16 | MDC17 | MDC18 | 全体割合  | 総件数    |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
|                       | 神経    | 眼科    | 耳鼻咽喉  | 呼吸器   | 循環器   | 消化器   | 筋骨格   | 皮膚    | 乳房    | 内分泌   | 腎・尿路  | 女性器   | 血液    | 新生児   | 小児     | 外傷    | 精神    | その他   |       |        |
| 自院構成比率                | 5.2%  | 0.5%  | 3.1%  | 12.4% | 25.7% | 22.5% | 2.7%  | 1.0%  | 0.9%  | 2.8%  | 8.7%  | 2.4%  | 2.6%  | 0.7%  | 0.0%   | 7.2%  | 0.0%  | 1.6%  |       |        |
| 自院退院患者数               | 548   | 49    | 332   | 1,314 | 2,719 | 2,387 | 282   | 110   | 99    | 299   | 921   | 254   | 274   | 70    | 0      | 762   | 0     | 174   |       | 10,594 |
| 二次医療圏シェア率             | 9.3%  | 4.3%  | 16.9% | 22.9% | 40.1% | 20.9% | 7.5%  | 13.4% | 11.8% | 19.0% | 18.4% | 8.0%  | 18.1% | 4.0%  | 0.0%   | 16.0% | 0.0%  | 15.5% | 18.4% | 57,432 |
| 2021年度                | MDC01 | MDC02 | MDC03 | MDC04 | MDC05 | MDC06 | MDC07 | MDC08 | MDC09 | MDC10 | MDC11 | MDC12 | MDC13 | MDC14 | MDC15  | MDC16 | MDC17 | MDC18 | 全体割合  | 総件数    |
|                       | 神経    | 眼科    | 耳鼻咽喉  | 呼吸器   | 循環器   | 消化器   | 筋骨格   | 皮膚    | 乳房    | 内分泌   | 腎・尿路  | 女性器   | 血液    | 新生児   | 小児     | 外傷    | 精神    | その他   |       |        |
| 自院構成比率                | 5.6%  | 0.9%  | 2.9%  | 11.9% | 27.3% | 22.6% | 2.7%  | 1.1%  | 1.0%  | 2.2%  | 8.5%  | 2.3%  | 2.4%  | 0.9%  | 0.2%   | 5.7%  | 0.0%  | 1.8%  |       |        |
| 自院退院患者数               | 571   | 89    | 294   | 1,223 | 2,805 | 2,329 | 282   | 117   | 105   | 226   | 870   | 240   | 245   | 97    | 20     | 587   | 0     | 183   |       | 10,283 |
| 二次医療圏シェア率             | 9.4%  | 10.2% | 14.9% | 21.1% | 40.7% | 20.3% | 7.2%  | 14.5% | 12.4% | 14.2% | 17.0% | 7.5%  | 16.9% | 5.0%  | 14.3%  | 12.5% | 0.0%  | 17.4% | 17.8% | 57,833 |
| 差分<br>(2022年度-2021年度) | MDC01 | MDC02 | MDC03 | MDC04 | MDC05 | MDC06 | MDC07 | MDC08 | MDC09 | MDC10 | MDC11 | MDC12 | MDC13 | MDC14 | MDC15  | MDC16 | MDC17 | MDC18 | 全体割合  | 総件数    |
|                       | 神経    | 眼科    | 耳鼻咽喉  | 呼吸器   | 循環器   | 消化器   | 筋骨格   | 皮膚    | 乳房    | 内分泌   | 腎・尿路  | 女性器   | 血液    | 新生児   | 小児     | 外傷    | 精神    | その他   |       |        |
| 自院構成比率                | ▲0.4p | ▲0.4p | 0.3p  | 0.5p  | ▲1.6p | ▲0.1p | ▲0.1p | ▲0.1p | ▲0.1p | 0.6p  | 0.2p  | 0.1p  | 0.2p  | ▲0.3p | ▲0.2p  | 1.5p  | 0.0p  | ▲0.1p |       |        |
| 自院退院患者数               | ▲23   | ▲40   | 38    | 91    | ▲86   | 58    | 0     | ▲7    | ▲6    | 73    | 51    | 14    | 29    | ▲27   | ▲20    | 175   | 0     | ▲9    |       | 311    |
| 二次医療圏シェア率             | ▲0.1p | ▲5.9p | 2.0p  | 1.8p  | ▲0.6p | 0.6p  | 0.3p  | ▲1.1p | ▲0.6p | 4.8p  | 1.4p  | 0.5p  | 1.2p  | ▲1.0p | ▲14.3p | 3.5p  | 0.0p  | ▲1.9p | 0.7p  |        |

医業収益因数分解モデル

2023年度



令和5年度 入院に関わる病院目標 および 達成状況

| 令和5年度 | 平均在院日数 (日) | 入院単価 (円/日) | 新入院患者数 (人/年) | うち 救急外来からの入院患者数 (人/年) | 平均入院患者数 (人/日) 退院含む | 入院収益 (円/年) |
|-------|------------|------------|--------------|-----------------------|--------------------|------------|
| 目標    | 11.4       | 94,000     | 12,502       | 4,440                 | 425                | 145億       |
| 実績    | 10.5       | 98,192     | 12,795       | 4,345                 | 407                | 146.2億     |
| 達成状況  | ○          | ○          | ○            | ×                     | ×                  | ○          |

## 医 事 課

医事課の業務は、入院・外来業務、診療報酬の請求・収納事務、病歴を含む診療録管理及び検診の受付・請求業務が主なものである。

令和5年度の入院、外来の患者状況は、入院延患者148,918人で対前年度比3,944人、率にして2.58%の減少、

外来延患者は254,075人で対前年度比989人、率にして0.39%減少した。

また、1日あたり平均患者数は、入院が406.9人で対前年度比11.9人、2.84%の減少、外来は1,045.6人で4.0人、0.38%減少した。

### 医 事 統 計

表1 診療年報R05

|             | 1日当り患者数 |       | 平均<br>在院日数 |
|-------------|---------|-------|------------|
|             | 外 来     | 入 院   |            |
| 内 科         | 11.3    | 0.2   | 0.0        |
| 脳 神 経 内 科   | 12.2    | 0.0   | 0.0        |
| 腎 臓 内 科     | 63.1    | 15.5  | 15.4       |
| 内 分 泌 代 謝 科 | 58.4    | 11.0  | 15.8       |
| 血 液 内 科     | 29.3    | 21.9  | 21.1       |
| 呼 吸 器 内 科   | 66.2    | 54.3  | 14.6       |
| 消 化 器 科     | 108.6   | 52.2  | 10.4       |
| 循 環 器 科     | 95.4    | 62.6  | 8.8        |
| 小 児 科       | 24.2    | 5.4   | 4.0        |
| 外 科・消化器外科   | 60.9    | 32.4  | 8.3        |
| 整 形 外 科     | 76.3    | 40.0  | 13.1       |
| 形 成 外 科     | 21.5    | 7.4   | 13.9       |
| 脳 神 経 外 科   | 32.3    | 29.9  | 13.3       |
| 呼 吸 器 外 科   | 21.1    | 10.5  | 12.0       |
| 心 臓 血 管 外 科 | 34.0    | 27.8  | 13.3       |
| 皮 膚 科       | 49.0    | 3.3   | 14.1       |
| 泌 尿 器 科     | 56.8    | 13.9  | 6.9        |
| 産 婦 人 科     | 38.3    | 8.4   | 6.0        |
| 眼 科         | 24.9    | 0.1   | 1.3        |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 43.5    | 4.5   | 5.5        |
| リハビリテーション科  | 12.0    | 0.0   | 0.0        |
| 放 射 線 診 断 科 | 2.0     | 0.0   | 0.0        |
| 放 射 線 治 療 科 | 26.5    | 0.0   | 0.0        |
| 口 腔 外 科     | 77.2    | 4.7   | 3.8        |
| 緩 和 ケ ア 科   | 0.5     | 0.8   | 16.1       |
| 精 神 科       | 0.3     | 0.0   | 0.0        |
| そ の 他 の 科   | 0.0     | 0.0   | 0.0        |
| 合 計         | 1,045.6 | 406.9 | 10.6       |

表2 患者数（入院・外来）の推移R05

延患者数 (単位：人)

| 年度  | 入 院     | 前年対比%  | 外 来     | 前年対比%  |
|-----|---------|--------|---------|--------|
| H31 | 164,860 | 98.3%  | 278,772 | 99.6%  |
| R02 | 143,675 | 87.1%  | 251,634 | 90.3%  |
| R03 | 145,493 | 101.3% | 246,890 | 98.1%  |
| R04 | 152,862 | 105.1% | 255,064 | 103.3% |
| R05 | 148,918 | 97.4%  | 254,075 | 99.6%  |

新患者数 (単位：人)

| 年度  | 入 院    | 前年対比%  | 外 来    | 前年対比%  |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| H31 | 12,502 | 97.9%  | 23,940 | 96.9%  |
| R02 | 11,279 | 90.2%  | 19,841 | 82.9%  |
| R03 | 11,787 | 104.5% | 20,566 | 103.6% |
| R04 | 12,110 | 102.7% | 22,687 | 110.3% |
| R05 | 12,795 | 105.7% | 23,044 | 101.6% |

表3 令和5年度 救急患者状況

(単位：人)

| 科名         | 救急患者数  |        |        |       |       |       |        |       |       |        |       |       |       |       |       |        |       |       |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
|            | 来院延患者数 |        |        |       |       |       |        |       |       | 時間内患者数 |       |       |       |       |       |        |       |       |
|            | 内救急車搬送 |        |        |       |       |       | 内入院患者数 |       |       | 内救急車搬送 |       |       |       |       |       | 内入院患者数 |       |       |
|            | R03人   | R04人   | R05人   | R03人  | R04人  | R05人  | R03人   | R04人  | R05人  | R03人   | R04人  | R05人  | R03人  | R04人  | R05人  | R03人   | R04人  | R05人  |
| 総合内科       | 1,641  | 2,063  | 2,691  | 878   | 1,124 | 1,464 | 14     | 8     | 3     | 247    | 312   | 422   | 173   | 227   | 357   | 4      | 3     | 0     |
| 脳神経内科      | 129    | 181    | 126    | 83    | 117   | 89    | 4      | 24    | 9     | 36     | 50    | 26    | 29    | 44    | 23    | 2      | 13    | 5     |
| 腎臓内科       | 224    | 219    | 237    | 146   | 146   | 133   | 160    | 147   | 152   | 64     | 72    | 73    | 55    | 62    | 64    | 52     | 62    | 62    |
| 内分泌代謝科     | 167    | 177    | 176    | 133   | 132   | 144   | 118    | 132   | 135   | 58     | 43    | 55    | 49    | 41    | 52    | 45     | 34    | 50    |
| 血液内科       | 380    | 576    | 181    | 93    | 132   | 110   | 117    | 153   | 116   | 253    | 391   | 63    | 37    | 54    | 45    | 46     | 52    | 40    |
| 呼吸器科       | 988    | 1,102  | 958    | 516   | 688   | 676   | 523    | 616   | 650   | 350    | 365   | 300   | 184   | 253   | 275   | 199    | 223   | 256   |
| 消化器科       | 1,492  | 1,564  | 1,498  | 695   | 816   | 786   | 718    | 768   | 733   | 252    | 302   | 302   | 179   | 245   | 234   | 182    | 208   | 201   |
| 循環器科       | 1,522  | 1,483  | 1,522  | 972   | 961   | 1,058 | 946    | 907   | 924   | 539    | 549   | 572   | 390   | 410   | 442   | 403    | 413   | 415   |
| 小児科        | 286    | 485    | 585    | 53    | 105   | 123   | 64     | 73    | 115   | 25     | 49    | 33    | 6     | 29    | 26    | 8      | 17    | 13    |
| 外科・消化器外科   | 386    | 462    | 421    | 157   | 183   | 168   | 215    | 247   | 224   | 68     | 93    | 83    | 53    | 68    | 63    | 54     | 76    | 64    |
| 整形外科       | 1,167  | 1,344  | 1,401  | 687   | 881   | 956   | 326    | 342   | 377   | 278    | 348   | 403   | 232   | 309   | 360   | 147    | 150   | 171   |
| 形成外科       | 273    | 318    | 355    | 112   | 138   | 157   | 9      | 15    | 15    | 57     | 51    | 49    | 42    | 40    | 39    | 3      | 6     | 2     |
| 脳神経外科      | 921    | 1,043  | 1,163  | 668   | 778   | 879   | 448    | 462   | 520   | 231    | 301   | 323   | 203   | 264   | 289   | 124    | 158   | 176   |
| 呼吸器外科      | 71     | 85     | 138    | 47    | 47    | 72    | 34     | 34    | 61    | 18     | 24    | 36    | 16    | 17    | 32    | 11     | 12    | 25    |
| 心臓血管外科     | 154    | 151    | 153    | 119   | 112   | 117   | 116    | 111   | 119   | 59     | 64    | 61    | 48    | 48    | 48    | 49     | 54    | 52    |
| 皮膚科        | 260    | 311    | 273    | 48    | 54    | 59    | 33     | 43    | 40    | 24     | 24    | 24    | 16    | 12    | 17    | 12     | 9     | 13    |
| 泌尿器科       | 523    | 561    | 623    | 178   | 224   | 245   | 84     | 112   | 101   | 66     | 84    | 99    | 50    | 63    | 76    | 32     | 42    | 46    |
| 産婦人科       | 88     | 109    | 104    | 34    | 43    | 36    | 29     | 28    | 26    | 6      | 16    | 12    | 7     | 14    | 10    | 2      | 6     | 2     |
| 眼科         | 45     | 53     | 47     | 6     | 7     | 9     | 0      | 0     | 0     | 3      | 2     | 2     | 2     | 1     | 1     | 0      | 0     | 0     |
| 耳鼻咽喉科      | 414    | 495    | 505    | 204   | 248   | 257   | 15     | 20    | 14    | 62     | 77    | 90    | 56    | 67    | 85    | 4      | 7     | 6     |
| リハビリ科      | 0      | 0      | 0      | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0     | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0     |
| 画像診断科・放射線科 |        |        | 0      |       |       | 0     |        |       | 0     |        |       | 0     |       |       | 0     |        |       | 0     |
| 口腔外科       | 113    | 128    | 125    | 15    | 22    | 27    | 4      | 5     | 4     | 10     | 9     | 9     | 7     | 9     | 7     | 1      | 0     | 2     |
| 麻酔科        | 0      | 0      | 0      | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0     | 0      | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      | 0     | 0     |
| 緩和ケア内科     | 7      | 5      | 5      | 2     | 3     | 5     | 3      | 4     | 5     | 2      | 3     | 4     | 2     | 3     | 4     | 2      | 3     | 4     |
| 救急         | 2      | 1      | 5      | 1     | 1     | 4     | 0      | 1     | 2     | 1      | 0     | 3     | 1     | 0     | 3     |        | 0     | 0     |
| その他        | 39     | 42     | 12     | 28    | 27    | 8     | 1      | 0     | 0     | 8      | 8     | 4     | 6     | 8     | 4     | 0      | 0     | 0     |
| 合計         | 11,292 | 12,958 | 13,304 | 5,875 | 6,989 | 7,582 | 3,981  | 4,252 | 4,345 | 2,717  | 3,237 | 3,048 | 1,843 | 2,288 | 2,556 | 1,382  | 1,548 | 1,605 |

表4 特殊専門外来一覧

| 曜日          | 科名                           | 名称                           | 診療時間   | 受付時間・備考 |
|-------------|------------------------------|------------------------------|--------|---------|
| 月曜日         | 腎臓内科                         | 高血圧外来                        |        |         |
|             | 呼吸器内科                        | 禁煙外来                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 外科                           | 乳腺外来                         | 午前のみ   | 予約のみ    |
|             |                              | そけいヘルニア外来                    | 午前のみ   |         |
|             | 小児科                          | 予防接種                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 音声嚙下外来                       | 午後のみ                         | 予約のみ   |         |
| 火曜日         | 腎臓内科                         | 高血圧外来                        |        |         |
|             | 消化器外科                        | スキンケア看護(ストーマ)外来<br>〔第1・3週のみ〕 |        | 予約のみ    |
|             | 呼吸器内科                        | 禁煙外来                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 心臓血管外科                       | ペースメーカー外来                    |        |         |
|             | 小児科                          | 乳児健診<br>(4ヵ月・10ヵ月のみ)         | 午後のみ   | 予約のみ    |
| 泌尿器科        | スキンケア看護(ストーマ)外来<br>〔第2・4週のみ〕 |                              | 予約のみ   |         |
| 水曜日         | 消化器外科                        | 食道・胃外来                       |        |         |
|             | 呼吸器内科                        | 禁煙外来                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 外科                           | 乳腺外来                         | 午前のみ   | 予約のみ    |
|             |                              | 腰痛・脊椎外来                      | 午前のみ   | 予約のみ    |
|             | 整形外科                         | 膝関節外来                        | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 心臓血管外科                       | ペースメーカー外来                    | 14～16時 | 予約のみ    |
|             | 小児科                          | 乳児健診<br>(1ヵ月のみ)              | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             |                              | 小児腎臓病外来<br>〔第2・3週のみ〕         | 午前のみ   |         |
|             | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科                  | 頭頸部腫瘍外来                      | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 皮膚科・形成外科                     | レーザー外来                       | 13～14時 | 予約のみ    |
| 木曜日         | 腎臓内科                         | 高血圧外来                        |        |         |
|             | 内分泌・代謝内科                     | フットケア外来<br>〔第1・3週のみ〕         | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 呼吸器内科                        | 禁煙外来                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 外科                           | そけいヘルニア外来                    | 午前のみ   |         |
|             |                              | 小児アレルギー外来                    | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 小児科                          | 小児内分泌外来<br>〔第3週のみ〕           | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             |                              | 学童外来                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 舌下免疫外来                       | 午後のみ                         | 予約のみ   |         |
| 金曜日         | 腎臓内科                         | 高血圧外来                        |        |         |
|             | 呼吸器内科                        | 禁煙外来                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 外科                           | 乳腺外来                         | 午前のみ   | 予約のみ    |
|             |                              | 静脈瘤外来                        | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             | 心臓血管外科                       | 足の血管外来<br>〔第2・4週のみ〕          | 午前のみ   | 初診のみ    |
|             | 整形外科                         | 手・末梢神経外来                     | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             |                              | 腫瘍外来                         | 午後のみ   | 予約のみ    |
|             |                              | 肩・肘スポーツ外来<br>〔第1・4週のみ〕       | 午後のみ   | 予約のみ    |
| 小児科         | 学童外来                         | 午後のみ                         | 予約のみ   |         |

表5 人間ドック実績 (R.5)

(単位：人)

| 年齢階層別   | 男   | 女  | 計   |
|---------|-----|----|-----|
| 40歳未満   | 9   | 9  | 18  |
| 40歳～49歳 | 32  | 16 | 48  |
| 50歳～59歳 | 40  | 25 | 65  |
| 60歳以上   | 89  | 39 | 128 |
| 合計      | 170 | 89 | 259 |

表6 診療情報提供(カルテ開示)申請

【開示申請者内訳】

| 申請者   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 患者本人  | 3  | 2  | 2  | 2  | 5  | 4  | 1   | 1   | 3   | 5  | 6  | 3  |
| 家族    | 1  | 3  | 2  | 2  | 0  | 1  | 0   | 0   | 1   | 4  | 1  | 0  |
| →うち遺族 | 1  | 3  | 2  | 1  | 0  | 1  | 0   | 0   | 1   | 4  | 1  | 0  |
| 他機関   | 3  | 1  | 2  | 1  | 1  | 3  | 3   | 0   | 3   | 1  | 1  | 1  |

【年度別カルテ開示取扱数(患者及び患者家族)】

|         | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 受付件数    | 67    | 74    | 84    | 95    | 72    |
| 開示件数    | 67    | 74    | 84    | 95    | 72    |
| 取下・却下件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |

表7 病歴資料貸出返却業務量推移

| 年度<br>月 | R 3    |      | R 4   |      | R 5   |      |
|---------|--------|------|-------|------|-------|------|
|         | 1ヶ月累計  | 1日平均 | 1ヶ月累計 | 1日平均 | 1ヶ月累計 | 1日平均 |
| 1月      | 3,308  | 184  | 52    | 2.7  | 31    | 1.6  |
| 2月      | 2,496  | 139  | 50    | 2.8  | 27    | 0.1  |
| 3月      | 3,493  | 159  | 80    | 3.6  | 29    | 1.3  |
| 4月      | 85     | 4    | 42    | 2.1  | 31    | 0.1  |
| 5月      | 2,414  | 134  | 49    | 2.6  | 24    | 1.2  |
| 6月      | 234    | 12   | 130   | 5.9  | 21    | 1.0  |
| 7月      | 35     | 1.8  | 51    | 1.8  | 23    | 1.2  |
| 8月      | 18     | 1.1  | 41    | 1.8  | 21    | 1.0  |
| 9月      | 31     | 1.6  | 37    | 1.9  | 16    | 0.8  |
| 10月     | 20     | 0.9  | 53    | 2.8  | 20    | 1.0  |
| 11月     | 22     | 1.2  | 29    | 1.5  | 19    | 1.0  |
| 12月     | 18     | 0.9  | 54    | 2.7  | 24    | 1.3  |
| 年累計     | 12,174 | 640  | 668   | 32   | 286   | 11   |
| 月平均     | 1,015  | 53   | 56    | 3    | 23.8  | 1.0  |

表8 診療科別・退院月別・入院患者数

| 診療科        | 入院月 | 4月    | 5月  | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月  | 2月    | 3月    | 総計     |
|------------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|
|            |     |       |     |       |       |       |       |       |       |       |     |       |       |        |
| 腎臓内科       |     | 27    | 28  | 28    | 26    | 25    | 29    | 24    | 30    | 30    | 27  | 29    | 37    | 340    |
| 内分泌・代謝内科   |     | 17    | 19  | 22    | 14    | 16    | 25    | 20    | 21    | 17    | 19  | 27    | 21    | 238    |
| 血液内科       |     | 28    | 24  | 40    | 28    | 41    | 27    | 38    | 24    | 29    | 31  | 31    | 25    | 366    |
| 呼吸器内科      |     | 95    | 77  | 111   | 109   | 124   | 106   | 102   | 101   | 107   | 103 | 126   | 109   | 1,270  |
| 消化器内科      |     | 137   | 141 | 142   | 160   | 144   | 127   | 140   | 121   | 136   | 129 | 136   | 152   | 1,665  |
| 循環器内科      |     | 212   | 165 | 190   | 159   | 165   | 170   | 180   | 203   | 249   | 192 | 206   | 201   | 2,292  |
| 小児科        |     | 18    | 33  | 50    | 45    | 45    | 37    | 31    | 25    | 32    | 25  | 17    | 38    | 396    |
| 外科         |     | 37    | 34  | 36    | 42    | 40    | 46    | 48    | 37    | 50    | 36  | 42    | 36    | 484    |
| 消化器外科      |     | 58    | 75  | 64    | 55    | 76    | 64    | 72    | 66    | 76    | 62  | 69    | 60    | 797    |
| 整形外科       |     | 80    | 74  | 79    | 61    | 111   | 85    | 82    | 85    | 103   | 75  | 89    | 106   | 1,030  |
| 形成外科       |     | 9     | 18  | 15    | 16    | 24    | 13    | 12    | 18    | 20    | 12  | 13    | 18    | 188    |
| 脳神経外科      |     | 74    | 69  | 58    | 53    | 60    | 72    | 69    | 56    | 64    | 63  | 56    | 68    | 762    |
| 呼吸器外科      |     | 26    | 27  | 19    | 22    | 28    | 22    | 23    | 33    | 30    | 19  | 27    | 22    | 298    |
| 心臓血管外科     |     | 55    | 57  | 53    | 59    | 56    | 68    | 63    | 61    | 56    | 50  | 63    | 80    | 721    |
| 皮膚科        |     | 10    | 10  | 6     | 9     | 8     | 12    | 0     | 4     | 6     | 6   | 5     | 3     | 79     |
| 泌尿器科       |     | 51    | 44  | 57    | 70    | 52    | 55    | 52    | 52    | 63    | 40  | 47    | 63    | 646    |
| 産婦人科       |     | 40    | 37  | 25    | 30    | 52    | 34    | 45    | 31    | 36    | 33  | 39    | 37    | 439    |
| 眼科         |     | 0     | 2   | 1     | 3     | 3     | 1     | 1     | 4     | 1     | 4   | 2     | 1     | 23     |
| 耳鼻咽喉科頭頸部外科 |     | 21    | 22  | 23    | 20    | 18    | 26    | 18    | 22    | 19    | 18  | 22    | 25    | 254    |
| 口腔外科       |     | 37    | 21  | 19    | 26    | 41    | 30    | 31    | 30    | 28    | 23  | 28    | 45    | 359    |
| 緩和ケア内科     |     | 1     | 2   | 1     | 0     | 1     | 3     | 2     | 3     | 1     | 1   | 3     | 1     | 19     |
| 総計         |     | 1,033 | 979 | 1,039 | 1,007 | 1,130 | 1,052 | 1,053 | 1,027 | 1,153 | 968 | 1,077 | 1,148 | 12,666 |

表9 診療科別・年齢別・入院患者数

| 診療科        | 0<br>~<br>4 | 5<br>~<br>9 | 10<br>~<br>14 | 15<br>~<br>19 | 20<br>~<br>24 | 25<br>~<br>29 | 30<br>~<br>34 | 35<br>~<br>39 | 40<br>~<br>44 | 45<br>~<br>49 | 50<br>~<br>54 | 55<br>~<br>59 | 60<br>~<br>64 | 65<br>~<br>69 | 70<br>~<br>74 | 75<br>~<br>79 | 80<br>~<br>84 | 85<br>~<br>89 | 90<br>~<br>94 | 95<br>~<br>99 | 100<br>~<br>104 | 105<br>~ | 総計     |
|------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|----------|--------|
| 腎臓内科       | 0           | 0           | 0             | 3             | 3             | 3             | 5             | 9             | 10            | 9             | 12            | 27            | 16            | 27            | 54            | 58            | 38            | 35            | 26            | 5             | 0               | 0        | 340    |
| 内分泌・代謝内科   | 0           | 0           | 0             | 0             | 4             | 1             | 5             | 3             | 12            | 17            | 17            | 12            | 16            | 15            | 27            | 33            | 28            | 24            | 14            | 9             | 1               | 0        | 238    |
| 血液内科       | 0           | 0           | 0             | 0             | 6             | 2             | 5             | 4             | 4             | 9             | 18            | 14            | 17            | 39            | 35            | 84            | 73            | 38            | 15            | 3             | 0               | 0        | 366    |
| 呼吸器内科      | 0           | 0           | 0             | 3             | 6             | 1             | 3             | 4             | 8             | 18            | 30            | 33            | 55            | 81            | 176           | 221           | 264           | 198           | 112           | 55            | 2               | 0        | 1,270  |
| 消化器内科      | 0           | 0           | 1             | 2             | 5             | 7             | 10            | 8             | 16            | 29            | 63            | 79            | 114           | 153           | 249           | 241           | 285           | 229           | 139           | 32            | 3               | 0        | 1,665  |
| 循環器内科      | 0           | 0           | 0             | 5             | 4             | 8             | 7             | 22            | 35            | 54            | 97            | 105           | 177           | 215           | 309           | 365           | 344           | 303           | 183           | 49            | 9               | 1        | 2,292  |
| 小児科        | 316         | 57          | 19            | 4             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        | 396    |
| 外科         | 0           | 0           | 0             | 2             | 4             | 6             | 3             | 11            | 11            | 27            | 29            | 32            | 45            | 49            | 60            | 91            | 75            | 26            | 12            | 1             | 0               | 0        | 484    |
| 消化器外科      | 0           | 0           | 2             | 4             | 9             | 6             | 9             | 9             | 20            | 23            | 55            | 52            | 48            | 83            | 143           | 126           | 126           | 54            | 25            | 3             | 0               | 0        | 797    |
| 整形外科       | 3           | 11          | 29            | 27            | 23            | 6             | 17            | 29            | 21            | 42            | 75            | 78            | 73            | 71            | 100           | 103           | 109           | 116           | 74            | 22            | 1               | 0        | 1,030  |
| 形成外科       | 2           | 0           | 2             | 5             | 4             | 5             | 3             | 3             | 6             | 13            | 8             | 10            | 16            | 11            | 25            | 30            | 21            | 16            | 3             | 5             | 0               | 0        | 188    |
| 脳神経外科      | 0           | 1           | 0             | 4             | 2             | 2             | 6             | 1             | 8             | 25            | 23            | 37            | 41            | 46            | 117           | 129           | 134           | 102           | 62            | 18            | 4               | 0        | 762    |
| 呼吸器外科      | 0           | 0           | 0             | 10            | 2             | 3             | 2             | 2             | 2             | 6             | 12            | 10            | 21            | 58            | 52            | 70            | 28            | 12            | 7             | 0             | 1               | 0        | 298    |
| 心臓血管外科     | 0           | 0           | 0             | 1             | 1             | 0             | 4             | 3             | 14            | 17            | 18            | 22            | 55            | 62            | 133           | 144           | 130           | 87            | 25            | 5             | 0               | 0        | 721    |
| 皮膚科        | 0           | 0           | 0             | 4             | 0             | 1             | 3             | 2             | 3             | 1             | 2             | 2             | 3             | 10            | 8             | 12            | 11            | 8             | 3             | 4             | 2               | 0        | 79     |
| 泌尿器科       | 0           | 0           | 1             | 2             | 3             | 4             | 3             | 4             | 14            | 8             | 32            | 46            | 62            | 60            | 110           | 95            | 99            | 64            | 32            | 7             | 0               | 0        | 646    |
| 産婦人科       | 0           | 0           | 0             | 3             | 22            | 41            | 72            | 69            | 29            | 25            | 22            | 18            | 25            | 17            | 26            | 37            | 17            | 15            | 1             | 0             | 0               | 0        | 439    |
| 眼科         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 4             | 9             | 6             | 1             | 0             | 0               | 0        | 23     |
| 耳鼻咽喉科頭頸部外科 | 4           | 5           | 1             | 4             | 9             | 6             | 7             | 6             | 8             | 16            | 15            | 15            | 27            | 31            | 35            | 44            | 9             | 6             | 6             | 0             | 0               | 0        | 254    |
| 口腔外科       | 0           | 12          | 12            | 39            | 48            | 51            | 24            | 24            | 23            | 18            | 17            | 10            | 17            | 8             | 16            | 7             | 20            | 8             | 5             | 0             | 0               | 0        | 359    |
| 緩和ケア内科     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 3             | 3             | 2             | 2             | 2             | 1             | 3             | 0             | 0               | 0        | 19     |
| 総計         | 325         | 86          | 67            | 122           | 155           | 153           | 188           | 213           | 244           | 357           | 546           | 604           | 832           | 1,039         | 1,679         | 1,896         | 1,822         | 1,348         | 748           | 218           | 23              | 1        | 12,666 |

表10 月別・年齢別・死亡患者数

| 年齢別     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 総計  |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 0~4     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 5~9     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 10~14   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 15~19   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 20~24   | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 25~29   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 30~34   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 35~39   | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2   |
| 40~44   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 1  | 1  | 3   |
| 45~49   | 0  | 0  | 2  | 0  | 2  | 2  | 0   | 1   | 0   | 1  | 0  | 0  | 8   |
| 50~54   | 0  | 0  | 0  | 2  | 2  | 2  | 2   | 1   | 0   | 0  | 0  | 1  | 10  |
| 55~59   | 0  | 0  | 1  | 3  | 0  | 3  | 1   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 9   |
| 60~64   | 3  | 1  | 1  | 1  | 3  | 2  | 1   | 2   | 1   | 2  | 3  | 1  | 21  |
| 65~69   | 2  | 4  | 4  | 4  | 1  | 3  | 3   | 5   | 5   | 3  | 2  | 4  | 40  |
| 70~74   | 2  | 7  | 4  | 11 | 6  | 6  | 4   | 2   | 4   | 6  | 5  | 5  | 62  |
| 75~79   | 10 | 3  | 7  | 8  | 9  | 8  | 8   | 15  | 6   | 11 | 7  | 6  | 98  |
| 80~84   | 10 | 14 | 9  | 7  | 11 | 9  | 10  | 15  | 6   | 11 | 9  | 9  | 120 |
| 85~89   | 12 | 7  | 5  | 13 | 10 | 9  | 10  | 14  | 9   | 10 | 11 | 14 | 124 |
| 90~94   | 9  | 2  | 2  | 6  | 9  | 11 | 4   | 7   | 7   | 12 | 6  | 12 | 87  |
| 95~99   | 1  | 3  | 1  | 2  | 2  | 2  | 3   | 4   | 2   | 4  | 3  | 2  | 29  |
| 100~104 | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0   | 0   | 0   | 1  | 1  | 0  | 4   |
| 105~    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 総計      | 49 | 42 | 37 | 58 | 56 | 59 | 47  | 67  | 40  | 61 | 48 | 55 | 619 |



表11 疾病分類別・年齢別・入院患者数

| 国際分類<br>大項目分類                         | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計   |               |                 |          |
|---------------------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|---------------|-----------------|----------|
|                                       | 0<br>～<br>4 | 5<br>～<br>9 | 10<br>～<br>14 | 15<br>～<br>19 | 20<br>～<br>24 | 25<br>～<br>29 | 30<br>～<br>34 | 35<br>～<br>39 | 40<br>～<br>44 | 45<br>～<br>49 | 50<br>～<br>54 | 55<br>～<br>59 | 60<br>～<br>64 | 65<br>～<br>69 | 70<br>～<br>74 | 75<br>～<br>79 | 80<br>～<br>84 | 85<br>～<br>89 | 90<br>～<br>94 |     | 95<br>～<br>99 | 100<br>～<br>104 | 105<br>～ |
| I 感染症及び寄生虫症                           | 33          | 6           | 2             | 1             | 6             | 5             | 4             | 3             | 5             | 8             | 5             | 5             | 8             | 15            | 28            | 33            | 35            | 45            | 13            | 8   | 0             | 0               | 268      |
| II 新生物<腫瘍>                            | 5           | 1           | 12            | 10            | 10            | 12            | 16            | 27            | 39            | 77            | 144           | 155           | 221           | 325           | 488           | 522           | 457           | 202           | 89            | 13  | 0             | 0               | 2,825    |
| III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害              | 3           | 2           | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 3             | 2             | 4             | 3             | 4             | 5             | 9             | 16            | 23            | 17            | 4             | 2   | 0             | 1               | 99       |
| IV 内分泌、栄養及び代謝疾患                       | 17          | 10          | 3             | 1             | 4             | 3             | 6             | 4             | 11            | 15            | 21            | 18            | 22            | 23            | 36            | 43            | 33            | 40            | 24            | 16  | 0             | 0               | 350      |
| V 精神及び行動の障害                           | 1           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0   | 0             | 0               | 5        |
| VI 神経系の疾患                             | 5           | 3           | 0             | 1             | 1             | 1             | 4             | 2             | 3             | 6             | 16            | 17            | 20            | 21            | 30            | 24            | 12            | 9             | 4             | 2   | 0             | 0               | 181      |
| VII 眼及び付属器の疾患                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 3             | 2             | 6             | 7             | 12            | 7             | 1             | 0   | 0             | 0               | 43       |
| VIII 耳及び乳様突起の疾患                       | 5           | 1           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 1             | 1             | 2             | 0             | 2             | 1             | 1             | 0   | 0             | 0               | 16       |
| IX 循環器系の疾患                            | 2           | 0           | 2             | 6             | 3             | 10            | 12            | 25            | 56            | 89            | 124           | 150           | 253           | 307           | 494           | 571           | 523           | 416           | 216           | 57  | 12            | 0               | 3,328    |
| X 呼吸器系の疾患                             | 87          | 13          | 3             | 14            | 12            | 8             | 8             | 10            | 10            | 19            | 10            | 19            | 36            | 41            | 89            | 140           | 158           | 164           | 110           | 44  | 3             | 0               | 998      |
| XI 消化器系の疾患                            | 1           | 14          | 14            | 40            | 61            | 60            | 40            | 39            | 51            | 65            | 106           | 93            | 123           | 151           | 213           | 236           | 250           | 159           | 104           | 16  | 1             | 0               | 1,837    |
| XII 皮膚及び皮下組織の疾患                       | 1           | 3           | 1             | 5             | 1             | 2             | 3             | 2             | 3             | 5             | 3             | 7             | 6             | 14            | 15            | 21            | 15            | 12            | 4             | 7   | 2             | 0               | 132      |
| XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患                    | 13          | 5           | 1             | 5             | 9             | 2             | 1             | 5             | 7             | 9             | 21            | 20            | 17            | 12            | 38            | 29            | 23            | 21            | 11            | 3   | 0             | 0               | 252      |
| XIV 腎尿路生殖器系の疾患                        | 10          | 1           | 2             | 4             | 6             | 4             | 9             | 15            | 20            | 21            | 33            | 41            | 48            | 46            | 113           | 119           | 108           | 100           | 57            | 20  | 3             | 0               | 780      |
| XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>                     | 0           | 0           | 0             | 2             | 16            | 34            | 63            | 55            | 14            | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0   | 0             | 0               | 184      |
| XVI 周産期に発生した病態                        | 91          | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0   | 0             | 0               | 91       |
| XVII 先天奇形、変形及び染色体異常                   | 2           | 1           | 0             | 1             | 3             | 0             | 0             | 2             | 2             | 3             | 3             | 2             | 3             | 2             | 3             | 5             | 2             | 0             | 0             | 0   | 0             | 0               | 34       |
| XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 0           | 0           | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0   | 0             | 0               | 4        |
| XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響                  | 46          | 24          | 26            | 32            | 23            | 10            | 20            | 24            | 17            | 37            | 51            | 67            | 59            | 67            | 107           | 116           | 142           | 141           | 94            | 26  | 2             | 0               | 1,131    |
| XX 傷病及び死亡の外因                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0   | 0             | 0               | 0        |
| XXI 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 0             | 1             | 0             | 4             | 3             | 0             | 0   | 0             | 0               | 10       |
| XXII 特殊目的用コード                         | 3           | 2           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 4             | 6             | 7             | 6             | 14            | 23            | 11            | 15            | 4   | 0             | 0               | 98       |
| 総計                                    | 325         | 86          | 67            | 122           | 155           | 153           | 188           | 213           | 244           | 357           | 546           | 604           | 832           | 1,039         | 1,679         | 1,896         | 1,822         | 1,348         | 748           | 218 | 23            | 1               | 12,666   |

表12 新生物別・年齢別・死亡患者数

| 部位名称                       | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計 |               |               |               |                 |          |
|----------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---------------|---------------|---------------|-----------------|----------|
|                            | 0<br>～<br>4 | 5<br>～<br>9 | 10<br>～<br>14 | 15<br>～<br>19 | 20<br>～<br>24 | 25<br>～<br>29 | 30<br>～<br>34 | 35<br>～<br>39 | 40<br>～<br>44 | 45<br>～<br>49 | 50<br>～<br>54 | 55<br>～<br>59 | 60<br>～<br>64 | 65<br>～<br>69 | 70<br>～<br>74 | 75<br>～<br>79 | 80<br>～<br>84 |   | 85<br>～<br>89 | 90<br>～<br>94 | 95<br>～<br>99 | 100<br>～<br>104 | 105<br>～ |
| 口唇                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 舌根部                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 舌                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0 | 1             | 0             | 0             | 0               | 2        |
| 歯肉                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1 | 0             | 0             | 0             | 0               | 1        |
| 口腔底                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 口蓋                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の口腔               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 耳下腺                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の大唾液腺             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 扁桃                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 中咽頭                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 鼻<上>咽頭                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 1        |
| 梨状陥凹<洞>                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 下咽頭                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 3        |
| その他及び部位不明確の口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 食道                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 3             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 4        |
| 胃                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 3             | 0             | 1 | 2             | 0             | 0             | 0               | 10       |
| 小腸                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 結腸                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 1             | 1             | 2             | 1             | 1 | 0             | 0             | 0             | 0               | 8        |
| 直腸S状結腸移行部                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 1        |
| 直腸                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 0             | 3             | 2             | 0 | 1             | 0             | 0             | 0               | 9        |
| 肛門及び肛門管                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 肝及び肝内胆管                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 4             | 4             | 0             | 3 | 0             | 0             | 0             | 0               | 11       |
| 胆のう<囊>                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 1             | 1 | 0             | 0             | 0             | 0               | 3        |
| その他及び部位不明の胆道               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 2 | 0             | 0             | 0             | 0               | 4        |
| 膵                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 3             | 2             | 5             | 2 | 0             | 0             | 0             | 0               | 15       |
| その他及び部位不明確の消化器             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 鼻腔及び中耳                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 副鼻腔                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 1        |
| 喉頭                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 1        |
| 気管                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 気管支及び肺                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 2             | 7             | 8             | 6             | 6 | 0             | 0             | 0             | 0               | 32       |
| 胸腺                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |
| 心臓、縦隔及び胸膜                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1 | 0             | 0             | 0             | 0               | 1        |
| その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0             | 0             | 0               | 0        |

| 部位名称              | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計 |               |                 |          |
|-------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---------------|-----------------|----------|
|                   | 0<br>～<br>4 | 5<br>～<br>9 | 10<br>～<br>14 | 15<br>～<br>19 | 20<br>～<br>24 | 25<br>～<br>29 | 30<br>～<br>34 | 35<br>～<br>39 | 40<br>～<br>44 | 45<br>～<br>49 | 50<br>～<br>54 | 55<br>～<br>59 | 60<br>～<br>64 | 65<br>～<br>69 | 70<br>～<br>74 | 75<br>～<br>79 | 80<br>～<br>84 | 85<br>～<br>89 | 90<br>～<br>94 |   | 95<br>～<br>99 | 100<br>～<br>104 | 105<br>～ |
| (四) 肢の骨及び関節軟骨     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の骨及び関節軟骨 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 皮膚の悪性黒色腫          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 皮膚のその他            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 中皮腫               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| カポジ<Kaposi>肉腫     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 末梢神経及び自律神経系       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 後腹膜及び腹膜           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他の結合組織及び軟部組織    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 乳房                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 3             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 5        |
| 外陰(部)             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 陰                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 子宮頸部              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 子宮体部              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0               | 3        |
| 子宮、部位不明           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 卵巣                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の女性生殖器   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 胎盤                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 陰茎                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 前立腺               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 精巣<睾丸>            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の男性生殖器   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 腎盂を除く腎            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 腎盂                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 尿管                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 膀胱                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0               | 3        |
| その他及び部位不明の尿路      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 眼及び付属器            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 髄膜                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 脳                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 甲状腺               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 副腎                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他の内分泌腺及び関連組織    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明確        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |

| 部位名称                             | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計 |               |                 |          |
|----------------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---------------|-----------------|----------|
|                                  | 0<br>～<br>4 | 5<br>～<br>9 | 10<br>～<br>14 | 15<br>～<br>19 | 20<br>～<br>24 | 25<br>～<br>29 | 30<br>～<br>34 | 35<br>～<br>39 | 40<br>～<br>44 | 45<br>～<br>49 | 50<br>～<br>54 | 55<br>～<br>59 | 60<br>～<br>64 | 65<br>～<br>69 | 70<br>～<br>74 | 75<br>～<br>79 | 80<br>～<br>84 | 85<br>～<br>89 | 90<br>～<br>94 |   | 95<br>～<br>99 | 100<br>～<br>104 | 105<br>～ |
| リンパ節の続発性及び部位不明                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 3             | 1             | 2             | 3             | 2             | 0 | 0             | 0               | 13       |
| その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 悪性新生物<腫瘍>、部位が明示されていないもの          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| ホジキンリンパ腫                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| ろく濾>胞性リンパ腫                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 非ろく濾>胞性リンパ腫                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 3        |
| 成熟T/NK細胞リンパ腫                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 悪性免疫増殖性疾患                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 3             | 1             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 7        |
| リンパ性白血病                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 骨髄性白血病                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 3             | 3             | 3             | 3             | 0             | 0 | 0             | 0               | 15       |
| 単球性白血病                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 細胞型の明示されたその他の白血病                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 細胞型不明の白血病                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 独立した(原発性)多部位の悪性新生物               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 口腔、食道及び胃の上皮内癌                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の消化器の上皮内癌               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 中耳及び呼吸器系の上皮内癌                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 上皮内黒色腫                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 皮膚の上皮内癌                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 乳房の上皮内癌                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 子宮頸(部)の上皮内癌                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の上皮内癌                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 口腔及び咽頭の良性新生物                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 大唾液腺の良性新生物                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 消化器系のその他及び部位不明の良性新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 中耳及び呼吸器系の良性新生物                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 骨及び関節軟骨の良性新生物                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |

| 部位名称                                  | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計 |               |                 |          |
|---------------------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---------------|-----------------|----------|
|                                       | 0<br>~<br>4 | 5<br>~<br>9 | 10<br>~<br>14 | 15<br>~<br>19 | 20<br>~<br>24 | 25<br>~<br>29 | 30<br>~<br>34 | 35<br>~<br>39 | 40<br>~<br>44 | 45<br>~<br>49 | 50<br>~<br>54 | 55<br>~<br>59 | 60<br>~<br>64 | 65<br>~<br>69 | 70<br>~<br>74 | 75<br>~<br>79 | 80<br>~<br>84 | 85<br>~<br>89 | 90<br>~<br>94 |   | 95<br>~<br>99 | 100<br>~<br>104 | 105<br>~ |
| 良性脂肪腫性新生物<br>(脂肪腫を含む)                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 血管腫及びリンパ管腫、<br>全ての部位                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 中皮組織の良性新生物                            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 後腹膜及び腹膜の軟部<br>組織の良性新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 結合組織及びその他の軟部<br>組織のその他の良性新生物          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| メラニン細胞性母斑                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 皮膚のその他の良性新<br>生物                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 乳房の良性新生物                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 子宮平滑筋腫                                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 子宮のその他の良性新<br>生物                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 卵巣の良性新生物                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の女<br>性生殖器の良性新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 男性生殖器の良性新生<br>物                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 腎尿路の良性新生物                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 眼及び付属器の良性新<br>生物                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 髄膜の良性新生物                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 脳及び中枢神経系のその<br>他の部位の良性新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 甲状腺の良性新生物                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の内<br>分泌腺の良性新生物              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他の部位及び部位<br>不明の良性新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 口腔及び消化器の性状<br>不詳又は不明の新生物              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 中耳、呼吸器及び胸腔内臓器<br>の性状不詳又は不明の新生物        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 女性生殖器の性状不詳<br>又は不明の新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 男性生殖器の性状不詳<br>又は不明の新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 腎尿路の性状不詳又は<br>不明の新生物                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 髄膜の性状不詳又はは<br>不明の新生物                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 脳及び中枢神経系の性状<br>不詳又は不明の新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 内分泌腺の性状不詳又<br>は不明の新生物                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 真正赤血球増加症<多<br>血症>                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 骨髄異形成症候群                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 3             | 5             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 9        |
| リンパ組織、造血組織及び関連組織の<br>性状不詳又は不明のその他の新生物 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| その他及び部位不明の性<br>状不詳又は不明の新生物            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 総数                                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 1             | 0             | 1             | 5             | 13            | 15            | 32            | 37            | 40            | 29            | 9             | 0 | 0             | 0               | 185      |

表13 疾病分類別・年齢別・死亡患者数

| 国際分類<br>大項目分類                         | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計  |               |                 |          |
|---------------------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----|---------------|-----------------|----------|
|                                       | 0<br>～<br>4 | 5<br>～<br>9 | 10<br>～<br>14 | 15<br>～<br>19 | 20<br>～<br>24 | 25<br>～<br>29 | 30<br>～<br>34 | 35<br>～<br>39 | 40<br>～<br>44 | 45<br>～<br>49 | 50<br>～<br>54 | 55<br>～<br>59 | 60<br>～<br>64 | 65<br>～<br>69 | 70<br>～<br>74 | 75<br>～<br>79 | 80<br>～<br>84 | 85<br>～<br>89 | 90<br>～<br>94 |    | 95<br>～<br>99 | 100<br>～<br>104 | 105<br>～ |
| I 感染症及び寄生虫症                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 2             | 5             | 6             | 12            | 3             | 1  | 0             | 0               | 32       |
| II 新生物<腫瘍>                            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 1             | 0             | 1             | 5             | 13            | 15            | 32            | 37            | 40            | 29            | 9             | 0  | 0             | 0               | 185      |
| III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 2             | 2             | 0             | 0  | 0             | 0               | 7        |
| IV 内分泌、栄養及び代謝疾患                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 1             | 2             | 1             | 2  | 0             | 0               | 8        |
| V 精神及び行動の障害                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| VI 神経系の疾患                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 3        |
| VII 眼及び付属器の疾患                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| VIII 耳及び乳様突起の疾患                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| IX 循環器系の疾患                            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 1             | 4             | 2             | 1             | 10            | 10            | 18            | 28            | 29            | 21            | 9  | 2             | 0               | 137      |
| X 呼吸器系の疾患                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 1             | 2             | 2             | 5             | 23            | 26            | 32            | 36            | 13 | 1             | 0               | 144      |
| XI 消化器系の疾患                            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 2             | 1             | 3             | 9             | 3             | 3             | 7             | 4             | 6             | 1  | 0             | 0               | 42       |
| XII 皮膚及び皮下組織の疾患                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 1             | 1  | 0             | 0               | 4        |
| XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0  | 0             | 0               | 4        |
| XIV 腎尿路生殖器系の疾患                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 2             | 4             | 10            | 6             | 1  | 1             | 0               | 28       |
| XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| XVI 周産期に発生した病態                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| XVII 先天奇形、変形及び染色体異常                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 2             | 5             | 3             | 4             | 1  | 0             | 0               | 18       |
| XX 傷病及び死亡の外因                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| XXI 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| XXII 特殊目的用コード                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 3             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 7        |
| 総計                                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 2             | 3             | 8             | 10            | 9             | 21            | 40            | 62            | 98            | 120           | 124           | 87            | 29 | 4             | 0               | 619      |

表14 新生物別・年齢別・入院患者数

| 部位名称                       | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計 |               |                 |          |
|----------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---------------|-----------------|----------|
|                            | 0<br>~<br>4 | 5<br>~<br>9 | 10<br>~<br>14 | 15<br>~<br>19 | 20<br>~<br>24 | 25<br>~<br>29 | 30<br>~<br>34 | 35<br>~<br>39 | 40<br>~<br>44 | 45<br>~<br>49 | 50<br>~<br>54 | 55<br>~<br>59 | 60<br>~<br>64 | 65<br>~<br>69 | 70<br>~<br>74 | 75<br>~<br>79 | 80<br>~<br>84 | 85<br>~<br>89 | 90<br>~<br>94 |   | 95<br>~<br>99 | 100<br>~<br>104 | 105<br>~ |
| 口唇                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 舌根部                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 舌                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 4             | 1             | 0             | 3             | 1             | 6             | 3             | 3             | 1             | 3             | 0 | 0             | 0               | 25       |
| 歯肉                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 6             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 7        |
| 口腔底                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 口蓋                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| その他及び部位不明の口腔               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 4             | 0             | 2             | 0 | 0             | 0               | 8        |
| 耳下腺                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 3        |
| その他及び部位不明の大唾液腺             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 扁桃                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 中咽頭                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 8             | 0             | 0             | 1             | 6             | 0             | 9             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0               | 25       |
| 鼻<上>咽頭                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 梨状陥凹<洞>                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 下咽頭                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 7             | 2             | 4             | 18            | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 32       |
| その他及び部位不明確の口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 食道                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 4             | 14            | 12            | 7             | 27            | 13            | 29            | 2             | 2             | 0 | 0             | 0               | 110      |
| 胃                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 0             | 2             | 5             | 2             | 17            | 27            | 28            | 25            | 20            | 5             | 2 | 0             | 0               | 136      |
| 小腸                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 6             | 0             | 0             | 4             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 12       |
| 結腸                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 4             | 10            | 6             | 15            | 25            | 22            | 25            | 15            | 9             | 2 | 0             | 0               | 136      |
| 直腸S状結腸移行部                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 直腸                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 5             | 1             | 7             | 12            | 18            | 15            | 13            | 10            | 7             | 0 | 0             | 0               | 88       |
| 肛門及び肛門管                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 3             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 4        |
| 肝及び肝内胆管                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 10            | 11            | 17            | 45            | 32            | 34            | 27            | 4             | 1 | 0             | 0               | 182      |
| 胆のう<囊>                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 3             | 0             | 0             | 2             | 2             | 0             | 0 | 0             | 0               | 8        |
| その他及び部位不明の胆道               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 3             | 3             | 10            | 13            | 2             | 1 | 0             | 0               | 35       |
| 膵                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 12            | 7             | 12            | 20            | 13            | 28            | 22            | 11            | 7             | 0 | 0             | 0               | 135      |
| その他及び部位不明確の消化器             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 鼻腔及び中耳                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0               | 4        |
| 副鼻腔                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 4        |
| 喉頭                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 4             | 9             | 3             | 3             | 1             | 1             | 0 | 0             | 0               | 21       |
| 気管                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 気管支及び肺                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 7             | 22            | 14            | 34            | 75            | 111           | 116           | 109           | 22            | 9             | 1 | 0             | 0               | 521      |
| 胸腺                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 心臓、縦隔及び胸膜                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |

| 部位名称              | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計 |               |                 |          |
|-------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---------------|-----------------|----------|
|                   | 0<br>～<br>4 | 5<br>～<br>9 | 10<br>～<br>14 | 15<br>～<br>19 | 20<br>～<br>24 | 25<br>～<br>29 | 30<br>～<br>34 | 35<br>～<br>39 | 40<br>～<br>44 | 45<br>～<br>49 | 50<br>～<br>54 | 55<br>～<br>59 | 60<br>～<br>64 | 65<br>～<br>69 | 70<br>～<br>74 | 75<br>～<br>79 | 80<br>～<br>84 | 85<br>～<br>89 | 90<br>～<br>94 |   | 95<br>～<br>99 | 100<br>～<br>104 | 105<br>～ |
| (四) 肢の骨及び関節軟骨     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| その他及び部位不明の骨及び関節軟骨 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 皮膚の悪性黒色腫          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 0             | 0             | 5             | 2             | 3             | 2             | 0 | 0             | 0               | 15       |
| 皮膚のその他            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 0             | 0             | 3             | 1             | 3             | 3             | 5             | 1             | 1             | 3 | 0             | 0               | 23       |
| 中皮腫               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 5             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 7        |
| カポジ<Kaposi>肉腫     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 末梢神経及び自律神経系       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 後腹膜及び腹膜           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| その他の結合組織及び軟部組織    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 2             | 1             | 0             | 2             | 1             | 1             | 0             | 4             | 1 | 0             | 0               | 14       |
| 乳房                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 4             | 3             | 9             | 6             | 10            | 13            | 15            | 17            | 16            | 20            | 5             | 1             | 0 | 0             | 0               | 120      |
| 外陰(部)             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 陰                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 子宮頸部              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 1             | 1             | 2             | 0             | 7             | 0             | 4             | 3             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 21       |
| 子宮体部              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 8             | 0             | 12            | 13            | 1             | 8             | 1             | 0 | 0             | 0               | 46       |
| 子宮、部位不明           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 卵巣                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 6             | 5             | 2             | 1             | 2             | 5             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 24       |
| その他及び部位不明の女性生殖器   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 胎盤                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 陰茎                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 前立腺               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 6             | 12            | 16            | 17            | 12            | 11            | 5             | 1             | 0 | 0             | 0               | 80       |
| 精巣<睾丸>            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の男性生殖器   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 腎盂を除く腎            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 3             | 5             | 2             | 4             | 10            | 1             | 2             | 2             | 3             | 0 | 0             | 0               | 33       |
| 腎盂                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 5             | 0             | 1             | 3             | 0             | 0             | 3             | 1             | 2             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 16       |
| 尿管                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 4             | 3             | 3             | 5             | 1             | 2             | 0 | 0             | 0               | 20       |
| 膀胱                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 9             | 6             | 19            | 6             | 25            | 19            | 26            | 7             | 6             | 1 | 0             | 0               | 124      |
| その他及び部位不明の尿路      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 眼及び付属器            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 髄膜                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 脳                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 3             | 1             | 0             | 0             | 1             | 3             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 9        |
| 脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 甲状腺               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 1             | 2             | 5             | 3             | 2             | 0             | 1             | 1             | 0 | 0             | 0               | 17       |
| 副腎                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| その他の内分泌腺及び関連組織    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明確        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |



| 部位名称                             | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計 |               |                 |          |
|----------------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---|---------------|-----------------|----------|
|                                  | 0<br>～<br>4 | 5<br>～<br>9 | 10<br>～<br>14 | 15<br>～<br>19 | 20<br>～<br>24 | 25<br>～<br>29 | 30<br>～<br>34 | 35<br>～<br>39 | 40<br>～<br>44 | 45<br>～<br>49 | 50<br>～<br>54 | 55<br>～<br>59 | 60<br>～<br>64 | 65<br>～<br>69 | 70<br>～<br>74 | 75<br>～<br>79 | 80<br>～<br>84 | 85<br>～<br>89 | 90<br>～<br>94 |   | 95<br>～<br>99 | 100<br>～<br>104 | 105<br>～ |
| リンパ節の続発性及び部位不明                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 5             | 0             | 0             | 3             | 4             | 3             | 0             | 0 | 0             | 0               | 15       |
| 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 2             | 2             | 9             | 14            | 22            | 24            | 10            | 6             | 5             | 0 | 0             | 0               | 96       |
| その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 1             | 1             | 3             | 6             | 4             | 2             | 0             | 0 | 0             | 0               | 19       |
| 悪性新生物<腫瘍>、部位が明示されていないもの          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 2             | 1             | 2             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0 | 0             | 0               | 8        |
| ホジキンリンパ腫                         | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| ろく濾>胞性リンパ腫                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 3             | 0             | 0             | 2             | 2             | 1             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 10       |
| 非ろく濾>胞性リンパ腫                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 2             | 0             | 2             | 16            | 8             | 27            | 9             | 8             | 1             | 0 | 0             | 0               | 76       |
| 成熟T/NK細胞リンパ腫                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 4        |
| 非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 1             | 0             | 2             | 2             | 7             | 5             | 1             | 2             | 0 | 0             | 0               | 22       |
| T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0 | 0             | 0               | 2        |
| 悪性免疫増殖性疾患                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 2             | 3             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 8        |
| 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 4             | 1             | 1             | 5             | 1             | 1             | 1             | 0 | 0             | 0               | 15       |
| リンパ性白血病                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 5             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 5             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 3             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 14       |
| 骨髄性白血病                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 4             | 0             | 0             | 2             | 4             | 7             | 0             | 5             | 8             | 9             | 8             | 6             | 1             | 0 | 0             | 0               | 54       |
| 単球性白血病                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 細胞型の明示されたその他の白血病                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 細胞型不明の白血病                        | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 独立した(原発性)多部位の悪性新生物               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 口腔、食道及び胃の上皮内癌                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| その他及び部位不明の消化器の上皮内癌               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 中耳及び呼吸器系の上皮内癌                    | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 上皮内黒色腫                           | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 皮膚の上皮内癌                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 乳房の上皮内癌                          | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 1             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 5        |
| 子宮頸(部)の上皮内癌                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 3             | 3             | 1             | 1             | 5             | 4             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 19       |
| その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌               | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| その他及び部位不明の上皮内癌                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 口腔及び咽頭の良性新生物                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 大唾液腺の良性新生物                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 1        |
| 結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 3             | 1             | 2             | 5             | 2             | 1             | 0             | 0 | 0             | 0               | 15       |
| 消化器系のその他及び部位不明の良性新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 1             | 4             | 0             | 0             | 2             | 2             | 1             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 11       |
| 中耳及び呼吸器系の良性新生物                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 1             | 2             | 1             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 9        |
| その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 0        |
| 骨及び関節軟骨の良性新生物                    | 0           | 0           | 8             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 1             | 1             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0 | 0             | 0               | 15       |

| 部位名称                                  | 年齢別         |             |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               |               | 計  |               |                 |          |
|---------------------------------------|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----|---------------|-----------------|----------|
|                                       | 0<br>~<br>4 | 5<br>~<br>9 | 10<br>~<br>14 | 15<br>~<br>19 | 20<br>~<br>24 | 25<br>~<br>29 | 30<br>~<br>34 | 35<br>~<br>39 | 40<br>~<br>44 | 45<br>~<br>49 | 50<br>~<br>54 | 55<br>~<br>59 | 60<br>~<br>64 | 65<br>~<br>69 | 70<br>~<br>74 | 75<br>~<br>79 | 80<br>~<br>84 | 85<br>~<br>89 | 90<br>~<br>94 |    | 95<br>~<br>99 | 100<br>~<br>104 | 105<br>~ |
| 良性脂肪腫性新生物<br>(脂肪腫を含む)                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 0             | 3             | 2             | 3             | 2             | 5             | 3             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 20       |
| 血管腫及びリンパ管腫、<br>全ての部位                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 2        |
| 中皮組織の良性新生物                            | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 後腹膜及び腹膜の軟部<br>組織の良性新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 結合組織及びその他の軟部<br>組織のその他の良性新生物          | 1           | 0           | 1             | 1             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 3             | 5             | 2             | 2             | 2             | 2             | 4             | 3             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 28       |
| メラニン細胞性母斑                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 皮膚のその他の良性新<br>生物                      | 0           | 0           | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 3        |
| 乳房の良性新生物                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 3        |
| 子宮平滑筋腫                                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 1             | 2             | 7             | 5             | 7             | 4             | 0             | 0             | 1             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 28       |
| 子宮のその他の良性新<br>生物                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 卵巣の良性新生物                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 1             | 1             | 1             | 2             | 2             | 2             | 0             | 3             | 1             | 0             | 0  | 0             | 0               | 15       |
| その他及び部位不明の女<br>性生殖器の良性新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 男性生殖器の良性新生<br>物                       | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 腎尿路の良性新生物                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 1        |
| 眼及び付属器の良性新<br>生物                      | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 髄膜の良性新生物                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 0             | 2             | 0             | 1             | 1             | 1             | 0             | 0  | 0             | 0               | 7        |
| 脳及び中枢神経系のその<br>他の部位の良性新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 甲状腺の良性新生物                             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 1        |
| その他及び部位不明の内<br>分泌腺の良性新生物              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| その他の部位及び部位<br>不明の良性新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 2             | 2             | 2             | 2             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 12       |
| 口腔及び消化器の性状<br>不詳又は不明の新生物              | 0           | 0           | 0             | 1             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 2             | 6             | 2             | 2             | 4             | 8             | 6             | 3             | 0             | 2             | 0  | 0             | 0               | 37       |
| 中耳、呼吸器及び胸腔内臓器<br>の性状不詳又は不明の新生物        | 0           | 0           | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 1             | 0             | 2             | 1             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 7        |
| 女性生殖器の性状不詳<br>又は不明の新生物                | 0           | 0           | 0             | 1             | 1             | 0             | 0             | 1             | 1             | 1             | 1             | 3             | 1             | 2             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 13       |
| 男性生殖器の性状不詳<br>又は不明の新生物                | 0           | 0           | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 2        |
| 腎尿路の性状不詳又は<br>不明の新生物                  | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 1        |
| 髄膜の性状不詳又は不<br>明の新生物                   | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 脳及び中枢神経系の性状<br>不詳又は不明の新生物             | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 2             | 1             | 1             | 1             | 2             | 1             | 0             | 0  | 0             | 0               | 8        |
| 内分泌腺の性状不詳又<br>は不明の新生物                 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 2             | 4             | 1             | 0             | 1             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 11       |
| 真正赤血球増加症<多<br>血症>                     | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0  | 0             | 0               | 0        |
| 骨髄異形成症候群                              | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 1             | 0             | 2             | 4             | 4             | 9             | 15            | 1             | 0             | 0  | 0             | 0               | 37       |
| リンパ組織、造血組織及び関連組織の<br>性状不詳又は不明のその他の新生物 | 0           | 0           | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1             | 0             | 0             | 2             | 0             | 0             | 0             | 0             | 1  | 0             | 0               | 4        |
| その他及び部位不明の性<br>状不詳又は不明の新生物            | 4           | 1           | 3             | 5             | 2             | 4             | 2             | 5             | 6             | 6             | 10            | 9             | 6             | 4             | 5             | 3             | 5             | 1             | 0             | 0  | 0             | 0               | 81       |
| 総計                                    | 5           | 1           | 12            | 10            | 10            | 12            | 16            | 27            | 39            | 77            | 144           | 155           | 221           | 325           | 488           | 522           | 457           | 202           | 89            | 13 | 0             | 0               | 2,825    |



# 教育研究実績

学 術 業 績  
院 内 教 育 行 事



論文・紙上発表

- (循環) Yamamoto K, Morimoto T, Natsuaki M, Shiomi H, Ozasa N, Sakamoto H, Takeji Y, Domei T, Tada T, Taniguchi R, Uegaito T, Yamada M, Takeda T, Eizawa H, Suwa S, Shirohani M, Tamura T, Inoko M, Sakai H, Ishii K, Toyofuku M, Miki S, Onodera T, Furukawa Y, Inada T, Ando K, Kadota K, Nakagawa Y, Kimura T; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators. : Polypharmacy and Bleeding Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention. *Circ J.* 2023 Sep 15.
- (循環) Yamashita S, Sakamoto A, Shoji S, Kawaguchi Y, Wakabayashi Y, Matsunaga M, Suguro K, Matsumoto Y, Takase H, Onodera T, Tawarahara K, Muto M, Shirasaki Y, Katoh H, Sano M, Suwa K, Naruse Y, Ohtani H, Saotome M, Urushida T, Kohsaka S, Okada E, Maekawa Y: Feasibility of Short-Term Aggressive Lipid-Lowering Therapy with the PCSK9 Antibody in Acute Coronary Syndrome. *J Cardiovasc Dev Dis.* 2023 May 9;10(5):204.
- (循環) Chatani R, Yamashita Y, Morimoto T, Muraoka N, Shioyama W, Shibata T, Nishimoto Y, Ogihara Y, Doi K, Oi M, Shiga T, Sueta D, Kim K, Tanabe Y, Koitabashi N, Takada T, Ikeda S, Nakagawa H, Mitsuhashi T, Shoji M, Sakamoto J, Hisatake S, Ogino Y, Fujita M, Nakanishi N, Dohke T, Hiramori S, Nawada R, Kaneda K, Mushiaki K, Yamamoto H, Kadota K, Ono K, Kimura T; ONCO PE Trial Investigators.: Home Treatment for Active Cancer Patients With Low-Risk Pulmonary Embolism - A Predetermined Companion Report From the ONCO PE Trial. *Circ J.* 2024 Mar 8.
- (循環) Kaneda K, Shiomi H, Abe M, Morimoto T, Yamamoto K, Obayashi Y, Nishikawa R, Tamura A, Kadota K, Domei T, Nakatsuma K, Yokomatsu T, Imai M, Taniguchi T, Nawada R, Toyofuku M, Tamura T, Inada T, Matsuda M, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Nakagawa Y, Kimura T; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort 3 Investigators.: Post-contrast Acute Kidney Injury After Emergent and Elective Percutaneous Coronary Intervention (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort 3). *Am J Cardiol.* 2023 Sep 1;202:58-66.
- (循環) Tanaka H, Takegami M, Miyake M, Amano M, Kitai T, Fujita T, Koyama T, Ando K, Komiya T, Izumo M, Kawai H, Eishi K, Yoshida K, Kimura T, Nawada R, Sakamoto T, Shibata Y, Fukui T, Minatoya K, Tsujita K, Sakata Y, Kimura T, Nishimura K, Furukawa Y, Izumi C; BPV-AF Registry Group.: Association of Left Atrial Size With Stroke or Systemic Embolism in Patients With Atrial Fibrillation Having Undergone Bioprosthetic Valve Replacement From the BPV-AF Registry. *Circ Rep.* 2023 Apr 4;5(5):210-216.
- (循環) Chatani R, Yamashita Y, Morimoto T, Mushiaki K, Kadota K, Kaneda K, Nishimoto Y, Ikeda N, Kobayashi Y, Ikeda S, Kim K, Inoko M, Takase T, Tsuji S, Oi M, Takada T, Otsui K, Sakamoto J, Ogihara Y, Inoue T, Usami S, Chen PM, Togi K, Koitabashi N, Hiramori S, Doi K, Mabuchi H, Tsuyuki Y, Murata K, Takabayashi K, Nakai H, Sueta D, Shioyama W, Dohke T, Nishikawa R, Kimura T; COMMAND VTE Registry-2 Investigators.: Cancer-associated venous thromboembolism in the direct oral anticoagulants era: Insight from the COMMAND VTE Registry-2. *Thromb Res.* 2024 Feb;234:86-93.
- (循環) Tsujisaka Y, Yamashita Y, Morimoto T, Takase T, Hiramori S, Kim K, Oi M, Akao M, Kobayashi Y, Chen PM, Murata K, Tsuyuki Y, Nishimoto Y, Sakamoto J, Togi K, Mabuchi H, Takabayashi K, Kato T, Ono K, Kimura T; COMMAND VTE Registry Investigators.: Application of the RIETE score to identify low-risk patients with pulmonary embolism: From the COMMAND VTE Registry. *Thromb Res.* 2023 Dec;232:35-42.
- (循環) Takeji Y, Taniguchi T, Morimoto T, Shirai S, Kitai T, Tabata H, Kitano K, Ohno N, Murai R, Osakada K, Murata K, Nakai M, Tsuneyoshi H, Tada T, Amano M, Watanabe S, Shiomi H, Watanabe H, Yoshikawa Y, Nishikawa R, Yamamoto K, Obayashi Y, Toyofuku M, Tatsushima S, Kanamori N, Miyake M, Nakayama H, Nagao K, Izuhara M, Nakatsuma K, Inoko M, Fujita T, Kimura M, Ishii M, Usami S, Sawada K, Nakazeki F, Okabayashi M, Shirohani M, Inuzuka Y, Ando K, Komiya T, Minatoya K; CURRENT AS registry-2 Investigators; Kimura T: In-hospital outcomes after SAVR or TAVI in patients with severe aortic stenosis. *Cardiovasc*

- Interv Ther. 2024 Jan;39(1):65-73.
- (循環) Takahashi K, Yamashita Y, Morimoto T, Tada T, Sakamoto H, Takase T, Hiramori S, Kim K, Oi M, Akao M, Kobayashi Y, Chen PM, Murata K, Tsuyuki Y, Nishimoto Y, Sakamoto J, Togi K, Mabuchi H, Takabayashi K, Kato T, Ono K, Kimura T; COMMAND VTE Registry Investigators.: Age and long-term outcomes of patients with venous thromboembolism: From the COMMAND VTE Registry. *Int J Cardiol.* 2023 Jul 15;383:89-95.
- (循環) Nakajima K, Miyauchi H, Hirano KI, Fujimoto S, Kawahito M, Iimori T, Kudo T. : Practice recommendation for measuring washout rates in <sup>123</sup>I-BMIPP fatty acid images. *Ann Nucl Med.* 2024 Jan;38(1):1-8.
- (循環) Nakajima K, Miyauchi H, Hirano KI, Fujimoto S, Kawahito M, Iimori T, Kudo T; Japanese Society of Nuclear Cardiology working group.: Practice Recommendation for Measuring Washout Rates in <sup>123</sup>I-BMIPP Fatty Acid Images. *Ann Nucl Cardiol.* 2023;9(1):3-10.
- (循環) 中嶋憲一、宮内秀行、平野賢一、藤本進一郎、川人充知、飯森隆志、工藤 崇：<sup>123</sup>I-BMIPP脂肪酸イメージングにおける洗い出し率測定に関する推奨 *心臓核医学* 2024;26(1):11-18.
- (心外) Shibata T, Mitsuoka H, et al. : Mid-term outcomes of physician modified endografts therapy for complex aortic aneurysms *Interdisciplinary Cardiovascular and Thoracic Surgery* DOI:10.1093/icvts/ivae044 (2024.3月 online 掲載)
- (心外) 佐藤、三岡 他：神経線維腫症1型に合併した尺骨動脈仮性瘤の一例 *雑誌血管外科* 2023,42号,72-75.
- (心外) 川口、中井 他：AVR後、生物学的製剤投与中に弁輪部膿瘍を生じた高安動脈炎の1例 *日本心臓血管外科学会雑誌* Vol.53 No.2 March 2024 66-69
- (心外) 小澤、中井 他：心房細動の外科的治療における肺静脈隔離術の有効性 *胸部外科*
- (心外) 小塚、三岡 他：手術の工夫 胸腹部大動脈瘤に対する2期的開窓型腹部ステントグラフト内挿術 *胸部外科* 2023、76巻12号1001-1004
- (消内) Daiki Kawaguchi: Rare Case of Advanced Gastric Cancer Complicated with Fibrinogen Storage Disease Treated with Chemotherapy plus Immune Checkpoint Inhibitor: A Case Report. *Case Rep Oncol.*2023 Nov2;16(1):1267-1273
- (外科) Naoya Sasaki, Yusuke Okamura, Ryuta Nishitani: Cholangiography by Intrabiliary Indocyanine Green Administration With Near-Infrared Laparoscopy in Major Hepatectomy. *Cureus Real-Time Fluorescent* 2023 Jun 21;15(6):e40769
- (外科) 上田 翔、小林敏樹、西谷健太、多田誠一郎、高柳智保、川守田啓介、橋本洋右、米沢 圭、前田賢人：腎移植後の移植側内鼠経ヘルニアに対し腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術を施行した1例 *日本消化器外科学会雑誌* 56(11):608-614、2023
- (呼内) Ayano Watanabe, Masato Fujii, Takehisa Sano, Satoshi Ikegami, Junya Kamei, Suguru Kojima, Yasuomi Satake, Takashi Yamada: Tracheal leiomyoma *QJM: An International Journal of Medicine* 2023, 116(7):563-565
- (整形  
肩手) 澤田智一、佐野倫生、大村威夫、松山幸弘、鈴木重哉、大石崇人：神経部分断裂に対する手術症例の検討 *日手会誌* 39(5):643-646, 2023
- (整形  
肩手) 澤田智一、佐野倫生、大村威夫、松山幸弘、黒川敬史：橈骨遠位端骨折に関連しない豆状骨亜脱臼の検討 *日手会誌* 40(3):244-246, 2023
- (整形) 杉山義晴、星野裕信：PNI低値は大腿骨転子部骨折患者において周術期合併症のリスク因子である *Hip Joint* 49:28-31, 2023.
- (整形) 堀 留奈、佐野倫生、澤田智一、素村健司、小木浩孝：オートインジェクターによる皮下注射で上腕骨に針があたり抜去困難となった1例 *中部整災誌* 66(2):261-262, 2023
- (整形) 小木浩孝、佐野倫生、澤田智一、宮城道人、松山幸弘：Severe ASを有する大腿骨近位部骨折に対してTAVI後に手術加療を行った2例 *中部整災誌* 66(4):637-638, 2023
- (整形) 柴田晃平、鈴木希央、清水朋彦、阿部雅志：小児上腕骨顆上骨折における前方展開の経験— Pulseless pink handへの対応— *中部整災誌* 66(1):151-152, 2023
- (泌尿) 八木橋祐亮：医原性尿道外傷 *臨床泌尿器科* 1124-1129.2023 77巻第13号

- (産科) 望月琴美、堀越義正、谷口千津子、米澤真澄、水野薫子：新生児呼吸障害症例における絨毛膜羊膜炎・臍帯炎は分娩経過と関連する 関東連合産科婦人科学会誌 60(4):727-735, 2023
- (耳鼻) 合田 力、山下燎亮、山本浩孝 池上 聡、大森孝一：喉頭軟骨肉腫の1例 頭頸部外科 (1349-581X) 33巻2号 Page227-232 (2023.10)
- (口腔) Ohyama Y, Inaba Y, Kubota M, Kanemaru T, Hasegawa K: CT-assessed sarcopenia and prognostic nutritional index are associated with poor prognosis in oral squamous cell carcinoma. Oral Maxillofac Surg 2023 Nov 8
- (口腔) Shintaro Yamazaki, Yujing Lin, Eriko Marukawa, Masa-Aki Ikeda: Integrated Bone Formation Through In Vivo Endochondral Ossification Using Mesenchymal Stem Cells. J Vis Exp. 2023 Jul 14: (197). doi: 10.3791/65573.
- (放治) Yusuke Iizuka, Tomohiro Katagiri, Kengo Ogura, Minoru Inoue, Ryota Nakashima, Kiyonao Nakamura, Takashi Mizowaki: Recurrence-free survival and prognosis after adjuvant therapy with radioactive iodine-131 in patients with differentiated thyroid carcinoma Scientific Reports 2023,13:10795
- (放治) Yusuke Iizuka, Masahiro Hiraoka, Masaki Kokubo, Takashi Sakamoto, Katsuyuki Karasawa, Keiko Murofushi, Mitsuhiro Nakamura, Yukinori Matsuo, Satoshi Morita, Haruo Inokuchi, Takashi Mizowaki: Dynamic tumor-tracking stereotactic body radiotherapy with real-time monitoring of liver tumors using a gimbal-mounted linac: a multi-institutional phase II study Clinical and Translational Radiation Oncology vol. 39, March 2023, 100591
- (薬剤) 矢野佳孝、小林広典、望月英明：抗菌薬投与の影響を早期に発見できる、感染関連28項目対応DWH時短ツールの有効性 全国自治体病院協議会雑誌 63(3):449~453,2024.
- (放技) 増田秀道：タスクシフトの取り組みについて 静岡県放射線技師会誌 JOURNAL Vol.33 No.1 2023 (通巻217号) P25-28
- (放技) 千葉和宏：静岡県内における臨床実習アンケート調査報告 静岡県放射線技師会誌 JOURNAL Vol.33 No.2 2023 (通巻218号) p.28-31

## 演題発表

- (循環) 杉山博文、尾針甲祐、小嶋瑛璃子、鎌倉理充、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、徳増芳則、服部雄介、川人充知、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉：複数のカテーテルにて人工弁留置時の透視角度を決定しTAVIを施行した円背高齢患者の一例 第48回 CVIT東海北陸地方会 2023.5.13 石川県金沢市
- (循環) 松田龍信、川人充知、尾針甲祐、鎌倉理充、小嶋瑛璃子、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、徳増芳則、服部雄介、杉山博文、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉：陳旧性心筋梗塞に伴う持続性頻拍に対してImpella導入下でVTアブレーションを行った1例 第161回 日本循環器学会東海地方会 2023.6.3 名古屋市
- (循環) 尾針甲祐、徳増芳則、杉山博文、川人充知、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉：塞栓源不明脳塞栓症に対し経食道心臓超音波検査で卵円孔開存症を同定し奇異性脳塞栓症の診断に至った1例 第250回 日本内科学会東海地方会 2023.6.25 三重県桑名市
- (循環) Takeru Taki, Michitomo Kawahito, Ryuzo Nawada, Tomoya Onodera: BIATRIAL TACHYCARDIA VIA THE INTER-CAVAL BUNDLE AFTER RIGHT PULMONARY VEIN ISOLATION 第69回不整脈心電学会学術大会 2023.7.6 札幌市
- (循環) 榊永大二郎、山内達也、川人充知：Cu 2.0mm付加フィルタを使用した放射線量低減プロトコルの検討 第69回不整脈心電学会学術大会 2023.7.6 札幌市
- (循環) 山内達也、榊永大二郎、川人充知：アブレーション治療における診療放射線技師のタスクシフトの取り組み 第69回不整脈心電学会学術大会 2023.7.8 札幌市
- (循環) 徳増芳則：静岡市立静岡病院における中等度以上のMRを合併したTAVI患者についての検討 第31回 CVIT学術総会 2023.8.4 福岡市
- (循環) 三竹啓嗣：僧帽弁置換術後に経カテーテル的大動脈弁置換術を行った患者の治療成績 第31回 CVIT学術総会 2023.8.4 福岡市
- (循環) 杉山博文：生体弁機能不全に対する経カテーテル大動脈弁置換術に関する中期成績 第31回 CVIT学術総会 2023.8.4 福岡市



- (循環) Hirofumi Sugiyama: Long-term Outcomes in lesions with Deferred Percutaneous Coronary Intervention Guided by Fractional Flow Reserve and Instantaneous Wave-free Ratio 第31回 CVIT学術総会 2023.8.4 福岡市
- (循環) 鎌倉理充、宮野雄太、尾針甲祐、小嶋瑛璃子、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、徳増芳則、服部雄介、杉山博文、川人充知、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: 心筋シンチグラフィの位相解析により最適化されたMultipoint pacingが奏功した一例 第71回 日本心臓学会学術集会 2023.9.8 東京都新宿区
- (循環) Masamitsu Kamakura, Michitomo Kawahito: A case of significant improvement of Multipoint pacing (MPP) optimized by phase analysis of Gated myocardial SPECT 第27回日本心不全学会学術集会 2023.10.7 横浜市
- (循環) 廣瀬由紀、川人充知: 多職種ハートケアチームで末期心不全患者の植込み型除細動器 (ICD) のdeactivationに関わった一例 第27回日本心不全学会学術集会 2023.10.8 横浜市
- (循環) 藤田英憲、中川拓哉、清水翔太、瀧 健、山田 健、尾針甲祐、鎌倉理充、小嶋瑛璃子、松田龍信、石川恵理、中嶋敦生、三竹啓嗣、徳増芳則、服部雄介、杉山博文、川人充知、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: 冠動脈バイパス術後に左鎖骨下動脈狭窄が進行し、冠動脈グラフトの盗血に伴い心筋虚血をきたした一例 日本循環器学会 第162回東海・第147回北陸合同地方会 2023.10.21 岐阜県岐阜市
- (循環) 鎌倉理充、川人充知、瀧 健、清水翔太、山田 健、尾針甲祐、小嶋瑛璃子、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、徳増芳則、服部雄介、杉山博文、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: 急性期HFrEFで中性脂肪蓄積心筋血管症と診断後、リバーズリモデリングした急性左心不全の一例 日本循環器学会 第162回東海・第147回北陸合同地方会 2023.10.21 岐阜県岐阜市
- (循環) 清水翔太、服部雄介、藤田英憲、政後直毅、瀧 健、山田 健、尾針甲祐、鎌倉理充、小嶋瑛璃子、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、徳増芳則、杉山博文、川人充知、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: 経静脈的植込み型除細動器植込み後早期にpacing lead thrombosisを発症した1例 日本循環器学会 第162回東海・第147回北陸合同地方会 2023.10.21 岐阜県岐阜市
- (循環) 瀧 健、川人充知、山田 健、清水翔太、尾針甲祐、鎌倉理充、小嶋瑛璃子、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、徳増芳則、服部雄介、杉山博文、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: 総肺静脈還流異常症術後の切開線関連心房頻拍にアブレーションを施行した一例 日本循環器学会 第162回東海・第147回北陸合同地方会 2023.10.21 岐阜県岐阜市
- (循環) 山田 健、川人充知、瀧 健、清水翔太、尾針甲祐、鎌倉理充、小嶋瑛璃子、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、徳増芳則、服部雄介、杉山博文、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: 3Dマッピングによりクライオアブレーションの至適部位同定を行った通常型房室結節リエントリー性頻拍の一例 日本循環器学会 第162回東海・第147回北陸合同地方会 2023.10.21 岐阜県岐阜市
- (循環) 山田 健、川人充知、中川拓哉、石川恵理、服部雄介、縄田隆三、小野寺知哉: EnsiteXのhigh-density mappingでnear-field potentialと周波数でhighlightした通常型房室結節リエントリー性頻拍の1例 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17 福岡市
- (循環) 日向勇人、宮地健太、高橋由希、栗田浩瑛、興津健吾、大隅 進、服部雄介、川人充知: Abbott社製アブレーションカテーテルTactiFlexとTactiCathの比較検討 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17 福岡市
- (循環) 宮地健太、栗田浩瑛、高橋由希、日向勇人、興津健吾、大隅 進、服部雄介、川人充知: 右心室ペーシング Open window mapping 作成時におけるEnsite OT Near Field機能の有用性 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17 福岡市
- (循環) 高橋由希、栗田浩瑛、宮地健太、日向勇人、興津健吾、大隅 進、服部雄介、川人充知: SVCIsolationライン直下からSVC起源のPACが多発した1例 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17 福岡市
- (循環) 栗田浩瑛、宮地健太、高橋由希、日向勇人、興津健吾、大隅進、服部雄介、川人充知: OT Near FieldのEmphasis Mapを用いroof lineのepi connectionを描出できた一例 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17 福岡市
- (循環) 徳増芳則、山田 健、瀧 健、清水翔太、尾針甲祐、鎌倉理充、小嶋瑛璃子、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、服部雄介、杉山博文、川人充知、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: Fatal Case Report:Candida Myocarditis in an Elderly-Woman with Refractory Heart Failure 第88回 日本循環器学会学術集会 2024.3.8 神戸市
- (循環) 徳増芳則、山田 健、瀧 健、清水翔太、尾針甲祐、鎌倉理充、小嶋瑛璃子、松田龍信、中川拓哉、中嶋敦生、石川恵理、三竹啓嗣、服部雄介、杉山博文、川人充知、村田耕一郎、縄田隆三、小野寺知哉: Clinical Short-

- term Outcomes of Left Bundle Branch Area Pacing 第88回 日本循環器学会学術集会 2024.3.9 神戸市
- (循環) Shigetaka Kageyama: Percent Ischemic Myocardium Post-Bypass Surgery Quantified by Computed Tomography in the First-in-Human Trial 第88回 日本循環器学会学術集会 2024.3.8 神戸市
- (循環) 山中香里、川人充知、徳増芳則、鎌倉理充、瀧 健、戸谷綾香、田辺一真、廣瀬由紀、増田友美、嶋根久美子、榛葉亜矢子、縄田隆三、小野寺知哉：当院における心不全ステージD患者へのAdvance Care Planningの現状と課題 第88回 日本循環器学会学術集会 2024.3.8 神戸市
- (循環) 廣瀬由紀、川人充知、戸谷綾香、田辺一真、山中香里、嶋根久美子、榛葉亜矢子、佐藤俊史、水上紘司、小野田博繁、鈴木莉子、池田直人、藤井真一、小林美穂、疋野友紀乃、鎌倉理充、徳増芳則、縄田隆三、小野寺知哉：当院の多職種ハートケアチーム結成2年間の軌跡と見えてきた課題 第88回 日本循環器学会学術集会 2024.3.8 神戸市
- (循環) 宮地健太、服部雄介、川人充知：CARTO3 systemにてDynamic window techniqueを用いたmappingで回路を推定し治療に成功したOMI-VTの1例 第4回日本不整脈心電学会東海北陸支部地方会 2024.3.23 富山県富山市
- (心外) 鈴木貴大：4尖弁重症TRに対する三尖弁形成術 乳頭筋縫合+clover手技 第47回静岡県心臓血管外科手術手技ビデオカンファランス 2023.4.22 静岡市
- (心外) 寺井恭彦：TREGO症例報告 TREGOグループミーティング 2023.5.20 東京都港区
- (心外) 中井真尚：発生から見たBentall手術の注意点と当院の長期成績 Bentall Procedure 2023.5.13 名古屋市
- (心外) 三岡 博：高齢者ハイリスク傍腎動脈AAAにはCHIMPSかFEVARで対処する 第51回 日本血管外科学会シンポジウム1 complex EVARの適応と成績：置換術への回帰はありうるか？ 2023.5.31 東京都新宿区
- (心外) 寺井恭彦：高位大動脈腸骨動脈閉塞に対する片側EVT+F-F bypassによるhybrid治療の中期成績 第51回日本血管外科学会学術総会 2023.6.2 東京都新宿区
- (心外) 内山大輔：神経線維腫症1型(NF1型、レックリングハウゼン病)にIHDを伴うASに対してHybrid手術を施行した1例 第66回関西胸部外科地方会 2023.6.8 大阪市
- (心外) 内山大輔：肺塞栓発症時に指摘された膝窩静脈血管瘤に対する待機的瘤切除術の1例 第43回日本静脈学会総会 2023.7.6 愛媛県松山市
- (心外) 内山大輔：ASO伴うCABG後の狭小弁輪severe ASに対して、総腸骨動脈に吻合した人工血管を介してtransiliac approach TAVIを施行した1例 第13回日本経カテーテル心臓弁治療学会(JTVT2023) 2023.7.28 東京都港区
- (心外) 三岡 博：弓部大動脈瘤術後に発生した左腕頭静脈狭窄による内シャント増設後左上肢静脈高血圧 第43回日本静脈学会総会 2023.7.6 愛媛県松山市
- (心外) 寺井恭彦：両側腸骨動脈瘤の静脈穿破による心不全に対し緊急ステントグラフト治療を行った1例 第43回日本静脈学会総会 2023.7.7 愛媛県松山市
- (心外) 三岡 博：EVARのthree-dimensional model assisted planning (3 DMAP) 第29回日本血管内治療学会総会4領域横断セッション2 New Paradigms: 3Dプリンターの臨床応用-血管内治療にどこまで貢献しているか- 2023.6.30 東京都港区
- (心外) 寺井恭彦：当院でのExcluder IBEを使用したEVARの中期成績 第4回静岡県血管外科症例検討会 2023.7.15 浜松市
- (心外) 三岡 博：ショート屈曲ネックに対するChi-EVARとFEVARの問題点 第53回日本心臓血管外科学会 コントロバーシー「どうする？」1 short and angulated neckにおけるEVAR-どのデバイス、どのテクニック？ 2024.2.22 浜松市
- (心外) 寺井恭彦：胸腹部大動脈瘤に対しPMEGを行った1例 第3回Tokaido Aortic Conference 2023.9.30 浜松市
- (心外) 寺井恭彦：TREGO症例報告 第1回静岡TREGO研究会 2023.10.14 静岡市
- (心外) 三岡 博：「PMEG：自作穴開けでEVAR適応拡大へ」NEXT Symposium Video Live 9 2023.11.3 奈良県奈良市
- (心外) 寺井恭彦：AltoによるEVAR後のSMA起始部閉塞に対し逆行性にSMA stent留置を行った1例 第26回大動脈ステントグラフト研究会 2023.11.3 奈良県奈良市
- (心外) 寺井恭彦：TREGO症例報告 第2回静岡TREGO研究会 2023.12.9 静岡市
- (心外) 寺井恭彦：当科における心臓血管外科手術SSI予防バンドルの効果 第36回日本外科感染症学会学術総会 2023.12.16 北九州市

- (心外) 鈴木貴大: Remodeling of Proximal Sealing Zone and Sac Shrinkage after EVAR or FEVAR 第51回日本血管外科学会 2023.6.1 東京都新宿区
- (心外) 鈴木貴大: Remodeling of Proximal Sealing Zone and Sac Shrinkage after EVAR or FEVAR 2023 Vascluar Annual Meeting 2023.6.14 アメリカ メリーランド州
- (心外) 寺井恭彦: 胸腹部大動脈瘤に対し自作開窓型ステントグラフトを使用して治療した1例 第117回東海心臓血管外科懇話会 2024.1.20 名古屋市
- (心外) 鈴木貴大: 馬蹄腎を伴う傍腎動脈腹部大動脈瘤に対するFEVARの1例 第32回日本血管外科学会東海北陸地方会 2024.2.10 静岡市
- (心外) 寺井恭彦: U-40シンポジウム 第54回日本心臓血管外科学会学術総会 2024.2.24 浜松市
- (心外) 中井真尚: 外科的肺静脈隔離はどこまで有効か 日本胸部外科学会学術総会 2023.9 仙台市
- (心外) 中井真尚: 心臓血管外科領域における予防と対策 第36回日本外科感染症学会学術総会 ICD講習会 2023.12.16 北九州市
- (消内) 田中俊夫: カプセル内視鏡によるクジラ繁殖門条虫の診断 日本消化器内視鏡学会総会 2023.11.3 神戸市
- (消内) 引地智基: 膵管ステントと体外衝撃波結石破碎療法が有効であった慢性膵炎・膵液瘻の1例 日本消化器病学会東海支部第138回例会 2023.6.17 名古屋市
- (消内) 引地智基: 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブによりirAE大腸炎とirAE膵炎を合併した1例 日本消化器病学会東海支部第139回例会 2023.11.18 岐阜市
- (消内) 川口大貴: 胃癌と多発胃神経内分泌腫瘍に対して手術加療を行った1例 日本消化器病学会東海支部第138回例会 2023.6.17 名古屋市
- (消内) 川口大貴: 20G細径針による経皮的肝腫瘍生検により安全に診断し得た肝血管肉腫の一例 日本消化器病学会東海支部第139回例会 2023.11.18 岐阜市
- (消内) 早川諒祐: 当院における薬物性肝障害の経験 第63回静岡県肝臓談話会 2023.9.9 静岡市
- (消内) 鈴木博貴: 貧血を契機に認めた小腸腫瘍の一例 第136回静岡県大腸疾患研究会 2023.11.29 静岡市
- (消内) 黒石健吾: ベテラン内視鏡医が直面したトラブル 消化管編 静岡リアル内視鏡研究会 2023.7.28 静岡市
- (消内) 濱村啓介: HCC RFA後、C型肝炎駆除後の適切な観察期間を推定する試み 第2回アブレーション研究会 2024.2.10 岡山市
- (消内) Keisuke Hamamura: Estimating the appropriate observation period for HCC, after hepatitis C virus eradication The 33rd annual meeting of APASL 2024.3.29 京都市
- (消内) Keisuke Hamamura: On drug-induced liver injury The 33rd annual meeting of APASL 2024.3.28 京都市
- (消内) Keisuke Hamamura: Advanced HCC treated with atezolizumab: complete response but immune colitis, pancreatitis The 33rd annual meeting of APASL 2024.3.29 京都市
- (外科腹へ) 小林敏樹、前田賢人、柴田知佐、菱川恵介、西谷健太、矢崎真澄、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、橋本洋右、米沢 圭: 鼠径ヘルニア術後慢性疼痛に対しhybrid手術による神経切除術を施行した1例 第21回日本ヘルニア学会学術集会 2023.5.26~5.27 大阪市
- (外科腹へ) 小林敏樹、前田賢人、柴田知佐、菱川恵介、西谷健太、矢崎真澄、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、橋本洋右、米沢 圭: TAPPにおけるメッシュの最適解と留置法・固定法について~再発症例の教訓から~ 第21回日本ヘルニア学会学術集会 2023.5.26~5.27 大阪市
- (外科) 米沢 圭、小林敏樹、前田賢人: 下肢対麻痺を伴う癌頸胸椎転移に対して集学的治療を行い、10年後も自立して生活できている1例 第31回日本乳癌学会学術総会 2023.6 横浜市
- (外科) 橋本洋右、西谷健太、多田誠一郎、高柳智保、川守田啓介、小林敏樹、佐々木直也、米沢 圭、前田賢人: 継続可能なOff the Job Trainingとしてのドライボックス折り紙(折り鶴)の提案 第78回日本消化器外科学会総会 2023.7 北海道函館市
- (外科腹へ) 小林敏樹、西谷健太、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、橋本洋右、米沢 圭、前田賢人: 腹腔鏡下单径ヘルニア修復術のさらなる進化を追求したSingle Incision and Single Surgeon TAPP (SISSTAPP) 第78回日本消化器外科学会総会 2023.7.12~7.14 北海道函館市
- (外科) 佐々木直也: 多発肝転移再発に対し、TACEにより長期生存が得られた、膵体部ITPNの一例 第54回日本膵臓学会大会 2023.7 福岡市

- (外科) 菱川恵介、小林敏樹、柴田知佐、西谷健太、矢崎真澄、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、橋本洋右、米沢 圭、前田賢人：腸間膜膿瘍を伴う小腸憩室穿通の一例 静岡県外科医会第248回集談会 2023.9 浜松市
- (外科  
腹へ) Toshiki Kobayashi, Kenta Nishitani, Seiichirou Tada, Keisuke Kawamorita, Tomoyasu Takayanagi, Naoya Sasaki, Yosuke Hashimoto, Kei Yonezawa, Masato Maeda: Single Incision and Single Surgeon TAPP (SISSTAPP) ~Aiming for further evolution in laparoscopic repair of inguinal hernia~ 18th Annual International Congress of The Asia Pacific Hernia Society 2023.9.13~9.21 Penang, Malaysia
- (外科) 米沢 圭、矢崎真澄、佐々木直也、多田誠一郎、柴田知佐、西谷健太、川守田啓介、小林敏樹、橋本洋右、前田賢人：左乳房全切除・腋窩郭清術後に発生した乳び漏を手術的に治療した1例 第85回日本臨床外科学会総会 2023.11 岡山市
- (外科) 橋本洋右、西谷健太、矢崎真澄、多田誠一郎、川守田啓介、小林敏樹、佐々木直也、米沢 圭、前田賢人：直腸癌に対するロボット支援下手術—da Vinci Si 100例の成績— 第85回日本臨床外科学会総会 2023.11 岡山市
- (外科  
腹へ) 小林敏樹、柴田知佐、菱川恵介、西谷健太、矢崎真澄、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、橋本洋右、米沢 圭、前田賢人：TAPP法におけるこだわりのメッシュ選択と再発防止のための適切な使用方法について 第85回日本臨床外科学会総会 2023.11.16~11.18 岡山市
- (外科) 柴田知佐、橋本洋右、菱川恵介、西谷健太、矢崎真澄、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、小林敏樹、米沢 圭、前田賢人：当科におけるDiverticular colitisに対する手術症例の検討 第85回日本臨床外科学会総会 2023.11 岡山市
- (外科) 橋本洋右、西谷健太、高柳智保、多田誠一郎、矢崎真澄、川守田啓介、小林敏樹、佐々木直也、米沢 圭、前田賢人：当院における結腸癌に対するロボット支援下手術の導入と初期成績 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023.12 横浜市
- (外科  
腹へ) 小林敏樹、柴田知佐、西谷健太、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、橋本洋右、米沢 圭、前田賢人：腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術に、ロボット支援は本当に必要ですか？～鶏を割くに焉んぞ牛刀を用いん～ 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023.12.7~12.9 横浜市
- (外科) 西谷健太、橋本洋右、柴田知佐、矢崎真澄、多田誠一郎、高柳智保、川守田啓介、小林敏樹、佐々木直也、米沢 圭、前田賢人：当院における直腸癌に対するロボット支援下手術の現状と成績 第36回日本内視鏡外科学会総会 2023.12 横浜市
- (外科) 前田賢人、田中俊夫：十二指腸球部に発生したNET G1の切除例 第20回日本消化管学会総会学術集会 2024.2 沖縄県宜野湾市
- (外科  
腹へ) 小林敏樹、柴田知佐、菱川恵介、西谷健太、矢崎真澄、多田誠一郎、川守田啓介、高柳智保、佐々木直也、橋本洋右、米沢 圭、前田賢人：Hybrid手術にて修復した、膝関節に達する非還納性巨大右鼠径ヘルニアの1例 第18回日本ヘルニア学会東海地方会 2024.2.17 名古屋市
- (外科) 米沢 圭：乳癌・右肺/縦隔転移 気管・右気管枝狭窄の1治療例 続報 第23回静岡乳がんセカンドライン研究会 2024.3 静岡市
- (腎内) 松本芳博、森泰男、影山慎二、吉村和明、斎藤孝雄、野島陽一、寺田理沙子：透析患者のNT-proBNP高値、K低値、補正Ca低値は、心電図QTc時間延長の独立した予測因子である、第68回日本透析医学会学術集会総会 2023.06 神戸市
- (腎内) 望月泰建、田上暁之、野島陽一、徳増芳則、松本芳博：経皮的腎動脈形成術 (PTRA) が著効した両側腎動脈狭窄症の1例 日本内科学会第251回日本内科学会東海地方会 2023.10 名古屋市
- (腎内) 田上暁之、望月泰建、藤田英憲、野島陽一、江河勇樹、松本芳博：肺炎を契機とする脱水、急性腎障害が疑われた抗GBM抗体陽性の1例 日本内科学会第251回日本内科学会東海地方会 2023.10 名古屋市
- (腎内) 田上暁之、望月泰建、藤田英憲、野島陽一、江河勇樹、松本芳博：抗生剤無効の炎症反応高値から判明した抗GBM抗体陽性腎不全の1例 第62回静岡県腎不全研究会 2023.10 静岡市
- (腎内) 望月泰建、田上暁之、野島陽一、徳増芳則、松本芳博：繰り返す急性腎障害・心不全に対し経皮的腎動脈形成術 (PTRA) が著効した両側腎動脈狭窄症の1例 第62回静岡県腎不全研究会 2023.10 静岡市
- (腎内) 田上暁之：当院における長期留置カテーテル導入数増加から得られた知見 バスキュラーアクセスセミナーin静岡 2023.11 静岡市

- (内分) 澤部史一、清水洋佑、山田 健、牧原史尚、中上瑛里加、三神瑞樹、近藤仁江、早川諒祐、小柳津竜樹、田村尚久：画像検査で責任病変を同定できず選択的動脈内カルシウム注入試験にて局在診断可能だったインスリンノーマの一例 第66回日本糖尿病学会年次学術集会 2023.5.11～13 鹿児島県鹿児島市
- (内分) 三神瑞樹、中上瑛里加、清水洋佑、近藤仁江、田村尚久：生理食塩水で急速な血清ナトリウム濃度上昇を来した低張性低ナトリウム血症の2例 第96回日本内分泌学会学術総会 2023.6.1～3 名古屋市
- (内分) 三神瑞樹、貫 智嗣、中上瑛里加、清水洋佑、近藤仁江、田村尚久：膵尾部癌・褐色細胞腫に対し術前にメチロシンを使用した一例 第23回日本内分泌学会東海支部学術集会 2023.10.7 名古屋市
- (内分) 三神瑞樹、田邊雄大、清水洋佑、近藤仁江、田村尚久：右PA両側サブクリニカルクッシング症候群での右副腎摘出術実施例 第33回臨床内分泌代謝Update 2023.11.3～4 横浜市
- (内分) 高橋わかな、三神瑞樹、清水洋佑、近藤仁江、田村尚久：胆石発作を起こした高齢の緩徐進行1型糖尿病の一例 第17回糖尿病臨床フォーラム 2024.2.10 大阪市
- (呼内) 亀井淳哉、佐竹康臣、中井省吾、中村匠吾、児嶋 駿、渡辺綾乃、藤井雅人、佐野武尚、山田 孝：当院の肺癌診断におけるガイドシース併用気管支腔内超音波断層法（EBUS-GS）でのwith in症例の検討 第63回日本呼吸器学会学術講演会 2023.4.28 東京都千代田区
- (呼内) 児嶋 駿、亀井淳哉、中井省吾、中村匠吾、渡辺綾乃、佐竹康臣、藤井雅人、佐野武尚、山田 孝：当院において挿管人工呼吸管理を行ったCOVID-19症例に関する臨床的検討 第63回日本呼吸器学会学術講演会 2023.4.28 東京都千代田区
- (呼内) 貫 智嗣、中村匠吾、亀井淳哉、中井省吾、児嶋 駿、渡辺綾乃、佐竹康臣、藤井雅人、佐野武尚、山田 孝：高齢発症の急性肺サルコイドーシスの1例 第123回日本呼吸器学会東海地方会 2023.6.3 名古屋市
- (呼内) 亀井淳哉、渡辺綾乃、貫 智嗣、中井省吾、中村匠吾、児嶋 駿、佐竹康臣、藤井雅人、佐野武尚、山田 孝：声門下平滑筋腫により気道狭窄に至った一例 第123回日本呼吸器学会東海地方会 2023.6.4 名古屋市
- (呼内) 佐竹康臣、宮本凌太、村山賢太、亀井淳哉、中村匠吾、増田寿寛、児嶋 駿、渡辺綾乃、藤井雅人、佐野武尚、山田 孝：サルコイドーシス診断における気管支鏡による組織診断率の検討 第43回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会 2023.10.6 浜松市
- (呼内) 村山賢太、宮本凌太、亀井淳哉、中村匠吾、増田寿寛、児嶋駿、渡辺綾乃、佐竹康臣、藤井雅人、佐野武尚、山田 孝：Mycobacterium kumamotonenseが検出された非結核性抗酸菌症の1例 第124回日本呼吸器学会東海地方会 2023.11.11 浜松市
- (呼内) 宮本凌太、村山賢太、亀井淳哉、中村匠吾、増田寿寛、児嶋 駿、渡辺綾乃、佐竹康臣、藤井雅人、佐野武尚、山田 孝：RSウイルス感染を契機に入院となった7例の検討 第124回日本呼吸器学会東海地方会 2023.11.12 浜松市
- (小児) 山中雄城、酒井秀政、五十嵐健康：著明な体幹失調症状を呈した急性小脳失調（ACA）の自験例2例の検討 第126回日本小児科学会学術集会 2023.4.14 東京都港区
- (小児) 嘉陽菜央、伊藤史子、山中雄城、本橋康弘、酒井秀政、五十嵐健康：Common diseaseに見えたが、ひとひねりあった2例 第156回日本小児科学会静岡地方会 2023.6.4 静岡市
- (小児) 村林督夫、五十嵐健康、大高幸之助、杉浦 弘：パリビズマブ投与期間の県内統一に向けて 第156回日本小児科学会静岡地方会 2023.6.4 静岡市
- (小児) 岩島 覚、酒井秀政ら：機械学習を用いた川崎病初期治療不応例の予測 第156回日本小児科学会静岡地方会 2023.6.4 静岡市
- (小児) 本橋康弘、酒井秀政、五十嵐健康：食物アレルギー表示制度の盲点について発症したアナフィラキシーの2例 第72回日本アレルギー学会学術大会 2023.10.22 東京都千代田区
- (小児) 五十嵐健康：医療者としてのリトルベビーハンドブックとの関わり 世界早産児デー特別企画 次世代を守る！赤ちゃんの今と未来の健康セミナー 2023.11.3 静岡市
- (小児) 伊藤史子、本橋康弘、酒井秀政、五十嵐健康、村田乃理子：肝機能障害に好中球減少を合併した新生児ループスと思われる一例 第157回日本小児科学会静岡地方会 2023.11.26 静岡市
- (小児) 五十嵐健康、伊藤史子、本橋康弘、芹澤龍太郎、酒井秀政：25年前に経験した、早発型GBS感染症の1例～もし現在の母子感染予防策が採られていたら？～ 第19回静岡県感染症研究会 2024.1.27 静岡市
- (小児) 伊藤史子、本橋康弘、芹澤龍太郎、酒井秀政、五十嵐健康、村田乃理子：血友病B推定保因者の母から出生した男児の診療経験 第48回静岡県周産期新生児研究会 2024.3.9 静岡市

- (整形  
肩手) 澤田智一、佐野倫生、大村威夫、松山幸弘、黒川敬史：正常手における豆状骨亜脱臼の検討 第66回日本手外科学会 2023.4.20~4.21 東京都新宿区
- (整形  
肩手) 澤田智一、杉山義晴、下村 健：橈骨遠位端骨折における豆状骨亜脱臼の検討 第49回日本骨折治療学会 2023.6.29~7.1 静岡市
- (整形  
肩手) 澤田智一、宮城道人、佐野倫生、大村威夫、松山幸弘：坐骨神経発生神経鞘腫の検討—どのような腫瘍が全切除できないのか— 第34回日本末梢神経学会 2023.9.8~9.9 京都市
- (整形  
肩手) 澤田智一、佐野倫生、宮城道人、杉山義晴、堀 留奈、小木浩孝、西 恵佳、柴田晃平、明珍剛志：外傷性スワンネック変形に対し浅指屈筋半腱を用いて加療した1例 第202回静岡県整形外科医会集談会 2023.11.23 静岡市
- (整形) M Miyagi, H Katagiri, J Wasa, H Murata, M Sano and M Takahashi : Joint sparing surgery using recycled autograft for malignant bone tumor of lower extremities. The 14th Asia Pacific Musculoskeletal Tumour Society 2023.10.4~10.7 Taipei, Taiwan. Oral
- (整形) 宮城道人、片桐浩久、村田秀樹、和佐潤志、高橋 満：下肢長管骨転移性骨腫瘍に対する手術治療の選択— Minimally invasive plate osteosynthesis (MIPO) 法の有用性— 第56回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 2023.7.13~7.14 東京都新宿区 ポスター
- (整形) 宮城道人、片桐浩久、村田秀樹、和佐潤志、伊藤 艦、佐野倫生、高橋 満：手関節以遠に発生した軟部肉腫の治療成績 第56回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 2023.7.13~7.14 東京都新宿区
- (整形) 宮城道人、片桐浩久、村田秀樹、和佐潤志、高橋 満：手に発生した悪性腫瘍の手術治療—安全な切除縁と機能温存の両立を目指して— 第66回日本手外科学会 2023.4.20~4.21 東京都新宿区
- (整形) 宮城道人、片桐浩久、村田秀樹、和佐潤志、高橋 満：左大腿骨近位部骨腫瘍に対する治療についての検討 第44回静岡骨軟部腫瘍研究会 2023.3.11 静岡市
- (整形) 杉山義晴、佐野倫生、澤田智一、素村健司、堀 留奈、小木浩孝、栗原正汰、下村 健：PNI低値は大腿骨近位部骨折患者において周術期合併症のリスク因子である 第96回日本整形外科学会 2023.5.11~14 ポスター
- (整形) 杉山義晴、下村 健、澤田智一：大腿骨転子部骨折術後頸部前捻に影響する因子の検討 第49回日本骨折治療学会学術集会 2023.6.29~7.1 静岡市 eポスター
- (整形) 堀 留奈、小木浩孝、奈良岡琢哉：前十字靭帯および内側膝蓋大腿靭帯の同時再建術を施行した1例 日本スポーツ整形外科学会 2023.6.30~7.1 広島市 ポスター
- (整形) 堀 留奈、佐野倫生、澤田智一、宮城道人、小木浩孝、松山幸弘：ホスホグリセリド結晶沈着症の一例 第141回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2023.10.6~7 神戸市
- (整形  
肩手) 小木浩孝、佐野倫生、澤田智一、宮城道人、素村健司、杉山義晴、堀 留奈、下村 健、栗原正汰：大菱形骨粉砕骨折を伴った母指CM関節脱臼の1例 第72回静岡手外科マイクロサージャリー研究会 2023.3.18 浜松市
- (整形) 小木浩孝、佐野倫生、澤田智一、宮城道人、素村健司、松山幸弘：Severe ASを有する大腿骨近位部骨折に対してTAVI後に手術加療を行った2例 第140回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2023.4.7~8 奈良県奈良市
- (整形) Hiroataka Ogi, Michihito Miyagi, Michio Sano, Tomokazu Sawada, Yoshiharu Sugiyama, Runa Hori, Nanami Masumoto, Kohei Shibata, Takeru Shimomura, Tsuyoshi Myochin, Yukihiko Matsuyama : Positive Diagnostic Rates of Ultrasound-Guided Needle Biopsy for Soft Tissue Tumors 第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 2023.7.13~14 東京都新宿区 ポスター
- (整形) 西 恵佳、長谷川智彦、大和 雄、吉田 剛、坂野友啓、有馬秀幸、大江 慎、渡邊 悠、井出浩一郎、山田智裕、黒須健太、松山幸弘：デノスマブ中止で急速に増大した胸椎発生骨巨細胞腫の1例 第98回東海脊椎椎病研究会学術集会 2023.6.10 名古屋市
- (整形) 西 恵佳、石井久雄、山路哲史：橈骨遠位端骨折に前腕コンパートメント症候群を合併した1例 第49回日本骨折治療学会 2023.6.29~7.1 静岡市 eポスター
- (整形  
肩手) 西 恵佳、大村威夫、杉浦香織、素村健司、松山幸弘：当科における手術加療が必要になったGuyon管症候群術後回復について 第141回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2023.10.06~07 神戸市
- (整形  
肩手) 西 恵佳、佐野倫生、澤田智一、宮城道人、杉山義晴、堀 留奈、小木浩孝、柴田晃平、明珍剛志：上肢多発骨折から低フォスファターゼ血症が判明した1例 第73回静岡手外科マイクロサージャリー研究会 2023.10.28 静岡市

- (整形) 柴田晃平、佐野倫生、杉山義晴、澤田智一、宮城道人、堀 留奈、小木浩孝、増本七海、下村 健、明珍剛志：大腿骨骨幹部偽関節の1例 第2回Suruga Bone Seminar 2023.6.8 静岡市
- (整形) 柴田晃平、佐野倫生、澤田智一、宮城道人、杉山義晴、堀 留奈、小木浩孝、西 恵佳、明珍剛志：長母指伸筋腱1例断裂の腱移行術後の再手術で短橈側手根伸筋腱移行術を用いた1例 第73回静岡手外科マイクロサージャリー研究会 2023.10.28 静岡市
- (整形) 明珍剛志、佐野倫生、宮城道人、下村 健、柴田晃平、増本七海、小木浩孝、堀 留奈、杉山義晴、澤田智一：母趾IP関節背屈障害にExtensor Hallucis Capsularis腱断裂が関与した一例 第201回静岡整形外科医会集談会 2023.7.08 浜松市
- (整形) 明珍剛志、佐野倫生、宮城道人、杉山義晴、下村 健、松山幸弘：骨軟骨腫による滑液包炎で総腓骨神経刺激症状を呈した一例 第141回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2023.10.06~07 神戸市
- (脳外) 石黒光紀、清水陽平、森嶋 亮、米澤慎悟、深澤誠司：当院におけるクラゾセンタンの使用経験 SAH Network Seminar in Shizuoka 2023.8.8 静岡市
- (脳外) 山田拓見、清水陽平、米沢慎悟、石黒光紀、深澤誠司：ViewSiteを用いた外視鏡下脳内血腫除去術 岐阜大新年カンファレンス 2024.2.3 岐阜県岐阜市
- (皮膚) 福田 萌、森木 睦、栗山幸子、鈴木陽子：家族歴のない成人女性の基底細胞母斑症候群の1例 静岡地方会第136回例会 2023.5.20 静岡市
- (皮膚) 福田 萌、森木 睦、安澤数史、鈴木陽子：好獣性皮膚糸状菌Trichophyton mentagrophytesによる顔面異型白癬と白癬性毛瘡の親子例シェーグレン症候群に合併した低補体血症性蕁麻疹様血管炎の1例 第67回日本医真菌学会総会・学術集会 2023.10.6 埼玉県川越市
- (泌尿) 野澤将斗、藤川祥平、藤原裕士、伊藤誠哲、八木橋祐亮、野口哲哉：転移性腎癌に対するカボザンチニブの初期治療経験 第110回日本泌尿器科学会総会 2023.04.20 神戸市
- (泌尿) 伊藤誠哲、藤原裕士、野口哲哉、八木橋祐亮、藤川祥平、野澤将斗：当院における筋層浸潤性膀胱癌に対する術前化学療法としてのddMVACの検討 第110回日本泌尿器科学会総会 2023.04.21 神戸市
- (泌尿) 八木橋祐亮、伊藤誠哲、野澤将斗、藤原裕士、高島 靖、野口哲哉：完全膀胱内反症に対して外科的手術を3度要した一例 第20回泌尿器科再建再生研究会 2023.06.03 札幌市
- (泌尿) 高島 靖、伊藤誠哲、野澤将斗、藤原裕士、八木橋祐亮、野口哲哉：ECIRS導入について 静岡県中部URO研究会 2023.06.28 静岡市
- (泌尿) 藤原裕士、野澤将斗、伊藤誠哲、高島 靖、八木橋祐亮、野口哲哉：射精後に膀胱タンポナーデを来した1例 静岡県中部URO研究会 2023.09.20 静岡市
- (泌尿) 藤原裕士、野澤将斗、伊藤誠哲、高島 靖、八木橋祐亮、野口哲哉：低リスク転移性前立腺癌の予後と一次内分泌療法についての検討 第88回日本泌尿器科学会東部総会 2023.10.06 札幌市
- (泌尿) 八木橋祐亮、伊藤誠哲、野澤将斗、藤原裕士、高島 靖、野口哲哉：精巣破裂に対してtunica vaginalis flapを利用した精巣修復術を施行した2例 第15回日本acute care surgery学会 2023.10.06 千葉県浦安市
- (泌尿) 八木橋祐亮、伊藤誠哲、野澤将斗、藤原裕士、高島 靖、野口哲哉：完全膀胱内反症に対して外科的手術を要した症例 第75回西日本泌尿器科学会 2023.11.04 愛媛県松山市
- (泌尿) 藤原裕士、野澤将斗、伊藤誠哲、高島 靖、八木橋祐亮、野口哲哉：側臥位経腹膜アプローチでの腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清術における工夫 第16回静岡ラパロ・ロボット研究会 2023.11.15 静岡市
- (泌尿) 伊藤誠哲、野澤将斗、藤原裕士、高島 靖、八木橋祐亮、野口哲哉：肝転移を有する尿路上皮癌の1例 静岡県中部URO研究会 2023.12.20 静岡市
- (泌尿) 藤原裕士、野澤将斗、伊藤誠哲、高島 靖、八木橋祐亮、野口哲哉：側臥位経腹膜アプローチでの腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清術における工夫 第41回泌尿器科手術研究会 2024.01.27 京都市
- (泌尿) 藤原裕士、野澤将斗、伊藤誠哲、高島 靖、八木橋祐亮、野口哲哉：骨盤骨折を来した前立腺癌の1例 第289回泌尿器科マンスリーミーティング 2024.03.16 京都市
- (産科) 堀越義正：妊産婦の漢方 症例検討 第13回しずおか漢方塾 2023.4.19 静岡市
- (産科) 望月琴美、堀越義正、谷口千津子、米澤真澄、水野薫子：新生児呼吸障害症例における絨毛膜羊膜炎・臍帯炎は分娩経過と関連する 第75回日本産科婦人科学会学術集会 2023.5.13 東京都千代田区
- (産科) 堀越義正、中山 毅：切迫早産に対する芍薬甘草湯の有効・無効例 第73回日本東洋医学会学術総会 2023.6.16-18 福岡市

- (産科) 加藤貴史、水野薫子、堀越義正、米澤真澄：S状結腸憩室が左卵巣嚢腫に穿通し膿瘍を形成した一例 令和5年度静岡産科婦人科学会秋季学術集会 2023.12.17 浜松市
- (耳鼻) 山下燎亮 合田 力、山本浩孝 池上 聡 リニア振動子による穿刺吸引細胞診の検討 第55回SENT会 2023.2.4 静岡市
- (耳鼻) 山本浩孝、鈴木奈々、山下燎亮、池上 聡 当院における嚥下スクリーニングの実際 第128回日耳鼻静岡地方会 2023.4.9 静岡市
- (耳鼻) 山本浩孝、山下燎亮、池上 聡 気管平滑筋腫の1例 第124回 日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会総会 2023.5.17-20 福岡市
- (耳鼻) 山本浩孝、山下燎亮、池上 聡 気管食道シャント造設の工夫 第36回静岡手術手技研究会 2023.5.27 静岡市
- (耳鼻) 山下燎亮、山本浩孝、池上 聡 当院におけるリニア振動子を用いた穿刺吸引細胞診の検討 第35回日本内分秘外科学会 2023.6.16-17 松本市
- (耳鼻) 山下燎亮 山本浩孝 池上聡 顎下腺癌と鑑別を要した舌下神経鞘腫瘍の1例 第85回耳鼻咽喉科臨床学会 2023.6.23-24 東京都新宿区
- (耳鼻) 山下燎亮、山本浩孝、池上 聡 当院における穿刺吸引細胞診の不適合率改善の取り組み 第129回日耳鼻静岡地方会 2023.7.9 三島市
- (口腔) 大山巖雄、稲葉好則、道 泰之、金丸智紀、久保田真子、岩崎拓也、長谷川和樹：頬粘膜癌に対し全層植皮を行った症例の臨床的検討 第77回口腔科学会総会 2023.5.11-13 Web+岡山市
- (口腔) 大山巖雄、長谷川和樹、鶴澤成一、山城正司、道 泰之、稲葉好則、岩崎拓也、依田哲也：遊離肩甲骨再建におけるPull-through法による血流遮断時間の短縮 第68回口腔外科学会総会 2023.11.10-11 大阪市
- (口腔) 津田晋平、大山巖雄：下顎下縁に至る広範囲の下顎骨吸収葉関連顎骨壊死に対して腐骨除去術および薬物療法により区域切除を回避した一例 第77回NPO法人日本口腔科学会学術集会 2023.5.11-13 Web+岡山市
- (口腔) 久保田真子、稲葉好則、津田晋平、大山巖雄：COVID-19に感染し、LeFort II型骨折を受傷した患者に対し隔離期間を考慮して加療を行い、良好な経過をたどった1例 第77回NPO法人日本口腔科学会学術集会 2023.5.11-13 Web+岡山市
- (口腔) 津田晋平、大山巖雄、稲葉好則、久保田真子：頭蓋底骨折を伴い経口挿管下に観血的整復固定術を施行した下顎骨骨折の一例 第一回若手口腔外科医交流会 2023.7.29-30 大阪市
- (口腔) 大山巖雄、稲葉好則、久保田真子、金丸智紀、長谷川和樹：口腔扁平上皮癌におけるサルコペニア及び栄養評価と予後との関係について 第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会 シンポジウム 2023.5.9-10 神戸市
- (口腔) 大山巖雄：国際顎顔面外科学口腔がん・再建専門医について～IBCSOMS fellow取得して7年経って～ 第一回若手口腔外科医交流会シンポジウム 2023.7.29-30 大阪市
- (口腔) Yoshio Ohyama, Kazuki Hasegawa, Narikazu Uzawa, Masashi Yamashiro, Yasuyuki Michi, Yoshinori Inaba, Kubota Mako, Tomoki Kanemaru, Takuya Iwasaki, Tetsuya Yoda: Various techniques for mandibular reconstruction using the scapula free flap. 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 国際セッション 2024.1.25-26 札幌市
- (リ技) 鈴木康介：せん妄患者はワーキングメモリーと感情領域の脳血流量が低下する 第45回日本呼吸療法医学会学術集会 2023.8.4 名古屋市
- (リ技) 田中申明：大腿骨近位部骨折患者に対する二次性骨折予防に向けた取り組み 第61回全国自治体病院学会 2023.8.31 札幌市
- (リ技) 小柳慎介：関節リウマチに伴う間質性肺炎にて入院後、platypnea-orthodeoxia syndromeを認め離床に難渋した1例 日本呼吸・循環器理学療法学会学術大会2023 2023.9.3 東京都江東区
- (リ技) 中沢 稔、小柳慎介：急性期病院における転倒予防の取り組み -入院案内パンフレットへの転倒リスクセルフチェックリストの導入- 第10回日本転倒予防学会学術大会 2023.10.8 京都市
- (リ技) 杉山和寛、小野田博繁、曾根祥仁、鈴木康介：当院における早期離床・リハビリテーション加算の算定率を高める取り組み 第51回日本集中治療医学会学術集会 2024.3.15 札幌市
- (放治) 飯塚裕介：症例検討セッション（指定発言） 第55回京都放射線腫瘍研究会 2023.9.2 京都市
- (放治) Yusuke Iizuka, Tomohiro Katagiri, Ryota Nakashima, Minoru Inoue, Kiyonao Nakamura, Takashi Mizowaki: Association between successful adjuvant therapy and quantitative evaluation of radioactive iodine accumulation in the thyroid bed in patients with differentiated thyroid cancer. 36th Annual Congress of the



European Association of Nuclear Medicine 2023.9.8-13 Austria

- (放治) 飯塚裕介、小坂拓也、三岡 博、寺井恭彦、千葉和宏、星野明宏、西田晃規、望月 緑、増田秀道：大動脈ステントグラフト内挿術後の血球数の変化 第59回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2023.9.5-7 徳島県徳島市
- (放治) 飯塚裕介、片桐幸大、中島良太、井上 実、中村清直、溝脇尚志：分化型甲状腺癌の術後補助療法における甲状腺床へのI-131集積の定量的評価と治療成績との関連性 第63回日本核医学会学術総会 2023.10.16-18 大阪市
- (放治) 飯塚裕介、小坂拓也、片桐幸大、池田 格、星野明宏、西田晃規、望月 緑：肺癌に対する定位放射線治療における呼吸性移動対策の治療成績への影響 日本放射線腫瘍学会第36回学術大会 2023.11.30-12.2 横浜市
- (放治) 飯塚裕介、井上 実、小久保雅樹、坂本隆史、室伏景子、今輩倍敏行、清水口卓也、平岡真寛、溝脇尚志：肝腫瘍に対する動態追尾定位放射線治療の長期成績 日本放射線腫瘍学会第36回学術大会 2023.11.30-12.2 横浜市
- (麻酔) 清水麻衣、山本 偉、玉里順子：[P23-5]無縫合生体弁大動脈弁置換術後に認めた人工弁機能不全の原因診断に経食道心エコー図検査が有用であった一例 日本心臓血管麻酔学会 第28回学術大会 2023.9/16-17 奈良市
- (病理) 江河勇樹：ちょっと珍しい日常症例2例 第288回静岡県病理医学会症例検討会 2023.6.24 静岡市・Web
- (病理) 江河勇樹：心臓性突然死の剖検例 第27回日本病理学会中部支部スライドセミナー 2024.3.16 三重県津市
- (看護) 青山侑美、高須紗規子：シャントマップ導入を試みてその効果を明らかにする 第61回全国自治体病院学会in北海道 2023.8.31~9.1 札幌市
- (看護) 鈴木菜々、岡田みのり、関 洋子、多田菜衣、海老名哲生：大腿骨近位部骨折患者のベッド上での食事姿勢の検討ー改定水飲みテストと足底接地に着目してー 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会・学術集会 2023.9.2~9.3 横浜市
- (看護) 川嶋葉奈、伊藤志保：nasaIDPAP装着児のMDRPU発生を予防するための取り組み 第32回日本新生児看護学会学術集会 2023.11.3~11.4 横浜市
- (看護) 海老名哲生、青山治子、ボグズ葉末：DiNQLベンチマーク評価を活用した褥瘡予防対策への取り組み 第54回日本看護学会学術集会 2023.11.8~11.9 横浜市
- (看護) 市川昭美、鍋田 泉、上野山良子、池谷綾子：ラダーレベルIIIを目指す看護師のフィジカルアセスメント 能力向上への取り組みー院内研修にOSCEを導入した有効性を検証するー 第54回日本看護学会学術集会 2023.11.8~11.9 横浜市
- (看護) 仲秋菜由子、進藤 仁、久保田祥子、戸川美雪：血管撮影治療室でショートカンファレンスを導入した効果～看護を語る事ができる職場を目指して～ 第12回静岡県看護学会 2024.1.20 静岡市
- (看護) 山中香里、日比邦子、今井憲二：心不全増悪を予防するための行動変容を促す看護師の関わり～問診票を活用した面接による患者・看護師との療養上の目標共有～ 第12回静岡県看護学会 2024.1.20 静岡市
- (看護) 大塚理央、朝比奈亜希、古川祥枝、森田莉穂、紅林美乃里：療養目標の立案がコンプライアンス不良な患者に与える影響 静岡県看護協会 静岡地区支部実践報告会 2024.2.24 静岡市
- (看護) 名取宏樹、市川昭美、中村真理子、吉井葉末、松裏 豊、大野ゆう子、上野高義：ICU入室患者に対し実施されている夜間ケアに関する実態調査 第51回日本集中治療医学会学術集会 2024.3.14~3.16 札幌市
- (薬剤) 矢野佳孝、小林広典、望月英明：抗菌薬投与の影響を早期に発見できる、感染関連28項目対応DWHツールの有効性 第61回全国自治体病院学会 2023.9 札幌市
- (薬剤) 青木 望：当院におけるペグフィラグラスチム製剤の使用状況調査 第33回日本医療薬学会年会 2023.11 仙台市
- (放技) 千葉和宏：静岡県内における臨床実習アンケート調査報告 第50回 放射線技師のためのセミナー 2023.6.24 静岡市
- (放技) 荒川菫子：X線写真異物検知ソフトの検証実験とその運用について 第61回 全国自治体病院学会 2023.8.31 札幌市
- (放技) 柴田 萌：当院におけるFFRangio導入のための至適造影剤注入レートの検討 第61回 全国自治体病院学会 2023.8.31 札幌市
- (放技) 榎永大二郎：Cu0.9mm付加フィルタを使用した放射線量低減プロトコルの検討 第69回 日本不整脈心電学会学術大会 2023.7.7 札幌市

- (放技) 梶永大二郎：13年間にわたるバイプレーンCアーム心臓カテーテルの傾向 第31回 日本心血管インターベンション治療学会 2023.8.5 福岡市
- (放技) 千葉和宏：新指導ガイドラインに適用した臨床実習指導体制の構築と取り組み 第39回 日本診療放射線技師学術大会 2023.9.29 熊本市
- (放技) 千葉和宏：静岡県放射線技師会での放射線管理士活動報告 第39回 日本診療放射線技師学術大会 2023.9.29 熊本市
- (放技) 山口祐樹：当院におけるアデノシン負荷+運動負荷併用の導入から実施 第90回 静岡県核医学談話会 2023.12.9 静岡市
- (放技) 荻田広大：AVI経食道心エコー術者の水晶体被曝線量の動向と対策 第49回 CVIT日本心血管インターベンション治療学会 2023.11.10 名古屋市
- (放技) 小野田良麻：Cusp Overlap Techniqueの技師から見た評価 第49回 CVIT日本心血管インターベンション治療学会 2023.11.11 名古屋市
- (検査) 望月裕一、岡田有未、岩本 亮、落合真希、堂本浩二、江河勇樹、森木利昭：腎細胞癌甲状腺転移の1例 第44回春期学術集会 静岡県臨床細胞学会 2023.6.25 Web
- (検査) 鈴木崇浩：精巣悪性リンパ腫の1例 Shizuoka Sonographers Community 第37回conference 2023.7.21 静岡市
- (検査) 杉山弥生：下肢血管超音波検査で遭遇した筋サルコイドーシスの1例 Shizuoka Sonographers Community 第38回conference 2023.10.20 静岡市
- (検査) 高村比路華：Iguchiサインを呈した野生型ATTRアミロイドーシスの1例 Shizuoka Sonographers Community 第39回conference 2024.1.19 静岡市
- (検査) 新井りほ、杉山紺菜、片岡恵理佳、鈴木崇浩、楠山美保、高村比路華、佐野史江、杉山弥生：大動脈弁一尖弁に合併したALアミロイドーシスの1例 令和5年日臨技中部圏支部医学検査学会(第61回) 2023.12.02 石川県金沢市
- (臨工) 三浦大貴：COVID-19患者に対するECMOを経験して第18回静岡県臨床工学技士会 2023.6.4 Web
- (臨工) 内藤豊貴：EVARに対する3D printerを用いた血管モデルの作成 第13回豊橋ライブ 2023.6.16~17 Web
- (臨工) 内藤豊貴：Mitra clipに対するCEの関わり方 第33回日本臨床工学会 2023.7.21~23 広島市
- (臨工) 宮地健太：外国籍患者における着用型植込み除細動器導入経験 第33回日本臨床工学会 2023.7.21~23 広島市
- (臨工) 内藤豊貴：Juxtarenal aneurysmに対するFenestrated EVAR施行時の取り組み 第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 2023.8.4~6 福岡市
- (臨工) 内藤豊貴：Structure Heart Diseaseに対するMEの関わり 第61回全国自治体病院学会 2023.8.31~9.1 札幌市
- (臨工) 田内淳介：TAVI-Evolut FXのビデオライブ第5回SING Live研究会 2023.9.1~9.2 静岡市
- (臨工) 日向勇人：Abbott社製アブレーションカテーテルTactiFlexとTactiCathの比較検討 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17~19 福岡市
- (臨工) 高橋由希：SVCIsolationライン直下からSVC起源のPACが多発した1例 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17~19 福岡市
- (臨工) 宮地健太：右心室ペーシング下Open window mapping作成時におけるEnsite OT Near Field機能の有用性 カテーテルアブレーション関連秋季大会2023 2023.11.17~19 福岡市
- (臨工) 日向勇人：OCTARAY Mapping CatheterとTRUEref機能を用いたkent potentialを確認し得た1例 第11回日本EP・アブレーション技術研究会 2023.11.19 福岡市
- (臨工) 栗田浩瑛：OT Near FieldのEmphasis Mapを用いたroof lineのepi connectionを描出できた1例 第11回日本EP・アブレーション技術研究会 2023.11.19 福岡市
- (臨工) 宮地健太：Pacing下のmap作成時にDual-pattern matching techniqueを伴う際の至適Intracardiac Pattern Matching Pattern of Interest設定の検討 第11回日本EP・アブレーション技術研究会 2023.11.19 福岡市
- (臨工) 日向勇人：心電図同期心筋SPECTを用いた心臓再同期療法における最適化の試み 第16回植込みデバイス関連冬季大会 2024.2.9~10 広島市
- (臨工) 三浦大貴：長い室房逆行性伝導に伴うPMTに対して設定変更が難渋した1例 第16回植込みデバイス関連冬季大会 2024.2.9~10 広島市
- (臨工) 宮地健太：SMART enhancement機能の上室性頻拍識別に対する影響因子の検討 第16回植込みデバイス関連冬季大会 2024.2.9~10 広島市

- (臨工) 宮地健太：CARTO3 systemにてDynamic Window Techniqueを用いたmappingで回路を推定し治療に成功した OMI-VTの一例 第4回日本不整脈心電学会東海・北陸地方会 2024.3.23 富山市
- (臨工) 宮地健太：施設紹介 第3回日本・EPアブレーション技術研究会中部地方会 2024.3.31 名古屋市
- (栄養) 太田紘之：当院における早期栄養介入管理加算の算定状況と課題 第27回病態栄養学会年次学術集会 2024.1.28 京都市
- (栄養) 鈴木愛実：祝い膳のリニューアル～松花堂弁当風から華やかな洋食様式へ～ 令和5年度静岡県給食協会 事例研究発表会 2024.3.1 静岡市

## 講師

- (循環) 川人充知：当院でのクライオアブレーション Cryo Balloon WEB Symposium 2023.4.11 Web
- (循環) 服部雄介：コメンテーター Cryo Balloon WEB Symposium 2023.4.11 Web
- (循環) 三竹啓嗣：僧帽弁閉鎖不全症の診断 循環器セミナー 2023.4.13 Web
- (循環) 村田耕一郎：心不全の新しいカテーテル治療MitraClip 循環器セミナー 2023.4.13 Web
- (循環) 川人充知：コメンテーター KOKURA LIVE 2023 2023.5.13 北九州市
- (循環) 杉山博文：心腎関連とlifetime managementを考慮した慢性心不全治療 みんなの心不全治療 Online講演会 2023.5.17 Web
- (循環) 服部雄介：パネリスト Abbott Webinar 2023.5.24 Web
- (循環) 川人充知：当院のPOLARx初期使用経験 Cryo Seminar in Shizuoka 2023.5.24 Web
- (循環) 川人充知：当院の心房細動に対するクライオアブレーション～POLARx (Boston社) 含めて～ 第7回静岡心房細動ネットワーク 2023.5.29 静岡市
- (循環) 三竹啓嗣：経皮的僧帽弁クリップ術 第37回清水循環器カンファレンス 2023.6.14 静岡市
- (循環) 川人充知：心電図クイズ 第37回清水循環器カンファレンス 2023.6.14 静岡市
- (循環) 中川拓哉：コメンテーター 第3回 Stent-Less 研究会 2023.7.5 Web
- (循環) 川人充知：ディスカッサント Abbott Web Conference 2023.8.4 Web
- (循環) 服部雄介：コメンテーター CRYO ADVANCE 2023.8.21 Web
- (循環) 中嶋敦生：TAVIの手技のコツとピットフォール 第5回 静岡心臓血管周術期管理研究会 2023.8.26 静岡市
- (循環) 小野寺知哉：コメンテーター 第5回 SING Live 研究会 2023.9.1 静岡市
- (循環) 川人充知：上室性頻拍治療の引き出し～Freezor Xtraの活用～ 第5回 SING Live 研究会 2023.9.1 静岡市
- (循環) 村田耕一郎：コメンテーター 第5回 SING Live 研究会 2023.9.2 静岡市
- (循環) 鎌倉理充：コメンテーター 第5回 SING Live 研究会 2023.9.2 静岡市
- (循環) 杉山博文：コメンテーター 第5回 SING Live 研究会 2023.9.2 静岡市
- (循環) 杉山博文：GOLD Standard DESとしての期待～Orsiro Missionの特徴と使用経験～ 第5回 SING Live 研究会 2023.9.2 静岡市
- (循環) 杉山博文：高血圧治療を再考する～ARNIへの期待～ Hypertension Web Symposium 2023.9.6 Web
- (循環) 川人充知：他職種で取り組む令和時代の循環器診療 第20回 静岡県血管撮影研究会 2023.9.9 静岡市
- (循環) 川人充知：TactiFlex SEとHD Gridを駆使したPVI StrategyとComplex Caseに対する+α Ensite XがもたらすBeyond PVI 2023.9.12 Web
- (循環) 石川恵理：コメンテーター DEPTH 2023.9.13 Web
- (循環) 中川拓哉：コメンテーター Young Experts Seminar 2023.9.26 Web
- (循環) 杉山博文：パネリスト CLTI治療戦略を考える 2023.10.3 Web
- (循環) 川人充知：パネリスト Rhythmia Seminar in Shizuoka 2023.10.17 Web
- (循環) 村田耕一郎：僧帽弁閉鎖不全症とカテーテル治療 富士宮市医師会学術講演会 2023.10.19 富士宮市
- (循環) 杉山博文：虚血性心疾患のマネジメント～病診連携システムから最新の治療まで～ 日本循環器学会 第162回東海・第147回北陸合同地方会 2023.10.21 岐阜県岐阜市
- (循環) 服部雄介：静岡市立静岡病院式10/90 method SHIZUOKA 10/90 SUMMIT 2023.10.25 Web
- (循環) 杉山博文：スピーカー 東海 HBR summit 2023.11.1 Web
- (循環) 川人充知：当院でのクライオアブレーション Cryo Balloon Web Discussion 2023.11.1 Web

- (循環) 杉山博文：適応拡大したSeQuent Please Neoへの期待 Cardiologist optimal treatment strategy forum 2023.11.7 Web
- (循環) 杉山博文：心疾患合併CKD患者に対する新たな治療戦略 第38回 清水循環器カンファレンス 2023.11.15 静岡市
- (循環) 鎌倉理充：重症心不全に対するデバイスを含めた最新治療について 第38回 清水循環器カンファレンス 2023.11.15 静岡市
- (循環) 川人充知：左心耳閉鎖デバイスWATCHMANの適応 第38回 清水循環器カンファレンス 2023.11.15 静岡市
- (循環) 川人充知：心電図クイズ 第38回 清水循環器カンファレンス 2023.11.15 静岡市
- (循環) 徳増芳則：症例提示 DET Club 2023.11.20 Web
- (循環) 杉山博文：コメンテーター DET Club 2023.11.20 Web
- (循環) 杉山博文：アドバイザー PCI症例検討会～ACS編～ 2023.11.21 静岡市
- (循環) 徳増芳則：パフォーマー PCI症例検討会～ACS編～ 2023.11.21 静岡市
- (循環) 中川拓哉：コメンテーター Cryo Ablation Summit 2023.11.22 Web
- (循環) 三竹啓嗣：ディスカッサント Abbott 循環器セミナー 静岡 2023.11.24 Web
- (循環) 杉山博文：ACS/CCS患者のマネジメント～核酸医療インクリシランへの期待～ 静岡県中部・東部 レクビオ承認記念講演会 2023.11.27 Web
- (循環) 服部雄介：コメンテーター Cryo Web Discussion 2023.11.29 Web
- (循環) 川人充知：令和時代の心不全診療と他職種連携の必要性 SCSHハートチームケアセミナー 2023.12.4 静岡市
- (循環) 徳増芳則：心不全Stage Cからの緩和ケア SCSHハートチームケアセミナー 2023.12.4 静岡市
- (循環) 杉山博文：健康寿命延伸を目指す虚血性心疾患マネジメント～病診連携クリニカルパスと最新治療～ CVMW 2023 2023.12.10 神戸市
- (循環) 鎌倉理充：位相解析による心臓再同期療法の評価 第65回静岡県循環器画像研究会 2023.12.16 静岡市
- (循環) 村田耕一郎：大動脈弁狭窄症治療と抗血栓療法～透析患者のTAVIと新たな適応拡大TAV in TAV～ 静岡循環器Webセミナー 2024.1.18 Web
- (循環) 中川拓哉：ディスカッサント Cryo Ablation Summit 2024.1.18 Web
- (循環) 石川恵理：コメンテーター Cryo Ablation Symposium 2024.1.19 Web
- (循環) 縄田隆三：静岡市における循環器疾患の病診連携について 令和5年度 循環器病対策の医療連携に関する研修会（中部） 2024.2.8 静岡市
- (循環) 杉山博文：左室流出路狭窄を伴う狭小弁論に自己拡張型人工弁を留置した大動脈弁狭窄症の1例 TAVI治療次世代インプランター症例検討会 2024 2024.2.28 Web
- (循環) 三竹啓嗣：症例提示 TERUMO OFDI Web Seminar 2024.3.1 Web
- (循環) 鎌倉理充：症例提示 静岡中部 CTEPH 診療連携Webセミナー 2024.3.6 Web
- (循環) 中川拓哉：コメンテーター Ablation Summit With Cryo-Balloon 2024.3.13 Web
- (循環) 杉山博文：ACS/CCS患者のマネジメント～核酸医薬品インクリシランへの期待～ 虚血性心疾患の管理を考える～LDLはどこまで下げるのか～ 2024.3.14 静岡市
- (循環) 石川恵理：コメンテーター Freeze Ablation Summit 2024.3.27 Web
- (消内) 黒石健吾：当院におけるクローン病の治療について スキリージインターネットライブセミナー 2023.5.31 静岡市
- (消内) 黒石健吾：フィルゴチニブの最適症例を考える ～当院での治療経験から～ IBD Management Seminar in 静岡 2023.9.13 静岡市
- (消内) 黒石健吾：当院におけるクローン病の生物学的製剤治療を振り返って クローン病講演会in静岡中部 2023.10.10 静岡市
- (消内) 濱村啓介：肝臓専門医として、静岡での取り組み 第2回Gastroenterology Summer Summit 2023.7.29 東京
- (消内) 濱村啓介：なくそう！C型肝炎～肝だけじゃないHCV～ 静岡市肝疾患Webセミナー 2023.11.29 静岡市
- (消内) 濱村啓介：肝細胞癌におけるがん免疫療法について 第2回静岡HCC井戸端会議 2024.2.8 静岡市
- (消内) 濱村啓介：知って防ごう！肝臓病 SBS静岡健康増進センター座談会「教えて！健康」 2024.3.5 静岡市
- (外科) 橋本洋右：紙わぎ-Kaminote Challenge- ふじ・紙のアートミュージアム特別企画 2023.4 富士市

- (外科) 橋本洋右：腹腔鏡下大腸切除術における癒着防止剤の使用について セプラフィルム発売25周年記念 大腸外科エキスパートセミナー 2023.12 静岡市
- (外科) 橋本洋右：消化器外科におけるロボット支援下手術の現状と展望 静岡市立静岡病院市民公開講座 2024.2 静岡市
- (外科  
腹へ) 小林敏樹：若手外科医のための腹壁ヘルニア手術講座 ～50分でマスターする腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術 (IPOM-Plus法)～ 第85回日本臨床外科学会総会ランチョンセミナー 2023.11.16～11.18 岡山市
- (腎内) 野島陽一：エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023の改訂ポイントについてー目標Hb値と腎性貧血治療 第17回静岡腎疾患病診連携の会 2024.3 静岡市
- (内分) 田村尚久：最近の糖尿病薬 令和5年度たちばな会春季例会 2023.5.28 静岡市
- (内分) 田村尚久：閉会の辞 第28回イーソーネット糖尿病プライマリケア研究会 2023.6.27 静岡市
- (内分) 田村尚久：糖尿病薬の進歩と私たちの未来 令和5年度静岡県糖尿病協会講演会 2023.7.15 静岡市・Web
- (内分) 田村尚久：SGLT2阻害薬との付き合い方ー糖尿病診療の立場からー Kowa Web Conference 2023.9.14 Web
- (内分) 清水洋佑：irAEに対する当院内内分泌内科の取り組み 第14回静岡県糖尿病治療Update研究会 2023.10.5 静岡市・Web
- (内分) 田村尚久：当院における低ナトリウム血症の診療 静岡内分泌代謝カンファレンス 2024.2.29 静岡市・Web
- (血内) 岩井一也：DLBCLの治療について 静岡県病院薬剤師会中部支部 中部支部例会 2023.4.27 静岡市
- (血内) 岩井一也：COVID-19振り返り 静岡市静岡医師会講演会 2023.5.25 静岡市
- (血内) 岩井一也：LL宗教的輸血拒否の1例 Small meeting in Shizuoka 2023.6.1 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立竜爪中学校 2023.9.12 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 私立静岡雙葉中学校 2023.10.5 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立城内中学校 2023.10.23 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立美和中学校 2023.10.30 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立藁科中学校 2023.11.8 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立東中学校 2023.12.7 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立服織中学校 2024.1.16 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立観山中学校 2024.1.16 静岡市
- (血内) 前田明則：がんについて学ぼう 静岡市立安倍川中学校 2024.2.26 静岡市
- (呼内) 渡辺綾乃：胸壁血腫に対し肋間動脈塞栓を行った一例 BAE Webinar 2023.4.21 Web
- (呼内) 増田寿寛：肺癌の薬物療法 免疫チェックポイント阻害薬を中心に 第151回静岡がんカンファレンス 2024.3.8 静岡市
- (緩和) 岩井一也：医療倫理 沼津東高キャリアガイダンス 職業を知るセミナー 2023.9.26 沼津市
- (緩和) 岩井一也：HIV診療の実際 静岡東部地区エイズ医療連絡会 2023.12.6 Web
- (緩和) 岩井一也：HIV診療の実際 静岡中部地区エイズ医療関係者研修会 2023.12.14 静岡市
- (緩和) 岩井一也：医療現場の実際と医療倫理 静岡県立静岡高等学校 2023.12.20 静岡市
- (緩和) 岩井一也：医療倫理講演会 静岡市立高等学校 2024.2.17 静岡市
- (整形  
肩手) 澤田智一：当院における肩・肘・手外科の治療について - 神経障害性疼痛も含めて 第1回静岡肩・肘・手外科を考える会 2023.7.6 静岡市
- (整形  
肩手) 澤田智一：肩・肘・手外科センターについて 令和5年度静岡市病診連携総会 2023.7.31 静岡市
- (整形  
肩手) 澤田智一：ー上肢の障害とスポーツ傷害ー 肩・肘の痛みと障害 第14回静岡市民「からだ」の学校 2023.10.22 静岡市
- (整形  
肩手) 澤田智一：非定型尺骨骨折の治療 第73回静岡手外科マイクロサージャリー研究会 2023.10.29 静岡市
- (整形  
肩手) 宮城道人：ー上肢の障害とスポーツ傷害ー 肩・肘の痛みと障害 第14回静岡市民「からだ」の学校 2023.10.22 静岡市
- (整形) 杉山義晴：ALS-THAにおけるトラブル回避のための工夫 痛みと骨のwebセミナー 2023.2.10 静岡市
- (整形) 杉山義晴：整形外科で行う血友病関節症マネジメント Hemophilia Meeting In Hamamatsu 2023.8.24 浜松市
- (整形  
肩手) 小木浩孝：ー上肢の障害とスポーツ傷害ー 上肢のスポーツ傷害 第14回静岡市民「からだ」の学校 2023.10.22 静岡市
- (泌尿) 藤原裕士：転移性腎細胞癌の一次治療について Shizuoka Urological expert meeting 2023.04.05 静岡市

- (泌尿) 八木橋祐亮：JUA guideline on urological trauma bladder traumaシンポジスト 第110回日本泌尿器科学会総会 2023.4.23 神戸市
- (泌尿) 八木橋祐亮：泌尿器科救急 外傷 第16回泌尿器科京都東山セミナー 2023.8.20 京都市
- (泌尿) 藤原裕士：二次治療以降のカボザンチニブの有用性 OS延長を目指した腎癌薬物治療戦略 ～患者背景に基づく至適な薬剤選択を考える～ 2023.9.22 静岡市
- (泌尿) 野口哲哉：症例から学ぶピットフォール：診断に難渋し一時は膀胱腸瘻も疑われたハンナ型間質性膀胱炎の一例 難治性排尿障害を考える会in静岡 2023.10.20 静岡市
- (泌尿) 野口哲哉：間質性膀胱炎・膀胱痛症候群診療ガイドライン2019年版について 静岡県中部URO研究会 2023.12.20 静岡市
- (産科) 水野薫子：当院におけるロボット支援下手術の現状と展望 静岡市立静岡病院・市民公開講座 2024.2.17 静岡市
- (放治) 飯塚裕介：内用療法に対する期待と課題 高精度放射線治療との併用と線量計算 ヨード内用療法の現状と問題点(シンポジウム) 第82回日本医学放射線学会総会 2023.4.13-16 横浜市
- (放治) 飯塚裕介：放射線治療 ー基本から最近のトピックまでー 日本放射線技師会中部地方会令和5年度第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会および放射線セミナー 2023.10.7 静岡市
- (放治) 飯塚裕介：いまさらきけない？放射線治療 第150回 静岡病診がんカンファレンス 2024.1.31 静岡市
- (麻酔) 玉里順子：ICLSインストラクター 静岡病院ICLSコース 2023.6.10 静岡市
- (麻酔) 玉里順子：ICLSインストラクター 静岡病院ICLSコース 2023.9.30 静岡市
- (麻酔) 玉里順子：ICLSインストラクター 静岡病院ICLSコース 2024.3.23 静岡市
- (麻酔) 玉里順子：ICLS WSインストラクター 静岡赤十字病院ICLSインストラクター養成コース 2023.12.17 静岡市
- (麻酔) 玉里順子：ACLSインストラクター 静岡県立総合病院 2023.9.9-10 静岡市
- (麻酔) 玉里順子：ACLSインストラクター 静岡県立総合病院 2023.12.16 静岡市
- (麻酔) 美根智子：ICLSインストラクター 静岡病院ICLSコース 2023.6.10 静岡市
- (麻酔) 美根智子：ICLSインストラクター 静岡病院ICLSコース 2023.9.30 静岡市
- (麻酔) 美根智子：ICLSインストラクター 静岡病院ICLSコース 2024.3.23 静岡市
- (麻酔) 新屋苑恵：コメンテーター 日本心臓血管麻酔学会 第28回学術大会 2023.9.16-17 奈良市
- (麻酔) 新屋苑恵：神経ブロックインストラクター 日本臨床麻酔学会第43回大会 2023.12.8 宮崎市
- (病理) 江河勇樹：病理検査室と子宮頸がん・HPV～細胞診について HPVワクチンOnlineセミナーin静岡 2023.5.24 Web
- (病理) 江河勇樹：当院における肺癌マルチ検査の現況および偽陰性の懸念 肺癌マルチ検査WEBセミナー 2023.5.29 Web
- (看護) 中村真織：私の職場復帰 令和5年度再就業研修 静岡県ナースセンター 2023.5.25 静岡市
- (看護) 海老名哲生：周術期看護 排泄器系の手術を受ける人の看護 ストマケア 常葉大学健康科学部看護学科 2023.5.26 静岡市
- (看護) 海老名哲生：周術期看護 排泄器系の手術を受ける人の看護 ストマケア 常葉大学健康科学部看護学科 2023.10.20 静岡市
- (看護) 鈴木菜々：嚥下機能に障害がある患者の看護 静岡市立静岡看護専門学校 2023.5.31 静岡市
- (看護) 増田友美：事例を通して緩和ケア看護の実践について考える 常葉大学健康科学部看護学科 2023.5.31 静岡市
- (看護) 望月茉央：先輩看護師からのメッセージ「私の看護、新人看護職に伝えたいこと」 静岡県看護協会 2023.6.22 静岡市
- (看護) 海老名哲生：褥瘡予防対策とケアのコツ及び演習 静岡県看護の質向上促進研修 静岡県看護協会 2023.9.16 (中部) 静岡市
- (看護) 海老名哲生：褥瘡予防対策とケアのコツ及び演習 静岡県看護の質向上促進研修 静岡県看護協会 2023.11.11 (東部) 沼津市
- (看護) 海老名哲生：褥瘡予防対策とケアのコツ及び演習 静岡県看護の質向上促進研修 静岡県看護協会 2023.12.16 (西部) 浜松市
- (看護) 原木久美：がん患者さんお日常生活の過ごし方 第2回がんサバイバー交流会 保健福祉長寿保健衛生医療課 2023.9.30 静岡市

- (看護) 田島堅都：国際看護論 静岡市清水看護専門学校 2023.9.20 静岡市
- (看護) 市川由布子：術前のストーマケア ストーマリハビリテーション講習会 静岡県中部WOCネットワーク 2023.9.30 静岡市
- (看護) 海老名哲生：特定行為修了者研修会 静岡県看護協会 2023.9.27 静岡市
- (看護) 坪内亜希子：認知症対応向上研修 コーディネーター 静岡県看護協会 2023.8.29～8.31 静岡市
- (看護) 今井憲二：糖尿病療養指導の場面で生じやすい倫理的問題 しずデル2023秋の学習会 LifeScan Japank 株式会社 2023.10.28 静岡市
- (看護) 田中良枝：福祉・介護施設職員向け ケア実践者向け研修会講師 健康福祉部感染対策局 2023.11.16 静岡市
- (看護) 増田友美、鍋田 泉：ELNEC-Jコアカリキュラム看護師研修 ファシリテーター 静岡県立病院 2024.2.3～2.4 静岡市
- (看護) 名取宏樹：災害支援ナース養成研修ファシリテーター 静岡県看護協会 2024.1.27～1.28 静岡市
- (薬剤) 青木 望：当院におけるがん化学療法 第14回薬薬連携アドヒアランス研究会 2023.9 静岡市
- (薬剤) 青木 望：がん薬物療法の副作用対策 静岡病診連携がんカンファレンス 2023.9 静岡市
- (薬剤) 青木 望：外来腫瘍化学療法診療料の取り組みについて 第34回中部がん化学療法勉強会 2024.2 静岡市
- (放技) 乙丸 亨：99mTcピロリン酸シンチグラフィのイロハ～党員のオープン検査活用について～ 心アミロイドーシス医療連携セミナー 2023.5.24 静岡市
- (放技) 千葉和宏：心大血管疾患における救急CTの役割 第5回 富士山QQ災害撮影研究会 2023.7.1 静岡市
- (放技) 千葉和宏：GM計数管の取り扱いとスクリーニング/避難退域時検査の概要とシミュレーション 令和5年度原子力緊急時災害対策研修会 2023.11.18 静岡市
- (検査) 望月裕一：細胞診 泌尿器領域 静岡県臨床細胞学会 静岡細胞診勉強会 2023.8.6 Web
- (臨工) 内藤豊貴：AS～TAVI～ 第3回循環器EBセミナー 2023.12.16 web
- (臨試) 北島真利子：薬剤師CRCからみる循環器領域治験 静岡県治験ネットワーク研修会 第17回アドバンストセミナー あいまいな知識を確かなものに～心不全を中心とした循環器領域～ 2024.1.27 長泉町

## 座長・司会

- (循環) 縄田隆三：心房細動治療フォーラム 2023.4.19 静岡市
- (循環) 縄田隆三：心腎連関による腎性貧血治療を考える会 2023.4.20 静岡市
- (循環) 川人充知：Heart Disease Seminar 2023.4.21 静岡市
- (循環) 村田耕一郎：第48回 CVIT東海北陸地方会 2023.5.12 石川県金沢市
- (循環) 縄田隆三：みんなの心不全治療 Online講演会 2023.5.17 Web
- (循環) 縄田隆三：心アミロイドーシス医療連携セミナー～早期診断・治療のために何ができるか～ 2023.5.24 Web
- (循環) 川人充知：第6回 中性脂肪学会学術集会 2023.7.1 Web
- (循環) 川人充知：Freeze Summit 2023.7.26 Web
- (循環) 縄田隆三：Roundtable Meeting～日常診療での高血圧診療について考える～ 2023.8.1 Web
- (循環) 村田耕一郎：第31回 CVIT学術集会 2023.8.4 福岡市
- (循環) 小野寺知哉：第31回 CVIT学術集会 2023.8.5 福岡市
- (循環) 川人充知：Freeze Summit 2023.8.23 Web
- (循環) 小野寺知哉：第5回 SING Live研究会 2023.9.2 静岡市
- (循環) 川人充知：第5回 SING Live研究会 2023.9.2 静岡市
- (循環) 縄田隆三：心アミロイドーシス 早期診断updateセミナー 2023.9.13 静岡市
- (循環) 小野寺知哉：静岡県 虚血性心疾患における病診連携を考える会 2023.9.22 Web
- (循環) 川人充知：実地医家のための日常診療Webセミナー ～将来を見据えた抗凝固療法を考える～ 2023.9.25 Web
- (循環) 川人充知：Cryo Summit 2023.10.2 Web
- (循環) 小野寺知哉：静岡市心不全学術講演会 2023.10.10 Web
- (循環) 川人充知：Medtronic Academy For Arrhythmias 2023.10.24 Web
- (循環) 川人充知：SHIZUOKA 10/90 SUMMIT 2023.10.25 Web
- (循環) 村田耕一郎：第49回 CVIT東海北陸地方会 2023.11.11 名古屋市

- (循環) 縄田隆三：静岡県中部・東部 レクビオ承認記念講演会 2023.11.27 Web
- (循環) 川人充知：SCSHハートチームケアセミナー 2023.12.4 静岡市
- (循環) 杉山博文：静岡 SURI 講演会 2023.12.13 静岡市
- (循環) 縄田隆三：Shizuoka Cardiology Forum 2024.2.26 静岡市
- (循環) 杉山博文：TERUMO OFDI Web Seminar 2024.3.1 Web
- (循環) 服部雄介：Ablation Summit with Cryo-Balloon 2024.3.13 Web
- (循環) 杉山博文：TERUMO PCI Web Seminar 2024.3.13 Web
- (循環) 杉山博文：BioFreedom Ultra 2nd year review 2024.3.18 Web
- (心外) 三岡 博：第51回日本血管外科学会 要望演題 2 EVAR後のtype II endoleakに対する対策と治療 2023.5.31 東京都新宿区
- (心外) 三岡 博：第64回日本脈管学会総会 会長要望演題 3 type 2 エンドリークに対する対策 2023.10.26 横浜市
- (心外) 三岡 博：第32回日本血管外科学会東海北陸地方会 2024.2.10-11 静岡市
- (心外) 三岡 博：第53回日本心臓血管外科学会 コントロバシー「どうする？」1 short and angulated neckにおけるEVAR-どのデバイス、どのテクニック？ 2024.2.22 浜松市
- (消内) 小柳津竜樹：慢性便秘症治療講演会in静岡 2023.4.20 静岡市
- (消内) 小柳津竜樹：Hepatocellular carcinoma Conference in Shizuoka 2023.7.12 静岡市
- (消内) 小柳津竜樹：静岡リアル内視鏡研究会 2023.7.28 静岡市
- (消内) 小柳津竜樹：Elimination Leaders Conerence in 静岡 2023.10.20 静岡市
- (消内) 小柳津竜樹：便秘治療について深く考える静岡フォーラム 2023.11.10 静岡市
- (消内) 小柳津竜樹：肝疾患セミナーin Shizuoka 2023.11.22 静岡市
- (消内) 小柳津竜樹：静岡市HCV elimination seminar 2023.12.14 静岡市
- (消内) 小柳津竜樹：Hepatocellular carcinoma Conference in Shizuoka 2024.1.25 静岡市
- (消内) 田中俊夫：カログラの会 2023.8.3 静岡市
- (消内) 田中俊夫：静岡県中部UC治療を考える会 2023.9.27 静岡市
- (消内) 田中俊夫：IBD Management Seminar in静岡 JAK阻害薬を考える会 2023.9.13 静岡市
- (消内) 田中俊夫：クローン病講演会in静岡中部 2023.10.10 静岡市
- (消内) 田中俊夫：第136回静岡県大腸疾患研究会 2023.11.29 静岡市
- (消内) 田中俊夫：イーソーネット『潰瘍性大腸炎』病診連携システム総会 2023.12.7 静岡市
- (消内) 田中俊夫：中部IBDネットフォーラム 2024.1.13 静岡市
- (消内) 濱村啓介：Aska肝疾患研究会 2023.5.25 三島市
- (消内) 濱村啓介：静岡肝疾患Webセミナー 2023.6.28 静岡市
- (消内) Keisuke Hamamura：The 33rd annual meeting of APASL – Hepatitis B clinical 2024.3.28 京都市
- (消内) Keisuke Hamamura：The 33rd annual meeting of APASL – Other infection in liver diasease 2024.3.29 京都市
- (外科) 前田賢人：食道癌カンファレンス in SHIZUOKA 2023.4 静岡市
- (外科) 前田賢人：第113回静岡胆膵疾患研究会 2023.6 静岡市
- (外科) 米沢 圭：第31回日本乳癌学会総会 2023.6 横浜市
- (外科) 佐々木直也：静岡県外科医会第248回集談会 2023.9 浜松市
- (外科) 橋本洋右：Shizuoka CRC Web Conference 2023.9 静岡市
- (外科) 佐々木直也：第31回京都肝胆膵外科セミナー 2023.1 京都市
- (外科) 佐々木直也：第32回京都肝胆膵外科セミナー 2024.3 京都市
- (外科) 小林敏樹：第24回静岡内視鏡外科研究会 2023.7.1 静岡市
- (腎内) 松本芳博：第68回日本透析医学会学術集会総会 2023.6 神戸市
- (腎内) 松本芳博：バスキュラーアクセスセミナーin静岡 2023.11 静岡市
- (腎内) 野島陽一：第63回静岡県腎不全研究会 2024.3 静岡市
- (内分) 田村尚久：第15回静岡インクレチン研究会 2023.5.20 静岡市・Web
- (内分) 田村尚久：静岡内分泌代謝カンファレンス 2023.6.22 静岡市・Web
- (内分) 田村尚久：第14回静岡県糖尿病治療Update研究会 2023.10.5 静岡市・Web



(内分) 田村尚久：第29回インターネット糖尿病プライマリケア研究会 2023.11.27 静岡市・Web

(内分) 田村尚久：第17回糖尿病臨床フォーラム 2024.2.10 大阪市

(呼内) 渡辺綾乃：第123回日本呼吸器学会東海地方会 2023.6.3 名古屋市

(小児) 五十嵐健康：第38期静岡県小児科医会 夏の学術講演会 2023.7.8 静岡市

(小児) 五十嵐健康：アトピー性皮膚炎外用療法Update 2023.10.24 静岡市 (Web)

(小児) 五十嵐健康：第38期静岡県小児科医会 冬の学術講演会 2024.1.20 静岡市

(小児) 酒井秀政：アトピー性皮膚炎外用療法Winter web seminar 2024.1.24 静岡市 (Web)

(整形  
肩手) 澤田智一：第73回静岡手外科マイクロサージャリー研究会 2023.10.28 静岡市

(整形) 宮城道人：第56回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 2023.7.13~7.14 東京都新宿区 ポスター

(整形  
肩手) 宮城道人：第73回静岡手外科マイクロサージャリー研究会 2023.10.28 静岡市

(脳外) 深澤誠司：SAH Network Seminar in Shizuoka 2023.8.8 静岡市

(脳外) 深澤誠司：第15回インターネット脳卒中医療連携総会 2024.3.29 静岡市

(皮膚) 森木 睦：静岡地方会第136回例会 2023.5.20 静岡市

(皮膚) 森木 睦：静岡市掌蹠膿疱症病診連携の会 2023.4.13 Web

(皮膚) 森木 睦：皮膚科医のためのShort Lecture 2023 2023.5.23 静岡市

(皮膚) 森木 睦：第8回皮膚と免疫を考える会 2023.11.16 静岡市

(泌尿) 野口哲哉：Shizuoka Urological expert meeting 2023.04.05 静岡市

(泌尿) 野口哲哉：第16回静岡ラパロ・ロボット研究会 2023.11.25 静岡市

(泌尿) 野口哲哉：静岡県中部URO研究会 2023.12.20 静岡市

(泌尿) 野口哲哉：OS延長を目指した腎癌薬物治療戦略 ～患者背景に基づく至適な薬物選択を考える～ 2023.09.22 静岡市

(産科) 水野薫子：令和5年度静岡県母体保護法指定医師研修会 2023.9.24 静岡市

(リ技) 小柳慎介：静岡中部糖尿病療養指導士講習会 2023.10.7 静岡市

(リ技) 小柳慎介：静岡中部糖尿病療養指導士講習会 2023.12.3 静岡市

(放治) 飯塚裕介：日本放射線腫瘍学会第36回学術大会 2023.11.30-12.2 横浜市

(麻酔) 玉里順子：第2回静岡神経ブロックハンズオンセミナー 2023.1.20 静岡市

(麻酔) 玉里順子：第5回静岡心臓血管周術期管理研究会 2023.8.26 静岡市

(病理) 江河勇樹：静岡県臨床細胞学会秋期学術集会 2023.9.23 静岡市・Web

(看護) 進藤 仁：日本心血管インターベンション治療学会 第49回CVIT東海北陸地方学会 2023.11.11 名古屋市

(薬剤) 望月英明：静岡県病院薬剤師会中部支部例会 2023.4.27 静岡市

(薬剤) 望月英明：第14回薬薬連携アドヒアランス研究会 2023.9 静岡市

(薬剤) 青木 望：第34回中部がん化学療法勉強会 2024.4 静岡市

(放技) 千葉和宏：第27回 静岡県放射線技師学術大会 2023.5.28 静岡市

(放技) 千葉和宏：第50回 放射線技師のためのセミナー 2023.6.24 静岡市

(放技) 榎永大二郎：第31回 日本心血管インターベンション治療学会 2023.8.4 福岡市

(放技) 榎永大二郎：第49回 日本心血管インターベンション治療学会 東海北陸地方会 2023.11.11 名古屋市

(放技) 榎永大二郎：第2回 静岡心臓血管コメディカルミーティング 2023.11.18 静岡市

(放技) 乙丸 亨：第90回 静岡県核医学談話会 2023.12.9 静岡市

(放技) 榎永大二郎：第5回 SING Live研究会 2023.9.2 静岡市

(放技) 榎永大二郎：第34回 日本心血管画像動態学会 2024.1.13 横浜市

(放技) 千葉和宏：第52回 放射線技師のためのセミナー 2024.1.27 静岡市

(検査) 加茂川暢彦：第10回静岡県医学検査学会 2023.6.10 Web

(検査) 望月裕一：令和5年度第2回病理細胞部門Web型研修会 2023.9.30 Web

(検査) 堂本浩二：令和5年度静岡県臨床細胞学会秋期学術集会 2023.9.23 静岡市

(検査) 河合桃菜：第23回静岡血液フォーラム 2024.2.4 静岡市

(臨工) 鈴木彩加：第18回静岡県臨床工学技士会 2023.6.4 静岡市

(臨工) 三浦大貴：第5回SING Live研究会 2023.9.1~2 静岡市

(臨工) 日向勇人：第5回SING Live研究会 2023.9.1~2 静岡市

- (臨工) 栗田浩瑛：第5回SING Live研究会 2023.9.1～2 静岡市  
(臨工) 高橋由希：第5回SING Live研究会 2023.9.1～2 静岡市  
(臨工) 内藤豊貴：第49回CVIT東海北陸地方会 2023.11.11 名古屋市  
(臨工) 内藤豊貴：第3回静岡臨工循環器セミナー 2023.12.16 静岡市

## 検査技術科研修会

- 令和5年4月20日 ① 部署別目標評価  
② 検査技術科目標評価  
③ マネジメントレビュー  
④ 品質文書
- 令和5年5月25日 ① インシデント是正処置報告、周知  
② 毒劇物特定化学物質の取扱、保管、暴露時の措置
- 令和5年6月22日 消防出前講座  
① DVD視聴  
② 消防設備使用方法確認  
③ 避難経路確認
- 令和5年7月27日 ① 臨地実習指導伝達講習  
② 輸血緊急度1事例 ケーススタディ
- 令和5年8月24日 ① ヒヤリ・ハット事例報告  
② 輸血検査の注意点、対応について
- 令和5年10月26日 ① インシデント・ヒヤリ事例報告  
② フレキシブルスコープについて  
③ ISO15189 2022年度版への移行について
- 令和5年12月21日 ① 当番業務習熟度チェック解説
- 令和6年1月25日 ① ISO1518 内部監査について
- 令和6年2月22日 第22回検査技術科研究発表会  
① 神経エコーを用いた神経伝導速度導出時間短縮の検討  
② 多項目自動血球分析装置XRシリーズにおける異常細胞検知性能の検討  
③ グリコヘモグロビン分析装置の更新に伴う機種の検討  
④ コントラスト心エコー検査におけるタスク・シフト/シェアの取り組み
- 令和6年2月2日 ISO15189 内部監査報告会
- 令和6年3月6日 患者急変時対応講義、実習
- 令和6年4月4日 2023年度検査技術科医療安全報告会

## 放射線技術科研修会

|            |                     |
|------------|---------------------|
| 令和5年4月24日  | 第1回STAT研修会          |
| 令和5年5月15日  | 第2回STAT研修会          |
| 令和5年6月13日  | ヨード造影剤副作用の勉強会       |
| 令和5年6月26日  | 第3回STAT研修会          |
| 令和5年6月27日  | CT急変時対応シミュレーション訓練   |
| 令和5年7月6日   | 被ばく相談研修会            |
| 令和5年7月24日  | 第4回STAT研修会          |
| 令和5年7月27日  | MRI防災訓練             |
| 令和5年8月28日  | 第5回STAT研修会          |
| 令和5年10月2日  | 第6回STAT研修会          |
| 令和5年10月3日  | 新規放射線従事者のガラスバッジ装着説明 |
| 令和5年10月12日 | 科内BLS研修会①           |
| 令和5年10月13日 | 科内BLS研修会②           |
| 令和5年11月6日  | 第7回STAT研修会          |
| 令和5年11月27日 | 第8回STAT研修会          |
| 令和5年12月25日 | 第9回STAT研修会          |
| 令和6年1月22日  | 第10回STAT研修会         |
| 令和6年2月19日  | 第11回STAT研修会         |
| 令和6年2月27日  | RI内用療法教育訓練          |
| 令和6年3月4日   | 科内DMAT報告会           |
| 令和6年3月25日  | 第12回STAT研修会         |

## 院内教育行事

### § 静岡病診がんカンファレンス

#### 第148回

日時：令和5年9月27日 18:00～

場所：西館12階講堂

演題：(1) がん化学療法の副作用対策  
(2) 原発不明がんへの対応について

演者：(1) 薬剤科 青木望主任薬剤師  
(2) 外科・消化器外科 前田賢人診療部長

#### 第149回

日時：令和5年11月7日 19:00～

場所：静岡市静岡医師会 3階 講堂

演題：(1) 口腔がんの診断と治療～口腔がん早期診断のために～  
(2) 大腸がんの成り立ちと内視鏡診断

演者：(1) 口腔外科 大山巖雄主任科長  
(2) 内視鏡科 田中俊夫主任科長

#### 第150回

日時：令和6年1月31日 18:00～

場所：西館12階講堂

演題：いまさら聞けない？放射線治療

演者：放射線治療科 飯塚裕介主任科長

#### 第151回

日時：令和6年3月8日 19:30～

場所：静岡市静岡医師会 3階 講堂

演題：(1) 乳がん診療～診断から治療まで～  
(2) 肺癌の薬物療法～免疫チェックポイント阻害薬を中心に～  
(3) 小さな早期肺癌に対する新しいアプローチと、進行肺癌に対する周術期補助療法－2022年からの当科の新しい取り組み－

演者：(1) 外科・消化器外科 矢崎真澄医長  
(2) 呼吸器内科 増田寿寛医師  
(3) 呼吸器外科 玉里滋幸医長

共催：静岡市静岡医師会  
静岡市立静岡病院がん診療委員会

## § 救急セミナー（救急外来ただいま診断中 in 静岡）

|      |   |         |
|------|---|---------|
| 講師   | 国保旭中央病院 救命救急センター医長<br>西伊豆健育会病院 非常勤内科医師          | 坂本 壮 医師 |
| 対象者  | 1年および2年次の臨床研修医、当院看護師・コメディカル、静岡県内の臨床研修医他         |         |
| 開催方式 | Web配信方式<br>※当日西館12階講堂に視聴会場を設置                   |         |
| 開催記録 | 第1回 令和5年7月14日 18:00~19:30<br>テーマ：『意識障害に会ったら@ER』 |         |
|      | 第2回 令和5年11月24日 18:00~19:30<br>テーマ：『高齢者救急』       |         |
| 参加人数 | 第1回 10名、Web参加11名                                |         |
|      | 第2回 15名、Web参加6名                                 |         |

## § 第40回 静岡病院看護研究発表大会

令和5年11月25日

本会場：西館12階講堂

サテライト会場：西館11階第1会議室

テーマ：磨こう 看護のちから

- 1 困難事例を分析し、急性期病院のA病院における退院調整の現状と課題を明らかにする  
総合相談センター ○杉山直規 小林浩枝 荻田 紋 古木亜希子
- 2 開胸術後の人工呼吸器装着患者の痛みに関する実態調査  
東5階 ○大村直子 中川 遥 島口香奈子 岩崎絢女 内藤乃愛
- 3 自宅での生活をイメージしたストーマ管理指導を検討する  
東9階 ○森山菜生 大石真理子 片井優花
- 4 緊急入院した高齢患者の低活動型せん妄予防に対する看護師の行動変容  
東7階 ○谷井うらら 渡辺亜矢子 窪田愛菜 望月かおり 伴野真弓  
小澤紗彩 加瀬あいら
- 5 放射線治療室と病棟間の連携における皮膚炎ケアマップの有用性  
内視鏡放射線検査室 ○渡部美尚子 大庭恵美子 東條 舞 曾我真澄
- 6 A病院の救急外来における看護実践能力の向上を目指して  
救急外来 ○小野山真惟 福富美帆 奥松司奈子 井出裕紀
- 7 在宅酸素療法の指導における看護師が持つべき視点とは  
東10階 ○手塚美佑 笠原玄也 菊池優里 亀山恵子
- 8 急性期脳血管疾患に対する看護師の排尿援助の実態  
東6階 ○杉山勝則 菊池和也 深澤直子 石川 栞
- 9 病棟看護師が行う擦式手指消毒剤の手指消毒手順遵守に関する実態調査  
東8階 ○増田麗勇 河村拓哉 増田彩裕美

## § 静岡市立静岡病院 学術集談会

令和5年度静岡市立静岡病院学術発表会

抄録掲示期間：令和6年4月11日～5月24日

掲 示 会 場：西館10階医局前廊下

### 演題一覧：

| 所 属              | 代表者名                 | 発表学会名、研究会名   |
|------------------|----------------------|--|
| 循環器内科            | 徳 増 芳 則              | Clinical Short - term Outcomes of Left Bundle Branch Area Pacing   |
| 心臓血管外科           | 鈴 木 貴 大              | Remodeling of Proximal Zone and Sac Shrinkage after EVAR or FEVAR  |
| 外科・消化器外科         | 小 林 敏 樹              | Aiming for further evolution in laparoscopic repair of inguinal hernia   |
| 外科・消化器外科         | 柴 田 知 佐              | 当科におけるDiverticular colitisに対する手術症例の検討  |
| 呼吸器内科            | 亀 井 淳 哉              | 肺癌診断におけるガイドシース併用気管支腔内超音波断層法(EBUS-GS)でのWith in症例の検討   |
| 小児科              | 本 橋 康 弘              | 食物アレルギー表示制度の盲点について発症したアナフィラキシーの2例  |
| 整形外科             | 宮 城 道 人              | Joint sparing surgery using recycled tumor-bearing autograft for malignant bone tumor  |
| 泌尿器科             | 野 澤 将 斗              | 転移性腎癌に対するカボザンチニブの初期治療経験  |
| 放射線治療科           | 飯 塚 裕 介              | Association between successful adjuvant therapy and quantitative evaluation of radioactive iodine accumulation in the thyroid bed in patients with differentiated thyroid cancer |
| 麻酔科              | 川 口 陽 子              | 外傷治癒後の鼠径部の解剖学的異常により神経ブロックの施行が困難で効果不十分となった一例  |
| 看護部<br>血液浄化センター  | 高 須 紗 規 子<br>青 山 侑 美 | シャントマップ導入を試みてその効果を明らかにする   |
| 薬剤部 薬剤科          | 矢 野 佳 孝              | 抗菌薬投与の影響を早期に発見できる、感染関連28項目対応DWH時短ツールの有効性   |
| リハビリテーション<br>技術科 | 鈴 木 康 介              | Delirium impacts left emotional and working memory cerebral blood flow   |
| 放射線技術科           | 荻 田 広 大              | TAVIにおける術者の水晶体被ばく低減効果の検討   |
| 検査技術科            | 佐 野 り ほ              | 大動脈弁一尖弁に合併したALアミロイドーシスの一例  |
| 臨床工学科            | 宮 地 健 太              | SMART enhancement機能の上室性頻拍識別に対する影響因子の検討   |
| 栄養管理科            | 太 田 紘 之              | 当院における早期栄養介入管理加算の算定状況と課題   |

## § 公開講演会などの活動

令和5年度は「静岡市民『からだ』の学校」について、市街地での開催に加え、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い中止していた、中山間地域での「地域版」の開催を再開しました。

また、年間を通じ、市民を対象とした「市政出前講座」を実施し、市民団体等の希望に応じ、看護師や薬剤師等の医療職を講師として派遣し、医療や健康に関する講座を開催しました。

今後も市民の皆さんに当院を身近に感じていただけるよう、病院の活動や医療についての講演会や講座等の機会を提供していきます。

### ●公開講座 第14回静岡市民「からだ」の学校

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 令和5年10月22日 13:30~15:30   |
| 場 所 | しずぎんホール「ユーフォニア」  |
| 参加者 | 211人   |
| 内 容 | <p>①肩・肘の痛みと障害<br/>肩・肘・手外科センター センター長 澤田 智一</p> <p>②手首・手の痛みと障害<br/>肩・肘・手外科センター 副センター長 宮城 道人</p> <p>③上肢のスポーツ障害<br/>肩・肘・手外科センター 医師 小木 浩孝</p> <p>④肩こり・五十肩にきく運動療法<br/>リハビリテーション技術科 主任作業療法士 石向 航</p> <p>⑤骨・筋肉と栄養<br/>栄養管理科 科長 管理栄養士 山内 浩之</p> |

### ●公開講座 静岡市民「からだ」の学校 地域版

|     | i n 井川   | i n 梅ヶ島               | i n 清沢                |
|-----|--|-----------------------|-----------------------|
| 日 時 | 11月15日<br>14:00~15:45  | 11月17日<br>19:00~20:30 | 11月28日<br>14:00~15:30 |
| 場 所 | 井川ビジターセンター   | 梅ヶ島生涯学習交流館            | 清沢生涯学習交流館             |
| 参加者 | 12人  | 23人                   | 37人                   |
| 内 容 | <p>○蜂に刺されたとき、蛇に噛まれたとき ※井川のみ<br/>井川診療所 所長 立岡和弘</p> <p>○肩・肘の痛みと障害／手首・手の痛みと障害／上肢のスポーツ障害<br/>肩・肘・手外科センター センター長 澤田 智一（井川）<br/>副センター長 宮城 道人（清沢）<br/>医師 小木 浩孝（梅ヶ島）</p> <p>○肩こり・五十肩にきく運動療法<br/>リハビリテーション技術科 主任作業療法士 石向 航</p> |                       |                       |

●市政出前講座

23回の講座に延べ24人の講師を派遣し、計729人が参加した。

| 開催日   | 講座名                                 | 講師             | 派遣先                           | 参加者  |
|-------|-------------------------------------|----------------|-------------------------------|------|
| 5/19  | 良い睡眠でからだもこころも健康に                    | 嶋根久美子          | 長田女性学級                        | 56人  |
| 5/23  | 突然のケガや病気！どうしたらいいの？～応急手当の講義～         | 中村真理子          | 静岡市北部生涯学習センター                 | 6人   |
| 7/4   | 突然の病気！病院に受診する際の処置や注意すること            | 名取 宏樹          | 家庭教育委員会 第4ブロック                | 11人  |
| 7/5   | 知っておきたい認知症ケア<br>安全な食事介助の基本          | 坪内亜希子<br>鈴木 菜々 | 常葉大学附属橘高等学校                   | 19人  |
| 7/19  | 糖尿病はどんな病気？                          | 今井 憲二          | 静岡市ひきこもり地域支援センター              | 8人   |
| 8/3   | 人生会議って何？                            | 増田 友美          | 船越生涯学習交流館                     | 24人  |
| 8/21  | 新型コロナの感染対策について<br>～インフルエンザとどうちがうの？～ | 田中 良枝          | 中日本ハイウェイ・エンジニアリング             | 44人  |
| 8/22  | 新型コロナの感染対策について<br>～インフルエンザとどうちがうの？～ | 田中 良枝          | ふるさとの家 みずほ                    | 7人   |
| 8/24  | ノロウイルスの感染対策について                     | 田中 良枝          | 独立行政法人海技教育機構<br>国立清水海上技術短期大学校 | 18人  |
| 9/11  | 突然のケガや病気！どうしたらいいの？～応急手当の講義～         | 名取 宏樹          | 協同組合静岡流通センター                  | 40人  |
| 9/28  | 良い睡眠でからだも心も健康に                      | 嶋根久美子          | 日知大学                          | 115人 |
| 9/28  | 人生会議って何？                            | 増田 友美          | 静岡市清水船越老人福祉センター               | 12人  |
| 10/27 | 誤嚥性肺炎の予防                            | 鈴木 菜々          | 静岡市駿河区有明町2区自治会「健康福祉部」         | 35人  |
| 11/7  | 新型コロナの感染対策について<br>～インフルエンザとどうちがうの？～ | 七丈 藍乃          | 社会福祉法人 葵寮                     | 108人 |
| 11/8  | 誤嚥性肺炎の予防                            | 鈴木 菜々          | 岡生涯学習交流館                      | 45人  |
| 12/7  | 誤嚥性肺炎の予防                            | 鈴木 菜々          | 清水区折戸老人福祉センター羽衣荘              | 20人  |
| 12/12 | 新型コロナの感染対策について<br>～インフルエンザとどうちがうの？～ | 七丈 藍乃          | 手話サークル火曜会                     | 30人  |
| 1/18  | 突然のケガや病気！どうしたらいいの？～応急手当の講義～         | 中村真理子          | 静岡市南部生涯学習センター                 | 5人   |
| 1/29  | 人生会議って何？                            | 増田 友美          | 城東地域包括支援センター                  | 18人  |
| 2/21  | 健康食品やサプリメントと薬について                   | 高井 彩花          | 静岡市用宗老人福祉センター                 | 17人  |
| 2/21  | 突然のケガや病気！どうしたらいいの？～応急手当の講義～         | 名取 宏樹          | 静岡市鯨ヶ池老人福祉センター                | 24人  |
| 2/28  | 知っておきたい認知症ケア                        | 伏見 順子          | 農林水産省関東農政局静岡県拠点               | 41人  |
| 3/22  | 良い睡眠でからだもこころも健康に                    | 嶋根久美子          | S型デイサービス 大岩3丁目ふれあい犬在家の里       | 26人  |



## § 静岡市立静岡病院 市民公開講座「当院のロボット支援下手術について」

日 時：令和6年2月17日 14:00～

場 所：静岡市立静岡病院 西館12階 講堂

演 題：(1) ロボット支援下手術の特性について  
(2) 当院におけるロボット支援下手術の現状と展望

演 者：(1) 泌尿器科 主任科長 野口哲哉  
(2) ①泌尿器科 主任科長 野口哲哉  
②外科・消化器外科 科長 橋本洋右  
③産婦人科 主任科長 水野薫子

## § 薬々連携アドヒアランス研究会

第14回（外来化学療法特定薬剤管理指導2/連携充実加算 算定対象研修）

日 時：2023年9月13日

場 所：静岡市立静岡病院 西館12階講堂

参加者：22名

演 題：『当院における化学療法』薬剤科 青木 望

# さまざまな活動

病 院 厚 生 会  
患 者 友 の 会 の 活 動



## 病院厚生会

静岡市立静岡病院厚生会は、①会員の福利厚生、②会員の相互の親睦、③会員の資質の向上、④病院利用者の利便性の向上、⑤病院の円滑な医療活動への協力を目的としている。本会は、会員のレクリエーション、スポーツ、文化及び研修等の活動事業、会員の慶弔、見舞いその他の共済事業を行っている。

### 1. 令和5年度 代議員・役員合同会議

日 時 令和5年6月23日

会 場 静岡市立静岡病院西館12階 講堂

議 事 (1) 令和4年度厚生会会計決算報告について

(2) 令和5年度厚生会会計予算案について

(3) 令和4年度厚生会関連の活動報告について

### 2. 厚生会忘年会

日 時 令和5年12月8日

会 場 ホテルグランヒルズ静岡

出席者 237名

## 静病あおい会

静病あおい会は令和6年3月31日をもって解散いたしました。

本会は、静岡病院の退職者相互の親睦等を目的として、平成3（1991）年4月13日に発足し、年1回の総会・懇親会の開催、会報の発行（年2回）、静岡病院広報誌「体温計」の送付、慶弔金の給付等の事業を行ってきたところです。

当初の会員数は300人を超えていましたが、ここ数年は新規入会者もなく会員数の減少傾向が続いておりました。折しも令和2年の新型コロナウイルス蔓延の影響で、以後の活動は自粛せざるを得ませんでした。令和5年5月にコロナが感染症5類に分類されたことを契機に役員会において今後について検討しましたが、新規会員が望めないこと、会員が高齢化していること、会計等事務処理の負担が過重になっていること等から、本会としてはその役割は果たしたものと考え、令和6年2月24日に開催された総会（議長：島本光臣あおい会会長）に諮った結果、令和5年度末をもって会を解散することに決しました。

これまであおい会活動に対していろいろご協力をいただいた病院の皆様には厚く御礼申し上げます。

解散時の会員数80人（医局29人、看護科37人、薬剤師1人、検査科4人、放射線科1人、事務局8人）

（文責：山本正幸）

## 心臓病友の会（心友会）

心臓病友の会は1976年（昭和51年）7月に設立し、病院当局の絶大なるご支援を戴き47年の歴史を刻み今日に至りました。高齢化等の事情から、会員増が喫緊の課題であり、2018年度から「絆キャンペーン」を立ち上げました。その結果、令和2年度は会員数の減少速度が鈍り、会員減少阻止に一定の効果が得られましたが、令和3年度以降はコロナ禍のため「絆キャンペーン」が中止となり、会員数減少が進みました。コロナが5類に移行しましたので、新たな気持ちで会員減少に歯止めがかかるように取り組みたいと思います。

### 令和5年度実施事業

#### 1. 令和5年度総会 令和5年5月

議事 令和4年度事業報告・決算報告・同会計監査報告

令和5年度事業計画案・同予算案

（全部承認）

#### 2. 春季例会 総会終了後実施 講師 中井先生

#### 3. 1泊研修親睦旅行 秋に実施

令和5年10月14日～15日

伊豆畑毛温泉 大仙家 14人参加

#### 4. 秋の例会

令和5年11月26日

静岡市立病院 12階講堂

講演 村田先生 会員体験発表 班別協議

#### 5. 新春懇親会 令和6年1月28日 静岡中島屋グランドホテル 49人出席

#### 6. 会報「しんゆう」の発行 124号～127号 年間4回 西部支部担当

#### 7. 支部例会 各支部長の判断

#### 8. 会議参加記録（参加者 事務局長）

静岡県循環器病対策推進協議会 年3回

静岡市立静岡病院地域医療支援委員会 年1回

#### 9. 総括

コロナ禍で4年間実施できなかった事業が計画通り全て実施できて嬉しかった。新年懇親会が盛況で楽しく過ごせたことが印象深い思い出。

記録者 心友会事務局長 田淵 栄男

## 糖尿病友の会（たちばな会）

令和5年度に実施した事業は次のとおりです。

### ①総会（第34回）

日 時 令和5年5月28日 午前10時開会

場 所 静岡市立静岡病院東館11階C会議室

- 議 題 1 令和4年度事業報告  
2 令和4年度決算報告・積立金勘定  
3 令和4年度会計監査報告  
4 令和5年度事業計画  
5 令和5年度予算案

質疑応答

すべての議案が議決承認された。

## ②定期例会

- 1 春季例会（第93回） 総会に続いて行う。

記念講演

演 題 最近の糖尿病薬

講 師 静岡市立静岡病院診療部長

医師 田村 尚久 先生

出席者 13名（会員10名、病院3名）

- 2 秋季例会（第94回）

講 演

日 時 令和5年11月26日

午後1時30分開会

場 所 静岡病院西館12階講堂

心臓病・糖尿病二友の会合同開催

当番幹事・心臓病友の会

講 演

講 師 静岡市立静岡病院ハートセンター循環器内科

科長 医師 村田耕一郎 先生

演 題 循環器の治療について

体験発表 心臓病友の会会員 2名の皆様

出席者 たちばな会会員 8名

（会員7名 家族1名）

## ③レクリエーション、アウトドアグループ活動

（春、秋各1回 予定）

春（第56回）

日 時 令和5年6月22日 午前10時

場 所 エキチカ温泉・くろしお

（焼津市、黒潮温泉）

出席者 6名（会員）

秋（第57回）コロナ禍のため中止しました。

## ④ 広報・組織活動

- 1 幹事会（役員会）年2～3回随時開催

日 時 令和5年5月16日 午前12時～3時

場 所 静岡病院西館12階 友の会室

- 議 題 1 総会の開催と役割分担  
2 春、秋季例会開催  
3 春、秋のアウトドアについて  
4 その他

- 2 広報「たちばな」発行

第114号 令和5年5月20日発行

第115号 令和5年11月1日発行

- 3 業務連絡

広報「たちばな」の補完として「たちばなだより」  
を発行

初夏11号 令和5年6月26日発行

- 4 病院事業に協力 静岡病院主催事業等に積極的に協  
力（参加）する。

静岡病院広報紙「体温計」の会員への配付

会員数13名 令和5年度末現在

静岡市立静岡病院糖尿病友の会（たちばな会）

会長 野崎 怜

## 消化器病友の会（ウルクスの会）

会長 塩澤 和佳夫 会員数15名

高齢な会員の身体衰退の進行により当分の間休止中  
です。

# 病 院 年 報

Vol.34 令和 5 年度

---

令和 6 年 8 月 発行

編集・発行 静岡市立静岡病院  
静岡市葵区追手町10-93  
電話(054)253-3125

印刷所 松本印刷株式会社  
静岡市葵区南安倍1丁目1番18号  
電話(054)255-4862

---



